

令和3年度

埼玉県政世論調査
報告書



はじめに

この冊子は、令和3年7月に実施した県政世論調査の結果をまとめたものです。

本県では、県民参加の行政を一層推進するため、昭和43年度から毎年度「埼玉県政世論調査」を実施してまいりました。

今年度は、「共生社会について」、「エスカレーターの利用について」の2つのテーマと、時系列項目である「生活意識」、「日常生活」、「県政への要望」について調査を行いました。

このたび調査に御協力いただきました県民の皆様をはじめ、御支援いただきました関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和3年11月

埼玉県県民生活部長 真砂 和敏

目 次

I	調査の方法	1
1	調査のあらまし	3
2	標本抽出方法	4
3	標本構成	6
4	調査結果の見方	9
II	調査結果の解説	11
1	生活意識	13
(1)	昨年と比べた暮らし向き	15
(1-1)	暮らし向きが苦しくなった理由	20
(2)	生活程度	23
(3)	生活全体の満足度	28
(4)	定住意向	33
(4-1)	定住したい理由	38
(4-2)	転出したい理由	48
(4-3)	転出先	56
(4-3-1)	移り住みたい都道府県	60
(5)	埼玉県に魅力を感じるか	61
(5-1)	埼玉県で魅力を感じるもの	65
2	日常生活	69
(1)	地域社会活動への参加経験	71
(1-1)	地域社会活動への不参加の理由	74
(2)	文化芸術活動の経験	77
(3)	文化芸術活動の鑑賞	80
(3-1)	インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞	83
(4)	文化芸術活動の機会や環境の満足度	86
(5)	スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度	89
(5-1)	スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由	93
(6-1)	訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害	96
(6-2)	消費生活センターの認知度	99
(7)	食品の安全性に対する意識	102
(8)	埼玉県に関する情報の入手先	105
(9-1)	県広報紙「彩の国だより」の閲読状況	108
(9-2)	県広報紙「彩の国だより」に期待する記事	111
(9-3)	県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況	113

(9-4)	県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況	116
(9-5)	ラジオ番組「まとめて！埼玉応援団」の聴取状況	119
(9-6)	県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望	122
(9-7)	埼玉150周年記念事業について知っている内容	124
(10)	東京2020オリンピック・パラリンピックの埼玉県内開催の認知度	126
(11-1)	生物多様性の認知度	129
(11-2)	外来生物の認知度	132
(12-1)	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度	135
(12-2)	人生の最終段階において受けた医療・療養について家族や医療介護関係者と話し合った経験	138
(12-3)	人生の最期を迎えたい場所	141
(12-4)	人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由	144
(13)	「生涯学習活動」の経験	148
(13-1)	生かしている知識・技能・経験	151
(13-2)	生涯学習活動をしていない理由	154
(14-1)	新型コロナウイルス感染症への不安	157
(14-1-1)	不安を感じる理由	160
(14-1-2)	不安を感じない理由	163
(14-2)	新型コロナウイルス感染症に関する県の広報	166
3	県政への要望	169
4	共生社会について	185
(1)	「共生」という言葉から思い浮べること	187
(2)	現在の社会について感じていること	190
(3)	共生社会を実現するために最も重要だと思う取組	194
(3-1)	共生社会を実現する取組を進める上で具体的に必要だと思うこと	197
(4)	「共生」についての悩みや困りごと	200
(5)	「共生」について周囲の人の悩みや困りごととして見聞きしたこと	203
(6)	共生社会づくりの取組で参加・協力できると思うもの	206
5	エスカレーターの利用について	209
(1)	「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度	211
(2)	エスカレーターの利用実態	214
(3)	エスカレーターを歩いて利用した理由	223
(4)	エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の経験	226
(5)	エスカレーターの歩行利用について感じる事	229
(6)	エスカレーターの立ち止まり利用を浸透させるための効果的な取組	242
Ⅲ	調査票・単純集計結果	245
	(参考資料) 世論調査実施状況	267

I 調査の方法

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進のための資料とする。

(2) 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- (ア) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、定住意向、埼玉県に魅力を感じるか）
 - (イ) 日常生活
 - (ウ) 県政への要望
 - (エ) 共生社会について
 - (オ) エスカレーターの利用について

(3) 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- (ア) 調査地域 埼玉県全域
- (イ) 調査対象 満18歳以上の個人
- (ウ) 標本数 5,000
- (エ) 抽出方法 住民基本台帳による層化二段無作為抽出法
- (オ) 調査方法 郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）
（令和元年までは、調査員による個別面接聴取法）
- (カ) 調査時期 令和3年7月9日～7月30日
- (キ) 調査実施委託機関 株式会社サーベイリサーチセンター

(4) 回収結果

- (ア) 有効回収数（率） 2,767（55.3%）
- (イ) 調査不能数（率） 2,233（44.7%）

2 標本抽出方法

母集団：埼玉県内の市町村に居住する満18歳以上の個人
 標本数：5,000
 地点数：市部 153地点 郡部（町村）12地点 合計 165地点
 抽出方法：層化二段無作為抽出法

(1) 地域・市郡規模区分

ア 県内を次の3ゾーン10地域に分類した。

(本表及び下の「地域区分図」は、令和3年4月1日現在の市町村名により表示している。)

地 域		該 当 市 町 村 名
県南	南部地域	川口市、蕨市、戸田市
	南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま地域	さいたま市
圏央道	県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
県北	北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
	秩父地域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町

地域区分図



イ 各地域においては、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／郡部（町村）

（注）ここでいう市とは、令和3年4月1日現在市制施行の地域をいう。

（2）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和3年1月1日現在の推定数）により、5,000の標本を各調査地点に配分した。

（3）抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、平成27年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が30程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔＝ $\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

抽出の基点は、層における筆頭調査区から任意に算出された数を持って数えた調査区とした。

ウ 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の「市町村コード」の配列順序に従った。

エ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

オ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

地域		市郡規模			計
		人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡部（町村）	
県南	南部地域	633,996 494 (16)	66,125 51 (2)		700,121 545 (18)
	南西部地域	452,839 354 (12)	135,266 106 (3)	32,325 25 (1)	620,430 485 (16)
	東部地域	830,285 658 (22)	139,135 110 (4)	24,854 20 (1)	994,274 788 (27)
	さいたま地域	1,116,943 879 (29)			1,116,943 879 (29)
圏央道	県央地域	297,740 237 (8)	122,253 97 (3)	37,033 29 (1)	457,026 363 (12)
	川越比企地域	386,955 310 (10)	137,564 110 (4)	155,591 125 (4)	680,110 545 (18)
	西部地域	552,478 450 (14)	116,023 95 (3)		668,501 545 (17)
	利根地域	228,978 188 (6)	258,702 212 (7)	67,935 56 (2)	555,615 456 (15)
県北	北部地域	289,953 223 (7)	66,808 51 (2)	76,367 59 (2)	433,128 333 (11)
	秩父地域		52,805 38 (1)	31,307 23 (1)	84,112 61 (2)
計		4,790,167 3,793 (124)	1,094,681 870 (29)	425,412 337 (12)	6,310,260 5,000 (165)

（注）上段…推定母集団数（満18歳以上人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

3 標本構成

(上段：人、下段：%、以下同)

(1) 地域別 (3区分)

総数	県南圏	中央道	県北	無回答
2,767	1,419	1,055	243	50
100.0	51.3	38.1	8.8	1.8

(2) 地域別

総数	南部地域	南西部地域	東部地域	さいたま地域
2,767	268	259	410	482
100.0	9.7	9.4	14.8	17.4

県央地域	川越比企地域	西部地域	利根地域
218	293	299	245
7.9	10.6	10.8	8.9

北部地域	秩父地域	無回答
203	40	50
7.3	1.4	1.8

(3) 性別

総数	男性	女性	無回答
2,767	1,134	1,585	48
100.0	41.0	57.3	1.7

(4) 年代別

総数	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
2,767	53	229	316	481	524	471	650	43
100.0	1.9	8.3	11.4	17.4	18.9	17.0	23.5	1.6

(5) 職業別

総数	自営業・家族従業 (計)		雇用者 (計)		無職 (計)			無回答
	自営業主	家族従業 (家業手伝い)	勤め (全日)	勤め (パートタイム)	無職の主婦・主夫	学生	その他の無職	
2,767	175	67	987	474	423	98	485	58
100.0	6.3	2.4	35.7	17.1	15.3	3.5	17.5	2.1

(6) 県内居住年数別

総 数	5 年 未 満	5 年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 30年未満	30年以上	無 回 答
2,767	179	152	347	428	1,616	45
100.0	6.5	5.5	12.5	15.5	58.4	1.6

(7) 出生地別

総 数	埼 玉 県	埼 玉 県 外	無 回 答
2,767	1,205	1,521	41
100.0	43.5	55.0	1.5

(8) 家族人数別

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7人以上	無 回 答
2,767	335	904	670	553	176	68	28	33
100.0	12.1	32.7	24.2	20.0	6.4	2.5	1.0	1.2

(9) 未既婚別

総 数	未 婚	既婚・有配偶	既婚・離死別	無 回 答
2,767	611	1,837	266	53
100.0	22.1	66.4	9.6	1.9

(10-1) 子供の有無・人数別（既婚者）

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5人以上	い ない	無 回 答
2,103	412	1,034	348	39	7	245	18
100.0	19.6	49.2	16.5	1.9	0.3	11.7	0.9

(10-2) 子供の段階

総 数	0 ～ 3 歳	4 歳以上で 小学校入学前	小 学 生	中 学 生	高 校 生
1,840	171	123	259	172	183
100.0	9.3	6.7	14.1	9.3	9.9

短大生・ 専門学校生	大学生・ 大学院生	学校教育 終了・未婚	学校教育 終了・既婚	そ の 他	無 回 答
32	159	627	741	84	54
1.7	8.6	34.1	40.3	4.6	2.9

(11) 家族形態別

総 数	単 身	夫 婦 の み	二世帯世帯	三世帯世帯	そ の 他	無 回 答
2,767 100.0	345 12.5	725 26.2	1,400 50.6	189 6.8	60 2.2	48 1.7

- ・二世帯世帯とは「親と子がいる」世帯を指す。
- ・三世帯世帯とは「親と子と孫がいる」世帯を指す。

(12) 居住形態別

総 数	持家（一戸建）	持家（集合住宅）	民間の借家（賃貸マンション、一戸建の借家など）	UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅
2,767 100.0	1,854 67.0	359 13.0	371 13.4	93 3.4

社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み、寮、寄宿舎など	そ の 他	無 回 答
47 1.7	1 0.0	10 0.4	32 1.2

(13) ライフステージ別

総 数	独 身 期	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 期	高 齢 期	そ の 他
2,767 100.0	327 11.8	215 7.8	245 8.9	232 8.4	463 16.7	609 22.0	676 24.4

※ ライフステージの分類

「年齢」「結婚」「子供の有無」「子供の成長段階」の組み合わせにより分類した。

ライフステージ	構 成 内 容
① 独 身 期	●本人が40歳未満で未婚
② 家 族 形 成 期	●本人が40歳未満で、かつ、子供がいない夫婦 ●第一子が小学校入学前の親
③ 家 族 成 長 前 期	●第一子が小・中学生の親
④ 家 族 成 長 後 期	●高校・大学生（院生含む）の子供がおり、かつ、学校教育を終えた子供はいない親
⑤ 家 族 成 熟 期	●学校教育を終えた子供がおり、かつ、既婚の子供がいない親 ●本人が男性の場合65歳未満、女性の場合60歳未満で、子供全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子供がいる親
⑥ 高 齢 期	●本人が男性の場合65歳以上、女性の場合60歳以上で、子供全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子供がいる親
⑦ そ の 他	●上記①～⑥以外（40歳以上の独身者、子供のいない40歳以上の夫婦など）

4 調査結果の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \cong 2\sqrt{2 \frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=2,767であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2 \frac{0.2 \times 0.8}{2,767}} \cong 0.022$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±2.2の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

[標本誤差早見表（主なもの）]

区 分	基 数	回 答 率					
		90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%前後	50%前後	
全 体	2,767	± 1.6%	± 2.2%	± 2.5%	± 2.6%	± 2.7%	
性 別	男性	1,134	± 2.5%	± 3.4%	± 3.8%	± 4.1%	± 4.2%
	女性	1,585	± 2.1%	± 2.8%	± 3.3%	± 3.5%	± 3.6%
年 代 別	18・19歳	53	±11.7%	±15.5%	±17.8%	±19.0%	±19.4%
	20歳代	229	± 5.6%	± 7.5%	± 8.6%	± 9.2%	± 9.3%
	30歳代	316	± 4.8%	± 6.4%	± 7.3%	± 7.8%	± 8.0%
	40歳代	481	± 3.9%	± 5.2%	± 5.9%	± 6.3%	± 6.4%
	50歳代	524	± 3.7%	± 4.9%	± 5.7%	± 6.1%	± 6.2%
	60歳代	471	± 3.9%	± 5.2%	± 6.0%	± 6.4%	± 6.5%
	70歳以上	650	± 3.3%	± 4.4%	± 5.1%	± 5.4%	± 5.5%
地 域 別	南部	268	± 5.2%	± 6.9%	± 7.9%	± 8.5%	± 8.6%
	南西部	259	± 5.3%	± 7.0%	± 8.1%	± 8.6%	± 8.8%
	東部	410	± 4.2%	± 5.6%	± 6.4%	± 6.8%	± 7.0%
	さいたま	482	± 3.9%	± 5.2%	± 5.9%	± 6.3%	± 6.4%
	県央	218	± 5.7%	± 7.7%	± 8.8%	± 9.4%	± 9.6%
	川越比企	293	± 5.0%	± 6.6%	± 7.6%	± 8.1%	± 8.3%
	西部	299	± 4.9%	± 6.5%	± 7.5%	± 8.0%	± 8.2%
	利根	245	± 5.4%	± 7.2%	± 8.3%	± 8.9%	± 9.0%
	北部	203	± 6.0%	± 7.9%	± 9.1%	± 9.7%	± 9.9%
	秩父	40	±13.4%	±17.9%	±20.5%	±21.9%	±22.4%

(2) 調査結果の見方

- ア 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- イ 問1「昨年と比べた暮らし向き」における『苦しくなった(計)』のように、「少し苦しくなった」と「苦しくなった」等の2つ以上の選択肢を合わせた項目の比率を表記する場合、その比率は、それぞれの選択肢への回答者の実数値を合計して、比率を再計算したものを使用しているため、内訳となるそれぞれの選択肢の比率の合計と合致しないことがある。
- ウ 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果0.0%となったものである。
- エ 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者(n)で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.(Multiple Totalの略)として表示した。
- オ 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。
- カ 年代別、性別・年代別の集計に当たっては、18・19歳の標本数が少ないため、20歳代と合わせて10歳代・20歳代として集計したうえで、他の年代と比較している。
- キ 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施されていたが、令和2年度より「郵送法(郵送配布、郵送返送・インターネット回収併用)」に変更したため、令和元年度以前の結果と比較する場合には留意が必要となる。

Ⅱ 調査結果の解説

1 生活意識

(問1～問5)

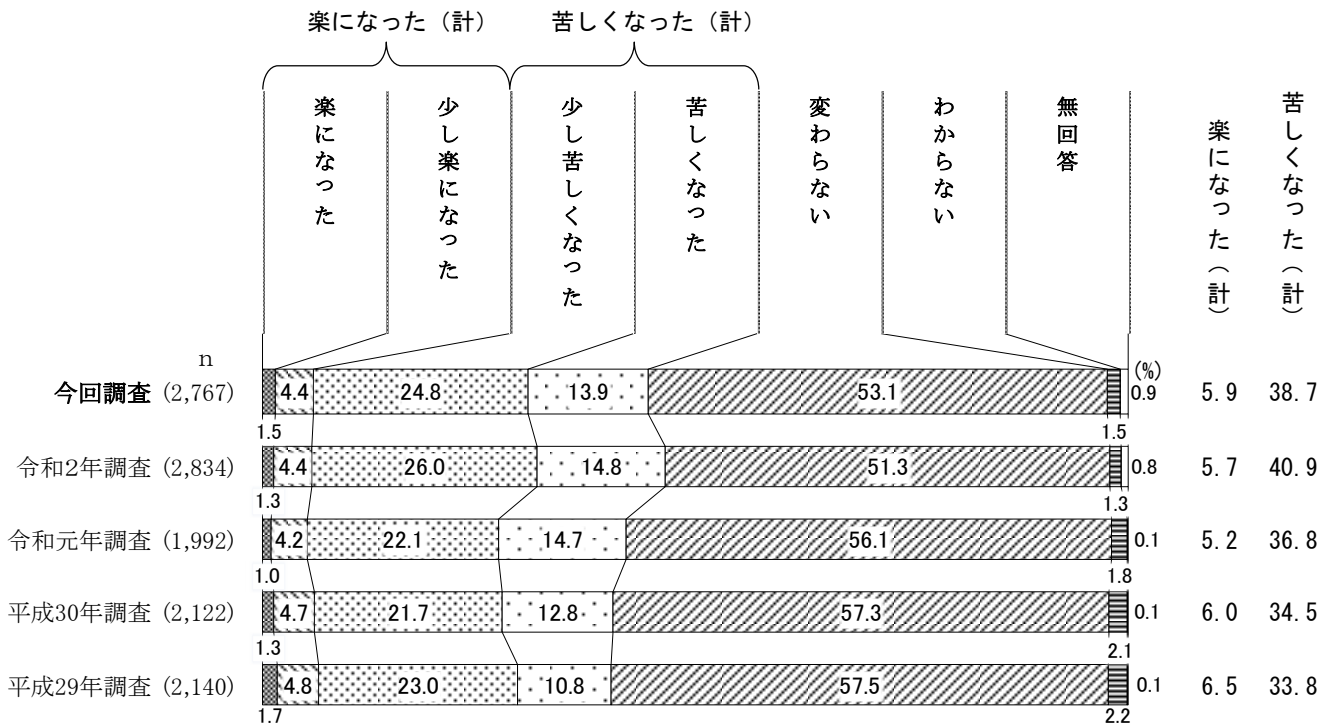
- 問1「昨年と比べた暮らし向き」、問2「生活程度」、問3「生活全体の満足度」は、昭和56年度から毎年度実施しています。
- 問1-1「暮らし向きが苦しくなった理由」は、平成20年度から実施しており、今回が14回目となります。
- 問4「定住意向」は、平成6年度以降は3年ごとに実施しています。
- 問5「埼玉県に魅力を感じるか」と問5-1「埼玉県で魅力を感じるもの」は、今回が4回目となります。
- 平成27年度までは、満20歳以上の方を調査対象として実施しており、平成28年度以降は満18歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法は、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施していましたが、令和2年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

1. 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇「変わらない」53.1%、『苦しくなった(計)』38.7%、『楽になった(計)』5.9%

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねします。
お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

暮らし向きが「楽になった」(1.5%)と「少し楽になった」(4.4%)を合わせた『楽になった(計)』は5.9%となっている。一方で、「苦しくなった」(13.9%)と「少し苦しくなった」(24.8%)を合わせた『苦しくなった(計)』(38.7%)は4割弱となっている。「変わらない」(53.1%)は5割強で、『苦しくなった(計)』を14.4ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

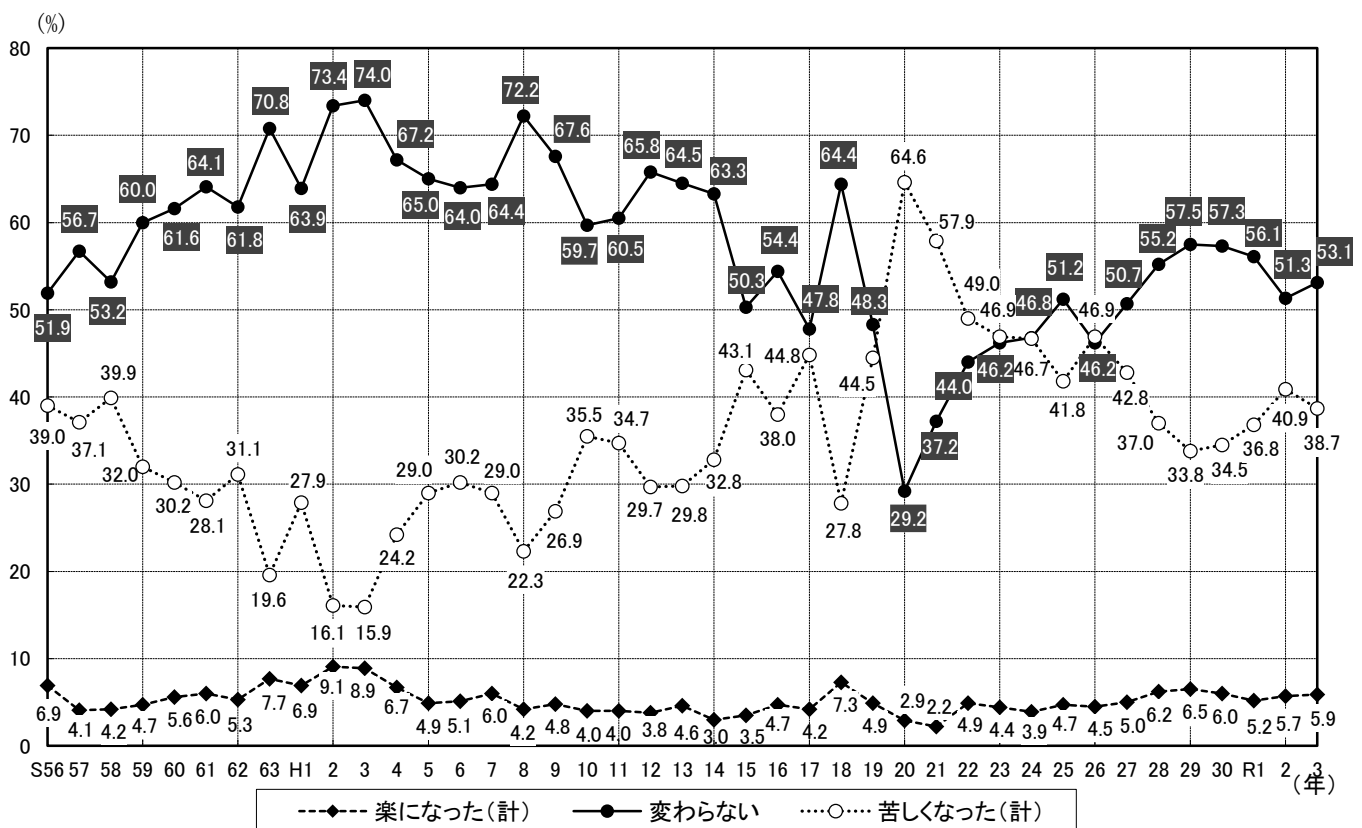
『苦しくなった(計)』は令和元年調査までは3割台で推移しており、令和2年調査で4割を超えたが、今回調査(38.7%)では再び3割台後半に下がった。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は、最も高かった平成20年（64.6%）を境におおむね減少傾向が続き、平成30年調査から再び増加傾向にあったが、今回調査では減少した。「変わらない」と『苦しくなった（計）』を比較すると、『苦しくなった（計）』は平成27年調査から7年連続で「変わらない」を下回っている。

『楽になった（計）』は平成2年が9.1%で最も高く、平成21年が2.2%で最も低くなっており、調査開始から40年間、この範囲内で推移している。

○昨年と比べた暮らし向き・昭和56年以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

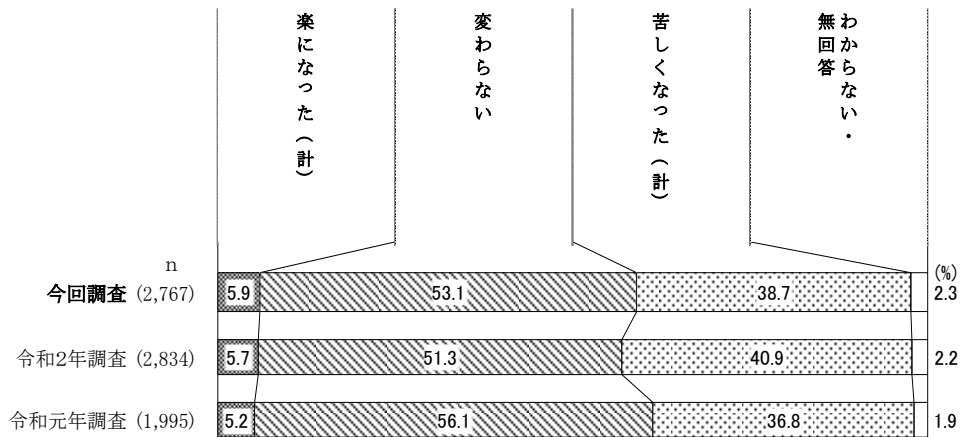
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は下（計）で最も高く66.1%、中（計）で34.7%、上（計）で13.1%と差がみられる。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、満足している（計）（18.8%）が2割弱であるのに対して、不満である（計）（63.3%）では6割強と、大きく差がある。一方で、「変わらない」は、満足している（計）で70.1%と不満である（計）の32.4%を大きく上回っている。

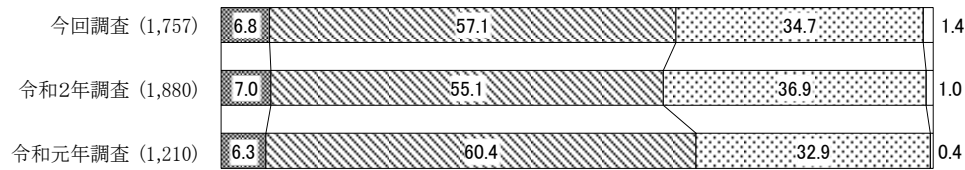
○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別



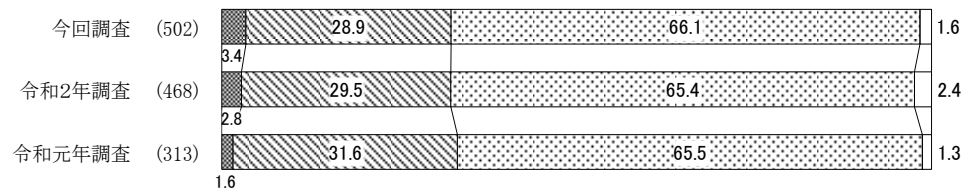
【生活程度別】
＜上（計）＞



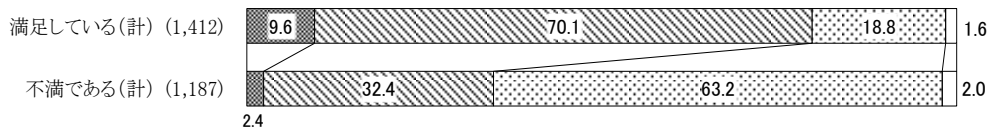
＜中（計）＞



＜下（計）＞



【生活満足度別】



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

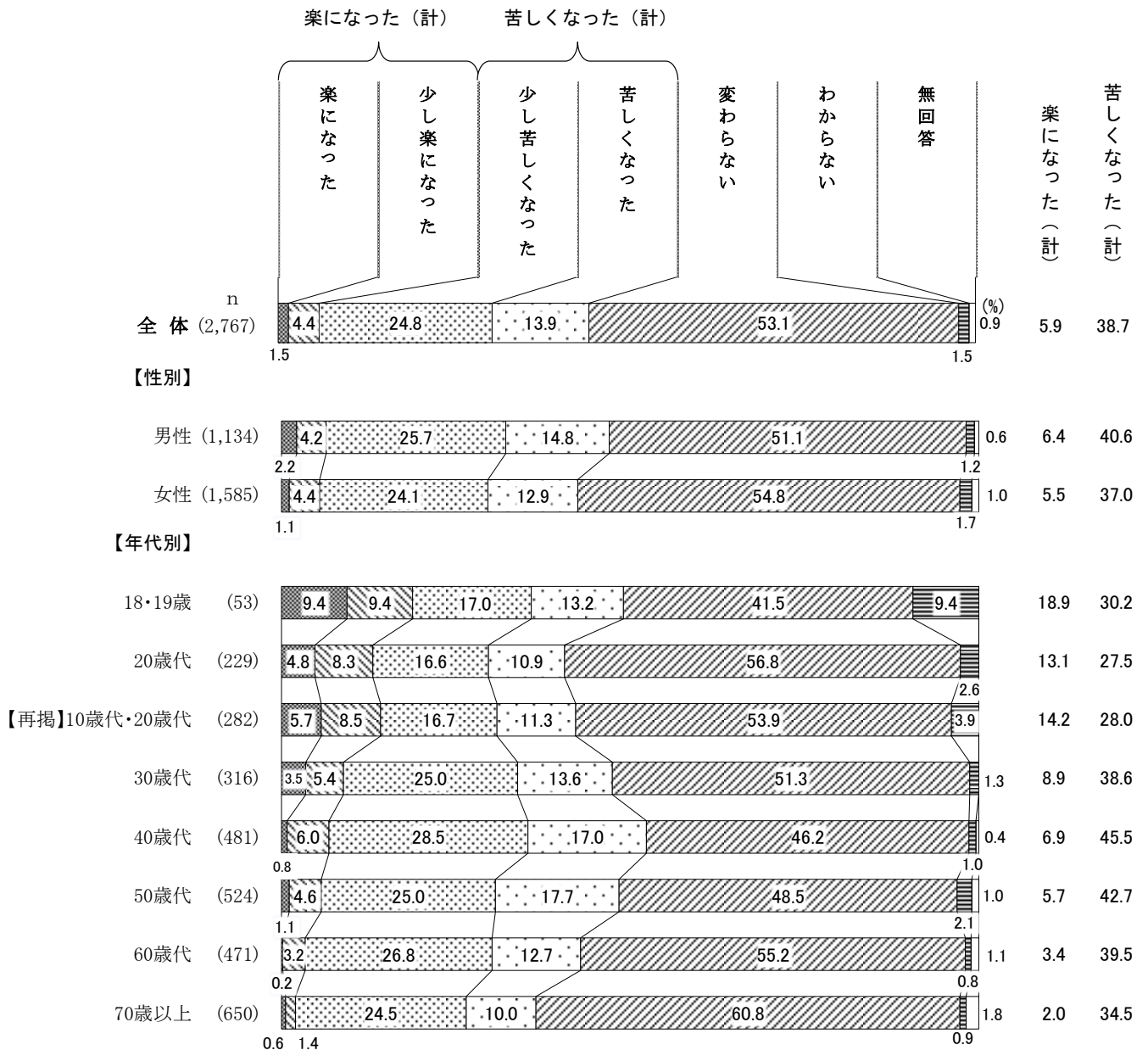
① 性別

『苦しくなった（計）』は男性（40.6%）の方が女性（37.0%）よりも3.6ポイント高くなっている。

② 年代別

『苦しくなった（計）』は40歳代（45.5%）で4割台半ばと最も高くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



③ 地域別

『苦しくなった（計）』は南部地域（44.8%）で4割台半ばと最も高くなっている。一方で、「変わらない」は北部地域（59.1%）で約6割と最も高く、『楽になった（計）』は秩父地域（10.0%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『苦しくなった（計）』は男性40歳代（52.6%）で5割強と最も高くなっている。一方で、『楽になった（計）』は男性10歳代・20歳代（17.6%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

『苦しくなった（計）』は自営業・家族従業（計）（46.7%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は家族成長後期（47.0%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

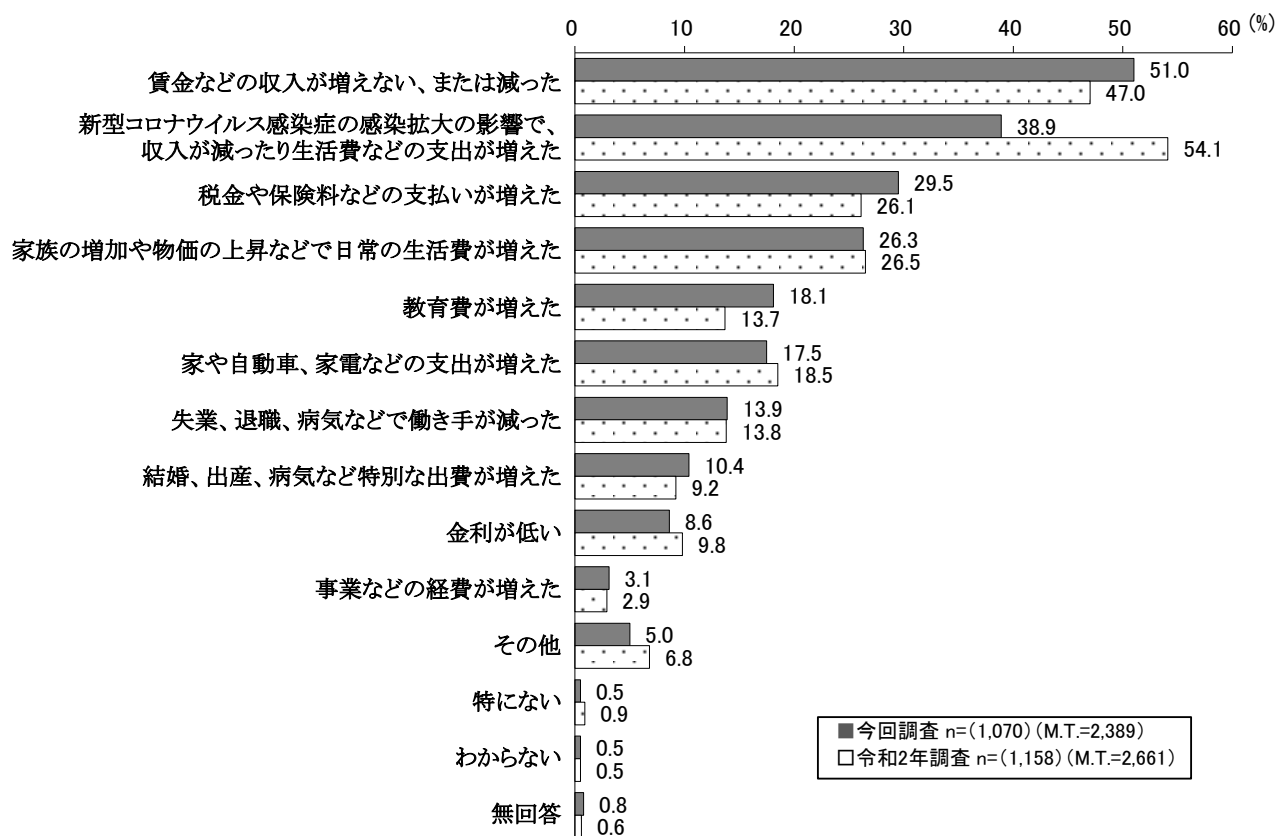
○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	楽になった	少し楽になった	少し苦しくなった	苦しくなった	変わらない	わからない	無回答	（%）	
									楽になった（計）	苦しくなった（計）
全体	2,767	1.5	4.4	24.8	13.9	53.1	1.5	0.9	5.9	38.7
地域別										
南部地域	268	1.5	4.5	29.5	15.3	46.6	1.1	1.5	6.0	44.8
南西部地域	259	1.9	4.6	27.0	14.3	49.8	1.5	0.8	6.6	41.3
東部地域	410	2.4	4.6	23.2	17.3	51.0	0.7	0.7	7.1	40.5
さいたま地域	482	1.9	5.0	25.3	12.0	53.9	1.7	0.2	6.8	37.3
県央地域	218	1.4	4.6	22.9	13.3	55.0	1.4	1.4	6.0	36.2
川越比企地域	293	0.7	4.1	24.6	10.2	57.0	2.7	0.7	4.8	34.8
西部地域	299	1.3	4.0	20.7	14.0	56.2	2.3	1.3	5.4	34.8
利根地域	245	0.8	2.4	29.4	13.5	51.8	1.2	0.8	3.3	42.9
北部地域	203	1.0	3.9	20.7	13.8	59.1	-	1.5	4.9	34.5
秩父地域	40	2.5	7.5	30.0	12.5	45.0	2.5	-	10.0	42.5
性・年代別										
男性／18・19歳	28	17.9	7.1	10.7	10.7	46.4	7.1	-	25.0	21.4
20歳代	91	7.7	7.7	16.5	11.0	53.8	3.3	-	15.4	27.5
【再掲】10歳代・20歳代	119	10.1	7.6	15.1	10.9	52.1	4.2	-	17.6	26.1
30歳代	111	5.4	6.3	23.4	14.4	48.6	1.8	-	11.7	37.8
40歳代	173	0.6	6.9	32.9	19.7	39.3	0.6	-	7.5	52.6
50歳代	226	1.8	4.9	27.0	20.4	43.8	1.3	0.9	6.6	47.3
60歳代	215	-	2.3	25.6	15.3	55.3	0.9	0.5	2.3	40.9
70歳以上	286	0.7	1.4	26.2	9.1	60.8	0.3	1.4	2.1	35.3
女性／18・19歳	25	-	12.0	24.0	16.0	36.0	12.0	-	12.0	40.0
20歳代	137	2.9	8.8	16.8	10.2	59.1	2.2	-	11.7	27.0
【再掲】10歳代・20歳代	162	2.5	9.3	17.9	11.1	55.6	3.7	-	11.7	29.0
30歳代	205	2.4	4.9	25.9	13.2	52.7	1.0	-	7.3	39.0
40歳代	308	1.0	5.5	26.0	15.6	50.0	1.3	0.6	6.5	41.6
50歳代	298	0.7	4.4	23.5	15.8	52.0	2.7	1.0	5.0	39.3
60歳代	255	0.4	3.9	27.5	10.6	55.3	0.8	1.6	4.3	38.0
70歳以上	352	0.6	1.4	21.9	10.8	61.9	1.4	2.0	2.0	32.7
職業別										
自営業・家族従業（計）	242	0.8	3.3	25.6	21.1	48.8	0.4	-	4.1	46.7
雇用者（計）	1,461	1.8	5.6	24.6	15.1	51.1	1.3	0.5	7.5	39.7
無職（計）	1,006	1.3	2.8	25.0	10.0	57.2	2.1	1.6	4.1	35.1
ライフステージ別										
独身期	327	4.3	8.9	18.3	12.5	52.6	3.4	-	13.1	30.9
家族形成期	215	4.7	3.7	27.9	12.1	50.7	0.9	-	8.4	40.0
家族成長前期	245	1.2	6.1	26.5	15.5	46.9	2.0	1.6	7.3	42.0
家族成長後期	232	1.3	4.7	28.0	19.0	46.6	0.4	-	6.0	47.0
家族成熟期	463	0.4	3.9	28.5	14.3	51.0	1.3	0.6	4.3	42.8
高齢期	609	0.5	2.5	22.8	8.2	64.2	0.5	1.3	3.0	31.0
その他	676	1.0	3.8	24.4	17.6	49.9	1.9	1.3	4.9	42.0

(1-1) 暮らし向きが苦しくなった理由

◇「賃金などの収入が増えない、または減った」が51.0%と最も高い

(問1で「3. 少し苦しくなった」または「4. 苦しくなった」とお答えの方にお伺いします。)
問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」(51.0%)が5割強で最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」(38.9%)が4割弱、「税金や保険料などの支払いが増えた」(29.5%)、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(26.3%)、「教育費が増えた」(18.1%)などとなっている。

【過去調査との比較】

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は令和2年調査(54.1%)では5割台半ばで最も高かったが15.2ポイント減少し、「賃金などの収入が増えない、または減った」に次いで2位となった。

【属性別比較】

① 地域別

「賃金などの収入が増えない、または減った」はさいたま地域（56.1%）で5割台半ばを超えて最も高く、県央地域（44.3%）で4割台半ばと最も低くなっている。「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は南西部地域（48.6%）で5割弱と最も高く、最も低いさいたま地域（33.3%）で3割強となっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は川越比企地域（35.3%）が3割台半ばで最も高く、県央地域（25.3%）で2割台半ばと最も低くなっている。

※秩父地域（n=17）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性（57.0%）の方が女性（46.8%）よりも10.2ポイント高くなっている。一方で、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は女性（41.7%）の方が男性（36.5%）よりも5.2ポイント高くなっている。

③ 年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は40歳代（59.8%）で約6割と最も高く、次いで50歳代（58.5%）で6割弱となっている。「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」も40歳代（45.7%）で4割台半ばと最も高くなっている。一方で「税金や保険料などの支払いが増えた」では40歳代（22.4%）が最も低くなっており、70歳以上（38.8%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性30～60歳代で6割台と高く、特に男性40歳代（68.1%）で7割弱と最も高くなっている。「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は女性10歳代・20歳代（51.1%）で5割強と最も高くなっている。また、「税金や保険料などの支払いが増えた」は男性70歳以上（41.6%）が4割強で最も高く、女性40歳代（18.8%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は、雇用者（計）（62.6%）が6割強で最も高く、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は、自営業・家族従業（計）（60.2%）で6割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は家族成長前期（60.2%）で6割を超えて最も高くなっている。また、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」でも、家族成長前期（47.6%）で4割台後半と最も高くなっている。また、「税金や保険料などの支払いが増えた」は高齢期（36.5%）で3割台後半と最も高くなっている。

【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、「賃金などの収入が増えない、または減った」、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」、「税金や保険料などの支払いが増えた」はいずれも下（計）の方が中（計）より高くなっている。

※上（計）（n=8）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、「賃金などの収入が増えない、または減った」は不満である（計）（53.9%）の方が満足している（計）（46.0%）よりも7.9ポイント高くなっている。また、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」でも、不満である（計）（42.7%）の方が満足している（計）（28.3%）よりも14.4ポイント高く、「税金や保険料などの支払いが増えた」でも不満である（計）（31.8%）の方が満足している（計）（22.6%）よりも9.2ポイント高くなっている。

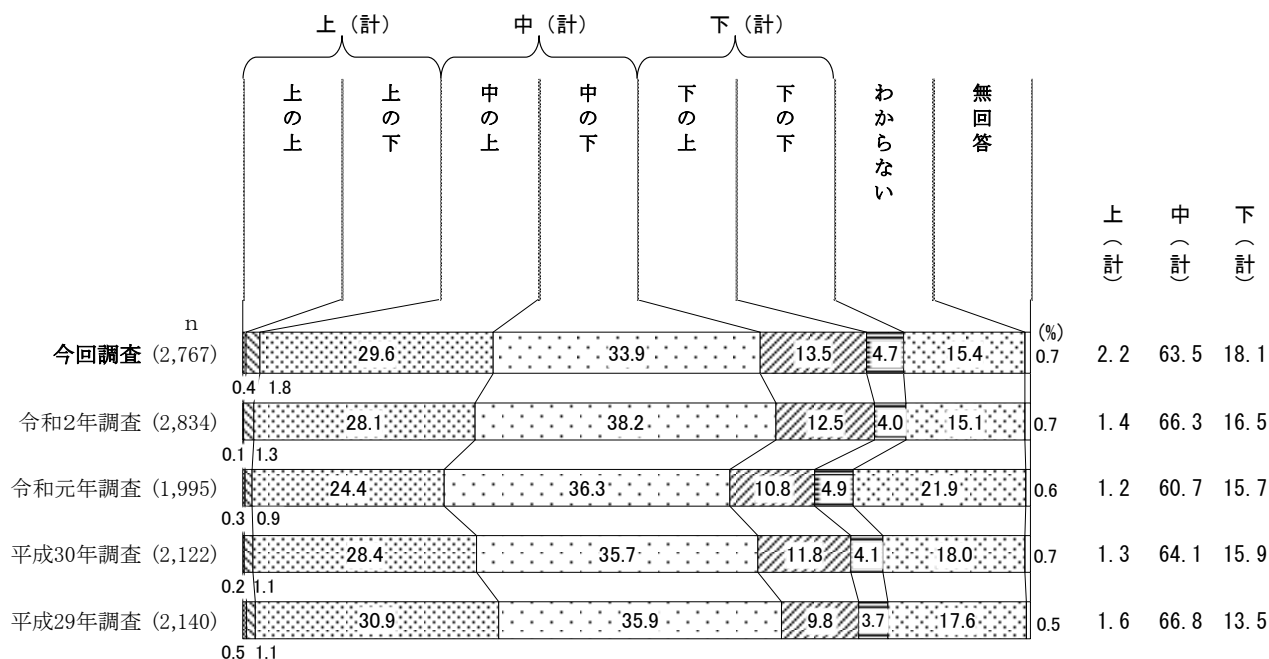
○暮らし向きが苦しくなった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別 ／ライフステージ別／生活程度別／生活満足度別

	調査数 n	賃金などの収入が増えない、または減った	新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が増えた	税金や保険料などの支払いが増えた	家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた	教育費が増えた	家や自動車、家電などの支出が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別な出費が増えた	金利が低い	事業などの経費が増えた	その他	特になし	わからない	無回答
全体	1,070	51.0	38.9	29.5	26.3	18.1	17.5	13.9	10.4	8.6	3.1	5.0	0.5	0.5	0.8
地域別															
南部地域	120	51.7	36.7	28.3	24.2	15.8	15.8	13.3	12.5	5.8	2.5	5.0	0.8	0.8	1.7
南西部地域	107	52.3	48.6	31.8	25.2	25.2	18.7	16.8	6.5	8.4	1.9	7.5	0.9	-	-
東部地域	166	46.4	42.2	25.9	27.1	15.7	13.3	13.3	7.2	2.4	4.2	-	1.2	-	-
さいたま地域	180	56.1	33.3	31.7	28.3	21.7	19.4	12.8	13.9	10.0	3.9	4.4	0.6	-	0.6
県央地域	79	44.3	41.8	25.3	22.8	15.2	21.5	11.4	8.9	16.5	2.5	7.6	-	-	2.5
川越比企地域	102	50.0	39.2	35.3	28.4	14.7	17.6	11.8	4.9	10.8	3.9	4.9	-	-	-
西部地域	104	52.9	38.5	34.6	27.9	19.2	15.4	14.4	9.6	5.8	1.0	3.8	1.0	1.0	1.0
利根地域	105	52.4	41.9	26.7	22.9	17.1	20.0	15.2	7.6	8.6	3.8	3.8	-	1.0	1.0
北部地域	70	52.9	37.1	27.1	28.6	20.0	18.6	17.1	7.1	7.1	7.1	5.7	1.4	-	-
秩父地域	17	58.8	23.5	29.4	35.3	17.6	17.6	17.6	23.5	-	-	-	-	-	5.9
性別															
男性	460	57.0	36.5	31.1	23.3	15.9	18.0	12.8	10.2	7.6	4.6	5.2	0.7	0.4	0.4
女性	587	46.8	41.7	28.4	29.1	20.4	17.2	14.8	10.4	9.2	1.9	4.9	0.3	0.5	0.9
年代別															
18・19歳	16	62.5	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	6.3	-	-	-	6.3	-	-	-
20歳代	63	55.6	44.4	33.3	23.8	3.2	14.3	11.1	4.8	4.8	1.6	7.9	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	79	57.0	43.0	29.1	21.5	10.1	13.9	10.1	3.8	3.8	1.3	7.6	-	-	-
30歳代	122	54.1	41.0	23.8	36.9	19.7	22.1	13.1	18.0	3.3	2.5	5.7	-	-	0.8
40歳代	219	59.8	45.7	22.4	26.9	42.9	21.9	9.6	8.7	8.7	4.1	2.3	0.5	0.5	-
50歳代	224	58.5	44.2	27.2	28.6	27.2	17.0	15.2	9.4	7.6	4.5	2.2	0.4	0.4	0.4
60歳代	186	54.8	37.6	34.9	15.6	2.7	14.0	17.2	8.1	10.8	3.2	7.0	-	0.5	1.1
70歳以上	224	29.0	27.2	38.8	28.6	0.4	16.1	15.6	13.4	12.1	1.3	7.6	1.3	0.9	1.3
性・年代別															
男性／18・19歳	6	83.3	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	-
20歳代	25	52.0	36.0	20.0	24.0	-	8.0	8.0	12.0	-	4.0	12.0	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	31	58.1	32.3	22.6	22.6	9.7	9.7	6.5	9.7	-	3.2	12.9	-	-	-
30歳代	42	61.9	38.1	19.0	31.0	4.8	21.4	16.7	19.0	2.4	2.4	2.4	-	-	2.4
40歳代	91	68.1	41.8	27.5	23.1	34.1	26.4	9.9	8.8	9.9	4.4	3.3	-	1.1	-
50歳代	107	64.5	43.9	28.0	29.9	31.8	19.6	6.5	5.6	8.4	8.4	2.8	0.9	-	0.9
60歳代	88	62.5	35.2	35.2	10.2	3.4	12.5	17.0	5.7	10.2	4.5	5.7	-	-	-
70歳以上	101	31.7	25.7	41.6	24.8	-	14.9	18.8	16.8	6.9	2.0	7.9	2.0	1.0	-
女性／18・19歳	10	50.0	50.0	-	10.0	30.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	37	56.8	51.4	40.5	21.6	5.4	16.2	13.5	-	8.1	-	5.4	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	47	55.3	51.1	31.9	19.1	10.6	14.9	12.8	-	6.4	-	4.3	-	-	-
30歳代	80	50.0	42.5	26.3	40.0	27.5	22.5	11.3	17.5	3.8	2.5	7.5	-	-	-
40歳代	128	53.9	48.4	18.8	29.7	49.2	18.8	9.4	8.6	7.8	3.9	1.6	0.8	-	-
50歳代	117	53.0	44.4	26.5	27.4	23.1	14.5	23.1	12.8	6.8	0.9	1.7	-	0.9	-
60歳代	97	48.5	39.2	35.1	20.6	2.1	15.5	17.5	10.3	11.3	2.1	8.2	-	1.0	2.1
70歳以上	115	26.1	29.6	36.5	33.9	0.9	17.4	13.0	9.6	15.7	0.9	7.8	0.9	0.9	2.6
職業別															
自営業・家族従業（計）	113	49.6	60.2	31.9	16.8	12.4	14.2	8.8	8.8	8.8	18.6	6.2	-	-	-
雇用者（計）	580	62.6	40.0	27.9	25.5	25.0	18.8	9.8	8.8	6.9	1.6	4.7	0.2	0.2	0.5
無職（計）	353	33.7	32.0	32.6	31.4	9.3	17.3	22.4	13.0	11.0	0.6	5.1	1.1	0.8	1.1
ライフステージ別															
独身期	101	56.4	45.5	24.8	17.8	7.9	14.9	13.9	1.0	5.0	3.0	8.9	-	-	1.0
家族形成期	86	52.3	29.1	23.3	41.9	12.8	20.9	9.3	32.6	-	1.2	3.5	-	-	-
家族成長前期	103	60.2	47.6	28.2	37.9	64.1	24.3	9.7	7.8	4.9	4.9	2.9	-	-	-
家族成長後期	109	49.5	40.4	24.8	26.6	68.8	22.0	5.5	6.4	10.1	2.8	4.6	-	-	-
家族成熟期	198	56.6	45.5	31.3	25.8	12.1	16.2	15.7	8.1	12.6	2.5	3.5	-	0.5	0.5
高齢期	189	37.6	31.2	36.5	23.8	1.1	14.3	14.8	18.5	11.6	0.5	7.4	1.1	0.5	-
その他	284	51.1	36.3	29.6	22.2	2.8	16.2	18.3	5.6	8.5	5.3	4.6	1.1	1.1	2.5
生活程度別															
上（計）	8	75.0	25.0	25.0	37.5	25.0	25.0	12.5	-	-	25.0	-	-	-	-
中（計）	610	49.0	36.2	28.0	25.6	20.7	17.4	10.7	11.5	8.7	3.1	5.1	0.5	0.3	1.0
下（計）	332	55.7	43.7	33.1	28.9	12.7	16.3	19.9	6.9	9.0	3.0	5.7	0.6	0.6	0.6
生活満足度別															
満足している（計）	265	46.0	28.3	22.6	27.2	18.1	17.0	9.1	12.5	6.0	3.0	3.0	0.8	0.4	1.9
不満である（計）	751	53.9	42.7	31.8	26.8	18.5	17.6	15.2	9.5	9.7	3.1	5.7	0.4	0.3	0.4

(2) 生活程度

◇『中(計)』が63.5%、一方『下(計)』は18.1%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、次の中のどれに属すると思いますか。
(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

世間一般からみた生活程度は、「中の下」(33.9%)が3割強で最も高く、次いで「中の上」(29.6%)となっている。両者を合わせた『中(計)』(63.5%)は6割強となっている。同様に「下の上」(13.5%)と「下の下」(4.7%)を合わせた『下(計)』(18.1%)は2割弱、「上の上」(0.4%)と「上の下」(1.8%)を合わせた『上(計)』は2.2%となっている。

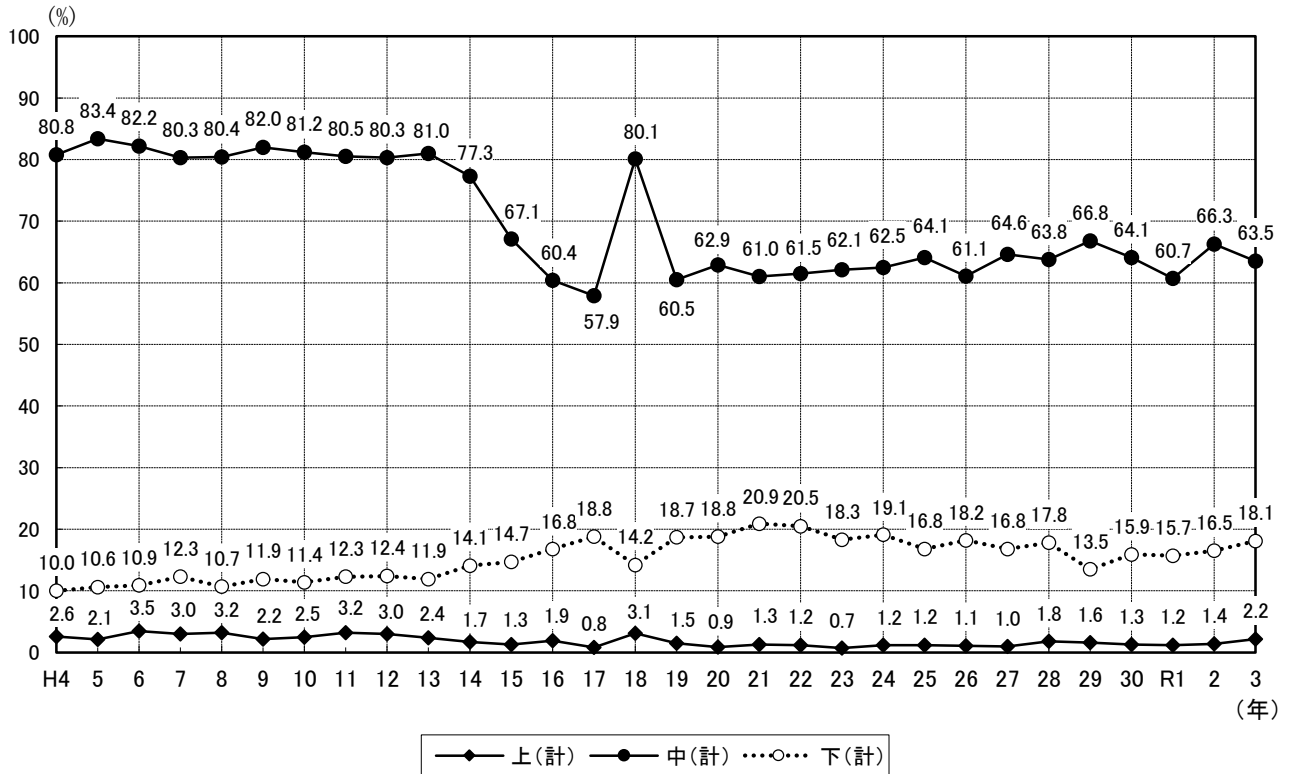
【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、『中(計)』は2.8ポイント減少、『下(計)』は1.6ポイント増加となっている。

【経年比較】

平成19年以降、『中（計）』は6割台で増減しながら推移しており、今回調査では前回調査から減少した。また、『下（計）』は平成29年調査以降、おおむね増加傾向となっている。

○生活程度・平成4年以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

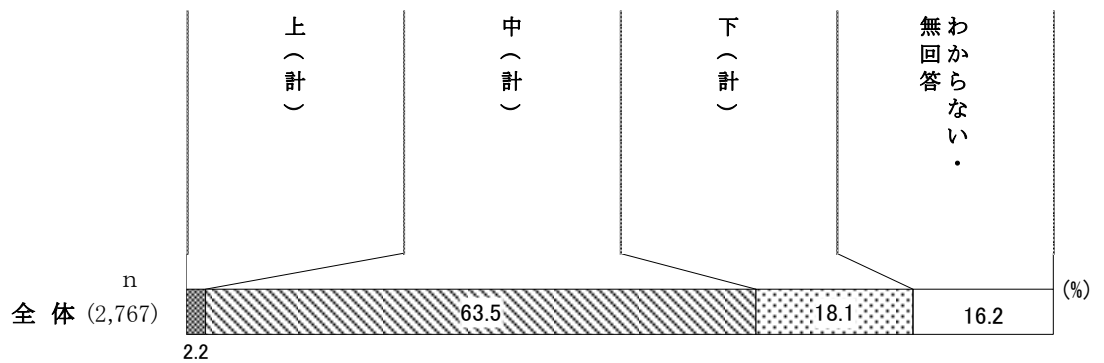
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、いずれの層でも生活程度を『中（計）』と回答した人が半数以上となっているが、楽になった（計）（72.6%）では7割強と最も高く、次いで変わらない（68.4%）、苦しくなった（計）（57.0%）となっており、『中（計）』の割合に大きく差がある。また、『下（計）』は苦しくなった（計）（31.0%）で最も高くなっている。

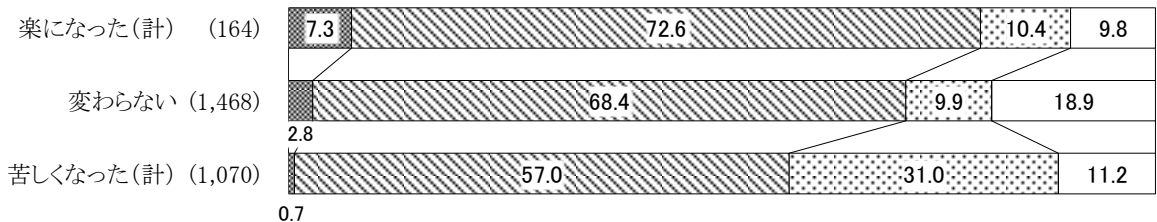
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、生活程度を『中（計）』と回答した割合は、満足している（計）（75.9%）が、不満である（計）（54.1%）より21.8ポイント高く、一方で『下（計）』と回答した割合は不満である（計）（32.5%）が、満足している（計）（5.6%）より26.9ポイント高くなっている。

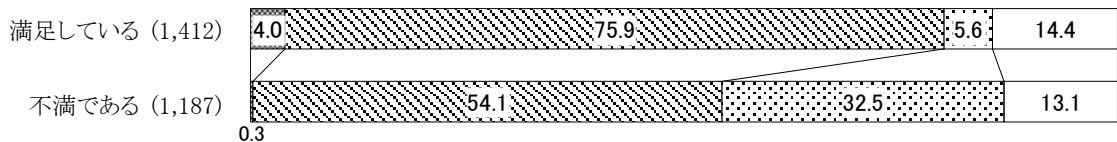
○生活程度・昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

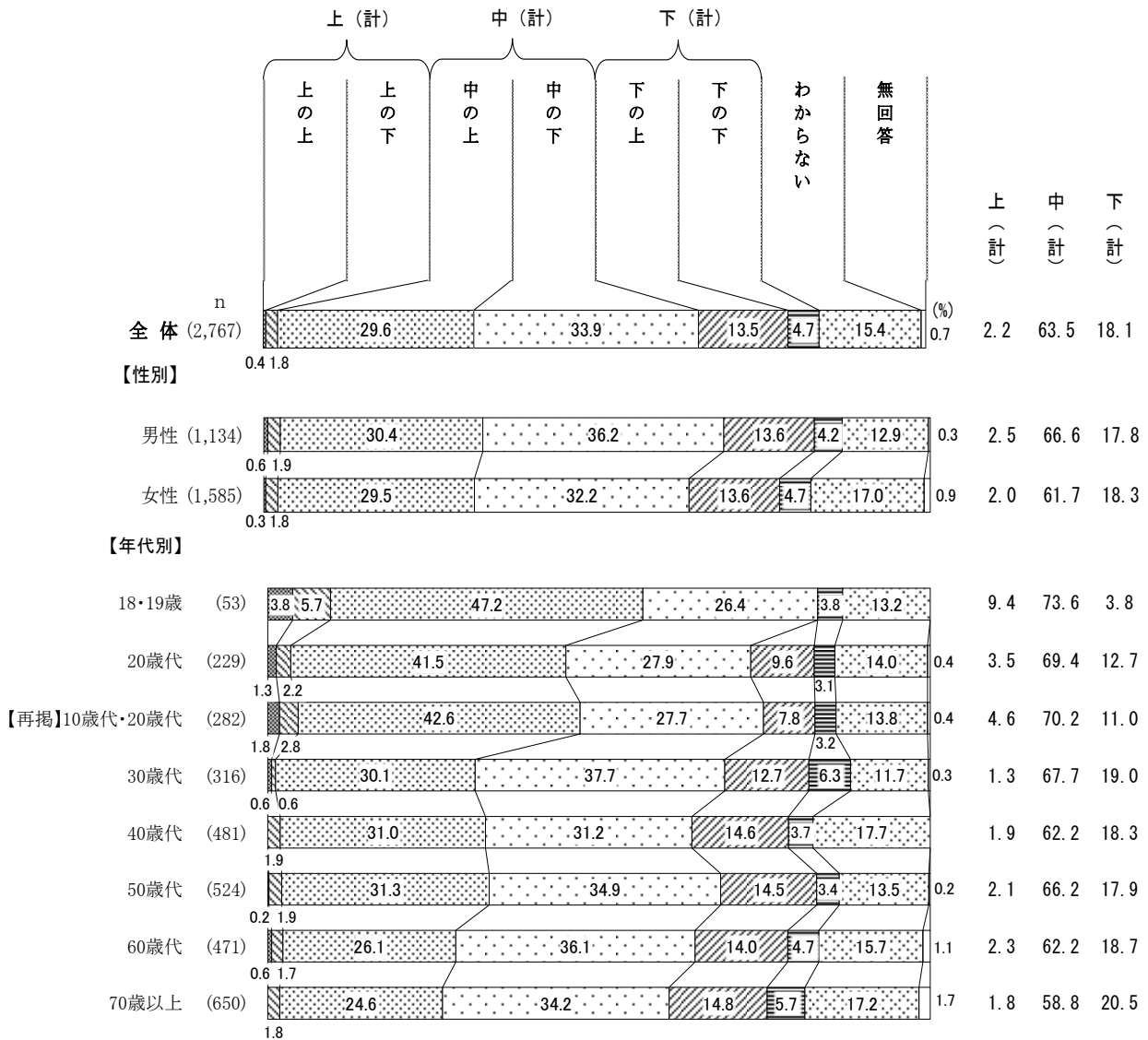
① 性別

『中（計）』は男性（66.6%）の方が女性（61.7%）よりも4.9ポイント高くなっている。

② 年代別

『中（計）』は10歳代・20歳代（70.2%）が最も高くなっている。一方で『下（計）』は70歳以上（20.5%）で2割を超えて最も高く、『上（計）』は10歳代・20歳代（4.6%）で最も高くなっている。

○生活程度・性別／年代別



③ 地域別

『中（計）』は秩父地域（45.0%）を除いたすべての地域で6割台となっており、北部地域（67.0%）が6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、『下（計）』は秩父地域（30.0%）が3割と最も高く、『上（計）』は東部地域（3.9%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『中（計）』は男性30歳代（74.8%）で7割台半ばと最も高くなっている。一方で、『下（計）』は女性60歳以上（21.6%）が2割強で最も高く、『上（計）』は男性10歳代・20歳代（5.0%）で最も高くなっている。

⑤ 職業別

『中（計）』は自営業・家族従業（計）（66.9%）が最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『中（計）』は家族形成期（76.7%）で7割台半ばを超えて最も高く、『下（計）』はその他（26.2%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

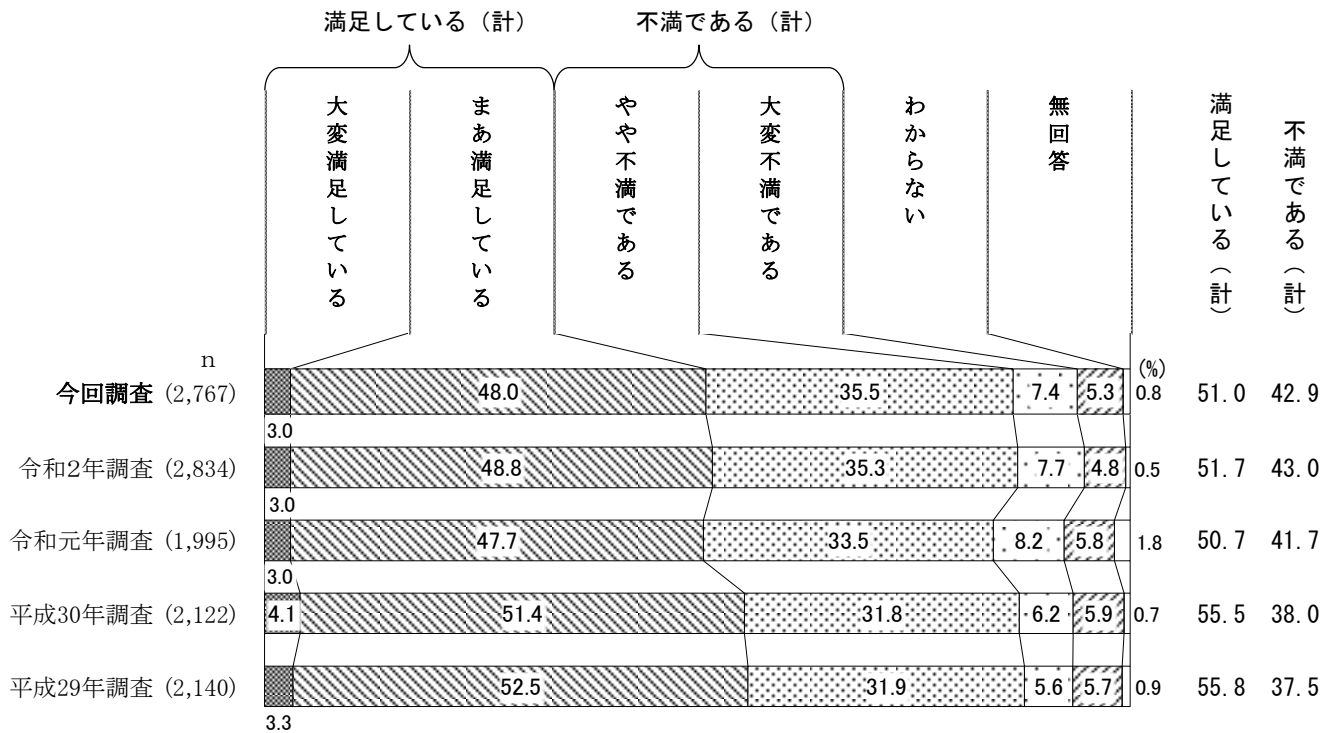
○生活程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答	(%)		
										上（計）	中（計）	下（計）
全体	2,767	0.4	1.8	29.6	33.9	13.5	4.7	15.4	0.7	2.2	63.5	18.1
地域別												
南部地域	268	-	0.4	28.7	36.9	15.3	4.5	12.7	1.5	0.4	65.7	19.8
南西部地域	259	0.4	0.8	30.1	30.1	12.7	5.8	19.3	0.8	1.2	60.2	18.5
東部地域	410	0.7	3.2	27.8	35.9	12.2	5.4	14.4	0.5	3.9	63.7	17.6
さいたま地域	482	1.2	2.3	32.4	32.6	13.1	3.9	14.1	0.4	3.5	64.9	17.0
県央地域	218	0.5	0.5	28.9	37.2	11.9	3.2	17.0	0.9	0.9	66.1	15.1
川越比企地域	293	-	2.0	31.4	31.1	12.6	4.1	17.7	1.0	2.0	62.5	16.7
西部地域	299	-	1.7	29.8	31.4	15.1	5.0	16.1	1.0	1.7	61.2	20.1
利根地域	245	-	0.4	29.4	35.9	14.3	4.9	15.1	-	0.4	65.3	19.2
北部地域	203	-	3.4	28.1	38.9	14.3	3.0	11.3	1.0	3.4	67.0	17.2
秩父地域	40	-	2.5	27.5	17.5	25.0	5.0	22.5	-	2.5	45.0	30.0
性・年代別												
男性／18・19歳	28	3.6	7.1	53.6	25.0	-	3.6	7.1	-	10.7	78.6	3.6
20歳代	91	2.2	1.1	36.3	29.7	14.3	2.2	14.3	-	3.3	65.9	16.5
【再掲】10歳代・20歳代	119	2.5	2.5	40.3	28.6	10.9	2.5	12.6	-	5.0	68.9	13.4
30歳代	111	0.9	1.8	32.4	42.3	10.8	4.5	7.2	-	2.7	74.8	15.3
40歳代	173	-	1.7	32.4	26.6	15.6	5.8	17.9	-	1.7	59.0	21.4
50歳代	226	0.4	1.8	31.9	38.1	14.6	3.1	10.2	-	2.2	69.9	17.7
60歳代	215	0.9	1.9	27.0	41.9	11.6	3.7	13.0	-	2.8	68.8	15.3
70歳以上	286	-	1.7	25.5	37.4	15.0	5.2	14.0	1.0	1.7	62.9	20.3
女性／18・19歳	25	4.0	4.0	40.0	28.0	-	4.0	20.0	-	8.0	68.0	4.0
20歳代	137	0.7	2.9	45.3	26.3	6.6	3.6	13.9	0.7	3.6	71.5	10.2
【再掲】10歳代・20歳代	162	1.2	3.1	44.4	26.5	5.6	3.7	14.8	0.6	4.3	71.0	9.3
30歳代	205	0.5	-	28.8	35.1	13.7	7.3	14.1	0.5	0.5	63.9	21.0
40歳代	308	-	1.9	30.2	33.8	14.0	2.6	17.5	-	1.9	64.0	16.6
50歳代	298	-	2.0	30.9	32.6	14.4	3.7	16.1	0.3	2.0	63.4	18.1
60歳代	255	0.4	1.6	25.5	31.0	16.1	5.5	18.0	2.0	2.0	56.5	21.6
70歳以上	352	-	2.0	24.4	31.8	14.5	6.0	19.3	2.0	2.0	56.3	20.5
職業別												
自営業・家族従業（計）	242	0.4	1.7	29.8	37.2	14.0	4.5	11.6	0.8	2.1	66.9	18.6
雇用者（計）	1,461	0.3	1.7	30.7	35.4	13.6	3.7	14.5	0.2	2.0	66.1	17.2
無職（計）	1,006	0.6	1.9	28.5	31.1	13.7	5.7	17.1	1.4	2.5	59.6	19.4
ライフステージ別												
独身期	327	0.9	2.4	38.8	28.4	11.6	4.3	13.1	0.3	3.4	67.3	15.9
家族形成期	215	1.4	1.4	35.3	41.4	6.0	4.7	9.3	0.5	2.8	76.7	10.7
家族成長前期	245	-	1.6	31.4	34.7	11.4	2.9	18.0	-	1.6	66.1	14.3
家族成長後期	232	-	3.4	38.4	31.0	9.1	4.3	13.8	-	3.4	69.4	13.4
家族成熟期	463	-	2.4	31.3	38.2	12.7	2.8	12.1	0.4	2.4	69.5	15.6
高齢期	609	0.5	1.6	27.9	32.3	14.0	4.4	17.2	2.0	2.1	60.3	18.4
その他	676	0.3	0.9	20.1	33.1	19.1	7.1	18.8	0.6	1.2	53.3	26.2

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は51.0%、『不満である（計）』は42.9%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。
(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」（48.0%）が5割弱で最も高く、次いで「やや不満である」（35.5%）となっている。「大変満足している」（3.0%）と「まあ満足している」（48.0%）を合わせた『満足している（計）』（51.0%）は5割強、「大変不満である」（7.4%）と「やや不満である」（35.5%）を合わせた『不満である（計）』（42.9%）は4割強となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を8.1ポイント上回っている。

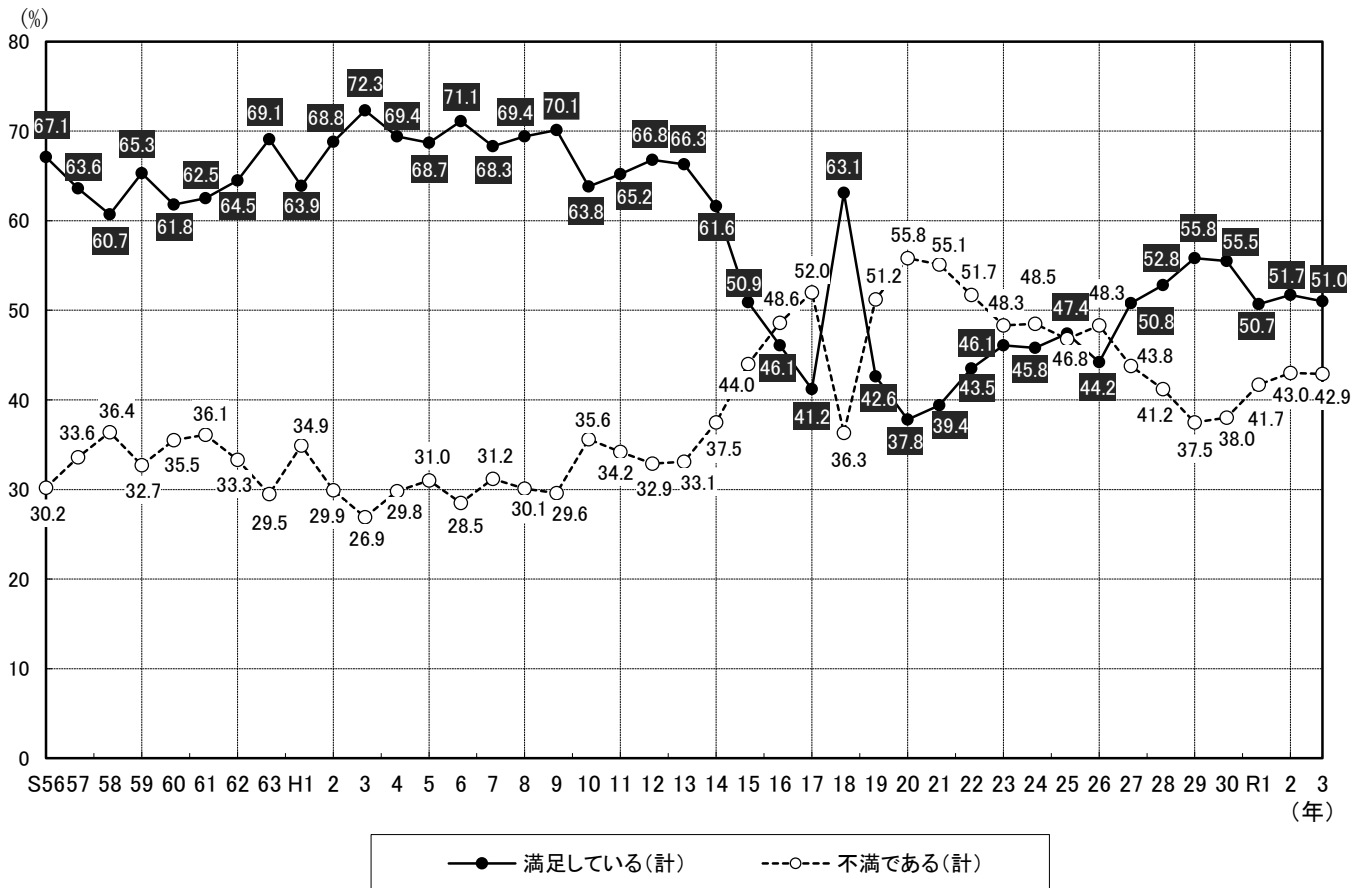
【過去調査との比較】

令和2年調査とほぼ同様の結果となっている。

【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、平成19年以降『満足である（計）』の割合が『満足している（計）』をおおむね上回る傾向にあったが、『満足している（計）』の割合が平成27年調査（50.8%）で5割を超えて逆転した。今回調査でも、『満足している（計）』（51.0%）が『不満である（計）』（42.9%）を7年連続、上回っている。

○生活全体の満足度・昭和56年以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

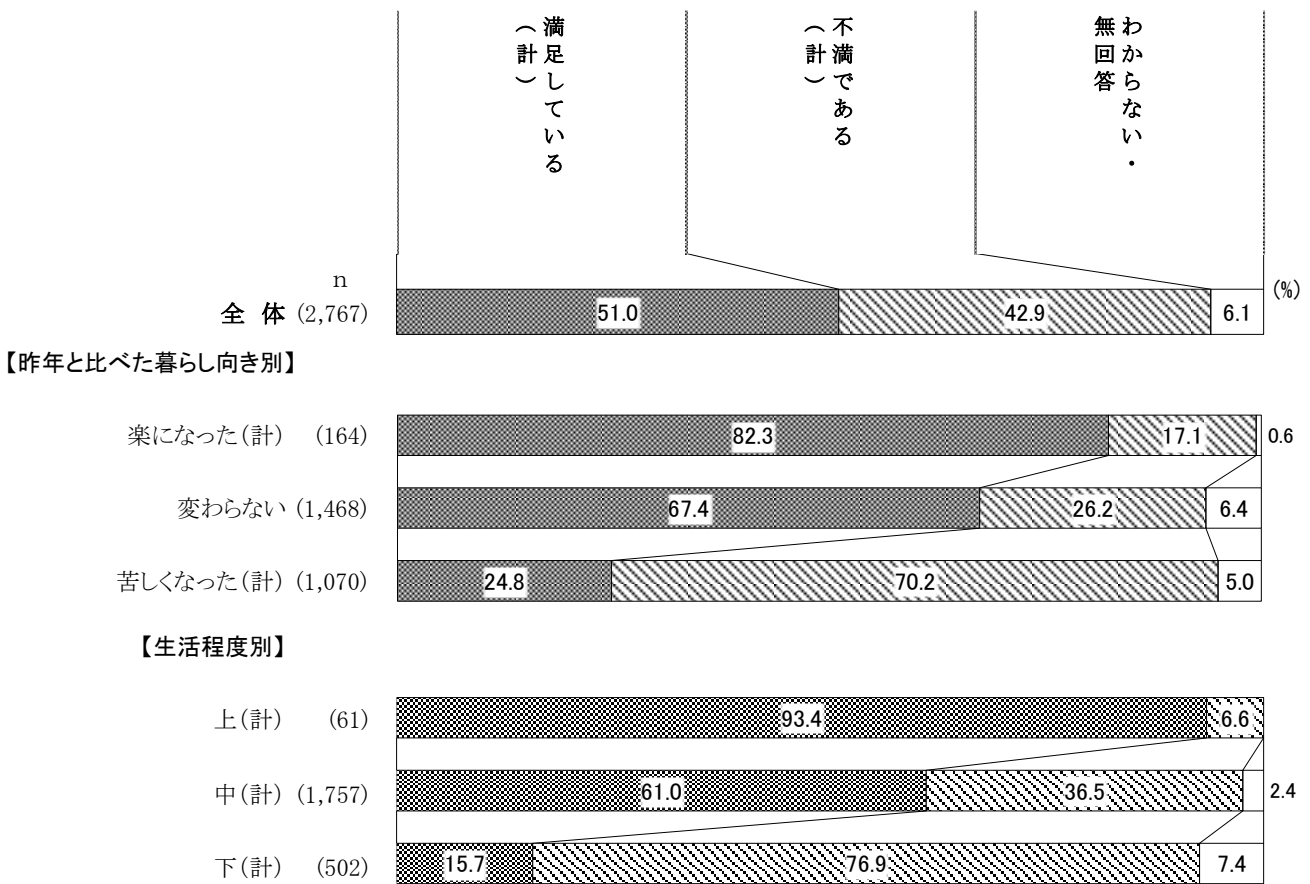
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は楽になった（計）では82.3%、変わらないでは67.4%と高くなっている。一方で、苦しくなった（計）では24.8%と低くなっている。

【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は上（計）では93.4%と高く、中（計）でも61.0%と6割強と高くなっている。一方で、下（計）では15.7%と低くなっている。

○生活全体の満足度・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【属性別比較】

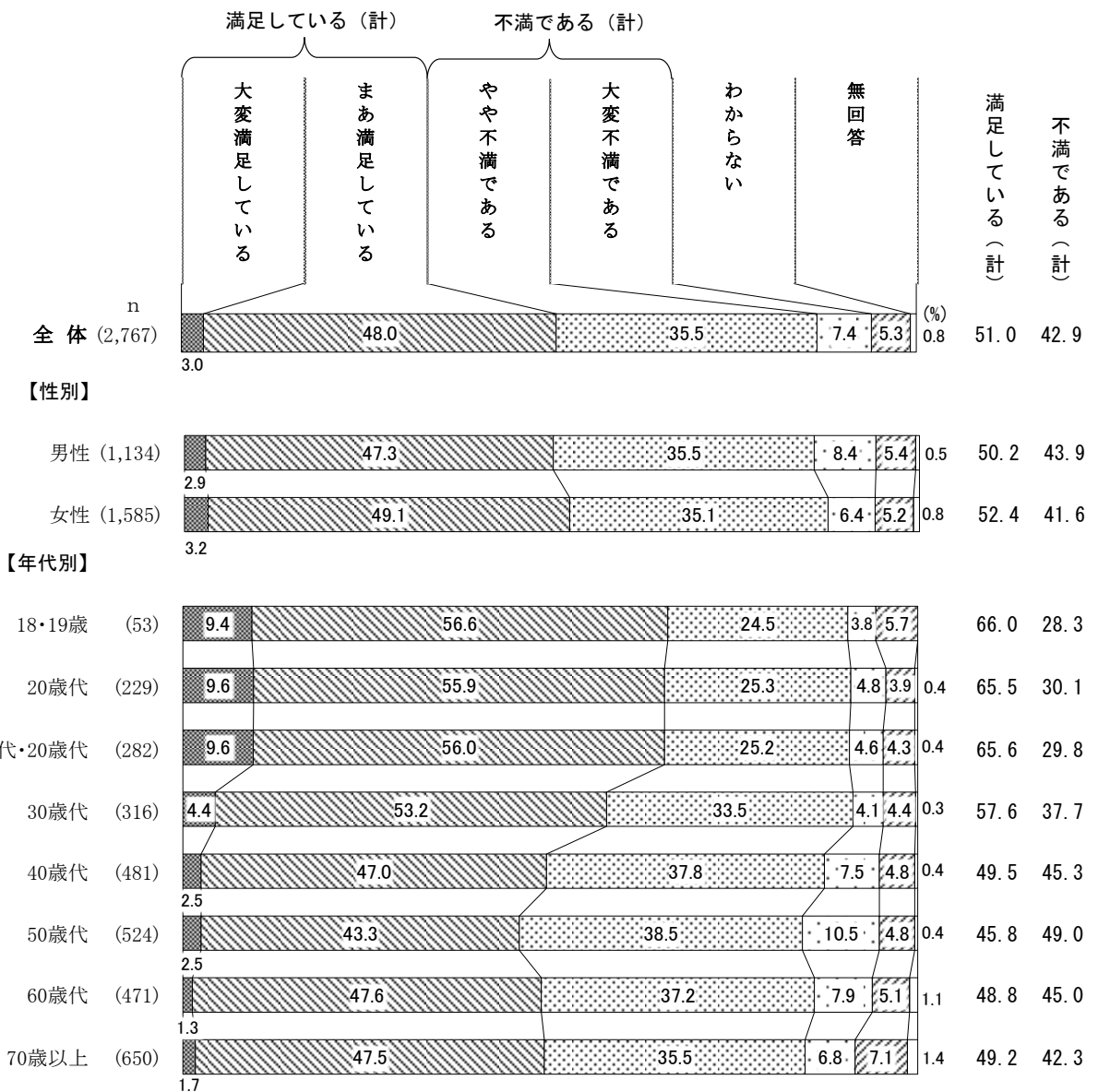
① 性別

『満足している（計）』は女性（52.4%）の方が男性（50.2%）よりも2.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（65.6%）で6割台半ばと最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は50歳代（49.0%）で約5割と高くなっている。

○生活全体の満足度・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は川越比企地域（55.6%）で5割台半ばと最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は南西部地域（47.1%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は女性10歳代・20歳代（66.0%）と男性10歳代・20歳代（65.5%）でおおむね6割台半ばと高くなっている。一方で、『不満である（計）』は男性50歳代（50.9%）と40歳代（48.6%）、女性50歳代（47.7%）で、『満足している（計）』を上回って高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は無職（計）（53.2%）で最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は自営業・家族従業（計）（47.1%）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（67.4%）で最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は家族成長後期（48.3%）とその他（49.6%）で『満足している（計）』より高くなっている。

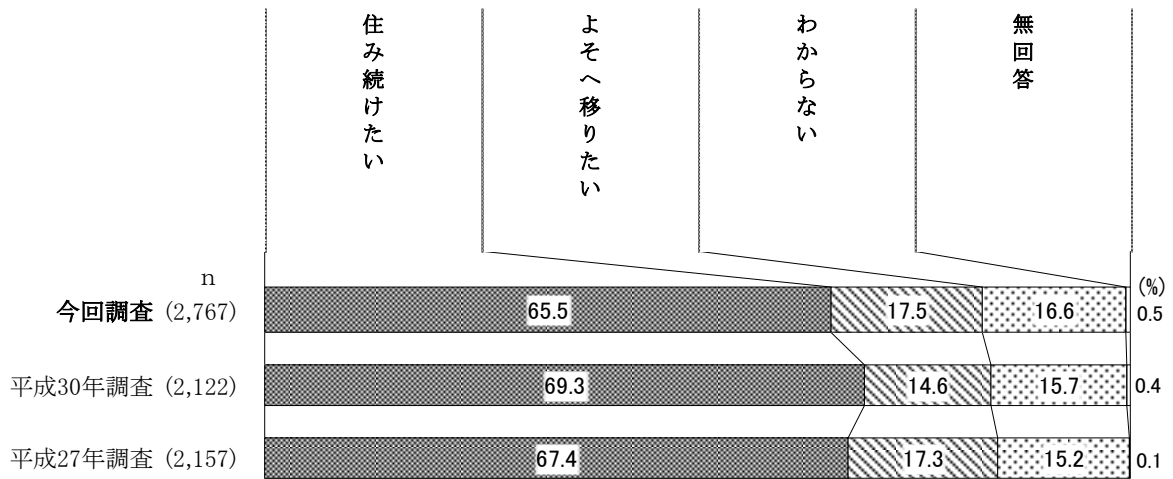
○生活全体の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	不満である（計）
全 体	2,767	3.0	48.0	35.5	7.4	5.3	0.8	51.0	42.9
地域別									
南部地域	268	3.0	44.4	35.8	9.7	5.2	1.9	47.4	45.5
南西部地域	259	3.5	42.5	35.9	11.2	5.4	1.5	45.9	47.1
東部地域	410	4.6	47.1	36.8	5.9	5.1	0.5	51.7	42.7
さいたま地域	482	3.1	52.1	33.8	6.2	4.6	0.2	55.2	40.0
県央地域	218	1.8	46.3	43.6	3.2	4.6	0.5	48.2	46.8
川越比企地域	293	4.8	50.9	29.0	6.8	7.8	0.7	55.6	35.8
西部地域	299	2.0	51.8	33.4	7.4	4.0	1.3	53.8	40.8
利根地域	245	2.0	46.5	36.7	7.8	6.9	-	48.6	44.5
北部地域	203	2.0	46.8	38.9	7.9	3.9	0.5	48.8	46.8
秩父地域	40	-	52.5	30.0	10.0	7.5	-	52.5	40.0
性・年代別									
男性／18・19歳	28	10.7	71.4	10.7	3.6	3.6	-	82.1	14.3
20歳代	91	7.7	52.7	29.7	6.6	3.3	-	60.4	36.3
【再掲】10歳代・20歳代	119	8.4	57.1	25.2	5.9	3.4	-	65.5	31.1
30歳代	111	5.4	55.9	29.7	4.5	4.5	-	61.3	34.2
40歳代	173	2.9	41.6	37.6	11.0	6.4	0.6	44.5	48.6
50歳代	226	3.1	41.2	37.6	13.3	4.9	-	44.2	50.9
60歳代	215	0.9	49.3	37.7	7.4	4.2	0.5	50.2	45.1
70歳以上	286	0.7	46.5	37.8	6.3	7.3	1.4	47.2	44.1
女性／18・19歳	25	8.0	40.0	40.0	4.0	8.0	-	48.0	44.0
20歳代	137	10.9	58.4	21.9	3.6	4.4	0.7	69.3	25.5
【再掲】10歳代・20歳代	162	10.5	55.6	24.7	3.7	4.9	0.6	66.0	28.4
30歳代	205	3.9	51.7	35.6	3.9	4.4	0.5	55.6	39.5
40歳代	308	2.3	50.0	38.0	5.5	3.9	0.3	52.3	43.5
50歳代	298	2.0	45.0	39.3	8.4	4.7	0.7	47.0	47.7
60歳代	255	1.6	46.3	36.5	8.2	5.9	1.6	47.8	44.7
70歳以上	352	2.6	49.4	33.0	7.1	6.8	1.1	52.0	40.1
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	1.7	45.9	37.2	9.9	5.4	-	47.5	47.1
雇用者（計）	1,461	2.7	47.9	37.4	7.3	4.1	0.5	50.7	44.8
無職（計）	1,006	4.0	49.2	32.2	6.6	6.9	1.2	53.2	38.8
ライフステージ別									
独身期	327	7.0	53.5	27.8	5.5	5.5	0.6	60.6	33.3
家族形成期	215	9.3	58.1	28.4	1.9	2.3	-	67.4	30.2
家族成長前期	245	1.6	50.2	36.7	6.5	4.9	-	51.8	43.3
家族成長後期	232	2.6	44.0	41.4	6.9	5.2	-	46.6	48.3
家族成熟期	463	1.9	48.2	38.2	8.2	2.8	0.6	50.1	46.4
高齢期	609	2.0	51.6	34.6	5.6	4.8	1.5	53.5	40.2
その他	676	1.5	39.3	38.0	11.5	8.6	1.0	40.8	49.6

(4) 定住意向

◇「住み続けたい」は65.5%、「よそへ移りたい」は17.5%

問4 あなたは、今お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。それとも、できればよそへ移りたいと思いますか。(○は1つだけ)



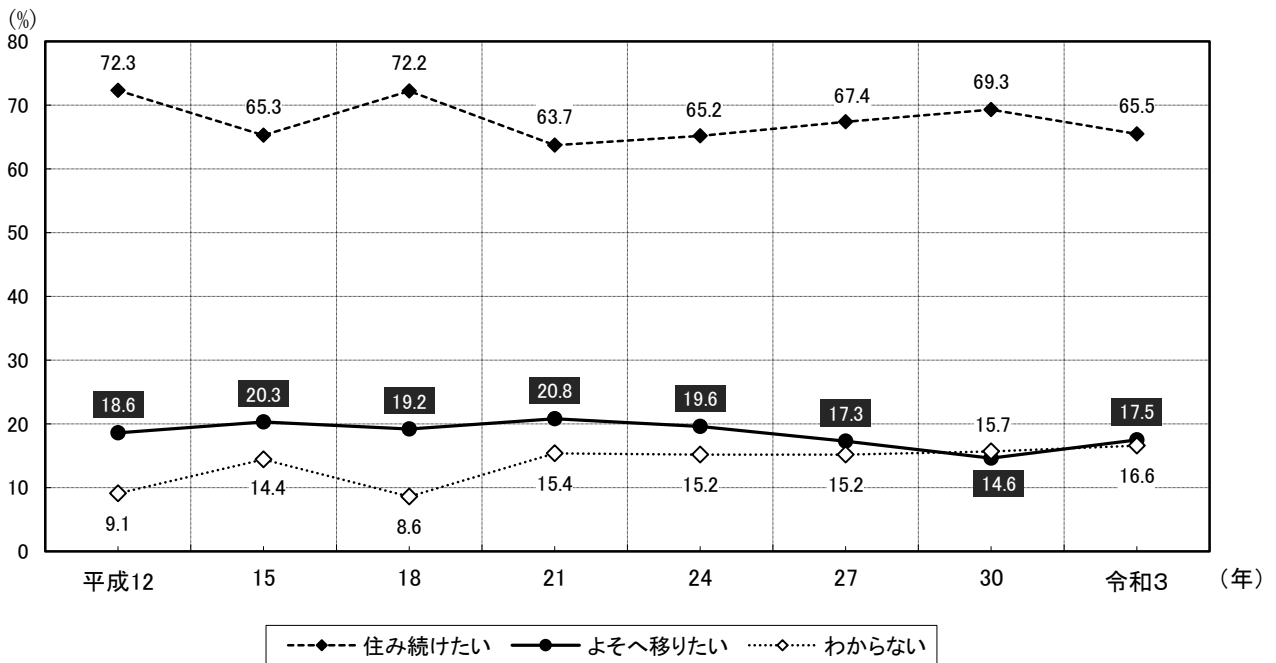
※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

居住地域に住み続ける意向は、「住み続けたい」(65.5%)が6割台半ばとなっている。

【経年比較】

「住み続けたい」が前回と比較して3.8ポイント減少した。一方で、「よそへ移りたい」は前回と比較して2.9ポイント増加した。

○定住意向・平成12年以降の推移



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、「住み続けたい」は変わらない（70.7%）で7割を超えている。一方で、「よそへ移りたい」は苦しくなった（計）（21.7%）で2割強となっている。

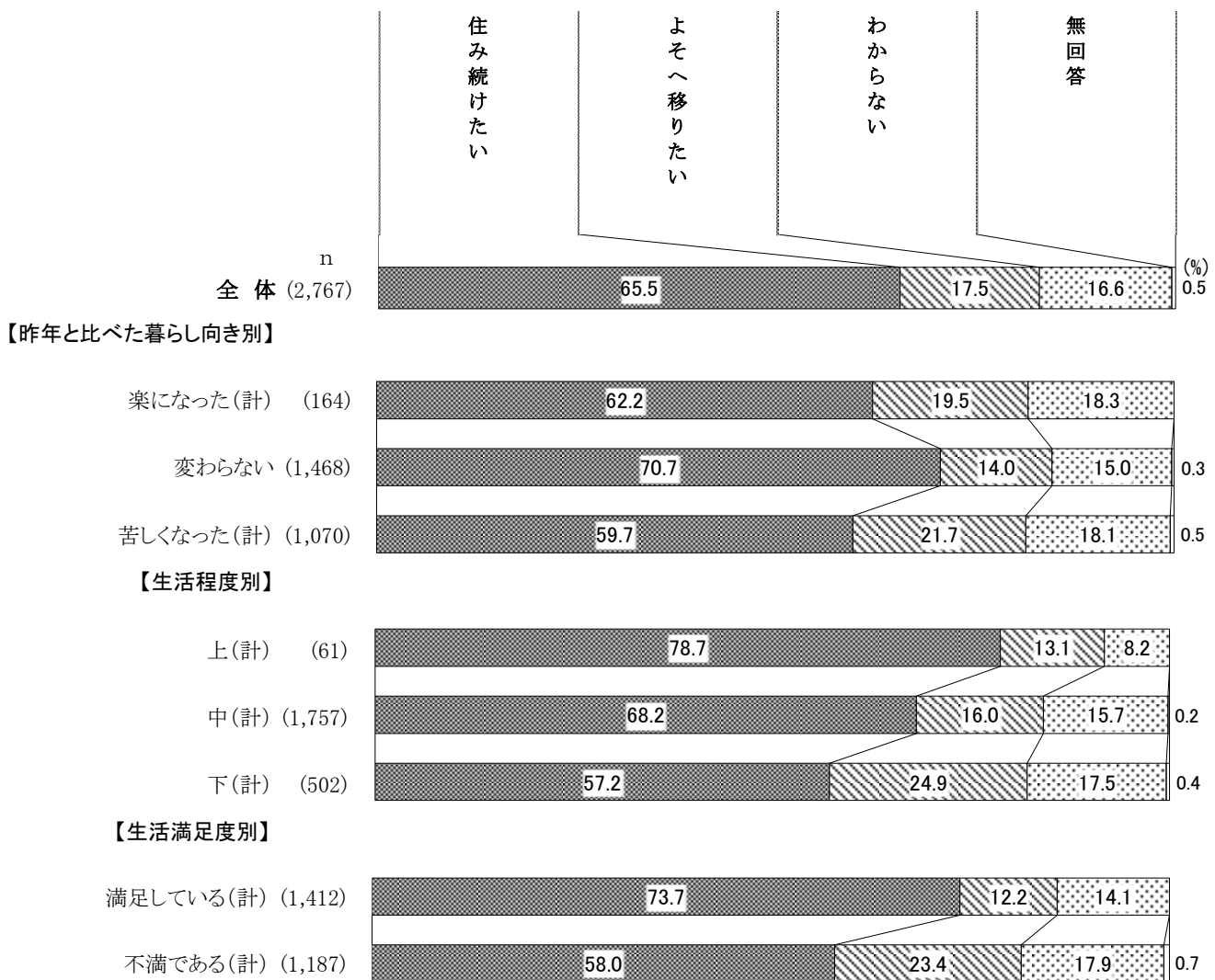
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、「住み続けたい」は上（計）（78.7%）で8割弱となっているが、下（計）（57.2%）では5割台後半にとどまっている。一方で、「よそへ移りたい」は下（計）（24.9%）で2割台半ばとなっている。

【生活満足度別】

問3の生活満足度別にみると、「住み続けたい」は満足している（計）（73.7%）で7割強となっているが、不満である（計）（58.0%）では5割台後半にとどまっている。一方で、「よそへ移りたい」は不満である（計）（23.4%）で2割強となっている。

○定住意向・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

① 地域別

「住み続けたい」は南部地域（68.3%）で7割弱と最も高くなっている。一方で、「よそへ移りたい」は南西部地域（23.9%）と秩父地域（22.5%）が、ともに2割強で他の地域に比べてやや高くなっている。

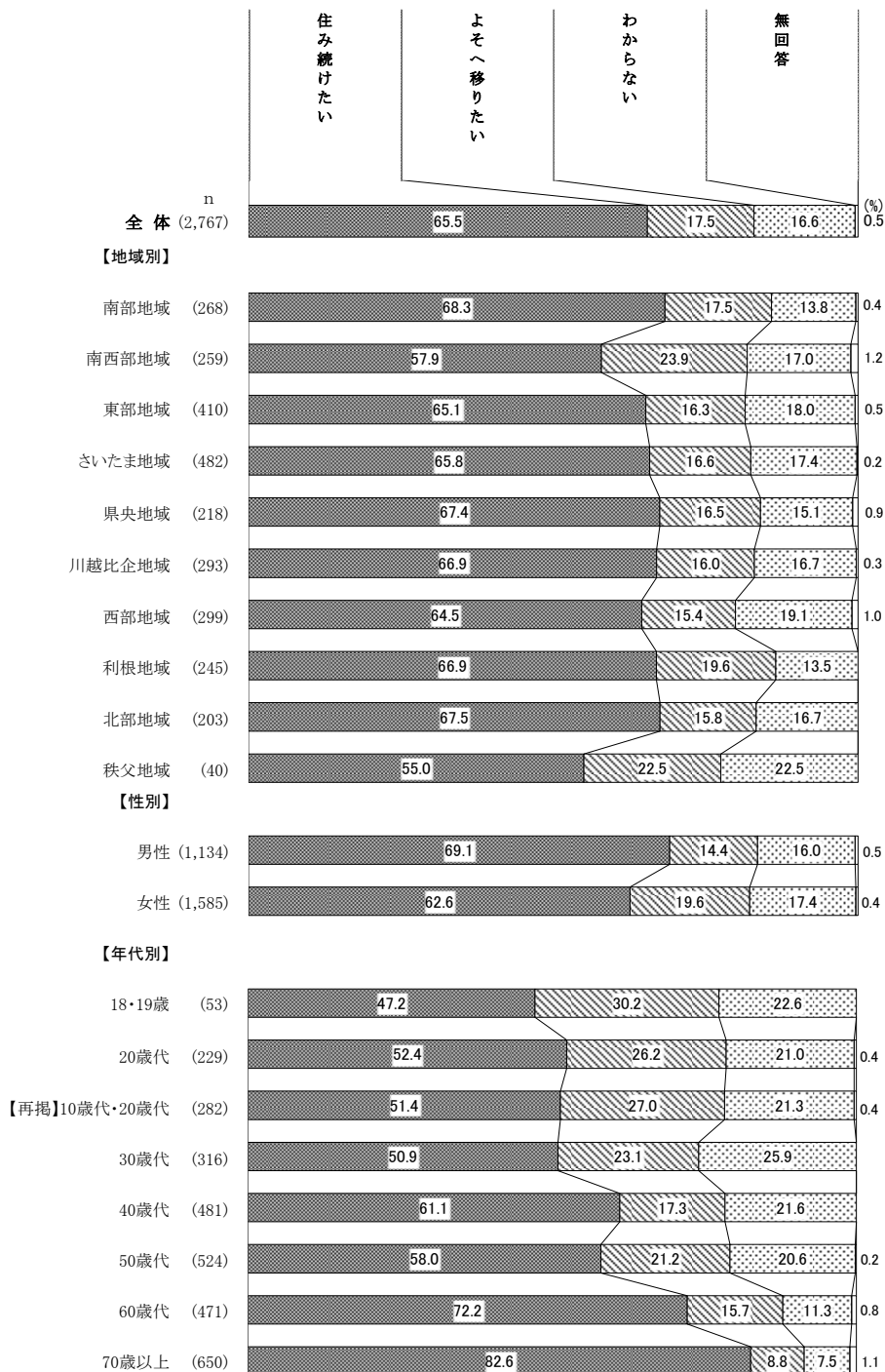
② 性別

「住み続けたい」は、男性（69.1%）の方が、女性（62.6%）よりも6.5ポイント高くなっている。

③ 年代別

「住み続けたい」は70歳以上（82.6%）で8割強と最も高い。一方で、「よそへ移りたい」は10歳代・20歳代（27.0%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

○定住意向・地域別／性別／年代別



④ 県内居住年数別

「住み続けたい」は居住年数が長いほど意向が高く、30年以上（73.3%）で7割強と最も高く、5年未満（43.0%）で4割強と開きがみられる。

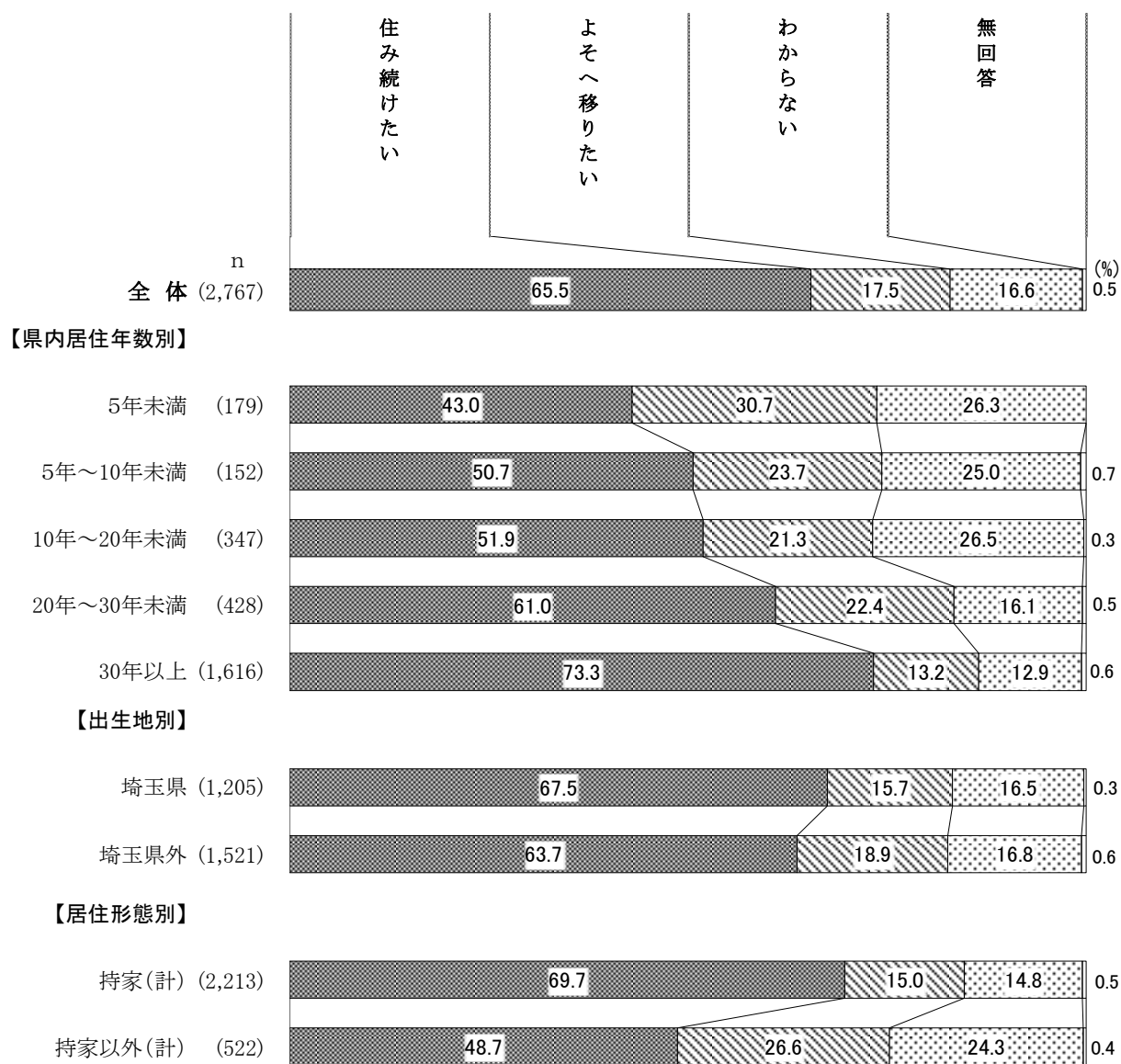
⑤ 出生地別

「住み続けたい」は埼玉県生まれの人（67.5%）の方が埼玉県外生まれの人（63.7%）よりも3.8ポイント高くなっている。

⑥ 居住形態別

「住み続けたい」は持家（計）（69.7%）の方が持家以外（計）（48.7%）よりも21.0ポイント高くなっている。

○定住意向・県内居住年数別／出生地別／居住形態別



⑦ 性・年代別

「住み続けたい」は男女ともに70歳以上（男性84.3%、女性81.5%）で8割台と高く、女性30歳代（45.4%）で4割台半ばと最も低くなっている。一方で、「よそへ移りたい」は女性10歳代・20歳代（29.0%）で約3割と最も高くなっている。

⑧ 職業別

「住み続けたい」は自営業・家族従業（計）（72.3%）で7割強と最も高くなっている。

⑨ ライフステージ別

「住み続けたい」は高齢期（80.6%）で8割を超えて最も高くなっている。一方で、「よそへ移りたい」は独身期（26.3%）と家族形成期（23.3%）で2割台と高くなっている。

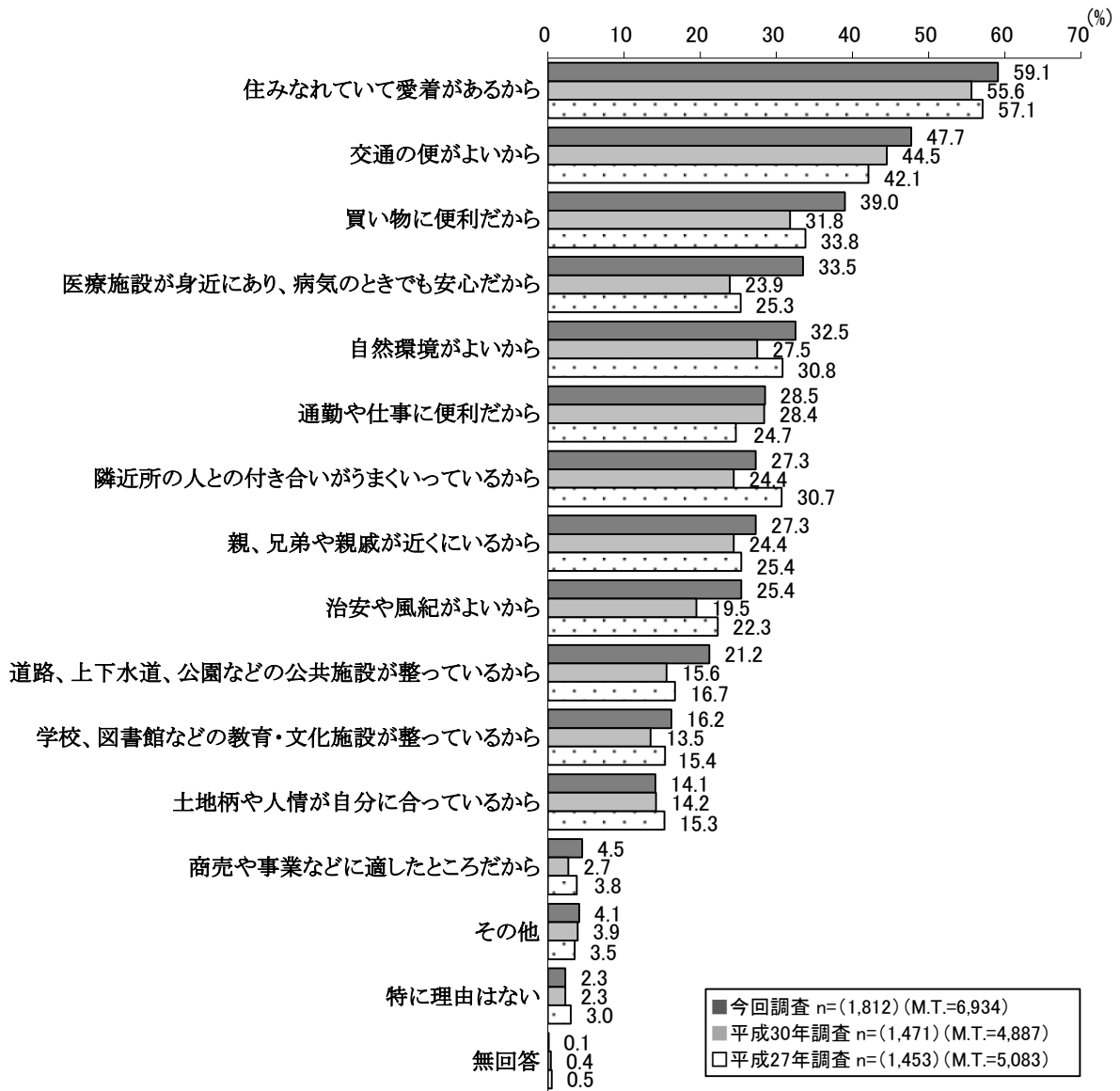
○定住意向・性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	住み続けたい	よそへ移りたい	わからない	無回答
全体	2,767	65.5	17.5	16.6	0.5
性・年代別					
男性／18・19歳	28	42.9	25.0	32.1	-
20歳代	91	57.1	24.2	18.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	53.8	24.4	21.8	-
30歳代	111	61.3	18.0	20.7	-
40歳代	173	61.3	16.8	22.0	-
50歳代	226	60.6	19.5	19.9	-
60歳代	215	76.7	12.1	10.7	0.5
70歳以上	286	84.3	4.9	9.1	1.7
女性／18・19歳	25	52.0	36.0	12.0	-
20歳代	137	48.9	27.7	22.6	0.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	49.4	29.0	21.0	0.6
30歳代	205	45.4	25.9	28.8	-
40歳代	308	61.0	17.5	21.4	-
50歳代	298	56.0	22.5	21.1	0.3
60歳代	255	68.2	18.8	11.8	1.2
70歳以上	352	81.5	11.6	6.3	0.6
職業別					
自営業・家族従業（計）	242	72.3	13.6	13.2	0.8
雇用者（計）	1,461	60.4	19.8	19.8	0.1
無職（計）	1,006	70.8	15.2	13.1	0.9
ライフステージ別					
独身期	327	49.8	26.3	23.9	-
家族形成期	215	58.1	23.3	18.1	0.5
家族成長前期	245	59.6	15.9	24.5	-
家族成長後期	232	56.5	21.1	22.4	-
家族成熟期	463	70.8	17.1	11.9	0.2
高齢期	609	80.6	9.5	8.9	1.0
その他	676	63.3	18.0	17.9	0.7

(4-1) 定住したい理由

◇「住みなれていて愛着があるから」が59.1%

(問4で「1. 住み続けたい」とお答えの方にお伺いします。)
 問4-1 今お住まいの地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

定住したい理由は、「住みなれていて愛着があるから」(59.1%)が約6割と最も高く、次いで「交通の便がよいから」(47.7%)、「買い物に便利だから」(39.0%)、「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」(33.5%)、「自然環境がよいから」(32.5%)、「通勤や仕事に便利だから」(28.5%)、「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」(27.3%)、「親、兄弟や親戚が近くにいるから」(27.3%)、「治安や風紀がよいから」(25.4%)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから」(21.2%)などとなっている。

定住したい理由で高かった回答の上位10位と、前回（平成30年調査）の順位は次のようになっている。

		今 回	前回（平成30年調査）		増減差
1位	住みなれていて愛着があるから	59.1%	55.6%	（1位）	3.5
2位	交通の便がよいから	47.7	44.5	（2位）	3.2
3位	買い物に便利だから	39.0	31.8	（3位）	7.2
4位	医療施設が身近にあり、病気の時 でも安心だから	33.5	23.9	（8位）	9.6
5位	自然環境がよいから	32.5	27.5	（5位）	5.0
6位	通勤や仕事に便利だから	28.5	28.4	（4位）	0.1
7位	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから	27.3	24.4	（6位）	2.9
7位	親、兄弟や親戚が近くにいるから	27.3	24.4	（6位）	2.9
9位	治安や風紀がよいから	25.4	19.5	（9位）	5.9
10位	道路、上下水道、公園などの公共施 設が整っているから	21.2	15.6	（10位）	5.6

【平成30年調査との比較】

今回の上位10位を前回の平成30年調査と比較すると、「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」は8位から4位に順位を上げている。「通勤や仕事に便利だから」は4位から6位に順位を下げている。

前回との増減をみると、上位10位すべての項目で増加となっており、「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」（9.6ポイント増）、「買い物に便利だから」（7.2ポイント増）、「治安や風紀がよいから」（5.9ポイント増）、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから」（5.6ポイント増）、「自然環境がよいから」（5.0ポイント増）が5%以上の増加となっている。

【平成21年以降の上位10位の推移】

平成21年以降の5回の調査の上位10位の推移をみると、今回1位の「住みなれていて愛着があるから」と、2位の「交通の便がよいから」はそれぞれ5回連続で1位、2位となっている。3位の「買い物に便利だから」も3回連続3位となっている。今回4位に上昇している「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」は前回まで25%前後で推移していたが、今回33.5%と一気に10ポイント程増加している。「通勤や仕事に便利だから」は前回4位から今回6位に下降しているが、割合は28%半ばで大きい変動はない。

順位	平成21年	平成24年	平成27年	平成30年	令和3年
1	住みなれていて愛着があるから 58.8%	住みなれていて愛着があるから 59.3%	住みなれていて愛着があるから 57.1%	住みなれていて愛着があるから 55.6%	住みなれていて愛着があるから 59.1%
2	交通の便がよいから 41.5%	交通の便がよいから 41.7%	交通の便がよいから 42.1%	交通の便がよいから 44.5%	交通の便がよいから 47.7%
3	自然環境がよいから 34.5%	自然環境がよいから 37.1%	買い物に便利だから 33.8%	買い物に便利だから 31.8%	買い物に便利だから 39.0%
4	買い物に便利だから 32.9%	買い物に便利だから 32.4%	自然環境がよいから 30.8%	通勤や仕事に便利だから 28.4%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 33.5%
5	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 28.7%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 29.1%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 30.7%	自然環境がよいから 27.5%	自然環境がよいから 32.5%
6	親、兄弟や親戚が近くにいるから 24.6%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 26.9%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 25.4%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 24.4%	通勤や仕事に便利だから 28.5%
7	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 24.2%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 24.8%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 25.3%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 24.4%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 27.3%
8	通勤や仕事に便利だから 22.7%	通勤や仕事に便利だから 24.3%	通勤や仕事に便利だから 24.7%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 23.9%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 27.3%
9	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 16.3%	治安や風紀がよいから 19.0%	治安や風紀がよいから 22.3%	治安や風紀がよいから 19.5%	治安や風紀がよいから 25.4%
10	治安や風紀がよいから 15.9%	土地がらや人情が自分に合っていることから 16.7%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 16.7%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 15.6%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 21.2%

【上位5位の推移】

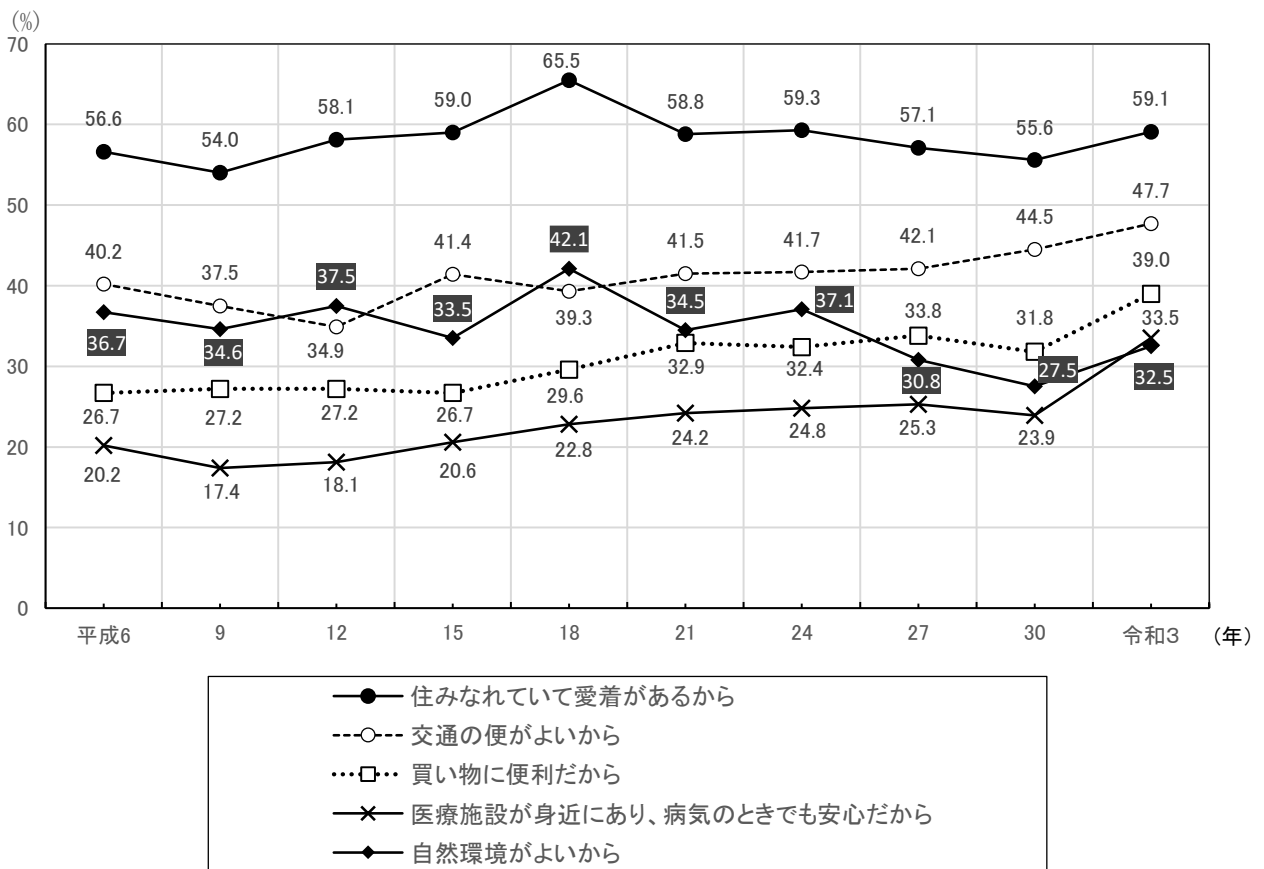
1位の「住みなれていて愛着があるから」は平成6年以降1位を維持している。前回は5割台半ばまで下がったが、今回は再び59.1%まで上昇した。

2位の「交通の便がよいから」は平成15年以降、おおむね4割台を維持しており、5回連続で上昇し今回は47.7%まで上がった。

3位の「買い物に便利だから」は平成21年以降3割台で推移していたが、今回は39.0%まで上がった。

4位の「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」は平成9年で17.4%だったが、以降6回連続で上昇を続け、前回はやや下がったものの、今回は大きく上昇し33.5%と初めて3割台となった。

5位の「自然環境がよいから」は前回で2割台に下げたが、今回は再び3割台まで上昇した。



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

① 地域別

1位はほとんどの地域が「住みなれていて愛着があるから」であり、さいたま地域のみ「交通の便がよいから」となっている。2位はさいたま地域以外の県南ゾーンと県央地域、川越比企地域で「交通の便がよいから」、西部地域、利根地域と県北ゾーンで「自然環境がよいから」となっている。3位は県南ゾーンと県央地域、川越比企地域で「買い物に便利だから」となっている。また、「通勤や仕事に便利だから」は県南ゾーンの全地域で5位以内に入っている。

※秩父地域（n=22）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

【属性別の上位5位】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=183)	住みなれていて愛着があるから 61.2%	交通の便がよいから 59.6%	買い物に便利だから 47.0%	通勤や仕事に便利だから 37.7%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 35.5%
南西部地域 (n=150)	住みなれていて愛着があるから 55.3%	交通の便がよいから 54.7%	買い物に便利だから 46.7%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 34.7%	通勤や仕事に便利だから 33.3%
東部地域 (n=267)	住みなれていて愛着があるから 54.3%	交通の便がよいから 49.1%	買い物に便利だから 43.8%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 31.5%	通勤や仕事に便利だから 28.8%
さいたま地域 (n=317)	交通の便がよいから 61.5%	住みなれていて愛着があるから 53.9%	買い物に便利だから 45.4%	治安や風紀がよいから 37.5%	通勤や仕事に便利だから 34.7%
県央地域 (n=147)	住みなれていて愛着があるから 54.4%	交通の便がよいから 33.3%	買い物に便利だから 31.3%	自然環境がよいから／親、兄弟や親戚が近くにいるから 30.6%	
川越比企地域 (n=196)	住みなれていて愛着があるから 60.7%	交通の便がよいから 48.0%	買い物に便利だから 40.8%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 36.7%	自然環境がよいから 35.7%
西部地域 (n=193)	住みなれていて愛着があるから 63.2%	自然環境がよいから 60.1%	交通の便がよいから 45.1%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 40.9%	買い物に便利だから 34.2%
利根地域 (n=164)	住みなれていて愛着があるから 67.1%	自然環境がよいから 40.9%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 36.0%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 34.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 34.1%
北部地域 (n=137)	住みなれていて愛着があるから 69.3%	自然環境がよいから 40.9%	交通の便がよいから／親、兄弟や親戚が近くにいるから 39.4%		隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 33.6%
秩父地域 (n=22)	住みなれていて愛着があるから 68.2%	自然環境がよいから 59.1%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 54.5%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 27.3%	治安や風紀がよいから／土地柄や人情が自分に合っているから 18.2%

② 性別

1位から3位までは男女とも同じだが、「自然環境がよいから」は男性で4位、女性で5位、「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」は男性で5位、女性で4位となっている。

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=784)	住みなれていて愛着があるから 60.6	交通の便がよいから 49.7	買い物に便利だから 38.4	自然環境がよいから 33.8	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 32.7
女性 (n=992)	住みなれていて愛着があるから 58.6	交通の便がよいから 47.0	買い物に便利だから 39.6	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 34.2	自然環境がよいから 31.6

③ 年代別

1位はすべての年代で「住みなれていて愛着があるから」となっている。2位は60歳代までは「交通の便がよいから」、70歳以上では「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」となっている。3位は50歳代までが「通勤や仕事に便利だから」、50歳代と60歳代で「買い物に便利だから」、70歳以上で「交通の便がよいから」となっている。

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18・19歳 (n=25)	住みなれていて愛着があるから 60.0%	交通の便がよいから 40.0%	買い物に便利だから 36.0%	通勤や仕事に便利だから 28.0%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 24.0%
20歳代 (n=120)	住みなれていて愛着があるから 56.7%	交通の便がよいから 53.3%	通勤や仕事に便利だから 38.3%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 35.8%	買い物に便利だから 31.7%
【再掲】 10歳代・20歳代 (n=145)	住みなれていて愛着があるから 57.2%	交通の便がよいから 51.0%	通勤や仕事に便利だから 36.6%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 33.8%	買い物に便利だから 32.4%
30歳代 (n=161)	住みなれていて愛着があるから 46.6%	交通の便がよいから 46.0%	通勤や仕事に便利だから 41.6%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 39.8%	買い物に便利だから 36.0%
40歳代 (n=294)	住みなれていて愛着があるから 53.4%	交通の便がよいから 47.6%	通勤や仕事に便利だから 45.2%	買い物に便利だから 36.1%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 35.4%
50歳代 (n=304)	住みなれていて愛着があるから 56.6%	交通の便がよいから 51.0%	通勤や仕事に便利だから／ 買い物に便利だから 39.1%		自然環境がよいから ／医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 28.9%
60歳代 (n=340)	住みなれていて愛着があるから 65.6%	交通の便がよいから 45.6%	買い物に便利だから 38.5%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 35.3%	自然環境がよいから 34.1%
70歳以上 (n=537)	住みなれていて愛着があるから 64.8%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 49.5%	交通の便がよいから 48.0%	買い物に便利だから 44.1%	自然環境がよいから 42.6%

④ 性・年代別

1位はほとんどの層で「住みなれていて愛着があるから」となっているが、男性30歳代のみ「交通の便がよいから」が1位に挙げられている。2位は男女ともに60歳代までのほとんどの層で「交通の便がよいから」となっているが、男性30歳代では「通勤や仕事に便利だから」、女性30歳代では「親、兄弟や親戚が近くにいるから」、男女とも70歳以上では「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」となっている。

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【男性】 18・19歳 (n=12)	住みなれていて愛着があるから 66.7%	交通の便がよいから 58.3%	買い物に便利だから 41.7%	自然環境がよいから／通勤や仕事に便利だから 33.3%	
20歳代 (n=52)	住みなれていて愛着があるから 55.8%	交通の便がよいから 50.0%	治安や風紀がよいから 34.6%	通勤や仕事に便利だから／親、兄弟や親戚が近くにいるから 32.7%	
【再掲】 10歳代・20歳代 (n=64)	住みなれていて愛着があるから 57.8%	交通の便がよいから 51.6%	通勤や仕事に便利だから／治安や風紀がよいから 32.8%		親、兄弟や親戚が近くにいるから 29.7%
30歳代 (n=68)	交通の便がよいから 60.3%	通勤や仕事に便利だから 45.6%	住みなれていて愛着があるから 41.2%	買い物に便利だから 39.7%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 38.2%
40歳代 (n=106)	住みなれていて愛着があるから 54.7%	交通の便がよいから 49.1%	通勤や仕事に便利だから 45.3%	買い物に便利だから 36.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 33.0%
50歳代 (n=137)	住みなれていて愛着があるから 61.3%	交通の便がよいから 52.6%	通勤や仕事に便利だから 37.2%	買い物に便利だから 35.0%	自然環境がよいから 32.1%
60歳代 (n=165)	住みなれていて愛着があるから 70.3%	交通の便がよいから 45.5%	自然環境がよいから／買い物に便利だから 35.8%		医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 32.7%
70歳以上 (n=241)	住みなれていて愛着があるから 62.2%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 49.4%	交通の便がよいから 47.7%	買い物に便利だから 45.2%	自然環境がよいから／隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 41.5%
【女性】 18・19歳 (n=13)	住みなれていて愛着があるから 53.8%	買い物に便利だから／親、兄弟や親戚が近くにいるから 30.8%		交通の便がよいから／通勤や仕事に便利だから／隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 23.1%	
20歳代 (n=67)	住みなれていて愛着があるから 58.2%	交通の便がよいから 55.2%	通勤や仕事に便利だから 41.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 38.8%	買い物に便利だから 37.3%
【再掲】 10歳代・20歳代 (n=80)	住みなれていて愛着があるから 57.5%	交通の便がよいから 50.0%	通勤や仕事に便利だから 38.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 37.5%	買い物に便利だから 36.3%
30歳代 (n=93)	住みなれていて愛着があるから 50.5%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 40.9%	通勤や仕事に便利だから 38.7%	交通の便がよいから 35.5%	買い物に便利だから 33.3%
40歳代 (n=188)	住みなれていて愛着があるから 52.7%	交通の便がよいから 46.8%	通勤や仕事に便利だから 45.2%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 36.7%	買い物に便利だから 35.6%
50歳代 (n=167)	住みなれていて愛着があるから 52.7%	交通の便がよいから 49.7%	買い物に便利だから 42.5%	通勤や仕事に便利だから 40.7%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 27.5%
60歳代 (n=174)	住みなれていて愛着があるから 60.9%	交通の便がよいから 45.4%	買い物に便利だから 40.8%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 37.9%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 37.4%
70歳以上 (n=287)	住みなれていて愛着があるから 67.6%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 49.8%	交通の便がよいから 49.1%	自然環境がよいから 44.3%	買い物に便利だから 43.2%

⑤ 職業別

1位はいずれも「住みなれていて愛着があるから」となっている。2位は雇用者（計）と無職（計）で「交通の便がよいから」、自営業・家族従業（計）は「自然環境がよいから」となっている。3位は自営業・家族従業（計）で「交通の便がよいから」、雇用者（計）で「通勤や仕事に便利だから」、無職（計）で「医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから」となっている。

■職業別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
自営業・家族従業（計） （n=175）	住みなれていて愛着があるから 68.0%	自然環境がよいから 43.4%	交通の便がよいから 40.6%	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから 39.4%	買い物に便利だから 33.7%
雇用者（計） （n=882）	住みなれていて愛着があるから 56.0%	交通の便がよいから 49.8%	通勤や仕事に便利だから 45.7%	買い物に便利だから 37.9%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 29.0%
無職（計） （n=712）	住みなれていて愛着があるから 61.5%	交通の便がよいから 47.5%	医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから／ 買い物に便利だから 42.0%	自然環境がよいから 34.6%	

⑥ 県内居住年数別

1位は20年未満で「交通の便がよいから」、20年以上で「住みなれていて愛着があるから」と居住20年を境に差が見られる。2位は10年未満で「買い物に便利だから」、10年～20年未満で「通勤や仕事に便利だから」、20年以上で「交通の便がよいから」となっている。

■県内居住年数別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
5年未満 （n=77）	交通の便がよいから 55.8%	買い物に便利だから 40.3%	通勤や仕事に便利だから 35.1%	自然環境がよいから 26.0%	治安や風紀がよいから 24.7%
5年～10年未満 （n=77）	交通の便がよいから 55.8%	買い物に便利だから 51.9%	医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから 41.6%	通勤や仕事に便利だから 35.1%	治安や風紀がよいから 33.8%
10年～20年未満 （n=180）	交通の便がよいから 56.7%	通勤や仕事に便利だから 46.1%	買い物に便利だから 44.4%	住みなれていて愛着があるから 38.3%	自然環境がよいから／ 医療施設が身近にあり、 病気のと看でも安心だから 28.9%
20年～30年未満 （n=261）	住みなれていて愛着があるから 57.9%	交通の便がよいから 47.5%	通勤や仕事に便利だから 36.4%	買い物に便利だから 36.0%	自然環境がよいから／ 親、兄弟や親戚が近くにいるから 26.4%
30年以上 （n=1,184）	住みなれていて愛着があるから 67.6%	交通の便がよいから 45.9%	買い物に便利だから 38.2%	医療施設が身近にあり、 病気のと看でも安心だから 36.7%	自然環境がよいから 35.2%

⑦ 居住形態別

持家（計）と持家以外（計）の上位3位を比較すると、持家（計）では、「住みなれていて愛着があるから」（60.6%）、「交通の便がよいから」（45.6%）、「買い物に便利だから」（37.9%）の順となっており、持家以外（計）では、「交通の便がよいから」（61.8%）が1位で、次いで「住みなれていて愛着があるから」（49.6%）、「買い物に便利だから」（46.1%）の順となっている。

持家（計）の内訳をみると、持家（一戸建）の上位3位は、「住みなれていて愛着があるから」、「交通の便がよいから」、「自然環境がよいから」と愛着や自然環境が挙げられており、持家（分譲マンションなど集合住宅）の上位3位は、「交通の便がよいから」、「買い物に便利だから」、「住みなれていて愛着があるから」と利便性が挙げられている。

持家以外（計）の内訳をみると、民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）の上位3位は、「交通の便がよいから」、「通勤や仕事に便利だから」、「買い物に便利だから」とすべて利便性が挙げられており、UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパートの上位3位は、「住みなれていて愛着があるから」、「交通の便がよいから」、「買い物に便利だから」と愛着が1位に挙げられているのが特徴的となっている。

■居住形態別（抜粋）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
持家（計） （n=1,542）	住みなれていて愛着があるから 60.6%	交通の便がよいから 45.6%	買い物に便利だから 37.9%	自然環境がよいから／医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 33.9%	
持家 （一戸建） （n=1,303）	住みなれていて愛着があるから 62.2%	交通の便がよいから 41.7%	自然環境がよいから 34.9%	買い物に便利だから 34.5%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 32.5%
持家（分譲マンションなど集合住宅） （n=239）	交通の便がよいから 66.9%	買い物に便利だから 56.5%	住みなれていて愛着があるから 51.9%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 45.2%	通勤や仕事に便利だから 32.6%
持家以外（計） （n=254）	交通の便がよいから 61.8%	住みなれていて愛着があるから 49.6%	買い物に便利だから 46.1%	通勤や仕事に便利だから 43.3%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 31.5%
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など） （n=183）	交通の便がよいから 65.6%	通勤や仕事に便利だから 49.7%	買い物に便利だから 47.0%	住みなれていて愛着があるから 46.4%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 30.6%
UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート （n=49）	住みなれていて愛着があるから 65.3%	交通の便がよいから 53.1%	買い物に便利だから 42.9%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 40.8%	自然環境がよいから 36.7%

○定住したい理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／県内居住年数別
／居住形態別

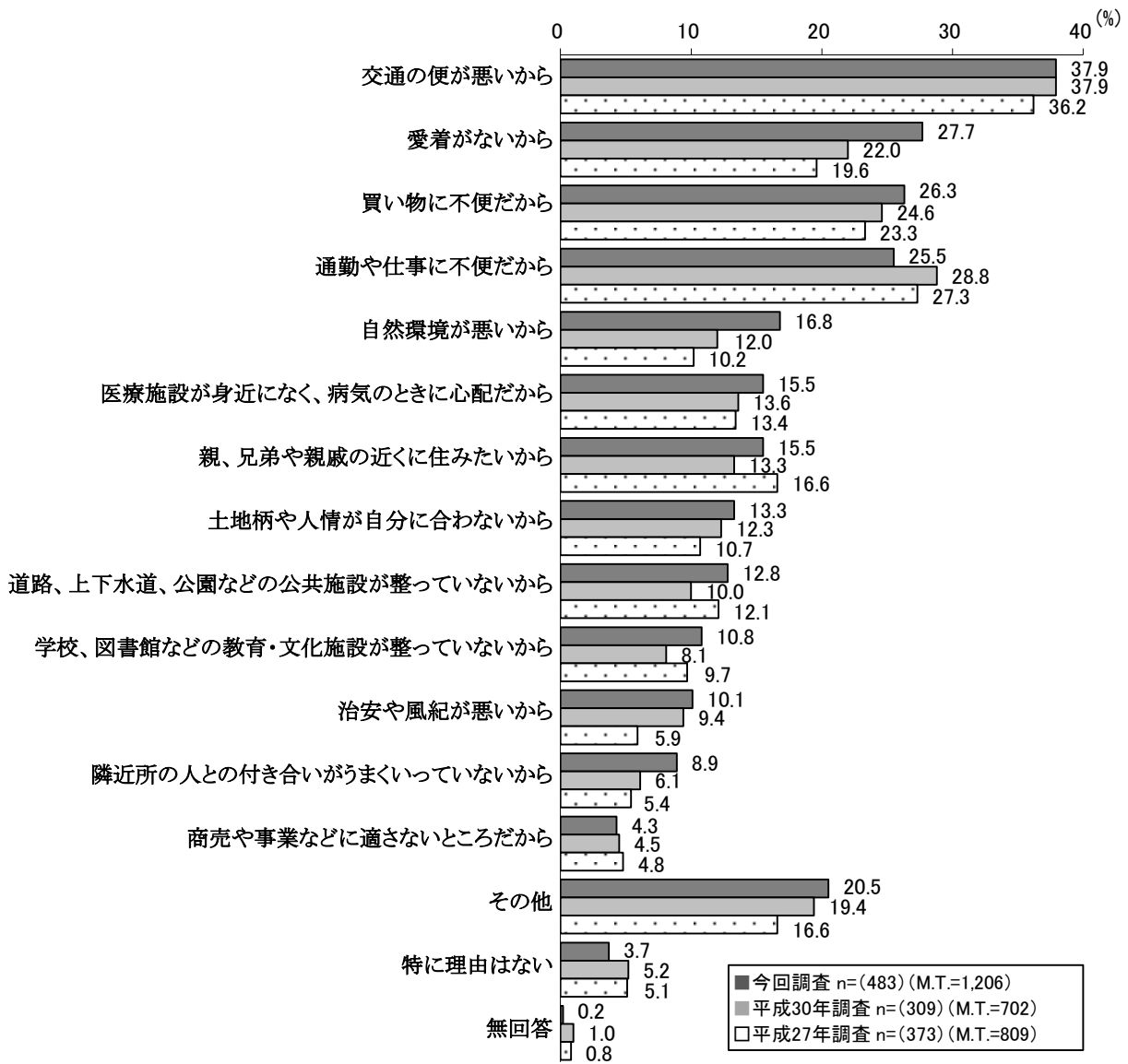
(%)

	調査数	住みなれていて愛着があるか	交通の便がよいから	買い物に便利だから	医療施設が身近にあり、病気が	自然環境がよいから	通勤や仕事に便利だから	隣近所の人との付き合いがう	ま	か	親	治安や風紀がよいから	公共施設が整っているから	道路、上下水道、公園などの	学校、図書館などの教育・文	化施設が整っているから	いるから	土地柄や人情が自分に合っ	る	商売や事業などに適したとこ	その他	特に理由はない	無回答
	n																						
全体	1,812	59.1	47.7	39.0	33.5	32.5	28.5	27.3	27.3	25.4	21.2	16.2	14.1	4.5	4.1	2.3	0.1						
地域別																							
南部地域	183	61.2	59.6	47.0	35.5	18.6	37.7	26.2	25.1	13.1	31.1	18.0	12.0	4.9	4.9	0.5	-						
南西部地域	150	55.3	54.7	46.7	34.7	20.0	33.3	26.0	22.7	21.3	18.0	12.7	18.0	5.3	1.3	4.7	-						
東部地域	267	54.3	49.1	43.8	31.5	21.7	28.8	21.7	23.6	18.4	15.7	10.9	10.5	4.1	2.6	1.9	-						
さいたま地域	317	53.9	61.5	45.4	34.1	27.4	34.7	20.8	20.8	37.5	28.4	28.4	10.7	4.4	3.2	2.8	0.3						
県央地域	147	54.4	33.3	31.3	28.6	30.6	19.7	27.9	30.6	24.5	19.0	13.6	11.6	4.8	4.8	2.7	0.7						
川越比企地域	196	60.7	48.0	40.8	36.7	35.7	28.6	28.6	31.6	28.6	18.9	14.8	20.9	5.6	5.1	2.0	-						
西部地域	193	63.2	45.1	34.2	40.9	60.1	23.8	32.6	23.8	31.6	20.7	15.5	11.4	4.7	5.7	1.6	-						
利根地域	164	67.1	31.1	28.0	34.8	40.9	18.9	36.0	34.1	23.8	12.8	9.1	18.3	0.6	3.7	1.2	-						
北部地域	137	69.3	39.4	27.0	25.5	40.9	26.3	33.6	39.4	21.9	20.4	17.5	15.3	6.6	5.1	0.7	-						
秩父地域	22	68.2	4.5	4.5	4.5	59.1	13.6	27.3	54.5	18.2	-	-	18.2	-	13.6	13.6	-						
性別																							
男性	784	60.6	49.7	38.4	32.7	33.8	27.8	24.4	25.6	26.8	24.0	16.2	15.1	5.5	4.1	2.2	-						
女性	992	58.6	47.0	39.6	34.2	31.6	29.3	29.6	28.7	24.5	18.6	16.6	13.4	3.6	3.9	2.2	0.1						
年代別																							
18・19歳	25	60.0	40.0	36.0	20.0	20.0	28.0	16.0	24.0	20.0	16.0	20.0	12.0	4.0	-	8.0	-						
20歳代	120	56.7	53.3	31.7	16.7	24.2	38.3	5.8	35.8	29.2	14.2	15.0	14.2	3.3	3.3	5.0	-						
【再掲】10歳代・20歳代	145	57.2	51.0	32.4	17.2	23.4	36.6	7.6	33.8	27.6	14.5	15.9	13.8	3.4	2.8	5.5	-						
30歳代	161	46.6	46.0	36.0	23.0	24.8	41.6	18.6	39.8	26.7	19.3	19.3	11.2	4.3	5.6	2.5	-						
40歳代	294	53.4	47.6	36.1	21.8	24.8	45.2	20.7	35.4	21.1	15.6	19.4	11.2	5.1	1.7	1.0	-						
50歳代	304	56.6	51.0	39.1	28.9	28.9	39.1	19.4	25.7	24.7	16.4	15.8	11.8	4.6	5.9	3.3	-						
60歳代	340	65.6	45.6	38.5	35.3	34.1	21.8	31.2	22.4	23.8	20.9	12.4	12.4	5.0	5.3	2.1	-						
70歳以上	537	64.8	48.0	44.1	49.5	42.6	11.7	41.2	21.4	28.7	29.2	16.8	18.8	3.9	3.5	1.5	0.2						
性・年代別																							
男性／18・19歳	12	66.7	58.3	41.7	25.0	33.3	33.3	8.3	16.7	25.0	25.0	25.0	8.3	-	-	8.3	-						
20歳代	52	55.8	50.0	25.0	13.5	23.1	32.7	7.7	32.7	34.6	19.2	17.3	11.5	5.8	3.8	11.5	-						
【再掲】10歳代・20歳代	64	57.8	51.6	28.1	15.6	25.0	32.8	7.8	29.7	32.8	20.3	18.8	10.9	4.7	3.1	10.9	-						
30歳代	68	41.2	60.3	39.7	25.0	22.1	45.6	10.3	38.2	29.4	17.6	13.2	10.3	5.9	5.9	-	-						
40歳代	106	54.7	49.1	36.8	12.3	28.3	45.3	13.2	33.0	19.8	17.0	17.9	10.4	6.6	2.8	1.9	-						
50歳代	137	61.3	52.6	35.0	30.7	32.1	37.2	18.2	24.1	23.4	20.4	19.0	15.3	7.3	4.4	2.9	-						
60歳代	165	70.3	45.5	35.8	32.7	35.8	20.0	24.2	20.0	26.1	22.4	11.5	13.3	5.5	4.8	1.2	-						
70歳以上	241	62.2	47.7	45.2	49.4	41.5	13.7	41.5	22.8	30.3	32.8	17.0	20.3	4.1	3.7	0.8	-						
女性／18・19歳	13	53.8	23.1	30.8	15.4	7.7	23.1	23.1	30.8	15.4	7.7	15.4	15.4	7.7	-	7.7	-						
20歳代	67	58.2	55.2	37.3	17.9	25.4	41.8	4.5	38.8	25.4	10.4	13.4	16.4	1.5	3.0	-	-						
【再掲】10歳代・20歳代	80	57.5	50.0	36.3	17.5	22.5	38.8	7.5	37.5	23.8	10.0	13.8	16.3	2.5	2.5	1.3	-						
30歳代	93	50.5	35.5	33.3	21.5	26.9	38.7	24.7	40.9	24.7	20.4	23.7	11.8	3.2	5.4	4.3	-						
40歳代	188	52.7	46.8	35.6	27.1	22.9	45.2	25.0	36.7	21.8	14.9	20.2	11.7	4.3	1.1	0.5	-						
50歳代	167	52.7	49.7	42.5	27.5	26.3	40.7	20.4	26.9	25.7	13.2	13.2	9.0	2.4	7.2	3.6	-						
60歳代	174	60.9	45.4	40.8	37.4	32.2	23.0	37.9	24.7	21.8	19.0	13.2	11.5	4.6	5.7	2.9	-						
70歳以上	287	67.6	49.1	43.2	49.8	44.3	10.5	41.1	20.9	27.5	26.1	17.1	18.1	3.8	2.8	1.7	0.3						
職業別																							
自営業・家族従業(計)	175	68.0	40.6	33.7	33.1	43.4	19.4	39.4	26.9	26.3	14.9	13.1	21.7	21.1	6.3	2.9	-						
雇用者(計)	882	56.0	49.8	37.9	26.4	28.0	45.7	19.7	29.0	24.5	18.4	15.8	12.1	3.3	4.5	2.0	-						
無職(計)	712	61.5	47.5	42.0	42.0	34.6	9.8	33.4	25.6	26.1	25.3	17.6	14.6	1.8	2.9	2.4	0.1						
県内居住年数別																							
5年未満	77	18.2	55.8	40.3	16.9	26.0	35.1	11.7	22.1	24.7	19.5	20.8	7.8	3.9	7.8	2.6	-						
5年～10年未満	77	26.0	55.8	51.9	41.6	22.1	35.1	16.9	18.2	33.8	24.7	26.0	13.0	5.2	2.6	3.9	-						
10年～20年未満	180	38.3	56.7	44.4	28.9	28.9	46.1	24.4	22.2	27.8	23.3	19.4	13.9	2.8	0.6	2.2	-						
20年～30年未満	261	57.9	47.5	36.0	25.3	26.4	36.4	16.9	26.4	25.3	17.2	16.5	12.6	5.4	3.8	3.4	-						
30年以上	1,184	67.6	45.9	38.2	36.7	35.2	23.4	31.6	29.1	24.6	21.4	14.9	14.7	4.5	4.5	1.9	0.2						
居住形態別																							
持家(計)	1,542	60.6	45.6	37.9	33.9	33.9	25.9	30.1	28.0	25.1	21.0	15.8	14.6	4.3	4.2	2.5	-						
持家(一戸建)	1,303	62.2	41.7	34.5	31.8	34.9	24.7	32.5	29.0	24.8	20.3	14.4	15.7	4.5	4.1	2.6	0.2						
持家(分譲マンションなど集合住宅)	239	51.9	66.9	56.5	45.2	28.0	32.6	16.7	22.2	26.8	25.1	23.8	8.8	3.3	5.0	1.7	-						
持家以外(計)	254	49.6	61.8	46.1	31.5	24.0	43.3	11.0	22.8	28.0	21.3	18.5	10.6	5.1	3.1	1.2	-						
民間の借家(賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)	183	46.4	65.6	47.0	30.6	20.2	49.7	9.8	23.5	30.1	19.1	17.5	10.9	5.5	3.3	1.1	-						
UR都市機構(旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート	49	65.3	53.1	42.9	40.8	36.7	24.5	14.3	22.4	22.4	26.5	16.3	8.2	4.1	4.1	-	-						
住宅・公務員住宅など給与住宅	16	31.3	50.0	43.8	18.8	12.5	43.8	12.5	12.5	25.0	31.3	37.5	12.5	6.3	-	6.3	-						
住み込み、寮、寄宿舎など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
その他	6	66.7	50.0	50.0	16.7	66.7	-	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-						

(4-2) 転出したい理由

◇「交通の便が悪いから」が37.9%

(問4で「2. よそへ移りたい」とお答えの方にお伺いします。)
 問4-2 今お住まいの地域からよそへ移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

今の地域からよその地域へ移り住みたいと思う理由は、「交通の便が悪いから」(37.9%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「愛着がないから」(27.7%)、「買い物に不便だから」(26.3%)、「通勤や仕事に不便だから」(25.5%)、「自然環境が悪いから」(16.8%)、「医療施設が身近になく、病気のときに心配だから」、「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」(各15.5%)、「土地柄や人情が自分に合わないから」(13.3%)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから」(12.8%)、「学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから」(10.8%)、「治安や風紀が悪いから」(10.1%) などとなっている。

転出したい理由で高かった回答の上位10位と、前回（平成30年調査）の順位は次のようになっている。

		今 回	前回（平成30年調査）		増減差
1位	交通の便が悪いから	37.9%	37.9%	（1位）	0.0
2位	愛着がないから	27.7	22.0	（4位）	5.7
3位	買い物に不便だから	26.3	24.6	（3位）	1.7
4位	通勤や仕事に不便だから	25.5	28.8	（2位）	△ 3.3
5位	自然環境が悪いから	16.8	12.0	（8位）	4.8
6位	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから	15.5	13.6	（5位）	1.9
6位	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから	15.5	13.3	（6位）	2.2
8位	土地柄や人情が自分に合わないから	13.3	12.3	（7位）	1.0
9位	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから	12.8	10.0	（9位）	2.8
10位	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから	10.8	8.1	（11位）	2.7

※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【平成30年調査との比較】

今回の上位10位と前回の平成30年調査を比較すると、「愛着がないから」が4位から2位に、「自然環境が悪いから」は8位から5位に順位を上げ、「学校、図書館などの教育、文化施設が整っていないから」が10位に入り込んでいる。一方、「通勤や仕事に不便だから」は2位から4位に順位を下げている。

前回との増減をみると、増加では「愛着がないから」が5.7ポイント増、「自然環境が悪いから」が4.8ポイント増とほとんどの項目で増加しているが、「通勤や仕事に不便だから」（3.3ポイント減）が上位10位のうち唯一減少となっている。

【平成21年以降の上位10位の推移】

平成21年以降の5回の調査の上位10位の推移をみると、「交通の便が悪いから」が5回連続で転出したい理由の1位となっている。2位の「愛着がないから」、3位の「買い物に不便だから」、4位の「通勤や仕事に不便だから」は順位の上下はあるものの、5回の調査すべてで2位から4位を維持している。「自然環境が悪いから」は平成21年・24年では6位だったが、平成27年9位、平成30年8位と順位を下げているが今回は5位に上昇している。また、今回6位の「医療施設が身近になく、病気のときに心配だから」は平成21年9位、平成24年8位だったが、直近3回の調査では6位5位6位と上昇している。

順位	平成21年	平成24年	平成27年	平成30年	令和3年
1	交通の便が悪いから 35.0%	交通の便が悪いから 28.6%	交通の便が悪いから 36.2%	交通の便が悪いから 37.9%	交通の便が悪いから 37.9%
2	通勤や仕事に不便だから 25.9%	愛着がないから 21.6%	通勤や仕事に不便だから 27.3%	通勤や仕事に不便だから 28.8%	愛着がないから 27.7%
3	買い物に不便だから 22.2%	通勤や仕事に不便だから 20.7%	買い物に不便だから 23.3%	買い物に不便だから 24.6%	買い物に不便だから 26.3%
4	愛着がないから 19.7%	買い物に不便だから 15.3%	愛着がないから 19.6%	愛着がないから 22.0%	通勤や仕事に不便だから 25.5%
5	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 15.6%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 14.9%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 16.6%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 13.6%	自然環境が悪いから 16.8%
6	自然環境が悪いから 15.0%	自然環境が悪いから 12.3%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 13.4%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 13.3%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 15.5%
7	土地がらや人情が自分に合わないから 15.0%	土地がらや人情が自分に合わないから 11.4%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 12.1%	土地がらや人情が自分に合わないから 12.3%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 13.3%
8	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 13.9%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 9.8%	土地がらや人情が自分に合わないから 10.7%	自然環境が悪いから 12.0%	土地柄や人情が自分に合わないから 12.8%
9	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 12.8%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 9.1%	自然環境が悪いから 10.2%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 10.0%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 12.8%
10	隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから 9.2%	治安や風紀が悪いから 7.4%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから 9.7%	治安や風紀が悪いから 9.4%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから 10.8%

【属性別比較】

① 地域別

1位は8地域で「交通の便が悪いから」となっている。また、南部地域では「買い物に不便だから」が同率1位、南西部地域では「自然環境が悪いから」、さいたま地域では「愛着がないから」となっている。2位は、東部、さいたま、北部の3地域で「通勤や仕事に不便だから」、川越比企、西部、利根の3地域で「買い物に不便だから」となっている。

※秩父地域（n=9）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

【属性別の上位5位】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=47)	交通の便が悪いから／ 買い物に不便だから 25.5%		治安や風紀が悪いから／ 愛着がないから 23.4%		通勤や仕事に不便 だから 19.1%
南西部地域 (n=62)	自然環境が悪いから 29.0%	親、兄弟や親戚の 近くに住みたいから 25.8%	交通の便が悪いから／ 通勤や仕事に不便だから 22.6%		愛着がないから 17.7%
東部地域 (n=67)	交通の便が悪いから 32.8%	通勤や仕事に不便 だから 31.3%	愛着がないから 28.4%	買い物に不便だか ら 22.4%	治安や風紀が悪い から 14.9%
さいたま地域 (n=80)	愛着がないから 40.0%	通勤や仕事に不便 だから 35.0%	交通の便が悪いから 28.8%	買い物に不便だか ら 21.3%	自然環境が悪いから 20.0%
県央地域 (n=36)	交通の便が悪いから 50.0%	愛着がないから 36.1%	買い物に不便だか ら 27.8%	通勤や仕事に不便 だから 25.0%	自然環境が悪いから／ 土地柄や人情 が自分に合わない から 19.4%
川越比企地域 (n=47)	交通の便が悪いから 51.1%	買い物に不便だか ら 27.7%	愛着がないから 23.4%	土地柄や人情が自 分に合わないから 21.3%	医療施設が身近に なく、病気のと きに心配だから 19.1%
西部地域 (n=46)	交通の便が悪いから 54.3%	買い物に不便だか ら 41.3%	愛着がないから 28.3%	通勤や仕事に不便 だから 21.7%	自然環境が悪いから ／親、兄弟や親 戚の近くに住みた いから 17.4%
利根地域 (n=48)	交通の便が悪いから 47.9%	買い物に不便だか ら 41.7%	医療施設が身近に なく、病気のと きに心配だから 33.3%	愛着がないから 29.2%	道路、上下水道、 公園などの公共施 設が整っていない から 27.1%
北部地域 (n=32)	交通の便が悪いから 37.5%	通勤や仕事に不便 だから 25.0%	愛着がないから 18.8%	医療施設が身近に なく、病気のと きに心配だから ／買い物に不便だ から 15.6%	
秩父地域 (n=9)	交通の便が悪いから 55.6%	通勤や仕事に不便 だから ／ 買い物に不便だ から	44.4%	自然環境が悪いから ／ 親、兄弟や親戚 の近くに住みた いから	33.3%

② 性別

男性の上位3位は、「愛着がないから」、「交通の便が悪いから」、「通勤や仕事に不便だから」となっており、女性の上位3位は、「交通の便が悪いから」、「買い物に不便だから」、「愛着がないから」となっている。

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=163)	愛着がないから 30.7%	交通の便が悪いから 30.1%	通勤や仕事に不便だから 27.0%	買い物に不便だから 19.0%	自然環境が悪いから 17.8%
女性 (n=311)	交通の便が悪いから 41.5%	買い物に不便だから 29.3%	愛着がないから 26.4%	通勤や仕事に不便だから 24.8%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 18.6%

③ 年代別

1位は6つの年齢階層中4つの年齢階層で「交通の便が悪いから」と最も多く、10歳代・20歳代で「通勤や仕事に不便だから」、60歳代で「買い物に不便だから」となっている。2位は10歳代・20歳代と60歳代で「交通の便が悪いから」、30歳代と40歳代で「愛着がないから」などとなっている。

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18・19歳代 (n=16)	愛着がないから 43.8%	交通の便が悪いから 37.5%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから／道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから／土地柄や人情が自分に合わないから／買い物に不便だから		18.8%
20歳代 (n=60)	通勤や仕事に不便だから 50.0%	交通の便が悪いから 35.0%	愛着がないから 31.7%	治安や風紀が悪いから 20.0%	買い物に不便だから 18.3%
【再掲】 10歳代・20歳代 (n=76)	通勤や仕事に不便だから 42.1%	交通の便が悪いから 35.5%	愛着がないから 34.2%	買い物に不便だから 18.4%	治安や風紀が悪いから 15.8%
30歳代 (n=73)	交通の便が悪いから 35.6%	愛着がないから 31.5%	買い物に不便だから 26.0%	通勤や仕事に不便だから 24.7%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 17.8%
40歳代 (n=83)	交通の便が悪いから 32.5%	自然環境が悪いから／愛着がないから	27.7%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 26.5%	通勤や仕事に不便だから 20.5%
50歳代 (n=111)	交通の便が悪いから 38.7%	通勤や仕事に不便だから 33.3%	愛着がないから 29.7%	買い物に不便だから 27.9%	医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 18.9%
60歳代 (n=74)	買い物に不便だから 35.1%	交通の便が悪いから 33.8%	愛着がないから 25.7%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 23.0%	土地柄や人情が自分に合わないから 17.6%
70歳以上 (n=57)	交通の便が悪いから 54.4%	買い物に不便だから 33.3%	医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 28.1%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 15.8%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから／土地柄や人情が自分に合わないから／愛着がないから 14.0%

④ 職業別

1位はいずれも「交通の便が悪いから」となっている。「愛着がないから」は自営業・家族従業（計）で2位、雇用者（計）と無職（計）で3位となっている。

■職業別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
自営業・家族従業（計） （n=33）	交通の便が悪いから 42.4%	愛着がないから 30.3%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから／ 買い物に不便だから 24.2%		自然環境が悪いから／通勤や仕事に不便だから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 21.2%
雇用者（計） （n=289）	交通の便が悪いから 36.3%	通勤や仕事に不便だから 30.1%	愛着がないから 28.0%	買い物に不便だから 24.9%	自然環境が悪いから 18.0%
無職（計） （n=153）	交通の便が悪いから 38.6%	買い物に不便だから 27.5%	愛着がないから 26.1%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 22.9%	通勤や仕事に不便だから 17.6%

⑤ 県内居住年数別

1位は10年未満で「愛着がないから」、10年以上で「交通の便が悪いから」と居住年数10年を境に差が見られる。2位は10年未満で「交通の便が悪いから」、10年～20年未満で「愛着がないから」、20年～30年未満では「通勤や仕事に不便だから」、30年以上では「買い物に不便だから」となっている。

■県内居住年数別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
5年未満 （n=55）	愛着がないから 49.1%	交通の便が悪いから 30.9%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 29.1%	買い物に不便だから 25.5%	通勤や仕事に不便だから 23.6%
5年～10年未満 （n=36）	愛着がないから 44.4%	交通の便が悪いから／ 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 33.3%		自然環境が悪いから 25.0%	通勤や仕事に不便だから 22.2%
10年～20年未満 （n=74）	交通の便が悪いから 35.1%	愛着がないから 28.4%	通勤や仕事に不便だから 25.7%	買い物に不便だから 21.6%	自然環境が悪いから 18.9%
20年～30年未満 （n=96）	交通の便が悪いから 41.7%	通勤や仕事に不便だから 37.5%	買い物に不便だから 25.0%	愛着がないから 17.7%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから／治安や風紀が悪いから 15.6%
30年以上 （n=214）	交通の便が悪いから 38.8%	買い物に不便だから 29.0%	愛着がないから 23.8%	通勤や仕事に不便だから 21.0%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 18.2%

⑥ 居住形態別

1位は持家（計）で「交通の便が悪いから」（45.3%）、持家以外（計）で「愛着がないから」（33.1%）となっている。2位は持家（計）で「買い物に不便だから」（31.2%）、持家以外（計）で「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」（26.6%）となっている。3位はともに「通勤や仕事に不便だから」となっている。

持家（計）について、一戸建と分譲マンションなど集合住宅別に見ると、一戸建の1位は「交通の便が悪いから」（49.8%）、2位は「買い物に不便だから」（33.1%）、3位は「通勤や仕事に不便だから」（28.0%）の順となっているが、分譲マンションなど集合住宅では、「交通の便が悪いから」と「愛着がないから」（各24.1%）が同率で1位となっているのが特徴的である。次いで3位は「通勤や仕事に不便だから」と「買い物に不便だから」（各22.4%）が同率で続いているが、割合に大きな差は見られない。

※UR都市機構(旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート（n=27）と社宅・公務員住宅など給与住宅（n=20）についてはサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

■居住形態別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
持家（計） （n=333）	交通の便が悪いから 45.3%	買い物に不便だから 31.2%	通勤や仕事に不便だから 27.0%	愛着がないから 25.2%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 17.7%
持家（一戸建） （n=275）	交通の便が悪いから 49.8%	買い物に不便だから 33.1%	通勤や仕事に不便だから 28.0%	愛着がないから 25.5%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 18.5%
持家(分譲マンションなど集合住宅) （n=58）	交通の便が悪いから／ 愛着がないから 24.1%		通勤や仕事に不便だから／ 買い物に不便だから 22.4%		自然環境が悪いから 19.0%
持家以外（計） （n=139）	愛着がないから 33.1%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 26.6%	通勤や仕事に不便だから 21.6%	交通の便が悪いから 20.1%	治安や風紀が悪いから 17.3%
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など） （n=90）	愛着がないから 34.4%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 24.4%	通勤や仕事に不便だから／ 治安や風紀が悪いから 22.2%		自然環境が悪いから／隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから 15.6%
UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート （n=27）	交通の便が悪いから 33.3%	愛着がないから 29.6%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 25.9%	土地柄や人情が自分に合わないから 22.2%	通勤や仕事に不便だから 18.5%
社宅・公務員住宅など給与住宅 （n=20）	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 40.0%	愛着がないから 35.0%	交通の便が悪いから 30.0%	自然環境が悪いから 25.0%	通勤や仕事に不便だから 20.0%

○転出したい理由・地域別／性別／年代別／職業別／県内居住年数別／居住形態別

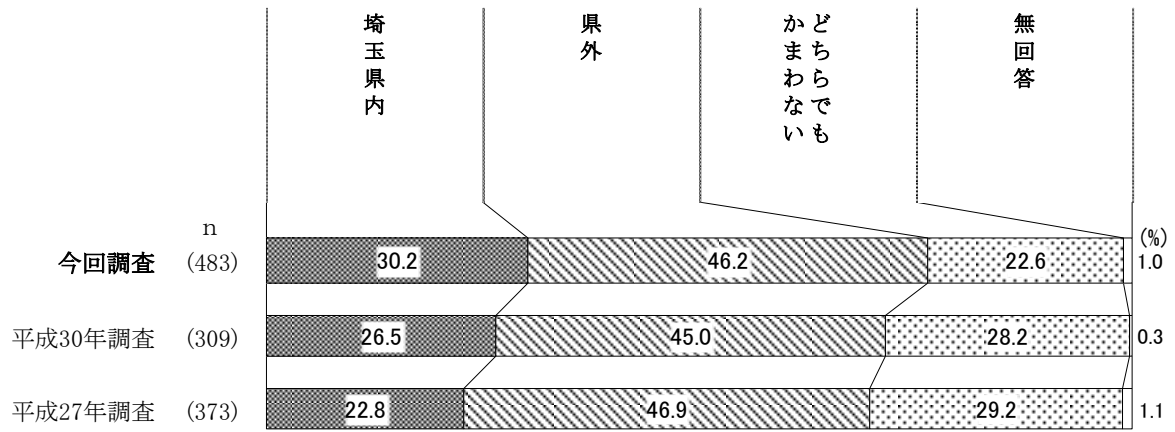
(%)

	調査数	交通の便が悪いから	愛着がないから	買い物に不便だから	通勤や仕事に不便だから	自然環境が悪いから	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから	いから	土地柄や人情が自分に合わないから	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから	治安や風紀が悪いから	隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから	ころだから	商売や事業などに適さないところだから	その他	特に理由はない	無回答
	n																		
全体	483	37.9	27.7	26.3	25.5	16.8	15.5	15.5	13.3	12.8	10.8	10.1	8.9	4.3	20.5	3.7	0.2		
地域別																			
南部地域	47	25.5	23.4	25.5	19.1	14.9	8.5	17.0	10.6	8.5	10.6	23.4	10.6	4.3	27.7	6.4	2.1		
南西部地域	62	22.6	17.7	11.3	22.6	29.0	11.3	25.8	6.5	8.1	6.5	8.1	14.5	-	25.8	6.5	-		
東部地域	67	32.8	28.4	22.4	31.3	10.4	10.4	11.9	11.9	7.5	13.4	14.9	6.0	3.0	19.4	4.5	-		
さいたま地域	80	28.8	40.0	21.3	35.0	20.0	13.8	11.3	15.0	13.8	5.0	13.8	6.3	5.0	20.0	2.5	-		
県央地域	36	50.0	36.1	27.8	25.0	19.4	16.7	13.9	19.4	8.3	8.3	5.6	8.3	2.8	27.8	2.8	-		
川越比企地域	47	51.1	23.4	27.7	14.9	10.6	19.1	17.0	21.3	14.9	14.9	10.6	2.1	4.3	19.1	2.1	-		
西部地域	46	54.3	28.3	41.3	21.7	17.4	10.9	17.4	13.0	15.2	15.2	-	8.7	6.5	8.7	4.3	-		
利根地域	48	47.9	29.2	41.7	22.9	12.5	33.3	10.4	16.7	27.1	20.8	4.2	14.6	6.3	16.7	4.2	-		
北部地域	32	37.5	18.8	15.6	25.0	9.4	15.6	12.5	9.4	12.5	6.3	9.4	12.5	9.4	25.0	-	-		
秩父地域	9	55.6	22.2	44.4	44.4	33.3	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1	-	-	11.1	11.1	-	-		
性別																			
男性	163	30.1	30.7	19.0	27.0	17.8	11.7	9.8	11.7	13.5	12.3	14.1	8.0	8.0	23.3	4.3	-		
女性	311	41.5	26.4	29.3	24.8	16.4	17.0	18.6	14.5	12.5	10.3	8.4	9.3	2.6	19.3	3.5	-		
年代別																			
18・19歳	16	37.5	43.8	18.8	12.5	12.5	6.3	-	18.8	18.8	18.8	-	6.3	6.3	31.3	6.3	-		
20歳代	60	35.0	31.7	18.3	50.0	11.7	6.7	15.0	5.0	5.0	5.0	20.0	3.3	8.3	18.3	5.0	-		
【再掲】10歳代・20歳代	76	35.5	34.2	18.4	42.1	11.8	6.6	11.8	7.9	7.9	7.9	15.8	3.9	7.9	21.1	5.3	-		
30歳代	73	35.6	31.5	26.0	24.7	15.1	12.3	17.8	13.7	12.3	12.3	9.6	12.3	1.4	16.4	5.5	-		
40歳代	83	32.5	27.7	16.9	20.5	27.7	12.0	26.5	9.6	9.6	13.3	12.0	8.4	2.4	10.8	1.2	-		
50歳代	111	38.7	29.7	27.9	33.3	16.2	18.9	9.0	17.1	15.3	10.8	9.0	9.9	7.2	27.0	2.7	-		
60歳代	74	33.8	25.7	35.1	14.9	16.2	16.2	13.5	17.6	23.0	8.1	9.5	12.2	2.7	25.7	2.7	-		
70歳以上	57	54.4	14.0	33.3	10.5	12.3	28.1	15.8	14.0	7.0	14.0	5.3	5.3	3.5	19.3	7.0	1.8		
職業別																			
自営業・家族従業（計）	33	42.4	30.3	24.2	21.2	21.2	24.2	21.2	9.1	15.2	6.1	9.1	9.1	12.1	9.1	3.0	-		
雇用者（計）	289	36.3	28.0	24.9	30.1	18.0	10.4	14.2	11.8	11.4	11.4	12.8	9.0	2.8	21.1	3.1	-		
無職（計）	153	38.6	26.1	27.5	17.6	13.7	22.9	17.0	17.0	14.4	11.1	5.9	8.5	5.9	22.2	5.2	0.7		
県内居住年数別																			
5年未満	55	30.9	49.1	25.5	23.6	18.2	20.0	29.1	5.5	5.5	9.1	14.5	3.6	1.8	21.8	-	-		
5年～10年未満	36	33.3	44.4	19.4	22.2	25.0	5.6	33.3	8.3	11.1	16.7	2.8	13.9	2.8	11.1	-	-		
10年～20年未満	74	35.1	28.4	21.6	25.7	18.9	10.8	9.5	14.9	10.8	14.9	5.4	5.4	1.4	20.3	4.1	-		
20年～30年未満	96	41.7	17.7	25.0	37.5	12.5	13.5	10.4	9.4	15.6	7.3	15.6	8.3	6.3	19.8	4.2	-		
30年以上	214	38.8	23.8	29.0	21.0	16.4	18.2	13.6	17.8	14.5	10.7	9.8	10.7	5.6	22.4	5.1	0.5		
居住形態別																			
持家（計）	333	45.3	25.2	31.2	27.0	16.5	17.7	10.8	13.5	16.5	12.9	7.5	7.5	5.1	21.9	4.2	-		
持家（一戸建）	275	49.8	25.5	33.1	28.0	16.0	18.5	10.5	14.9	17.8	12.7	7.3	8.0	5.1	21.8	3.3	-		
持家（分譲マンションなど集合住宅）	58	24.1	24.1	22.4	22.4	19.0	13.8	12.1	6.9	10.3	13.8	8.6	5.2	5.2	22.4	8.6	-		
持家以外（計）	139	20.1	33.1	14.4	21.6	16.5	10.8	26.6	13.7	3.6	6.5	17.3	12.2	2.9	18.0	2.9	-		
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	90	13.3	34.4	14.4	22.2	15.6	11.1	24.4	13.3	2.2	3.3	22.2	15.6	3.3	18.9	2.2	-		
UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート	27	33.3	29.6	14.8	18.5	14.8	14.8	25.9	22.2	7.4	11.1	11.1	11.1	3.7	14.8	7.4	-		
社宅・公務員住宅など給与住宅	20	30.0	35.0	10.0	20.0	25.0	-	40.0	5.0	5.0	10.0	5.0	-	-	20.0	-	-		
住み込み、寮、寄宿舎など	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-		
その他	1	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(4-3) 転出先

◇「県外」が46.2%

(問4で「2. よそへ移りたい」とお答えの方にお伺いします。)
 問4-3 よそへ移るとしたら、埼玉県内ですか。それとも県外ですか。(○は1つだけ)



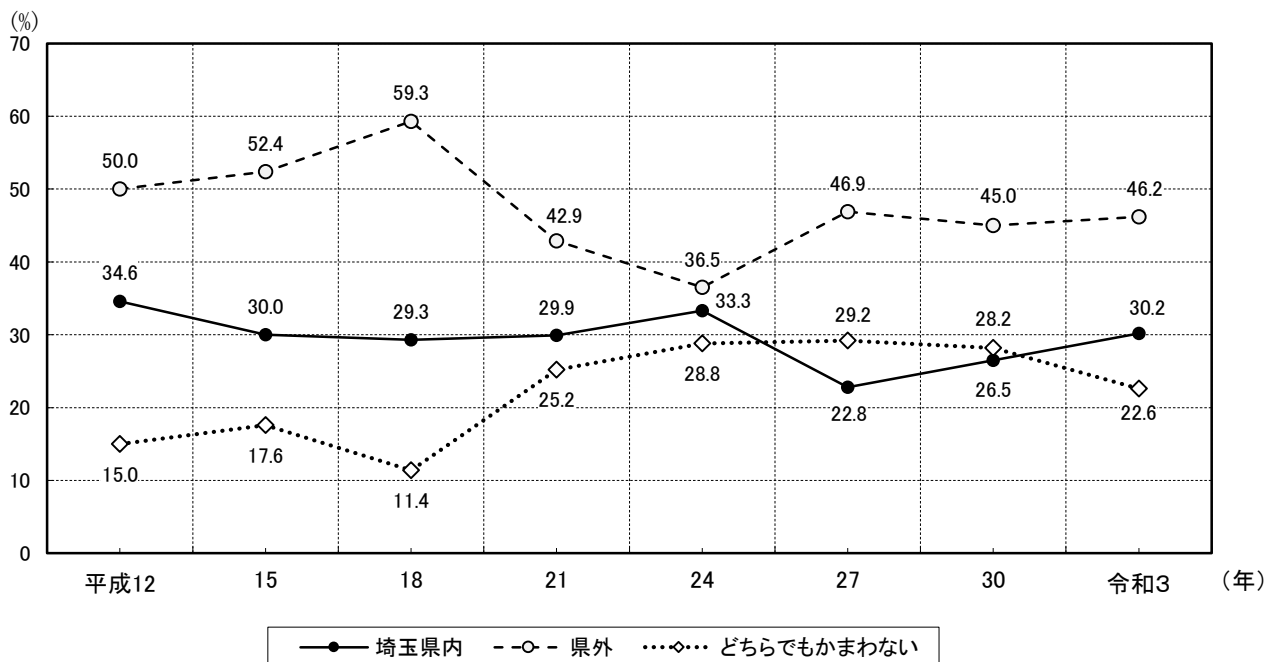
※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

転出先は、「県外」(46.2%)が4割台半ばを超えて最も高く、次いで「埼玉県内」(30.2%)、「どちらでもかまわない」(22.6%)の順となっている。

【経年比較】

平成12年以降(3年毎)に実施した調査結果の推移をみると、「県外」は平成18年以降減少傾向であったが、平成27年調査以降は4割台半ばで推移している。「埼玉県内」は平成27年、平成30年調査で2割台に下がったが、今回の調査で再び3割台となった。

○転出先・平成12年以降の推移



【属性別比較】

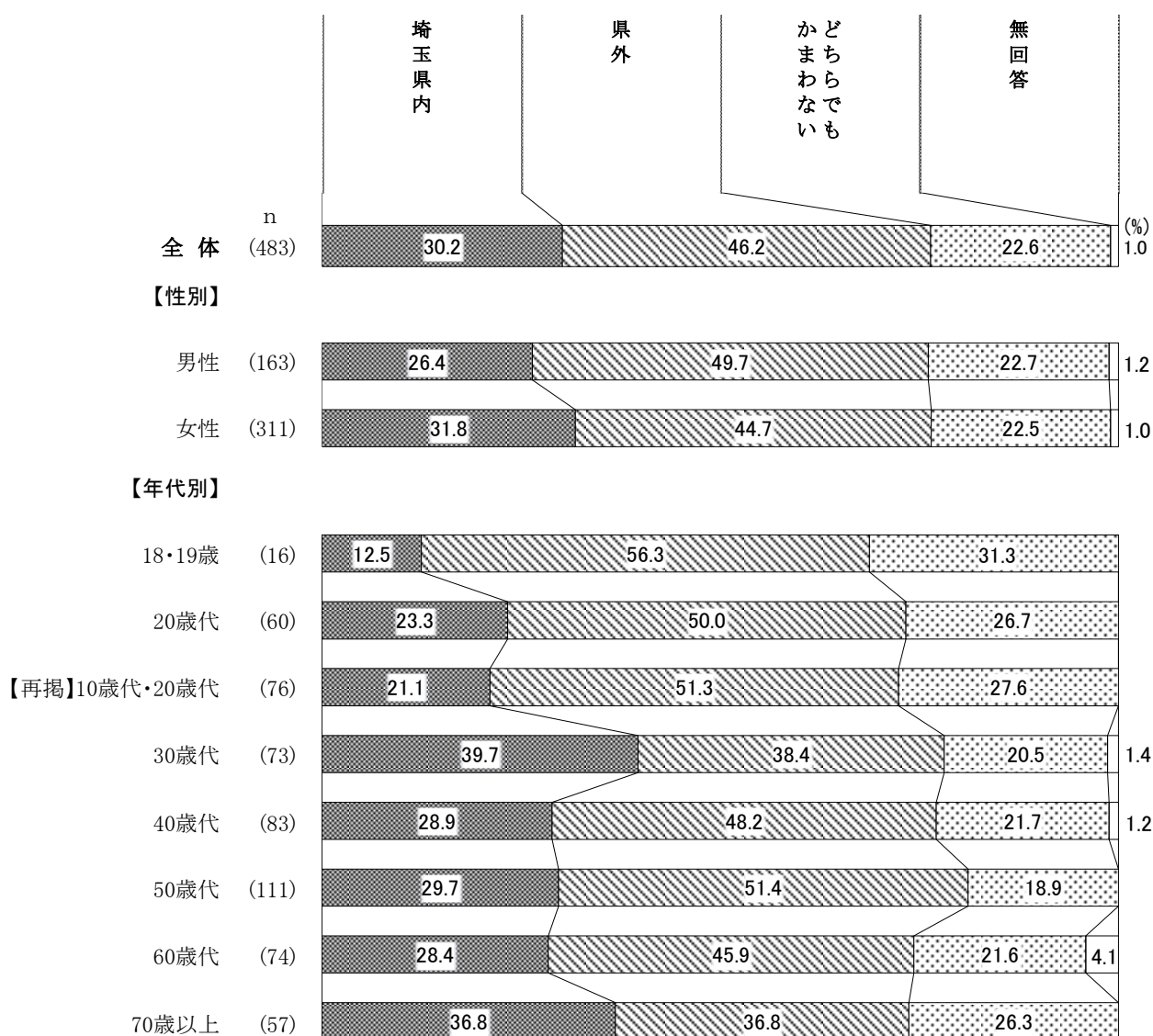
① 性別

「県外」は男性（49.7%）の方が女性（44.7%）よりも5.0ポイント、「埼玉県内」は女性（31.8%）の方が男性（26.4%）よりも5.4ポイント高くなっている。

② 年代別

「県外」は50歳代（51.4%）で最も高く、次いで10歳代・20歳代（51.3%）となっている。「埼玉県内」は30歳代（39.7%）で約4割と最も高く、次いで70歳以上（36.8%）となっている。

○転出先・性別／年代別



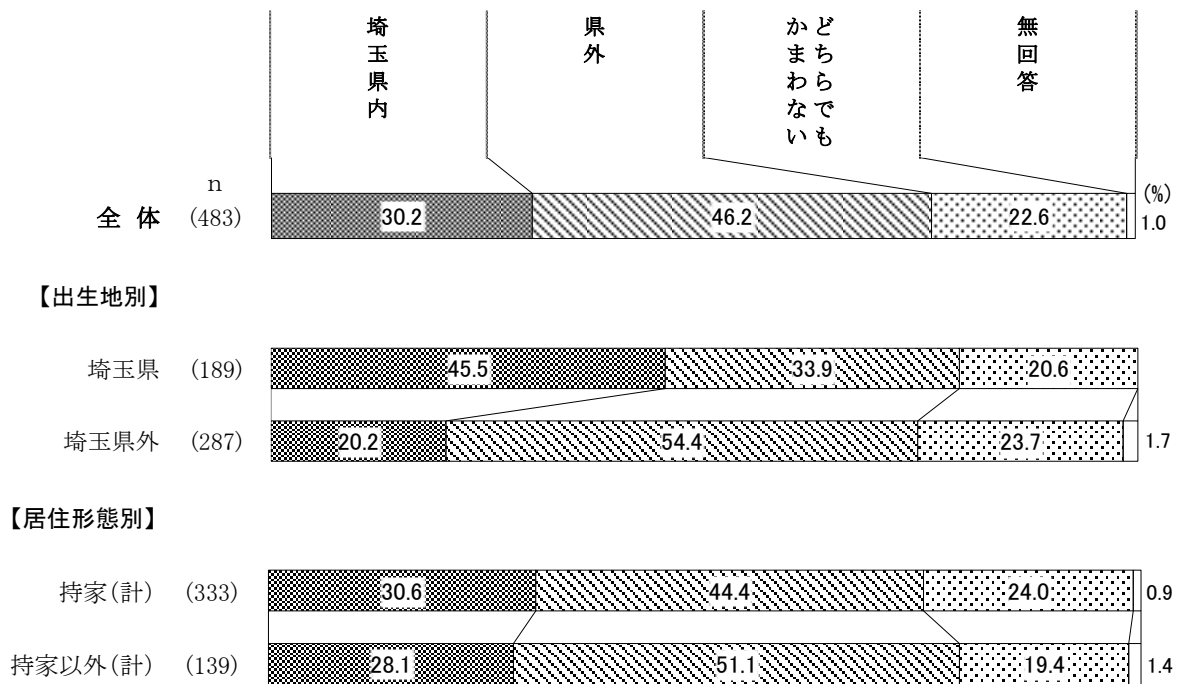
③ 出生地別

「埼玉県内」は埼玉県生まれの人（45.5%）の方が埼玉県外生まれの人（20.2%）よりも25.3ポイント高く、「県外」は埼玉県外生まれの人（54.4%）の方が埼玉県生まれの人（33.9%）よりも20.5ポイント高くなっている。

④ 居住形態別

「県外」は持家以外（計）（51.1%）の方が持家（計）（44.4%）よりも6.7ポイント高くなっている。

○転出先・出生地別／居住形態別



⑤ 地域別

「県外」は南西部地域（56.5%）で5割台半ばを超えて最も高く、次いで南部地域（55.3%）となっている。「埼玉県内」は北部地域（43.8%）で4割強と最も高く、次いで川越比企地域（40.4%）となっている。

※秩父地域（n=9）はサンプル数が30に満たないため分析の対象から除外している。

⑥ 職業別

「埼玉県外」は自営業・家族従業（計）（57.6%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

○転出先・地域別／職業別

	調査数 n	埼玉 県内	埼玉 県外	ど ち ら で も か ま わ な い	無 回 答
全 体	483	30.2	46.2	22.6	1.0
地域別					
南部地域	47	23.4	55.3	19.1	2.1
南西部地域	62	16.1	56.5	24.2	3.2
東部地域	67	28.4	43.3	28.4	-
さいたま地域	80	27.5	47.5	25.0	-
県央地域	36	36.1	47.2	16.7	-
川越比企地域	47	40.4	38.3	19.1	2.1
西部地域	46	26.1	45.7	26.1	2.2
利根地域	48	37.5	39.6	22.9	-
北部地域	32	43.8	43.8	12.5	-
秩父地域	9	55.6	22.2	22.2	-
職業別					
自営業・家族従業（計）	33	36.4	57.6	6.1	-
雇用者（計）	289	30.1	48.1	20.4	1.4
無職（計）	153	29.4	40.5	29.4	0.7

(4-3-1) 移り住みたい都道府県

◇「東京都」が37.2%

(問4-3で「2. 県外」とお答えの方にお伺いします。)

問4-3-1 県外へ移るとしたら、どこの都道府県へ移りたいですか。(○は1つだけ)

都道府県	今回調査	平成30年調査	増減差
東京都	37.2	54.0	-16.8
神奈川県	11.2	6.5	4.7
沖縄県	5.8	2.2	3.6
北海道	4.5	5.8	-1.3
群馬県	3.6	2.2	1.4
千葉県	3.6	5.0	-1.4
長野県	3.6	2.2	1.4
静岡県	3.1	0.7	2.4
秋田県	2.2	2.2	0
茨城県	2.2	0.7	1.5
福島県	1.8	-	1.8
愛知県	1.8	1.4	0.4
京都府	1.8	-	1.8
福岡県	1.8	-	1.8
栃木県	1.3	2.9	-1.6
兵庫県	1.3	0.7	0.6
奈良県	1.3	-	1.3
愛媛県	1.3	-	1.3
岩手県	0.9	0.7	0.2
山形県	0.9	0.7	0.2

都道府県	今回調査	平成30年調査	増減差
富山県	0.9	-	0.9
山梨県	0.9	1.4	-0.5
大阪府	0.9	-	0.9
香川県	0.9	-	0.9
宮城県	0.4	-	0.4
新潟県	0.4	0.7	-0.3
石川県	0.4	-	0.4
和歌山県	0.4	-	0.4
島根県	0.4	-	0.4
岡山県	0.4	-	0.4
佐賀県	0.4	-	0.4
宮崎県	0.4	-	0.4
青森県	-	0.7	-0.7
鳥取県	-	0.7	-0.7
長崎県	-	0.7	-0.7
熊本県	-	0.7	-0.7
海外*	-	1.4	-1.4
不明*	-	2.2	-2.2
無回答	1.3	3.6	-2.3

n=223 n=139

* 前回、聞き取り調査で回答のあった「海外」、「不明」は今回の選択肢には設けていない。

* 「福井県」、「岐阜県」、「三重県」、「滋賀県」、「広島県」、「山口県」、「徳島県」、「高知県」、「大分県」、「鹿児島県」は今回、前回ともに回答がないため表示していない。

※調査方法の変更により前回の結果と単純に時系列比較はできないことに留意

移りたい都道府県は、「東京都」(37.2%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「神奈川県」(11.2%)、「沖縄県」(5.8%)、「北海道」(4.5%)などとなっている。

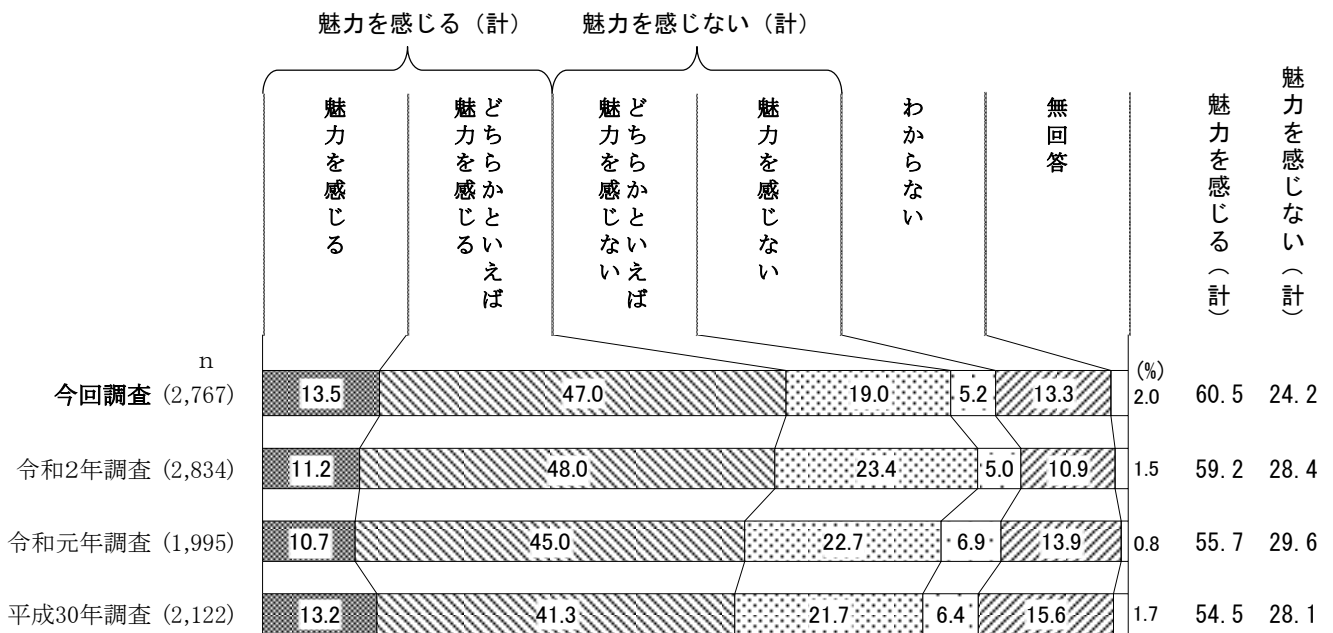
【過去調査との比較】

平成30年調査と比べると、東京都が16.8ポイント減少しているが、神奈川県(4.7ポイント増)、沖縄県(3.6ポイント増)、静岡県(2.4ポイント増)などで増加となっている。

(5) 埼玉県に魅力を感じるか

◇『魅力を感じる（計）』は60.5%、『魅力を感じない（計）』は24.2%

問5 あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

埼玉県に魅力を感じるかについては、「どちらかといえば魅力を感じる」(47.0%)が4割台半ばを超えて最も多く、「魅力を感じる」(13.5%)と合わせた『魅力を感じる(計)』(60.5%)は6割を超えている。一方で、「魅力を感じない」(5.2%)と「どちらかといえば魅力を感じない」(19.0%)を合わせた『魅力を感じない(計)』(24.2%)は2割台半ばとなっており、『魅力を感じる(計)』が『魅力を感じない(計)』を36.3ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

『魅力を感じる(計)』は平成30年調査(54.5%)から増加傾向にあり、今回調査(60.5%)で6割台となった。

【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、楽になった（計）で73.2%と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、苦しくなった（計）で26.3%と最も高くなっている。

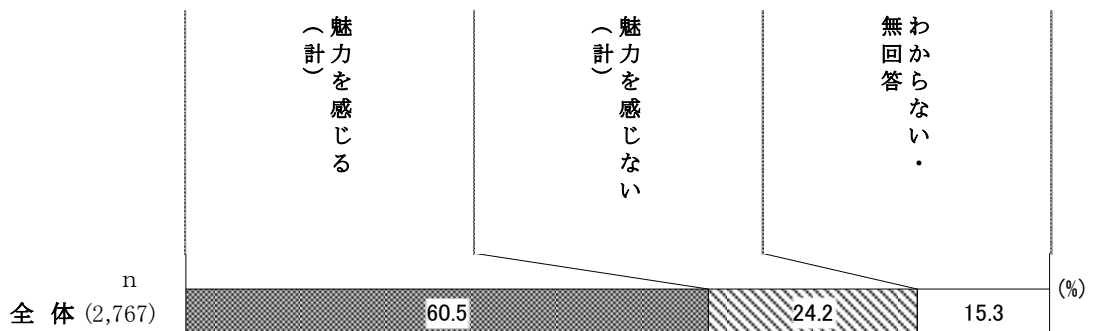
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、上（計）で80.3%と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、下（計）で29.7%と最も高くなっている。

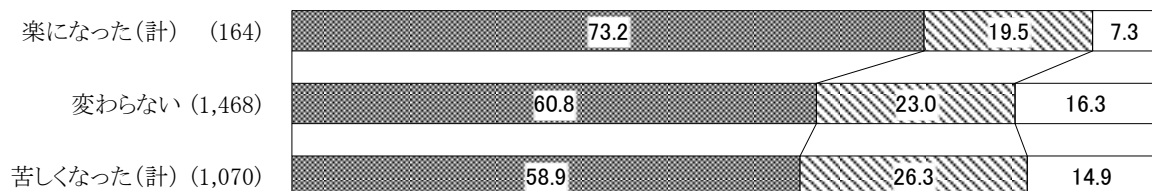
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、満足している（計）（66.6%）の方が、不満である（計）（56.3%）より10.3ポイント高くなっている。

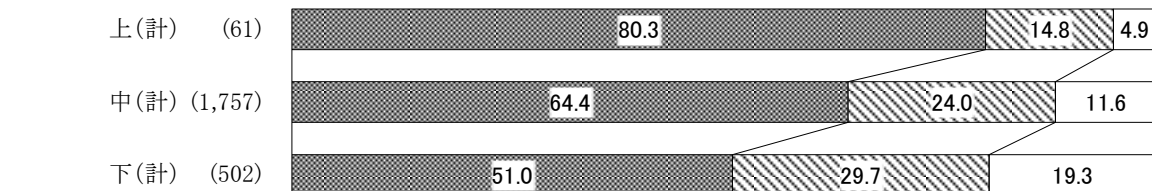
○埼玉県に魅力を感じるか・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



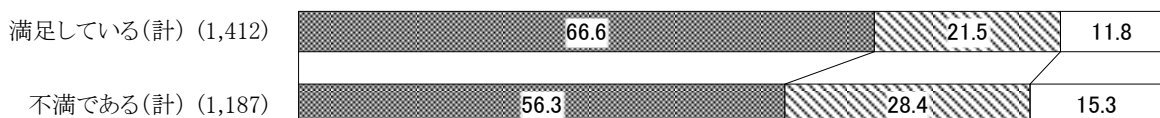
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

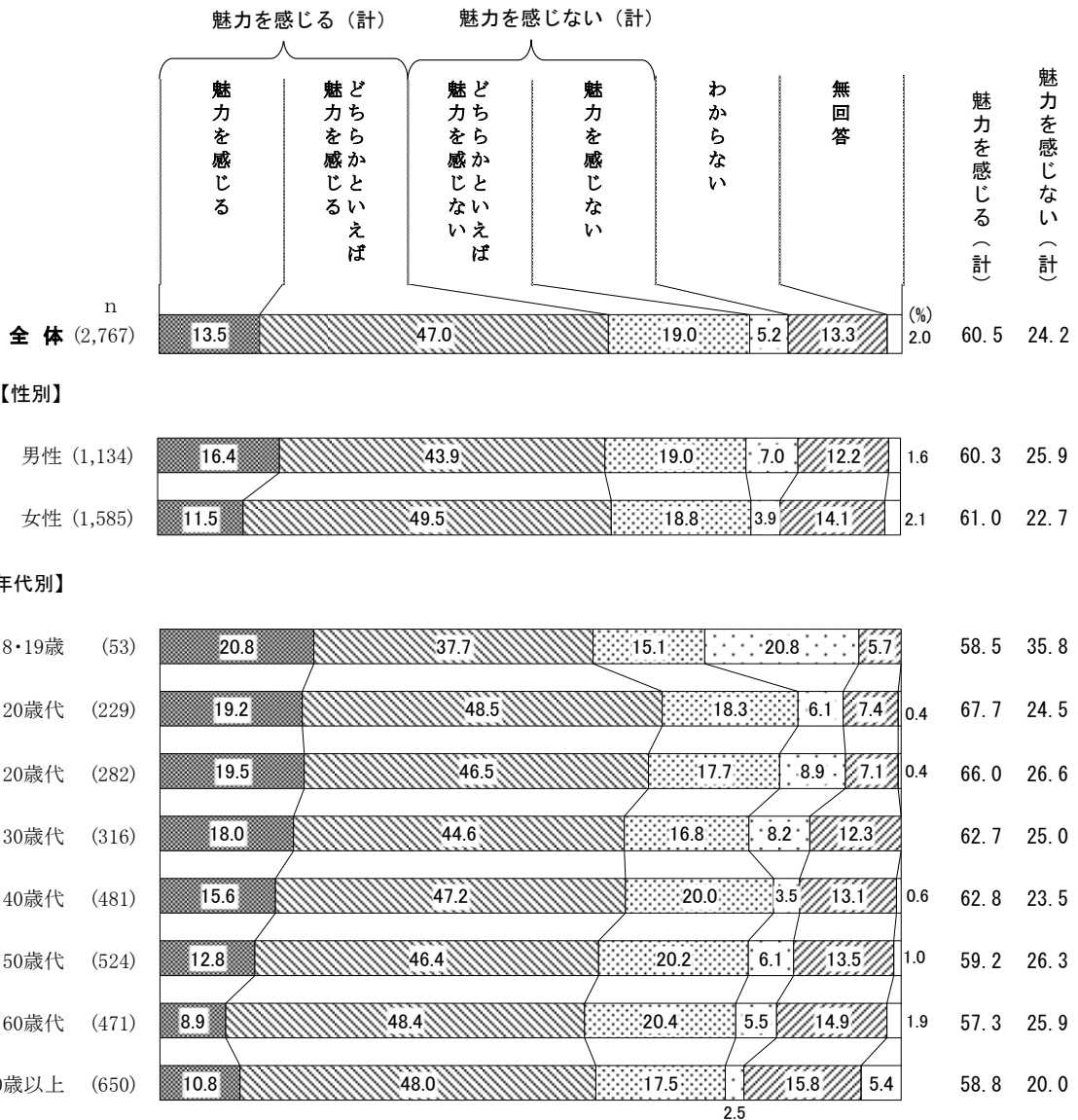
① 性別

『魅力を感じる（計）』は男性（60.3%）と女性（61.0%）はともに6割台前半と大きな差はない。

② 年代別

『魅力を感じる（計）』は10歳代・20歳代（66.0%）で6割台半ばを超えて最も高く、おおむね年齢が上がるにつれ割合が減少し、50歳代以上で5割台となっている。

○埼玉県に魅力を感じるか・性別／年代別



③ 地域別

『魅力を感じる(計)』は、さいたま地域(65.4%)で6割台半ばと最も高く、次いで西部地域(63.2%)となっている。一方で、『魅力を感じない(計)』は北部地域(29.1%)で約3割と最も高く、次いで東部地域(26.8%)となっている。

④ 性・年代別

『魅力を感じる(計)』は、女性10歳代・20歳代(66.7%)で6割台半ばを超えて最も高く、次いで男性10歳代・20歳代(65.5%)となっている。一方で、『魅力を感じない(計)』は男性50歳代(29.2%)で約3割と最も高く、次いで男性40歳代(27.2%)となっている。

⑤ 職業別

『魅力を感じる(計)』はすべて6割台となっており、自営業・家族従業(計)(63.2%)で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『魅力を感じる(計)』は家族形成期(69.3%)で約7割と最も高く、一方で、『魅力を感じない(計)』は家族成熟期(28.3%)で3割弱と最も高くなっている。

○埼玉県に魅力を感じるか・地域別/性・年代別/職業別/ライフステージ別

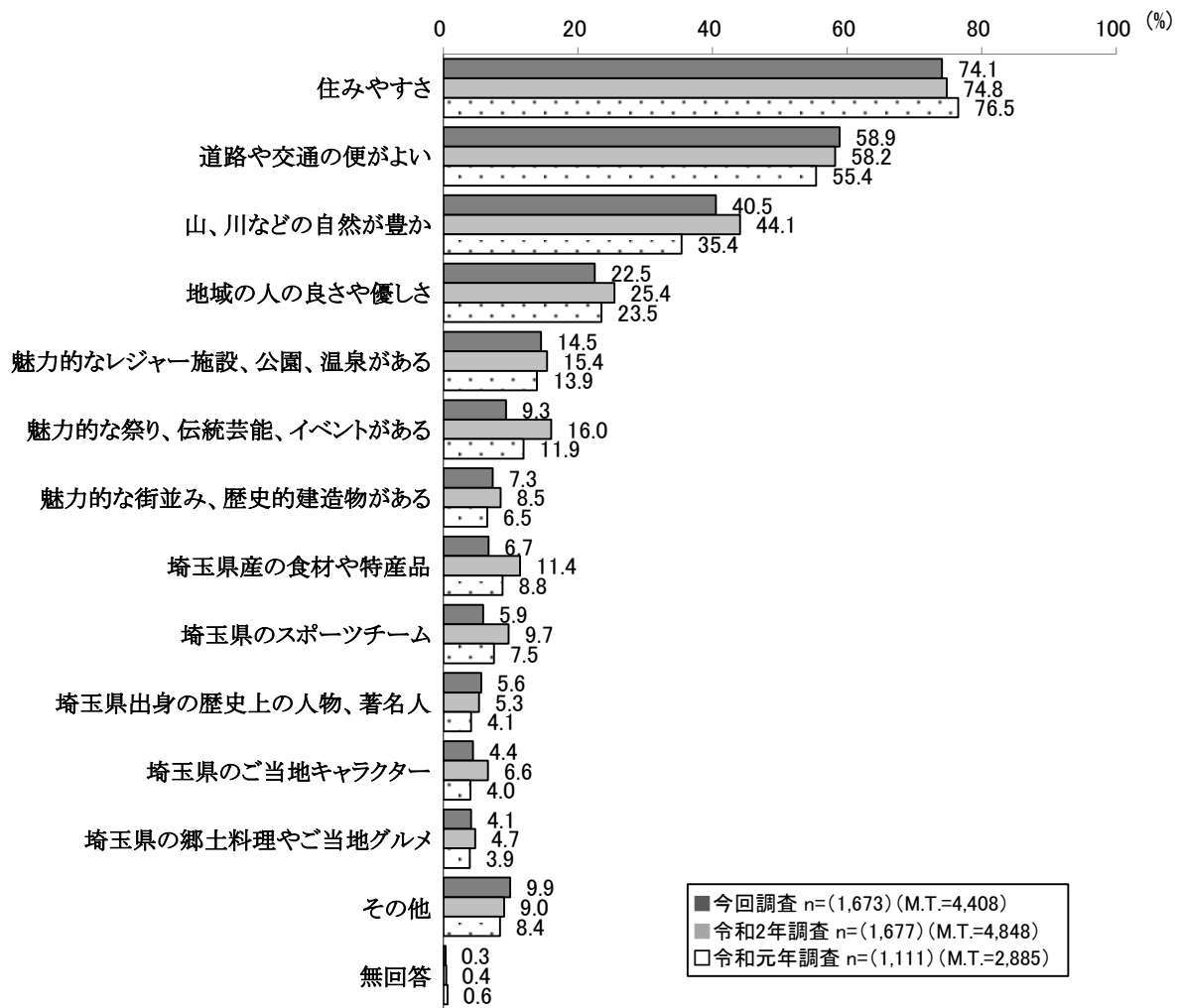
	調査数 n	魅力を感じる	をどちらかといえ ば魅力	をどちらかといえ ば魅力	魅力を感じない	わからない	無回答	魅力を感じる(計)		魅力を感じない(計)	
								(%)	(%)	(%)	(%)
全体	2,767	13.5	47.0	19.0	5.2	13.3	2.0	60.5	24.2		
地域別											
南部地域	268	10.8	49.6	18.7	6.7	10.8	3.4	60.4	25.4		
南西部地域	259	13.9	42.5	20.8	5.0	15.8	1.9	56.4	25.9		
東部地域	410	12.4	43.4	22.0	4.9	16.6	0.7	55.9	26.8		
さいたま地域	482	17.2	48.1	16.2	5.8	10.4	2.3	65.4	22.0		
県央地域	218	10.1	51.4	17.9	4.1	14.2	2.3	61.5	22.0		
川越比企地域	293	15.7	46.1	15.7	6.8	13.0	2.7	61.8	22.5		
西部地域	299	14.0	49.2	16.7	4.3	13.7	2.0	63.2	21.1		
利根地域	245	9.8	48.6	20.4	4.9	15.1	1.2	58.4	25.3		
北部地域	203	14.3	45.3	24.6	4.4	10.3	1.0	59.6	29.1		
秩父地域	40	12.5	47.5	15.0	2.5	22.5	-	60.0	17.5		
性・年代別											
男性/18・19歳	28	28.6	28.6	7.1	28.6	7.1	-	57.1	35.7		
20歳代	91	23.1	45.1	14.3	8.8	7.7	1.1	68.1	23.1		
【再掲】10歳代・20歳代	119	24.4	41.2	12.6	13.4	7.6	0.8	65.5	26.1		
30歳代	111	27.0	36.9	18.0	6.3	11.7	-	64.0	24.3		
40歳代	173	22.0	41.6	20.2	6.9	8.1	1.2	63.6	27.2		
50歳代	226	16.4	44.7	20.4	8.8	9.3	0.4	61.1	29.2		
60歳代	215	9.8	47.9	19.5	6.0	15.3	1.4	57.7	25.6		
70歳以上	286	10.1	46.2	19.2	3.8	16.8	3.8	56.3	23.1		
女性/18・19歳	25	12.0	48.0	24.0	12.0	4.0	-	60.0	36.0		
20歳代	137	16.8	51.1	21.2	3.6	7.3	-	67.9	24.8		
【再掲】10歳代・20歳代	162	16.0	50.6	21.6	4.9	6.8	-	66.7	26.5		
30歳代	205	13.2	48.8	16.1	9.3	12.7	-	62.0	25.4		
40歳代	308	12.0	50.3	19.8	1.6	15.9	0.3	62.3	21.4		
50歳代	298	10.1	47.7	20.1	4.0	16.8	1.3	57.7	24.2		
60歳代	255	8.2	48.6	21.2	5.1	14.5	2.4	56.9	26.3		
70歳以上	352	11.6	50.6	15.6	1.4	14.5	6.3	62.2	17.0		
職業別											
自営業・家族従業(計)	242	15.3	47.9	19.0	4.1	12.4	1.2	63.2	23.1		
雇用者(計)	1,461	14.9	45.4	20.0	6.0	12.9	0.9	60.2	26.0		
無職(計)	1,006	10.7	49.6	17.5	4.4	14.3	3.5	60.3	21.9		
ライフステージ別											
独身期	327	17.4	45.9	16.5	8.9	11.0	0.3	63.3	25.4		
家族形成期	215	24.2	45.1	16.3	7.0	7.4	-	69.3	23.3		
家族成長前期	245	13.1	47.3	21.6	4.9	11.8	1.2	60.4	26.5		
家族成長後期	232	12.1	52.2	13.8	6.0	14.2	1.7	64.2	19.8		
家族成熟期	463	10.4	48.8	22.7	5.6	10.8	1.7	59.2	28.3		
高齢期	609	10.3	49.9	18.7	2.3	15.6	3.1	60.3	21.0		
その他	676	13.8	42.3	19.7	5.0	16.1	3.1	56.1	24.7		

(5-1) 埼玉県で魅力を感じるもの

◇「住みやすさ」が74.1%で第1位、次いで「道路や交通の便がよい」が58.9%

(問5で「1. 魅力を感じる」または「2. どちらかといえば魅力を感じる」とお答えの方にお伺いします。)

問5-1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

埼玉県で魅力を感じるものは、「住みやすさ」(74.1%)が7割台半ばと最も高く、次いで「道路や交通の便がよい」(58.9%)、「山、川などの自然が豊か」(40.5%)、「地域の人の良さや優しさ」(22.5%)、「魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある」(14.5%)、「魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある」(9.3%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、ほとんどの項目で割合が減少しており、「魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある」が6.7ポイント、「埼玉県産の食材や特産品」が4.7ポイントそれぞれ減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「住みやすさ」はさいたま地域（81.3%）が8割強で最も高く、「道路や交通の便がよい」もさいたま地域（69.5%）が約7割で最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」は西部地域（68.8%）で7割弱と最も高く、「地域の人の良さや優しさ」は北部地域（31.4%）で3割強と最も高くなっている。

※秩父地域（n=24）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

多くの項目で男性の方が女性より高く、特に「道路や交通の便が良い」は男性の方が8.6ポイント高くなっている。

③ 年代別

「住みやすさ」は10歳代・20歳代（81.2%）が8割強で最も高く、「道路や交通の便がよい」は40歳代（63.9%）で6割強と最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」と「地域の人の良さや優しさ」はおおむね年齢が上がるにつれ割合が高くなる傾向がみられ、ともに70歳以上で最も高い割合となっている。

④ 性・年代別

「住みやすさ」は女性10歳代・20歳代（83.3%）が8割強で最も高く、「道路や交通の便がよい」は男性40歳代（68.2%）で7割弱と最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」は男性70歳以上（50.9%）で5割を超えて最も高く、「地域の人の良さや優しさ」は女性70歳以上（39.3%）で約4割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「住みやすさ」と「道路や交通の便がよい」はともに雇用者（計）が最も高く、「地域の人の良さや優しさ」は自営業・家族従業（計）（36.6%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「住みやすさ」は独身期と家族形成期（各79.2%）で約8割と最も高く、「道路や交通の便がよい」は独身期（64.3%）で6割台半ばと最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」と「地域の人の良さや優しさ」はともに高齢期で最も高くなっている。

○埼玉県で魅力を感じるもの・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	住みやすさ	道路や交通の便がよい	山、川などの自然が豊か	地域の人の良さや優しさ	魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある	魅力的なイベントがある	魅力的な祭り、伝統芸能、イ벤がある	魅力的な街並み、歴史的建造物がある	埼玉産の食材や特産品	埼玉県のスポーツチーム	埼玉県出身の歴史上の人物、著名人	埼玉県のご当地キャラクター	埼玉県の郷土料理やご当地グルメ	その他	無回答
全体	1,673	74.1	58.9	40.5	22.5	14.5	9.3	7.3	6.7	5.9	5.6	4.4	4.1	9.9	0.3	
地域別																
南部地域	162	73.5	66.7	27.8	22.2	17.3	6.2	8.0	5.6	6.8	6.2	5.6	4.3	6.8	-	
南西部地域	146	74.7	66.4	43.2	22.6	23.3	11.0	10.3	7.5	4.8	4.8	6.8	5.5	6.8	-	
東部地域	229	76.0	69.0	24.0	18.3	12.7	7.9	4.8	3.9	5.2	4.4	4.8	2.6	7.4	0.9	
さいたま地域	315	81.3	69.5	30.5	17.1	13.3	4.8	6.0	5.7	8.9	2.9	3.5	3.5	9.8	0.3	
県央地域	134	76.1	53.0	32.1	23.9	8.2	6.7	8.2	9.0	3.7	11.9	3.0	1.5	8.2	-	
川越比企地域	181	69.1	53.0	54.7	22.7	13.3	17.1	14.4	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	15.5	-	
西部地域	189	69.8	46.6	68.8	26.5	18.5	10.1	4.8	9.5	7.9	5.8	5.3	3.7	6.9	-	
利根地域	143	77.6	49.7	37.1	21.7	11.2	5.6	2.8	3.5	3.5	2.1	0.7	2.1	15.4	0.7	
北部地域	121	62.8	49.6	45.5	31.4	9.1	12.4	6.6	13.2	1.7	11.6	6.6	9.1	15.7	0.8	
秩父地域	24	58.3	16.7	95.8	37.5	25.0	41.7	12.5	4.2	12.5	8.3	-	12.5	-	-	
性別																
男性	684	75.3	64.0	43.1	21.2	16.2	11.8	8.2	5.6	8.9	5.6	3.7	5.1	8.6	0.4	
女性	967	73.3	55.4	38.3	23.1	13.1	7.2	6.7	7.5	3.8	5.6	5.0	3.3	10.8	0.2	
年代別																
18・19歳	31	74.2	58.1	29.0	12.9	6.5	6.5	3.2	-	19.4	3.2	3.2	3.2	9.7	-	
20歳代	155	82.6	61.9	24.5	14.8	20.6	8.4	7.1	5.2	7.1	2.6	7.1	3.2	8.4	-	
【再掲】10歳代・20歳代	186	81.2	61.3	25.3	14.5	18.3	8.1	6.5	4.3	9.1	2.7	6.5	3.2	8.6	-	
30歳代	198	78.3	55.6	38.4	17.7	23.2	9.6	7.1	5.6	4.5	4.0	7.6	6.1	7.1	1.0	
40歳代	302	75.5	63.9	36.4	15.6	11.9	8.9	4.6	2.6	7.9	4.0	5.6	4.0	8.9	-	
50歳代	310	70.3	58.7	40.6	15.8	13.9	8.4	7.1	8.7	7.1	4.8	4.5	5.5	14.2	-	
60歳代	270	71.1	54.8	44.8	25.9	13.3	8.9	8.1	8.1	4.1	7.8	3.0	3.3	13.0	0.4	
70歳以上	382	72.3	58.9	48.7	37.2	11.0	10.5	9.4	9.2	3.9	8.4	1.8	2.9	7.1	0.5	
性・年代別																
男性／18・19歳	16	75.0	50.0	43.8	18.8	6.3	12.5	6.3	-	18.8	-	6.3	6.3	6.3	-	
20歳代	62	79.0	62.9	29.0	17.7	19.4	11.3	11.3	4.8	12.9	4.8	8.1	6.5	11.3	-	
【再掲】10歳代・20歳代	78	78.2	60.3	32.1	17.9	16.7	11.5	10.3	3.8	14.1	3.8	7.7	6.4	10.3	-	
30歳代	71	71.8	64.8	43.7	12.7	29.6	14.1	7.0	8.5	9.9	5.6	2.8	11.3	5.6	1.4	
40歳代	110	77.3	68.2	35.5	16.4	14.5	9.1	2.7	4.5	10.9	3.6	4.5	5.5	8.2	-	
50歳代	138	70.3	65.2	42.0	15.2	15.9	10.1	7.2	3.6	10.1	5.1	3.6	3.6	11.6	-	
60歳代	124	73.4	61.3	47.6	23.4	16.1	12.1	9.7	8.1	4.8	8.9	3.2	4.8	9.7	0.8	
70歳以上	161	79.5	64.0	50.9	33.5	11.2	14.3	10.6	5.6	6.8	5.6	1.9	3.1	6.2	0.6	
女性／18・19歳	15	73.3	66.7	13.3	6.7	6.7	-	-	-	20.0	6.7	-	-	13.3	-	
20歳代	93	84.9	61.3	21.5	12.9	21.5	6.5	4.3	5.4	3.2	1.1	6.5	1.1	6.5	-	
【再掲】10歳代・20歳代	108	83.3	62.0	20.4	12.0	19.4	5.6	3.7	4.6	5.6	1.9	5.6	0.9	7.4	-	
30歳代	127	81.9	50.4	35.4	20.5	19.7	7.1	7.1	3.9	1.6	3.1	10.2	3.1	7.9	0.8	
40歳代	192	74.5	61.5	37.0	15.1	10.4	8.9	5.7	1.6	6.3	4.2	6.3	3.1	9.4	-	
50歳代	172	70.3	53.5	39.5	16.3	12.2	7.0	7.0	12.8	4.7	4.7	5.2	7.0	16.3	-	
60歳代	145	69.0	49.0	42.1	28.3	11.0	6.2	6.9	8.3	3.4	6.9	2.8	2.1	15.9	-	
70歳以上	219	67.1	55.7	47.0	39.3	11.0	7.8	8.7	11.9	1.8	10.0	1.8	2.7	7.8	0.5	
職業別																
自営業・家族従業（計）	153	72.5	56.9	42.5	36.6	14.4	12.4	5.9	7.8	3.9	5.2	3.3	2.6	11.1	0.7	
雇用者（計）	880	75.8	60.3	38.3	15.9	15.5	8.9	6.6	4.8	6.8	4.7	5.3	4.8	10.3	0.1	
無職（計）	607	72.0	57.5	42.5	27.5	12.5	8.9	8.6	9.1	5.3	6.6	3.3	3.5	8.9	0.5	
ライフステージ別																
独身期	207	79.2	64.3	29.5	14.0	20.8	7.7	7.7	3.9	8.2	3.4	9.2	4.3	7.7	-	
家族形成期	149	79.2	59.1	32.2	18.8	22.1	8.7	5.4	5.4	7.4	5.4	3.4	5.4	8.7	-	
家族成長前期	148	79.1	48.6	41.9	18.2	16.2	8.1	2.7	2.0	5.4	0.7	3.4	1.4	8.1	1.4	
家族成長後期	149	73.8	63.8	33.6	17.4	10.1	7.4	7.4	6.7	6.0	4.7	6.0	5.4	6.7	-	
家族成熟期	274	72.6	57.3	44.5	21.5	12.4	10.2	5.1	9.5	4.0	4.7	2.9	6.2	13.9	-	
高齢期	367	75.2	59.7	46.0	32.7	10.6	10.1	9.5	7.9	4.1	7.6	1.6	2.5	9.8	-	
その他	379	67.3	58.3	43.8	23.0	14.2	10.3	9.0	7.4	7.1	7.9	5.5	4.0	10.6	0.8	

2 日常生活 (問6～問16)

- 問6について
（１）と（２）は平成13年の「県民意識調査」における調査項目を県政世論調査で継続実施しているものです。県政世論調査では、平成14年度から毎年度実施しています。
（１）－１は、平成21年度から実施しており、（３）と（４）は、平成22年度から実施しています。（３）－１は今回が初めての実施となります。
* 県民意識調査：「彩の国5か年計画21」の策定に当たり、平成13年に埼玉県が実施した県民意識調査
- 問7について
問7は平成14年度から毎年実施していますが、平成17年度に選択肢の見直しを行ったため、平成17年度以降の調査結果との比較を掲載しています。令和2年度から問7を分岐設問にしましたが、結果では問7－１に組み込む形にしてこれまでの調査と比較できるようにしています。
問7－２は平成21年度における調査項目を継続実施したものです。
- 問8について
（１）は平成24年度から実施しており、（２）は平成22年度における課題調査項目を継続実施したものです。
- 問9について
平成15年度における課題調査項目を継続実施したものです。
- 問10と問11について
問10と問11の（１）は、平成21年度から実施しています。問11の（３）は平成30年度から、（４）は令和元年度から実施しており、問11の（２）（５）（６）は令和2年度から実施しています。問11の（７）は今回が初めての実施となります。
- 問12は、平成28年度における課題調査項目を継続実施したものです。
- 問13は、平成30年度から実施しています。
- 問14は、今回が初めての実施となります。
- 問15と問16（１）は、令和2年度から継続実施しています。問16（２）は、今回が初めての実施となります。
- 平成27年度までは、満20歳以上の方を調査対象として実施していましたが、平成28年度以降は満18歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和2年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

2. 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇参加経験が「ある」32.1%、「ない」65.1%

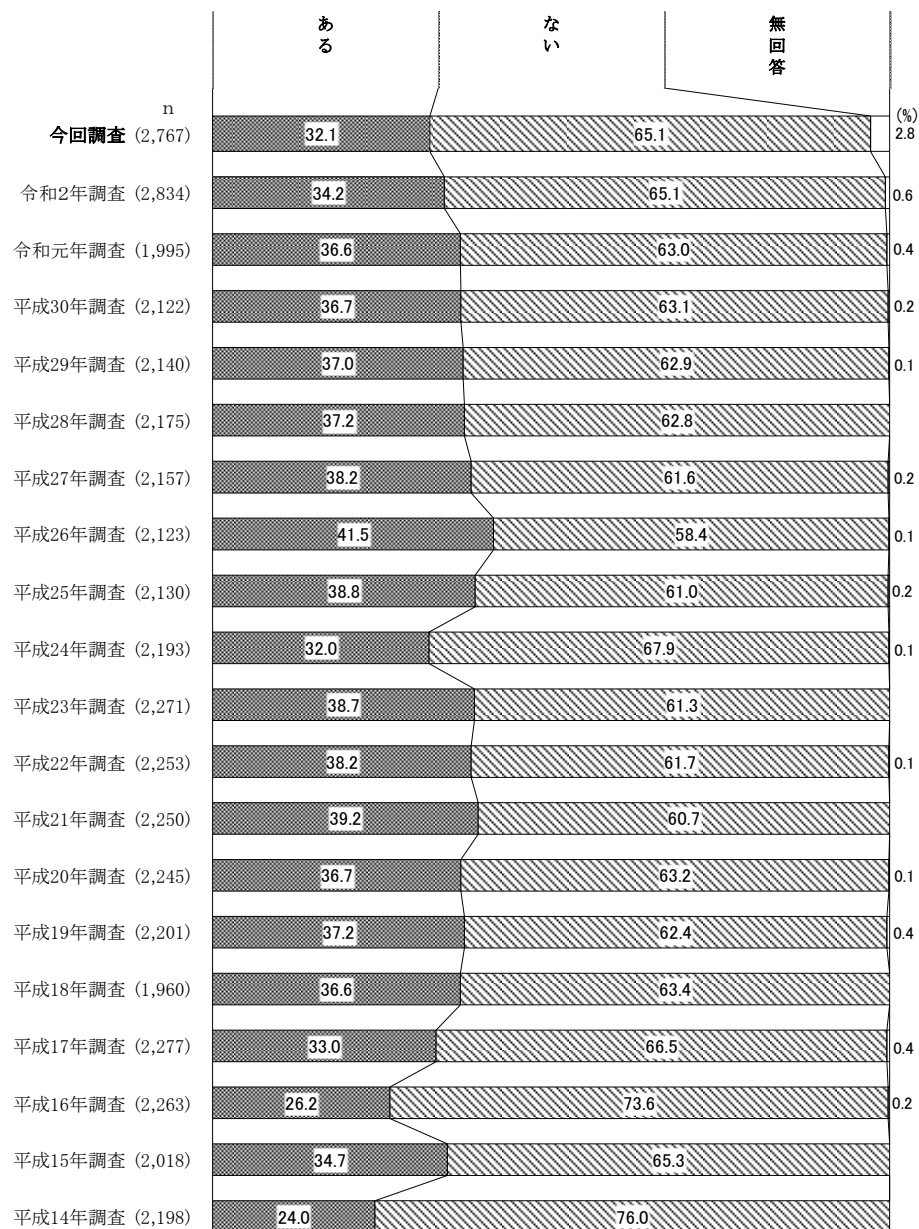
問6 次に、あなたの日常生活に関連することについておたずねします。

(1) あなたは、過去1年間に、地域社会活動(※)に参加したことがありますか。

(○は1つだけ)

※地域社会活動とは、例えば以下のような活動です。SNSやWeb会議システムを活用したオンラインでの参加も含まれます。

- 防犯パトロールや清掃活動等、町内会や自治会の活動
- 地域のイベント・祭事等への参加
- PTA活動や子供会の活動
- 障がい者や高齢者のための活動
- 青少年健全育成のための活動
- みどりと川の再生活動など環境保全の活動
- SNSや地域新聞、掲示板等を活用した地域情報の発信活動
- 子育てサロンや高齢者サロン等、地域サロンへの参加
- 趣味や経験を通じた地域のクラブ・サークル活動への参加
- 生涯学習や市(町)民大学への参加
- その他、地域活動やボランティア・NPO・寄付活動、地域とつながり交流する活動



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

過去1年間に地域活動社会活動に参加したことが「ある」(32.1%)は3割強となっている。

【過去調査との比較】

「ある」は平成26年調査以降減少傾向にあり、平成26年調査(41.5%)に比べて、今回調査(32.1%)は9.4ポイントの減少となっている。

【属性別比較】

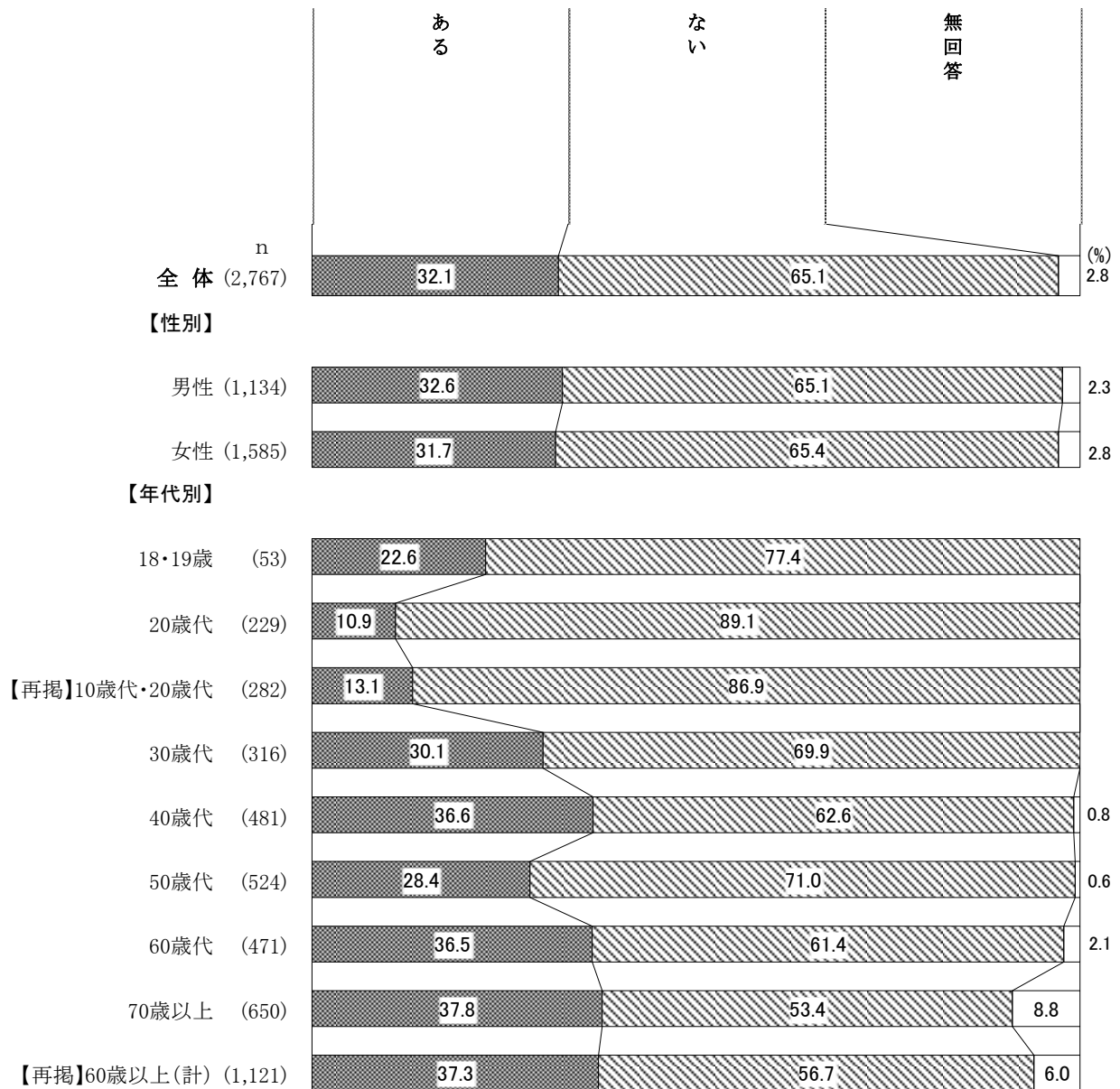
① 性別

「ある」は男性(32.6%)の方が女性(31.7%)よりも0.9ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は70歳以上(37.8%)で最も高く、次いで40歳代(36.6%)、60歳代(36.5%)でも3割台半ばを超えている。一方で、10歳代・20歳代(13.1%)は1割強と最も低くなっている。

○地域社会活動への参加経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は秩父地域（50.0%）で5割と最も高く、南西部地域（22.0%）が2割強で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は男性70歳以上（44.1%）で4割台半ばと最も高く、女性10歳代・20歳代（10.5%）が1割台前半で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（42.1%）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は家族成長前期（56.3%）が5割台半ばを超えて最も高く、独身期（12.8%）が1割強で最も低くなっている。

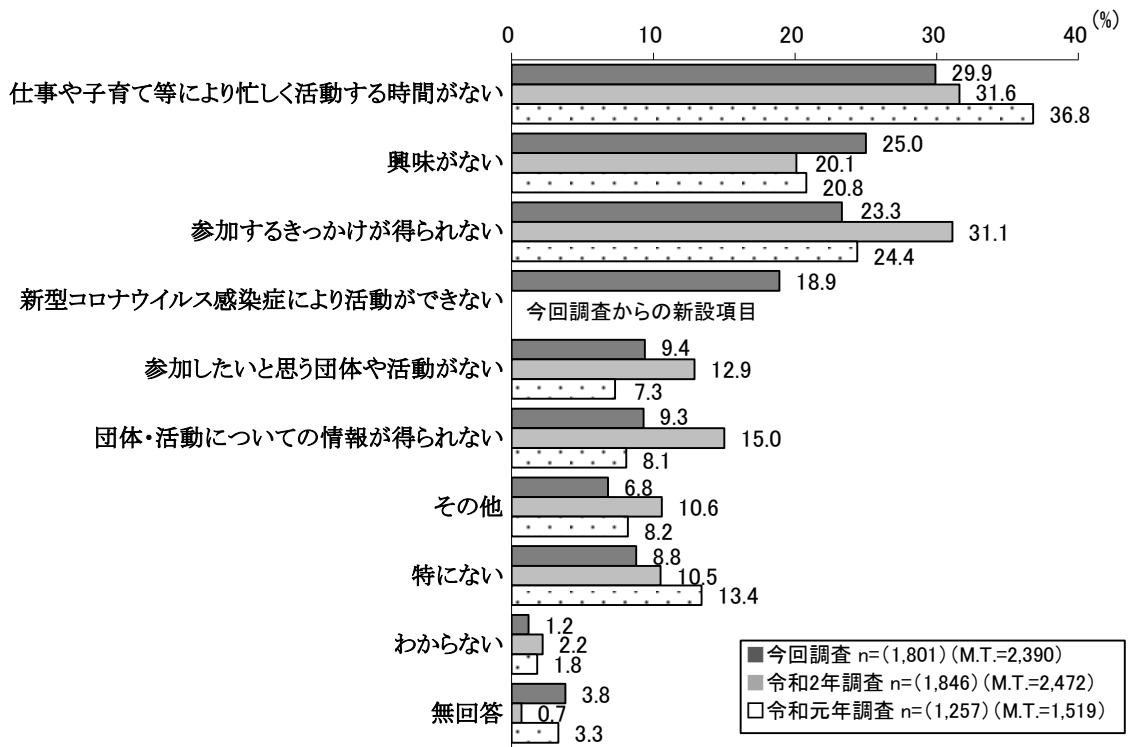
○地域社会活動への参加経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	2,767	32.1	65.1	2.8
地域別				
南部地域	268	32.1	65.7	2.2
南西部地域	259	22.0	77.6	0.4
東部地域	410	25.6	72.7	1.7
さいたま地域	482	26.6	69.7	3.7
県央地域	218	33.9	63.3	2.8
川越比企地域	293	38.2	59.0	2.7
西部地域	299	38.1	58.2	3.7
利根地域	245	34.3	62.0	3.7
北部地域	203	43.8	52.2	3.9
秩父地域	40	50.0	50.0	-
性・年代別				
男性／18・19歳	28	28.6	71.4	-
20歳代	91	13.2	86.8	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	16.8	83.2	-
30歳代	111	22.5	77.5	-
40歳代	173	31.2	68.2	0.6
50歳代	226	29.6	69.5	0.9
60歳代	215	35.8	63.7	0.5
70歳以上	286	44.1	48.3	7.7
【再掲】60歳以上（計）	501	40.5	54.9	4.6
女性／18・19歳	25	16.0	84.0	-
20歳代	137	9.5	90.5	-
【再掲】10歳代・20歳代	162	10.5	89.5	-
30歳代	205	34.1	65.9	-
40歳代	308	39.6	59.4	1.0
50歳代	298	27.5	72.1	0.3
60歳代	255	37.3	59.2	3.5
70歳以上	352	33.2	58.0	8.8
【再掲】60歳以上（計）	607	34.9	58.5	6.6
職業別				
自営業・家族従業（計）	242	42.1	52.5	5.4
雇用者（計）	1,461	28.4	71.0	0.5
無職（計）	1,006	34.8	60.2	5.0
ライフステージ別				
独身期	327	12.8	87.2	-
家族形成期	215	22.8	77.2	-
家族成長前期	245	56.3	41.6	2.0
家族成長後期	232	41.4	57.8	0.9
家族成熟期	463	34.1	65.4	0.4
高齢期	609	41.2	53.5	5.3
その他	676	22.8	71.7	5.5

(1-1) 地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が29.9%

(問6(1)で「2. ない」とお答えの方にお伺いします。)
 問6(1)-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。
 (〇は2つまで)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

地域社会活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」(29.9%)が約3割で最も高く、次いで「興味がない」(25.0%)、「参加するきっかけが得られない」(23.3%)、「新型コロナウイルス感染症により活動できない」(18.9%)、「参加したいと思う団体や活動がない」(9.4%)などとなっている。

【過去調査との比較】

今回調査から追加された項目の「新型コロナウイルス感染症により活動できない」が18.9%であったため、令和2年調査と比べて、ほとんどの項目で減少となった。特に「参加するきっかけが得られない」は7.8ポイント、「団体・活動についての情報が得られない」が5.7ポイント減少しているが、「興味がない」は4.9ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」はさいたま地域（34.8%）で3割台半ばと最も高く、「興味がない」と「参加するきっかけが得られない」はともに南部地域（30.7%・29.5%）で最も高くなっている。

※秩父地域（n=20）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は女性（31.3%）の方が男性（28.6%）より2.7ポイント高く、「興味がない」は男性（28.7%）の方が女性（22.3%）よりも6.4ポイント高くなっている。

③ 年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」と「興味がない」は30歳代（48.4%・35.3%）が最も高くなっている。一方で、「参加するきっかけが得られない」は10歳代・20歳代（33.1%）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は女性30歳代（48.9%）が5割弱と最も高くなっている。「興味がない」は男性30歳代（39.5%）が約4割で最も高く、「参加するきっかけが得られない」は女性10歳代・20歳代（35.2%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は雇用者（計）（42.0%）で4割強と最も高くなっている。「興味がない」も雇用者（計）（27.1%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は家族成長前期（58.8%）で6割弱と最も高く、「興味がない」と「参加するきっかけが得られない」は独身期（36.1%・31.6%）で最も高くなっている。

○地域社会活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	忙しい仕事や子育て等により	興味がない	参加するきっかけが得られない	新型コロナウイルスにより活動ができ	参加したいと思う団体や活動がない	団体が活動について情報が得られない	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1,801	29.9	25.0	23.3	18.9	9.4	9.3	6.8	8.8	1.2	3.8
地域別											
南部地域	176	27.3	30.7	29.5	13.1	11.4	11.9	4.0	7.4	2.8	2.3
南西部地域	201	33.8	28.9	23.9	16.9	9.0	8.5	7.5	6.0	1.0	4.5
東部地域	298	32.6	24.8	20.8	18.1	9.4	8.1	7.7	10.4	1.7	4.0
さいたま地域	336	34.8	19.6	27.4	20.5	6.3	10.4	5.4	9.8	0.3	3.3
県央地域	138	32.6	24.6	23.9	18.8	10.9	8.7	5.8	8.0	-	2.2
川越比企地域	173	24.3	24.3	20.2	22.0	9.8	8.7	6.9	9.8	1.7	2.9
西部地域	174	25.3	27.6	24.7	14.4	11.5	10.3	9.2	8.0	1.1	4.0
利根地域	152	23.0	26.3	19.1	19.7	13.2	7.9	7.9	8.6	2.0	6.6
北部地域	106	29.2	22.6	14.2	27.4	3.8	9.4	8.5	7.5	-	6.6
秩父地域	20	35.0	35.0	30.0	25.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-
性別											
男性	738	28.6	28.7	23.3	15.2	11.5	11.4	5.8	8.9	0.9	4.1
女性	1,037	31.3	22.3	23.5	21.6	7.6	7.8	7.5	8.4	1.4	3.7
年代別											
18・19歳	41	24.4	36.6	36.6	7.3	17.1	14.6	4.9	4.9	7.3	2.4
20歳代	204	29.9	32.8	32.4	13.7	11.3	13.7	2.0	6.4	-	4.4
【再掲】10歳代・20歳代	245	29.0	33.5	33.1	12.7	12.2	13.9	2.4	6.1	1.2	4.1
30歳代	221	48.4	35.3	24.0	10.9	10.0	10.4	1.8	5.9	0.9	3.2
40歳代	301	43.9	25.6	24.6	18.6	8.3	8.6	1.7	6.6	1.3	2.7
50歳代	372	35.8	22.0	20.2	21.5	8.1	6.7	6.5	9.9	0.8	2.2
60歳代	289	22.1	21.5	22.5	27.3	10.7	9.7	8.7	8.0	0.7	3.5
70歳以上	347	8.6	18.4	19.6	18.4	7.8	8.4	16.7	13.0	2.3	6.9
【再掲】60歳以上（計）	636	14.8	19.8	20.9	22.5	9.1	9.0	13.1	10.7	1.6	5.3
性・年代別											
男性／18・19歳	20	20.0	35.0	50.0	10.0	20.0	10.0	5.0	-	10.0	-
20歳代	79	25.3	34.2	25.3	11.4	16.5	17.7	2.5	7.6	-	3.8
【再掲】10歳代・20歳代	99	24.2	34.3	30.3	11.1	17.2	16.2	3.0	6.1	2.0	3.0
30歳代	86	47.7	39.5	19.8	10.5	10.5	11.6	1.2	3.5	1.2	2.3
40歳代	118	40.7	31.4	23.7	13.6	10.2	11.0	1.7	7.6	0.8	3.4
50歳代	157	34.4	27.4	19.1	19.7	8.9	8.3	6.4	10.8	-	1.9
60歳代	137	24.1	26.3	26.3	19.7	13.1	12.4	5.8	7.3	-	4.4
70歳以上	138	8.0	20.3	22.5	12.3	10.9	10.9	13.8	15.2	2.2	7.2
【再掲】60歳以上（計）	275	16.0	23.3	24.4	16.0	12.0	11.6	9.8	11.3	1.1	5.8
女性／18・19歳	21	28.6	38.1	23.8	4.8	14.3	19.0	4.8	9.5	4.8	4.8
20歳代	124	32.3	31.5	37.1	15.3	8.1	11.3	1.6	5.6	-	4.8
【再掲】10歳代・20歳代	145	31.7	32.4	35.2	13.8	9.0	12.4	2.1	6.2	0.7	4.8
30歳代	135	48.9	32.6	26.7	11.1	9.6	9.6	2.2	7.4	0.7	3.7
40歳代	183	45.9	21.9	25.1	21.9	7.1	7.1	1.6	6.0	1.6	2.2
50歳代	215	36.7	18.1	20.9	22.8	7.4	5.6	6.5	9.3	1.4	2.3
60歳代	151	20.5	16.6	19.2	34.4	7.9	7.3	11.3	8.6	1.3	2.6
70歳以上	204	9.3	16.7	18.1	23.0	5.9	6.9	18.6	11.3	2.5	6.4
【再掲】60歳以上（計）	355	14.1	16.6	18.6	27.9	6.8	7.0	15.5	10.1	2.0	4.8
職業別											
自営業・家族従業（計）	127	27.6	22.0	20.5	22.8	3.9	8.7	5.5	6.3	0.8	7.1
雇用者（計）	1,038	42.0	27.1	24.0	17.1	9.4	9.8	3.4	6.8	1.1	2.5
無職（計）	606	10.6	22.4	23.3	21.0	9.9	8.6	13.0	12.0	1.5	5.4
ライフステージ別											
独身期	285	28.4	36.1	31.6	11.6	13.0	14.4	2.5	7.7	0.7	3.2
家族形成期	166	56.0	30.1	24.7	13.9	8.4	9.6	1.2	2.4	1.2	4.2
家族成長前期	102	58.8	20.6	18.6	19.6	9.8	5.9	2.9	6.9	-	-
家族成長後期	134	46.3	19.4	23.9	25.4	5.2	5.2	5.2	8.2	0.7	0.7
家族成熟期	303	28.4	21.1	20.8	26.7	8.3	7.6	9.6	8.6	1.0	4.0
高齢期	326	13.5	18.1	20.2	24.8	10.7	8.6	12.6	11.3	0.9	4.6
その他	485	23.3	26.4	22.5	14.2	8.5	9.5	7.0	10.5	2.3	5.2

(2) 文化芸術活動の経験

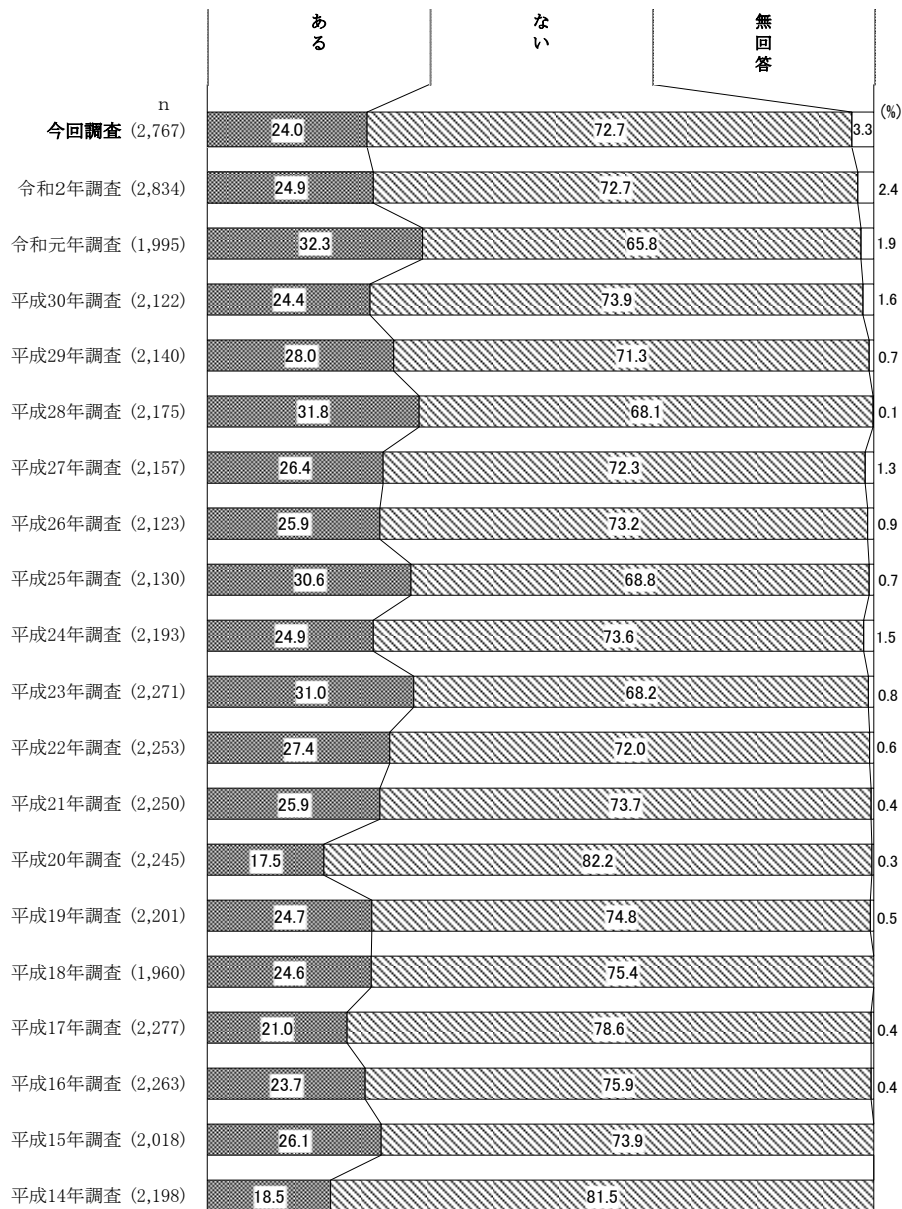
◇文化芸術活動の経験が「ある」24.0%、「ない」72.7%

問6(2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動(※)を行ったことがありますか。
(〇は1つだけ)

(趣味、クラブ・サークル活動、体験教室、習い事などで行う活動も含まれます。)

※文化芸術活動とは、例えば以下のような分野での活動です。インターネット上で行う活動も対象です。

- ・音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など)
- ・美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)
- ・写真(風景、人物写真など)
- ・文芸(小説、詩、俳句、短歌など)
- ・生活文化(書道、茶道、華道、盆栽など)
- ・国民娯楽(囲碁、将棋など)
- ・舞踊(バレエ、ダンス、よさこいなど)
- ・伝統芸能(和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど)
- ・演劇(現代劇、ミュージカルなど)
- ・演芸(落語、漫談、漫才など)
- ・伝統工芸、文化財の継承・保存
- ・映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に文化芸術活動を行ったことが「ある」(24.0%)は2割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

「ある」は令和2年調査と比べると0.9ポイントの減少にとどまっているが、2年前の令和元年調査(32.3%)と比べると8.3ポイントの減少となっている。

【属性別比較】

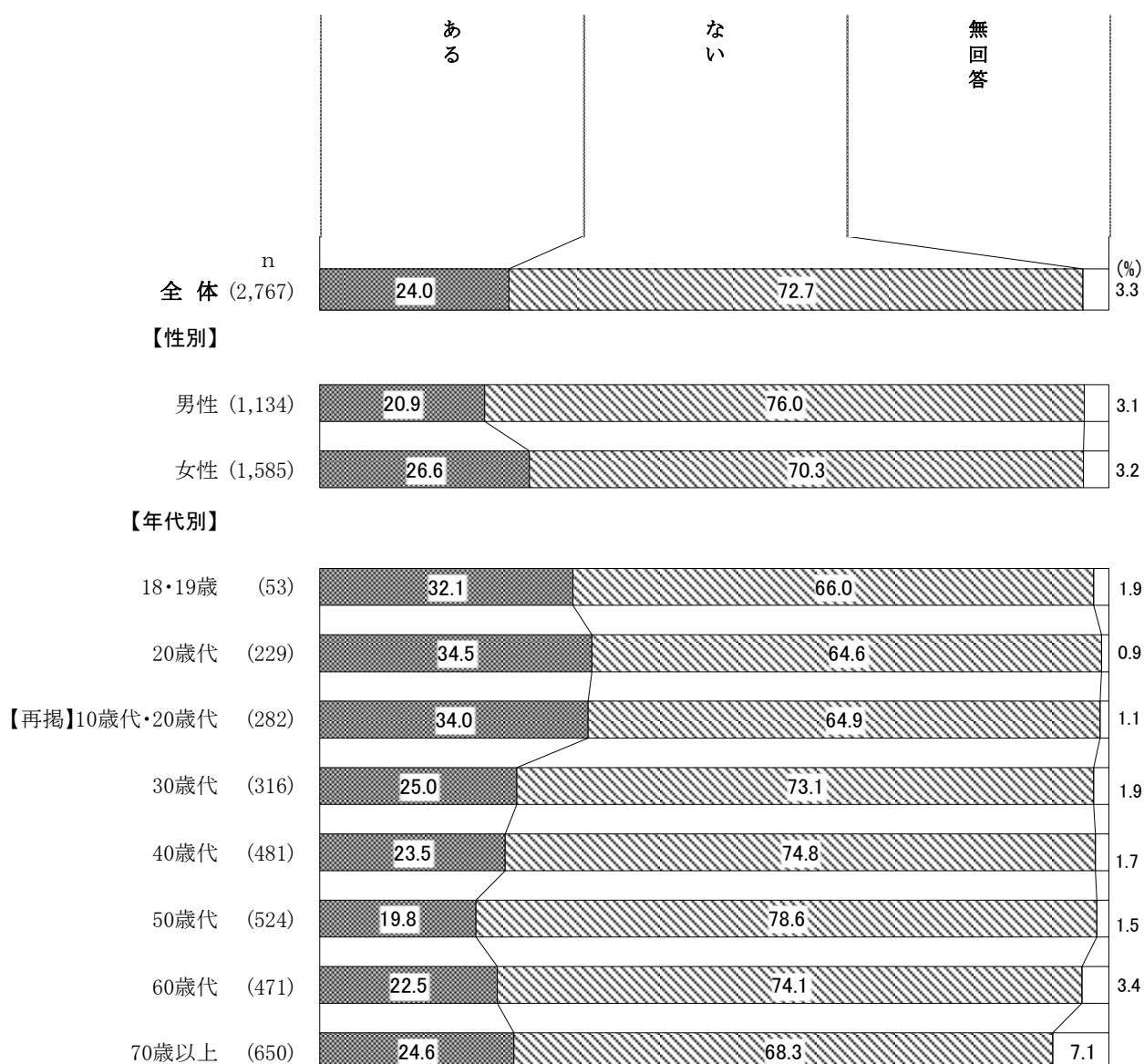
① 性別

「ある」は女性(26.6%)の方が男性(20.9%)よりも5.7ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は10歳代・20歳代(34.0%)で3割台半ばと最も高く、50歳代(19.8%)で最も低くなっている。

○文化芸術活動の経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は秩父地域（30.0%）で3割と最も高く、利根地域（21.6%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は女性10・20歳以上（35.8%）で3割台半ばと最も高くなっている。一方で、男性40歳代から60歳代は1割台と特に低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は無職（計）（26.7%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は独身期（34.9%）で3割台半ばと最も高く、「ない」は家族形成期（79.5%）で約8割と最も高くなっている。

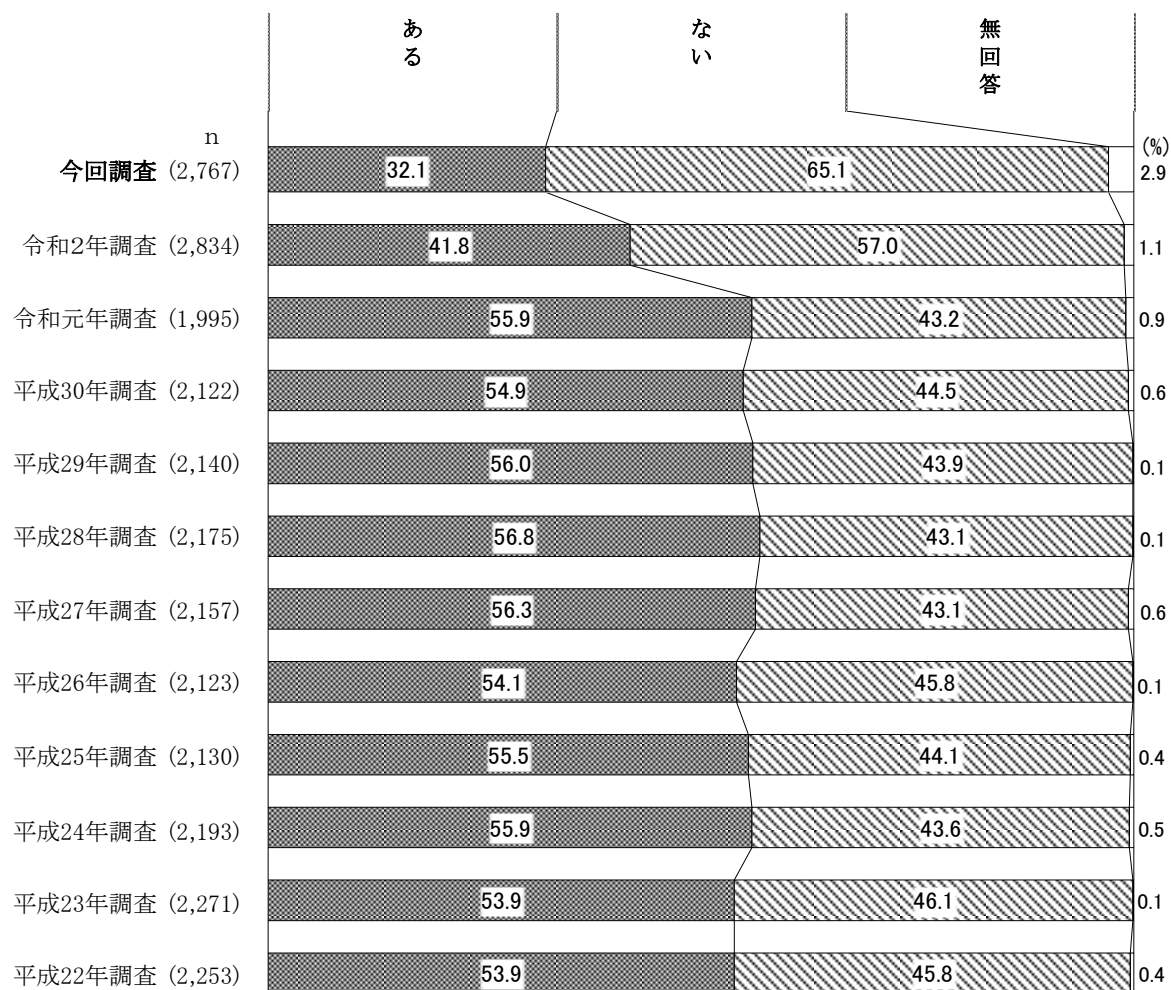
○文化芸術活動の経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	2,767	24.0	72.7	3.3
地域別				
南部地域	268	23.5	73.1	3.4
南西部地域	259	23.6	74.5	1.9
東部地域	410	23.4	72.2	4.4
さいたま地域	482	23.7	73.7	2.7
県央地域	218	26.1	72.5	1.4
川越比企地域	293	23.9	71.3	4.8
西部地域	299	25.4	71.2	3.3
利根地域	245	21.6	75.5	2.9
北部地域	203	26.1	70.4	3.4
秩父地域	40	30.0	70.0	-
性・年代別				
男性／18・19歳	28	32.1	64.3	3.6
20歳代	91	31.9	67.0	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	119	31.9	66.4	1.7
30歳代	111	26.1	73.0	0.9
40歳代	173	17.9	79.8	2.3
50歳代	226	15.9	82.3	1.8
60歳代	215	16.7	80.0	3.3
70歳以上	286	23.4	70.6	5.9
女性／18・19歳	25	32.0	68.0	-
20歳代	137	36.5	62.8	0.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	35.8	63.6	0.6
30歳代	205	24.4	73.2	2.4
40歳代	308	26.6	72.1	1.3
50歳代	298	22.8	75.8	1.3
60歳代	255	27.5	69.0	3.5
70歳以上	352	26.1	66.5	7.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	242	23.1	71.9	5.0
雇用者（計）	1,461	22.5	75.8	1.6
無職（計）	1,006	26.7	68.4	4.9
ライフステージ別				
独身期	327	34.9	63.9	1.2
家族形成期	215	20.0	79.5	0.5
家族成長前期	245	26.9	69.8	3.3
家族成長後期	232	24.1	74.6	1.3
家族成熟期	463	23.1	74.1	2.8
高齢期	609	26.1	69.5	4.4
その他	676	17.8	77.1	5.2

(3) 文化芸術活動の鑑賞

◇文化芸術活動の鑑賞は「ある」32.1%、「ない」65.1%

問6 (3) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を鑑賞したことがありますか。
 (〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間で、文化芸術活動を鑑賞したことが「ある」(32.1%)は3割強となっており、「ない」(65.1%)を33.0ポイント下回っている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べると、「ある」は9.7ポイント減少しており、2年前の令和元年調査(55.9%)から大きく減少しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるイベントの中止や外出自粛の影響を強く受けた結果となっている。

【属性別比較】

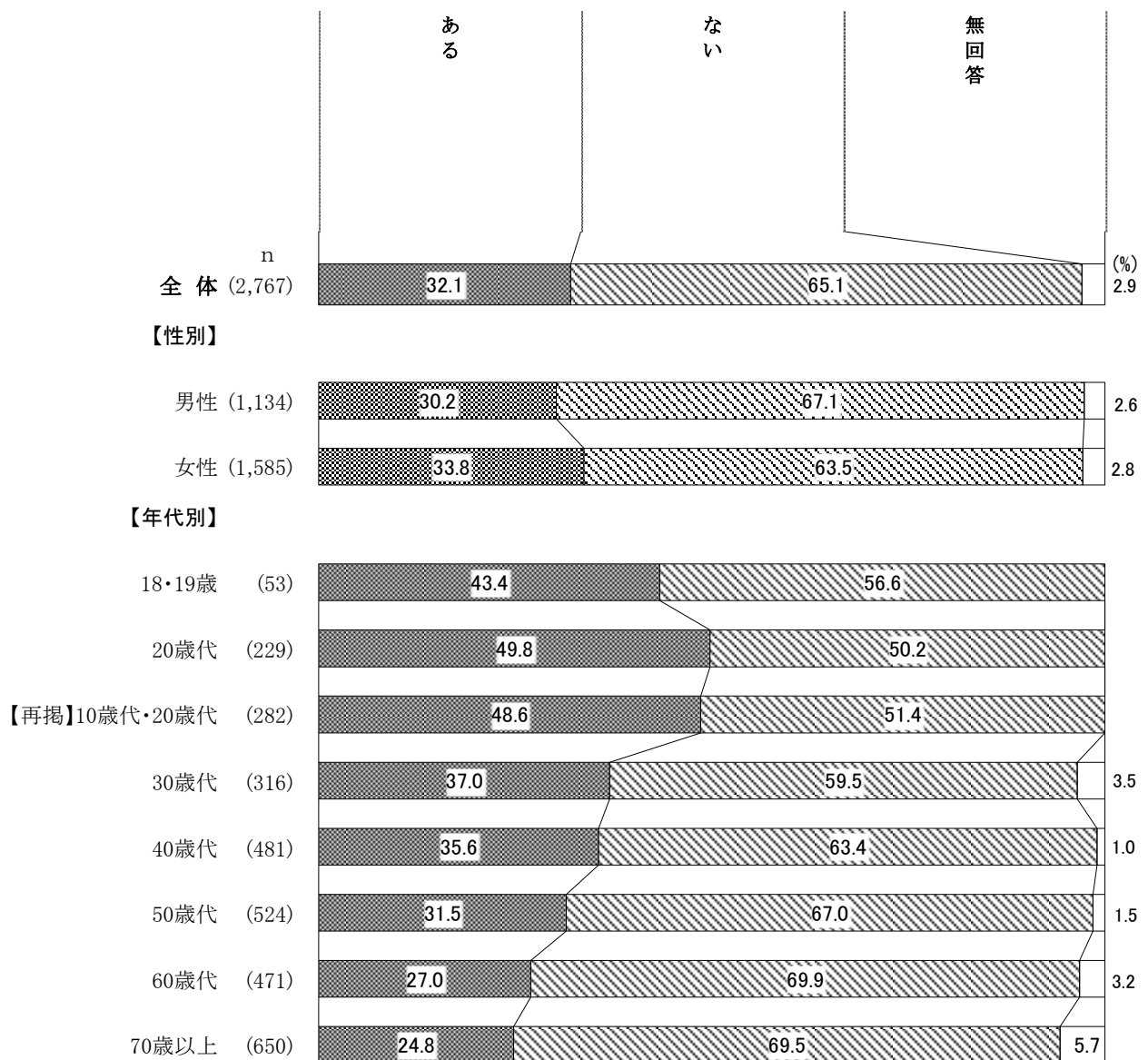
① 性別

「ある」は女性（33.8%）の方が男性（30.2%）よりも3.6ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は10歳代・20歳代（48.6%）で5割弱と最も高く、年代が上がるほど低くなる傾向にあり、70歳以上（24.8%）で2割台半ばとなっている。

○文化芸術活動の鑑賞・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は南西部地域（39.4%）で約4割と最も高く、利根地域（24.9%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は女性10歳代・20歳代（50.0%）で5割と最も高く、男性60歳代（23.7%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は雇用者（計）（34.8%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は独身期（50.5%）で5割を超えて最も高く、高齢期（26.6%）で最も低くなっている。

○文化芸術活動の鑑賞・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

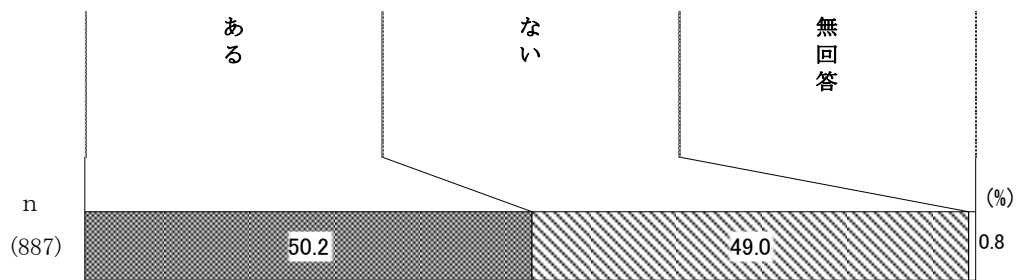
	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	2,767	32.1	65.1	2.9
地域別				
南部地域	268	27.6	67.5	4.9
南西部地域	259	39.4	59.1	1.5
東部地域	410	35.6	61.2	3.2
さいたま地域	482	34.4	63.9	1.7
県央地域	218	30.7	66.1	3.2
川越比企地域	293	33.4	63.1	3.4
西部地域	299	29.8	65.9	4.3
利根地域	245	24.9	73.1	2.0
北部地域	203	32.0	67.0	1.0
秩父地域	40	27.5	72.5	-
性・年代別				
男性／18・19歳	28	46.4	53.6	-
20歳代	91	47.3	52.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	47.1	52.9	-
30歳代	111	44.1	53.2	2.7
40歳代	173	33.5	65.3	1.2
50歳代	226	25.2	73.5	1.3
60歳代	215	23.7	74.4	1.9
70歳以上	286	25.2	68.5	6.3
女性／18・19歳	25	40.0	60.0	-
20歳代	137	51.8	48.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	162	50.0	50.0	-
30歳代	205	33.2	62.9	3.9
40歳代	308	36.7	62.3	1.0
50歳代	298	36.2	62.1	1.7
60歳代	255	29.8	65.9	4.3
70歳以上	352	24.7	70.5	4.8
職業別				
自営業・家族従業（計）	242	27.7	64.5	7.9
雇用者（計）	1,461	34.8	63.6	1.6
無職（計）	1,006	29.8	67.0	3.2
ライフステージ別				
独身期	327	50.5	48.9	0.6
家族形成期	215	31.2	66.0	2.8
家族成長前期	245	38.0	60.0	2.0
家族成長後期	232	34.1	64.7	1.3
家族成熟期	463	30.0	67.6	2.4
高齢期	609	26.6	68.3	5.1
その他	676	26.9	70.0	3.1

(3-1) インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞

◇「ある」が50.2%、「ない」が49.0%

(問6(3)で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。)

問6(3)-1 あなたは、この1年間に、インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞を行ったことがありますか。(〇は1つだけ)



この1年間で、インターネット配信による文化芸術活動を鑑賞したことが「ある」は50.2%で、「ない」(49.0%)をわずかに上回っている。

【属性別比較】

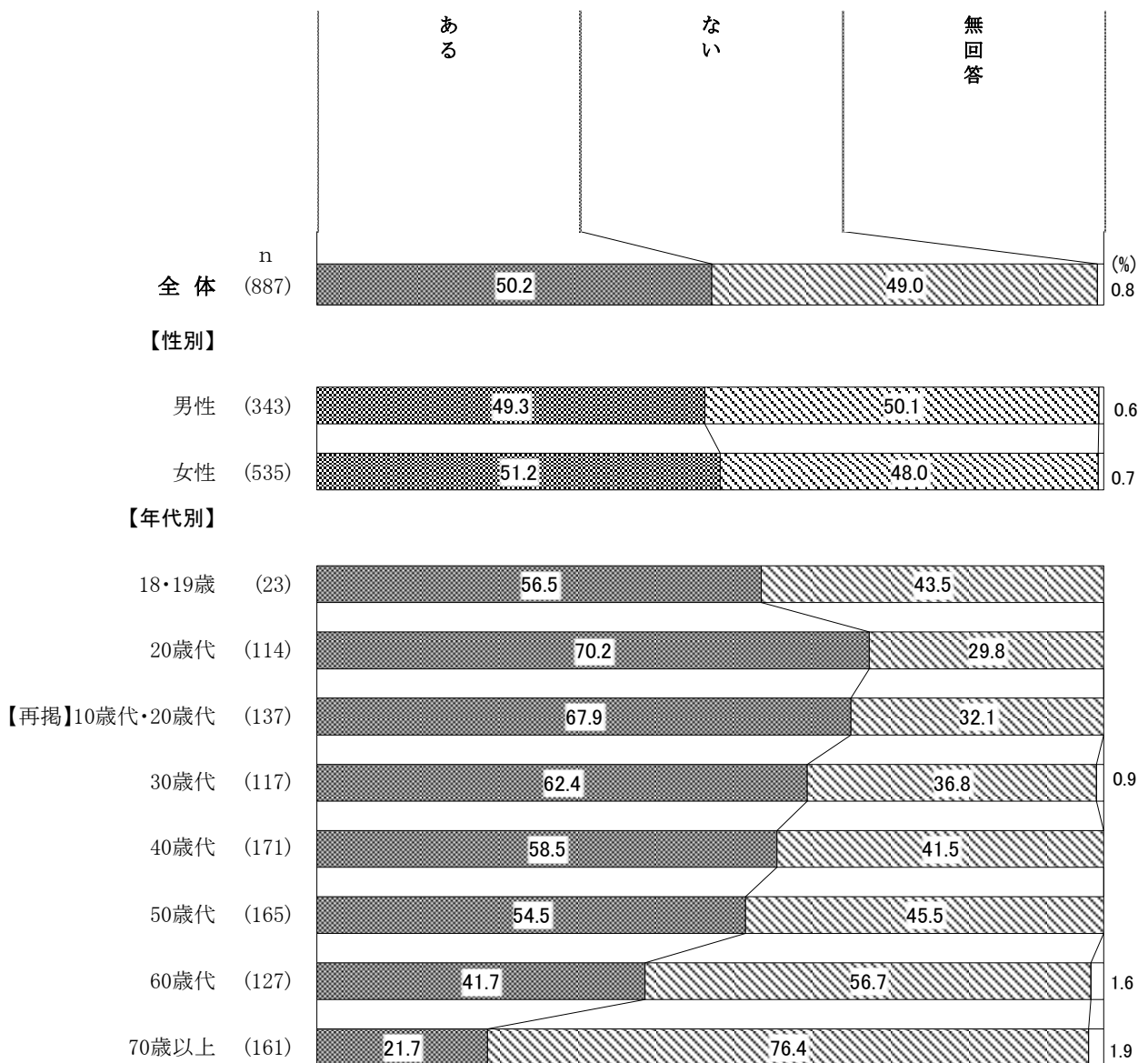
① 性別

「ある」は女性（51.2%）の方が男性（49.3%）よりも1.9ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は10歳代・20歳代（67.9%）で6割台半ばを超えて最も高く、年齢が上がるほど低くなる傾向にあり、70歳以上（21.7%）で2割強と最も低くなっている。

○インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は県央地域（56.7%）で5割台半ばを超えて最も高く、西部地域（44.9%）が4割台半ばと最も低くなっている。

※秩父地域（n=11）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「ある」は女性10歳代・20歳代（70.4%）で7割を超えて最も高く、男女ともに年代が上がるほどおおむね低くなる傾向にあり、女性70歳以上（14.9%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（74.6%）で7割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は独身期（67.9%）で6割台半ばを超えて最も高く、高齢期（27.8%）で最も低くなっている。

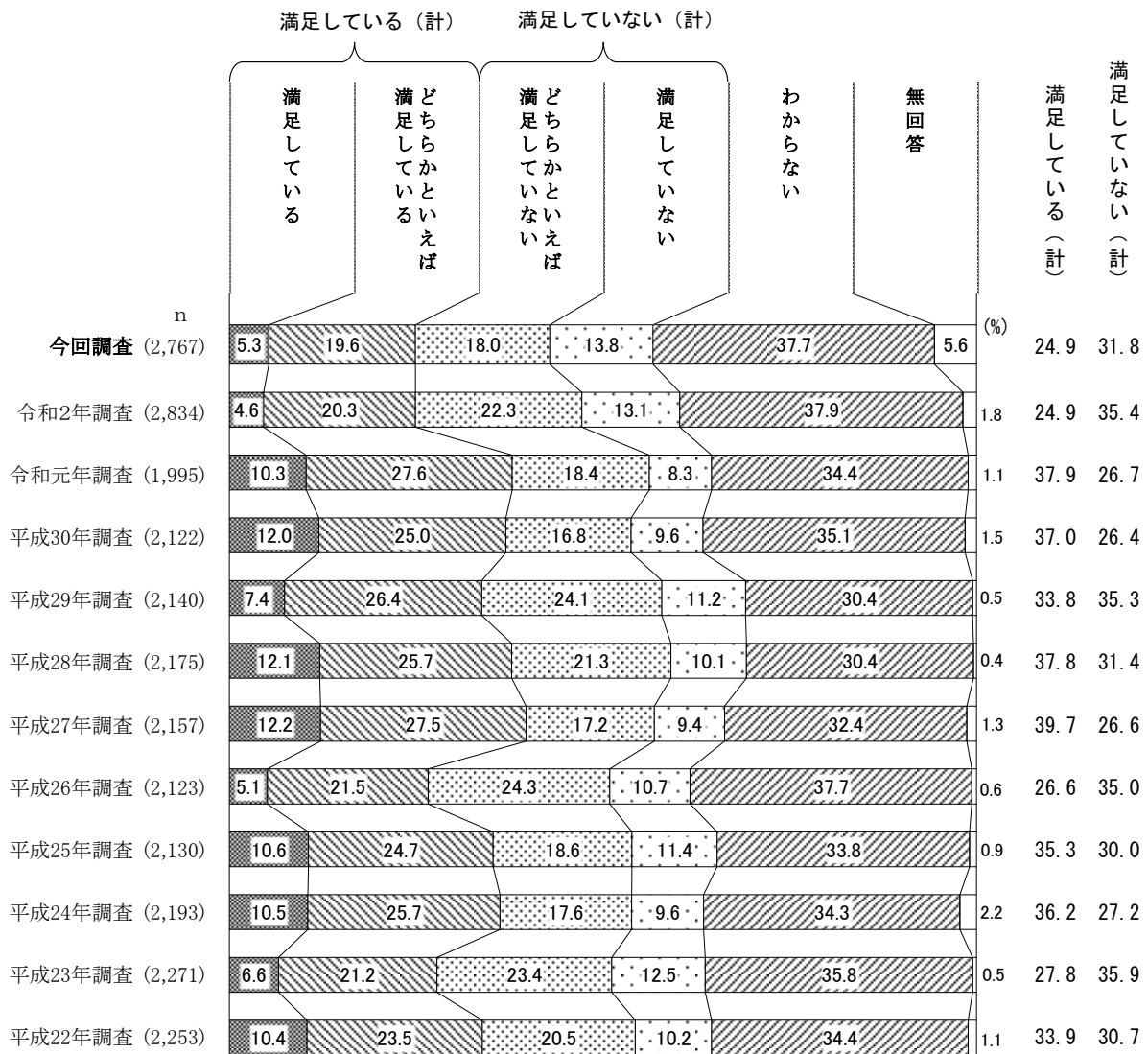
○インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	887	50.2	49.0	0.8
地域別				
南部地域	74	52.7	47.3	-
南西部地域	102	50.0	48.0	2.0
東部地域	146	50.0	49.3	0.7
さいたま地域	166	49.4	50.0	0.6
県央地域	67	56.7	43.3	-
川越比企地域	98	53.1	45.9	1.0
西部地域	89	44.9	53.9	1.1
利根地域	61	55.7	44.3	-
北部地域	65	46.2	53.8	-
秩父地域	11	45.5	54.5	-
性・年代別				
男性／18・19歳	13	46.2	53.8	-
20歳代	43	69.8	30.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	56	64.3	35.7	-
30歳代	49	63.3	36.7	-
40歳代	58	58.6	41.4	-
50歳代	57	42.1	57.9	-
60歳代	51	45.1	52.9	2.0
70歳以上	72	29.2	69.4	1.4
女性／18・19歳	10	70.0	30.0	-
20歳代	71	70.4	29.6	-
【再掲】10歳代・20歳代	81	70.4	29.6	-
30歳代	68	61.8	36.8	1.5
40歳代	113	58.4	41.6	-
50歳代	108	61.1	38.9	-
60歳代	76	39.5	59.2	1.3
70歳以上	87	14.9	82.8	2.3
職業別				
自営業・家族従業（計）	67	74.6	25.4	-
雇用者（計）	508	55.3	44.3	0.4
無職（計）	300	37.7	61.0	1.3
ライフステージ別				
独身期	165	67.9	32.1	-
家族形成期	67	58.2	40.3	1.5
家族成長前期	93	47.3	52.7	-
家族成長後期	79	62.0	38.0	-
家族成熟期	139	49.6	50.4	-
高齢期	162	27.8	71.0	1.2
その他	182	47.8	50.0	2.2

(4) 文化芸術活動の機会や環境の満足度

◇『満足している（計）』は24.9%、『満足していない（計）』は31.8%

問6（4） あなたは、日常生活の中で文化芸術活動を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

日常生活の中での文化芸術活動の機会や環境の満足度は、「わからない」（37.7%）が3割台半ばを超えて最も高くなっている。次いで「どちらかといえば満足している」（19.6%）となっており、これに「満足している」（5.3%）を合わせた『満足している（計）』（24.9%）が2割台半ばとなっている。一方で「満足していない」（13.8%）と「どちらかといえば満足していない」（18.0%）を合わせた『満足していない（計）』（31.8%）は3割強となり、『満足している（計）』を6.9ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和2年調査に引き続き、『満足している（計）』（24.9%）が2割台半ばと低い割合で推移している。一方で『満足していない（計）』（31.8%）は前回（35.4%）に比べて3.6ポイント減少している。

【属性別比較】

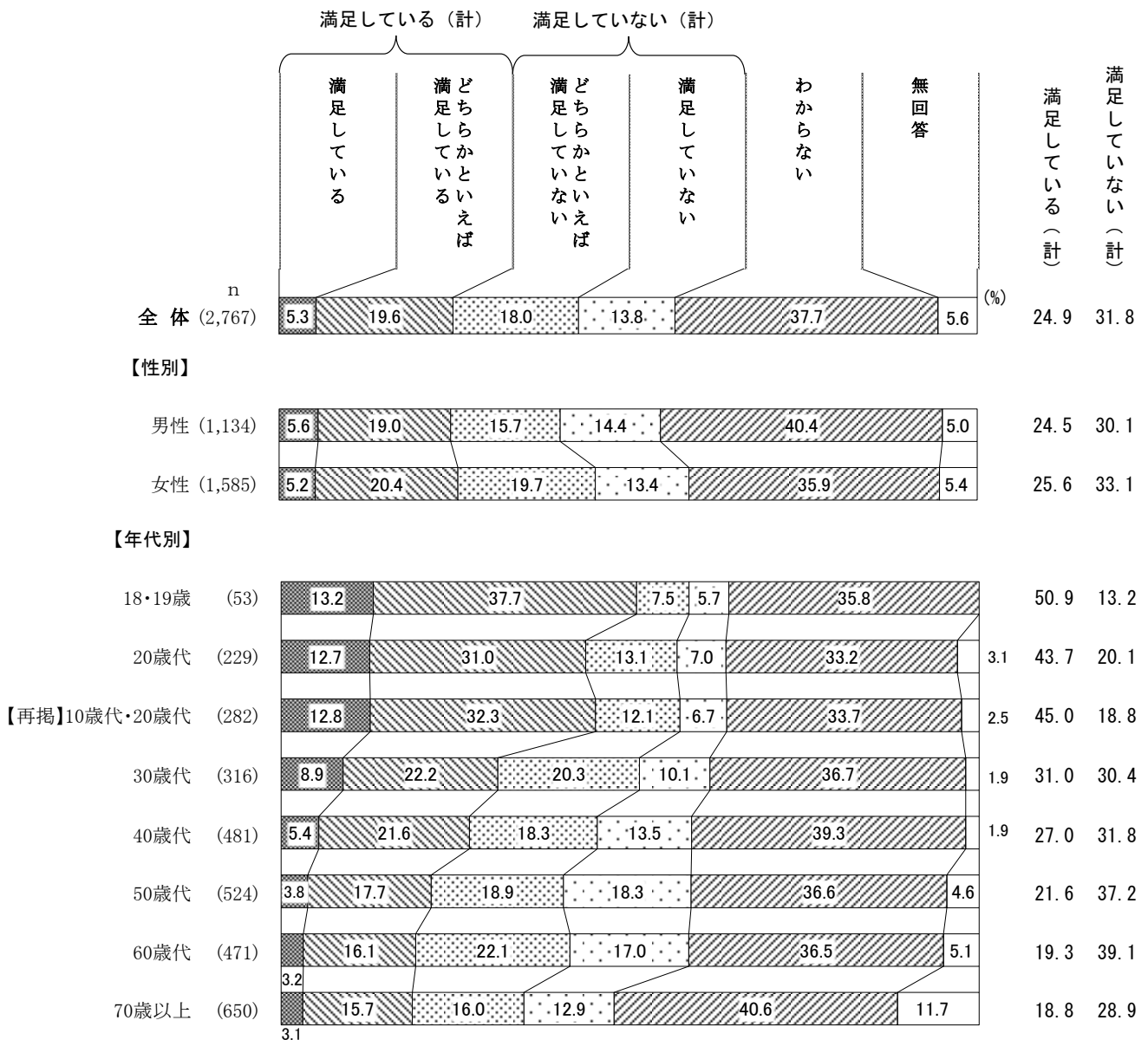
① 性別

『満足している（計）』は女性（25.6%）の方が男性（24.5%）よりも1.1ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（45.0%）で4割台半ばと最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなる傾向にあり、70歳以上で18.8%となっている。

○文化芸術活動の機会や環境の満足度・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は東部地域（27.6%）で2割台半ばを超えて最も高く、『満足していない（計）』は利根地域（36.7%）で3割台後半と最も低くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（50.4%）で5割を超えて最も高く、『満足していない（計）』は女性60歳代（42.0%）で4割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』はいずれの職業でも特に大きな差はないが、『満足していない（計）』は自営業・家族従業（計）（35.1%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は独身期（46.8%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

○文化芸術活動の機会や環境の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	満足している	満足している どちらかといえ ば	満足している どちらかといえ ば	満足していない	わからない	無回答	満足度（％）	
								満足している（計）	満足していない（計）
全体	2,767	5.3	19.6	18.0	13.8	37.7	5.6	24.9	31.8
地域別									
南部地域	268	3.0	20.1	15.3	14.6	40.3	6.7	23.1	29.9
南西部地域	259	8.5	18.1	17.4	12.0	40.2	3.9	26.6	29.3
東部地域	410	7.3	20.2	15.6	12.2	39.3	5.4	27.6	27.8
さいたま地域	482	4.1	21.0	18.9	15.4	37.6	3.1	25.1	34.2
県央地域	218	6.4	17.9	18.3	13.3	38.1	6.0	24.3	31.7
川越比企地域	293	2.7	23.5	16.0	12.3	39.2	6.1	26.3	28.3
西部地域	299	5.7	20.1	17.7	16.1	34.1	6.4	25.8	33.8
利根地域	245	3.7	15.5	23.3	13.5	35.1	9.0	19.2	36.7
北部地域	203	8.4	17.7	23.2	13.3	34.0	3.4	26.1	36.5
秩父地域	40	-	20.0	17.5	15.0	40.0	7.5	20.0	32.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	10.7	46.4	3.6	3.6	35.7	-	57.1	7.1
20歳代	91	17.6	30.8	11.0	8.8	28.6	3.3	48.4	19.8
【再掲】10歳代・20歳代	119	16.0	34.5	9.2	7.6	30.3	2.5	50.4	16.8
30歳代	111	11.7	21.6	17.1	10.8	36.9	1.8	33.3	27.9
40歳代	173	4.6	20.8	13.9	13.9	45.7	1.2	25.4	27.7
50歳代	226	4.4	16.8	18.1	19.0	38.1	3.5	21.2	37.2
60歳代	215	2.3	15.3	18.1	17.2	43.3	3.7	17.7	35.3
70歳以上	286	2.8	14.7	15.4	13.3	42.0	11.9	17.5	28.7
女性／18・19歳	25	16.0	28.0	12.0	8.0	36.0	-	44.0	20.0
20歳代	137	9.5	31.4	14.6	5.8	35.8	2.9	40.9	20.4
【再掲】10歳代・20歳代	162	10.5	30.9	14.2	6.2	35.8	2.5	41.4	20.4
30歳代	205	7.3	22.4	22.0	9.8	36.6	2.0	29.8	31.7
40歳代	308	5.8	22.1	20.8	13.3	35.7	2.3	27.9	34.1
50歳代	298	3.4	18.5	19.5	17.8	35.6	5.4	21.8	37.2
60歳代	255	3.9	16.9	25.5	16.5	31.0	6.3	20.8	42.0
70歳以上	352	3.4	17.0	16.5	13.1	39.8	10.2	20.5	29.5
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	5.4	19.0	18.6	16.5	33.5	7.0	24.4	35.1
雇用者（計）	1,461	5.4	19.8	18.4	14.2	38.5	3.6	25.3	32.6
無職（計）	1,006	5.3	19.8	17.4	12.8	37.3	7.5	25.0	30.2
ライフステージ別									
独身期	327	12.5	34.3	12.5	6.4	32.4	1.8	46.8	19.0
家族形成期	215	8.8	16.7	16.7	14.4	41.4	1.9	25.6	31.2
家族成長前期	245	6.1	19.6	20.0	13.9	38.0	2.4	25.7	33.9
家族成長後期	232	4.7	20.7	21.1	15.5	34.1	3.9	25.4	36.6
家族成熟期	463	3.2	16.6	23.5	15.3	37.1	4.1	19.9	38.9
高齢期	609	3.6	16.3	19.7	16.7	35.6	8.0	19.9	36.5
その他	676	3.7	17.9	14.1	12.9	42.3	9.2	21.6	26.9

(5) スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度

◇『週に1回程度以上(計)』は全体の56.3%

問7 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。

あなたは、過去1年間に、散歩やウォーキング、軽い体操や日常生活の中で意識的に体を動かすことなどをはじめ、スポーツ・レクリエーション活動(※)をしましたか。

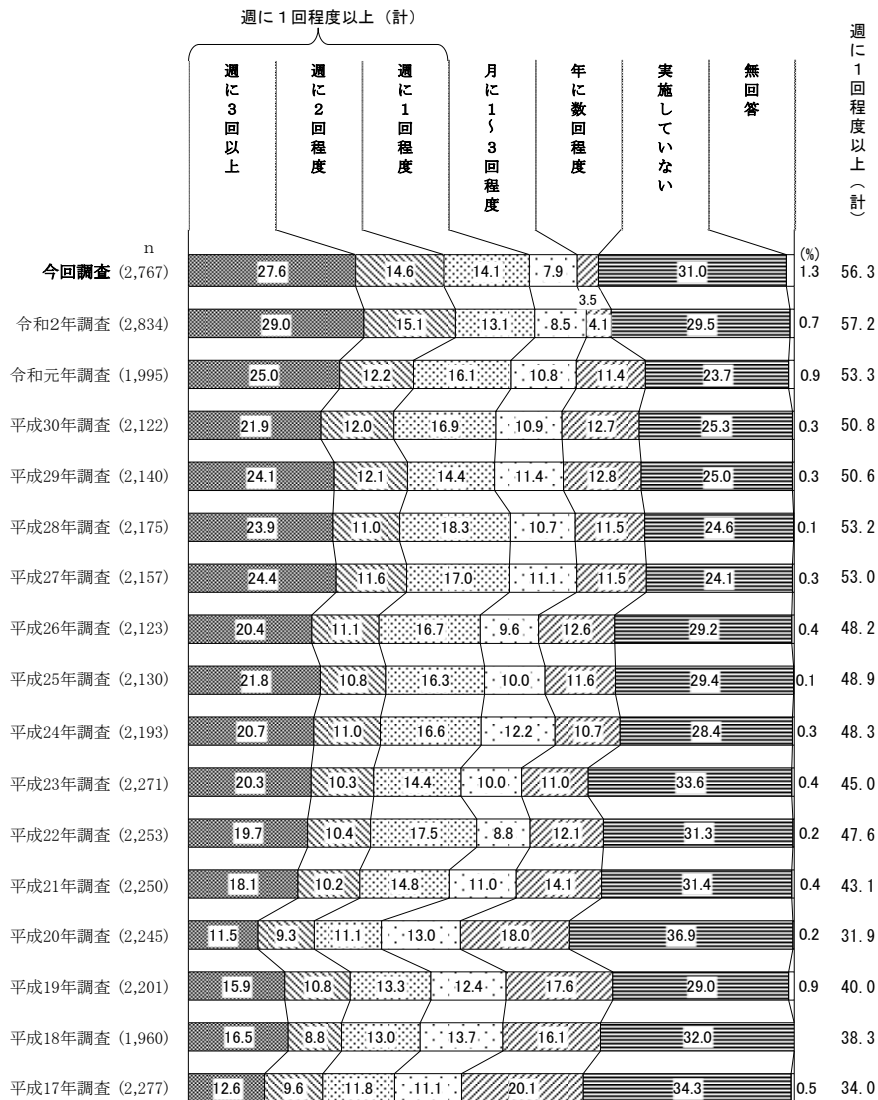
(〇は1つだけ)

問7-1 (問7で「1. した」場合に)それはどのくらいの頻度でしたか。

(〇は1つだけ)

※スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

散歩・ウォーキング(ぶらぶら歩き、一駅歩きを含む)、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、階段昇降、ジョギング・ランニング、水泳、体操(軽い体操・ラジオ体操を含む)、ヨガ・バレエ、登山(トレッキングを含む)、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、トレーニング(筋力・その他運動器具を使った運動)、釣り、自転車・サイクリング、ゲートボール、ダンス(フォークダンス、民謡踊りを含む)、バーチャルスポーツ(体の動きを伴うコンピューターゲーム)など



※選択肢「月に1~3回程度」は、平成22年から平成26年調査までは「月に1~2回程度」としていた。
 平成24年調査までの選択肢「ない」は、「ない」と「わからない」の合計である。
 令和2年調査からは「実施していない」は問7の「していない」を問7-1に組み込んだものである。
 ※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

過去1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施機会は、「実施していない」（31.0%）が3割強で最も高くなっている。次いで「週に3回以上」（27.6%）となっており、「週に2回程度」（14.6%）、「週に1回程度」（14.1%）を合わせた『週に1回程度以上（計）』（56.3%）は5割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

『週に1回程度以上（計）』の割合を、令和2年調査と比べると特に大きな差は見られないが、令和元年調査（53.3%）と比べると3.0ポイント増加している。一方で「実施していない」を令和元年調査（23.7%）と比べると7.3ポイント増加している。

【属性別比較】

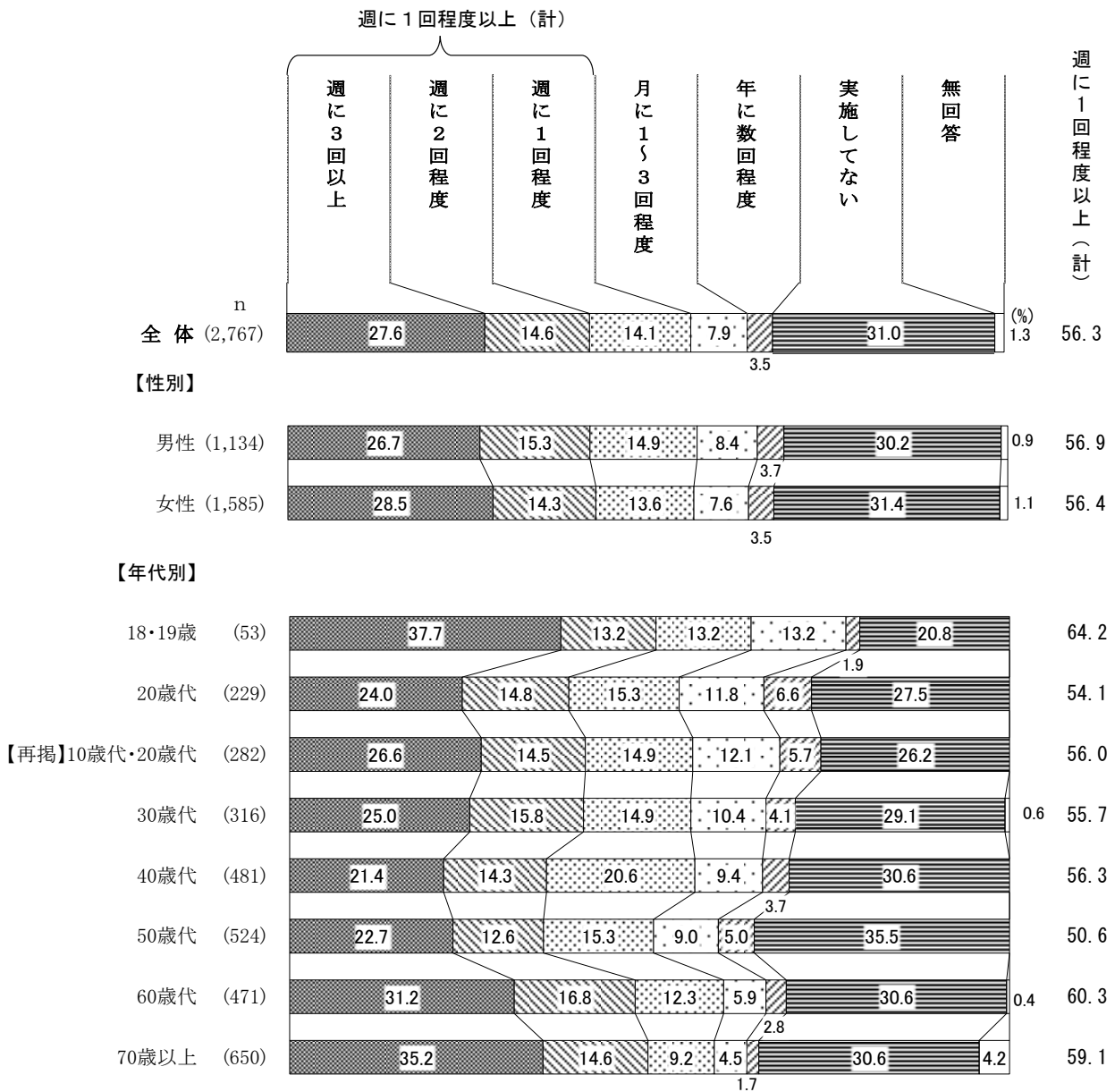
① 性別

『週に1回程度以上（計）』では性別の回答割合に大きな差はみられないが、「週に3回以上」は、女性（28.5%）の方が男性（26.7%）よりも1.8ポイント高くなっている。

② 年代別

『週に1回程度以上（計）』は60歳代（60.3%）が6割を超えて最も高くなっている。一方で、「実施していない」は50歳代（35.5%）が3割台半ばと最も高くなっている。

○スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度・性別／年代別



③ 地域別

『週に1回程度以上(計)』は西部地域(60.9%)が6割を超えて最も高く、県央地域(50.0%)が5割で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『週に1回程度以上(計)』は女性60歳代(64.3%)が6割台半ばで最も高く、男性50歳代(49.6%)が約5割で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『週に1回程度以上(計)』は無職(計)(63.5%)で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『週に1回程度以上(計)』は高齢期(63.5%)で6割強と最も高くなっている。

○スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

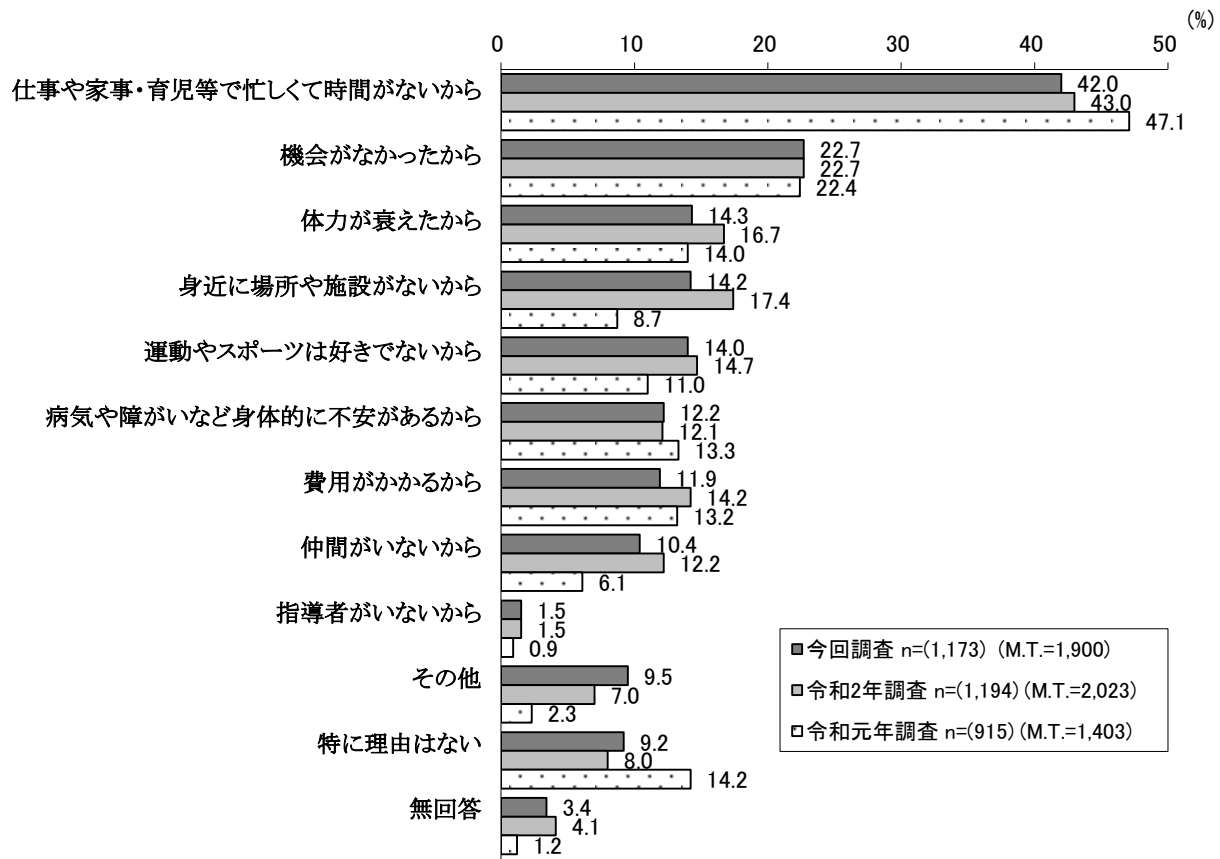
	調査数 n	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1〜3回程度	年に数回程度	実施していない	無回答	(%) (計) 週に1回程度以上
全体	2,767	27.6	14.6	14.1	7.9	3.5	31.0	1.3	56.3
地域別									
南部地域	268	28.0	14.9	14.9	7.5	2.6	30.6	1.5	57.8
南西部地域	259	27.4	15.1	15.8	6.6	3.5	30.1	1.5	58.3
東部地域	410	32.0	11.0	12.0	6.3	3.2	33.9	1.7	54.9
さいたま地域	482	25.1	17.4	14.9	8.9	4.1	28.8	0.6	57.5
県央地域	218	23.4	15.1	11.5	9.6	3.7	35.3	1.4	50.0
川越比企地域	293	29.4	15.0	15.7	6.1	4.4	28.7	0.7	60.1
西部地域	299	31.8	14.7	14.4	7.7	2.3	28.1	1.0	60.9
利根地域	245	24.1	14.7	12.2	10.2	2.9	35.5	0.4	51.0
北部地域	203	28.1	11.8	16.3	9.9	4.4	29.6	-	56.2
秩父地域	40	20.0	20.0	17.5	7.5	5.0	25.0	5.0	57.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	42.9	10.7	17.9	14.3	3.6	10.7	-	71.4
20歳代	91	28.6	15.4	16.5	9.9	5.5	24.2	-	60.4
【再掲】10歳代・20歳代	119	31.9	14.3	16.8	10.9	5.0	21.0	-	63.0
30歳代	111	24.3	21.6	15.3	10.8	4.5	23.4	-	61.3
40歳代	173	18.5	14.5	19.7	9.2	2.9	35.3	-	52.6
50歳代	226	18.6	14.6	16.4	10.6	5.3	34.5	-	49.6
60歳代	215	24.7	16.3	14.4	6.0	3.3	34.4	0.9	55.3
70歳以上	286	38.1	13.6	10.5	5.6	2.4	26.9	2.8	62.2
女性／18・19歳	25	32.0	16.0	8.0	12.0	-	32.0	-	56.0
20歳代	137	20.4	14.6	14.6	13.1	7.3	29.9	-	49.6
【再掲】10歳代・20歳代	162	22.2	14.8	13.6	13.0	6.2	30.2	-	50.6
30歳代	205	25.4	12.7	14.6	10.2	3.9	32.2	1	52.7
40歳代	308	23.1	14.3	21.1	9.4	4.2	27.9	-	58.4
50歳代	298	25.8	11.1	14.4	7.7	4.7	36.2	-	51.3
60歳代	255	36.9	17.3	10.2	5.9	2.4	27.5	-	64.3
70歳以上	352	33.8	15.9	8.2	3.4	1.1	33.2	4.3	58.0
職業別									
自営業・家族従業(計)	242	24.4	12.8	13.2	8.3	2.9	37.2	1.2	50.4
雇用者(計)	1,461	22.5	13.9	16.6	9.8	4.8	32.1	0.3	53.0
無職(計)	1,006	36.1	16.2	11.2	5.4	1.9	27.3	1.9	63.5
ライフステージ別									
独身期	327	28.1	14.4	15.9	10.4	5.8	25.1	0.3	58.4
家族形成期	215	20.9	14.9	19.1	11.6	4.2	28.8	0.5	54.9
家族成長前期	245	23.3	16.3	17.1	10.2	4.1	29.0	-	56.7
家族成長後期	232	26.7	13.8	16.8	8.2	1.7	32.3	0.4	57.3
家族成熟期	463	25.9	15.1	13.2	8.4	5.2	31.7	0.4	54.2
高齢期	609	37.8	16.9	8.9	4.9	2.8	27.1	1.6	63.5
その他	676	23.4	12.0	14.8	7.0	2.1	37.7	3.1	50.1

(5-1) スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が42.0%

(問7で「2. していない」とお答えの方、または問7-1で「4. 月に1~3回程度」もしくは「5. 年に数回程度」とお答えの方にお伺いします。)

問7-2 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



週に1回以上スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」(42.0%)が4割強で最も高く、次いで「機会がなかったから」(22.7%)が2割強で続き、以下「体力が衰えたから」(14.3%)、「身近に場所や施設がないから」(14.2%)、「運動やスポーツは好きではないから」(14.0%)、「病気や障がいなど身体的に不安があるから」(12.2%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べると、特に大きな差はみられないが、ほとんどの項目で割合がわずかに減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は北部地域（49.4％）で約5割と最も高く、「機会がなかったから」は南西部地域（26.0％）で2割台半ばを超えて最も高く、「体力が衰えたから」は南部地域と川越比企地域（各17.4％）で高くなっている。

※秩父地域（n=15）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性（44.7％）の方が男性（39.2％）より5.5ポイント高くなっており、「運動やスポーツは好きでないから」も女性（18.0％）の方が男性（8.8％）よりも9.2ポイント高くなっている。

③ 年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は30歳代（60.1％）で6割を超えて最も高く、70歳以上（13.8％）で最も低くなっている。「機会がなかったから」は10歳代・20歳代（30.6％）で3割を超えて最も高くなっている。また、「体力が衰えたから」と「病気や障がいなど身体的に不安があるから」はともに70歳以上で他の年代を大きく上回って最も高くなっている。

④ 性・年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性30歳代（62.1％）で6割強と最も高くなっている。「機会がなかったから」は女性10歳代・20歳代（32.5％）で3割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」と「機会がなかったから」は雇用者（計）（53.4％・25.7％）でそれぞれ最も高く、「体力が衰えたから」は無職（計）（22.1％）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は家族成長前期（70.8％）で7割を超えて最も高くなっている。「機会がなかったから」は独身期（30.4％）で3割を超えて最も高くなっている。「体力が衰えたから」は高齢期（24.5％）で2割台半ばと最も高くなっている。

○スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由・地域別／性別／年代別
／性・年代別／職業別／ライフステージ別

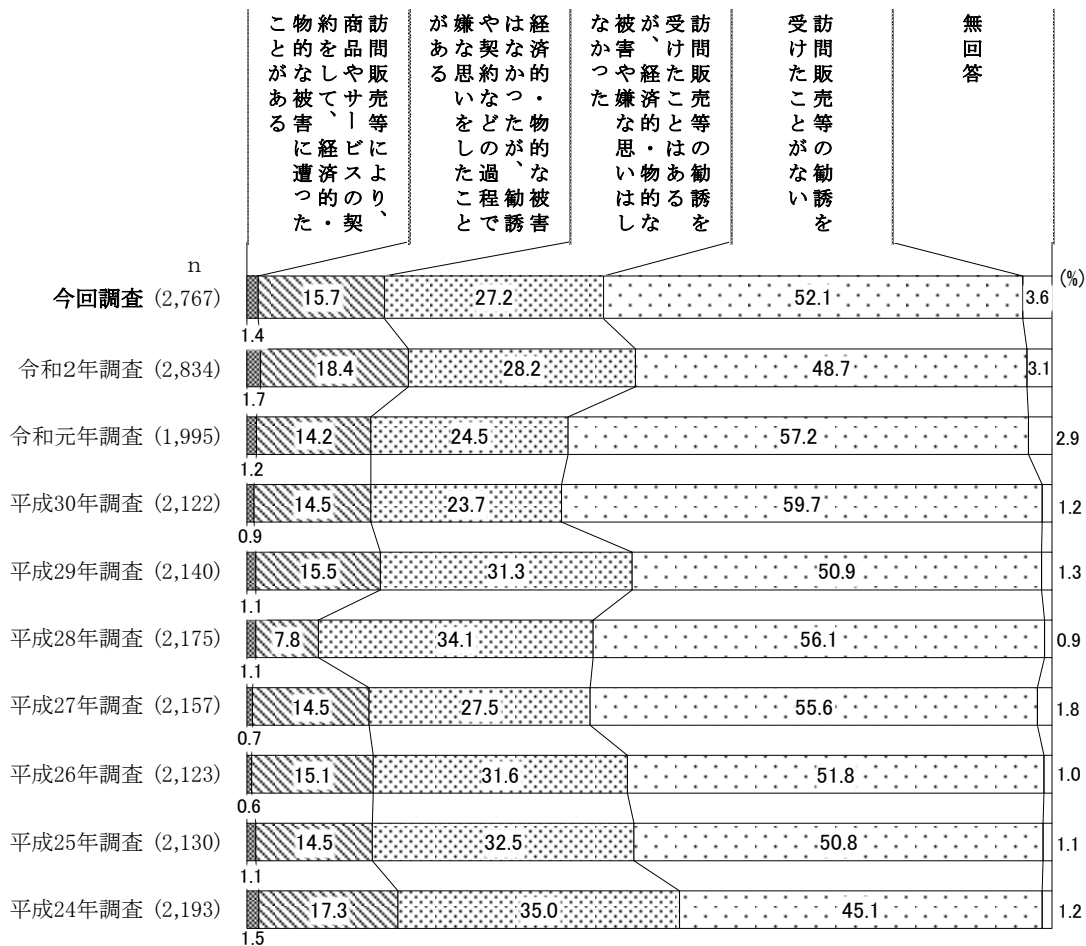
(%)

	調査数 n	仕事や家事・育児等で忙しくて時間が足りないから	機会がなかったから	体力が衰えたから	身近に場所や施設がないから	運動やスポーツは好きでないから	病気や障がいなど身体的不安があるから	費用がかかるから	仲間がいないから	指導者がいないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	1,173	42.0	22.7	14.3	14.2	14.0	12.2	11.9	10.4	1.5	9.5	9.2	3.4
地域別													
南部地域	109	38.5	22.0	17.4	11.0	13.8	17.4	8.3	12.8	0.9	4.6	12.8	1.8
南西部地域	104	47.1	26.0	12.5	11.5	18.3	13.5	5.8	13.5	1.0	11.5	7.7	1.0
東部地域	178	39.9	24.7	13.5	18.0	12.4	6.7	14.0	9.6	2.2	12.4	11.2	2.2
さいたま地域	202	42.6	24.8	12.9	13.9	16.8	13.4	13.4	10.9	1.0	8.4	5.9	3.0
県央地域	106	44.3	18.9	17.0	15.1	14.2	16.0	13.2	9.4	2.8	5.7	8.5	3.8
川越比企地域	115	35.7	21.7	17.4	13.0	15.7	11.3	15.7	12.2	2.6	9.6	9.6	5.2
西部地域	114	40.4	25.4	16.7	13.2	10.5	10.5	11.4	10.5	1.8	7.9	7.9	3.5
利根地域	119	45.4	18.5	11.8	14.3	12.6	15.1	16.0	5.9	0.8	10.1	10.9	5.9
北部地域	89	49.4	18.0	11.2	16.9	11.2	10.1	7.9	12.4	1.1	10.1	9.0	3.4
秩父地域	15	53.3	13.3	13.3	20.0	26.7	-	13.3	6.7	-	20.0	6.7	6.7
性別													
男性	479	39.2	23.4	15.7	14.6	8.8	11.5	11.9	10.9	1.7	7.9	12.5	4.0
女性	674	44.7	22.1	13.2	14.1	18.0	12.6	12.2	10.4	1.5	10.5	6.8	2.8
年代別													
18・19歳	19	36.8	36.8	15.8	26.3	15.8	-	5.3	26.3	5.3	21.1	15.8	-
20歳代	105	56.2	29.5	6.7	18.1	24.8	1.9	17.1	19.0	1.0	4.8	7.6	-
【再掲】10歳代・20歳代	124	53.2	30.6	8.1	19.4	23.4	1.6	15.3	20.2	1.6	7.3	8.9	-
30歳代	138	60.1	21.0	7.2	19.6	14.5	5.1	12.3	10.1	1.4	9.4	7.2	1.4
40歳代	210	56.2	24.3	10.5	13.3	19.5	5.7	11.9	11.4	0.5	8.1	5.7	1.4
50歳代	259	47.1	23.6	10.4	13.9	12.7	6.9	13.9	7.3	1.2	11.6	11.2	1.2
60歳代	185	36.8	23.2	16.8	13.0	9.7	14.1	12.4	8.6	1.6	11.9	10.8	5.9
70歳以上	239	13.8	16.3	26.8	10.9	9.2	31.8	8.4	9.6	2.9	7.5	10.0	8.4
性・年代別													
男性／18・19歳	8	50.0	25.0	12.5	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	12.5	-
20歳代	36	61.1	27.8	-	11.1	5.6	-	22.2	8.3	-	8.3	16.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	44	59.1	27.3	2.3	13.6	4.5	-	18.2	11.4	-	11.4	15.9	-
30歳代	43	55.8	27.9	11.6	18.6	11.6	2.3	14.0	11.6	-	14.0	2.3	-
40歳代	82	58.5	28.0	9.8	13.4	13.4	4.9	11.0	17.1	1.2	6.1	9.8	1.2
50歳代	114	41.2	18.4	13.2	15.8	7.9	6.1	11.4	7.9	2.6	10.5	17.5	2.6
60歳代	94	35.1	26.6	16.0	17.0	8.5	12.8	10.6	7.4	2.1	8.5	10.6	5.3
70歳以上	100	10.0	18.0	30.0	11.0	6.0	31.0	11.0	12.0	2.0	2.0	14.0	10.0
女性／18・19歳	11	27.3	45.5	18.2	27.3	27.3	-	9.1	27.3	9.1	18.2	18.2	-
20歳代	69	53.6	30.4	10.1	21.7	34.8	2.9	14.5	24.6	1.4	2.9	2.9	-
【再掲】10歳代・20歳代	80	50.0	32.5	11.3	22.5	33.8	2.5	13.8	25.0	2.5	5.0	5.0	-
30歳代	95	62.1	17.9	5.3	20.0	15.8	6.3	11.6	9.5	2.1	7.4	9.5	2.1
40歳代	128	54.7	21.9	10.9	13.3	23.4	6.3	12.5	7.8	-	9.4	3.1	1.6
50歳代	145	51.7	27.6	8.3	12.4	16.6	7.6	15.9	6.9	-	12.4	6.2	-
60歳代	91	38.5	19.8	17.6	8.8	11.0	15.4	14.3	9.9	1.1	15.4	11.0	6.6
70歳以上	133	16.5	15.0	24.8	11.3	11.3	32.3	6.0	8.3	3.8	12.0	7.5	6.8
職業別													
自営業・家族従業（計）	117	50.4	13.7	11.1	9.4	12.8	8.5	8.5	6.0	0.9	8.5	10.3	6.0
雇用者（計）	682	53.4	25.7	10.7	16.0	14.7	5.1	13.5	11.3	1.0	9.2	7.9	1.6
無職（計）	348	18.4	19.3	22.1	12.9	13.8	27.0	10.9	10.6	2.6	10.3	11.2	5.5
ライフステージ別													
独身期	135	48.1	30.4	10.4	21.5	20.7	3.7	15.6	16.3	1.5	8.9	10.4	-
家族形成期	96	65.6	20.8	5.2	16.7	13.5	3.1	11.5	14.6	-	10.4	5.2	1.0
家族成長前期	106	70.8	20.8	8.5	10.4	17.9	3.8	7.5	8.5	0.9	6.6	8.5	0.9
家族成長後期	98	53.1	20.4	9.2	18.4	13.3	3.1	16.3	11.2	1.0	10.2	4.1	-
家族成熟期	210	37.6	23.3	15.7	13.8	13.3	11.4	12.4	6.2	1.9	14.3	8.1	1.4
高齢期	212	26.9	20.3	24.5	11.3	10.4	28.3	9.0	7.1	2.4	7.1	9.9	6.1
その他	316	32.3	22.5	14.6	12.7	13.0	13.9	12.3	12.0	1.6	8.5	12.0	7.0

(6-1) 訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害

◇「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」が52.1%

問8 消費生活についておたずねします。
 (1) あなたは、ここ1年以内に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭った、または嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害は、「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」(52.1%)が5割強で最も高くなっている。訪問販売等を受けたことがある中では、「訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」(27.2%)が2割台半ばを超えて最も高くなっており、次いで、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」(15.7%)、「訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある」(1.4%)となっている。

【過去調査との比較】

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は令和元年調査(57.2%)に比べて、令和2年調査(48.7%)で8.5ポイント減少したが、今回調査では再び3.4ポイント増加となっている。

【属性別比較】

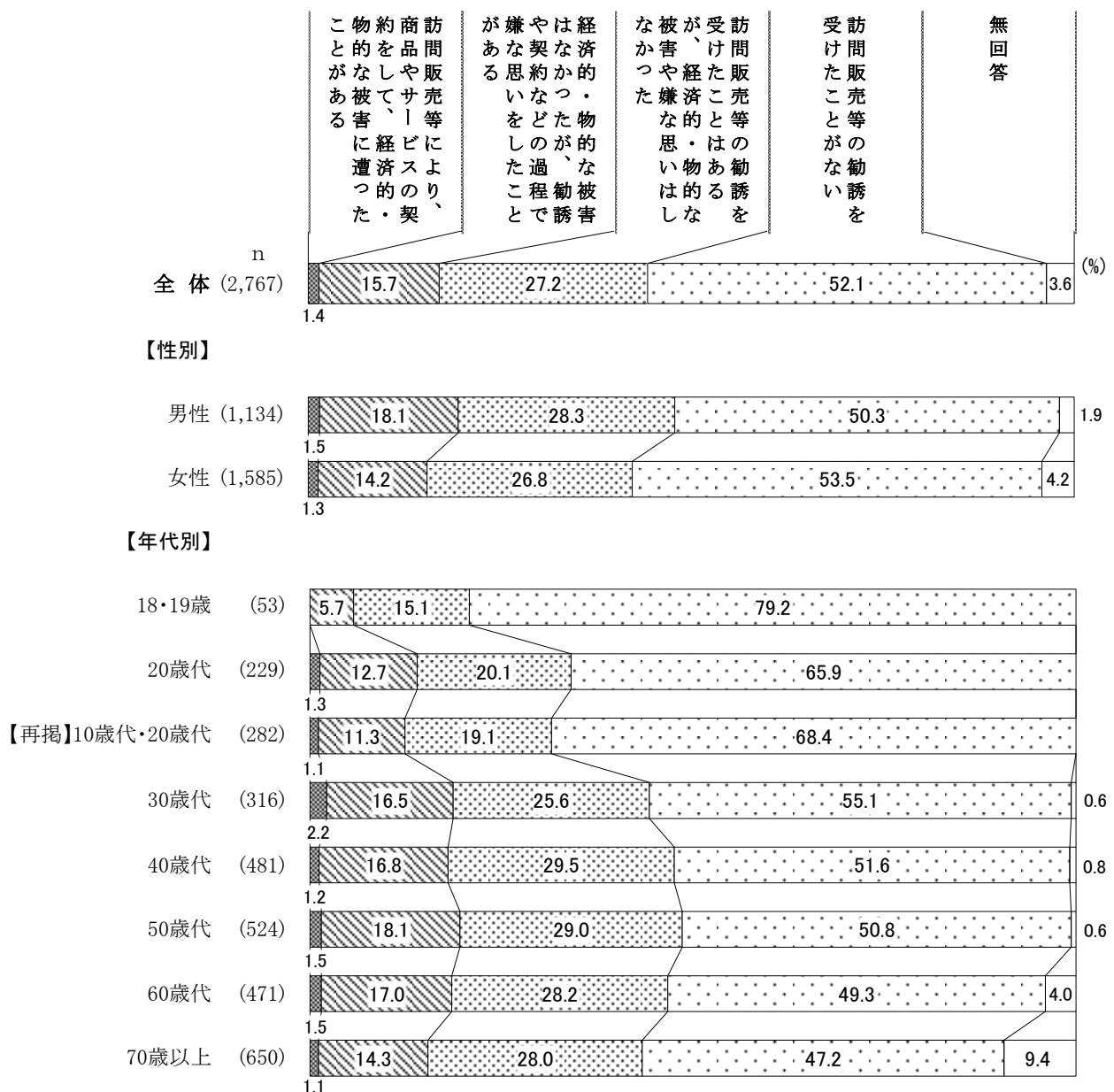
① 性別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は男性（18.1%）の方が女性（14.2%）よりも3.9ポイント高く、「訪問販売等の勧誘を受けたことがあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」も男性（28.3%）の方が女性（26.8%）よりも1.5ポイント高くなっている。

② 年代別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は10歳代・20歳代（68.4%）で7割弱と最も高くなっており、年齢が上がるにつれ割合が低くなる傾向がみられる。一方で、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は50歳代（18.1%）で2割弱と最も高くなっている。

○訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害・性別／年代別



③ 地域別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は南部地域（19.4%）で約2割と最も高く、次いで北部地域（17.7%）となっている。

④ 性・年代別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は男性40歳代（22.5%）で2割強と最も高く、次いで男性50歳代（19.9%）となっている。

⑤ 職業別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は自営業・家族従業（計）（20.2%）で2割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は家族成長前期（18.0%）で2割弱と最も高くなっている。

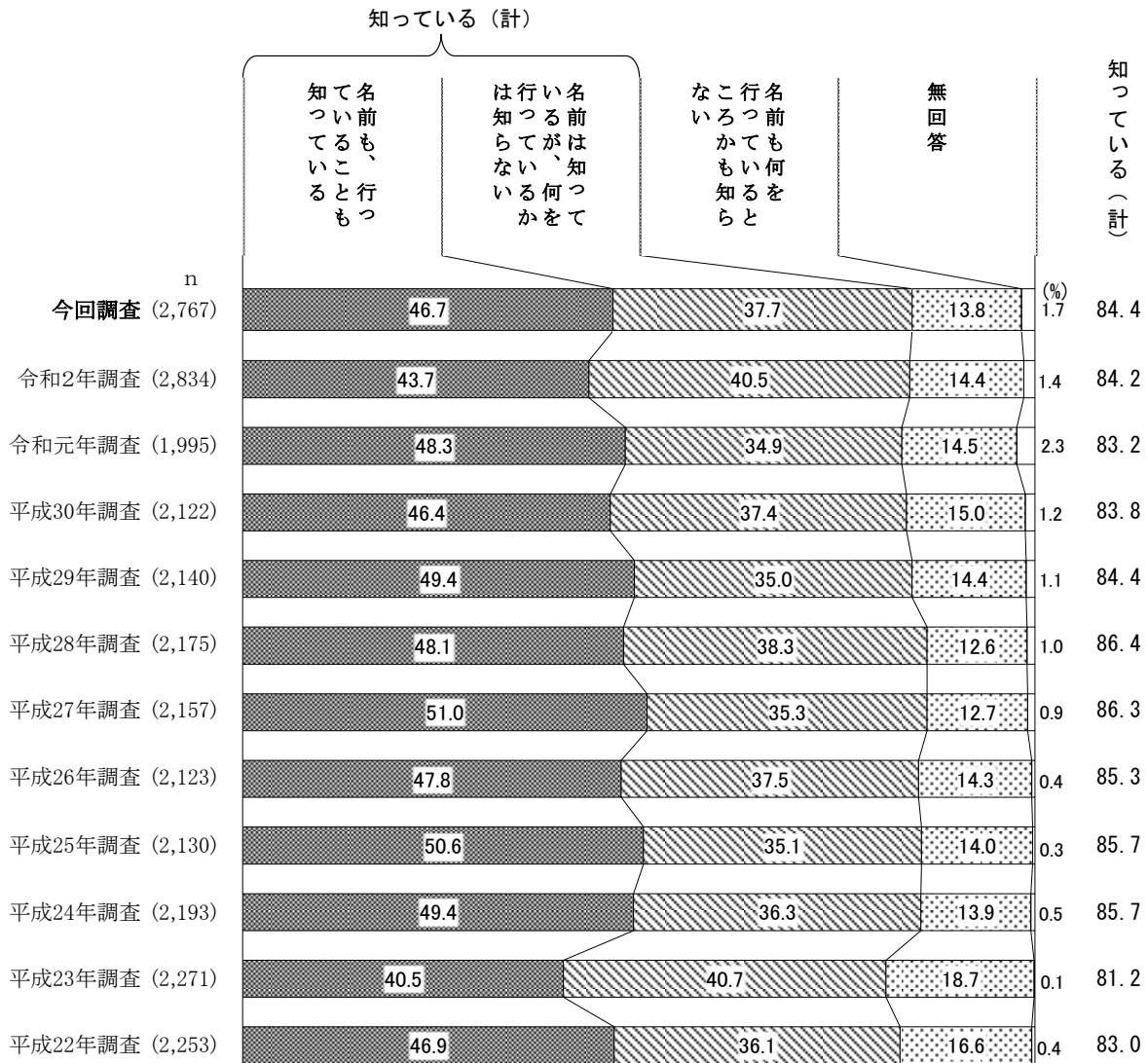
○訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	に遭つたこと が物的な被害 がある	やサ ービス の契 約を しな い	訪問 販売 等 の契 約を しな い	たど か この 過程 が あ る 嫌 な 思 い を し な い	経済 的・ 物的 な 被害 を 受 け た 思 い を し な い	的・ 物的 な 被害 を 受 け た 思 い を し な い	訪問 販売 等 の 勧 誘 を 受 け た 思 い を し な い	た 訪問 販売 等 の 勧 誘 を 受 け た 思 い を し な い	無 回 答
全 体	2,767	1.4	15.7	27.2	52.1	3.6				
地域別										
南部地域	268	1.1	19.4	24.3	51.9	3.4				
南西部地域	259	1.5	14.3	28.2	54.1	1.9				
東部地域	410	0.5	17.1	26.8	53.2	2.4				
さいたま地域	482	1.9	14.5	25.5	54.8	3.3				
県央地域	218	0.5	14.7	30.3	50.0	4.6				
川越比企地域	293	1.7	16.4	31.1	47.8	3.1				
西部地域	299	1.3	14.0	23.4	56.5	4.7				
利根地域	245	2.0	15.9	31.4	46.1	4.5				
北部地域	203	2.0	17.7	30.5	48.8	1.0				
秩父地域	40	2.5	10.0	17.5	67.5	2.5				
性・年代別										
男性／18・19歳	28	-	7.1	14.3	78.6	-				
20歳代	91	2.2	16.5	18.7	62.6	-				
【再掲】10歳代・20歳代	119	1.7	14.3	17.6	66.4	-				
30歳代	111	1.8	16.2	24.3	56.8	0.9				
40歳代	173	2.3	22.5	24.9	49.1	1.2				
50歳代	226	1.3	19.9	31.9	46.5	0.4				
60歳代	215	1.9	18.6	31.2	46.5	1.9				
70歳以上	286	0.7	15.7	31.5	47.6	4.5				
女性／18・19歳	25	-	4.0	16.0	80.0	-				
20歳代	137	0.7	10.2	21.2	67.9	-				
【再掲】10歳代・20歳代	162	0.6	9.3	20.4	69.8	-				
30歳代	205	2.4	16.6	26.3	54.1	0.5				
40歳代	308	0.6	13.6	32.1	52.9	0.6				
50歳代	298	1.7	16.8	26.8	54.0	0.7				
60歳代	255	1.2	15.7	25.9	51.4	5.9				
70歳以上	352	1.4	12.5	25.9	47.2	13.1				
職業別										
自営業・家族従業（計）	242	2.1	20.2	28.5	44.2	5.0				
雇用者（計）	1,461	1.6	16.2	27.9	53.3	1.1				
無職（計）	1,006	0.9	14.3	26.5	52.8	5.5				
ライフステージ別										
独身期	327	1.2	12.2	19.3	67.3	-				
家族形成期	215	2.3	14.4	24.7	57.7	0.9				
家族成長前期	245	0.8	18.0	33.1	47.8	0.4				
家族成長後期	232	1.7	17.2	34.1	45.3	1.7				
家族成熟期	463	1.1	17.3	29.8	48.4	3.5				
高齢期	609	1.0	15.9	31.4	47.0	4.8				
その他	676	1.8	15.2	22.0	54.0	7.0				

(6-2) 消費生活センターの認知度

◇『知っている（計）』が84.4%

問8（2） あなたは、契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または、消費生活相談窓口）を知っていますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

消費生活センター（または消費生活相談窓口）の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」（46.7%）が4割台半ばを超えて最も高くなっている。次いで「名前は知っているが、何を行っているかは知らない」（37.7%）となっており、これらを合わせた『知っている（計）』（84.4%）は8割台半ばを占めている。一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」（13.8%）は1割強となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて『知っている（計）』の割合に大きな差はないが、「名前も、行っていることも知っている」は3.0ポイント増加した。

【属性別比較】

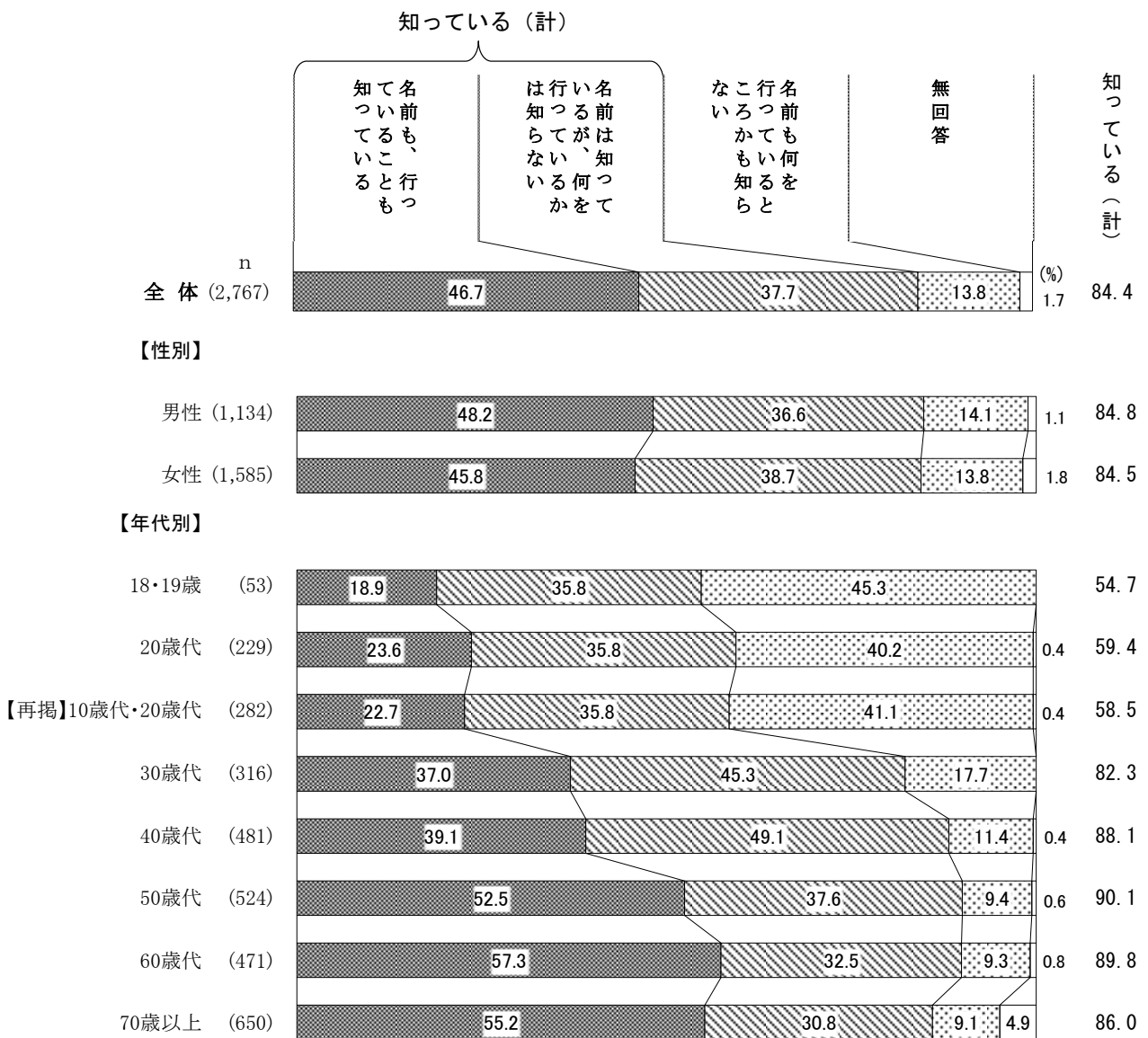
① 性別

『知っている（計）』では性別の回答割合に差はないが、「名前も、行っていることも知っている」では男性（48.2%）の方が女性（45.8%）よりも2.4ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は50歳代（90.1%）と60歳代（89.8%）で9割前後と高くなっている。一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」は10歳代・20歳代（41.1%）で4割強と最も高くなっている。

○消費生活センターの認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』はいずれの地区でも8割台となっており、東部地域（87.3%）で8割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は女性では50歳代（90.9%）と60歳代（90.6%）で9割を超えて高く、男性10歳代・20歳代（55.5%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』は自営業・家族従業（計）（88.4%）で9割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は家族成熟期（91.1%）で9割強と最も高くなっている。

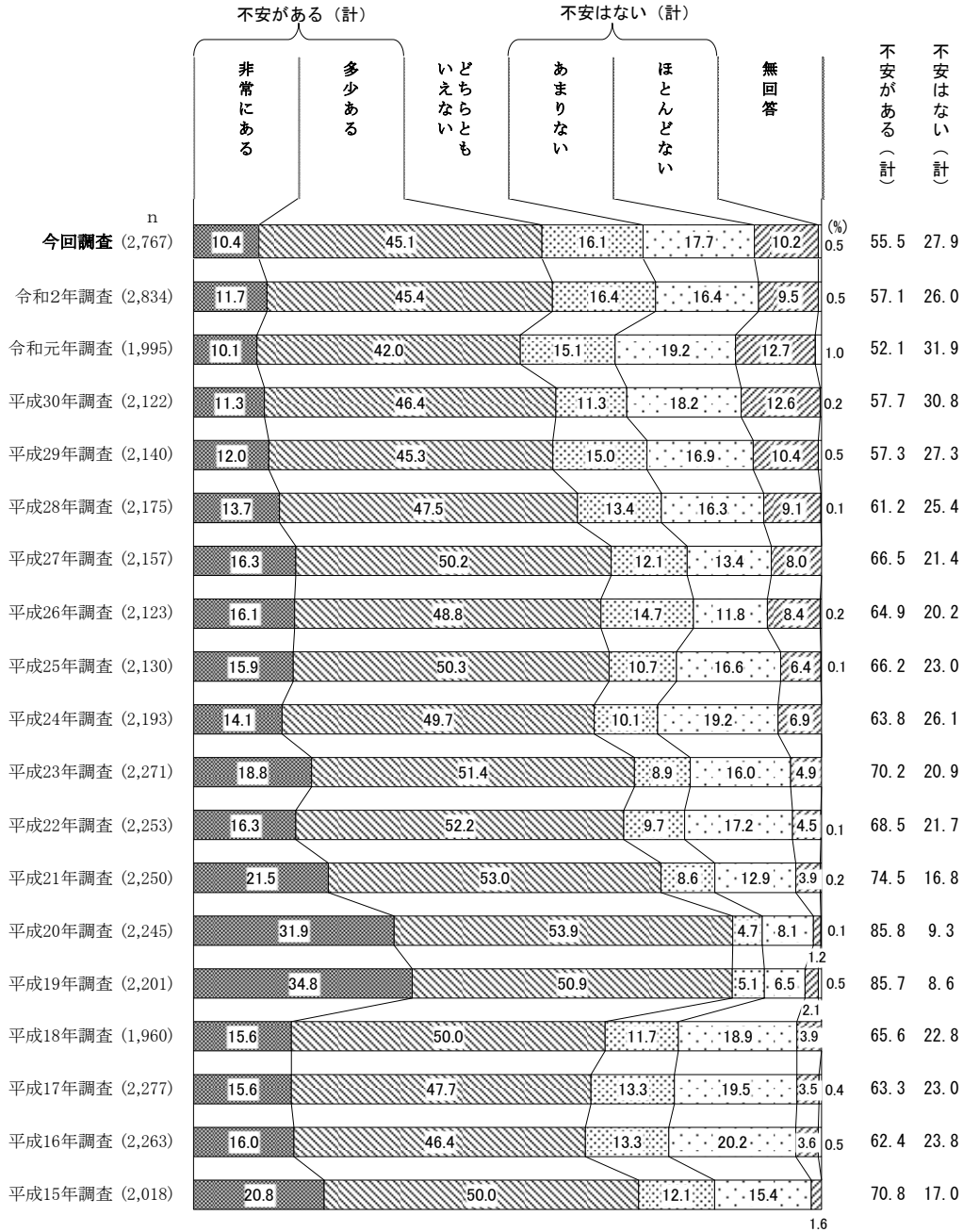
○消費生活センターの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	とも前も、 つて行つて いるこ	ら何名 ないを前 は行は つ知 つて い る か は 知	と名 ころも 何 を 行 つ て い る	無 回 答	(%) 知 つ て い る (計)
全 体	2,767	46.7	37.7	13.8	1.7	84.4
地域別						
南部地域	268	44.8	38.8	13.1	3.4	83.6
南西部地域	259	52.5	33.2	13.1	1.2	85.7
東部地域	410	46.6	40.7	12.0	0.7	87.3
さいたま地域	482	48.3	37.3	12.9	1.5	85.7
県央地域	218	44.5	36.7	16.5	2.3	81.2
川越比企地域	293	43.3	37.9	17.7	1.0	81.2
西部地域	299	51.2	32.8	14.7	1.3	83.9
利根地域	245	46.5	39.2	12.7	1.6	85.7
北部地域	203	44.8	39.4	15.8	-	84.2
秩父地域	40	27.5	52.5	15.0	5.0	80.0
性・年代別						
男性／18・19歳	28	17.9	35.7	46.4	-	53.6
20歳代	91	26.4	29.7	44.0	-	56.0
【再掲】10歳代・20歳代	119	24.4	31.1	44.5	-	55.5
30歳代	111	44.1	45.0	10.8	-	89.2
40歳代	173	41.0	44.5	13.9	0.6	85.5
50歳代	226	54.0	35.0	10.6	0.4	88.9
60歳代	215	55.3	34.0	10.2	0.5	89.3
70歳以上	286	54.2	34.6	8.0	3.1	88.8
女性／18・19歳	25	20.0	36.0	44.0	-	56.0
20歳代	137	21.2	40.1	38.0	0.7	61.3
【再掲】10歳代・20歳代	162	21.0	39.5	38.9	0.6	60.5
30歳代	205	33.2	45.4	21.5	-	78.5
40歳代	308	38.0	51.6	10.1	0.3	89.6
50歳代	298	51.3	39.6	8.4	0.7	90.9
60歳代	255	59.2	31.4	8.2	1.2	90.6
70歳以上	352	56.5	27.8	9.7	6.0	84.4
職業別						
自営業・家族従業（計）	242	55.0	33.5	10.3	1.2	88.4
雇用者（計）	1,461	44.8	40.2	14.6	0.5	84.9
無職（計）	1,006	47.9	35.6	14.1	2.4	83.5
ライフステージ別						
独身期	327	27.2	38.8	33.9	-	66.1
家族形成期	215	35.3	44.2	20.5	-	79.5
家族成長前期	245	38.8	46.9	13.1	1.2	85.7
家族成長後期	232	41.8	46.6	10.8	0.9	88.4
家族成熟期	463	56.6	34.6	7.8	1.1	91.1
高齢期	609	59.6	30.2	8.4	1.8	89.8
その他	676	45.9	37.7	12.4	4.0	83.6

(7) 食品の安全性に対する意識

◇『不安がある（計）』が55.5%

問9 食品の安全性についておたずねします。
あなたは、食品の安全性に不安がありますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

食品の安全性について、不安が「多少ある」（45.1%）が4割台半ばと最も高く、これに「非常にある」（10.4%）を合わせた『不安がある（計）』（55.5%）は5割台半ばとなっている。一方で、不安が「ほとんどない」（10.2%）と「あまりない」（17.7%）を合わせた『不安はない（計）』（27.9%）は2割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

『不安がある（計）』の割合は、令和2年調査と比べて1.6ポイント減少している。

【属性別比較】

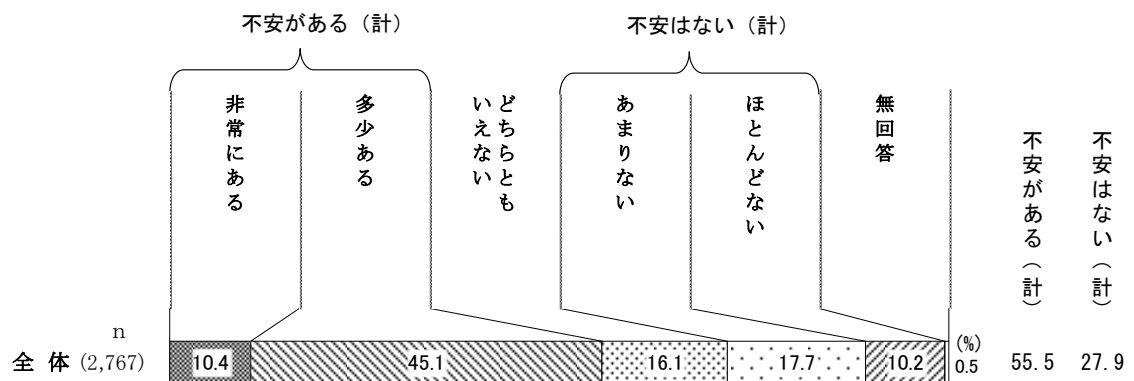
① 性別

『不安がある（計）』は女性（61.8%）の方が男性（47.4%）よりも14.4ポイント高くなっている。

② 年代別

『不安がある（計）』は60歳代（64.5%）で6割台半ばと最も高くなっている。一方で、『不安はない（計）』は10歳代・20歳代（49.6%）で約5割と高くなっている。

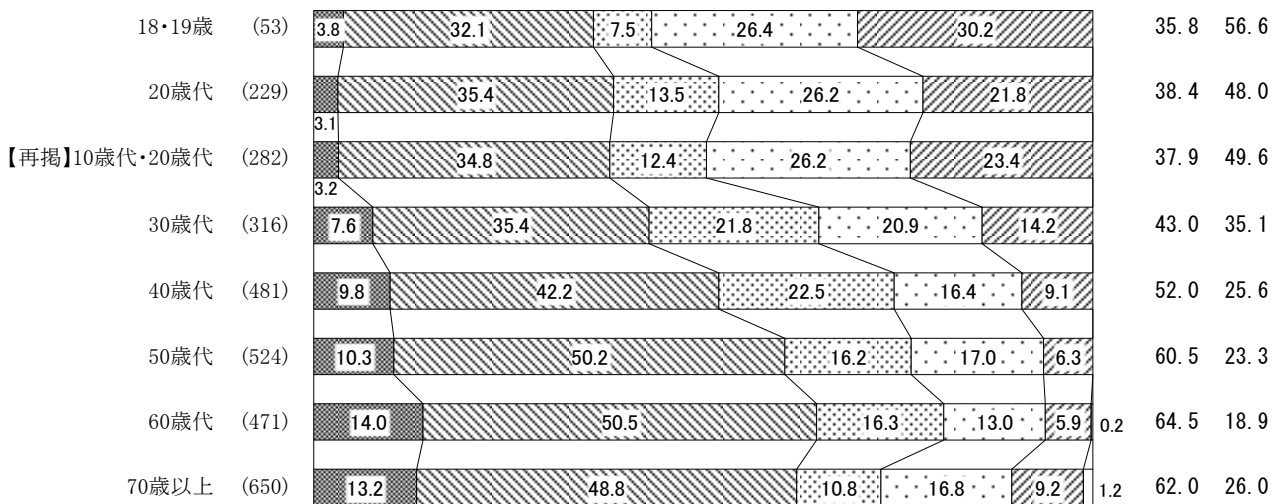
○食品の安全性に対する意識・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『不安がある(計)』は西部地域(60.5%)で6割を超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

『不安がある(計)』は女性60歳代(71.8%)と70歳以上(71.3%)で7割強と高く、男女ともに60歳代から年代が下がるほど割合が低くなっており、男性10歳代・20歳代(31.9%)で3割強と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『不安がある(計)』は無職(計)(61.2%)で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『不安がある(計)』は高齢期(64.7%)で6割台半ばと最も高くなっている。

○食品の安全性に対する意識・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

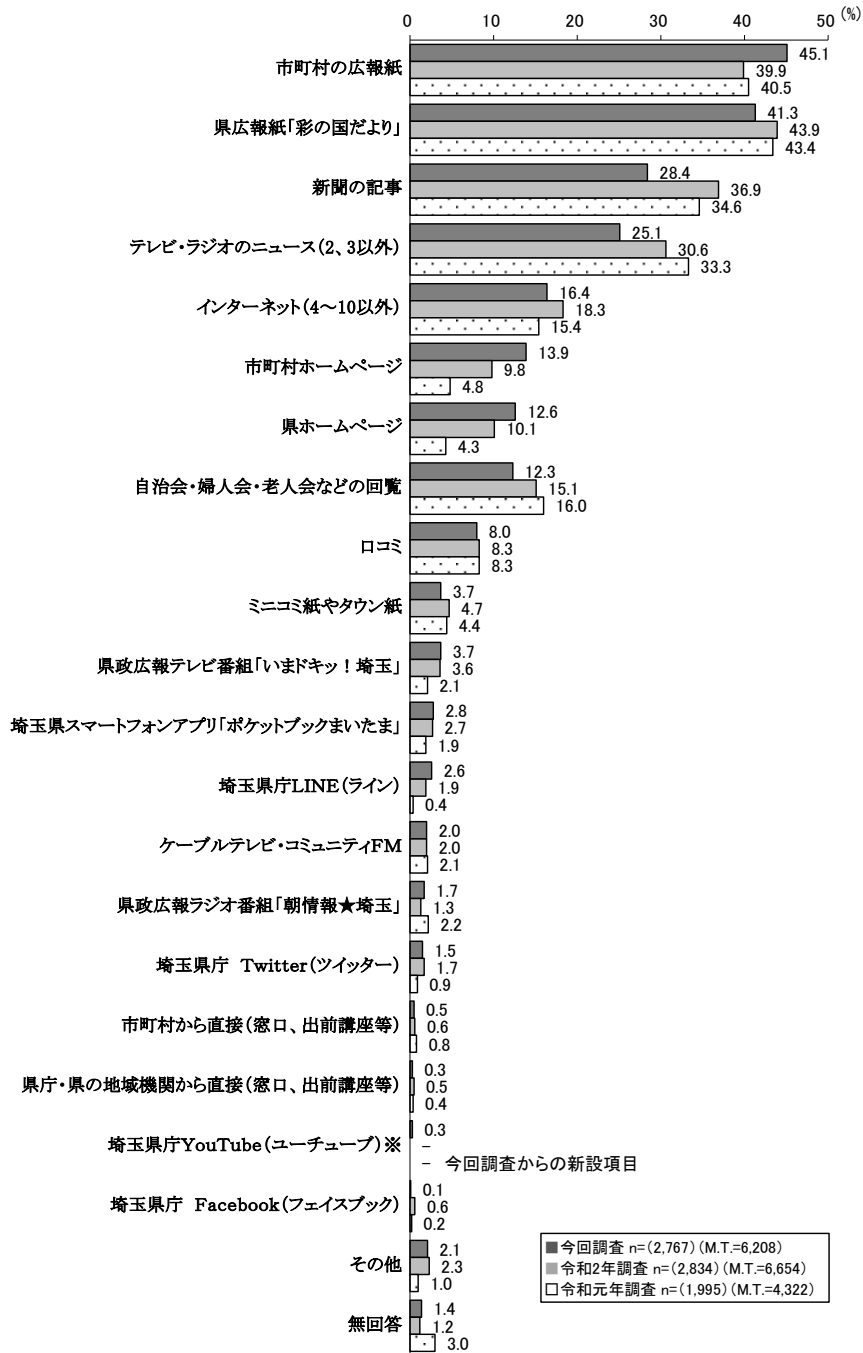
(%)

	調査数 n	非常に ある	多少 ある	どちらとも いえ ない	あまり ない	ほとん どな い	無回 答	不安 がある (計)	不安 はない (計)
全 体	2,767	10.4	45.1	16.1	17.7	10.2	0.5	55.5	27.9
地域別									
南部地域	268	7.8	45.5	17.2	14.2	14.2	1.1	53.4	28.4
南西部地域	259	10.8	39.4	19.7	18.9	10.8	0.4	50.2	29.7
東部地域	410	12.0	43.7	16.8	18.5	9.0	-	55.6	27.6
さいたま地域	482	9.3	45.6	16.2	20.7	8.1	-	55.0	28.8
県央地域	218	8.7	47.7	12.8	19.3	11.0	0.5	56.4	30.3
川越比企地域	293	11.6	43.0	13.3	18.1	14.0	-	54.6	32.1
西部地域	299	13.0	47.5	16.4	14.0	9.0	-	60.5	23.1
利根地域	245	11.4	47.3	17.6	14.3	9.0	0.4	58.8	23.3
北部地域	203	8.9	48.3	15.3	18.2	8.9	0.5	57.1	27.1
秩父地域	40	7.5	42.5	20.0	20.0	7.5	2.5	50.0	27.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	3.6	32.1	7.1	14.3	42.9	-	35.7	57.1
20歳代	91	2.2	28.6	11.0	28.6	29.7	-	30.8	58.2
【再掲】10歳代・20歳代	119	2.5	29.4	10.1	25.2	32.8	-	31.9	58.0
30歳代	111	5.4	28.8	14.4	32.4	18.9	-	34.2	51.4
40歳代	173	10.4	32.9	24.3	19.1	13.3	-	43.4	32.4
50歳代	226	8.0	44.2	15.9	24.3	7.5	-	52.2	31.9
60歳代	215	11.2	45.1	19.5	14.9	9.3	-	56.3	24.2
70歳以上	286	9.8	42.0	11.9	21.7	14.0	0.7	51.7	35.7
女性／18・19歳	25	4.0	32.0	8.0	40.0	16.0	-	36.0	56.0
20歳代	137	3.6	40.1	15.3	24.8	16.1	-	43.8	40.9
【再掲】10歳代・20歳代	162	3.7	38.9	14.2	27.2	16.0	-	42.6	43.2
30歳代	205	8.8	39.0	25.9	14.6	11.7	-	47.8	26.3
40歳代	308	9.4	47.4	21.4	14.9	6.8	-	56.8	21.8
50歳代	298	12.1	54.7	16.4	11.4	5.4	-	66.8	16.8
60歳代	255	16.5	55.3	13.3	11.4	3.1	0.4	71.8	14.5
70歳以上	352	16.5	54.8	9.9	12.2	5.4	1.1	71.3	17.6
職業別									
自営業・家族従業(計)	242	11.2	47.5	13.2	18.2	9.5	0.4	58.7	27.7
雇用者(計)	1,461	9.1	42.3	18.7	19.0	10.8	0.1	51.4	29.8
無職(計)	1,006	12.4	48.8	13.6	15.4	9.2	0.5	61.2	24.7
ライフステージ別									
独身期	327	4.3	33.3	15.3	24.5	22.6	-	37.6	47.1
家族形成期	215	5.6	37.2	17.2	22.8	17.2	-	42.8	40.0
家族成長前期	245	11.0	43.7	22.4	16.3	6.5	-	54.7	22.9
家族成長後期	232	9.5	45.7	20.3	15.1	9.5	-	55.2	24.6
家族成熟期	463	12.1	49.9	14.7	16.6	6.7	-	62.0	23.3
高齢期	609	12.6	52.1	13.3	14.1	7.2	0.7	64.7	21.3
その他	676	12.0	44.1	15.8	18.0	8.6	1.5	56.1	26.6

(8) 埼玉県に関する情報の入手先

◇市町村の広報紙が45.1%

問10 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



※テレビ・ラジオのニュース(2、3以外)は、「2. 県政広報テレビ番組『いまドキッ！埼玉』(テレビ埼玉/土曜朝8:30～9:00)」、「3. 県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』(FM NACK5/月～金曜朝8:15～8:25)」を除くテレビ・ラジオのニュースを指す。

※インターネット(4～10以外)は、「4. 県ホームページ」、「5. 埼玉県庁 YouTube(ユーチューブ)」、「6. 埼玉県庁 Facebook(フェイスブック)」、「7. 埼玉県庁 Twitter(ツイッター)」、「8. 埼玉県庁 LINE(ライン)」、「9. 埼玉県スマートフォンアプリ『ポケットブックまいたま』」、「10. 市町村ホームページ」を除くインターネットを指す。

※番組変更に伴い、令和2年度から「県政広報ラジオ番組『FM NACK5 モーニングスクエア』」を「県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』」へ変更した

※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

埼玉県に関する情報の入手先は、「市町村の広報紙」(45.1%)が4割台半ばと最も高く、次いで「県広報紙『彩の国だより』」(41.3%)、「新聞の記事」(28.4%)、「テレビ・ラジオのニュース(2、3以外)」(25.1%)、「インターネット(4~10以外)」(16.4%)、「市町村ホームページ」(13.9%)、「県ホームページ」(12.6%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、「市町村の広報紙」が5.2ポイント、「市町村ホームページ」が4.1ポイント、「県ホームページ」が2.5ポイント増加している。一方、「新聞の記事」が8.5ポイント、「テレビ・ラジオのニュース(2、3以外)」が5.5ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「市町村の広報紙」は北部地域(57.6%)で5割台半ばを超えて最も高く、「県広報紙『彩の国だより』」はさいたま地域(50.8%)で5割を超えて最も高くなっている。「新聞の記事」は利根地域(34.7%)で3割台半ばと最も高くなっている。

② 性別

「市町村の広報紙」は女性(47.4%)の方が男性(41.8%)よりも5.6ポイント高くなっている。一方、「新聞の記事」は男性(32.1%)の方が女性(25.7%)よりも6.4ポイント高く、「インターネット(4~10以外)」も男性(20.0%)の方が女性(14.3%)よりも5.7ポイント高くなっている。

③ 年代別

「市町村の広報紙」は60歳代(56.7%)が5割台半ばを超えて最も高く、「県広報紙『彩の国だより』」と「新聞の記事」は70歳以上(59.7%・50.8%)で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「市町村の広報紙」は女性60歳代(60.8%)で6割を超えて最も高くなっている。「県広報紙『彩の国だより』」はおおむね年代が上がるほど割合が高くなっており、男女とも70歳以上(男性59.4%・女性60.2%)で6割前後と最も高くなっている。「新聞の記事」は男性70歳以上(52.1%)で5割強と最も高くなっている。また、「インターネット(4~10以外)」は男性10歳代・20歳代(42.0%)で4割強と他の層に比べて特に高くなっている。

⑤ 職業別

「市町村の広報紙」と「県広報紙『彩の国だより』」は無職(計)(51.4%・49.4%)が5割前後で最も高くなっている。

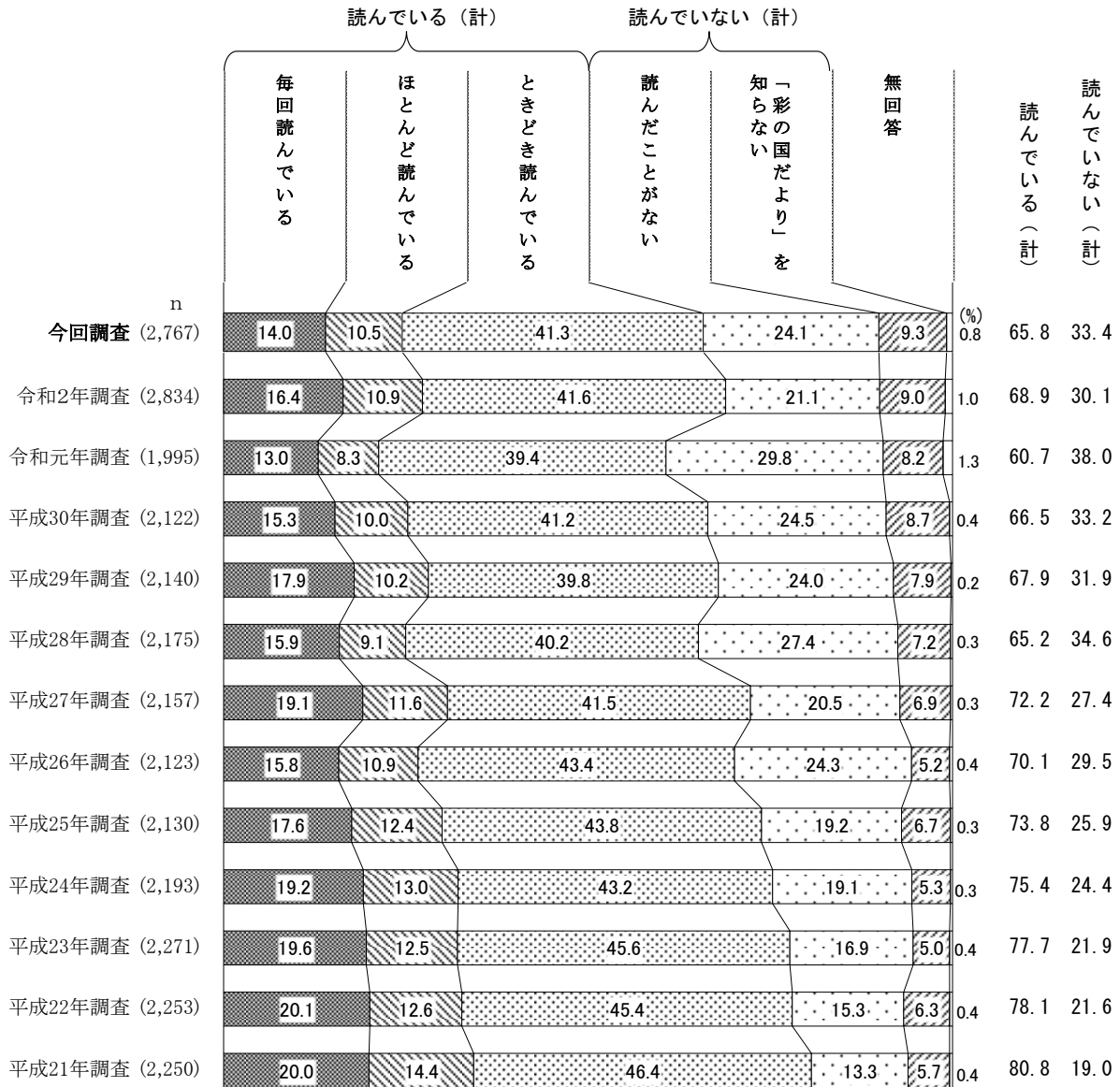
⑥ ライフステージ別

「市町村の広報紙」、「県広報紙『彩の国だより』」、「新聞の記事」の上位3項目は高齢期で最も高くなっている。また、「インターネット(4~10以外)」は独身期(31.5%)と家族形成期(33.5%)で3割台と他の層に比べて特に高くなっている。

(9-1) 県広報紙「彩の国だより」の閲読状況

◇『読んでいる(計)』が65.8%

問11 県の広報紙、広報テレビ番組やラジオ番組についておたずねします。
 (1) あなたは、県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県広報紙「彩の国だより」の閲読状況は、「ときどき読んでいる」(41.3%)が4割強と最も高く、これに「毎回読んでいる」(14.0%)と「ほとんど読んでいる」(10.5%)を合わせた『読んでいる(計)』(65.8%)は6割台半ばと高くなっている。一方で、「読んだことがない」(24.1%)と『「彩の国だより」を知らない』(9.3%)を合わせた『読んでいない(計)』(33.4%)は3割強となっている。

【過去調査との比較】

『読んでいる(計)』は、令和2年調査より3.1ポイント減少している。

【属性別比較】

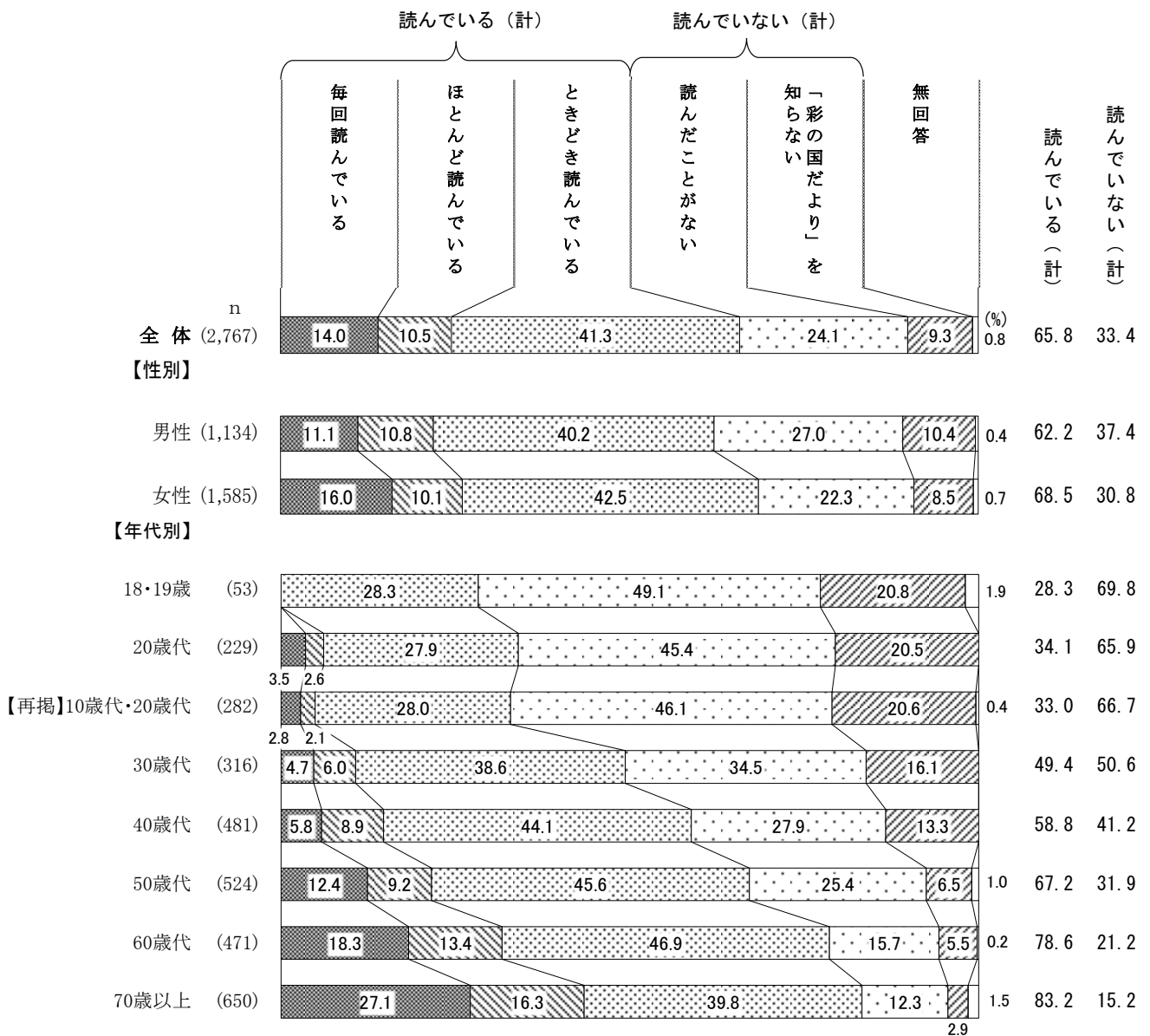
① 性別

『読んでいる（計）』は女性（68.5%）の方が男性（62.2%）よりも6.3ポイント高くなっている。

② 年代別

『読んでいる（計）』は年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上（83.2%）で8割強と最も高くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の閲読状況・性別／年代別



③ 地域別

『読んでいる（計）』はさいたま地域（72.8%）で7割強と最も高く、一方で、『読んでいない（計）』は南西部地域（43.2%）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『読んでいる（計）』は女性70歳以上（84.4%）、女性60歳代（83.5%）、男性70歳以上（82.9%）で8割台と高く、男性10歳代・20歳代（26.1%）で2割台後半と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『読んでいる（計）』は無職（計）（72.6%）で7割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『読んでいる（計）』は、高齢期（85.1%）で8割台半ばと最も高く、独身期（38.2%）で4割弱と最も低くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の閲読状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

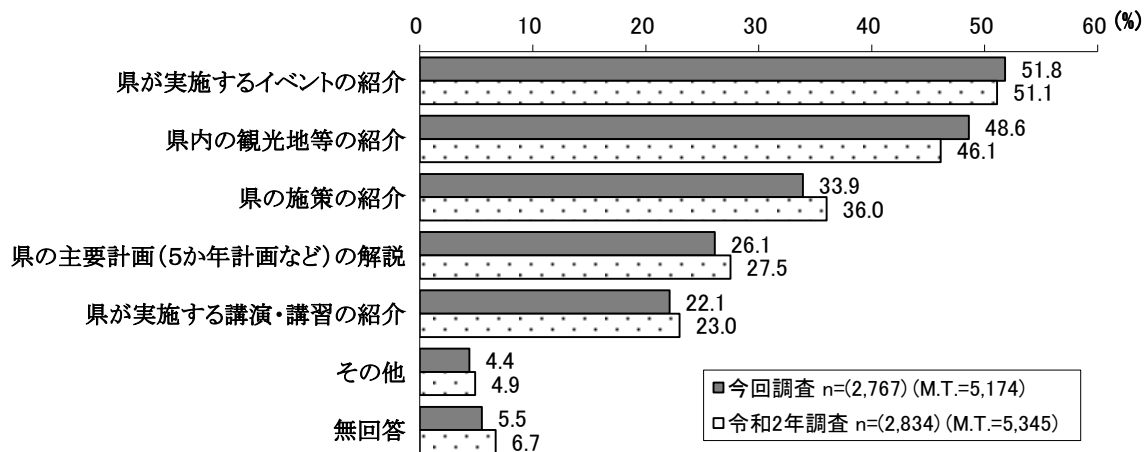
	調査数 n	毎回読んでいる	ほとんど読んでいる	ときどき読んでいる	読んだことがない	知らない「彩の国だより」を	無回答	（%）	
								読んでいる（計）	読んでいない（計）
全体	2,767	14.0	10.5	41.3	24.1	9.3	0.8	65.8	33.4
地域別									
南部地域	268	11.2	8.6	46.6	23.1	9.3	1.1	66.4	32.5
南西部地域	259	9.3	8.9	38.6	30.1	13.1	-	56.8	43.2
東部地域	410	13.4	10.2	41.5	25.1	9.5	0.2	65.1	34.6
さいたま地域	482	17.6	11.6	43.6	19.9	6.4	0.8	72.8	26.3
県央地域	218	13.3	9.6	44.0	23.4	9.2	0.5	67.0	32.6
川越比企地域	293	8.5	13.3	36.2	26.6	14.7	0.7	58.0	41.3
西部地域	299	17.1	10.7	41.5	23.4	7.0	0.3	69.2	30.4
利根地域	245	17.1	9.8	38.0	26.5	7.8	0.8	64.9	34.3
北部地域	203	14.3	8.4	43.3	24.1	8.4	1.5	66.0	32.5
秩父地域	40	17.5	7.5	37.5	25.0	12.5	-	62.5	37.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	-	-	21.4	57.1	17.9	3.6	21.4	75.0
20歳代	91	3.3	3.3	20.9	49.5	23.1	-	27.5	72.5
【再掲】10歳代・20歳代	119	2.5	2.5	21.0	51.3	21.8	0.8	26.1	73.1
30歳代	111	2.7	5.4	44.1	31.5	16.2	-	52.3	47.7
40歳代	173	3.5	5.2	41.0	35.8	14.5	-	49.7	50.3
50歳代	226	9.3	10.6	39.8	31.0	8.8	0.4	59.7	39.8
60歳代	215	13.5	10.2	49.3	16.7	9.8	0.5	73.0	26.5
70歳以上	286	22.4	20.3	40.2	14.3	2.1	0.7	82.9	16.4
女性／18・19歳	25	-	-	36.0	40.0	24.0	-	36.0	64.0
20歳代	137	3.6	1.5	32.8	43.1	19.0	-	38.0	62.0
【再掲】10歳代・20歳代	162	3.1	1.2	33.3	42.6	19.8	-	37.7	62.3
30歳代	205	5.9	6.3	35.6	36.1	16.1	-	47.8	52.2
40歳代	308	7.1	11.0	45.8	23.4	12.7	-	64.0	36.0
50歳代	298	14.8	8.1	50.0	21.1	4.7	1.3	72.8	25.8
60歳代	255	22.4	16.1	45.1	14.9	1.6	-	83.5	16.5
70歳以上	352	31.5	13.1	39.8	10.5	3.1	2.0	84.4	13.6
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	17.4	8.7	43.4	22.7	7.0	0.8	69.4	29.8
雇用者（計）	1,461	9.2	8.4	42.9	28.0	11.2	0.3	60.6	39.2
無職（計）	1,006	19.8	13.5	39.3	19.2	7.3	1.0	72.6	26.4
ライフステージ別									
独身期	327	1.2	2.8	34.3	43.7	18.0	-	38.2	61.8
家族形成期	215	6.5	6.0	31.2	35.8	20.5	-	43.7	56.3
家族成長前期	245	8.2	8.6	33.5	33.5	15.9	0.4	50.2	49.4
家族成長後期	232	12.1	7.8	52.2	21.1	6.9	-	72.0	28.0
家族成熟期	463	17.1	11.9	46.0	18.6	5.6	0.9	74.9	24.2
高齢期	609	24.5	18.6	42.0	12.0	2.5	0.5	85.1	14.4
その他	676	13.6	9.0	43.3	23.2	8.6	2.2	66.0	31.8

(9-2) 県広報紙「彩の国だより」に期待する記事

◇「県が実施するイベントの紹介」が51.8%と最も高い

問11 (2) あなたは、「彩の国だより」にどのような記事を期待しますか。

(○はいくつでも)



県広報紙「彩の国だより」に期待する記事は、「県が実施するイベントの紹介」(51.8%)が5割強で最も高く、次いで「県内の観光地等の紹介」(48.6%)が5割弱と続き、以下「県の施策の紹介」(33.9%)、「県の主要計画(5か年計画など)の解説」(26.1%)、「県が実施する講演・講習の紹介」(22.1%)の順となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、「県内の観光地等の紹介」は2.5ポイント増加したが、「県の施策の紹介」は2.1ポイント減少した。

【属性別比較】

① 地域別

「県が実施するイベントの紹介」はさいたま地域(57.7%)で5割台半ばを超えて最も高く、「県内の観光地等の紹介」は西部地域(55.5%)で5割台半ばと最も高くなっている。

② 性別

「県が実施するイベントの紹介」は女性(56.1%)の方が男性(46.6%)よりも9.5ポイント高く、「県内の観光地等の紹介」も女性(51.5%)の方が男性(45.1%)よりも6.4ポイント高くなっている。

③ 年代別

「県が実施するイベントの紹介」は30歳代(63.0%)で6割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「県が実施するイベントの紹介」は女性30歳代(68.3%)で7割弱と最も高く、「県内の観光地等の紹介」は女性40歳代(53.9%)で5割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「県が実施するイベントの紹介」と「県内の観光地等の紹介」は雇用者(計)(54.8%・50.1%)で5割台と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「県が実施するイベントの紹介」は家族成長前期（66.5%）で6割台半ばを超えて最も高く、「県内の観光地等の紹介」は家族形成期（54.0%）で5割台半ばと最も高くなっている。

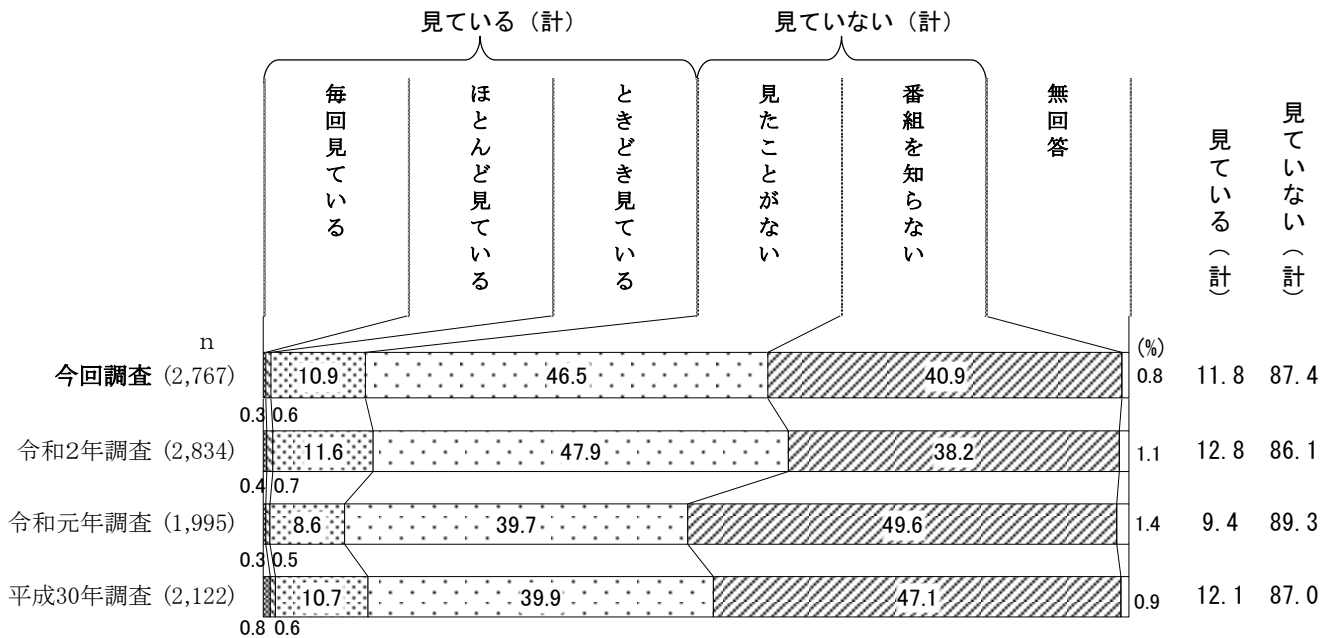
○県広報紙「彩の国だより」へ期待する記事・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	県が実施するイベントの紹介	県内の観光地等の紹介	県の施策の紹介	県の主要計画（5年計画など）の解説	県が実施する講演・講習の紹介	その他	無回答
全体	2,767	51.8	48.6	33.9	26.1	22.1	4.4	5.5
地域別								
南部地域	268	49.6	48.1	34.0	26.1	19.0	5.2	6.0
南西部地域	259	52.1	49.0	33.6	21.6	23.6	6.6	6.6
東部地域	410	47.8	46.8	36.3	32.4	18.8	5.4	5.4
さいたま地域	482	57.7	44.0	33.0	26.1	26.1	3.9	4.6
県央地域	218	52.3	50.5	33.9	27.1	26.1	2.3	3.2
川越比企地域	293	49.8	48.8	36.9	24.2	19.1	4.1	6.5
西部地域	299	51.2	55.5	32.1	25.4	20.4	4.7	5.4
利根地域	245	51.4	46.9	33.1	26.9	23.7	4.5	4.5
北部地域	203	55.7	54.2	33.5	21.7	21.2	3.9	3.9
秩父地域	40	52.5	52.5	27.5	15.0	30.0	-	10.0
性別								
男性	1,134	46.6	45.1	40.3	31.6	16.9	5.5	5.1
女性	1,585	56.1	51.5	29.3	22.2	25.9	3.7	5.4
年代別								
18・19歳	53	47.2	45.3	18.9	28.3	11.3	5.7	-
20歳代	229	45.9	43.7	30.6	17.9	9.6	4.4	5.2
【再掲】10歳代・20歳代	282	46.1	44.0	28.4	19.9	9.9	4.6	4.3
30歳代	316	63.0	49.4	27.8	23.4	20.6	5.4	4.1
40歳代	481	57.4	50.3	27.7	25.4	18.7	5.6	2.9
50歳代	524	52.9	51.0	36.8	27.3	25.0	6.5	3.1
60歳代	471	56.7	48.8	38.2	26.5	28.0	3.2	5.1
70歳以上	650	41.1	47.4	38.5	28.9	24.2	2.5	10.3
性・年代別								
男性・18・19歳	28	32.1	35.7	25.0	28.6	10.7	10.7	-
20歳代	91	41.8	35.2	35.2	23.1	7.7	5.5	6.6
【再掲】10歳代・20歳代	119	39.5	35.3	32.8	24.4	8.4	6.7	5.0
30歳代	111	53.2	43.2	39.6	30.6	17.1	8.1	1.8
40歳代	173	46.8	43.9	34.1	30.6	11.0	8.1	3.5
50歳代	226	50.0	47.8	42.9	32.7	17.3	7.5	3.1
60歳代	215	51.2	48.4	40.5	30.2	20.9	3.3	6.0
70歳以上	286	40.9	45.5	45.8	35.3	21.0	2.4	8.4
女性・18・19歳	25	64.0	56.0	12.0	28.0	12.0	-	-
20歳代	137	48.9	48.9	27.7	14.6	10.9	3.6	4.4
【再掲】10歳代・20歳代	162	51.2	50.0	25.3	16.7	11.1	3.1	3.7
30歳代	205	68.3	52.7	21.5	19.5	22.4	3.9	5.4
40歳代	308	63.3	53.9	24.0	22.4	23.1	4.2	2.6
50歳代	298	55.0	53.4	32.2	23.2	30.9	5.7	3.0
60歳代	255	61.6	49.4	36.1	23.5	34.1	3.1	4.3
70歳以上	352	42.0	49.1	33.2	24.4	27.3	2.0	11.4
職業別								
自営業・家族従業（計）	242	45.5	45.5	39.7	30.2	19.4	3.3	9.1
雇用者（計）	1,461	54.8	50.1	32.8	25.3	21.1	5.3	3.3
無職（計）	1,006	49.8	47.6	34.5	26.5	24.5	3.6	6.8
ライフステージ別								
独身期	327	46.8	44.6	28.1	22.6	13.8	4.6	2.8
家族形成期	215	63.7	54.0	30.7	22.8	15.8	6.0	4.2
家族成長前期	245	66.5	50.6	25.7	20.8	20.8	4.1	4.5
家族成長後期	232	56.9	47.4	34.1	26.3	23.3	6.9	3.0
家族成熟期	463	53.1	51.0	36.5	27.9	27.0	4.3	4.3
高齢期	609	51.2	49.8	41.4	26.9	27.6	1.8	6.2
その他	676	43.0	46.0	32.0	28.7	20.0	5.6	8.7

(9-3) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況

◇『見ている（計）』は11.8%、『見ていない（計）』は87.4%

問11（3） あなたは、県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉（テレビ埼玉/土曜朝8:30～9:00）」を見たことがありますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況は、「見たことがない」（46.5%）が4割台半ばを超えて最も高く、これに「番組を知らない」（40.9%）を合わせた『見ていない（計）』（87.4%）は8割台半ばを超えている。一方で、「毎回見ている」（0.3%）、「ほとんど見ている」（0.6%）、「ときどき見ている」（10.9%）を合わせた『見ている（計）』（11.8%）は1割強となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて回答分布に大きな差はみられないが、『見ている（計）』は1.0ポイント減少している。

【属性別比較】

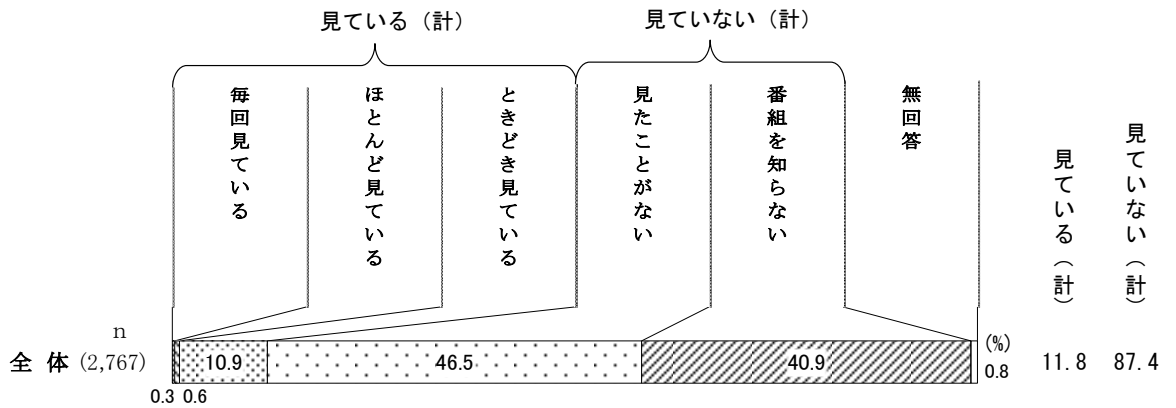
① 性別

『見ている（計）』は男性（12.4%）の方が女性（11.3%）よりも1.1ポイント高くなっている。

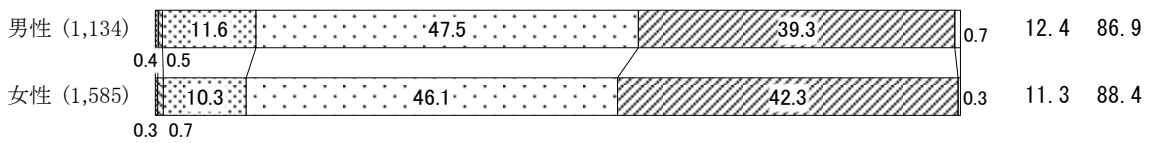
② 年代別

『見ている（計）』は年代が上がるほど割合が高くなっており、70歳以上（22.5%）で最も高く、10歳代・20歳代（4.6%）で最も低くなっている。

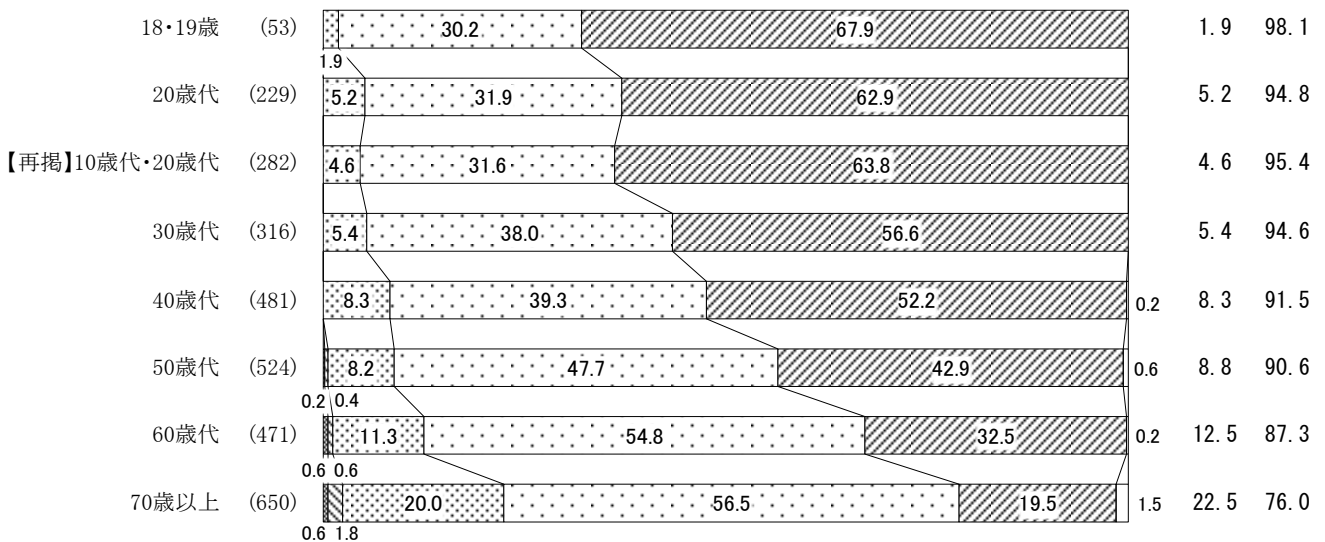
○県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『見ている（計）』は利根地域（16.7%）で1割台半ばを超えて最も高く、秩父地域（7.5%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『見ている（計）』は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高くなり、女性70歳以上（23.9%）と男性70歳以上（21.3%）で2割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『見ている（計）』は無職（計）（16.1%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『見ている（計）』は高齢期（19.0%）で約2割と最も高く、家族形成期（4.2%）で最も低くなっている。

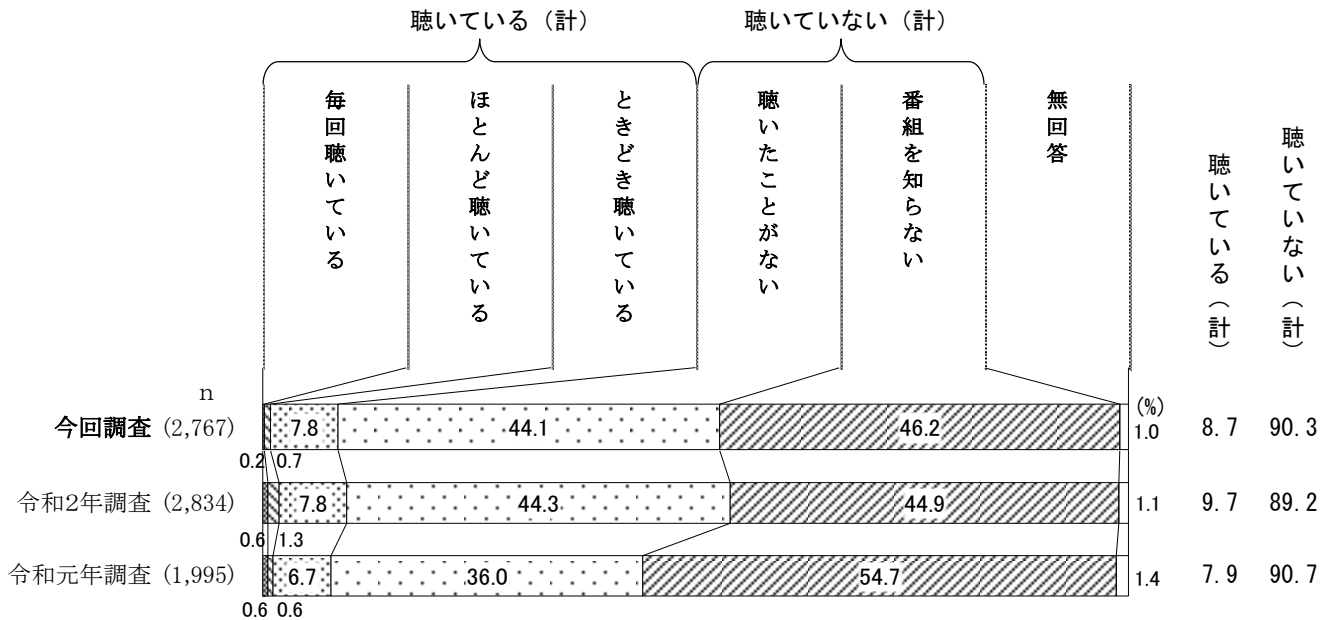
○県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎回見ている	ほとんど見ている	ときどき見ている	見たことがない	番組を知らない	無回答	（%）	
								見ている（計）	見ていない（計）
全体	2,767	0.3	0.6	10.9	46.5	40.9	0.8	11.8	87.4
地域別									
南部地域	268	-	0.4	10.4	47.0	41.0	1.1	10.8	88.1
南西部地域	259	0.4	0.8	9.3	43.2	46.3	-	10.4	89.6
東部地域	410	0.2	0.2	9.3	46.6	42.4	1.2	9.8	89.0
さいたま地域	482	0.4	0.4	11.8	48.5	38.6	0.2	12.7	87.1
県央地域	218	-	0.9	14.7	44.5	39.0	0.9	15.6	83.5
川越比企地域	293	-	0.3	9.9	47.4	41.6	0.7	10.2	89.1
西部地域	299	0.3	0.7	10.0	47.5	41.5	-	11.0	89.0
利根地域	245	0.4	1.6	14.7	43.3	39.6	0.4	16.7	82.9
北部地域	203	0.5	-	8.4	46.8	43.8	0.5	8.9	90.6
秩父地域	40	-	-	7.5	60.0	32.5	-	7.5	92.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	-	-	-	32.1	67.9	-	-	100.0
20歳代	91	-	-	6.6	31.9	61.5	-	6.6	93.4
【再掲】10歳代・20歳代	119	-	-	5.0	31.9	63.0	-	5.0	95.0
30歳代	111	-	-	6.3	40.5	53.2	-	6.3	93.7
40歳代	173	-	-	8.7	40.5	50.3	0.6	8.7	90.8
50歳代	226	0.4	0.4	11.1	45.6	41.6	0.9	11.9	87.2
60歳代	215	0.5	0.5	10.2	54.9	33.5	0.5	11.2	88.4
70歳以上	286	0.7	1.4	19.2	57.3	19.9	1.4	21.3	77.3
女性／18・19歳	25	-	-	4.0	28.0	68.0	-	4.0	96.0
20歳代	137	-	-	3.6	32.1	64.2	-	3.6	96.4
【再掲】10歳代・20歳代	162	-	-	3.7	31.5	64.8	-	3.7	96.3
30歳代	205	-	-	4.9	36.6	58.5	-	4.9	95.1
40歳代	308	-	-	8.1	38.6	53.2	-	8.1	91.9
50歳代	298	-	0.3	6.0	49.3	44.0	0.3	6.4	93.3
60歳代	255	0.8	0.8	12.2	54.9	31.4	-	13.7	86.3
70歳以上	352	0.6	2.3	21.0	55.7	19.3	1.1	23.9	75.0
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	-	0.8	13.6	46.7	38.0	0.8	14.5	84.7
雇用者（計）	1,461	0.2	0.1	7.6	43.1	48.7	0.3	7.9	91.8
無職（計）	1,006	0.4	1.0	14.7	52.0	31.0	0.9	16.1	83.0
ライフステージ別									
独身期	327	-	-	5.5	33.9	60.6	-	5.5	94.5
家族形成期	215	0.5	-	3.7	35.3	60.5	-	4.2	95.8
家族成長前期	245	-	-	6.1	41.2	52.7	-	6.1	93.9
家族成長後期	232	-	0.4	11.2	40.9	47.0	0.4	11.6	87.9
家族成熟期	463	-	0.2	8.9	56.4	34.6	-	9.1	90.9
高齢期	609	0.7	1.3	17.1	55.0	25.1	0.8	19.0	80.1
その他	676	0.6	1.0	13.2	45.4	37.6	2.2	14.8	83.0

(9-4) 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況

◇『聴いている（計）』は8.7%で『聴いていない（計）』が90.3%

問11（4） あなたは、県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉（FM NACK5/月～金曜朝 8:15～8:25）」を聴いたことがありますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況は、「番組を知らない」（46.2%）が最も高く、これに「聴いたことがない」（44.1%）を合わせた『聴いていない（計）』（90.3%）は9割を超えている。一方で、「毎回聴いている」（0.2%）、「ほとんど聴いている」（0.7%）、「ときどき聴いている」（7.8%）を合わせた『聴いている（計）』（8.7%）は1割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査の聴取状況と比べると、『聴いている（計）』は1.0ポイント減少し、『聴いていない（計）』が1.1ポイント増加している。

【属性別比較】

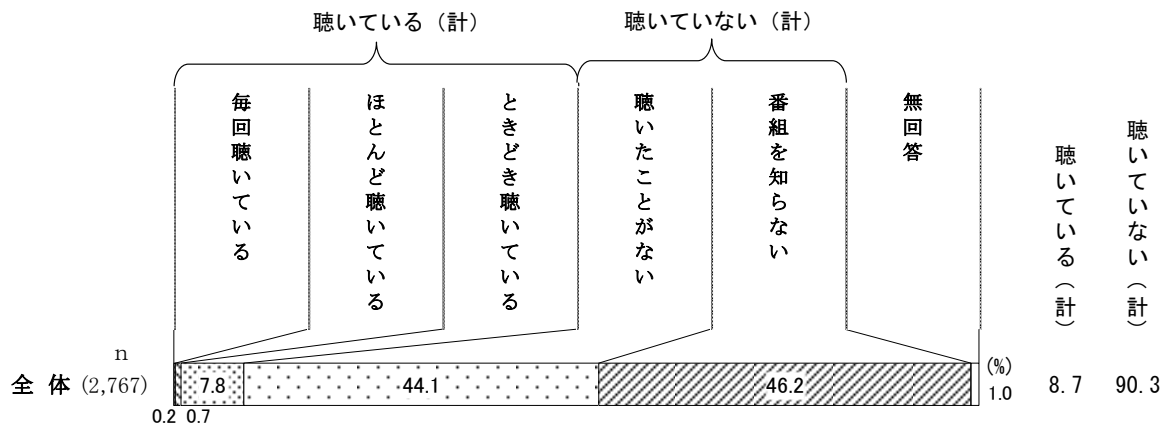
① 性別

『聴いている（計）』は男性（9.3%）の方が女性（8.1%）よりも1.2ポイント高くなっている。

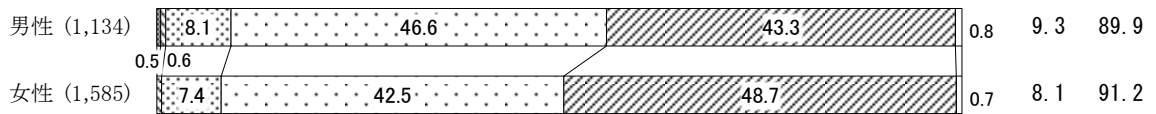
② 年代別

『聴いている（計）』は50歳代と70歳以上（各10.3%）で1割を超えて最も高くなっている。なお、「番組を知らない」の割合は年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。

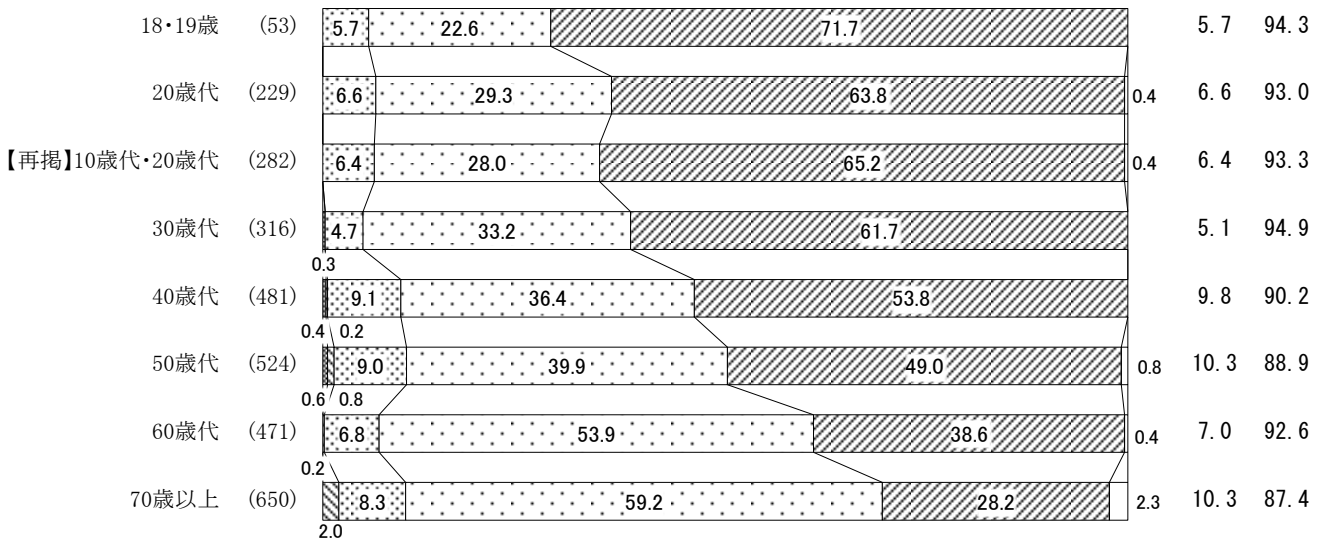
○県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『聴いている(計)』は利根地域(16.7%)で1割台半ばを超えて最も高く、東部地域(3.4%)が最も低くなっている。

④ 性・年代別

『聴いている(計)』は男性40歳代(11.6%)で1割強と最も高く、女性30歳代(3.4%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『聴いている(計)』は自営業・家族従業(計)(9.9%)で約1割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『聴いている(計)』は家族成長後期(12.9%)で1割強と最も高く、独身期(5.5%)で最も低くなっている。

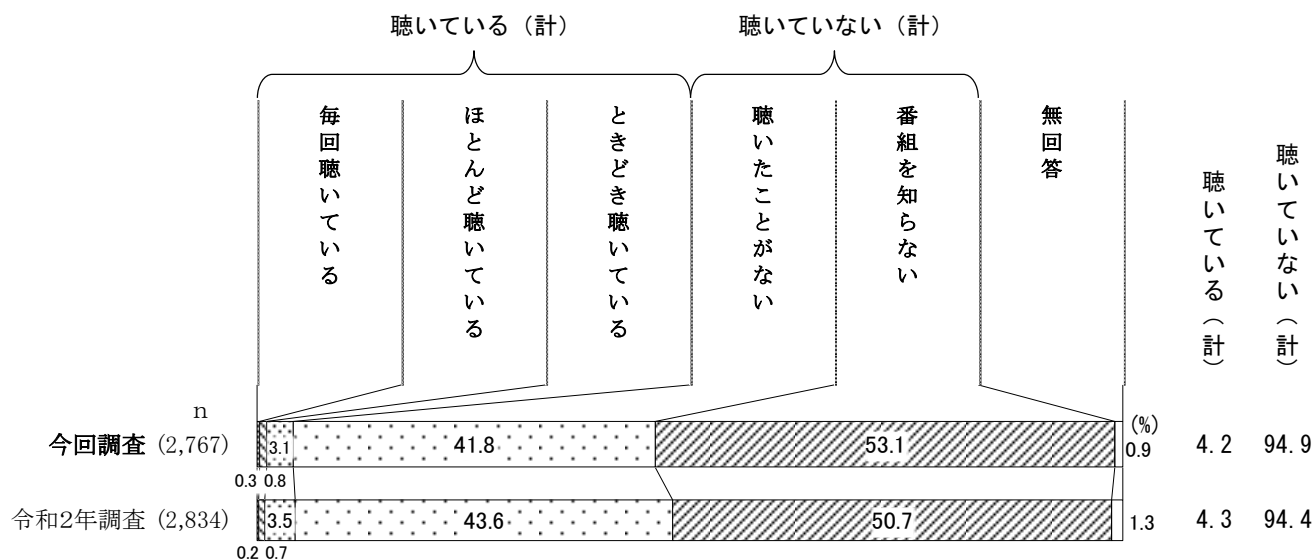
○県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎回聴いている	ほとんど聴いている	ときどき聴いている	聴いたことがない	番組を知らない	無回答	(%)	
								聴いている(計)	聴いていない(計)
全体	2,767	0.2	0.7	7.8	44.1	46.2	1.0	8.7	90.3
地域別									
南部地域	268	-	0.4	4.9	44.8	48.9	1.1	5.2	93.7
南西部地域	259	0.4	0.4	6.9	37.1	54.1	1.2	7.7	91.1
東部地域	410	0.2	-	3.2	44.6	50.7	1.2	3.4	95.4
さいたま地域	482	-	0.4	10.0	46.1	43.2	0.4	10.4	89.2
県央地域	218	-	0.9	7.3	49.1	42.7	-	8.3	91.7
川越比企地域	293	0.3	1.0	9.2	44.0	44.7	0.7	10.6	88.7
西部地域	299	0.3	0.3	5.7	46.8	46.2	0.7	6.4	93.0
利根地域	245	0.4	2.9	13.5	38.8	43.7	0.8	16.7	82.4
北部地域	203	0.5	0.5	10.8	40.4	47.3	0.5	11.8	87.7
秩父地域	40	-	-	7.5	62.5	27.5	2.5	7.5	90.0
性・年代別									
男性／18・19歳	28	-	-	7.1	32.1	60.7	-	7.1	92.9
20歳代	91	-	-	7.7	34.1	58.2	-	7.7	92.3
【再掲】10歳代・20歳代	119	-	-	7.6	33.6	58.8	-	7.6	92.4
30歳代	111	0.9	-	7.2	36.0	55.9	-	8.1	91.9
40歳代	173	1.2	0.6	9.8	39.3	49.1	-	11.6	88.4
50歳代	226	1.3	0.4	9.3	40.3	47.8	0.9	11.1	88.1
60歳代	215	-	-	7.0	55.8	36.7	0.5	7.0	92.6
70歳以上	286	-	1.7	7.3	59.1	29.7	2.1	9.1	88.8
女性／18・19歳	25	-	-	4.0	12.0	84.0	-	4.0	96.0
20歳代	137	-	-	5.8	25.5	67.9	0.7	5.8	93.4
【再掲】10歳代・20歳代	162	-	-	5.6	23.5	70.4	0.6	5.6	93.8
30歳代	205	-	-	3.4	31.7	64.9	-	3.4	96.6
40歳代	308	-	-	8.8	34.7	56.5	-	8.8	91.2
50歳代	298	-	1.0	8.7	39.6	50.0	0.7	9.7	89.6
60歳代	255	-	0.4	6.7	52.5	40.0	0.4	7.1	92.5
70歳以上	352	-	1.7	9.1	59.7	27.6	2.0	10.8	87.2
職業別									
自営業・家族従業(計)	242	0.4	0.4	9.1	42.6	46.3	1.2	9.9	88.8
雇用者(計)	1,461	0.3	0.3	8.5	39.0	51.7	0.1	9.2	90.7
無職(計)	1,006	-	1.1	6.1	52.3	39.1	1.5	7.2	91.4
ライフステージ別									
独身期	327	-	-	5.5	30.6	63.9	-	5.5	94.5
家族形成期	215	0.9	-	4.7	31.6	62.3	0.5	5.6	94.0
家族成長前期	245	0.4	0.4	8.6	32.2	58.4	-	9.4	90.6
家族成長後期	232	-	1.3	11.6	35.8	50.9	0.4	12.9	86.6
家族成熟期	463	-	1.1	8.4	50.1	40.2	0.2	9.5	90.3
高齢期	609	-	0.8	8.4	57.0	32.8	1.0	9.2	89.8
その他	676	0.4	0.7	7.2	46.0	42.8	2.8	8.4	88.8

(9-5) ラジオ番組「まとめて！埼玉応援団」の聴取状況

◇『聴いている（計）』は4.2%で『聴いていない（計）』が94.9%

問11 (5) あなたは、ラジオ番組「まとめて！埼玉応援団（TBS/土曜 朝8:34～8:39）」
 （「蓮見孝之 まとめて！土曜日」コーナーの一つ）を聴いたことがありますか。
 （○は1つだけ）



ラジオ番組「まとめて！埼玉応援団」の聴取状況は、「番組を知らない」（53.1%）が5割強と最も高く、これに「聴いたことがない」（41.8%）を合わせた『聴いていない（計）』（94.9%）は9割台半ばとなっている。一方で、「毎回聴いている」（0.3%）、「ほとんど聴いている」（0.8%）、「ときどき聴いている」（3.1%）を合わせた『聴いている（計）』は4.2%となっている。

【属性別比較】

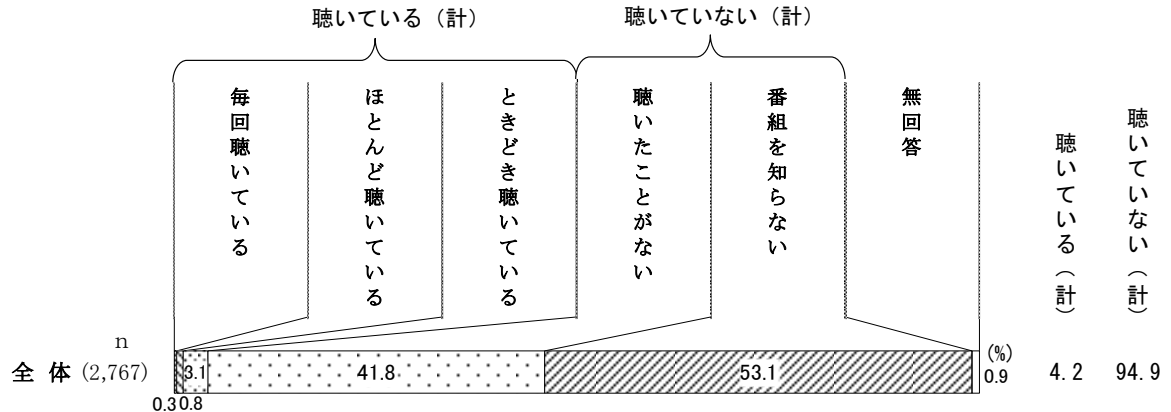
① 性別

『聴いている（計）』は男性（4.9%）の方が女性（3.3%）よりも1.6ポイント高くなっている。

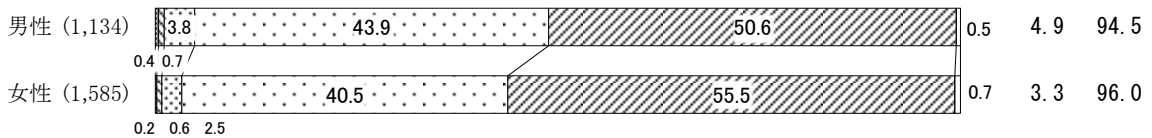
② 年代別

『聴いている（計）』は70歳以上（9.4%）で約1割と最も高く、10歳代・20歳代（1.1%）と30歳代（1.6%）ではわずか1%台となっている。

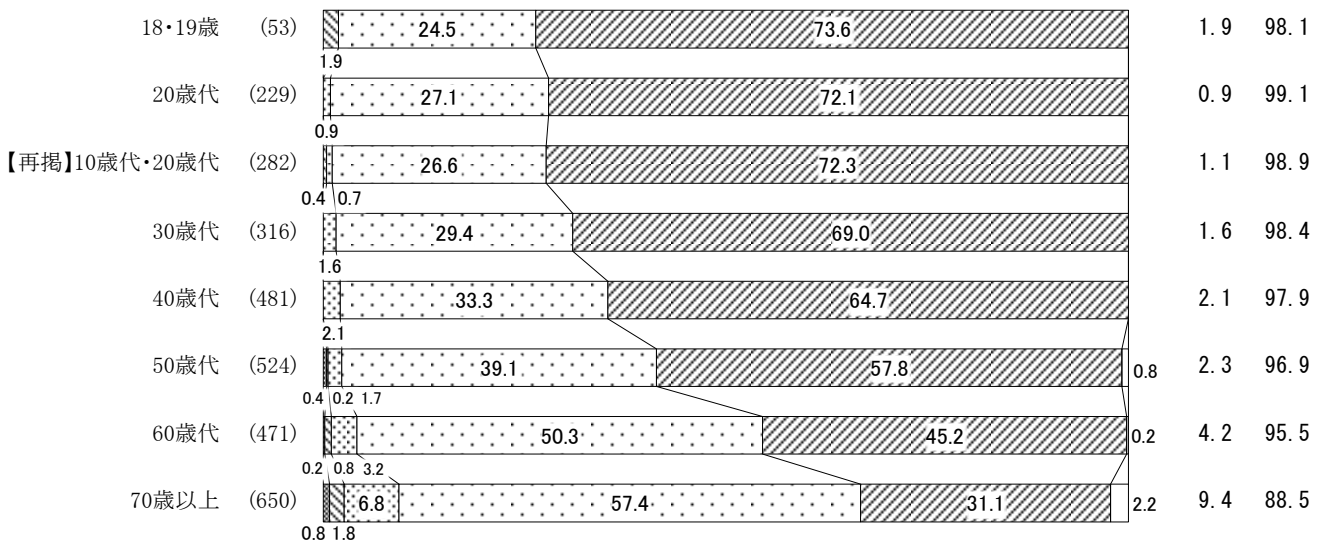
○ラジオ番組「まとめて！埼玉応援団」の聴取状況・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『聴いている（計）』は県央地域（8.7%）で1割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『聴いている（計）』は男性70歳以上（10.1%）で1割を超えて最も高くなっているが、女性50歳代以下の年代はすべて2%未満と低くなっている。

⑤ 職業別

『聴いている（計）』は自営業・家族従業（計）（6.6%）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『聴いている（計）』は高齢期（7.7%）が最も高く、独身期と家族形成期はともに0.9%と低くなっている。

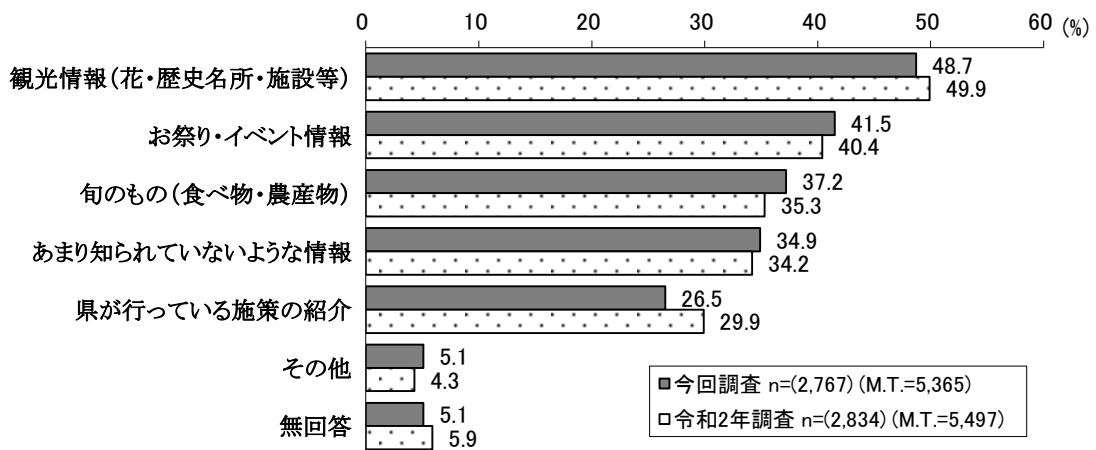
○ラジオ番組「まとめて！埼玉応援団」の聴取状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎回聴いている	ほとんど聴いている	ときどき聴いている	聴いたことがない	番組を知らない	無回答	（%）	
								聴いている（計）	聴いていない（計）
全体	2,767	0.3	0.8	3.1	41.8	53.1	0.9	4.2	94.9
地域別									
南部地域	268	0.4	0.4	1.9	44.0	52.2	1.1	2.6	96.3
南西部地域	259	0.4	1.5	2.3	34.7	60.6	0.4	4.2	95.4
東部地域	410	0.5	-	1.7	40.5	56.3	1.0	2.2	96.8
さいたま地域	482	0.2	0.2	2.7	44.8	51.2	0.8	3.1	96.1
県央地域	218	0.5	1.8	6.4	40.8	50.0	0.5	8.7	90.8
川越比企地域	293	-	1.0	4.1	44.4	49.8	0.7	5.1	94.2
西部地域	299	0.3	-	2.0	46.2	51.2	0.3	2.3	97.3
利根地域	245	0.4	1.6	5.3	39.6	52.2	0.8	7.3	91.8
北部地域	203	-	0.5	4.9	32.0	62.6	-	5.4	94.6
秩父地域	40	-	-	-	57.5	40.0	2.5	-	97.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	-	3.6	-	32.1	64.3	-	3.6	96.4
20歳代	91	-	-	2.2	34.1	63.7	-	2.2	97.8
【再掲】10歳代・20歳代	119	-	0.8	1.7	33.6	63.9	-	2.5	97.5
30歳代	111	-	-	2.7	33.3	64.0	-	2.7	97.3
40歳代	173	-	-	2.9	36.4	60.7	-	2.9	97.1
50歳代	226	0.9	-	2.2	38.5	57.1	1.3	3.1	95.6
60歳代	215	0.5	0.5	3.3	51.2	44.7	-	4.2	95.8
70歳以上	286	0.7	2.1	7.3	55.6	33.2	1.0	10.1	88.8
女性／18・19歳	25	-	-	-	16.0	84.0	-	-	100.0
20歳代	137	-	-	-	22.6	77.4	-	-	100.0
【再掲】10歳代・20歳代	162	-	-	-	21.6	78.4	-	-	100.0
30歳代	205	-	-	1.0	27.3	71.7	-	1.0	99.0
40歳代	308	-	-	1.6	31.5	66.9	-	1.6	98.4
50歳代	298	-	0.3	1.3	39.6	58.4	0.3	1.7	98.0
60歳代	255	-	1.2	3.1	49.8	45.5	0.4	4.3	95.3
70歳以上	352	0.9	1.7	6.0	59.1	30.1	2.3	8.5	89.2
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	0.4	0.4	5.8	44.6	48.3	0.4	6.6	93.0
雇用者（計）	1,461	0.2	0.3	2.2	36.5	60.7	0.1	2.7	97.2
無職（計）	1,006	0.3	1.2	3.8	49.0	44.2	1.5	5.3	93.2
ライフステージ別									
独身期	327	-	0.3	0.6	28.4	70.6	-	0.9	99.1
家族形成期	215	-	-	0.9	28.4	70.7	-	0.9	99.1
家族成長前期	245	-	-	1.6	29.8	68.6	-	1.6	98.4
家族成長後期	232	-	0.4	3.4	34.1	61.2	0.9	3.9	95.3
家族成熟期	463	-	1.1	3.2	47.1	48.4	0.2	4.3	95.5
高齢期	609	0.7	1.3	5.7	56.2	35.3	0.8	7.7	91.5
その他	676	0.6	0.9	3.0	43.0	49.9	2.7	4.4	92.9

(9-6) 県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望

◇「観光情報」が48.7%でトップ、「お祭り・イベント情報」が41.5%で続く

問11(6) あなたは、県の広報テレビ・ラジオ番組で、どのような内容を見たり聴いたりしたいと思いますか。(〇はいくつでも)



県の広報テレビ・ラジオ番組に求める内容では、「観光情報（花・歴史名所・施設等）」（48.7%）が5割弱で最も高く、以下、「お祭り・イベント情報」（41.5%）、「旬のもの（食べ物・農産物）」（37.2%）、「あまり知られていないような情報」（34.9%）、「県が行っている施策の紹介」（26.5%）の順となっている。

【属性別比較】

① 地域別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は利根地域（55.1%）で5割台半ばと最も高く、秩父地域（42.5%）で最も低くなっている。一方で、「お祭り・イベント情報」と「旬のもの（食べ物・農産物）」は秩父地域（55.0%・47.5%）が最も高くなっている。

② 性別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は女性（52.5%）の方が男性（43.8%）よりも8.7ポイント高く、「旬のもの（食べ物・農産物）」も女性（41.5%）の方が男性（31.3%）よりも10.2ポイント高くなっている。一方で、「県が行っている施策の紹介」は男性（30.8%）の方が女性（23.6%）よりも7.2ポイント高くなっている。

③ 年代別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は60歳代（54.4%）で5割台半ばと最も高く、「お祭り・イベント情報」は30歳代（63.0%）で6割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は女性60歳代（59.2%）で約6割と最も高く、「お祭り・イベント情報」は女性30歳代（66.3%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「お祭り・イベント情報」は雇用者（計）（48.7%）で5割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「お祭り・イベント情報」は家族成長前期（63.7%）と家族形成期（63.3%）で6割強と高くなっている。

○県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

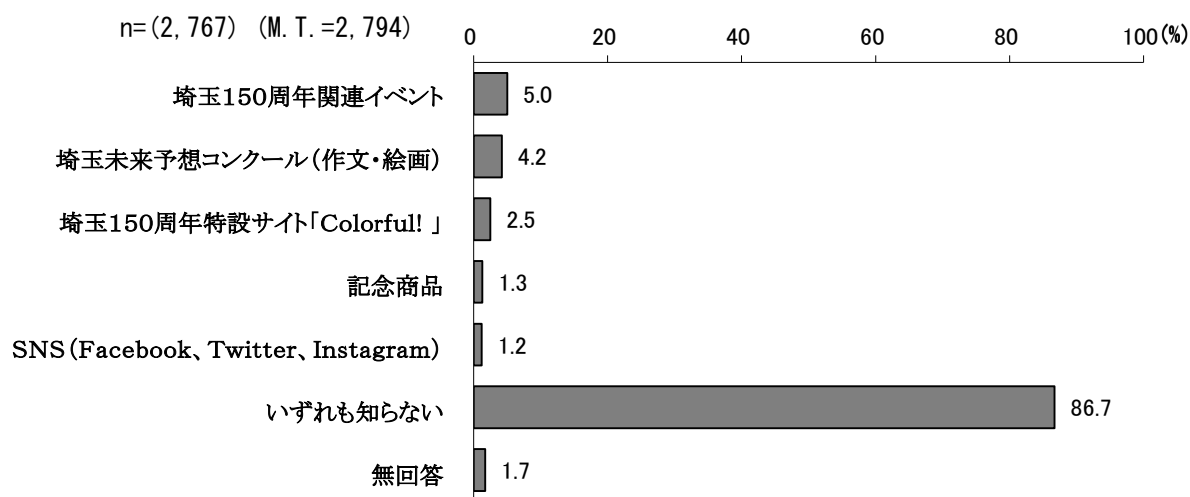
(%)

	調査数 n	史観 名所・情 報・報 施(花・歴 設等)	お祭 り・イ ベン ト	旬の もの (食 べ 物・農 産物)	あま り知 ら れ て い な い よ う な 情 報	県 が 行 っ て い る 施 策 の 紹 介	そ の 他	無 回 答
全 体	2,767	48.7	41.5	37.2	34.9	26.5	5.1	5.1
地域別								
南部地域	268	44.4	41.4	34.7	35.4	23.9	5.6	6.3
南西部地域	259	46.7	41.7	36.7	32.8	27.4	5.8	3.5
東部地域	410	47.1	41.0	38.0	32.9	28.0	6.3	7.1
さいたま地域	482	46.1	43.2	36.1	37.6	25.5	3.3	4.8
県央地域	218	51.4	37.2	37.2	37.2	25.2	2.3	3.7
川越比企地域	293	52.6	44.4	37.5	37.9	28.3	6.1	4.4
西部地域	299	48.5	40.1	40.8	34.1	25.4	7.0	5.0
利根地域	245	55.1	41.2	36.3	33.5	27.8	6.1	2.9
北部地域	203	54.2	42.4	34.5	34.5	26.6	3.4	3.4
秩父地域	40	42.5	55.0	47.5	32.5	22.5	2.5	12.5
性別								
男性	1,134	43.8	39.8	31.3	35.0	30.8	5.9	5.3
女性	1,585	52.5	43.2	41.5	35.3	23.6	4.6	4.4
年代別								
18・19歳	53	34.0	56.6	26.4	34.0	24.5	-	-
20歳代	229	40.6	49.3	34.1	31.9	15.7	5.2	3.1
【再掲】10歳代・20歳代	282	39.4	50.7	32.6	32.3	17.4	4.3	2.5
30歳代	316	49.4	63.0	41.5	33.2	22.5	4.4	1.3
40歳代	481	48.6	52.4	42.6	35.6	22.7	5.4	2.5
50歳代	524	48.3	43.7	38.0	41.8	29.6	4.8	2.3
60歳代	471	54.4	36.5	35.7	38.2	29.9	4.5	5.5
70歳以上	650	49.4	21.8	33.7	29.2	30.5	6.3	10.9
性・年代別								
男性・18・19歳	28	35.7	46.4	21.4	39.3	32.1	-	-
20歳代	91	37.4	45.1	24.2	33.0	18.7	5.5	3.3
【再掲】10歳代・20歳代	119	37.0	45.4	23.5	34.5	21.8	4.2	2.5
30歳代	111	47.7	56.8	45.9	36.0	32.4	5.4	-
40歳代	173	38.7	45.1	33.5	31.2	20.8	7.5	4.0
50歳代	226	42.9	44.2	36.7	39.4	33.2	5.8	1.8
60歳代	215	48.8	39.5	30.2	35.8	34.0	5.6	6.0
70歳以上	286	45.8	24.8	24.1	32.9	36.0	5.9	11.5
女性・18・19歳	25	32.0	68.0	32.0	28.0	16.0	-	-
20歳代	137	42.3	51.8	40.9	31.4	13.9	5.1	2.9
【再掲】10歳代・20歳代	162	40.7	54.3	39.5	30.9	14.2	4.3	2.5
30歳代	205	50.2	66.3	39.0	31.7	17.1	3.9	2.0
40歳代	308	54.2	56.5	47.7	38.0	23.7	4.2	1.6
50歳代	298	52.3	43.3	38.9	43.6	26.8	4.0	2.7
60歳代	255	59.2	34.1	40.4	40.0	26.7	3.5	5.1
70歳以上	352	53.1	19.9	41.5	26.7	26.7	6.8	9.4
職業別								
自営業・家族従業(計)	242	47.5	31.4	33.1	38.0	32.2	4.1	5.4
雇用者(計)	1,461	47.8	48.7	39.3	35.1	25.4	5.1	2.7
無職(計)	1,006	50.7	34.4	35.3	34.7	26.9	5.3	7.6
ライフステージ別								
独身期	327	41.6	49.5	33.6	35.5	19.3	4.9	1.8
家族形成期	215	51.6	63.3	45.6	31.2	21.9	3.3	0.9
家族成長前期	245	52.2	63.7	40.0	31.8	24.1	3.7	1.6
家族成長後期	232	44.8	50.4	39.2	37.1	24.6	6.0	3.0
家族成熟期	463	52.5	40.4	39.7	40.4	30.0	3.5	3.7
高齢期	609	53.0	28.1	33.7	33.2	31.0	5.6	8.2
その他	676	44.8	32.4	36.1	34.2	26.3	6.5	8.3

(9-7) 埼玉150周年記念事業について知っている内容

◇「いずれも知らない」が86.7%

問11(7) あなたは、2020年から2021年にかけて県が実施している埼玉150周年記念事業について、どのような内容を知っていますか。(〇はいくつでも)



埼玉150周年記念事業については「いずれも知らない」(86.7%)が8割台半ばを超えており、知っている事業では「埼玉150周年関連イベント」が5.0%で最も高くなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「埼玉150周年関連イベント」は秩父地域(10.0%)で最も高くなっている。「いずれも知らない」は南西部地域(90.0%)で9割と最も高くなっている。

② 性別

「埼玉未来予想コンクール(作文・絵画)」は女性(6.2%)の方が男性(1.6%)よりも4.6ポイント高くなっている。

③ 年代別

「いずれも知らない」は10歳代・20歳代(89.0%)で約9割と最も高く、70歳以上(84.2%)で8割台半ばと最も低くなっている。

④ 性・年代別

「埼玉150周年関連イベント」は男性70歳以上(9.4%)で約1割と最も高く、「埼玉未来予想コンクール(作文・絵画)」は女性40歳代(9.7%)で約1割と最も高くなっている。「いずれも知らない」は男性60歳代(93.0%)で9割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

職業別での回答割合には特に大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

「いずれも知らない」は家族形成期(90.2%)で9割を超えて最も高くなっている。

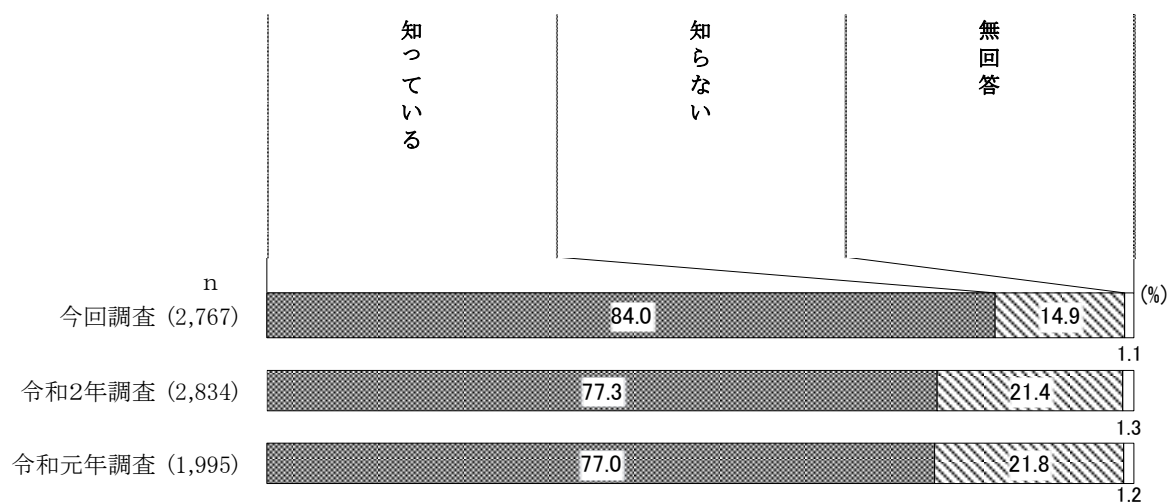
○埼玉150周年記念事業について知っている内容・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	埼玉150周年関連イベント	埼玉未来予想コンクール (作文・絵画)	埼玉150周年特設サイト 「C o l o r f u l l !」	記念商品	ITSN nswN stt(F tate agrar eam)	いずれも知らない	無回答
全体	2,767	5.0	4.2	2.5	1.3	1.2	86.7	1.7
地域別								
南部地域	268	3.7	3.4	1.1	0.7	1.1	89.2	1.9
南西部地域	259	5.4	3.1	1.5	0.8	1.2	90.0	0.8
東部地域	410	3.4	4.6	2.0	0.2	1.7	87.8	2.0
さいたま地域	482	6.8	3.7	1.9	2.1	1.9	86.5	1.0
県央地域	218	5.5	5.5	3.7	2.3	-	85.3	1.8
川越比企地域	293	4.8	4.1	2.0	1.0	0.3	88.1	1.4
西部地域	299	5.0	4.0	2.0	2.0	0.7	87.0	1.0
利根地域	245	6.1	5.7	6.9	0.8	1.6	83.3	1.6
北部地域	203	3.4	4.9	3.0	3.0	1.0	86.2	0.5
秩父地域	40	10.0	7.5	2.5	-	2.5	75.0	5.0
性別								
男性	1,134	6.1	1.6	2.8	1.1	1.1	88.7	1.0
女性	1,585	4.4	6.2	2.2	1.5	1.2	85.9	1.6
年代別								
18・19歳	53	3.8	9.4	3.8	-	3.8	83.0	-
20歳代	229	2.2	3.1	2.6	1.7	3.1	90.4	0.4
【再掲】10歳代・20歳代	282	2.5	4.3	2.8	1.4	3.2	89.0	0.4
30歳代	316	4.4	3.2	1.9	1.9	1.3	88.0	0.3
40歳代	481	2.9	6.9	2.7	1.7	1.7	87.3	-
50歳代	524	5.5	3.2	2.7	1.9	1.9	87.8	0.6
60歳代	471	5.7	5.1	2.8	1.3	-	87.9	0.4
70歳以上	650	7.2	2.9	2.2	0.5	0.2	84.2	4.9
性・年代別								
男性・18・19歳	28	7.1	7.1	7.1	-	3.6	82.1	-
20歳代	91	1.1	2.2	2.2	1.1	3.3	91.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	2.5	3.4	3.4	0.8	3.4	89.1	-
30歳代	111	6.3	2.7	0.9	2.7	0.9	86.5	-
40歳代	173	5.8	1.7	4.0	2.3	1.2	89.6	-
50歳代	226	5.8	0.9	3.5	2.2	2.2	88.9	0.4
60歳代	215	4.2	1.4	2.8	-	-	93.0	-
70歳以上	286	9.4	0.7	2.1	-	0.3	85.7	3.5
女性・18・19歳	25	-	12.0	-	-	4.0	84.0	-
20歳代	137	2.9	3.6	2.9	2.2	2.9	89.8	0.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	2.5	4.9	2.5	1.9	3.1	88.9	0.6
30歳代	205	3.4	3.4	2.4	1.5	1.5	88.8	0.5
40歳代	308	1.3	9.7	1.9	1.3	1.9	86.0	-
50歳代	298	5.4	5.0	2.0	1.7	1.7	86.9	0.7
60歳代	255	7.1	8.2	2.4	2.4	-	83.9	0.8
70歳以上	352	5.7	4.8	2.3	0.9	-	83.5	5.1
職業別								
自営業・家族従業(計)	242	2.5	4.5	2.5	0.4	0.8	88.0	2.9
雇用者(計)	1,461	4.6	4.1	2.7	1.8	1.4	87.9	0.5
無職(計)	1,006	6.5	4.4	2.3	0.9	1.0	85.5	2.2
ライフステージ別								
独身期	327	2.1	4.3	1.5	1.5	2.8	88.7	0.3
家族形成期	215	4.2	0.9	2.8	1.9	2.3	90.2	-
家族成長前期	245	2.4	9.4	1.2	0.8	0.4	86.9	0.4
家族成長後期	232	4.3	7.8	2.6	3.0	3.0	82.3	1.3
家族成熟期	463	5.8	4.5	3.5	1.3	0.6	87.5	0.6
高齢期	609	6.4	3.9	2.3	0.8	-	86.4	2.0
その他	676	6.1	2.2	2.8	1.2	1.0	85.9	4.1

(10) 東京2020オリンピック・パラリンピックの埼玉県内開催の認知度

◇「知っている」が84.0%、「知らない」が14.9%

問12 あなたは、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が埼玉県内で開催されることを知っていますか。(○は1つだけ)



東京2020オリンピック・パラリンピックの埼玉県内での開催については、「知っている」(84.0%)が8割台半ばを占めており、「知らない」(14.9%)は1割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、「知っている」が6.7ポイント増加している。

【属性別比較】

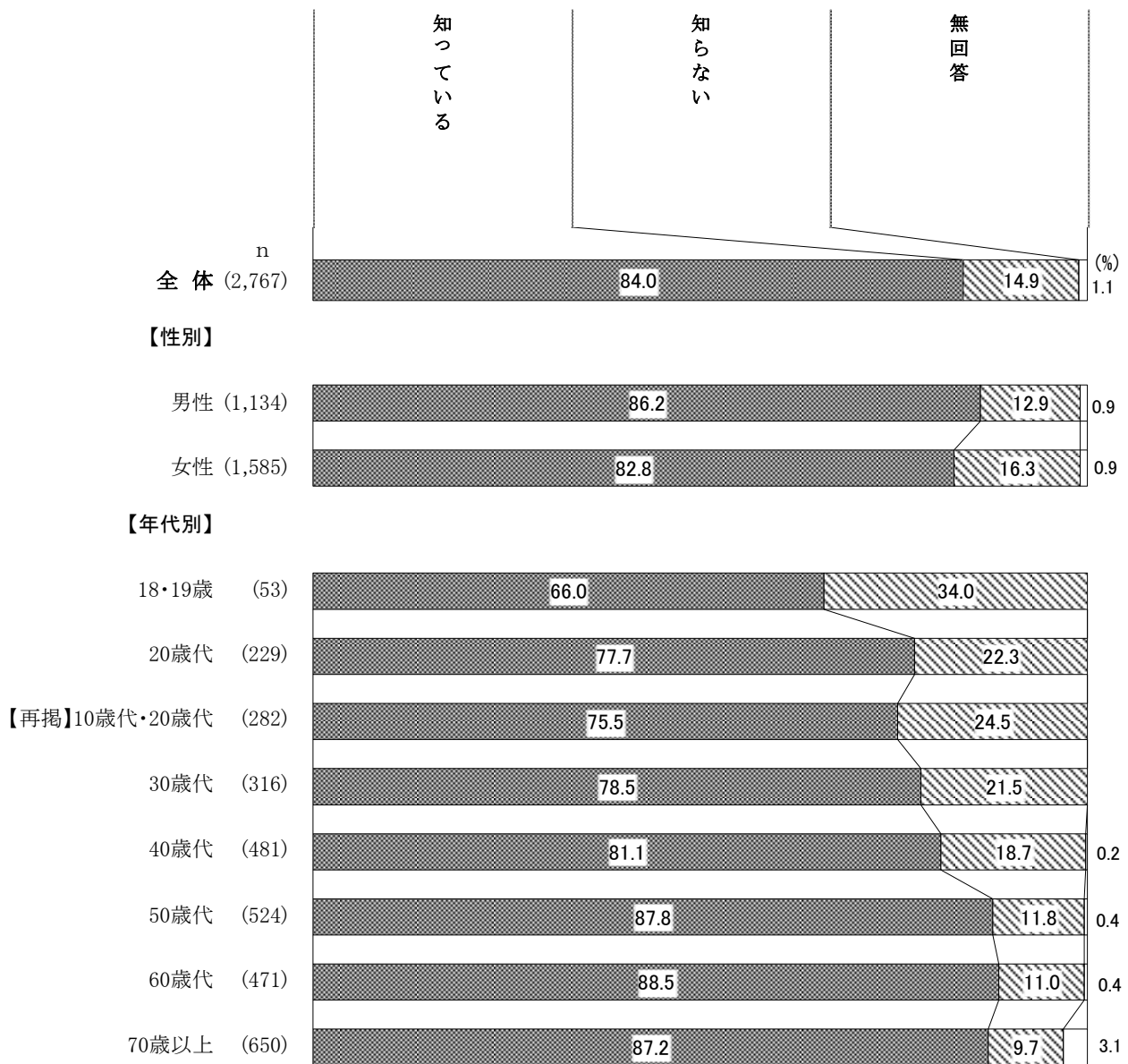
① 性別

「知っている」は男性(86.2%)の方が女性(82.8%)よりも3.4ポイント高くなっている。

② 年代別

「知っている」は60歳以上(88.5%)が9割弱と最も高く、10歳代・20歳代(75.5%)で7割台半ばと最も低くなっている。

○東京2020オリンピック・パラリンピックの埼玉県内開催の認知度・性別／年代別



③ 地域別

「知っている」は南西部地域（90.0%）で9割と最も高くなっている。一方で、「知らない」は秩父地域（35.0%）で3割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「知っている」は男性50歳以上（89.4%）と男性70歳以上（89.2%）で約9割と高くなっている。一方で、「知らない」は女性10歳代・20歳代（25.9%）で2割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

職業別での回答割合に特に大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

「知っている」は高齢期（90.8%）で9割を超えて最も高くなっている。一方で、「知らない」は独身期（24.2%）で2割台半ばと最も高くなっている。

○東京2020オリンピック・パラリンピックの埼玉県内開催の認知度・地域別
／性・年代別／職業別／ライフステージ別

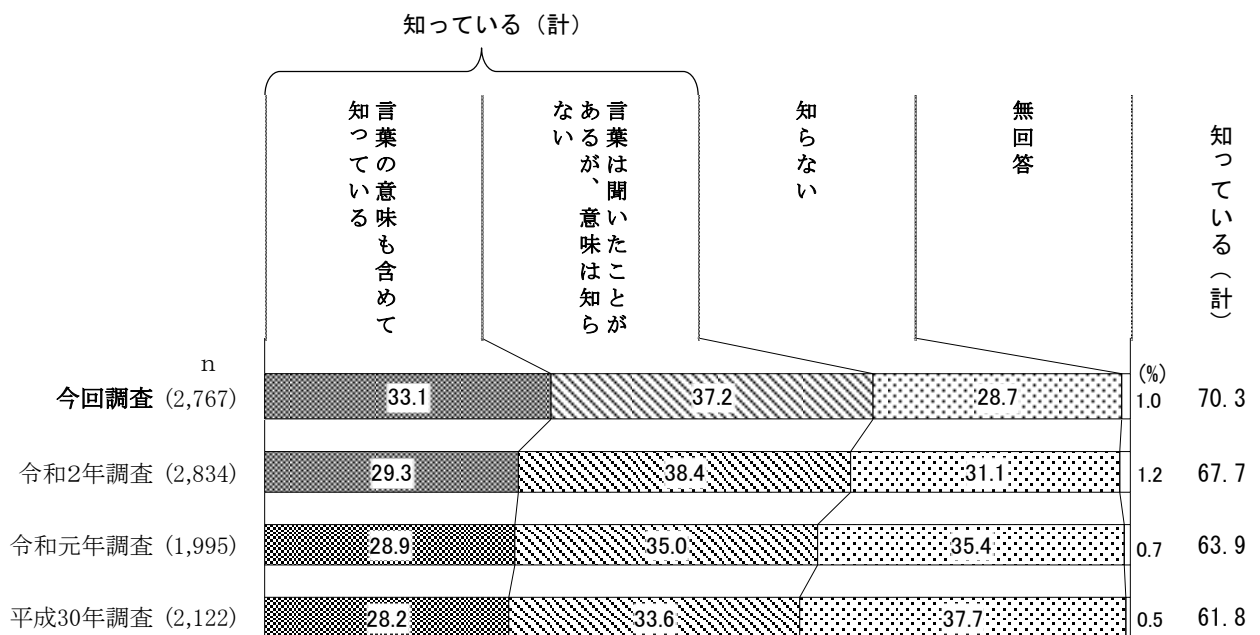
	調査数 n	知っている	知らない	無回答
全体	2,767	84.0	14.9	1.1
地域別				
南部地域	268	84.0	14.9	1.1
南西部地域	259	90.0	9.7	0.4
東部地域	410	78.0	20.5	1.5
さいたま地域	482	88.2	11.2	0.6
県央地域	218	82.6	17.0	0.5
川越比企地域	293	88.4	10.9	0.7
西部地域	299	81.9	17.1	1.0
利根地域	245	84.5	14.3	1.2
北部地域	203	82.8	16.3	1.0
秩父地域	40	65.0	35.0	-
性・年代別				
男性／18・19歳	28	71.4	28.6	-
20歳代	91	80.2	19.8	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	78.2	21.8	-
30歳代	111	84.7	15.3	-
40歳代	173	82.1	17.9	-
50歳代	226	89.4	10.2	0.4
60歳代	215	88.4	10.7	0.9
70歳以上	286	89.2	8.4	2.4
女性／18・19歳	25	60.0	40.0	-
20歳代	137	76.6	23.4	-
【再掲】10歳代・20歳代	162	74.1	25.9	-
30歳代	205	75.1	24.9	-
40歳代	308	80.5	19.2	0.3
50歳代	298	86.6	13.1	0.3
60歳代	255	88.6	11.4	-
70歳以上	352	86.4	10.2	3.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	242	86.4	12.4	1.2
雇用者（計）	1,461	84.0	15.8	0.2
無職（計）	1,006	84.3	14.0	1.7
ライフステージ別				
独身期	327	75.8	24.2	-
家族形成期	215	80.9	19.1	-
家族成長前期	245	80.8	18.8	0.4
家族成長後期	232	87.5	12.1	0.4
家族成熟期	463	87.3	12.3	0.4
高齢期	609	90.8	7.4	1.8
その他	676	80.5	17.3	2.2

(11-1) 生物多様性の認知度

◇『知っている（計）』が70.3%

問13 現在、「生物多様性」の保全という、地球上のさまざまな生物やそれらが生息・生育できる環境を守る取組が進められています。また、もともとその地域にいなかったのに、人間によって他の地域から入ってきたアライグマやカミツキガメなど種々の「外来生物」により、地域固有の生物の生態系や自然環境に影響を与える問題が起きています。

(1) あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

「生物多様性」という言葉の認知度は、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」(37.2%)が3割台半ばを超えて最も高く、これに「言葉の意味も含めて知っている」(33.1%)を合わせた『知っている（計）』(70.3%)は7割を超えている。一方で、「知らない」(28.7%)は3割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、『知っている（計）』が2.6ポイント増加している。平成30年以降増加傾向となっており、今回調査で7割を超えた。

【属性別比較】

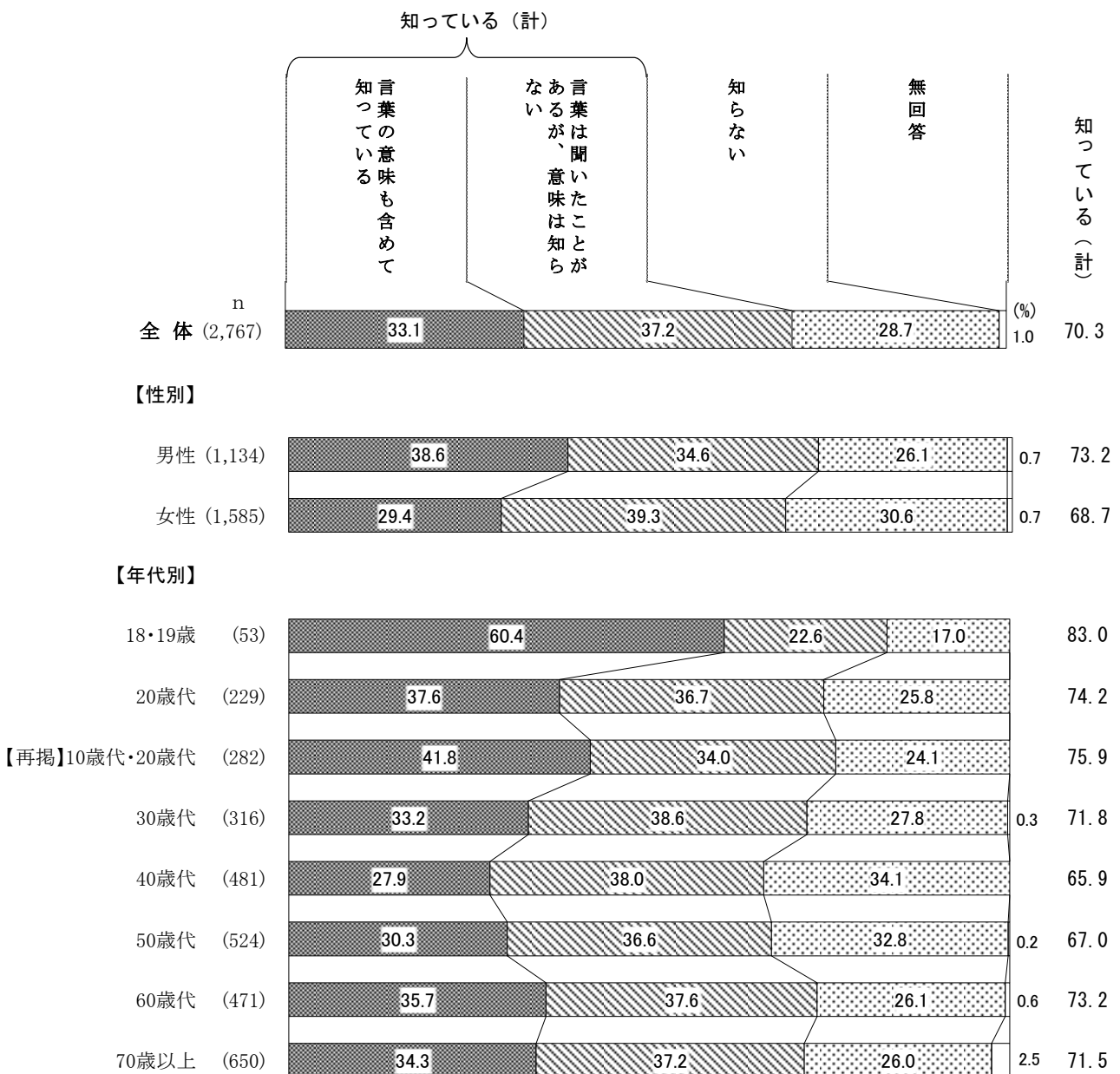
① 性別

『知っている（計）』は男性（73.2%）の方が女性（68.7%）よりも4.5ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は10歳代・20歳代（75.9%）で7割台半ばと最も高くなっている。「知らない」は40歳代（34.1%）で最も高くなっている。

○生物多様性の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は、秩父地域（75.0%）で7割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は、男性10歳代・20歳代（80.7%）で8割を超えて最も高く、男性40歳代（63.6%）で6割強と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』は無職（計）（73.4%）と自営業・家族従業（計）（72.3%）で7割強と高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は独身期（77.4%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。

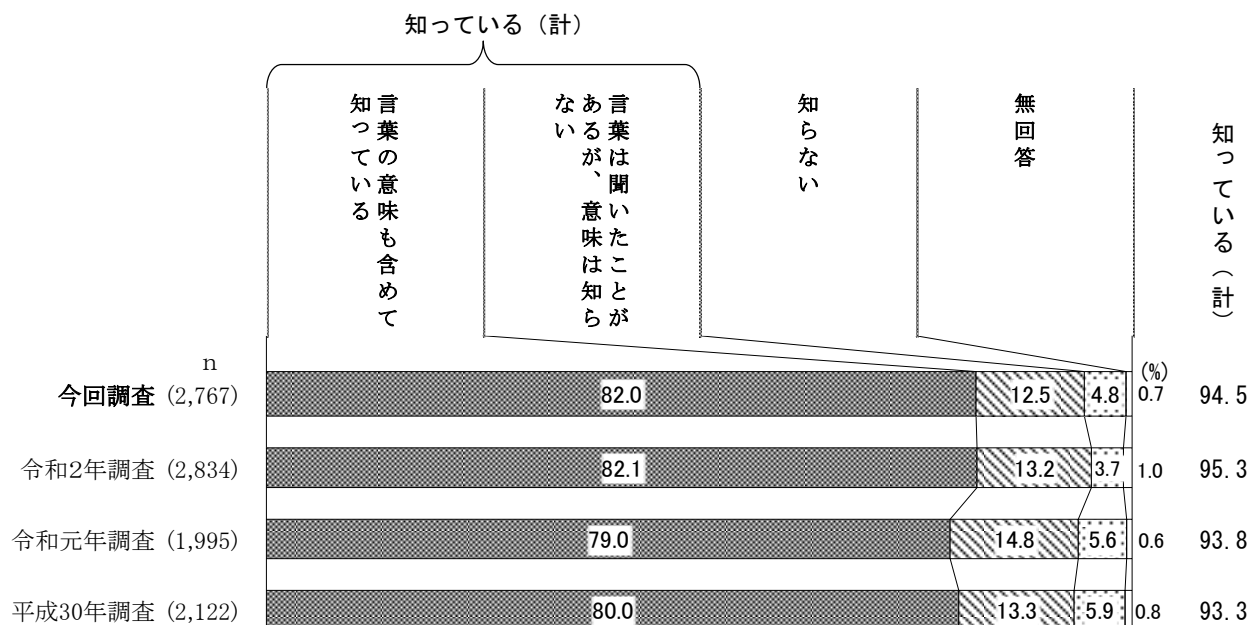
○生物多様性の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	知っている の意味も含めて	言葉は聞いたことがない	知らない	無回答	(%) 知っている (計)
全体	2,767	33.1	37.2	28.7	1.0	70.3
地域別						
南部地域	268	26.5	45.5	26.5	1.5	72.0
南西部地域	259	42.1	30.5	26.6	0.8	72.6
東部地域	410	35.1	35.4	29.3	0.2	70.5
さいたま地域	482	35.7	35.7	27.8	0.8	71.4
県央地域	218	34.4	38.1	27.5	-	72.5
川越比企地域	293	32.4	30.7	36.9	-	63.1
西部地域	299	32.8	40.5	26.1	0.7	73.2
利根地域	245	29.0	41.2	27.8	2.0	70.2
北部地域	203	28.6	38.4	32.0	1.0	67.0
秩父地域	40	22.5	52.5	25.0	-	75.0
性・年代別						
男性／18・19歳	28	71.4	17.9	10.7	-	89.3
20歳代	91	45.1	33.0	22.0	-	78.0
【再掲】10歳代・20歳代	119	51.3	29.4	19.3	-	80.7
30歳代	111	47.7	28.8	22.5	0.9	76.6
40歳代	173	35.3	28.3	36.4	-	63.6
50歳代	226	35.4	35.0	29.2	0.4	70.4
60歳代	215	39.5	38.1	21.9	0.5	77.7
70歳以上	286	33.9	39.5	24.8	1.7	73.4
女性／18・19歳	25	48.0	28.0	24.0	-	76.0
20歳代	137	32.1	39.4	28.5	-	71.5
【再掲】10歳代・20歳代	162	34.6	37.7	27.8	-	72.2
30歳代	205	25.4	43.9	30.7	-	69.3
40歳代	308	23.7	43.5	32.8	-	67.2
50歳代	298	26.5	37.9	35.6	-	64.4
60歳代	255	32.5	36.9	29.8	0.8	69.4
70歳以上	352	34.7	36.4	26.7	2.3	71.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	242	36.8	35.5	27.3	0.4	72.3
雇用者（計）	1,461	31.3	37.0	31.3	0.5	68.2
無職（計）	1,006	35.4	38.0	25.5	1.1	73.4
ライフステージ別						
独身期	327	41.3	36.1	22.6	-	77.4
家族形成期	215	30.7	36.3	32.6	0.5	67.0
家族成長前期	245	30.6	40.4	28.6	0.4	71.0
家族成長後期	232	33.2	38.8	27.6	0.4	72.0
家族成熟期	463	30.9	38.4	29.8	0.9	69.3
高齢期	609	34.6	38.3	25.9	1.1	72.9
その他	676	30.8	34.6	32.7	1.9	65.4

(11-2) 外来生物の認知度

◇『知っている（計）』が94.5%

問13（2） あなたは、「外来生物」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

「外来生物」という言葉の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」（82.0%）が8割強と最も高く、これに「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」（12.5%）を合わせた『知っている（計）』（94.5%）は9割台半ばを占めている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

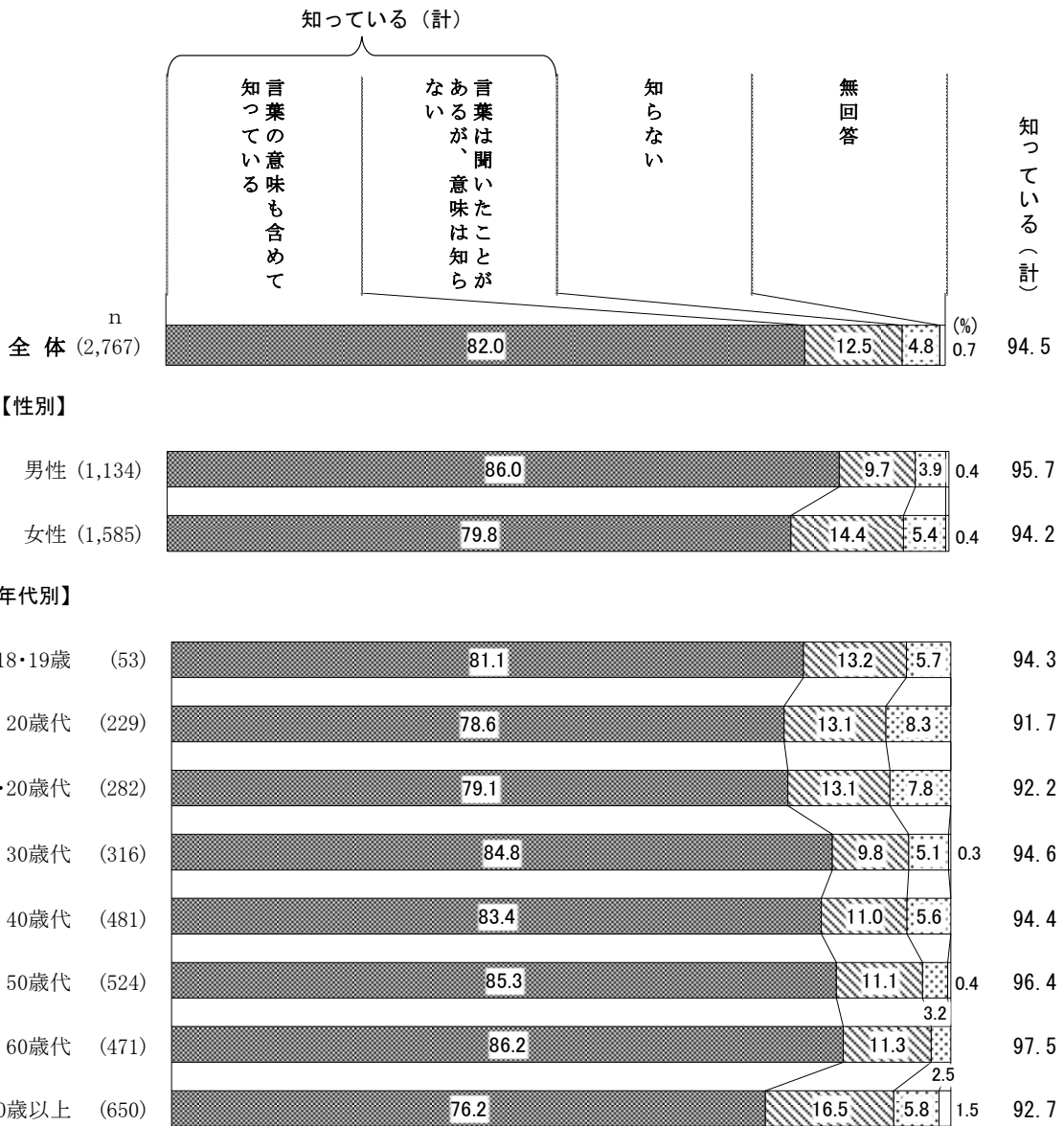
① 性別

『知っている（計）』では回答割合に大きな差はないが、「言葉の意味も含めて知っている」は男性（86.0%）の方が女性（79.8%）よりも6.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は60歳代（97.5%）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。また、「言葉の意味も含めて知っている」でも60歳代（86.2%）が8割台半ばを超えて最も高くなっている。

○外来生物の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は北部地域（96.6%）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は男性60歳代（98.6%）で最も高く、女性10歳代・20歳代（90.7%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』はいずれの職業でもおおむね9割台半ばとなっており、大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は家族成長前期（96.7%）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。

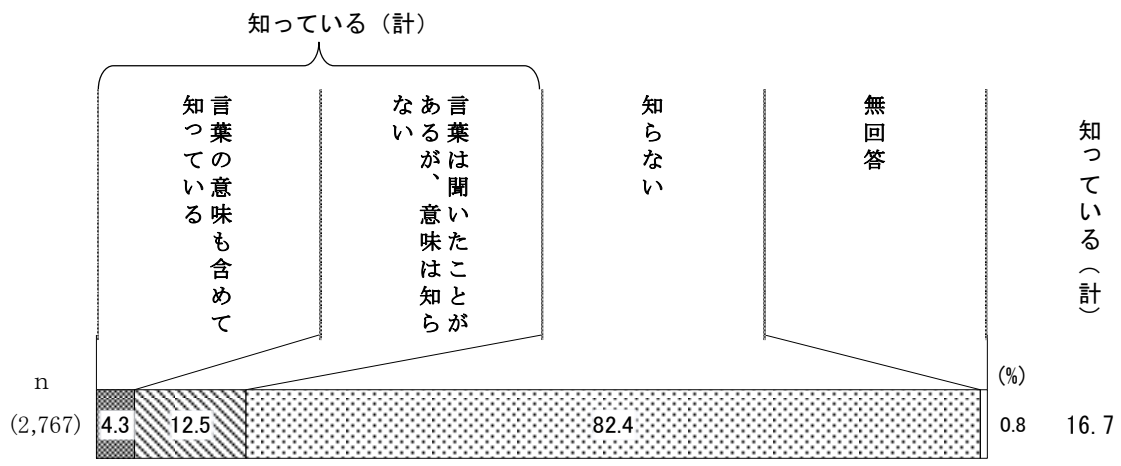
○外来生物の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	言葉の意味も含めて 知っている	言葉の意味は知らないが、聞いたことがある	知らない	無回答	(%) 知っている（計）
全体	2,767	82.0	12.5	4.8	0.7	94.5
地域別						
南部地域	268	82.1	10.4	7.1	0.4	92.5
南西部地域	259	85.7	9.3	4.2	0.8	95.0
東部地域	410	84.4	10.5	4.6	0.5	94.9
さいたま地域	482	84.4	11.8	3.3	0.4	96.3
県央地域	218	78.9	15.6	4.6	0.9	94.5
川越比企地域	293	80.2	11.6	7.8	0.3	91.8
西部地域	299	80.9	14.4	4.3	0.3	95.3
利根地域	245	78.4	17.1	4.1	0.4	95.5
北部地域	203	82.3	14.3	3.4	-	96.6
秩父地域	40	87.5	7.5	5.0	-	95.0
性・年代別						
男性／18・19歳	28	92.9	7.1	-	-	100.0
20歳代	91	82.4	9.9	7.7	-	92.3
【再掲】10歳代・20歳代	119	84.9	9.2	5.9	-	94.1
30歳代	111	90.1	5.4	3.6	0.9	95.5
40歳代	173	85.0	8.7	6.4	-	93.6
50歳代	226	86.7	10.2	2.7	0.4	96.9
60歳代	215	89.8	8.8	1.4	-	98.6
70歳以上	286	81.8	12.6	4.5	1.0	94.4
女性／18・19歳	25	68.0	20.0	12.0	-	88.0
20歳代	137	75.9	15.3	8.8	-	91.2
【再掲】10歳代・20歳代	162	74.7	16.0	9.3	-	90.7
30歳代	205	82.0	12.2	5.9	-	94.1
40歳代	308	82.5	12.3	5.2	-	94.8
50歳代	298	84.2	11.7	3.7	0.3	96.0
60歳代	255	83.1	13.3	3.5	-	96.5
70歳以上	352	72.4	19.6	6.5	1.4	92.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	242	86.0	10.7	3.3	-	96.7
雇用者（計）	1,461	83.7	11.1	5.0	0.2	94.8
無職（計）	1,006	79.7	14.3	5.1	0.9	94.0
ライフステージ別						
独身期	327	81.7	12.2	6.1	-	93.9
家族形成期	215	82.3	11.6	5.6	0.5	94.0
家族成長前期	245	87.3	9.4	3.3	-	96.7
家族成長後期	232	84.5	11.2	4.3	-	95.7
家族成熟期	463	85.3	11.2	3.2	0.2	96.5
高齢期	609	83.7	11.7	3.9	0.7	95.4
その他	676	75.6	16.1	6.5	1.8	91.7

(12-1) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度

◇「知っている（計）」が16.7%、「知らない」が82.4%

問14 「アドバンス・ケア・プランニング」（ACP）についておたずねします。
 (1) あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について、知っていますか。（○は1つだけ）



アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」が4.3%で、これに「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」（12.5%）を合わせた『知っている（計）』（16.7%）は1割台後半となっている。一方、「知らない」（82.4%）は8割強となっている。

【属性別比較】

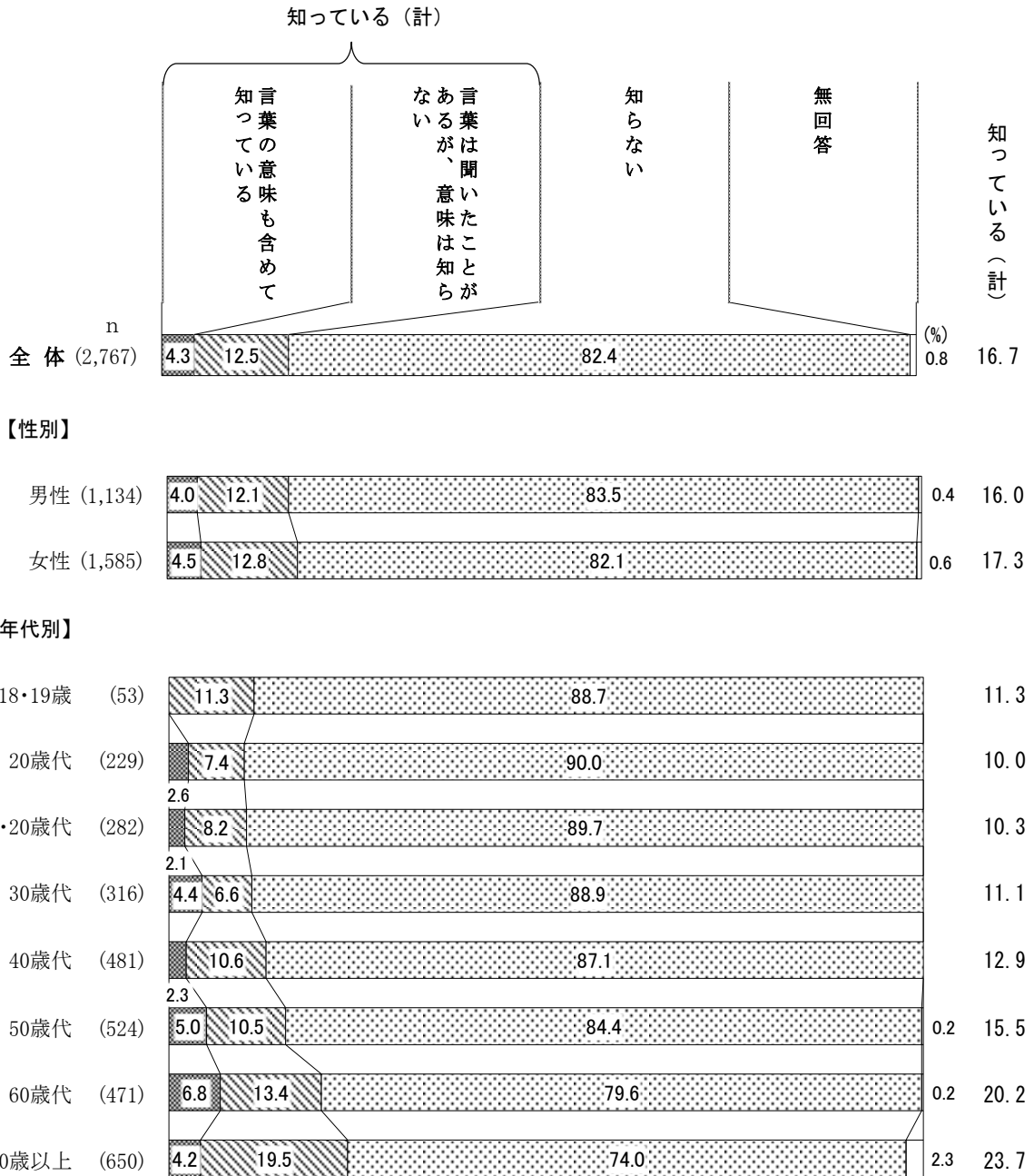
① 性別

『知っている』は女性（17.3%）の方が男性（16.0%）よりも1.3ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は年代が上がるほど割合が高くなり、70歳以上（23.7%）で2割強と最も高くなっている。

○アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は秩父地域（27.5%）で2割台半ばを超えて最も高く、利根地域（14.7%）で1割台半ばと最も低くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は、女性70歳以上（26.4%）で2割台半ばを超えて最も高く、男性10歳代・20歳代（10.1%）で1割台前半と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』は自営業・家族従業（計）（20.7%）で2割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は高齢期（23.6%）で2割強と最も高くなっている。

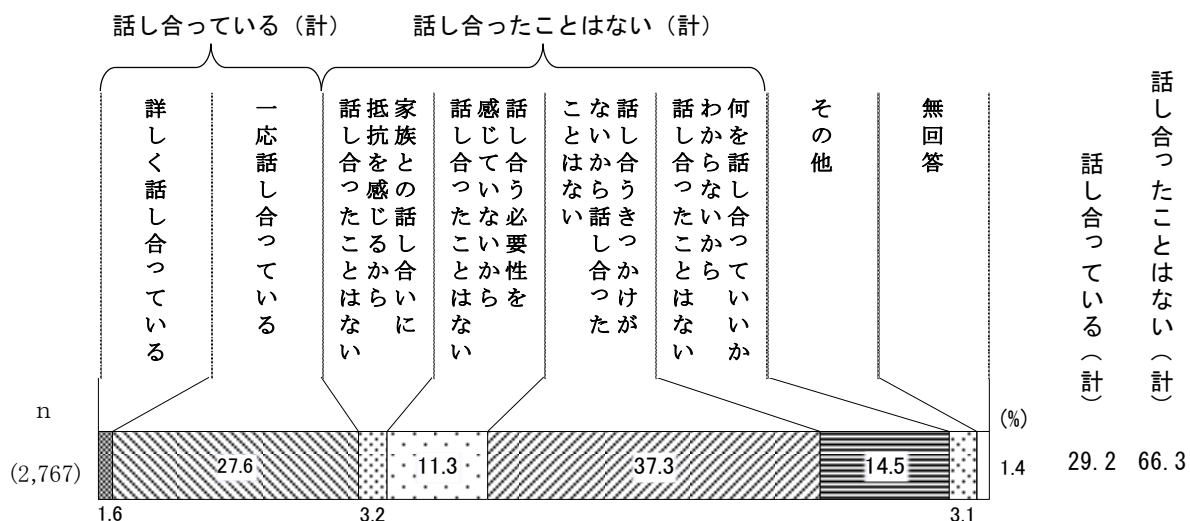
○アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	言葉の意味も含めて知っている	言葉は聞いたことがあ るが、意味は知らない	知らない	無回答	(%) 知っている（計）
全体	2,767	4.3	12.5	82.4	0.8	16.7
地域別						
南部地域	268	5.2	12.3	81.7	0.7	17.5
南西部地域	259	5.0	12.7	81.5	0.8	17.8
東部地域	410	3.7	12.2	83.9	0.2	15.9
さいたま地域	482	4.1	10.8	84.4	0.6	14.9
県央地域	218	2.3	16.1	80.7	0.9	18.3
川越比企地域	293	3.4	11.6	84.3	0.7	15.0
西部地域	299	6.4	12.7	80.3	0.7	19.1
利根地域	245	4.1	10.6	84.9	0.4	14.7
北部地域	203	5.4	11.8	82.3	0.5	17.2
秩父地域	40	-	27.5	72.5	-	27.5
性・年代別						
男性／18・19歳	28	-	7.1	92.9	-	7.1
20歳代	91	1.1	9.9	89.0	-	11.0
【再掲】10歳代・20歳代	119	0.8	9.2	89.9	-	10.1
30歳代	111	6.3	5.4	88.3	-	11.7
40歳代	173	1.2	9.2	89.6	-	10.4
50歳代	226	4.9	11.1	83.6	0.4	15.9
60歳代	215	6.0	14.4	79.5	-	20.5
70歳以上	286	3.8	16.8	78.0	1.4	20.6
女性／18・19歳	25	-	16.0	84.0	-	16.0
20歳代	137	3.6	5.8	90.5	-	9.5
【再掲】10歳代・20歳代	162	3.1	7.4	89.5	-	10.5
30歳代	205	3.4	7.3	89.3	-	10.7
40歳代	308	2.9	11.4	85.7	-	14.3
50歳代	298	5.0	10.1	84.9	-	15.1
60歳代	255	7.5	12.5	79.6	0.4	20.0
70歳以上	352	4.3	22.2	71.0	2.6	26.4
職業別						
自営業・家族従業（計）	242	6.2	14.5	78.1	1.2	20.7
雇用者（計）	1,461	4.2	10.1	85.6	0.2	14.2
無職（計）	1,006	3.9	15.2	79.9	1.0	19.1
ライフステージ別						
独身期	327	2.4	10.4	87.2	-	12.8
家族形成期	215	3.3	3.7	93.0	-	7.0
家族成長前期	245	3.7	8.2	88.2	-	11.8
家族成長後期	232	4.3	11.2	84.5	-	15.5
家族成熟期	463	4.8	11.2	83.6	0.4	16.0
高齢期	609	5.7	17.9	74.9	1.5	23.6
その他	676	4.0	14.2	80.0	1.8	18.2

(12-2) 人生の最終段階において受たい医療・療養について家族や医療介護関係者と話し合った経験

◇『話し合っている(計)』は29.2%

問14(2) あなたは人生の最終段階において、受たい医療・療養や受たくない医療・療養について、御家族や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。
 (〇は1つだけ)



人生の最終段階において受たい医療・療養や受たくない医療・療養について、御家族や医療介護関係者と話し合った経験は、「詳しく話し合っている」が1.6%となっており、「一応話し合っている」(27.6%)を合わせた『話し合っている(計)』(29.2%)は約3割となっている。一方で、『話し合ったことはない(計)』(66.3%)は6割台半ばを超えており、そのうち、「話し合うきっかけがないから話し合ったことはない」(37.3%)が3割台半ばを超えて最も高くなっている。

【属性別比較】

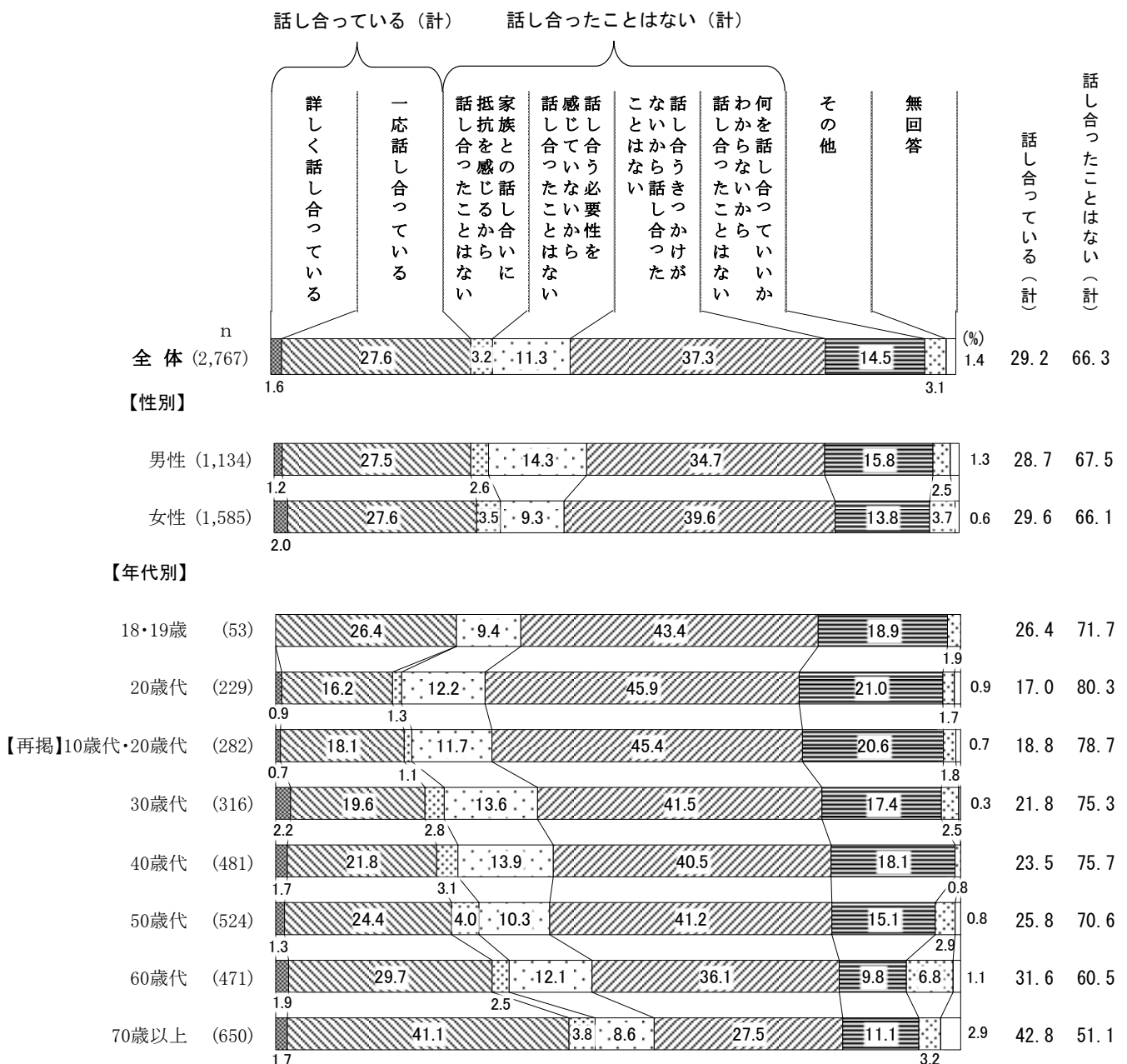
① 性別

『話し合っている（計）』と『話し合ったことはない（計）』の割合については回答割合に特に大きな差はみられないが、「話し合う必要性を感じていないから話し合ったことはない」は男性（14.3%）の方が女性（9.3%）よりも5.0ポイント高くなっている。

② 年代別

『話し合っている（計）』は年代が上がるほど高くなっており、70歳以上（42.8%）で4割強と最も高くなっている。

○人生の最終段階において受けた医療・療養について家族や医療介護関係者と話し合った経験・性別／年代別



③ 地域別

『話し合っている（計）』は南部地域（35.4%）で3割台半ばと最も高く、秩父地域（15.0%）で1割台半ばと最も低くなっている。

④ 性・年代別

『話し合っている（計）』は、女性70歳以上（48.3%）で5割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『話し合っている（計）』は自営業・家族従業（36.8%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『話し合っている（計）』は高齢期（42.5%）で4割強と最も高くなっている。

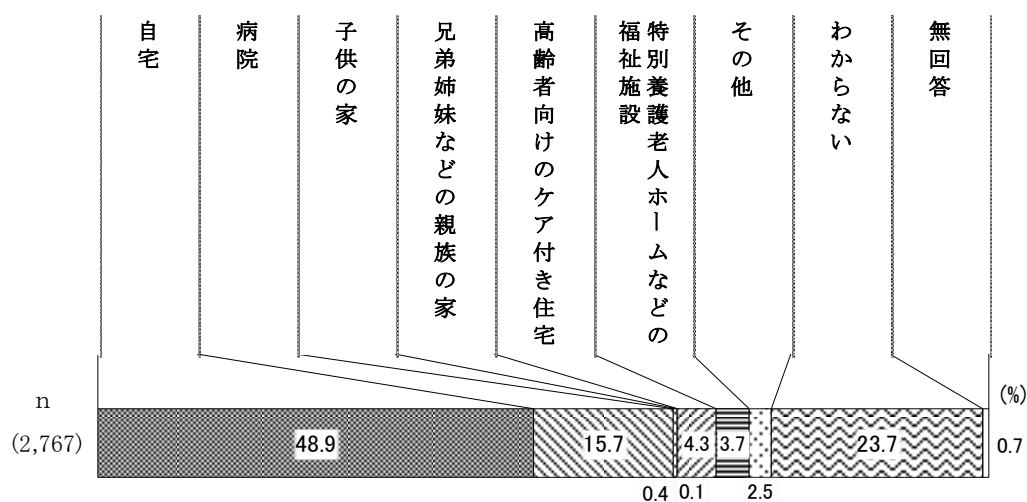
○人生の最終段階において受たい医療・療養について家族や医療介護関係者と話し合った経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	詳しく話し合っている	一応話し合っている	抗った感じはない話しに抵抗	家族との話し合いに抵抗	たてこもりはない話し合	話し合おうから必要性を感じ	はいから話し合おうか	話し合おうか	何を話さないか	何を話さないか	その他	無回答	(%) 話し合っている (計)	(%) 話し合ったことはない (計)
全体	2,767	1.6	27.6	3.2	11.3	37.3	14.5	3.1	1.4					29.2	66.3
地域別															
南部地域	268	1.9	33.6	2.2	10.1	34.0	15.7	1.5	1.1					35.4	61.9
南西部地域	259	1.9	25.5	1.9	13.1	37.1	17.0	2.3	1.2					27.4	69.1
東部地域	410	0.7	26.6	2.7	10.2	38.0	14.6	5.4	1.7					27.3	65.6
さいたま地域	482	1.7	26.6	4.4	12.7	37.1	14.1	2.1	1.5					28.2	68.3
県央地域	218	0.9	22.0	4.1	13.3	40.8	15.1	2.8	0.9					22.9	73.4
川越比企地域	293	2.4	23.5	3.4	11.6	38.2	14.7	5.5	0.7					25.9	67.9
西部地域	299	2.7	31.8	2.0	9.0	38.1	12.7	2.7	1.0					34.4	61.9
利根地域	245	1.6	31.0	3.3	11.4	35.1	13.1	2.9	1.6					32.7	62.9
北部地域	203	1.5	27.1	2.5	12.3	40.4	13.3	3.0	-					28.6	68.5
秩父地域	40	-	15.0	7.5	7.5	45.0	22.5	2.5	-					15.0	82.5
性・年代別															
男性／18・19歳	28	-	35.7	-	14.3	32.1	14.3	3.6	-					35.7	60.7
20歳代	91	-	17.6	2.2	11.0	40.7	23.1	3.3	2.2					17.6	76.9
【再掲】10歳代・20歳代	119	-	21.8	1.7	11.8	38.7	21.0	3.4	1.7					21.8	73.1
30歳代	111	1.8	20.7	1.8	22.5	36.0	16.2	0.9	-					22.5	76.6
40歳代	173	2.3	23.7	2.3	13.9	36.4	21.4	-	-					26.0	74.0
50歳代	226	0.9	24.8	3.1	15.5	35.4	17.7	1.8	0.9					25.7	71.7
60歳代	215	1.4	28.8	2.3	14.0	35.3	11.2	5.6	1.4					30.2	62.8
70歳以上	286	0.7	36.4	3.5	11.9	30.4	11.9	2.4	2.8					37.1	57.7
女性／18・19歳	25	-	16.0	-	4.0	56.0	24.0	-	-					16.0	84.0
20歳代	137	1.5	15.3	0.7	13.1	48.9	19.7	0.7	-					16.8	82.5
【再掲】10歳代・20歳代	162	1.2	15.4	0.6	11.7	50.0	20.4	0.6	-					16.7	82.7
30歳代	205	2.4	19.0	3.4	8.8	44.4	18.0	3.4	0.5					21.5	74.6
40歳代	308	1.3	20.8	3.6	14.0	42.9	16.2	1.3	-					22.1	76.6
50歳代	298	1.7	24.2	4.7	6.4	45.6	13.1	3.7	0.7					25.8	69.8
60歳代	255	2.4	30.2	2.7	10.6	36.9	8.6	7.8	0.8					32.5	58.8
70歳以上	352	2.6	45.7	4.3	6.0	25.6	10.5	4.0	1.4					48.3	46.3
職業別															
自営業・家族従業（計）	242	2.1	34.7	3.3	12.0	30.2	13.2	4.1	0.4					36.8	58.7
雇用者（計）	1,461	1.6	22.7	3.1	11.8	42.2	15.1	2.8	0.6					24.3	72.3
無職（計）	1,006	1.7	32.6	3.1	10.5	33.0	14.0	3.4	1.7					34.3	60.6
ライフステージ別															
独身期	327	0.9	20.5	1.8	11.9	43.1	18.7	2.4	0.6					21.4	75.5
家族形成期	215	2.3	13.0	1.4	13.5	49.8	18.1	1.9	-					15.3	82.8
家族成長前期	245	1.2	19.6	2.4	10.6	46.5	16.7	2.0	0.8					20.8	76.3
家族成長後期	232	2.2	28.0	6.5	13.8	31.5	16.8	0.4	0.9					30.2	68.5
家族成熟期	463	1.5	26.8	3.5	12.3	43.0	9.5	3.2	0.2					28.3	68.3
高齢期	609	2.1	40.4	3.3	9.4	30.9	9.9	3.1	1.0					42.5	53.4
その他	676	1.3	27.4	3.3	10.7	31.1	17.5	5.2	3.7					28.7	62.4

(12-3) 人生の最期を迎えたい場所

◇「自宅」が48.9%

問14 (3) あなたが人生の最期を迎えたい場所はどこですか。(〇は1つだけ)



人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」(48.9%)が5割弱と最も高く、次いで「病院」(15.7%)が1割台半ばとなっている。一方で、「わからない」(23.7%)が2割強となっている。

【属性別比較】

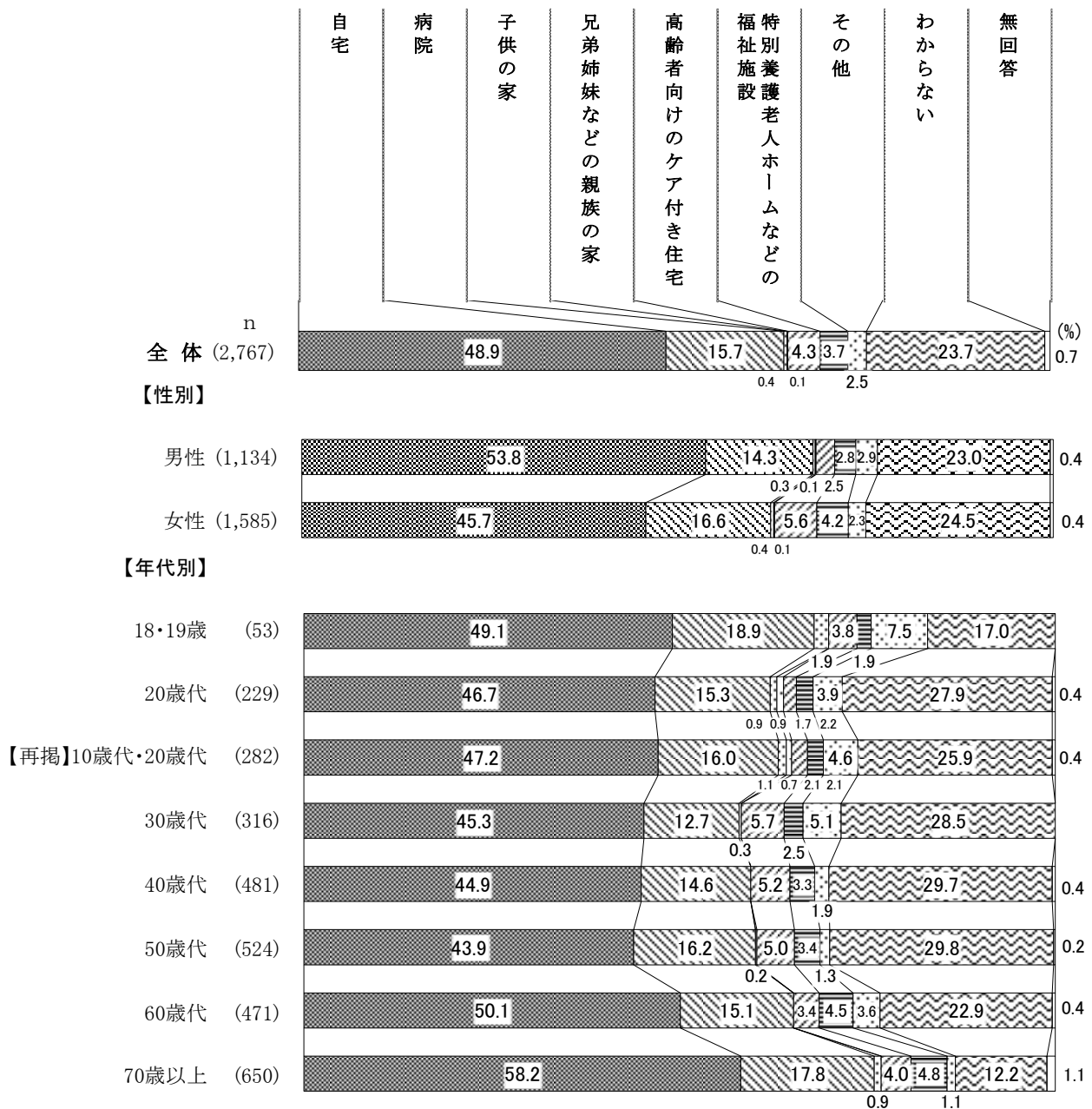
① 性別

「自宅」は男性（53.8%）の方が女性（45.7%）よりも8.1ポイント高くなっている。

② 年代別

「自宅」は70歳以上（58.2%）で6割弱と最も高く、50歳代（43.9%）で4割強と最も低くなっている。

○人生の最期を迎えたい場所・性別／年代別



③ 地域別

「自宅」は北部地域（53.2%）で5割強と最も高く、県央地域（39.9%）で約4割と最も低くなっている。一方で、「わからない」は秩父地域（32.5%）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「自宅」は男性70歳以上（64.0%）で6割台半ばと最も高く、女性50歳代（37.9%）で3割台後半と最も低くなっている。

⑤ 職業別

「自宅」は無職（52.5%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「自宅」は高齢期（55.7%）で5割台半ばと最も高く、それ以外の層では4割台となっている。「わからない」は家族成長後期（28.9%）で3割弱と最も高くなっている。

○人生の最期を迎えたい場所・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

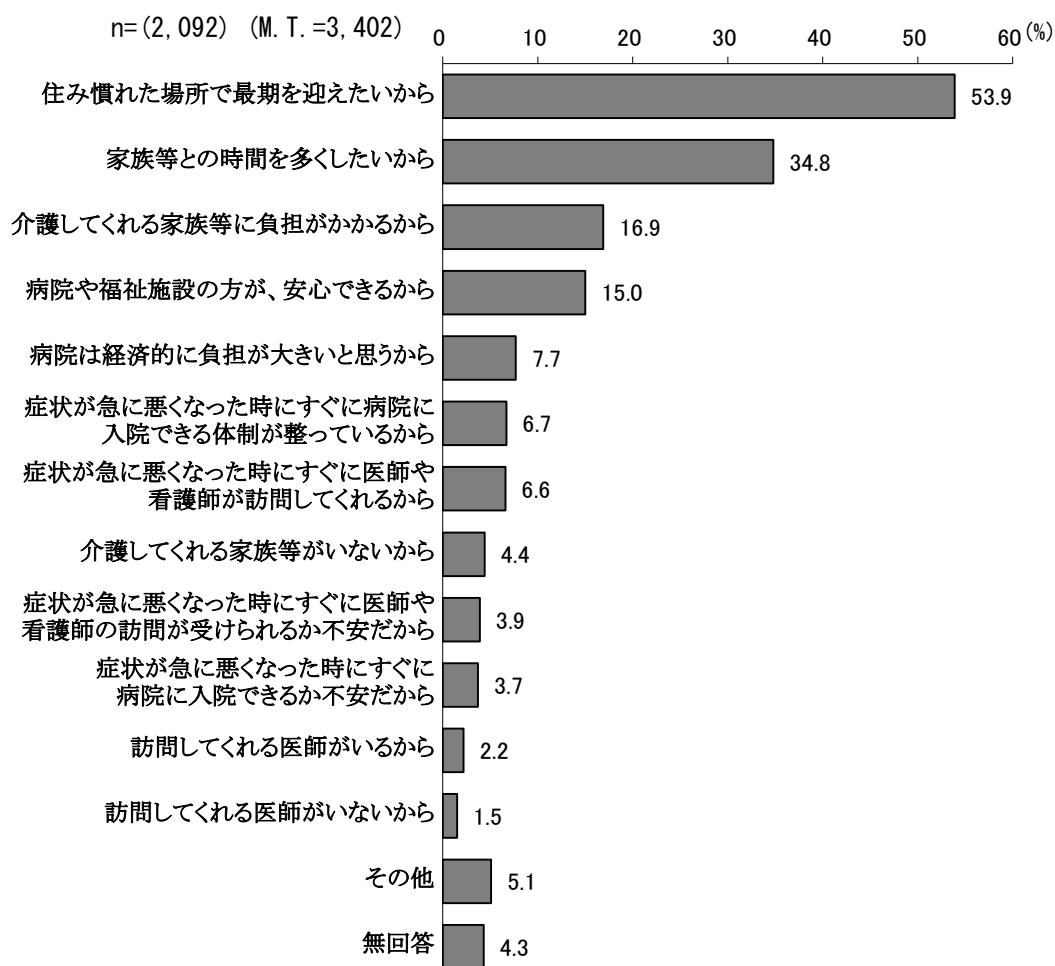
	調査数	自宅	病院	子供の家	兄弟姉妹などの親族の家	高齢者向けのケア付き住宅	福祉施設 特別養護老人ホームなどの	その他	わからない	無回答
	n									
全体	2,767	48.9	15.7	0.4	0.1	4.3	3.7	2.5	23.7	0.7
地域別										
南部地域	268	51.5	11.9	-	0.4	7.8	1.9	2.2	23.5	0.7
南西部地域	259	48.6	16.2	-	0.4	2.3	3.9	2.7	25.5	0.4
東部地域	410	49.8	15.9	0.7	-	2.9	3.9	2.7	23.9	0.2
さいたま地域	482	50.2	14.7	0.2	0.2	4.4	3.5	2.3	24.3	0.2
県央地域	218	39.9	19.3	0.9	-	4.1	4.6	2.3	28.9	-
川越比企地域	293	50.2	17.7	0.7	-	3.8	3.4	3.4	20.8	-
西部地域	299	45.8	16.1	-	-	6.0	3.0	3.0	24.1	2.0
利根地域	245	49.8	17.1	0.4	-	2.9	6.1	2.9	20.0	0.8
北部地域	203	53.2	14.3	0.5	-	3.9	3.0	1.5	23.6	-
秩父地域	40	42.5	12.5	-	-	7.5	2.5	2.5	32.5	-
性・年代別										
男性／18・19歳	28	35.7	21.4	3.6	-	3.6	3.6	7.1	25.0	-
20歳代	91	41.8	16.5	1.1	1.1	2.2	-	5.5	30.8	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	119	40.3	17.6	1.7	0.8	2.5	0.8	5.9	29.4	0.8
30歳代	111	49.5	12.6	-	-	3.6	1.8	6.3	26.1	-
40歳代	173	47.4	15.0	-	-	2.3	2.3	3.5	28.9	0.6
50歳代	226	51.8	13.7	-	-	1.8	4.0	0.9	27.4	0.4
60歳代	215	57.7	10.7	-	-	3.3	3.7	2.8	21.9	-
70歳以上	286	64.0	16.1	0.3	-	2.1	2.8	1.4	12.9	0.3
女性／18・19歳	25	64.0	16.0	-	-	4.0	-	8.0	8.0	-
20歳代	137	50.4	13.9	0.7	0.7	1.5	3.6	2.9	26.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	162	52.5	14.2	0.6	0.6	1.9	3.1	3.7	23.5	-
30歳代	205	42.9	12.7	0.5	-	6.8	2.9	4.4	29.8	-
40歳代	308	43.5	14.3	-	-	6.8	3.9	1.0	30.2	0.3
50歳代	298	37.9	18.1	-	0.3	7.4	3.0	1.7	31.5	-
60歳代	255	43.9	18.4	-	-	3.5	5.1	4.3	23.9	0.8
70歳以上	352	54.0	19.6	1.4	-	5.7	6.3	0.9	11.1	1.1
職業別										
自営業・家族従業（計）	242	50.4	12.8	-	0.4	2.9	5.0	5.0	23.6	-
雇用者（計）	1,461	46.3	15.4	0.1	0.1	4.8	3.4	2.4	27.1	0.3
無職（計）	1,006	52.5	16.8	0.8	-	3.8	3.7	2.2	19.4	0.9
ライフステージ別										
独身期	327	45.6	15.0	0.9	0.3	4.0	3.1	4.3	26.6	0.3
家族形成期	215	46.5	13.0	-	0.5	4.7	2.8	4.7	27.4	0.5
家族成長前期	245	49.8	15.5	0.4	-	3.3	2.0	4.1	24.9	-
家族成長後期	232	47.0	15.9	-	-	3.0	3.4	0.9	28.9	0.9
家族成熟期	463	49.0	17.3	0.2	-	4.1	4.1	1.7	23.1	0.4
高齢期	609	55.7	19.4	0.8	-	3.1	3.6	2.6	14.1	0.7
その他	676	45.4	12.6	-	0.1	6.5	4.6	1.5	28.1	1.2

(12-4) 人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由

◇「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」が53.9%

問14(4) 問14(3)について、その場所を選んだ理由は何ですか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

<全体>

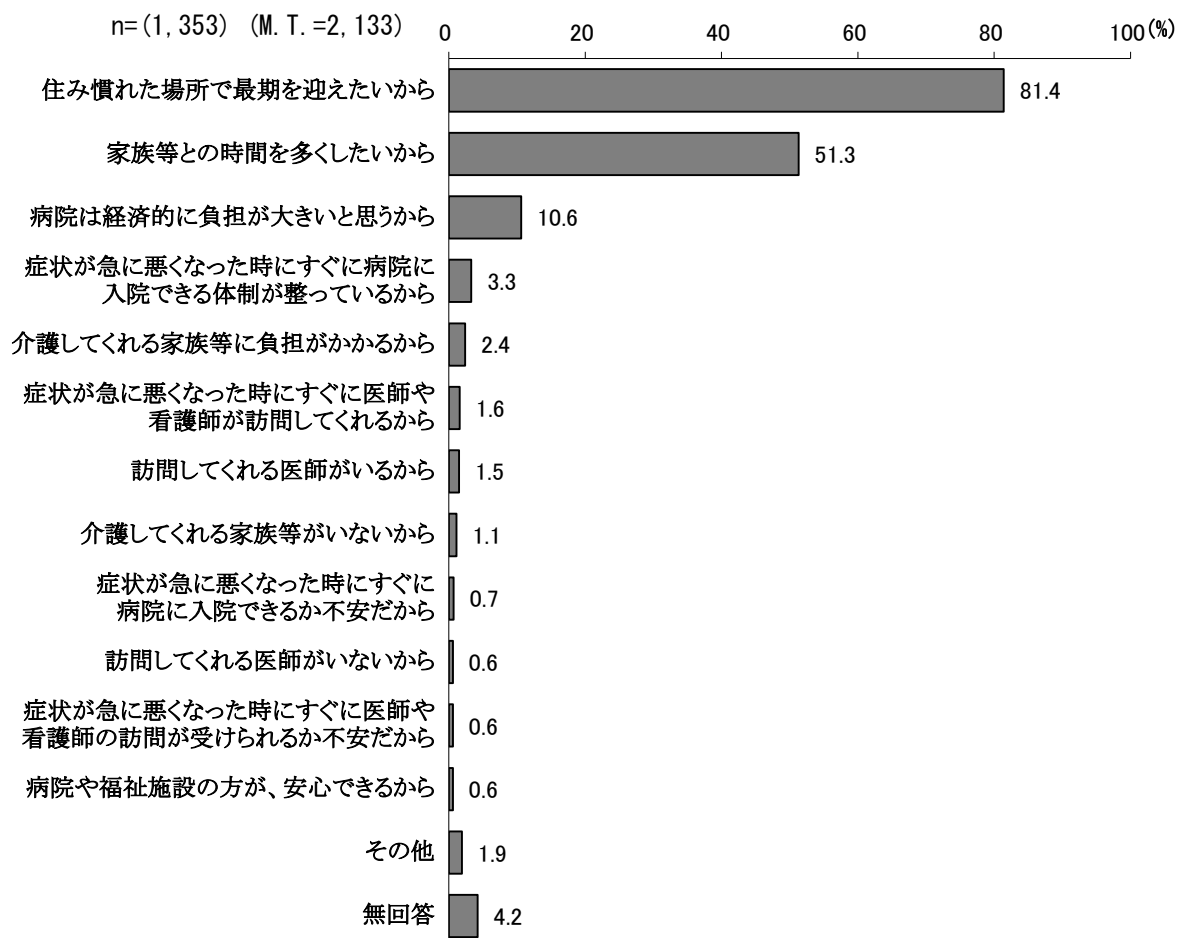


人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」(53.9%)が5割強で最も高く、次いで「家族等との時間を多くしたいから」(34.8%)、「介護してくれる家族等に負担がかかるから」(16.9%)、「病院や福祉施設の方が、安心できるから」(15.0%)などとなっている。

※本設問は、実際には、問14(3)で回答いただいた場所について、その場所を選ばれた理由を伺っている。したがって、回答割合の多かった「自宅」、「病院」、「高齢者向けのケア付き住宅」の3つのそれぞれの場所ごとに選ばれた理由を次ページ以降にまとめた。

○人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由・人生の最期を迎えたい場所別

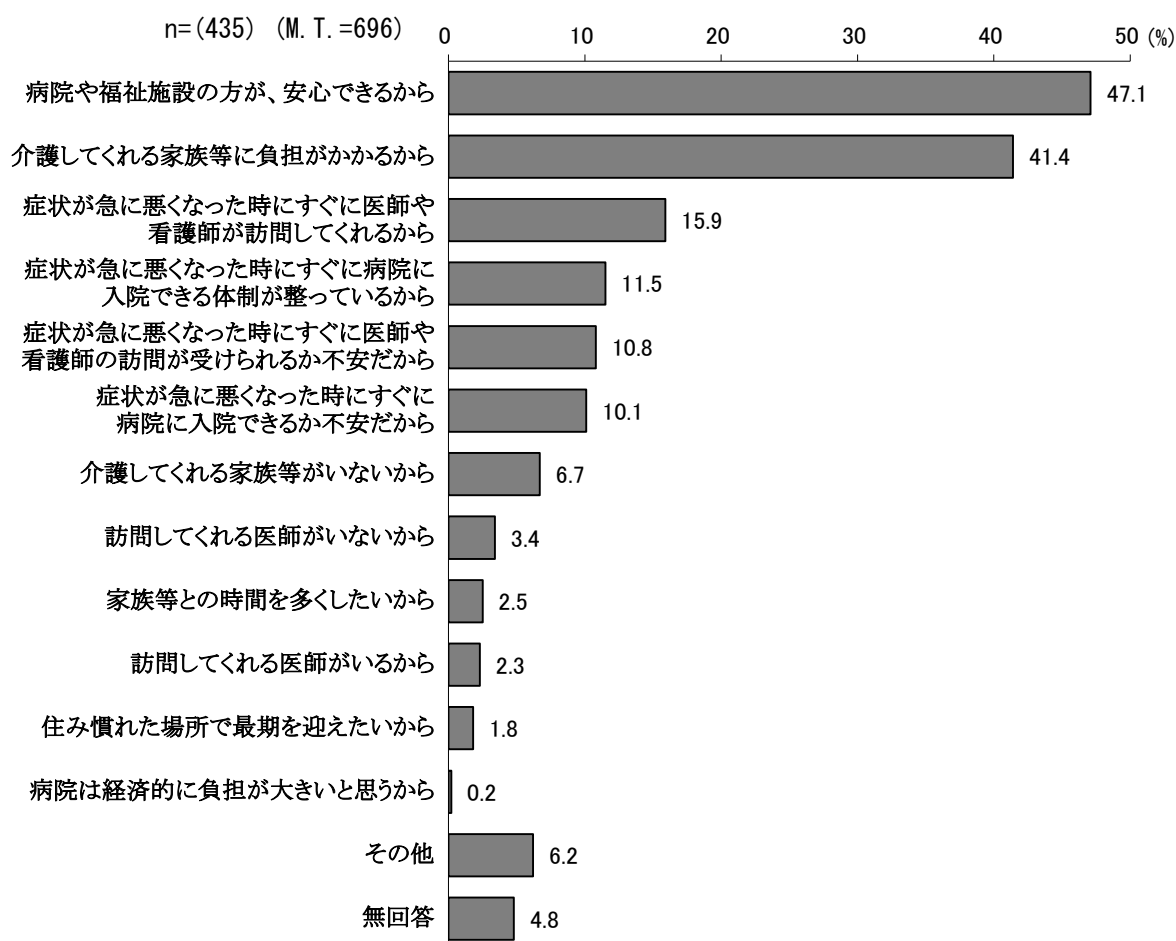
① 自宅



人生の最期を迎えたい場所として「自宅」を選んだ理由は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」(81.4%)が8割強で最も高く、次いで「家族等との時間を多くしたいから」(51.3%)、「病院は経済的に負担が大きいと思うから」(10.6%)などとなっている。

○人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由・人生の最期を迎えたい場所別

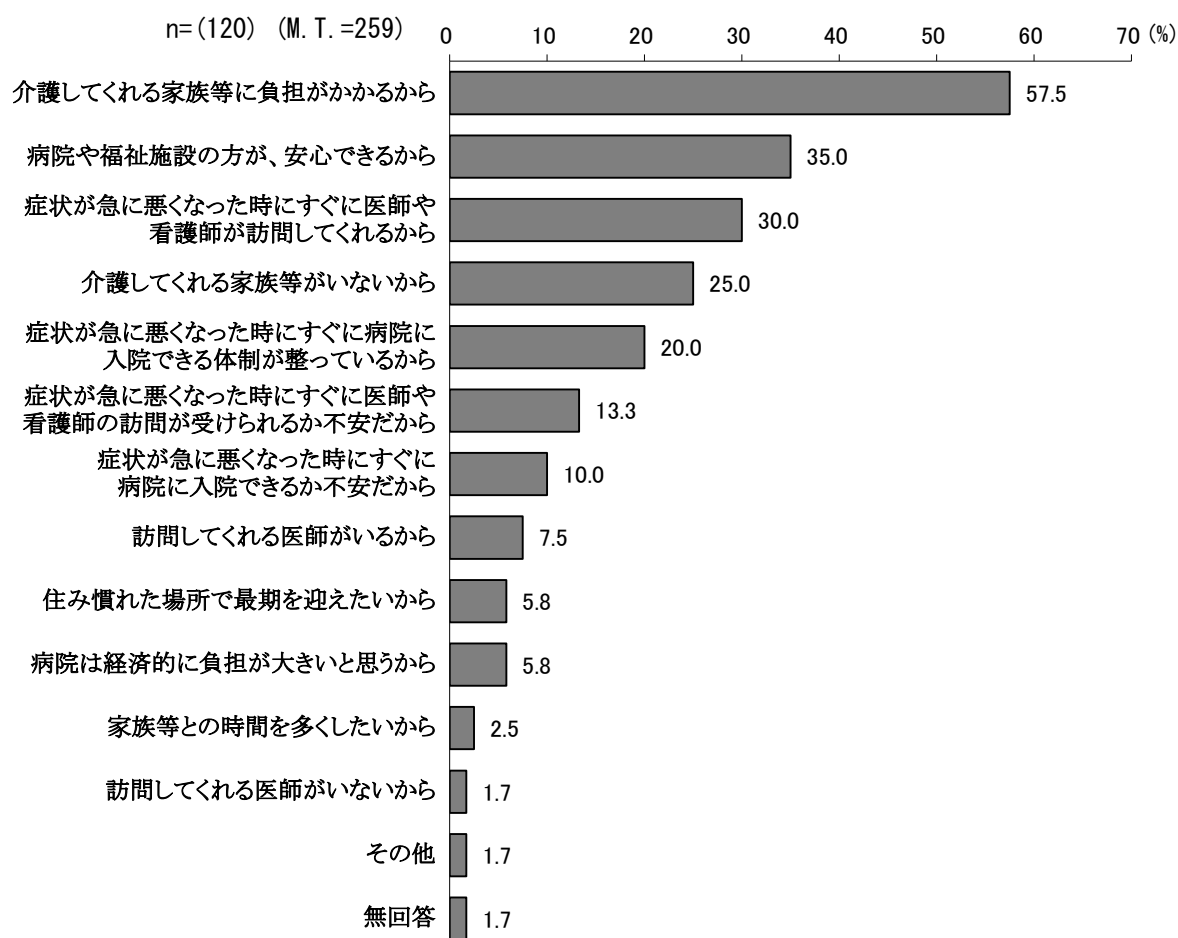
② 病院



人生の最期を迎えたい場所として「病院」を選んだ理由は、「病院や福祉施設の方が、安心できるから」(47.1%)で4割台半ばを超えて最も高く、次いで「介護してくれる家族等に負担がかかるから」(41.4%)、「症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから」(15.9%)、「症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できる体制が整っているから」(11.5%)などとなっている。

○人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由・人生の最期を迎えたい場所別

③ 高齢者向けのケア付き住宅



人生の最期を迎えたい場所として「高齢者向けのケア付き住宅」を選んだ理由は、「介護してくれる家族等に負担がかかるから」（57.5%）が5割台半ばを超えて最も高く、次いで「病院や福祉施設の方が、安心できるから」（35.0%）、「症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから」（30.0%）、「介護してくれる家族等がないから」（25.0%）、「症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できる体制が整っているから」（20.0%）などとなっている。

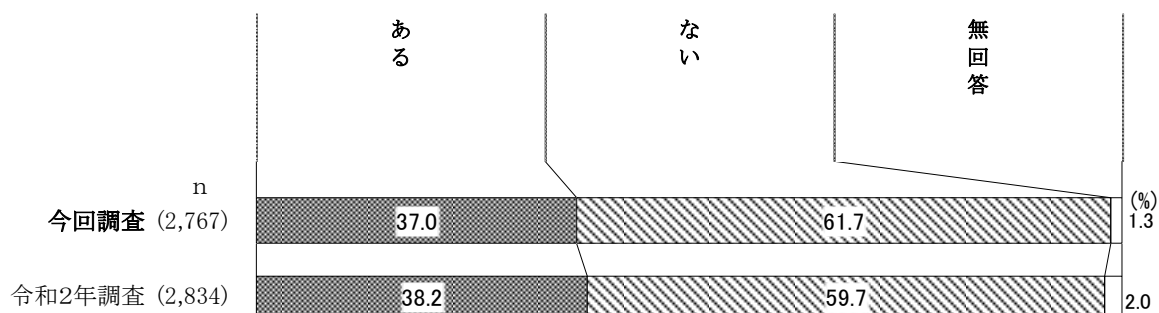
(13) 「生涯学習活動」の経験

◇「ある」は37.0%、「ない」は61.7%

問15 あなたは、この1年くらいの間に「生涯学習活動」をしたことがありますか。
 (〇は1つだけ)
 (クラブ・サークル活動、体験教室、習い事などのほか、個人で行う活動も含まれます。)

※生涯学習活動とは、例えば以下のような分野での活動です。

- ・教養的なもの(文学、歴史、語学など)
- ・芸術・文化に関するもの
- ・ボランティアに関するもの
- ・育児・教育に関するもの
- ・就職や転職のために必要な知識・技能
- ・スポーツ・健康に関するもの(各種スポーツ、健康法など)
- ・趣味に関するもの(映画・音楽等の鑑賞、スポーツ観戦、読書など)
- ・家庭生活に関するもの(料理、編み物、園芸など)
- ・学校の正規課程での学習(学校、大学等での講義・調査・研究など)
- ・社会問題に関するもの
- ・パソコン・インターネットに関するもの
- ・自然体験や生活体験に関するもの
- ・大学や高等学校等の公開講座等での学習
- ・職業において必要な知識・技能



過去1年間の生涯学習活動経験は、「ある」(37.0%)が3割台半ばを超え、「ない」(61.7%)が6割強となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて「ある」は1.2ポイント減少し、「ない」は2.0ポイント増加している。

【属性別比較】

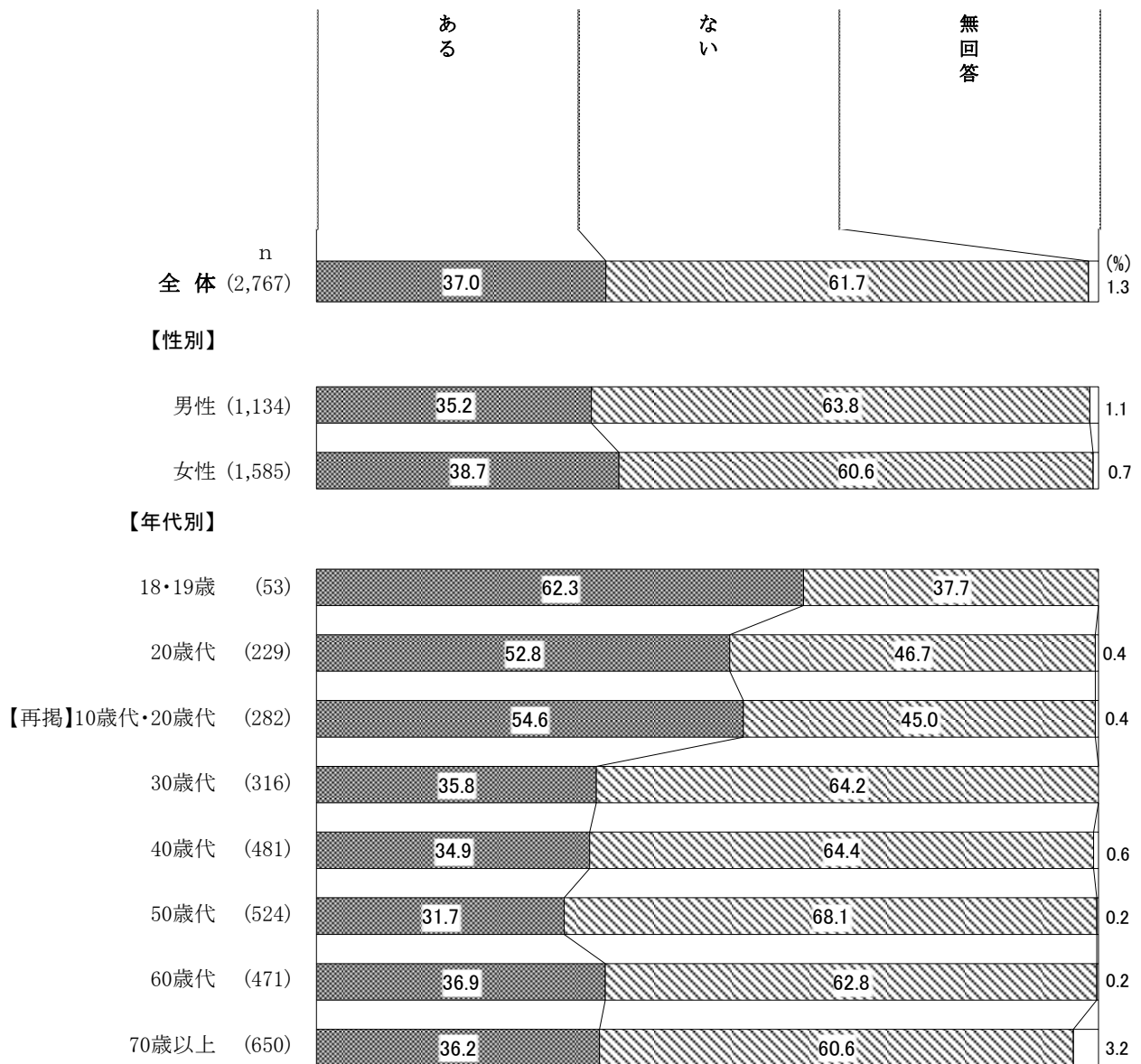
① 性別

「ある」は女性（38.7%）の方が男性（35.2%）よりも3.5ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は10歳代・20歳代（54.6%）が5割台半ばで最も高く、50歳代（31.7%）で3割台前半と最も低くなっている。

○ 「生涯学習活動」の経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は県央地域（42.7%）と秩父地域（42.5%）で4割強と高く、利根地域（30.6%）で3割前半と最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は男性10歳代・20歳代（56.3%）で5割台半ばを超えて最も高く、男性50歳代（28.3%）で3割弱と最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は無職（計）（40.3%）で4割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は独身期（54.4%）で5割台半ばと最も高くなっている。

○ 「生涯学習活動」の経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

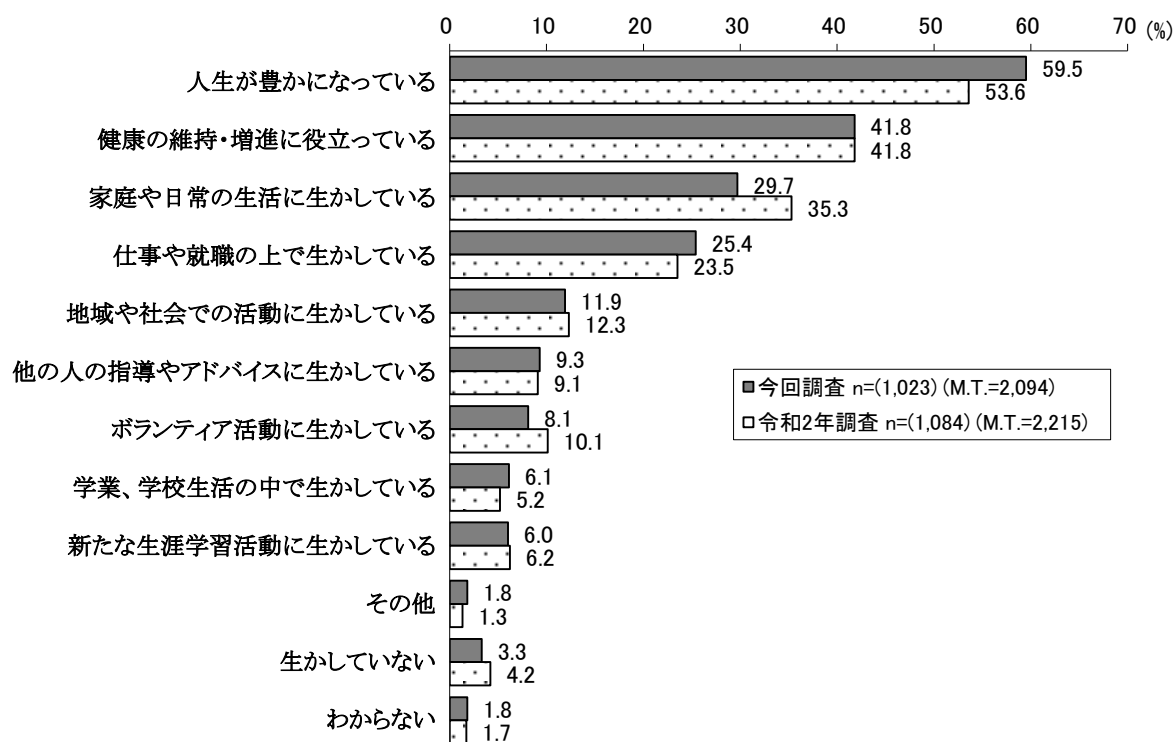
	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	2,767	37.0	61.7	1.3
地域別				
南部地域	268	34.7	63.1	2.2
南西部地域	259	34.7	64.5	0.8
東部地域	410	36.8	62.2	1.0
さいたま地域	482	37.6	61.6	0.8
県央地域	218	42.7	56.4	0.9
川越比企地域	293	37.2	61.8	1.0
西部地域	299	39.5	59.9	0.7
利根地域	245	30.6	68.6	0.8
北部地域	203	40.4	59.1	0.5
秩父地域	40	42.5	57.5	-
性・年代別				
男性／18・19歳	28	64.3	35.7	-
20歳代	91	53.8	46.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	56.3	43.7	-
30歳代	111	40.5	59.5	-
40歳代	173	32.9	65.3	1.7
50歳代	226	28.3	71.2	0.4
60歳代	215	31.6	68.4	-
70歳以上	286	33.2	64.0	2.8
女性／18・19歳	25	60.0	40.0	-
20歳代	137	52.6	46.7	0.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	53.7	45.7	0.6
30歳代	205	33.2	66.8	-
40歳代	308	36.0	64.0	-
50歳代	298	34.2	65.8	-
60歳代	255	41.6	58.0	0.4
70歳以上	352	39.2	58.2	2.6
職業別				
自営業・家族従業（計）	242	32.6	66.9	0.4
雇用者（計）	1,461	35.9	63.7	0.4
無職（計）	1,006	40.3	58.3	1.5
ライフステージ別				
独身期	327	54.4	45.3	0.3
家族形成期	215	34.4	65.6	-
家族成長前期	245	33.9	65.7	0.4
家族成長後期	232	32.3	66.8	0.9
家族成熟期	463	36.5	63.5	-
高齢期	609	39.2	59.6	1.1
その他	676	30.3	66.0	3.7

(13-1) 生かしている知識・技能・経験

◇「人生が豊かになっている」が59.5%、「健康の維持・増進に役立っている」が41.8%

(問15で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。)

問15-1 あなたは、これまでの「生涯学習活動」で学んだ知識や技能、経験等をどのように生かしていますか。あてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)



生涯学習活動で学んだ知識や技能・経験等をどのように生かしているかについては、「人生が豊かになっている」(59.5%)が約6割で最も高く、次いで、「健康の維持・増進に役立っている」(41.8%)、「家庭や日常生活に生かしている」(29.7%)、「仕事や就職の上で生かしている」(25.4%)などとなっている。一方で、「生かしていない」は3.3%とわずかになっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、「人生が豊かになっている」が5.9ポイント増加している。一方で「家庭や日常生活に生かしている」が5.6ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「人生が豊かになっている」は東部地域（64.9%）と利根地域（64.0%）で6割台半ばと高く、「健康の維持・増進に役立っている」は西部地域（54.2%）と北部地域（50.0%）で5割台、「家庭や日常の生活に生かしている」は西部地域（35.6%）と北部地域（35.4%）で3割台半ばと高くなっている。

※秩父地域（n=17）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「人生が豊かになっている」は女性（62.5%）の方が男性（54.6%）よりも7.9ポイント高く、「家庭や日常の生活に生かしている」も女性（31.8%）の方が男性（26.6%）よりも5.2ポイント高くなっている。一方、「地域や社会での活動に生かしている」は男性（15.3%）の方が女性（9.4%）よりも5.9ポイント高く、「仕事や就職の上で生かしている」も男性（27.8%）の方が女性（23.9%）よりも3.9ポイント高くなっている。

③ 年代別

「人生が豊かになっている」は70歳以上（68.9%）で7割弱と最も高くなっている。「健康の維持・増進に役立っている」は70歳以上（59.6%）で約6割、60歳代（58.0%）で6割弱となっており、50歳代以下の3割前後に比べて割合に大きな差がある。「仕事や就職の上で生かしている」は10歳代・20歳代（39.0%）で約4割と最も高く、年代が上がるほど割合が低くなっている。

④ 性・年代別

「人生が豊かになっている」は女性70歳以上（75.4%）が7割台半ばと最も高く、男性50歳代（48.4%）で5割弱と最も低くなっている。「健康の維持・増進に役立っている」は女性60歳代（64.2%）で6割台半ばと最も高く、女性30歳代（22.1%）で2割強と最も低くなっている。

⑤ 職業別

「人生が豊かになっている」と「健康の維持・増進に役立っている」は無職（計）（63.5%・51.1%）で最も高く、「仕事や就職の上で生かしている」は雇用者（計）（39.5%）で約4割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「人生が豊かになっている」と「健康の維持・増進に役立っている」は高齢期で6割台と高く、「家庭や日常の生活に生かしている」と「仕事や就職の上で生かしている」は家族形成期で4割前後と高くなっている。

○生かしている知識・技能・経験・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

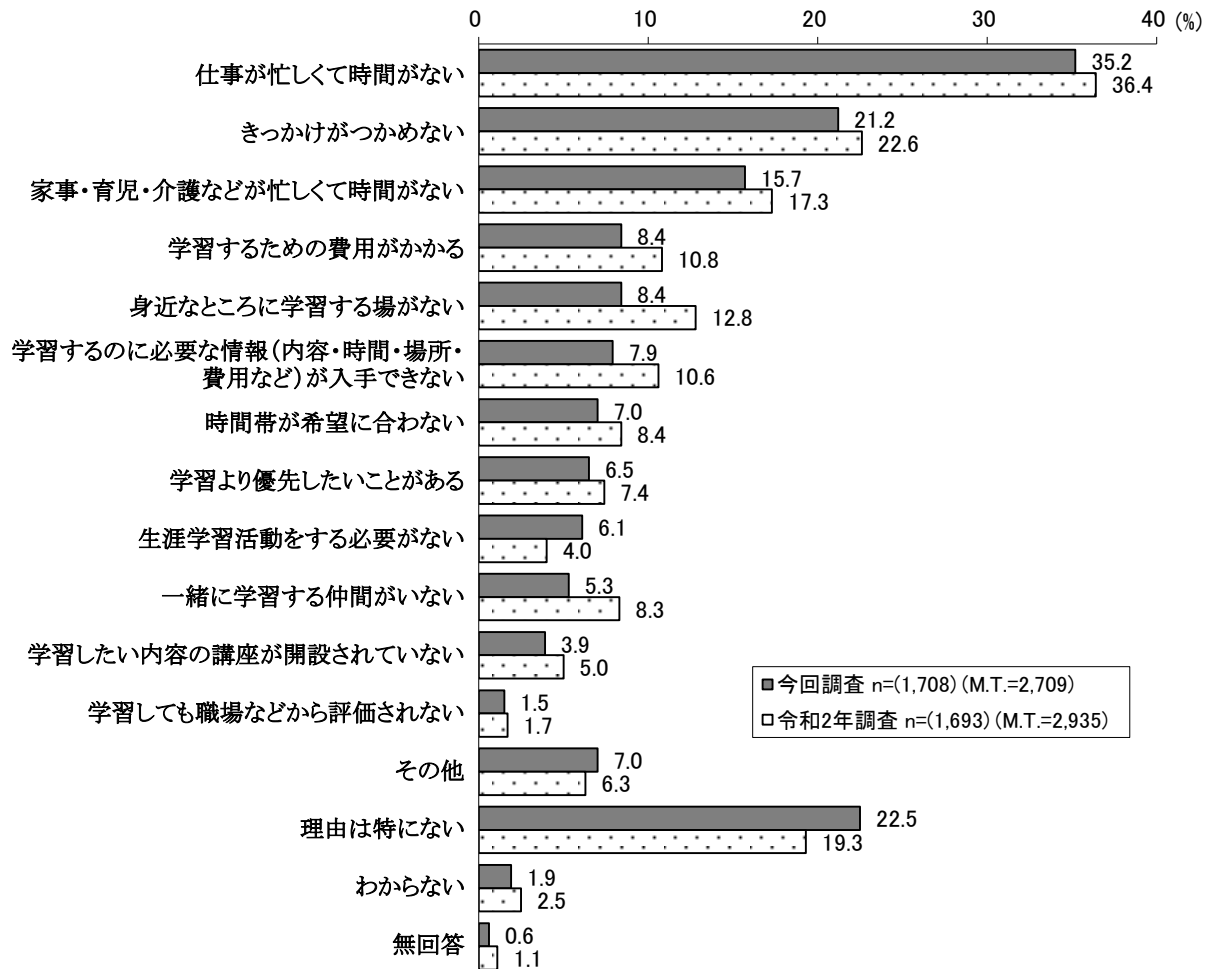
(%)

	調査数 n	人生が豊かになっている	健康の維持・増進に役立つ	家庭や日常生活に生かしている	仕事や就職の上で生かしている	地域や社会での活動に生かしている	他の人の指導やアドバイスに生かしている	ボランティア活動に生かしている	学業、学校生活の中で生かしている	新たな生涯学習活動に生かしている	その他	生かしていない	わからない
全体	1,023	59.5	41.8	29.7	25.4	11.9	9.3	8.1	6.1	6.0	1.8	3.3	1.8
地域別													
南部地域	93	57.0	38.7	25.8	30.1	7.5	6.5	10.8	4.3	5.4	1.1	3.2	2.2
南西部地域	90	52.2	34.4	31.1	33.3	12.2	10.0	4.4	5.6	4.4	1.1	3.3	3.3
東部地域	151	64.9	41.1	29.1	29.1	10.6	10.6	5.3	7.9	8.6	2.0	2.6	3.3
さいたま地域	181	61.9	39.2	24.9	28.2	10.5	8.8	8.8	6.6	7.2	2.2	5.0	-
県央地域	93	55.9	38.7	33.3	20.4	15.1	11.8	7.5	10.8	6.5	1.1	1.1	2.2
川越比企地域	109	59.6	42.2	27.5	25.7	11.9	9.2	8.3	6.4	6.4	4.6	1.8	1.8
西部地域	118	60.2	54.2	35.6	18.6	13.6	13.6	11.9	5.1	4.2	-	1.7	2.5
利根地域	75	64.0	34.7	29.3	22.7	8.0	8.0	6.7	-	4.0	2.7	6.7	-
北部地域	82	57.3	50.0	35.4	19.5	15.9	2.4	12.2	4.9	4.9	1.2	3.7	-
秩父地域	17	41.2	47.1	29.4	17.6	17.6	5.9	-	11.8	-	-	5.9	-
性別													
男性	399	54.6	40.6	26.6	27.8	15.3	9.3	9.3	6.8	6.5	2.8	3.8	2.5
女性	614	62.5	42.8	31.8	23.9	9.4	9.3	7.5	5.7	5.5	1.1	3.1	1.3
年代別													
18・19歳	33	63.6	30.3	21.2	24.2	3.0	9.1	-	66.7	9.1	-	-	3.0
20歳代	121	54.5	29.8	19.0	43.0	5.0	7.4	2.5	19.0	5.8	-	4.1	3.3
【再掲】10歳代・20歳代	154	56.5	29.9	19.5	39.0	4.5	7.8	1.9	29.2	6.5	-	3.2	3.2
30歳代	113	60.2	27.4	34.5	38.1	4.4	12.4	0.9	3.5	1.8	1.8	1.8	1.8
40歳代	168	54.8	32.7	30.4	35.1	8.3	8.3	2.4	3.0	1.8	0.6	6.5	3.0
50歳代	166	51.8	31.3	22.9	33.7	7.8	7.2	6.0	2.4	9.6	1.8	4.8	2.4
60歳代	174	60.9	58.0	29.9	11.5	12.6	6.9	11.5	1.1	5.7	4.0	1.7	0.6
70歳以上	235	68.9	59.6	38.7	8.1	24.7	12.8	19.1	0.4	7.2	2.1	2.1	0.4
性・年代別													
男性／18・19歳	18	66.7	27.8	22.2	22.2	-	5.6	-	66.7	5.6	-	-	5.6
20歳代	49	51.0	32.7	20.4	51.0	4.1	8.2	-	18.4	4.1	-	2.0	6.1
【再掲】10歳代・20歳代	67	55.2	31.3	20.9	43.3	3.0	7.5	-	31.3	4.5	-	1.5	6.0
30歳代	45	62.2	35.6	37.8	42.2	8.9	15.6	2.2	2.2	2.2	-	-	-
40歳代	57	49.1	35.1	19.3	35.1	10.5	3.5	3.5	1.8	3.5	1.8	10.5	7.0
50歳代	64	48.4	28.1	14.1	32.8	7.8	3.1	6.3	3.1	10.9	3.1	6.3	1.6
60歳代	68	54.4	48.5	26.5	16.2	8.8	7.4	10.3	1.5	1.5	7.4	2.9	1.5
70歳以上	95	58.9	56.8	38.9	10.5	40.0	16.8	24.2	-	10.5	3.2	2.1	-
女性／18・19歳	15	60.0	33.3	20.0	26.7	6.7	13.3	-	66.7	13.3	-	-	-
20歳代	72	56.9	27.8	18.1	37.5	5.6	6.9	4.2	19.4	6.9	-	5.6	1.4
【再掲】10歳代・20歳代	87	57.5	28.7	18.4	35.6	5.7	8.0	3.4	27.6	8.0	-	4.6	1.1
30歳代	68	58.8	22.1	32.4	35.3	1.5	10.3	-	4.4	1.5	2.9	2.9	2.9
40歳代	111	57.7	31.5	36.0	35.1	7.2	10.8	1.8	3.6	0.9	-	4.5	0.9
50歳代	102	53.9	33.3	28.4	34.3	7.8	9.8	5.9	2.0	8.8	1.0	3.9	2.9
60歳代	106	65.1	64.2	32.1	8.5	15.1	6.6	12.3	0.9	8.5	1.9	0.9	-
70歳以上	138	75.4	61.6	39.1	6.5	14.5	10.1	15.9	0.7	5.1	1.4	2.2	0.7
職業別													
自営業・家族従業（計）	79	58.2	46.8	32.9	21.5	15.2	13.9	13.9	1.3	10.1	2.5	1.3	1.3
雇用者（計）	524	56.5	33.4	24.8	39.5	7.4	9.2	4.8	3.4	4.8	1.5	4.2	2.5
無職（計）	405	63.5	51.1	35.3	8.4	16.8	8.6	11.4	10.6	6.4	2.0	2.7	1.0
ライフステージ別													
独身期	178	59.0	29.8	20.8	39.3	3.9	8.4	0.6	24.2	5.1	0.6	2.8	2.2
家族形成期	74	51.4	25.7	39.2	40.5	5.4	8.1	1.4	5.4	2.7	1.4	2.7	2.7
家族成長前期	83	56.6	30.1	31.3	31.3	10.8	10.8	4.8	3.6	3.6	-	2.4	6.0
家族成長後期	75	42.7	42.7	22.7	29.3	10.7	8.0	9.3	2.7	9.3	-	6.7	1.3
家族成熟期	169	55.0	42.0	28.4	22.5	10.1	7.1	8.3	1.2	4.1	3.0	5.9	0.6
高齢期	239	67.8	60.3	36.4	8.8	23.0	10.5	16.7	0.4	7.9	2.1	1.7	0.4
その他	205	64.4	41.0	29.3	25.9	10.7	10.7	7.8	3.4	6.8	2.9	2.9	2.0

(13-2) 生涯学習活動をしていない理由

◇「仕事が忙しくて時間がない」が35.2%、「きっかけがつかめない」が21.2%

(問15で「2. ない」とお答えの方にお伺いします。)
 問15-2 あなたが、この1年くらいの間に「生涯学習活動」をしていない理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)



生涯学習活動をしていない理由は、「仕事が忙しくて時間がない」(35.2%)が3割台半ばで最も高く、次いで、「きっかけがつかめない」(21.2%)、「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」(15.7%)などとなっている。一方で、「理由は特にない」(22.5%)は2割強となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、ほとんどの項目が減少しており、特に「身近なところに学習する場がない」は、4.4ポイント減少している。一方、「理由は特にない」は3.2ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「仕事が忙しくて時間がない」は北部地域（42.5%）で4割強と最も高く、「きっかけがつかめない」は県央地域（26.0%）とさいたま地域（25.9%）でおおむね2割台半ばと高くなっている。「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」は南西部地域（21.0%）で2割強と最も高くなっている。

※秩父地域（n=23）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「仕事が忙しくて時間がない」は男性（37.9%）の方が女性（33.5%）よりも4.4ポイント高くなっている。一方、「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」は女性（22.3%）の方が男性（7.3%）よりも15.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「仕事が忙しくて時間がない」は40歳代（46.5%）で4割台半ばを超えて最も高く、50歳代（44.3%）でも4割台半ばと高くなっている。「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」は30歳代（37.9%）で3割台半ばを超え、「きっかけがつかめない」は10歳代・20歳代（25.2%）で2割台半ば、「身近なところに学習する場がない」は70歳以上（12.4%）でそれぞれ最も高くなっている。

④ 性・年代別

「仕事が忙しくて時間がない」は男性30歳代（57.6%）で5割台半ばを超えて最も高く、男女とも70歳以上で1割台半ばと低くなっている。「きっかけがつかめない」は女性10歳代・20歳代（28.4%）で3割弱と最も高く、女性70歳以上（15.6%）で1割台半ばと最も低くなっている。

⑤ 職業別

「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」は雇用者（計）（18.0%）で2割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「仕事が忙しくて時間がない」は家族成長前期（55.3%）で5割台半ばと最も高く、「きっかけがつかめない」は独身期（27.7%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」は家族形成期（49.6%）と家族成長前期（49.1%）で約5割と高くなっている。

○生涯学習活動をしていない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

(%)

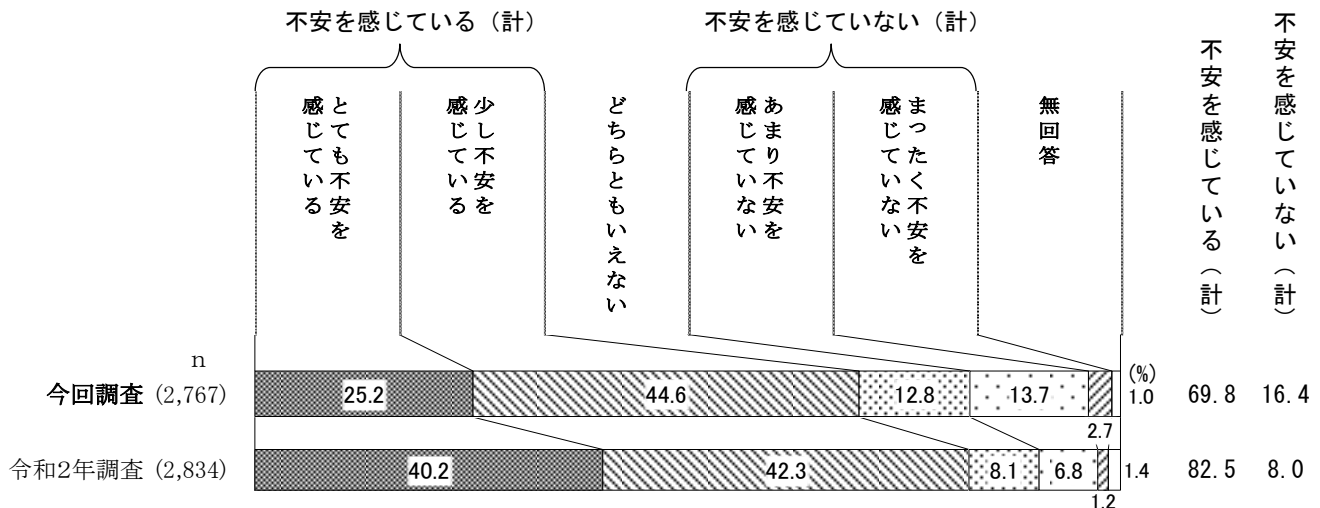
	調査数 n	仕事が忙しくて時間が ない	きっかけがつかめない	家事・育児・介護などが忙しくて時間が ない	学習するための費用がかかる	身近なところに学習する場がない	学習するのに必要な情報（内容・時間・ 場所・費用など）が入手できない	時間帯が希望に合わない	学習より優先したいことがある	生涯学習活動をする必要がない	一緒に学習する仲間がない	学習したい内容の講座が開設されていない	学習しても職場などから評価されない	その他	理由は特にな い	わからない	無回答
全体	1,708	35.2	21.2	15.7	8.4	8.4	7.9	7.0	6.5	6.1	5.3	3.9	1.5	7.0	22.5	1.9	0.6
地域別																	
南部地域	169	30.8	21.9	15.4	7.1	10.7	7.1	7.7	7.7	6.5	7.7	5.3	1.8	5.9	23.1	2.4	-
南西部地域	167	38.3	16.8	21.0	8.4	5.4	6.0	7.8	6.0	4.2	7.8	6.6	1.8	7.2	21.6	1.2	-
東部地域	255	36.1	21.6	12.2	7.8	11.4	8.6	9.8	7.1	4.3	7.1	3.5	2.0	6.3	22.0	3.1	2.0
さいたま地域	297	37.0	25.9	17.2	8.1	7.7	8.8	6.7	6.1	5.1	2.7	3.0	2.7	4.4	21.5	2.0	0.7
県央地域	123	35.0	26.0	15.4	8.1	8.1	6.5	7.3	8.9	7.3	6.5	2.4	1.6	4.9	18.7	3.3	-
川越比企地域	181	32.0	21.5	12.2	7.7	7.7	7.2	7.2	7.2	8.8	5.0	2.8	0.6	7.2	24.9	2.8	0.6
西部地域	179	32.4	19.6	11.2	8.4	6.1	11.2	6.1	5.0	7.3	2.8	4.5	0.6	10.6	24.6	1.1	1.1
利根地域	168	35.7	18.5	17.9	10.1	8.3	8.3	3.6	6.5	6.5	3.6	4.2	1.2	8.3	24.4	0.6	-
北部地域	120	42.5	17.5	20.8	12.5	10.0	6.7	5.8	5.0	4.2	5.0	3.3	-	10.0	21.7	-	-
秩父地域	23	39.1	13.0	26.1	4.3	8.7	8.7	13.0	8.7	13.0	17.4	-	-	8.7	13.0	4.3	-
性別																	
男性	723	37.9	22.3	7.3	7.3	8.7	8.0	5.4	8.2	7.2	4.7	3.7	1.9	3.9	26.0	1.5	0.6
女性	960	33.5	20.6	22.3	9.3	8.1	7.9	8.4	5.3	5.0	5.7	4.0	1.0	9.3	19.6	2.3	0.6
年代別																	
18・19歳	20	30.0	25.0	-	5.0	10.0	10.0	5.0	20.0	20.0	15.0	5.0	5.0	-	25.0	-	-
20歳代	107	40.2	25.2	12.1	12.1	7.5	6.5	2.8	5.6	7.5	7.5	2.8	2.8	1.9	26.2	0.9	1.9
【再掲】10歳代・20歳代	127	38.6	25.2	10.2	11.0	7.9	7.1	3.1	7.9	9.4	8.7	3.1	3.1	1.6	26.0	0.8	1.6
30歳代	203	41.9	19.2	37.9	10.3	6.9	9.4	6.9	7.9	5.9	3.4	2.5	5.4	3.0	16.7	2.5	-
40歳代	310	46.5	19.4	29.0	10.6	7.4	6.5	6.5	5.2	3.9	4.2	3.5	1.0	6.5	17.1	1.9	-
50歳代	357	44.3	22.1	10.9	8.1	7.6	8.7	9.0	7.3	3.1	4.5	4.2	1.4	5.3	24.1	1.7	0.6
60歳代	296	34.1	24.3	10.1	9.1	6.8	9.1	7.8	4.7	5.1	4.7	7.1	0.3	8.1	20.6	1.4	1.0
70歳以上	394	15.2	19.5	4.6	4.8	12.4	7.4	6.9	7.1	10.2	7.6	2.5	0.3	11.9	28.2	2.5	0.8
性・年代別																	
男性／18・19歳	10	20.0	10.0	-	-	10.0	10.0	-	20.0	20.0	10.0	-	10.0	-	30.0	-	-
20歳代	42	38.1	23.8	7.1	11.9	11.9	2.4	7.1	9.5	9.5	9.5	2.4	-	4.8	26.2	-	4.8
【再掲】10歳代・20歳代	52	34.6	21.2	5.8	9.6	11.5	3.8	5.8	11.5	11.5	9.6	1.9	1.9	3.8	26.9	-	3.8
30歳代	66	57.6	24.2	18.2	6.1	7.6	7.6	4.5	7.6	7.6	3.0	3.0	7.6	3.0	16.7	-	-
40歳代	113	54.0	16.8	17.7	12.4	4.4	6.2	3.5	9.7	6.2	1.8	4.4	1.8	1.8	17.7	2.7	-
50歳代	161	44.7	19.9	5.6	6.2	8.1	8.1	8.1	8.1	2.5	3.7	4.3	2.5	4.3	29.2	1.2	-
60歳代	147	37.4	26.5	4.1	6.1	8.2	12.2	6.1	4.8	5.4	4.1	6.1	0.7	3.4	24.5	0.7	0.7
70歳以上	183	15.8	24.0	1.6	6.0	12.0	7.1	3.8	9.3	12.0	7.1	1.6	0.5	5.5	32.8	2.7	0.5
女性／18・19歳	10	40.0	40.0	-	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	20.0	-	-
20歳代	64	40.6	26.6	15.6	12.5	4.7	9.4	-	3.1	6.3	6.3	3.1	3.1	-	26.6	1.6	-
【再掲】10歳代・20歳代	74	40.5	28.4	13.5	12.2	5.4	9.5	1.4	5.4	8.1	8.1	4.1	2.7	-	25.7	1.4	-
30歳代	137	34.3	16.8	47.4	12.4	6.6	10.2	8.0	8.0	5.1	3.6	2.2	4.4	2.9	16.8	3.6	-
40歳代	197	42.1	20.8	35.5	9.6	9.1	6.6	8.1	2.5	2.5	5.6	3.0	0.5	9.1	16.8	1.5	-
50歳代	196	43.9	24.0	15.3	9.7	7.1	9.2	9.7	6.6	3.6	5.1	4.1	0.5	6.1	19.9	2.0	1.0
60歳代	148	30.4	22.3	16.2	12.2	5.4	6.1	9.5	4.1	4.1	5.4	7.4	-	12.8	16.9	2.0	1.4
70歳以上	205	15.1	15.6	7.3	3.4	12.2	7.3	9.8	5.4	8.3	7.3	3.4	-	17.6	23.9	2.4	1.0
職業別																	
自営業・家族従業（計）	162	48.8	17.3	13.0	7.4	8.0	8.6	8.6	5.6	3.7	3.7	3.7	0.6	6.8	19.1	0.6	-
雇用者（計）	931	51.3	22.7	18.0	9.8	8.3	7.6	8.1	7.5	4.1	4.5	4.2	2.3	4.9	18.6	1.7	0.4
無職（計）	586	6.7	20.1	13.3	6.7	8.5	8.4	4.9	5.5	9.4	6.8	3.2	0.5	10.4	29.7	2.4	1.0
ライフステージ別																	
独身期	148	38.5	27.7	2.0	9.5	8.1	10.8	6.8	8.8	10.8	10.1	4.1	6.8	3.4	23.6	2.0	0.7
家族形成期	141	36.2	12.8	49.6	6.4	3.5	4.3	1.4	7.1	6.4	1.4	2.1	2.1	0.7	17.7	0.7	0.7
家族成長前期	161	55.3	23.6	49.1	11.2	8.7	7.5	6.2	6.2	1.2	1.9	3.7	1.2	5.6	12.4	-	-
家族成長後期	155	50.3	21.9	26.5	12.9	8.4	9.7	11.0	7.1	1.9	4.5	2.6	3.2	7.7	18.1	2.6	0.6
家族成熟期	294	38.4	24.8	9.9	5.4	6.8	9.2	8.5	6.1	4.8	5.1	3.4	1.0	7.8	20.7	1.4	0.7
高齢期	363	19.0	20.4	5.8	6.9	11.6	6.9	7.2	5.8	8.0	5.0	5.0	0.3	11.3	28.1	1.4	0.3
その他	446	32.5	18.8	5.8	9.4	8.3	7.6	6.7	6.3	7.0	7.0	4.3	0.2	6.5	25.3	3.6	1.1

(14-1) 新型コロナウイルス感染症への不安

◇『不安を感じている（計）』は69.8%

問16 新型コロナウイルス感染症についておたずねします。

(1) あなたは、御自分が新型コロナウイルス感染症に感染するのではないかという不安を感じていますか。(〇は1つだけ)



新型コロナウイルス感染症に感染することへの不安は、「少し不安を感じている」(44.6%)が4割台半ばで最も高く、これに「とても不安を感じている」(25.2%)を合わせた『不安を感じている(計)』(69.8%)は約7割となっている。一方で、「あまり不安を感じていない」(13.7%)と「まったく不安を感じていない」(2.7%)を合わせた『不安を感じていない(計)』(16.4%)は1割台半ばを超えている。また、「どちらともいえない」(12.8%)は1割強となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べると、『不安を感じている(計)』は12.7ポイント減少し、『不安を感じていない(計)』は8.4ポイント増加している。

【属性別比較】

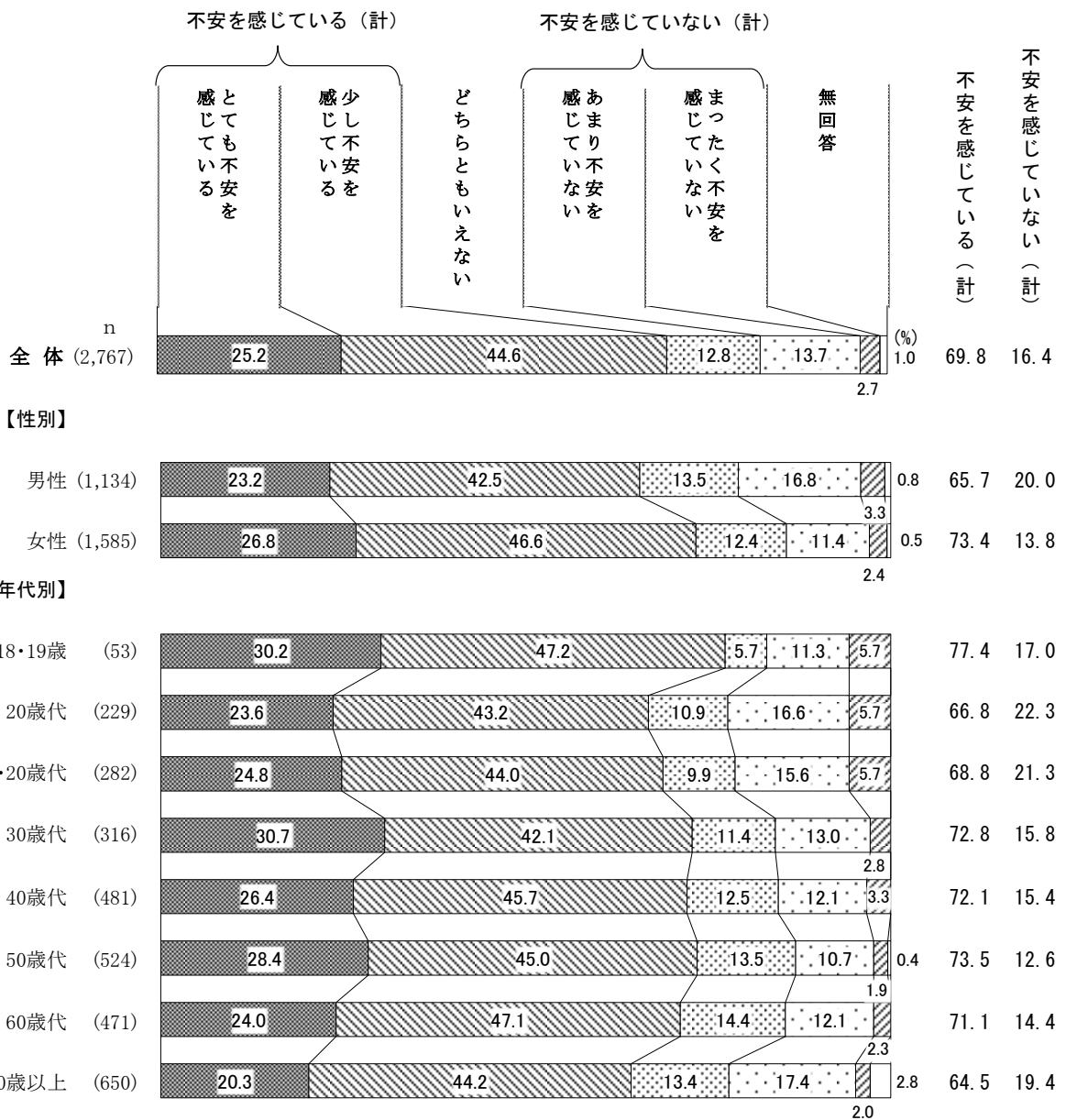
① 性別

『不安を感じている（計）』は女性（73.4%）の方が男性（65.7%）よりも7.7ポイント高くなっている。

② 年代別

『不安を感じている（計）』は50歳代（73.5%）が7割強と最も高く、70歳以上（64.5%）で6割台半ばと最も低くなっている。

○新型コロナウイルス感染症への不安・性別／年代別



③ 地域別

『不安を感じている（計）』は利根地域（76.3%）で7割台半ばを超えて最も高く、秩父地域（62.5%）で6割強と最も低くなっている。

④ 性・年代別

『不安を感じている（計）』は女性10歳代・20歳代（77.8%）で7割台半ばを超えて最も高く、男性10歳代・20歳代（57.1%）で5割台後半と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『不安を感じている（計）』は雇用者（計）（71.7%）で7割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『不安を感じている（計）』は家族成長後期（79.3%）で約8割と最も高くなっている。

○新型コロナウイルス感染症への不安・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

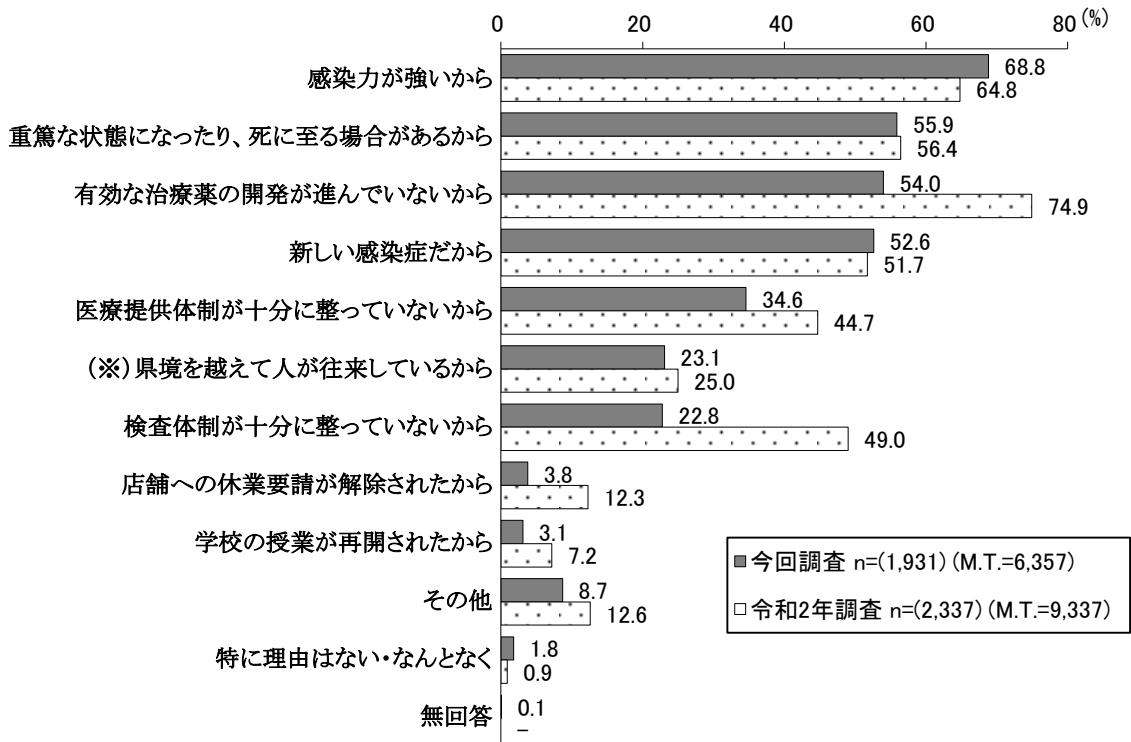
	調査数 n	感 じて も 不 安 を	感 じ て い る 不 安 を	ど ち ら と も い え な い	感 あ ま り て い な い 不 安 を	感 ま っ た く い な い 不 安 を	無 回 答	（%）	
								不 安 を 感 じ て い る （ 計 ）	不 安 を 感 じ て い な い （ 計 ）
全 体	2,767	25.2	44.6	12.8	13.7	2.7	1.0	69.8	16.4
地域別									
南部地域	268	22.8	47.4	13.4	13.4	1.5	1.5	70.1	14.9
南西部地域	259	26.6	43.6	13.1	13.9	2.3	0.4	70.3	16.2
東部地域	410	29.0	40.2	11.2	14.4	3.9	1.2	69.3	18.3
さいたま地域	482	24.5	45.6	12.4	14.7	2.3	0.4	70.1	17.0
県央地域	218	26.6	40.8	12.8	16.5	3.2	-	67.4	19.7
川越比企地域	293	25.9	38.9	15.0	16.7	3.1	0.3	64.8	19.8
西部地域	299	23.4	49.8	10.0	11.0	3.7	2.0	73.2	14.7
利根地域	245	24.5	51.8	11.8	9.8	1.6	0.4	76.3	11.4
北部地域	203	23.6	48.8	13.8	11.3	2.5	-	72.4	13.8
秩父地域	40	17.5	45.0	20.0	15.0	2.5	-	62.5	17.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	25.0	46.4	3.6	14.3	10.7	-	71.4	25.0
20歳代	91	13.2	39.6	11.0	24.2	12.1	-	52.7	36.3
【再掲】10歳代・20歳代	119	16.0	41.2	9.2	21.8	11.8	-	57.1	33.6
30歳代	111	29.7	39.6	11.7	16.2	2.7	-	69.4	18.9
40歳代	173	23.7	39.3	14.5	18.5	4.0	-	63.0	22.5
50歳代	226	28.8	41.6	13.7	12.8	2.7	0.4	70.4	15.5
60歳代	215	22.8	44.7	18.6	11.6	2.3	-	67.4	14.0
70歳以上	286	19.2	45.1	11.5	20.6	0.7	2.8	64.3	21.3
女性／18・19歳	25	36.0	48.0	8.0	8.0	-	-	84.0	8.0
20歳代	137	30.7	46.0	10.9	10.9	1.5	-	76.6	12.4
【再掲】10歳代・20歳代	162	31.5	46.3	10.5	10.5	1.2	-	77.8	11.7
30歳代	205	31.2	43.4	11.2	11.2	2.9	-	74.6	14.1
40歳代	308	27.9	49.4	11.4	8.4	2.9	-	77.3	11.4
50歳代	298	28.2	47.7	13.4	9.1	1.3	0.3	75.8	10.4
60歳代	255	24.7	49.4	11.0	12.5	2.4	-	74.1	14.9
70歳以上	352	21.6	43.5	15.1	14.8	3.1	2.0	65.1	17.9
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	21.1	45.9	13.2	15.3	4.1	0.4	66.9	19.4
雇用者（計）	1,461	26.5	45.2	12.5	13.1	2.5	0.2	71.7	15.6
無職（計）	1,006	24.4	44.1	13.0	14.2	2.8	1.5	68.5	17.0
ライフステージ別									
独身期	327	23.9	43.4	12.8	15.3	4.6	-	67.3	19.9
家族形成期	215	32.1	45.6	8.4	11.2	2.8	-	77.7	14.0
家族成長前期	245	25.7	46.5	11.4	12.2	3.7	0.4	72.2	15.9
家族成長後期	232	27.6	51.7	10.3	7.8	1.7	0.9	79.3	9.5
家族成熟期	463	29.2	46.7	11.0	11.2	1.7	0.2	75.8	13.0
高齢期	609	21.8	47.0	11.5	16.3	2.5	1.0	68.8	18.7
その他	676	22.9	38.2	17.9	15.5	2.8	-	61.1	18.3

(14-1-1) 不安を感じる理由

◇「感染力が強いから」が68.8%

(問16(1)で「1. とても不安を感じている」または「2. 少し不安を感じている」とお答えの方にお伺いします。)

問16(1)-1 あなたは、なぜ、不安を感じるのですか。(〇はいくつでも)



※令和2年度は、「県境を越えた人の往来が自由になったから」

新型コロナウイルス感染症に感染の不安を感じる理由は、「感染力が強いから」(68.8%)が7割弱で最も高く、次いで「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」(55.9%)、「有効な治療薬の開発が進んでいないから」(54.0%)、「新しい感染症だから」(52.6%)が5割台で続き、以下「医療提供体制が十分に整っていないから」(34.6%)、「県境を越えて人が往来しているから」(23.1%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて「感染力が強いから」は4.0ポイント増加しているが、他の項目はおおむね割合が減少しており、特に、減少の割合が大きい項目としては、「検査体制が十分に整っていないから」が26.2ポイント、「有効な治療薬の開発が進んでいないから」が20.9ポイント、「医療提供体制が十分に整っていないから」が10.1ポイントの減少となっている。

【属性別比較】

① 地域別

「感染力が強いから」は西部地域（72.6%）、川越比企地域（72.1%）で7割強と高く、「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」は川越比企地域（60.5%）で6割を超えて最も高くなっている。また「新しい感染症だから」は西部地域（60.7%）で6割を超えて最も高くなっている。

※秩父地域（n=25）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「感染力が強いから」は女性（70.1%）の方が男性（66.7%）よりも3.4ポイント高く、「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」も女性（58.5%）の方が男性（51.9%）よりも6.6ポイント高くなっている。

③ 年代別

「感染力が強いから」は60歳代（72.5%）と70歳以上（70.2%）で7割台と高くなっている。また、60歳代は「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」（61.5%）や「有効な治療薬の開発が進んでいないから」（61.2%）でも6割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「感染力が強いから」は女性60歳代（77.8%）で7割台半ばを超えて最も高く、男性10歳代・20歳代（64.7%）で6割台半ばと最も低くなっている。「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」も女性60歳代（62.4%）で6割強と最も高く、男性10歳代・20歳代（41.2%）で4割強と最も低くなっている。

⑤ 職業別

「感染力が強いから」は無職（計）（71.6%）で7割強と最も高く、「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」は自営業・家族従業（計）（63.0%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「感染力が強いから」は家族成熟期（72.1%）で7割強と最も高くなっており、「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」（60.4%）、「有効な治療薬の開発が進んでいないから」（59.5%）でも6割前後で最も高くなっている。

○不安を感じる理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

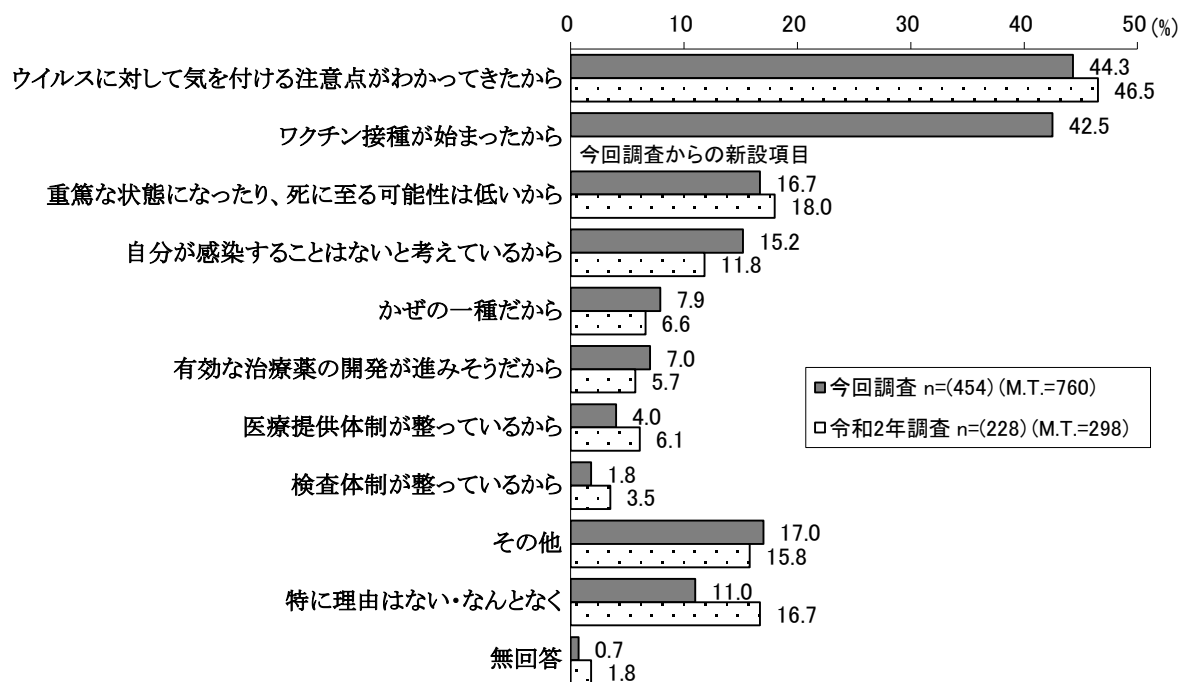
	調査数 n	感染力が強いから	死に重篤な状態になったり、 死に至る場合があるから	有効でない治療薬の開発が進 んでいないから	新しい感染症だから	医療提供体制が十分に 整っていないから	県境を越えて人が往来し ているから	検査体制が十分に整って いないから	店舗への休業要請が解除 されたから	学校の授業が再開された から	その他	特に理由はない・なんと なく	無回答
全体	1,931	68.8	55.9	54.0	52.6	34.6	23.1	22.8	3.8	3.1	8.7	1.8	0.1
地域別													
南部地域	188	66.0	52.1	54.3	56.4	34.6	22.9	23.4	3.2	2.1	6.9	1.6	-
南西部地域	182	68.7	52.7	41.8	43.4	29.7	22.0	18.7	4.4	1.1	14.8	2.7	-
東部地域	284	66.2	57.0	53.2	52.1	40.5	23.6	26.1	5.3	4.9	10.6	2.5	-
さいたま地域	338	70.7	52.4	53.3	51.2	32.8	22.8	26.9	3.8	2.7	8.9	0.6	-
県央地域	147	68.7	59.2	57.8	51.0	42.2	21.8	23.8	4.1	2.7	7.5	2.0	-
川越比企地域	190	72.1	60.5	56.8	55.3	27.9	29.5	20.0	4.7	7.4	6.3	2.1	1.1
西部地域	219	72.6	59.4	55.7	60.7	37.0	23.7	25.1	5.0	2.7	7.3	1.4	-
利根地域	187	70.1	55.1	58.3	52.9	35.8	19.8	21.9	1.1	2.1	8.0	1.6	-
北部地域	147	61.2	59.2	58.5	50.3	32.0	20.4	15.6	2.0	1.4	8.8	1.4	-
秩父地域	25	72.0	52.0	48.0	48.0	24.0	36.0	8.0	4.0	-	-	4.0	-
性別													
男性	745	66.7	51.9	52.8	51.8	32.2	21.6	24.7	4.3	3.2	8.1	1.3	0.1
女性	1,163	70.1	58.5	54.7	52.9	36.1	24.3	21.6	3.6	3.0	9.2	2.1	0.1
年代別													
18・19歳	41	70.7	56.1	48.8	48.8	24.4	19.5	17.1	2.4	17.1	12.2	2.4	-
20歳代	153	66.7	48.4	45.8	43.1	32.7	25.5	15.0	6.5	5.2	8.5	3.9	-
【再掲】10歳代・20歳代	194	67.5	50.0	46.4	44.3	30.9	24.2	15.5	5.7	7.7	9.3	3.6	-
30歳代	230	67.0	55.7	48.3	48.7	31.3	23.0	23.5	5.2	5.7	16.1	1.3	0.4
40歳代	347	66.0	51.3	55.3	51.9	31.7	24.8	16.7	5.2	4.0	10.4	2.3	-
50歳代	385	68.3	59.7	55.6	48.8	38.4	27.3	22.9	4.7	3.1	10.9	0.5	-
60歳代	335	72.5	61.5	61.2	53.1	37.3	20.6	26.0	1.8	1.2	7.2	1.2	0.3
70歳以上	419	70.2	54.7	52.5	61.8	34.8	19.8	28.6	2.1	0.2	1.9	2.4	-
性・年代別													
男性／18・19歳	20	55.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	5.0	5.0	15.0	5.0	-
20歳代	48	68.8	39.6	41.7	33.3	33.3	12.5	14.6	6.3	4.2	4.2	2.1	-
【再掲】10歳代・20歳代	68	64.7	41.2	41.2	33.8	32.4	14.7	14.7	5.9	4.4	7.4	2.9	-
30歳代	77	66.2	46.8	44.2	41.6	24.7	24.7	20.8	9.1	6.5	13.0	-	1.3
40歳代	109	65.1	42.2	50.5	55.0	27.5	29.4	17.4	4.6	4.6	10.1	3.7	-
50歳代	159	66.0	58.5	52.8	48.4	35.2	25.2	27.7	6.9	5.0	11.3	0.6	-
60歳代	145	65.5	60.0	61.4	51.0	35.2	17.9	27.6	2.1	1.4	8.3	0.7	-
70歳以上	184	69.6	51.6	54.9	64.1	32.1	17.4	29.3	1.1	0.5	1.6	1.1	-
女性／18・19歳	21	85.7	66.7	57.1	61.9	19.0	19.0	19.0	-	28.6	9.5	-	-
20歳代	105	65.7	52.4	47.6	47.6	32.4	31.4	15.2	6.7	5.7	10.5	4.8	-
【再掲】10歳代・20歳代	126	69.0	54.8	49.2	50.0	30.2	29.4	15.9	5.6	9.5	10.3	4.0	-
30歳代	153	67.3	60.1	50.3	52.3	34.6	22.2	24.8	3.3	5.2	17.6	2.0	-
40歳代	238	66.4	55.5	57.6	50.4	33.6	22.7	16.4	5.5	3.8	10.5	1.7	-
50歳代	226	69.9	60.6	57.5	49.1	40.7	28.8	19.5	3.1	1.8	10.6	0.4	-
60歳代	189	77.8	62.4	60.8	54.5	38.6	22.2	24.3	1.6	1.1	6.3	1.6	0.5
70歳以上	229	70.3	57.2	49.8	59.8	36.2	22.3	27.5	3.1	-	2.2	3.5	-
職業別													
自営業・家族従業（計）	162	63.0	63.0	54.3	58.6	36.4	16.0	23.5	3.7	2.5	8.0	3.1	-
雇用者（計）	1,048	68.0	53.6	53.1	48.7	34.1	24.8	20.3	4.6	3.1	11.6	1.2	0.2
無職（計）	689	71.6	58.2	55.3	56.7	35.0	22.5	26.1	2.8	3.2	4.6	2.2	-
ライフステージ別													
独身期	220	66.8	52.7	47.3	43.2	35.0	25.9	18.2	5.5	6.8	10.5	3.6	0.5
家族形成期	167	71.9	52.7	49.1	46.7	31.7	21.0	22.8	6.0	3.6	14.4	1.2	-
家族成長前期	177	61.0	56.5	50.8	54.8	32.8	23.7	18.1	2.3	6.8	13.6	1.1	-
家族成長後期	184	63.6	48.4	54.3	44.0	27.7	21.7	15.2	6.0	6.5	11.4	2.2	-
家族成熟期	351	72.1	60.4	59.5	54.4	37.3	27.1	24.8	2.0	1.4	9.1	0.9	-
高齢期	419	70.9	58.5	57.8	58.5	35.1	18.1	27.2	1.4	0.5	3.3	1.9	0.2
その他	413	69.2	55.7	52.3	55.2	36.8	24.7	24.5	5.8	1.7	7.3	1.7	-

(14-1-2) 不安を感じない理由

◇「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」が44.3%

(問16で「4. あまり不安を感じていない」または「5. まったく不安を感じていない」とお答えの方にお伺いします。)

問16(1)-2 あなたは、なぜ、不安を感じないのですか。(〇はいくつでも)



新型コロナウイルス感染症に感染の不安を感じていない理由は、「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」(44.3%)と「ワクチン接種が始まったから」(42.5%)の2項目が4割台で高く、以下「重篤な状態になったり、死に至る可能性は低いから」(16.7%)、「自分が感染することはないと考えているから」(15.2%)などとなっている。一方で「特に理由はない・なんとなく」(11.0%)が1割強となっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、「自分が感染することはないと考えているから」が3.4ポイント増加している。一方で、「特に理由はない・なんとなく」が5.7ポイント、「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」が2.2ポイント、「医療提供体制が整っているから」が2.1ポイント減少している。

【属性別比較】

※下記の「不安を感じていない」理由の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数（n数）が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

① 地域別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は南部地域（55.0%）、さいたま地域（52.4%）、西部地域（50.0%）で5割台と高くなっている。「ワクチン接種が始まったから」は南部地域（60.0%）で6割と最も高くなっている。

② 性別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は女性（46.8%）の方が男性（43.2%）より3.6ポイント高く、「ワクチン接種が始まったから」も女性（45.9%）の方が男性（40.1%）より5.8ポイント高くなっている。

③ 年代別

「ワクチン接種が始まったから」は70歳以上（63.5%）で6割強と最も高くなっており、60歳代（54.4%）でも5割台半ばとなっており、他の年代層に比べて特に高くなっている。

④ 性・年代別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は女性40歳代（57.1%）で5割台半ばを超えて最も高く、「ワクチン接種が始まったから」は女性70歳以上（66.7%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は自営業・家族従業（計）（51.1%）で5割強と最も高く、「ワクチン接種が始まったから」は無職（計）（53.2%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は家族成長前期（53.8%）で5割強と最も高く、「ワクチン接種が始まったから」は高齢期（64.9%）が6割台半ばと最も高くなっている。

○不安を感じない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

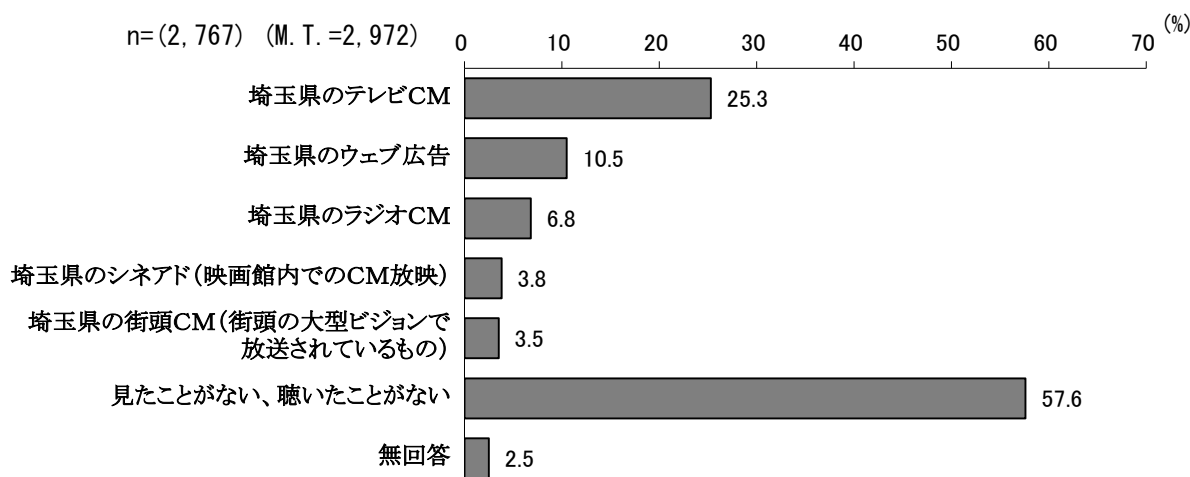
(%)

	調査数 n	たける から注 意点 がわ かっ てき を付 き	ウイ ルス に 対 し て 気 を 付 け る	ワク チン 接 種 が 始 ま っ た	死に 至 る 可 能 性 は 低 い か	重篤 な 状 態 に な つ た り 、	自分 が 感 染 す る こ と は な い と 考 え て い る か	かぜ の 一 種 だ か ら	有 効 な 治 療 薬 の 開 発 が 進 み そ う だ か ら	医 療 提 供 体 制 が 整 っ て い る か	検 査 体 制 が 整 っ て い る か	そ の 他	特 に 理 由 は な い ・ な ん と	無 回 答	
全 体	454	44.3	42.5	16.7	15.2	7.9	7.0	4.0	1.8	17.0	11.0	0.7			
地域別															
南部地域	40	55.0	60.0	12.5	10.0	5.0	10.0	12.5	5.0	10.0	10.0	10.0	-	-	
南西部地域	42	31.0	50.0	11.9	14.3	11.9	4.8	2.4	-	14.3	16.7	-	-	-	
東部地域	75	45.3	37.3	16.0	28.0	4.0	6.7	1.3	1.3	20.0	5.3	-	-	-	
さいたま地域	82	52.4	45.1	17.1	6.1	11.0	8.5	3.7	2.4	12.2	11.0	1.2	-	-	
県央地域	43	30.2	39.5	14.0	14.0	7.0	7.0	-	-	20.9	9.3	4.7	-	-	
川越比企地域	58	46.6	25.9	22.4	15.5	6.9	5.2	5.2	1.7	24.1	19.0	-	-	-	
西部地域	44	50.0	45.5	20.5	15.9	4.5	9.1	2.3	2.3	15.9	11.4	-	-	-	
利根地域	28	39.3	42.9	17.9	17.9	14.3	3.6	-	-	14.3	3.6	-	-	-	
北部地域	28	46.4	46.4	21.4	17.9	10.7	7.1	3.6	-	17.9	7.1	-	-	-	
秩父地域	7	14.3	42.9	-	-	-	-	14.3	-	14.3	28.6	-	-	-	
性別															
男性	227	43.2	40.1	18.1	15.9	7.5	6.6	4.0	1.3	15.9	12.8	0.4	-	-	
女性	218	46.8	45.9	15.6	14.7	8.3	7.3	3.2	1.8	17.4	8.3	0.9	-	-	
年代別															
18・19歳	9	33.3	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	-	-	33.3	-	-	-	-	
20歳代	51	41.2	23.5	29.4	15.7	11.8	3.9	5.9	2.0	17.6	11.8	-	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	60	40.0	21.7	31.7	16.7	11.7	5.0	5.0	1.7	20.0	10.0	-	-	-	
30歳代	50	42.0	34.0	24.0	12.0	8.0	8.0	4.0	2.0	24.0	10.0	-	-	-	
40歳代	74	43.2	29.7	25.7	13.5	16.2	5.4	2.7	-	18.9	9.5	-	-	-	
50歳代	66	43.9	28.8	13.6	15.2	13.6	4.5	1.5	-	12.1	13.6	-	-	-	
60歳代	68	48.5	54.4	11.8	17.6	2.9	8.8	2.9	2.9	16.2	14.7	-	-	-	
70歳以上	126	47.6	63.5	6.3	16.7	0.8	7.9	4.8	2.4	14.3	9.5	2.4	-	-	
性・年代別															
男性／18・19歳	7	28.6	-	57.1	28.6	14.3	-	-	-	28.6	-	-	-	-	
20歳代	33	51.5	30.3	21.2	18.2	6.1	6.1	6.1	3.0	15.2	12.1	-	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	40	47.5	25.0	27.5	20.0	7.5	5.0	5.0	2.5	17.5	10.0	-	-	-	
30歳代	21	33.3	28.6	14.3	9.5	9.5	9.5	4.8	-	23.8	9.5	-	-	-	
40歳代	39	30.8	25.6	33.3	10.3	20.5	5.1	2.6	-	20.5	15.4	-	-	-	
50歳代	35	48.6	25.7	11.4	8.6	5.7	2.9	2.9	-	11.4	20.0	-	-	-	
60歳代	30	46.7	56.7	16.7	30.0	6.7	13.3	3.3	3.3	13.3	10.0	-	-	-	
70歳以上	61	47.5	62.3	8.2	16.4	-	6.6	4.9	1.6	13.1	11.5	1.6	-	-	
女性／18・19歳	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	
20歳代	17	23.5	11.8	47.1	5.9	23.5	-	5.9	-	17.6	11.8	-	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	19	26.3	15.8	42.1	5.3	21.1	5.3	5.3	-	21.1	10.5	-	-	-	
30歳代	29	48.3	37.9	31.0	13.8	6.9	6.9	3.4	3.4	24.1	10.3	-	-	-	
40歳代	35	57.1	34.3	17.1	17.1	11.4	5.7	2.9	-	17.1	2.9	-	-	-	
50歳代	31	38.7	32.3	16.1	22.6	22.6	6.5	-	-	12.9	6.5	-	-	-	
60歳代	38	50.0	52.6	7.9	7.9	-	5.3	2.6	2.6	18.4	18.4	-	-	-	
70歳以上	63	49.2	66.7	4.8	17.5	1.6	9.5	4.8	3.2	15.9	4.8	3.2	-	-	
職業別															
自営業・家族従業（計）	47	51.1	34.0	34.0	14.9	12.8	6.4	2.1	2.1	19.1	10.6	2.1	-	-	
雇用者（計）	228	43.0	36.4	18.4	15.8	10.1	4.4	3.1	0.9	17.5	11.0	0.4	-	-	
無職（計）	171	45.0	53.2	9.9	15.2	3.5	10.5	4.7	2.3	15.2	10.5	0.6	-	-	
ライフステージ別															
独身期	65	36.9	23.1	27.7	20.0	10.8	6.2	6.2	3.1	21.5	9.2	-	-	-	
家族形成期	30	40.0	40.0	30.0	10.0	10.0	6.7	3.3	-	20.0	10.0	-	-	-	
家族成長前期	39	53.8	20.5	25.6	7.7	12.8	2.6	2.6	-	20.5	12.8	-	-	-	
家族成長後期	22	40.9	45.5	18.2	4.5	9.1	-	-	-	9.1	13.6	-	-	-	
家族成熟期	60	46.7	46.7	13.3	21.7	6.7	6.7	3.3	1.7	18.3	10.0	-	-	-	
高齢期	114	46.5	64.9	11.4	15.8	0.9	8.8	4.4	3.5	16.7	11.4	-	-	-	
その他	124	43.5	37.1	11.3	14.5	11.3	8.9	4.0	0.8	13.7	11.3	2.4	-	-	

(14-2) 新型コロナウイルス感染症に関する県の広報

◇「見たことがない、聞いたことがない」が57.6%

問16(2) 新型コロナウイルス感染症に関する県の広報についておたずねします。あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する次の県のCM等の広報を見たり聴いたりしたことがありますか。見たり聴いたりしたことがあるものすべてを選んでください。
(〇はいくつでも)



新型コロナウイルス感染症に関する県の広報は、「見たことがない、聞いたことがない」が57.6%で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

見たり聴いたりしたことがある広報では、「埼玉県のテレビCM」(25.3%)が2割台半ばで最も高く、次いで「埼玉県のウェブ広告」(10.5%)、「埼玉県のラジオCM」(6.8%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「見たことがない、聞いたことがない」は東部地域（65.9%）、西部地域（62.5%）、南西部地域（61.0%）で6割台と高くなっている。「埼玉県のテレビCM」は秩父地域（37.5%）で3割台半ばを超えて最も高く、東部地域（19.0%）で約2割と最も低くなっている。

② 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

③ 年代別

「見たことがない、聞いたことがない」は30歳代（68.0%）、10歳代・20歳代（67.7%）で6割台後半と高く、年代が上がるほど割合が低くなっている。「埼玉県のテレビCM」は70歳以上（42.5%）で4割強と他の年齢層に比べて特に高くなっている。

④ 性・年代別

「見たことがない、聞いたことがない」は女性30歳代（71.2%）と女性10歳代・20歳代（70.4%）で7割台と高く、女性70歳以上（43.8%）と男性70歳以上（45.1%）で4割台と低くなっている。「埼玉県のテレビCM」は女性70歳以上（44.6%）で4割台半ばと他の年齢層に比べて特に高くなっている。

⑤ 職業別

「見たことがない、聞いたことがない」は雇用者（計）（63.4%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「見たことがない、聞いたことがない」は家族形成期（74.0%）と家族成長前期（70.6%）で7割台と高くなっている。「埼玉県のテレビCM」は高齢期（37.1%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

○新型コロナウイルス感染症に関する県の広報・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	埼玉県 のテレビ CM	埼玉県 のウェブ 広告	埼玉 県のラジ オCM	埼玉 県内のC M放映 (映画館)	埼玉県 の街頭C M(街頭 の大型ビ ジョンで 放送され ているも の)	と見たこ とがない 、聞いたこ とがない	無回 答
全 体	2,767	25.3	10.5	6.8	3.8	3.5	57.6	2.5
地域別								
南部地域	268	24.6	11.9	2.6	3.4	9.7	54.5	3.4
南西部地域	259	24.7	8.5	6.2	3.9	3.9	61.0	0.8
東部地域	410	19.0	11.0	3.2	3.7	3.2	65.9	1.7
さいたま地域	482	23.7	11.6	7.1	4.6	5.4	58.5	2.1
県央地域	218	30.7	9.6	7.8	6.0	1.8	50.0	3.2
川越比企地域	293	30.0	9.6	6.5	2.4	2.4	56.3	2.0
西部地域	299	22.4	7.0	8.4	1.3	1.0	62.5	3.3
利根地域	245	26.9	12.7	11.4	5.3	0.8	53.5	2.4
北部地域	203	27.6	12.8	10.3	3.4	2.0	55.2	-
秩父地域	40	37.5	10.0	10.0	7.5	-	50.0	-
性別								
男性	1,134	25.0	10.7	8.1	3.2	4.1	57.9	1.9
女性	1,585	25.2	10.6	5.7	4.2	3.2	58.0	2.3
年代別								
18・19歳	53	13.2	7.5	3.8	9.4	7.5	64.2	-
20歳代	229	13.1	9.2	2.6	5.7	4.4	68.6	1.7
【再掲】10歳代・20歳代	282	13.1	8.9	2.8	6.4	5.0	67.7	1.4
30歳代	316	12.3	9.8	5.1	6.3	4.7	68.0	0.6
40歳代	481	19.1	12.1	7.5	4.0	4.8	65.9	-
50歳代	524	21.6	11.8	8.6	4.0	2.5	60.1	0.6
60歳代	471	27.6	14.6	7.2	3.4	2.8	53.9	1.9
70歳以上	650	42.5	6.6	6.9	1.4	2.9	44.2	6.0
性・年代別								
男性／18・19歳	28	7.1	10.7	7.1	3.6	10.7	64.3	-
20歳代	91	17.6	12.1	2.2	6.6	5.5	63.7	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	119	15.1	11.8	3.4	5.9	6.7	63.9	0.8
30歳代	111	16.2	9.0	9.9	5.4	6.3	62.2	-
40歳代	173	15.0	11.0	8.1	3.5	5.2	69.4	-
50歳代	226	22.6	11.1	11.5	2.7	3.1	60.6	-
60歳代	215	26.0	13.0	7.4	2.3	3.7	57.7	0.9
70歳以上	286	39.5	8.4	7.3	2.1	2.8	45.1	6.3
女性／18・19歳	25	20.0	4.0	-	16.0	4.0	64.0	-
20歳代	137	10.2	7.3	2.9	5.1	3.6	71.5	2.2
【再掲】10歳代・20歳代	162	11.7	6.8	2.5	6.8	3.7	70.4	1.9
30歳代	205	10.2	10.2	2.4	6.8	3.9	71.2	1.0
40歳代	308	21.4	12.7	7.1	4.2	4.5	64.0	-
50歳代	298	20.8	12.4	6.4	5.0	2.0	59.7	1.0
60歳代	255	29.0	16.1	7.1	4.3	2.0	50.6	2.7
70歳以上	352	44.6	5.1	6.5	0.9	3.1	43.8	5.7
職業別								
自営業・家族従業(計)	242	31.4	12.0	9.5	3.7	2.5	52.1	2.5
雇用者(計)	1,461	18.5	11.2	6.8	4.4	4.2	63.4	1.2
無職(計)	1,006	33.3	9.6	6.0	2.9	2.8	51.9	2.9
ライフステージ別								
独身期	327	13.1	11.3	3.7	7.6	6.4	64.5	1.2
家族形成期	215	13.0	5.6	4.7	3.7	3.7	74.0	-
家族成長前期	245	15.9	8.6	5.3	4.5	2.4	70.6	0.4
家族成長後期	232	19.8	16.4	9.5	3.4	4.3	58.6	-
家族成熟期	463	25.1	11.4	7.6	4.1	2.8	58.3	1.9
高齢期	609	37.1	9.7	6.6	2.5	2.8	47.6	4.3
その他	676	29.7	10.4	8.3	2.7	3.3	52.5	4.1

3 県政への要望 (問17)

- 「県政への要望」は、昭和43年度の第1回県政世論調査から、おおむね継続して実施してきています。

平成16年度において社会状況等の変化を踏まえ、平成7年度から平成15年度まで継続していた選択肢を一部見直しました。

分析において、平成15年度以前の調査結果と比較する場合は、見直し前の対応する選択肢についての結果を使用しています。

- 令和2年度において社会状況等の変化を踏まえ、選択肢を一部追加しました。
- 平成27年度までは、満20歳以上の方を調査対象として実施しており、平成28年度以降は満18歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、前回の令和2年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

3. 県政への要望について

◇「新型コロナウイルス感染症対策を進める」(26.8%)が前回に引き続き1位

問17 埼玉県政への要望についておたずねします。

県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)

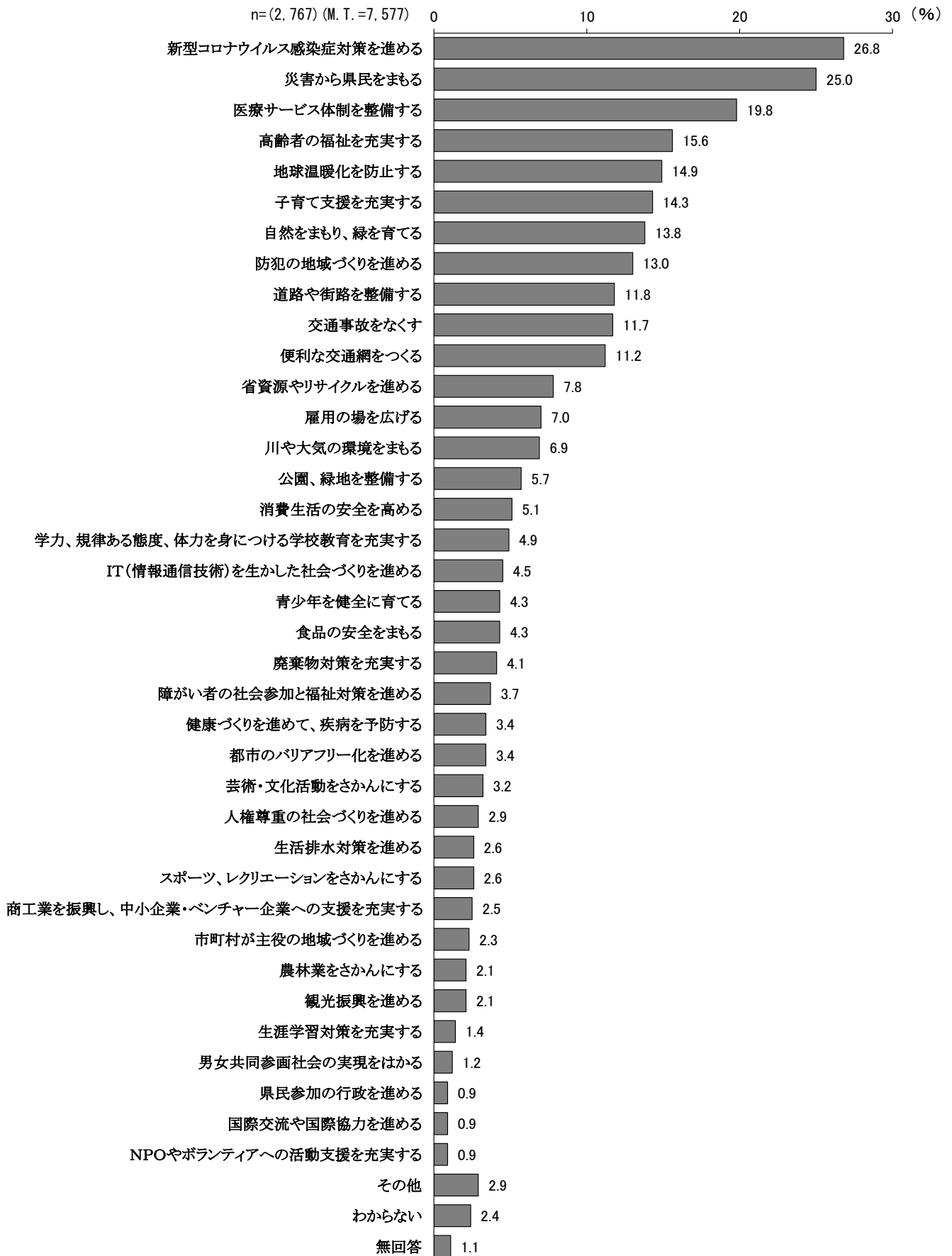
		今 回	前回 (令和2年調査)	増減差
1位	新型コロナウイルス感染症対策を進める	26.8%	37.3% (1位)	△ 10.5
2位	災害から県民をまもる	25.0	25.5 (2位)	△ 0.5
3位	医療サービス体制を整備する	19.8	20.3 (3位)	△ 0.5
4位	高齢者の福祉を充実する	15.6	17.2 (5位)	△ 1.6
5位	地球温暖化を防止する	14.9	17.3 (4位)	△ 2.4
6位	子育て支援を充実する	14.3	12.9 (6位)	1.4
7位	自然をまもり、緑を育てる	13.8	12.9 (6位)	0.9
8位	防犯の地域づくりを進める	13.0	11.8 (8位)	1.2
9位	道路や街路を整備する	11.8	10.0 (9位)	1.8
10位	交通事故をなくす	11.7	8.8 (12位)	2.9

【過去調査との比較】

今回の上位10位と前回の令和2年調査を比べると、上位3項目は前回と同様に「新型コロナウイルス感染症対策を進める」が1位、「災害から県民をまもる」が2位、「医療サービス体制を整備する」が3位となっており、近年の社会状況を反映したものとなっている。また、「交通事故をなくす」は前回12位から順位を2つ上げて10位となっている。

前回調査との増減をみると、「新型コロナウイルス感染症対策を進める」が10.5ポイント減少、「地球温暖化を防止する」が2.4ポイント減少している。一方、「交通事故をなくす」は2.9ポイント増加している。

○「県政」への要望について



【上位10位の属性別比較】

□第1位／新型コロナウイルス感染症対策を進める

地域別では秩父地域（32.5%）で3割強と最も高く、南西部地域（20.5%）で2割台前半と最も低くなっている。

性別では女性（30.2%）の方が男性（22.7%）よりも7.5ポイント高くなっている。

年代別では60歳代（32.1%）で3割強と最も高く、70歳以上（24.6%）で2割台半ばと最も低くなっている。

職業別では無職（計）（30.4%）が3割を超えて高くなっている。

ライフステージ別では家族成熟期（33.5%）と独身期（30.0%）で3割台と高くなっている一方で、家族形成期（22.3%）で2割強と最も低くなっている。

□第2位／災害から県民をまもる

地域別では南部地域（31.0%）で3割強と最も高く、秩父地域（17.5%）で1割台後半と最も低くなっている。

年代別では50歳代（34.0%）が3割台半ばと最も高く、10歳代・20歳代（16.7%）で1割台後半と最も低くなっている。

ライフステージ別では、家族成熟期（30.5%）で3割を超えて最も高く、家族形成期（17.7%）で1割台後半と最も低くなっている。

□第3位／医療サービス体制を整備する

地域別では県央地域（25.7%）で2割台半ばと最も高く、秩父地域（10.0%）で1割と最も低くなっている。

性別では女性（21.6%）の方が男性（17.6%）よりも4.0ポイント高くなっている。

性・年代別では女性50歳代（24.2%）と女性60歳代（24.3%）でともに2割台半ばと高く、男性10歳代・20歳代（10.9%）と男性30歳代（9.9%）では1割前後と低くなっている。

ライフステージ別では高齢期（22.5%）で2割強と最も高く、家族形成期（15.8%）で1割台半ばと最も低くなっている。

□第4位／高齢者の福祉を充実する

地域別では利根地域（20.8%）で2割を超えて最も高く、秩父地域（10.0%）で1割と最も低くなっている。

性・年代別では、男女ともおおむね年代が上がるほど割合が高くなっており、男女とも70歳以上で3割を超えている。

職業別では無職（計）（21.7%）で2割強と最も高くなっている。

ライフステージ別では高齢期（26.4%）で2割台半ばを超えて最も高く、家族成長前期（3.3%）独身期（4.6%）、家族形成期（4.7%）ではそれぞれ1割未満と低くなっている。

□第5位／地球温暖化を防止する

地域別では秩父地域（30.0%）で3割と最も高く、南部地域（12.7%）では1割強と最も低くなっ

ている。

年代別では70歳以上（23.7%）で2割強と最も高く、30歳代（5.1%）と40歳代（8.5%）で1割未満と低くなっている。

ライフステージ別では高齢期（24.0%）で2割台半ばと最も高く、家族形成期（4.2%）と家族成長前期（6.5%）でともに1割未満と低くなっている。

□第6位／子育て支援を充実する

地域別では秩父地域（20.0%）で2割と最も高く、県央地域（11.0%）で1割台前半と最も低くなっている。

性別では女性（15.5%）の方が男性（12.8%）よりも2.7ポイント高くなっている。

年代別では30歳代（42.4%）で4割強と他の年代層を大きく上回って最も高く、50歳代以上になると1割未満と低くなっている。

職業別では雇用者（計）（18.1%）で2割弱と最も高くなっている。

ライフステージ別では家族形成期（58.6%）で6割弱と他の層を大きく上回って最も高くなっている。

□第7位／自然をまもり、緑を育てる

地域別では秩父地域（25.0%）で2割台半ばと最も高く、北部地域（8.9%）で1割未満と最も低くなっている。

年代別では60歳代（16.8%）で1割台半ばを超えて最も高く、30歳代（10.1%）で1割台前半と最も低くなっている。

ライフステージ別では高齢期（16.3%）とその他（16.0%）で1割台半ばを超えて最も高く、家族形成期（10.2%）で最も低くなっている。

□第8位／防犯の地域づくりを進める

地域別では南部地域（20.5%）で2割を超えて最も高く、秩父地域（5.0%）で1割未満と最も低くなっている。

性別では女性（14.2%）の方が男性（11.8%）よりも2.4ポイント高くなっている。

年代別では30歳代（19.9%）で約2割と最も高く、70歳以上（7.5%）で1割未満と最も低くなっている。

ライフステージ別では家族成長前期（21.6%）で2割強と最も高く、高齢期（8.4%）で1割未満と最も低くなっている。

□第9位／道路や街路を整備する

地域別では利根地域（15.5%）で1割台半ばと最も高く、川越比企地域（7.5%）で1割未満と最も低くなっている。

年代別では30歳代（15.2%）で1割台半ばと最も高く、70歳以上（8.0%）で1割未満と最も低くなっている。

性・年代別では男性40歳代（19.1%）で約2割と最も高く、女性70歳以上（7.1%）、女性10歳代・20歳代（9.3%）、男性70歳以上（9.4%）で1割未満と低くなっている。

ライフステージ別では家族成長後期（18.5%）で2割弱と最も高く、高齢期（8.5%）で1割未満と最も低くなっている。

□第10位／交通事故をなくす

地域別では利根地域（14.7%）で1割台半ばと最も高く、秩父地域（5.0%）で1割未満と最も低くなっている。

年代別では10歳代・20歳代（16.7%）と30歳代（16.1%）でともに1割台半ばを超えて高く、60歳代（6.8%）で1割未満と最も低くなっている。

ライフステージ別では家族形成期（18.6%）で2割弱と最も高く、高齢期（8.4%）で1割未満と最も低くなっている。

順位	21	22	23	25	26	27	29	30	31	33	34	35				(%)						
調査数	n	廃棄物対策を充実する	障がい者の社会参加と福祉対策を進める	健康づくりを進めて、疾病を予防する	都市のバリアフリー化を進める	芸術・文化活動をさかんにする	人権尊重の社会づくりを進める	生活排水対策を進める	かんにする	スポーツ、レクリエーションをさかんにする	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	市町村が主役の地域づくりを進める	農林業をさかんにする	観光振興を進める	生涯学習対策を充実する	男女共同参画社会の実現をはかる	県民参加の行政を進める	国際交流や国際協力を進める	NPPOやボランティアへの活動を支援を充実する	その他	わからない	無回答
全体	2,767	4.1	3.7	3.4	3.4	3.2	2.9	2.6	2.6	2.5	2.3	2.1	2.1	1.4	1.2	0.9	0.9	0.9	2.9	2.4	1.1	
地域別																						
南部地域	268	6.0	2.6	2.6	3.7	4.1	1.5	1.9	1.9	2.6	4.1	1.9	2.2	1.1	1.5	0.7	0.7	1.5	2.6	3.0	1.1	
南西部地域	259	3.5	3.5	3.1	3.5	1.5	4.2	1.9	3.5	3.1	2.3	0.4	0.8	1.5	1.2	1.2	0.4	0.4	5.8	3.9	0.8	
東部地域	410	4.9	3.4	3.4	2.7	4.6	2.9	2.9	2.9	3.2	0.7	3.2	1.5	1.5	0.7	1.5	1.0	1.2	2.9	3.2	0.7	
さいたま地域	482	3.1	3.9	3.9	6.0	2.9	3.1	2.9	2.9	1.5	1.2	1.2	2.5	1.5	1.7	0.6	1.9	1.2	2.1	1.7	0.2	
県央地域	218	6.0	1.8	5.0	3.2	2.8	2.3	1.4	1.4	0.9	2.8	1.8	2.8	3.2	1.4	0.5	-	-	1.8	1.8	1.8	
川越比企地域	293	2.0	4.4	3.4	1.7	2.4	1.7	2.7	3.1	1.7	1.4	1.4	3.4	0.3	1.7	0.3	0.7	1.0	3.4	4.1	1.7	
西部地域	299	5.0	4.0	4.3	3.0	4.0	2.0	1.3	2.0	2.7	4.0	3.0	1.7	0.3	1.3	1.7	1.3	1.0	1.7	1.3	0.3	
利根地域	245	3.3	3.7	1.6	2.9	2.4	2.9	4.1	2.4	3.3	1.6	2.4	0.8	1.2	-	-	-	0.4	4.1	1.2	-	
北部地域	203	4.4	6.4	3.0	2.0	4.4	4.9	4.4	3.4	5.4	3.4	3.4	3.0	3.0	0.5	1.5	1.5	-	2.5	1.0	-	
秩父地域	40	-	2.5	-	2.5	-	5.0	2.5	2.5	-	5.0	2.5	2.5	-	2.5	-	-	-	-	5.0	-	
性別																						
男性	1,134	4.9	3.4	3.1	3.2	3.4	2.6	2.9	4.5	3.9	3.2	2.6	3.2	1.9	0.7	1.1	0.6	1.0	3.4	2.5	0.7	
女性	1,585	3.5	3.9	3.6	3.5	3.1	3.1	2.3	1.3	1.6	1.6	1.8	1.3	1.1	1.5	0.8	1.1	0.8	2.5	2.3	0.7	
年代別																						
18・19歳	53	3.8	5.7	-	3.8	3.8	7.5	3.8	3.8	5.7	-	3.8	5.7	-	3.8	1.9	7.5	1.9	5.7	1.9	-	
20歳代	229	4.4	3.1	0.9	2.2	7.4	3.1	0.4	5.2	4.4	0.4	-	3.9	2.2	3.5	1.7	1.3	0.4	2.2	3.1	0.4	
【再掲】10歳代・20歳代	282	4.3	3.5	0.7	2.5	6.7	3.9	1.1	5.0	4.6	0.4	0.7	4.3	1.8	3.5	1.8	2.5	0.7	2.8	2.8	0.4	
30歳代	316	1.3	6.0	2.8	1.9	3.2	2.2	1.3	3.2	1.9	0.9	0.9	1.9	0.3	1.9	1.3	0.6	0.3	2.8	1.6	-	
40歳代	481	2.1	2.7	1.9	3.3	2.9	2.5	1.9	3.5	2.7	1.9	1.0	2.5	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	4.4	3.3	0.4	
50歳代	524	3.6	4.4	2.9	3.6	2.7	1.9	3.8	1.7	3.1	1.7	2.1	2.9	1.3	0.4	0.8	1.1	0.6	3.2	1.7	0.4	
60歳代	471	4.5	2.5	2.8	4.0	3.6	3.2	3.2	3.2	2.8	3.4	4.2	1.1	1.7	0.8	1.1	0.6	1.1	3.2	2.8	0.8	
70歳以上	650	7.1	3.5	6.6	3.8	2.2	3.5	3.1	1.1	1.1	3.7	2.5	0.9	2.3	1.1	0.5	0.5	1.4	1.5	2.3	1.8	
性・年代別																						
男性／18・19歳	28	3.6	7.1	-	7.1	-	10.7	-	7.1	7.1	-	3.6	7.1	-	3.6	3.6	3.6	-	7.1	-	-	
20歳代	91	6.6	3.3	1.1	-	7.7	2.2	1.1	8.8	7.7	-	-	3.3	3.3	1.1	2.2	1.1	1.1	2.2	3.3	-	
【再掲】10歳代・20歳代	119	5.9	4.2	0.8	1.7	5.9	4.2	0.8	8.4	7.6	-	0.8	4.2	2.5	1.7	2.5	1.7	0.8	3.4	2.5	-	
30歳代	111	0.9	6.3	0.9	1.8	3.6	4.5	2.7	4.5	4.5	1.8	-	4.5	0.9	0.9	3.6	-	-	0.9	0.9	-	
40歳代	173	2.3	1.7	0.6	2.9	2.3	2.9	0.6	8.7	4.6	2.3	1.7	2.9	1.2	1.2	0.6	0.6	1.2	6.9	4.0	0.6	
50歳代	226	4.0	4.9	3.1	3.1	2.7	0.9	5.3	2.7	5.3	3.1	2.2	4.4	0.9	0.4	0.4	0.4	0.4	3.5	2.7	-	
60歳代	215	4.2	2.3	2.8	5.6	4.7	2.8	2.3	3.7	2.3	4.2	4.2	2.3	1.4	0.9	1.4	0.9	1.4	3.7	3.3	-	
70歳以上	286	9.1	2.4	6.3	2.8	2.8	2.1	3.8	2.4	1.4	4.9	3.8	2.1	3.8	-	-	0.3	1.4	2.1	1.4	2.4	
女性／18・19歳	25	4.0	4.0	-	-	8.0	4.0	8.0	-	4.0	-	4.0	4.0	-	4.0	-	-	12.0	4.0	4.0	-	
20歳代	137	2.9	2.9	0.7	3.6	7.3	3.6	-	2.9	2.2	0.7	-	4.4	1.5	5.1	1.5	1.5	-	1.5	2.9	0.7	
【再掲】10歳代・20歳代	162	3.1	3.1	0.6	3.1	7.4	3.7	1.2	2.5	2.5	0.6	0.6	4.3	1.2	4.9	1.2	3.1	0.6	1.9	3.1	0.6	
30歳代	205	1.5	5.9	3.9	2.0	2.9	1.0	0.5	2.4	0.5	0.5	1.5	0.5	-	2.4	-	1.0	0.5	3.9	2.0	-	
40歳代	308	1.9	3.2	2.6	3.6	3.2	2.3	2.6	0.6	1.6	1.6	0.6	2.3	0.3	0.3	1.0	1.0	0.6	2.9	2.9	0.3	
50歳代	298	3.4	4.0	2.7	4.0	2.7	2.7	2.7	1.0	1.3	0.7	2.0	1.7	1.7	0.3	1.0	1.7	0.7	3.0	1.0	0.7	
60歳代	255	4.7	2.7	2.7	2.7	2.7	3.5	3.9	2.7	3.1	2.7	4.3	-	2.0	0.8	0.8	0.4	0.8	2.7	2.4	1.6	
70歳以上	352	5.7	4.5	6.8	4.8	1.7	4.8	2.3	-	0.9	2.8	1.4	-	1.1	2.0	0.6	0.6	1.4	1.1	2.6	0.9	
職業別																						
自営業・家族従業（計）	242	5.4	5.4	2.9	2.5	5.0	3.3	2.1	1.2	7.4	2.9	5.8	2.5	1.7	0.8	0.4	0.8	1.2	4.1	3.3	0.8	
雇用者（計）	1,461	3.3	3.1	2.5	3.4	3.2	2.3	2.3	3.1	2.5	2.0	1.4	2.7	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	3.6	2.2	0.4	
無職（計）	1,006	4.9	4.1	4.8	3.7	2.8	3.5	3.3	2.3	1.5	2.6	2.3	1.1	1.7	1.2	0.9	1.2	1.1	1.7	2.2	1.0	
ライフステージ別																						
独身期	327	4.3	5.5	0.9	2.4	6.4	4.0	0.9	4.0	3.4	0.6	0.6	3.7	1.5	4.0	1.8	1.8	0.6	2.8	2.8	0.3	
家族形成期	215	0.9	4.7	1.9	2.8	3.3	1.4	1.9	3.3	2.8	0.5	1.4	2.8	0.9	0.9	1.4	0.5	0.5	2.8	1.9	-	
家族成長前期	245	1.2	4.1	2.0	0.8	2.4	1.6	1.6	5.7	2.4	0.8	1.6	2.4	0.4	0.8	-	0.4	1.2	3.3	1.2	0.4	
家族成長後期	232	2.2	2.6	4.3	1.7	2.6	1.3	2.2	3.0	2.2	1.3	0.9	2.6	0.4	-	0.9	2.2	-	4.3	3.4	-	
家族成熟期	463	5.0	4.8	3.2	3.5	3.7	2.6	2.6	1.5	2.8	2.6	1.5	2.4	1.3	0.9	1.5	0.4	1.1	2.8	2.2	1.1	
高齢期	609	6.1	3.0	5.1	3.1	2.0	4.3	3.1	2.1	1.6	3.6	3.6	0.7	2.8	1.1	0.3	0.8	1.5	2.0	2.0	0.7	
その他	676	4.3	2.7	3.8	5.6	2.8	3.0	3.7	1.6	2.7	3.1	2.5	1.8	1.2	0.6	0.7	0.7	0.6	3.4	3.0	3.0	

【平成29年以降の上位10位の推移】

過去5年間の上位10位の推移をみると、今回の令和3年の1位は前回に引き続き「新型コロナウイルス感染症対策を進める」となった。2位の「災害から県民をまもる」（4位→1位→3位→2位→2位）と3位の「医療サービス体制を整備する」（2位→3位→2位→3位→3位）は前回順位を維持している。4位の「高齢者の福祉を充実する」（1位→2位→1位→5位→4位）は前回から順位を1つ上げた。5位の「地球温暖化を防止する」（12位→10位→9位→4位→5位）は順位を上げ続けていたが、今回順位を1つ下げた。6位の「子育て支援を充実する」（3位→4位→4位→6位→6位）は前回順位を維持している。7位の「自然をまもり、緑を育てる」（8位→6位→10位→6位→7位）は前回から順位を1つ下げた。8位の「防犯の地域づくりを進める」（5位→5位→5位→8位→8位）と9位の「道路や街路を整備する」（7位→7位→7位→9位→9位）は前回順位を維持している。10位の「交通事故をなくす」（6位→9位→6位→12位→10位）は前回から順位を2つ上げた。

順位	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
1	高齢者の福祉を充実する 26.0%	災害から県民をまもる 25.1%	高齢者の福祉を充実する 24.2%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 37.3%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.8%
2	医療サービス体制を整備する 22.9%	高齢者の福祉を充実する 22.9%	医療サービス体制を整備する 23.4%	災害から県民をまもる 25.5%	災害から県民をまもる 25.0%
3	子育て支援を充実する 22.5%	医療サービス体制を整備する 21.8%	災害から県民をまもる 19.4%	医療サービス体制を整備する 20.3%	医療サービス体制を整備する 19.8%
4	災害から県民をまもる 17.6%	子育て支援を充実する 21.1%	子育て支援を充実する 18.5%	地球温暖化を防止する 17.3%	高齢者の福祉を充実する 15.6%
5	防犯の地域づくりを進める 14.7%	防犯の地域づくりを進める 14.7%	防犯の地域づくりを進める 16.7%	高齢者の福祉を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 14.9%
6	交通事故をなくす 13.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 16.6%	自然をまもり、緑を育てる 17.2%	子育て支援を充実する 14.3%
7	道路や街路を整備する 12.8%	道路や街路を整備する 12.7%	道路や街路を整備する 13.4%	子育て支援を充実する 12.9%	自然をまもり、緑を育てる 13.8%
8	自然をまもり、緑を育てる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.9%	防犯の地域づくりを進める 11.8%	防犯の地域づくりを進める 13.0%
9	便利な交通網をつくる 12.0%	交通事故をなくす 12.5%	地球温暖化を防止する 12.7%	道路や街路を整備する 10.0%	道路や街路を整備する 11.8%
10	食品の安全をまもる 11.4%	地球温暖化を防止する 12.3%	自然をまもり、緑を育てる 12.3%	便利な交通網をつくる 10.0%	交通事故をなくす 11.7%

【上位2位から5位の10年間の推移】

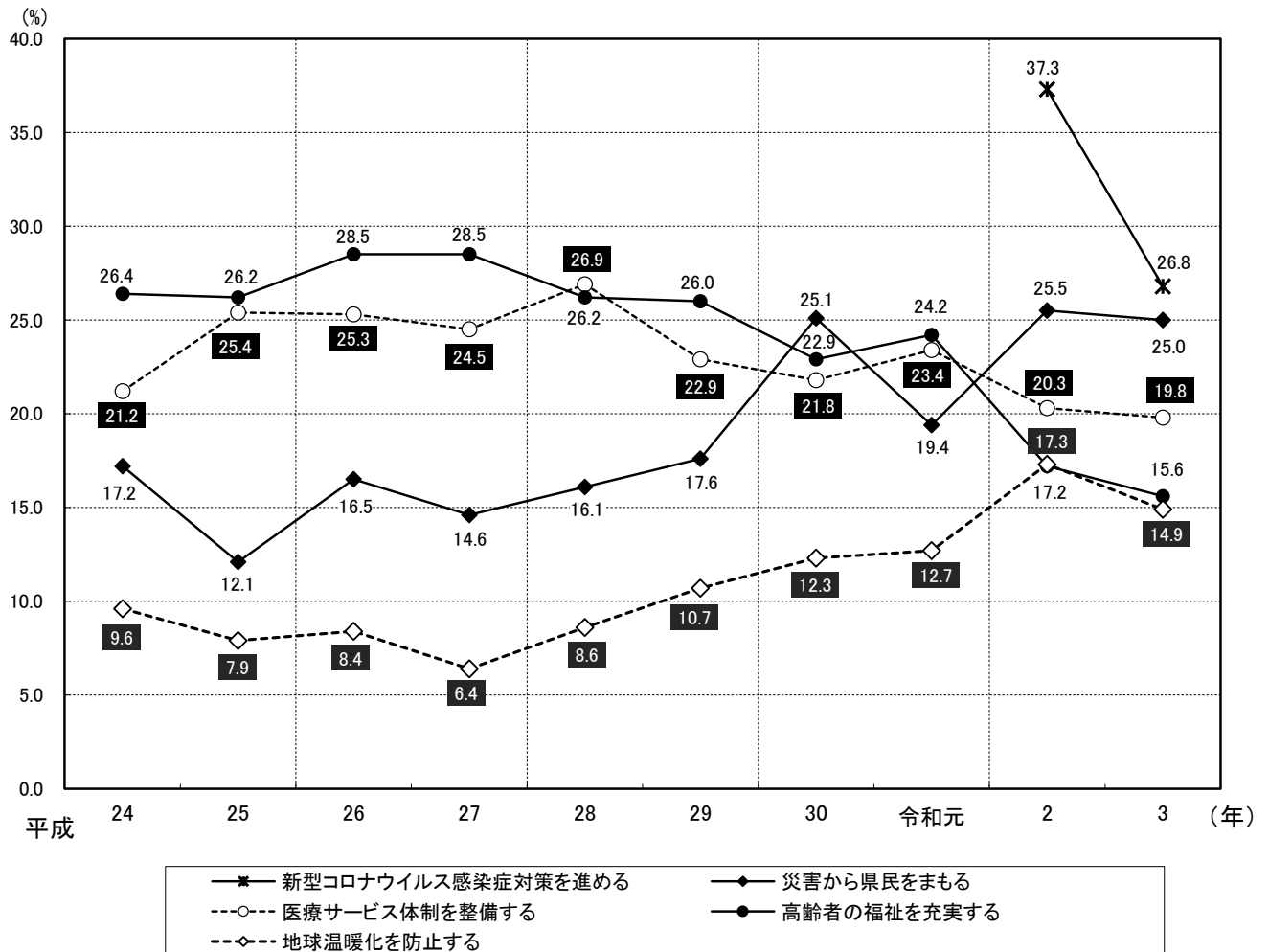
令和2年の新設選択肢の「新型コロナウイルス感染症対策を進める」を除いて、今回調査で上位となった「災害から県民をまもる」、「医療サービス体制を整備する」、「高齢者の福祉を充実する」、「地球温暖化を防止する」の4項目について、平成24年以降の直近10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、2位の「災害から県民をまもる」は平成29年までは10%台で推移していたが平成30年（25.1%）の2割台半ばまで増加した。令和元年（19.4%）に1割台に減少したが、その後は2割台半ばまで増加して推移している。

3位の「医療サービス体制を整備する」は平成28年（26.9%）に2割台半ばを超えたが、その後は2割台前半で推移し、今回調査（19.8%）では2割を下回った。

4位の「高齢者の福祉を充実する」は、平成24年以降2割台後半で推移してきたが、平成30年に2割台前半（22.9%）まで減少し、前回調査（17.2%）で1割台に減少して今回調査（15.6%）では1割台半ばまで減少した。

5位の「地球温暖化を防止する」は、平成24年以降1割未満で推移してきたが、平成29年（10.7%）に1割台となり前回調査（17.3%）では1割台半ばを超えるまで増加したが、今回調査（14.9%）では1割台半ばに減少した。



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別の上位5位】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=268)	災害から県民をまもる 31.0%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.9%	医療サービス体制を整備する 20.9%	防犯の地域づくりを進める 20.5%	地球温暖化を防止する／子育て支援を充実する 12.7%
南西部地域 (n=259)	災害から県民をまもる 28.6%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 20.5%	子育て支援を充実する 17.8%	医療サービス体制を整備する 16.6%	地球温暖化を防止する 15.4%
東部地域 (n=410)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 25.4%	災害から県民をまもる 24.9%	医療サービス体制を整備する 19.0%	高齢者の福祉を充実する 15.9%	防犯の地域づくりを進める 14.9%
さいたま地域 (n=482)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 28.0%	災害から県民をまもる 22.0%	医療サービス体制を整備する 18.5%	子育て支援を充実する 16.8%	防犯の地域づくりを進める 14.7%
県央地域 (n=218)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 29.8%	医療サービス体制を整備する 25.7%	災害から県民をまもる 19.3%	地球温暖化を防止する 17.4%	高齢者の福祉を充実する 16.1%
川越比企地域 (n=293)	災害から県民をまもる 29.7%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 29.0%	医療サービス体制を整備する 20.8%	高齢者の福祉を充実する 19.1%	自然をまもり、緑を育てる 16.7%
西部地域 (n=299)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 25.8%	災害から県民をまもる 24.4%	医療サービス体制を整備する 19.1%	自然をまもり、緑を育てる 18.4%	地球温暖化を防止する 17.4%
利根地域 (n=245)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 28.2%	災害から県民をまもる 24.1%	医療サービス体制を整備する 22.4%	高齢者の福祉を充実する 20.8%	子育て支援を充実する 16.3%
北部地域 (n=203)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 30.0%	災害から県民をまもる 25.6%	医療サービス体制を整備する 21.7%	高齢者の福祉を充実する 19.2%	地球温暖化を防止する 13.3%
秩父地域 (n=40)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 32.5%	地球温暖化を防止する 30.0%	自然をまもり、緑を育てる 25.0%	子育て支援を充実する 20.0%	災害から県民をまもる／便利な交通網をつくる 17.5%

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=1,134)	災害から県民をまもる 25.0%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 22.7%	医療サービス体制を整備する 17.6%	高齢者の福祉を充実する 15.8%	地球温暖化を防止する 14.1%
女性 (n=1,585)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 30.2%	災害から県民をまもる 25.4%	医療サービス体制を整備する 21.6%	高齢者の福祉を充実する／ 子育て支援を充実する	15.5%

■ライフステージ別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
独身期 (n=327)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 30.0%	災害から県民をまもる 20.5%	便利な交通網をつくる 17.4%	防犯の地域づくりを進める／医療サービス体制を整備する 17.1%	
家族形成期 (n=215)	子育て支援を充実する 58.6%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 22.3%	交通事故をなくす 18.6%	災害から県民をまもる 17.7%	道路や街路を整備する 16.7%
家族成長前期 (n=245)	子育て支援を充実する 40.8%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 22.4%	災害から県民をまもる／防犯の地域づくりを進める 21.6%		医療サービス体制を整備する 19.6%
家族成長後期 (n=232)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 28.0%	災害から県民をまもる 25.9%	医療サービス体制を整備する 22.4%	道路や街路を整備する 18.5%	高齢者の福祉を充実する 13.4%
家族成熟期 (n=463)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 33.5%	災害から県民をまもる 30.5%	医療サービス体制を整備する 20.5%	高齢者の福祉を充実する 17.7%	地球温暖化を防止する 14.5%
高齢期 (n=609)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 27.6%	高齢者の福祉を充実する 26.4%	地球温暖化を防止する 24.0%	災害から県民をまもる 23.8%	医療サービス体制を整備する 22.5%
その他 (n=676)	災害から県民をまもる 28.0%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 22.5%	高齢者の福祉を充実する 18.6%	医療サービス体制を整備する 18.5%	自然をまもり、緑を育てる 16.0%

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18・19歳 (n=53)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 32.1%	地球温暖化を防止する 20.8%	便利な交通網をつくる 18.9%	交通事故をなくす／防犯の地域づくりを進める 17.0%	
20歳代 (n=229)	子育て支援を充実する 27.1%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 25.8%	便利な交通網をつくる 18.3%	災害から県民をまもる 17.0%	交通事故をなくす 16.6%
【再掲】 10・20歳代 (n=282)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 27.0%	子育て支援を充実する 24.5%	便利な交通網をつくる 18.4%	交通事故をなくす／災害から県民をまもる 16.7%	
30歳代 (n=316)	子育て支援を充実する 42.4%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.9%	災害から県民をまもる 21.8%	防犯の地域づくりを進める 19.9%	医療サービス体制を整備する 16.8%
40歳代 (n=481)	災害から県民をまもる 26.4%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 25.8%	医療サービス体制を整備する 21.0%	子育て支援を充実する 20.8%	防犯の地域づくりを進める 17.7%
50歳代 (n=524)	災害から県民をまもる 34.0%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.7%	医療サービス体制を整備する 22.1%	自然をまもり、緑を育てる 14.5%	防犯の地域づくりを進める／高齢者の福祉を充実する 13.7%
60歳代 (n=471)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 32.1%	災害から県民をまもる 27.4%	医療サービス体制を整備する 21.9%	高齢者の福祉を充実する 20.0%	地球温暖化を防止する 17.8%
70歳以上 (n=650)	高齢者の福祉を充実する 30.5%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 24.6%	地球温暖化を防止する 23.7%	災害から県民をまもる 20.8%	医療サービス体制を整備する 19.5%

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【男性】 18・19歳 (n=28)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 25.0%	交通事故をなくす/ 便利な交通網をつくる 21.4%	地球温暖化を防止する/ 防犯の地域づくりを進める/ I T (情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 17.9%		
20歳代 (n=91)	子育て支援を充実する/ 新型コロナウイルス感染症対策を進める 24.2%	I T (情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 20.9%	便利な交通網をつくる 17.6%	自然をまもり、緑を育てる 14.3%	
【再掲】 10・20歳代 (n=119)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 24.4%	子育て支援を充実する 21.0%	I T (情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 20.2%	便利な交通網をつくる 18.5%	自然をまもり、緑を育てる 14.3%
30歳代 (n=111)	子育て支援を充実する 40.5%	災害から県民をまもる 25.2%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 21.6%	交通事故をなくす/ 防犯の地域づくりを進める/ 道路や街路を整備する/ I T (情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 16.2%	
40歳代 (n=173)	災害から県民をまもる 25.4%	道路や街路を整備する/ 新型コロナウイルス感染症対策を進める 19.1%	子育て支援を充実する 18.5%	医療サービス体制を整備する 16.8%	
50歳代 (n=226)	災害から県民をまもる 34.5%	医療サービス体制を整備する/ 新型コロナウイルス感染症対策を進める 19.5%	交通事故をなくす 16.4%	便利な交通網をつくる 15.9%	
60歳代 (n=215)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 31.2%	災害から県民をまもる 30.7%	高齢者の福祉を充実する 20.9%	医療サービス体制を整備する 18.6%	地球温暖化を防止する/ 自然をまもり、緑を育てる 15.8%
70歳以上 (n=286)	高齢者の福祉を充実する 30.4%	地球温暖化を防止する 23.1%	医療サービス体制を整備する 22.0%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 20.6%	災害から県民をまもる 18.5%
【女性】 18・19歳 (n=25)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 40.0%	地球温暖化を防止する 24.0%	災害から県民をまもる 20.0%	防犯の地域づくりを進める/ 便利な交通網をつくる/ 子育て支援を充実する 16.0%	
20歳代 (n=137)	子育て支援を充実する 29.2%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 27.0%	交通事故をなくす/ 災害から県民をまもる 20.4%	防犯の地域づくりを進める 19.7%	
【再掲】 10・20歳代 (n=162)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 29.0%	子育て支援を充実する 27.2%	災害から県民をまもる 20.4%	交通事故をなくす/ 防犯の地域づくりを進める 19.1%	
30歳代 (n=205)	子育て支援を充実する 43.4%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 29.8%	防犯の地域づくりを進める 22.0%	医療サービス体制を整備する 20.5%	災害から県民をまもる 20.0%
40歳代 (n=308)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 29.5%	災害から県民をまもる 26.9%	医療サービス体制を整備する 23.4%	子育て支援を充実する 22.1%	防犯の地域づくりを進める 20.8%
50歳代 (n=298)	災害から県民をまもる 33.6%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 32.2%	医療サービス体制を整備する 24.2%	高齢者の福祉を充実する 15.8%	自然をまもり、緑を育てる 14.1%
60歳代 (n=255)	新型コロナウイルス感染症対策を進める 32.9%	災害から県民をまもる 24.7%	医療サービス体制を整備する 24.3%	地球温暖化を防止する 19.6%	高齢者の福祉を充実する 19.2%
70歳以上 (n=352)	高齢者の福祉を充実する 30.1%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 27.8%	地球温暖化を防止する 24.7%	災害から県民をまもる 23.0%	医療サービス体制を整備する 18.2%

県政への要望 10年間の推移（平成24年度～令和3年度）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1	高齢者の福祉を充実する 26.4%	高齢者の福祉を充実する 26.2%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	医療サービス体制を整備する 26.9%
2	医療サービス体制を整備する 21.2%	医療サービス体制を整備する 25.4%	医療サービス体制を整備する 25.3%	医療サービス体制を整備する 24.5%	高齢者の福祉を充実する 26.2%
3	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	子育て支援を充実する 20.0%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する 23.4%	子育て支援を充実する 23.0%
4	防犯の地域づくりを進める 17.6%	防犯の地域づくりを進める 16.9%	防犯の地域づくりを進める 16.7%	防犯の地域づくりを進める 17.4%	防犯の地域づくりを進める 17.9%
5	雇用の場を広げる 17.3%	雇用の場を広げる 15.7%	災害から県民をまもる 16.5%	災害から県民をまもる 14.6%	災害から県民をまもる 16.1%
6	災害から県民をまもる 17.2%	食品の安全をまもる 15.2%	雇用の場を広げる 15.3%	食品の安全をまもる 13.4%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%
7	子育て支援を充実する 16.6%	自然をまもり、緑を育てる 15.0%	交通事故をなくす 14.2%	道路や街路を整備する 13.0%	雇用の場を広げる 12.8%
8	食品の安全をまもる 14.2%	災害から県民をまもる 12.1%	食品の安全をまもる 13.8%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.0%
9	交通事故をなくす 13.2%	交通事故をなくす 11.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.4%	食品の安全をまもる 11.9%
10	地球温暖化を防止する 9.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.2%	便利な交通網をつくる 11.7%	便利な交通網をつくる 12.0%	便利な交通網をつくる 11.7%
11	道路や街路を整備する 8.4%	道路や街路を整備する/ 9.2%	道路や街路を整備する 11.1%	交通事故をなくす 10.5%	交通事故をなくす 9.9%
12	便利な交通網をつくる 8.2%	便利な交通網をつくる 9.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.8%
13	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.0%	川や大気環境をまもる 8.6%	川や大気環境をまもる 8.7%	青少年を健全に育てる 7.9%	地球温暖化を防止する 8.6%
14	省資源やリサイクルを進める/ 7.8%	地球温暖化を防止する 7.9%	地球温暖化を防止する 8.4%	川や大気環境をまもる 6.6%	川や大気環境をまもる 8.0%
15	青少年を健全に育てる 7.8%	青少年を健全に育てる 6.9%	青少年を健全に育てる 7.3%	地球温暖化を防止する/ 6.4%	青少年を健全に育てる 6.9%
16	川や大気環境をまもる 6.5%	省資源やリサイクルを進める 5.9%	省資源やリサイクルを進める 6.6%	公園、緑地を整備する 6.4%	公園、緑地を整備する 5.4%
17	消費生活の安全を高める 6.0%	公園、緑地を整備する 5.8%	消費生活の安全を高める 6.5%	消費生活の安全を高める 6.3%	省資源やリサイクルを進める/ 5.2%
18	公園、緑地を整備する 5.3%	消費生活の安全を高める 5.1%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 5.9%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 5.6%	消費生活の安全を高める 5.2%
19	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.7%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.8%	公園、緑地を整備する 5.2%	省資源やリサイクルを進める 5.1%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.8%
20	廃棄物対策を充実する 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.8%	障がい者の社会参加と 福祉対策を進める 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.3%	障がい者の社会参加と 福祉対策を進める 4.7%
21	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.1%	廃棄物対策を充実する/ 3.7%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.5%	障がい者の社会参加と 福祉対策を進める 3.7%	廃棄物対策を充実する/ 3.4%
22	障がい者の社会参加と 福祉対策を進める 3.8%	障がい者の社会参加と 福祉対策を進める 3.7%	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 3.1%	都市のバリアフリー化を進める 3.4%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4%
23	都市のバリアフリー化を進める/ 2.2%	都市のバリアフリー化を進める/ 2.4%	廃棄物対策を充実する 3.0%	生活排水対策を進める 3.2%	都市のバリアフリー化を進める 3.3%
24	人権尊重の社会づくりを進める/ 2.7%	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 2.4%	都市のバリアフリー化を進める/ 2.9%	廃棄物対策を充実する 3.1%	生活排水対策を進める/ 2.3%
25	農林業をさかんにする 2.7%	人権尊重の社会づくりを進める 2.3%	市町村が主役の地域づくりを 進める 2.9%	市町村が主役の地域づくりを 進める/ 2.6%	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 3.1%
26	生活排水対策を進める/ 2.5%	農林業をさかんにする 2.2%	生活排水対策を進める 2.8%	芸術・文化活動をさかんにする/ 2.6%	生涯学習対策を充実する/ 2.2%
27	市町村が主役の地域づくりを 進める 2.5%	芸術・文化活動をさかんにする 2.1%	人権尊重の社会づくりを進める/ 2.1%	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 2.6%	芸術・文化活動をさかんにする 2.3%
28	芸術・文化活動をさかんにする/ 2.1%	観光振興を進める 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 2.4%	農林業をさかんにする 2.4%	人権尊重の社会づくりを進める 2.2%
29	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 2.1%	生活排水対策を進める/ 1.7%	農林業をさかんにする 2.1%	生涯学習対策を充実する 2.1%	市町村が主役の地域づくりを 進める 2.1%
30	観光振興を進める 2.1%	生涯学習対策を充実する/ 1.8%	県民参加の行政を進める 1.7%	観光振興を進める 2.0%	農林業をさかんにする/ 1.8%
31	県民参加の行政を進める 2.0%	市町村が主役の地域づくりを 進める 1.8%	観光振興を進める/ 1.6%	人権尊重の社会づくりを進める 1.6%	観光振興を進める 1.8%
32	生涯学習対策を充実する 1.8%	県民参加の行政を進める 1.4%	生涯学習対策を充実する 1.6%	男女共同参画社会の 実現をはかる/ 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 1.1%
33	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 1.1%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 1.3%	男女共同参画社会の 実現をはかる/ 1.2%	県民参加の行政を進める 1.0%	県民参加の行政を進める/ 0.9%
34	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する/ 0.9%	国際交流や国際協力を進める 0.9%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.2%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める/ 0.9%	国際交流や国際協力を進める 0.9%
35	国際交流や国際協力を進める 0.9%	男女共同参画社会の 実現をはかる/ 0.8%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める/ 0.8%	国際交流や国際協力を進める 0.9%	男女共同参画社会の 実現をはかる 0.8%
36	男女共同参画社会の 実現をはかる 0.7%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 0.8%	国際交流や国際協力を進める 0.8%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 0.8%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 0.7%

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	高齢者の福祉を充実する 26.0%	災害から県民をまもる 25.1%	高齢者の福祉を充実する 24.2%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 37.3%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.8%
2	医療サービス体制を整備する 22.9%	高齢者の福祉を充実する 22.9%	医療サービス体制を整備する 23.4%	災害から県民をまもる 25.5%	災害から県民をまもる 25.0%
3	子育て支援を充実する 22.5%	医療サービス体制を整備する 21.8%	災害から県民をまもる 19.4%	医療サービス体制を整備する 20.3%	医療サービス体制を整備する 19.8%
4	災害から県民をまもる 17.6%	子育て支援を充実する 21.1%	子育て支援を充実する 18.5%	地球温暖化を防止する 17.3%	高齢者の福祉を充実する 15.6%
5	防犯の地域づくりを進める 14.7%	防犯の地域づくりを進める 14.7%	防犯の地域づくりを進める 16.7%	高齢者の福祉を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 14.9%
6	交通事故をなくす 13.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 16.6%	自然をまもり、緑を育てる/ 子育て支援を充実する 12.9%	子育て支援を充実する 14.3%
7	道路や街路を整備する 12.8%	道路や街路を整備する 12.7%	道路や街路を整備する 13.4%	防犯の地域づくりを進める 11.8%	自然をまもり、緑を育てる 13.8%
8	自然をまもり、緑を育てる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.9%	道路や街路を整備する/ 交通事故をなくす 10.0%	防犯の地域づくりを進める 13.0%
9	便利な交通網をつくる 12.0%	交通事故をなくす 12.5%	地球温暖化を防止する 12.7%	道路や街路を整備する/ 交通事故をなくす 10.0%	道路や街路を整備する 11.8%
10	食品の安全をまもる 11.4%	地球温暖化を防止する 12.3%	自然をまもり、緑を育てる 12.3%	便利な交通網をつくる 10.0%	交通事故をなくす 11.7%
11	雇用の場を広げる 10.8%	食品の安全をまもる 11.9%	雇用の場を広げる 9.6%	川や大気環境をまもる 9.1%	便利な交通網をつくる 11.2%
12	地球温暖化を防止する 10.7%	雇用の場を広げる 8.6%	食品の安全をまもる 9.3%	交通事故をなくす 8.8%	省資源やリサイクルを進める 7.8%
13	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.2%	川や大気環境をまもる 8.4%	省資源やリサイクルを進める 8.4%	省資源やリサイクルを進める 7.7%	雇用の場を広げる 7.0%
14	川や大気環境をまもる 8.0%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 7.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.1%	雇用の場を広げる 7.2%	川や大気環境をまもる 6.9%
15	青少年を健全に育てる 6.8%	青少年を健全に育てる 6.7%	川や大気環境をまもる 7.9%	公園、緑地を整備する 6.0%	公園、緑地を整備する 5.7%
16	公園、緑地を整備する 5.8%	省資源やリサイクルを進める/ 消費生活の安全を高める/ 公園、緑地を整備する 5.6%	青少年を健全に育てる 7.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 5.1%	消費生活の安全を高める 5.1%
17	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 5.5%	消費生活の安全を高める/ 公園、緑地を整備する 5.6%	公園、緑地を整備する 5.6%	消費生活の安全を高める 4.8%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 4.9%
18	消費生活の安全を高める 5.2%	公園、緑地を整備する 5.6%	消費生活の安全を高める 5.5%	青少年を健全に育てる 4.6%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 4.5%
19	省資源やリサイクルを進める/ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.6%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 4.7%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 4.9%	食品の安全をまもる 4.2%	青少年を健全に育てる 4.2%
20	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.6%	廃棄物対策を充実する/ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.1%	廃棄物対策を充実する 4.7%	廃棄物対策を充実する 4.1%	食品の安全をまもる/ 廃棄物対策を充実する 4.3%
21	都市のバリアフリー化を進める 4.3%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.1%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.8%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 3.5%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 4.1%
22	廃棄物対策を充実する 3.5%	都市のバリアフリー化を進める 3.5%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 3.4%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 2.9%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 3.7%
23	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.3%	観光振興を進める/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.0%	都市のバリアフリー化を進める 3.1%	農林業をさかんにする/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.8%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 3.2%
24	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.9%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.0%	生活排水対策を進める 3.0%	芸術・文化活動をさかんにする 2.8%	都市のバリアフリー化を進める/ 生活排水対策を進める 3.4%
25	生活排水対策を進める 2.8%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.7%	観光振興を進める 2.9%	人権尊重の社会づくりを進める 2.6%	芸術・文化活動をさかんにする 3.2%
26	市町村が主役の地域づくりを進める/ 人権尊重の社会づくりを進める 2.6%	生活排水対策を進める 2.5%	芸術・文化活動をさかんにする 2.6%	生活排水対策を進める/ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 2.4%	人権尊重の社会づくりを進める 2.9%
27	人権尊重の社会づくりを進める 2.6%	農林業をさかんにする 2.3%	人権尊重の社会づくりを進める 2.5%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 2.4%	生活排水対策を進める/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.6%
28	芸術・文化活動をさかんにする 2.5%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 2.2%	市町村が主役の地域づくりを進める 2.1%	都市のバリアフリー化を進める/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.3%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.6%
29	観光振興を進める 2.4%	人権尊重の社会づくりを進める/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.0%	農林業をさかんにする 2.0%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.3%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.5%
30	農林業をさかんにする 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 2.0%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める/ 生涯学習対策を充実する/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.8%	市町村が主役の地域づくりを進める/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.9%	市町村が主役の地域づくりを進める 2.3%
31	生涯学習対策を充実する 1.8%	市町村が主役の地域づくりを進める 1.9%	生涯学習対策を充実する/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.8%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.9%	農林業をさかんにする/ 観光振興を進める 2.1%
32	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 1.6%	生涯学習対策を充実する 1.6%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.8%	観光振興を進める 1.8%	観光振興を進める 2.1%
33	国際交流や国際協力を進める 1.2%	国際交流や国際協力を進める 1.4%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 県民参加の行政を進める 1.0%	生涯学習対策を充実する 1.4%
34	県民参加の行政を進める 1.1%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力を進める 1.0%	県民参加の行政を進める 1.0%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%
35	男女共同参画社会の実現をはかる 0.7%	県民参加の行政を進める 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%	生涯学習対策を充実する 0.9%	県民参加の行政を進める/ 国際交流や国際協力を進める 0.9%
36	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.6%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.5%	県民参加の行政を進める 0.6%	国際交流や国際協力を進める 0.8%	国際交流や国際協力を進める 0.9%
37	-	-	-	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.7%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する/ 0.9%

4 共生社会について

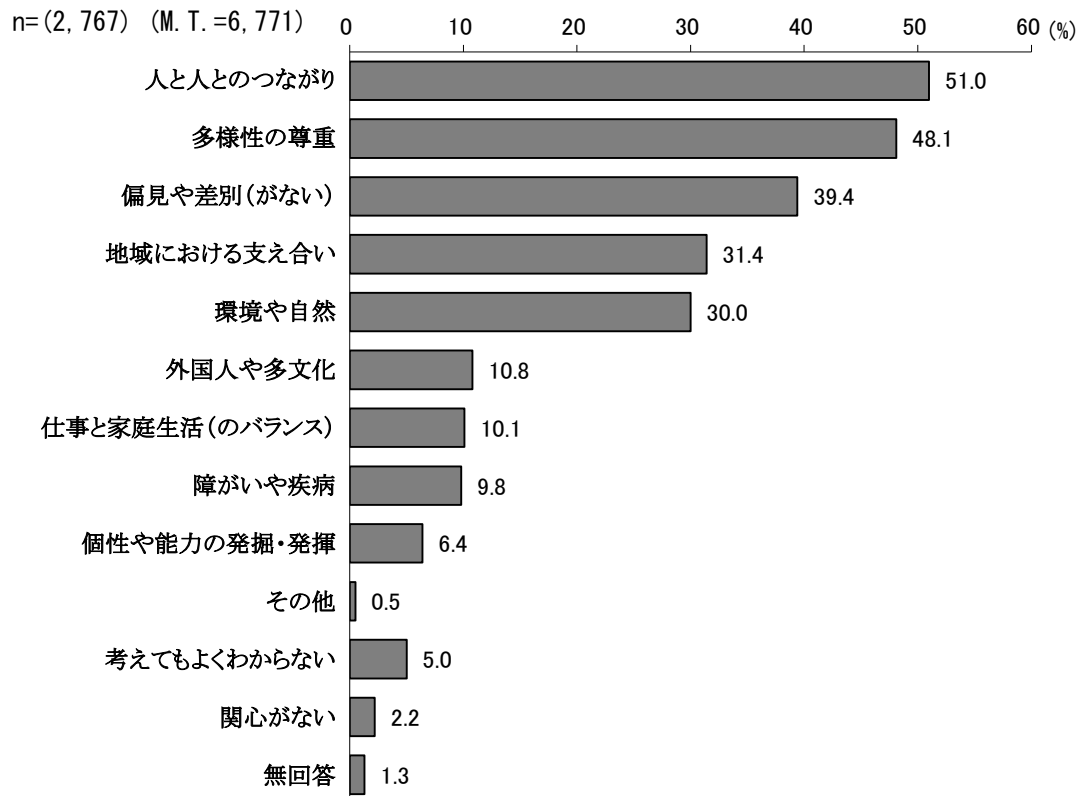
(問18～問23)

4. 共生社会について

(1) 「共生」という言葉から思い浮べること

◇「人と人とのつながり」、「多様性の尊重」の2項目が5割前後

問18 あなたは、「共生」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



「共生」という言葉から思い浮べることには、「人と人とのつながり」(51.0%)が5割強で最も高く、次いで「多様性の尊重」(48.1%)、「偏見や差別(がない)」(39.4%)、「地域における支え合い」(31.4%)、「環境や自然」(30.0%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「人と人とのつながり」は秩父地域（60.0%）で6割と最も高くなっている。「多様性の尊重」は、県央地域（52.8%）とさいたま地域（52.3%）で5割強と高くなっている。「偏見や差別（がない）」は西部地域（43.5%）で4割強と最も高くなっている。

② 性別

「人と人とのつながり」は男性（53.2%）の方が女性（50.0%）よりも3.2ポイント高く、「地域における支え合い」も男性（34.1%）の方が女性（29.7%）よりも4.4ポイント高くなっている。一方で、「多様性の尊重」は女性（49.8%）の方が男性（46.6%）よりも3.2ポイント高くなっている。

③ 年代別

「人と人とのつながり」は70歳以上（56.9%）が5割台半ばを超えて最も高くなっている。「多様性の尊重」は10歳代・20歳代（57.4%）が5割台半ばを超えて最も高く、年代が上がるにつれ割合が低くなる傾向がみられる。「地域における支え合い」は70歳以上（46.3%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「人と人とのつながり」は女性70歳以上（57.7%）が5割台半ばを超えて最も高くなっている。「多様性の尊重」は男性10歳代・20歳代（57.1%）、男性30歳代（57.7%）、女性10歳代・20歳代（57.4%）で5割台半ばを超えて高く、「偏見や差別（がない）」は女性60歳代（47.1%）が4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「人と人とのつながり」は職業において回答分布に大きな差はみられない。「多様性の尊重」は雇用者（計）（50.5%）が5割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「人と人とのつながり」は独身期（55.4%）と高齢期（55.0%）で5割台半ばと最も高くなっている。「多様性の尊重」は独身期（58.1%）で6割弱と最も高く、「偏見や差別（がない）」は家族成熟期（46.2%）で4割台半ばを超えて高くなっている。

○「共生」という言葉から思い浮べること・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

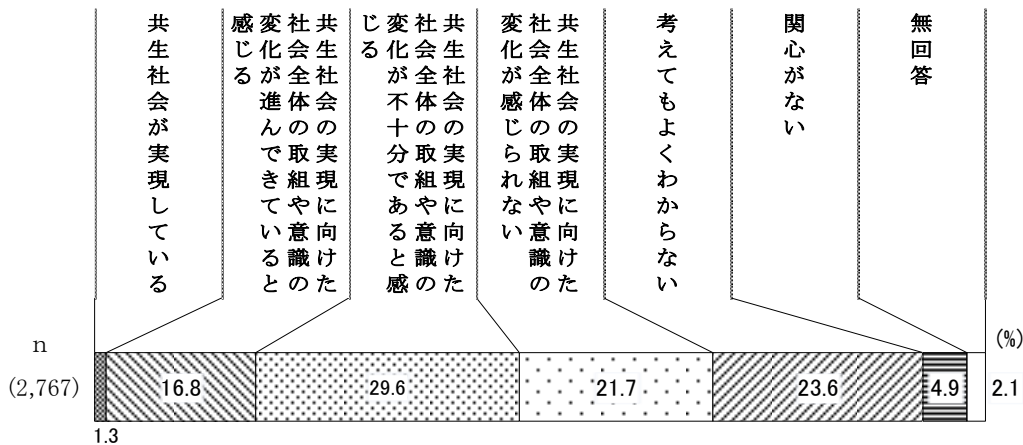
	調査数	人と人とのつながり	多様性の尊重	偏見や差別（がない）	地域における支え合い	環境や自然	外国人や多文化	仕事と家庭生活（のバランス）	障がいや疾病	個性や能力の発掘・発揮	その他	考えてもよくわからない	関心がない	無回答
	n													
全体	2,767	51.0	48.1	39.4	31.4	30.0	10.8	10.1	9.8	6.4	0.5	5.0	2.2	1.3
地域別														
南部地域	268	53.7	48.1	36.2	38.4	23.9	6.7	10.1	8.2	7.1	0.7	5.2	3.0	0.7
南西部地域	259	52.1	46.7	40.9	29.3	36.3	14.3	15.4	7.7	3.9	0.4	3.9	2.3	1.2
東部地域	410	50.2	50.5	38.0	30.7	28.8	13.2	10.7	10.5	6.3	0.5	4.6	2.0	0.7
さいたま地域	482	52.3	52.3	40.5	30.5	29.3	11.0	10.8	10.2	8.5	0.8	5.2	0.6	0.4
県央地域	218	51.4	52.8	40.4	27.5	31.2	12.4	9.6	9.6	6.9	-	6.0	1.8	0.5
川越比企地域	293	49.1	46.1	42.3	30.0	33.4	12.6	8.2	8.9	5.5	0.7	5.1	3.4	1.4
西部地域	299	52.5	45.8	43.5	31.4	32.8	9.4	6.7	13.0	7.0	0.3	3.3	1.7	0.7
利根地域	245	47.8	44.9	36.3	32.2	30.2	8.2	8.2	8.6	5.7	0.8	6.5	4.1	0.8
北部地域	203	51.2	45.8	38.9	36.5	26.1	10.8	10.8	7.9	4.9	0.5	4.4	2.5	0.5
秩父地域	40	60.0	40.0	30.0	30.0	32.5	5.0	12.5	15.0	7.5	-	2.5	5.0	2.5
性別														
男性	1,134	53.2	46.6	38.4	34.1	31.8	13.1	9.3	9.8	6.7	0.9	4.0	2.5	0.8
女性	1,585	50.0	49.8	40.6	29.7	29.0	9.3	10.8	9.8	6.2	0.3	5.6	2.1	0.7
年代別														
18・19歳	53	60.4	67.9	32.1	17.0	26.4	32.1	1.9	5.7	9.4	-	1.9	1.9	-
20歳代	229	55.0	55.0	35.4	21.0	26.6	17.5	12.2	7.4	6.6	-	5.7	2.6	0.4
【再掲】10歳代・20歳代	282	56.0	57.4	34.8	20.2	26.6	20.2	10.3	7.1	7.1	-	5.0	2.5	0.4
30歳代	316	50.9	53.5	34.8	21.8	32.6	15.8	10.8	5.1	9.8	0.6	5.1	2.5	-
40歳代	481	50.5	51.1	38.9	28.3	27.9	12.3	13.7	10.2	6.0	1.2	3.3	2.7	0.2
50歳代	524	47.3	50.2	44.7	27.5	31.3	8.8	13.0	12.4	5.3	-	3.8	2.1	0.6
60歳代	471	45.9	49.0	45.9	32.9	28.7	8.9	6.6	10.0	5.3	0.8	7.0	2.5	0.6
70歳以上	650	56.9	37.7	35.8	46.3	32.3	6.5	7.4	10.9	6.5	0.5	5.5	1.7	2.2
性・年代別														
男性／18・19歳	28	60.7	67.9	35.7	14.3	25.0	25.0	3.6	3.6	-	-	-	3.6	-
20歳代	91	54.9	53.8	29.7	26.4	31.9	24.2	13.2	3.3	6.6	-	4.4	2.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	56.3	57.1	31.1	23.5	30.3	24.4	10.9	3.4	5.0	-	3.4	2.5	-
30歳代	111	53.2	57.7	32.4	22.5	37.8	18.9	12.6	5.4	11.7	1.8	0.9	2.7	-
40歳代	173	53.8	43.4	34.7	29.5	29.5	15.6	15.6	9.8	5.2	1.7	2.9	3.5	-
50歳代	226	51.8	45.1	45.1	31.9	29.6	10.2	10.6	15.0	7.1	-	4.4	1.3	0.4
60歳代	215	47.4	51.2	44.2	34.9	28.8	12.1	6.0	7.9	5.6	0.9	7.0	2.8	-
70歳以上	286	57.0	37.4	36.7	47.2	35.3	7.7	4.9	11.5	7.0	1.0	3.5	2.4	2.8
女性／18・19歳	25	60.0	68.0	28.0	20.0	28.0	40.0	-	8.0	20.0	-	4.0	-	-
20歳代	137	54.7	55.5	39.4	17.5	23.4	13.1	11.7	9.5	6.6	-	6.6	2.9	0.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	55.6	57.4	37.7	17.9	24.1	17.3	9.9	9.3	8.6	-	6.2	2.5	0.6
30歳代	205	49.8	51.2	36.1	21.5	29.8	14.1	9.8	4.9	8.8	-	7.3	2.4	-
40歳代	308	48.7	55.5	41.2	27.6	26.9	10.4	12.7	10.4	6.5	1.0	3.6	2.3	0.3
50歳代	298	44.0	54.0	44.3	24.2	32.6	7.7	14.8	10.4	4.0	-	3.4	2.7	0.7
60歳代	255	44.7	47.1	47.1	31.4	28.6	5.9	7.1	11.8	5.1	0.8	7.1	2.4	1.2
70歳以上	352	57.7	38.6	36.1	45.5	29.5	5.7	9.7	10.5	6.0	-	6.8	1.1	1.1
職業別														
自営業・家族従業（計）	242	51.2	47.9	40.1	38.8	31.0	4.5	10.7	8.3	11.2	2.1	2.9	1.7	1.2
雇用者（計）	1,461	51.1	50.5	40.1	27.5	29.4	13.1	13.0	8.7	5.3	0.3	4.0	2.5	0.5
無職（計）	1,006	51.4	46.1	38.9	35.4	30.8	9.5	5.9	11.7	7.0	0.5	6.7	2.2	1.1
ライフステージ別														
独身期	327	55.4	58.1	35.2	22.0	30.9	18.7	9.2	6.7	7.6	0.3	4.0	2.1	0.3
家族形成期	215	53.5	53.0	31.6	23.3	28.8	17.2	11.2	7.0	8.8	0.5	4.2	2.8	-
家族成長前期	245	49.4	51.4	38.0	31.0	30.6	13.9	12.2	8.6	6.9	0.8	4.9	3.3	-
家族成長後期	232	53.0	55.2	37.9	24.6	25.4	11.2	17.2	9.9	8.2	-	3.0	0.9	-
家族成熟期	463	49.0	49.9	46.2	28.5	29.8	8.2	11.2	10.4	4.5	0.6	4.3	2.4	0.6
高齢期	609	55.0	43.5	40.7	44.2	32.0	7.4	6.2	10.3	6.2	0.3	5.4	1.8	1.0
その他	676	45.9	40.8	38.9	31.4	29.6	8.6	9.8	11.7	5.5	0.9	6.7	2.5	3.7

(2) 現在の社会について感じていること

◇「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が不十分であると感じる」が29.6%

問19 埼玉県では、誰もが互いに尊重され、いきいきと活躍できる「共生社会」の実現を目指しています。あなたは、現在の社会についてどのように感じていますか。

(〇は1つだけ)



現在の社会について感じていることは、「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が不十分であると感じる」(29.6%)が約3割と最も高く、次いで「考えてもよくわからない」(23.6%)、「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化を感じられない」(21.7%)、「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が進んでいると感じる」(16.8%)などとなっている。

【属性別比較】

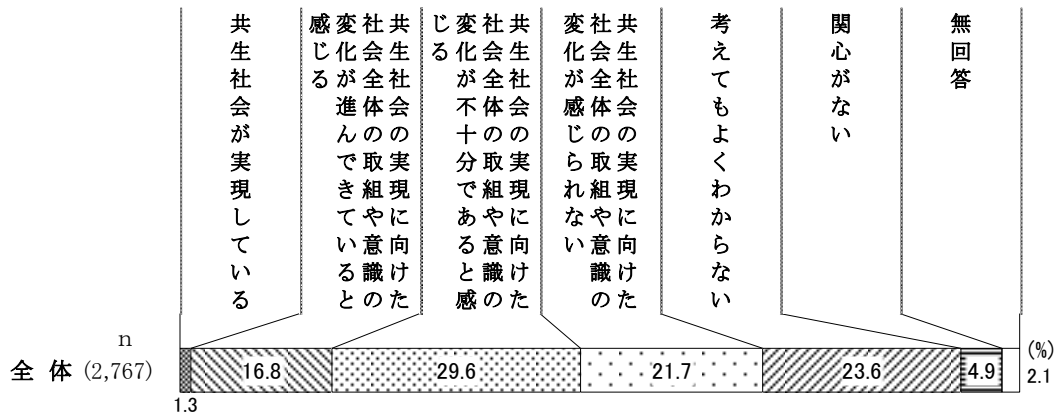
① 性別

「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化を感じられない」は男性(25.0%)の方が女性(19.6%)よりも5.4ポイント高くなっている。一方で、「考えてもよくわからない」は女性(27.3%)の方が男性(18.4%)よりも8.9ポイント高くなっている。

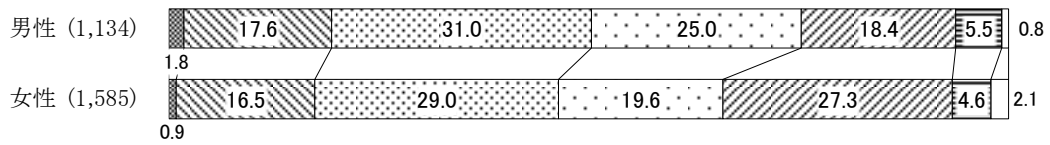
② 年代別

「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が不十分であると感じる」は50歳代以上で3割台と高くなっている。「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化を感じられない」は40歳代(23.9%)で2割強と最も高く、「考えてもよくわからない」は60歳代(25.3%)で2割台半ばで最も高くなっている。

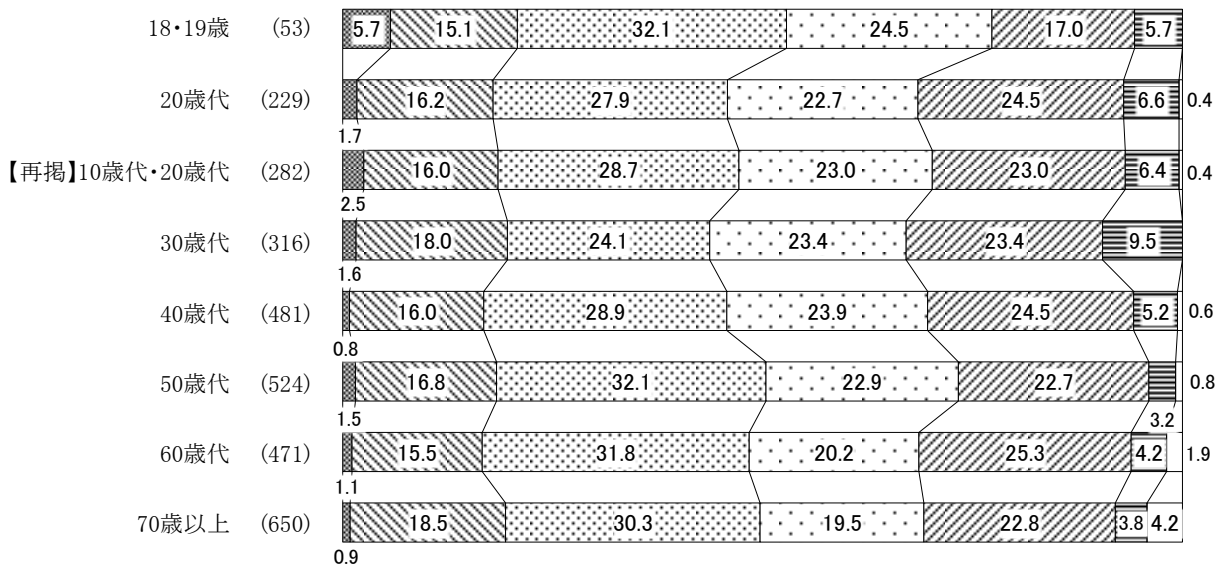
○現在の社会について感じていること・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が不十分であると感じる」は東部地域（32.9%）と北部地域（31.5%）で3割強と高くなっている。「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が感じられない」は秩父地域（27.5%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「考えてもよくわからない」は川越比企地域（30.0%）で3割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が不十分であると感じる」は男性70歳以上（34.3%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が感じられない」は雇用者（計）（24.0%）で2割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が不十分であると感じる」は高齢期（34.8%）と家族成熟期（34.3%）で3割台半ばと高く、「共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が感じられない」は独身期（24.2%）で2割台半ばと最も高くなっている。一方で、「考えてもよくわからない」は家族成長前期（29.4%）で約3割と最も高くなっている。

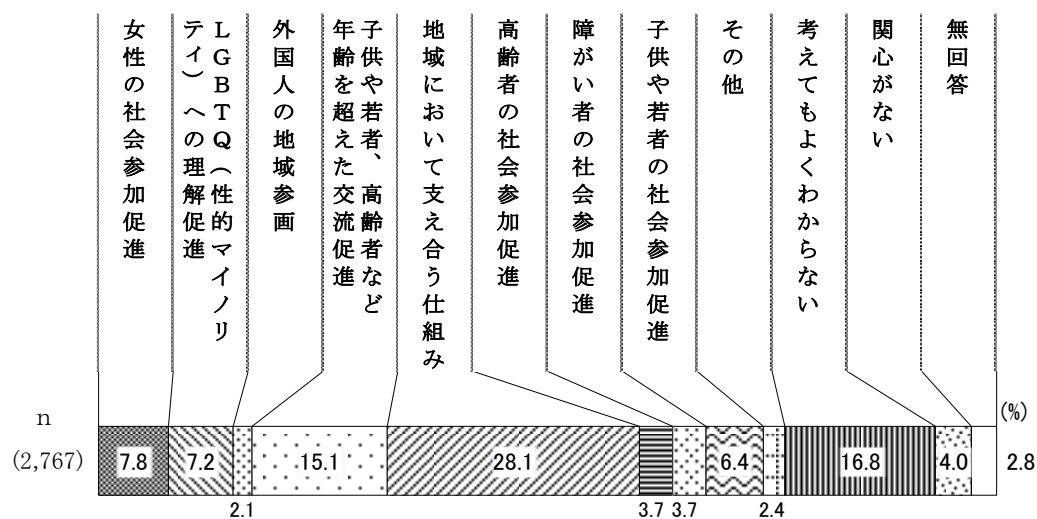
○現在の社会について感じていること・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	共生社会が実現している	が会共 進生 んで体 きての いて取 と意組 感識の じ変向 る化社	が会共 不全 十分体 である取 と意組 感識の じ変向 る化社	が会共 感全 じら体 れな取 ない組 や意現 識の向 のけた 変化社	考 えても よくわ からな い	関 心が ない	無 回 答
全体	2,767	1.3	16.8	29.6	21.7	23.6	4.9	2.1
地域別								
南部地域	268	0.7	14.2	30.2	18.3	28.0	6.7	1.9
南西部地域	259	1.9	22.8	25.1	23.2	20.1	5.8	1.2
東部地域	410	0.5	13.4	32.9	23.7	22.2	5.6	1.7
さいたま地域	482	1.2	18.0	30.3	23.7	21.2	4.6	1.0
県央地域	218	1.8	22.0	28.9	18.8	20.6	6.9	0.9
川越比企地域	293	3.4	13.3	29.4	19.1	30.0	3.1	1.7
西部地域	299	0.7	17.4	30.8	22.4	22.4	3.7	2.7
利根地域	245	1.2	15.5	28.2	22.4	26.5	4.5	1.6
北部地域	203	0.5	20.2	31.5	20.7	22.7	3.9	0.5
秩父地域	40	-	12.5	27.5	27.5	25.0	2.5	5.0
性別								
男性	1,134	1.8	17.6	31.0	25.0	18.4	5.5	0.8
女性	1,585	0.9	16.5	29.0	19.6	27.3	4.6	2.1
年代別								
18・19歳	53	5.7	15.1	32.1	24.5	17.0	5.7	-
20歳代	229	1.7	16.2	27.9	22.7	24.5	6.6	0.4
【再掲】10歳代・20歳代	282	2.5	16.0	28.7	23.0	23.0	6.4	0.4
30歳代	316	1.6	18.0	24.1	23.4	23.4	9.5	-
40歳代	481	0.8	16.0	28.9	23.9	24.5	5.2	0.6
50歳代	524	1.5	16.8	32.1	22.9	22.7	3.2	0.8
60歳代	471	1.1	15.5	31.8	20.2	25.3	4.2	1.9
70歳以上	650	0.9	18.5	30.3	19.5	22.8	3.8	4.2
性・年代別								
男性／18・19歳	28	3.6	21.4	28.6	28.6	14.3	3.6	-
20歳代	91	4.4	14.3	27.5	29.7	16.5	7.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	4.2	16.0	27.7	29.4	16.0	6.7	-
30歳代	111	2.7	23.4	23.4	27.9	13.5	9.0	-
40歳代	173	2.3	17.3	29.5	23.1	20.8	6.4	0.6
50歳代	226	2.7	15.0	31.9	27.4	19.5	3.5	-
60歳代	215	0.9	17.7	33.0	22.8	20.0	5.6	-
70歳以上	286	-	17.8	34.3	23.1	17.5	4.5	2.8
女性／18・19歳	25	8.0	8.0	36.0	20.0	20.0	8.0	-
20歳代	137	-	17.5	28.5	17.5	29.9	5.8	0.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	1.2	16.0	29.6	17.9	28.4	6.2	0.6
30歳代	205	1.0	15.1	24.4	21.0	28.8	9.8	-
40歳代	308	-	15.3	28.6	24.4	26.6	4.5	0.6
50歳代	298	0.7	18.1	32.2	19.5	25.2	3.0	1.3
60歳代	255	1.2	13.7	31.0	17.6	29.8	3.1	3.5
70歳以上	352	1.7	19.3	27.3	17.0	26.4	3.4	4.8
職業別								
自営業・家族従業（計）	242	1.2	19.4	31.4	19.4	23.1	3.7	1.7
雇用者（計）	1,461	1.4	16.7	29.8	24.0	22.2	5.1	0.7
無職（計）	1,006	1.1	16.6	29.7	19.4	25.6	5.0	2.6
ライフステージ別								
独身期	327	2.1	17.4	28.4	24.2	21.4	6.1	0.3
家族形成期	215	1.4	17.2	23.3	22.8	22.3	13.0	-
家族成長前期	245	1.6	15.5	26.9	21.2	29.4	4.9	0.4
家族成長後期	232	0.4	22.0	30.2	21.1	20.7	5.2	0.4
家族成熟期	463	0.9	16.0	34.3	20.7	22.7	3.7	1.7
高齢期	609	0.8	16.7	34.8	18.9	23.5	3.4	1.8
その他	676	1.6	15.7	25.1	23.7	24.9	3.7	5.3

(3) 共生社会を実現するために最も重要だと思う取組

◇「地域において支え合う仕組み」が28.1%

問20 共生社会を実現するために、最も重要だと思う取組はどれですか。(〇は1つだけ)



共生社会を実現するために最も重要だと思う取組は、「地域において支え合う仕組み」（28.1%）が3割弱で最も高く、次いで、「考えてもよくわからない」（16.8%）、「子供や若者、高齢者など年齢を超えた交流促進」（15.1%）、「女性の社会参加促進」（7.8%）、「LGBTQ（性的マイノリティ）への理解促進」（7.2%）などとなっている。

① 地域別

「地域において支え合う仕組み」は北部地域（35.0%）で3割台半ばと最も高く、「子供や若者、高齢者など年齢を超えた交流促進」は南部地域（18.3%）で2割弱と最も高くなっている。

② 性別

「地域において支え合う仕組み」は男性（30.5%）の方が女性（26.9%）よりも3.6ポイント高くなっている。一方で、「女性の社会参加促進」は女性（9.1%）の方が男性（5.9%）よりも3.2ポイント高く、「LGBTQ（性的マイノリティ）への理解促進」も女性（8.8%）の方が男性（5.2%）よりも3.6ポイント高くなっている。

③ 年代別

「地域において支え合う仕組み」は70歳以上（36.3%）で3割台半ばを超えて最も高く、「子供や若者、高齢者など年齢を超えた交流促進」も70歳以上（18.5%）が2割弱で最も高くなっている。両項目とも年代が下がるにつれ割合も低くなる傾向がみられる。

④ 性・年代別

「地域において支え合う仕組み」は女性70歳以上（38.4%）で4割弱と最も高くなっている。「子供や若者、高齢者など年齢を超えた交流促進」は男性70歳以上（22.4%）で2割強と最も高くなっている。また、「LGBTQ（性的マイノリティ）への理解促進」は女性10歳代・20歳代（27.8%）が他の性・年代層に比べて特に高くなっている。

⑤ 職業別

どの項目においても、職業別の回答割合には特に大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

「地域において支え合う仕組み」は高齢期（35.5%）で3割台半ばと最も高くなっている。また、「LGBTQ（性的マイノリティ）への理解促進」は独身期（20.2%）で2割を超えており、他の層に比べて特に高くなっている。

○共生社会を実現するために最も重要だと思う取組・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

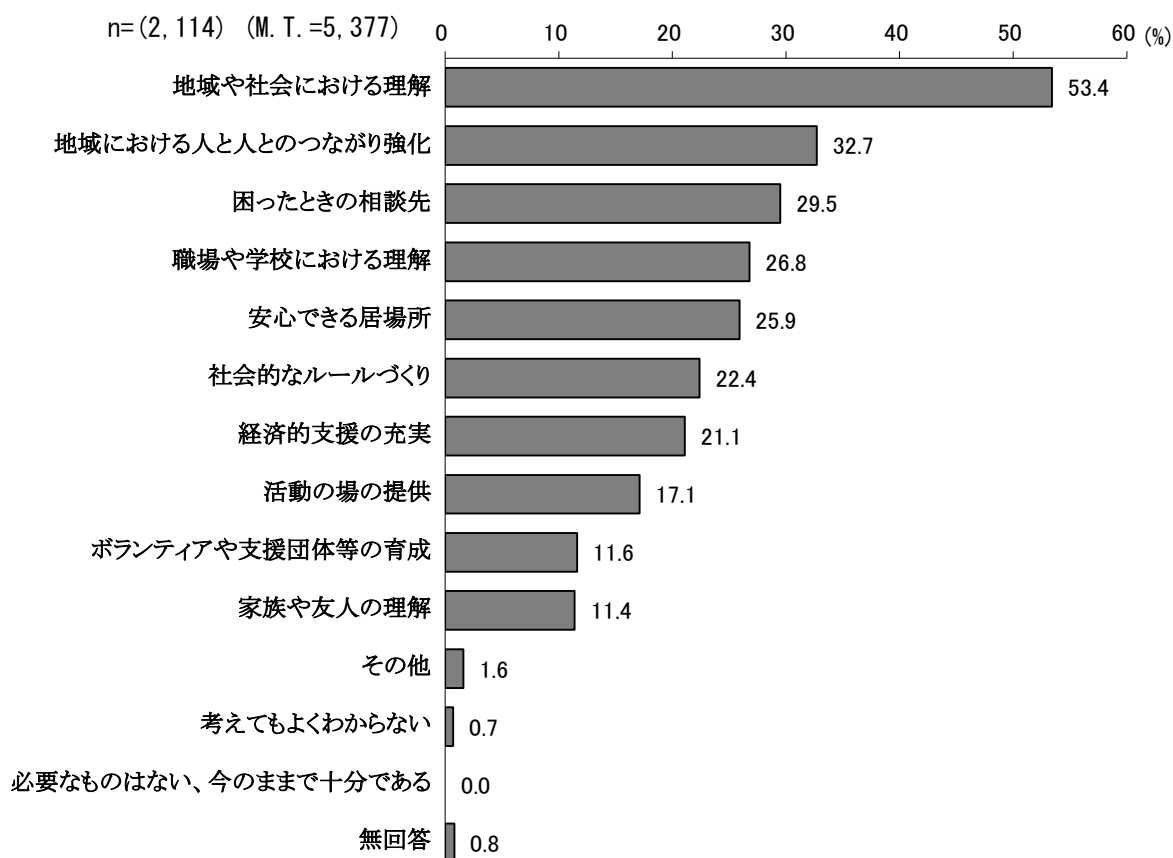
	調査数 n	女性の社会参加促進	LGBTQ（性的マイノリティ）への理解促進	外国人の地域参画	子供や若者、高齢者など年齢を超えた交流促進	地域において支え合う仕組み	高齢者の社会参加促進	障がい者の社会参加促進	子供や若者の社会参加促進	その他	考えてもよくわからない	関心がない	無回答
全体	2,767	7.8	7.2	2.1	15.1	28.1	3.7	3.7	6.4	2.4	16.8	4.0	2.8
地域別													
南部地域	268	5.6	6.0	3.4	18.3	25.0	3.0	2.6	6.7	2.6	17.9	5.6	3.4
南西部地域	259	8.9	9.7	1.2	15.1	29.0	3.1	3.1	5.0	3.9	14.7	3.9	2.7
東部地域	410	5.6	10.0	2.0	14.1	27.1	2.7	3.2	8.3	4.1	16.6	4.4	2.0
さいたま地域	482	9.3	7.9	2.5	16.0	27.4	4.6	5.0	5.4	2.5	14.1	3.5	1.9
県央地域	218	8.3	6.9	2.3	13.8	25.7	5.5	3.2	6.0	2.3	17.0	5.5	3.7
川越比企地域	293	9.2	6.5	2.0	13.7	27.0	2.4	4.4	7.5	1.7	20.1	3.1	2.4
西部地域	299	8.4	5.4	2.0	14.0	31.4	3.7	4.7	7.7	1.7	15.1	3.7	2.3
利根地域	245	8.2	6.5	0.8	15.9	29.0	5.3	2.4	5.3	1.6	19.6	3.7	1.6
北部地域	203	6.9	4.4	3.0	16.7	35.0	2.5	2.5	5.9	-	18.7	3.9	0.5
秩父地域	40	7.5	7.5	-	10.0	32.5	7.5	2.5	5.0	-	20.0	2.5	5.0
性別													
男性	1,134	5.9	5.2	3.4	15.3	30.5	4.6	2.8	6.9	3.4	14.9	5.1	2.0
女性	1,585	9.1	8.8	1.2	15.0	26.9	3.2	4.1	6.1	1.7	18.2	3.3	2.4
年代別													
18・19歳	53	7.5	28.3	5.7	7.5	11.3	-	5.7	15.1	9.4	7.5	1.9	-
20歳代	229	10.0	20.1	3.9	7.9	17.9	1.3	3.9	14.0	4.4	10.5	4.8	1.3
【再掲】10歳代・20歳代	282	9.6	21.6	4.3	7.8	16.7	1.1	4.3	14.2	5.3	9.9	4.3	1.1
30歳代	316	9.5	9.8	2.8	13.0	19.6	1.3	5.4	12.0	4.7	14.2	7.0	0.6
40歳代	481	8.3	8.5	2.3	15.2	25.4	2.9	2.7	8.3	3.1	17.3	4.8	1.2
50歳代	524	5.9	7.4	2.3	15.6	29.6	3.6	5.0	5.0	2.3	18.9	3.1	1.3
60歳代	471	7.6	3.0	1.7	15.9	31.8	4.9	3.0	4.0	0.8	21.9	3.2	2.1
70歳以上	650	7.4	1.5	0.8	18.5	36.3	6.2	2.3	1.8	0.6	15.7	3.5	5.4
性・年代別													
男性／18・19歳	28	10.7	17.9	3.6	10.7	10.7	-	7.1	17.9	14.3	7.1	-	-
20歳代	91	7.7	12.1	8.8	4.4	17.6	1.1	4.4	19.8	8.8	9.9	4.4	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	119	8.4	13.4	7.6	5.9	16.0	0.8	5.0	19.3	10.1	9.2	3.4	0.8
30歳代	111	4.5	9.9	5.4	16.2	22.5	0.9	3.6	12.6	4.5	11.7	7.2	0.9
40歳代	173	5.8	3.5	4.6	14.5	26.6	4.0	1.7	9.2	5.2	16.2	6.9	1.7
50歳代	226	5.3	6.6	3.1	12.4	35.4	3.1	4.4	4.9	3.5	15.5	4.9	0.9
60歳代	215	7.4	1.4	2.3	14.9	34.9	6.0	2.3	4.7	0.5	19.5	5.1	0.9
70歳以上	286	4.9	2.1	1.0	22.4	35.0	8.0	1.4	1.0	1.0	14.0	4.2	4.9
女性／18・19歳	25	4.0	40.0	8.0	4.0	12.0	-	4.0	12.0	4.0	8.0	4.0	-
20歳代	137	11.7	25.5	0.7	10.2	18.2	1.5	3.6	9.5	1.5	10.9	5.1	1.5
【再掲】10歳代・20歳代	162	10.5	27.8	1.9	9.3	17.3	1.2	3.7	9.9	1.9	10.5	4.9	1.2
30歳代	205	12.2	9.8	1.5	11.2	18.0	1.5	6.3	11.7	4.9	15.6	6.8	0.5
40歳代	308	9.7	11.4	1.0	15.6	24.7	2.3	3.2	7.8	1.9	17.9	3.6	1.0
50歳代	298	6.4	8.1	1.7	18.1	25.2	4.0	5.4	5.0	1.3	21.5	1.7	1.7
60歳代	255	7.8	4.3	1.2	16.5	29.4	3.9	3.5	3.5	1.2	23.9	1.6	3.1
70歳以上	352	9.1	1.1	0.6	15.6	38.4	4.5	2.8	2.6	0.3	16.5	3.1	5.4
職業別													
自営業・家族従業（計）	242	6.6	5.0	2.5	16.1	31.8	4.5	2.5	7.4	3.3	17.4	1.2	1.7
雇用者（計）	1,461	7.9	8.4	2.6	14.5	26.1	3.7	3.7	8.1	2.6	16.2	4.6	1.6
無職（計）	1,006	8.0	6.3	1.3	16.0	30.6	3.8	3.7	3.9	1.9	17.7	3.9	3.1
ライフステージ別													
独身期	327	9.8	20.2	4.3	8.6	17.7	0.9	4.9	11.0	6.7	10.7	4.3	0.9
家族形成期	215	8.4	8.8	2.8	14.9	18.6	1.9	4.7	12.6	3.3	14.9	8.8	0.5
家族成長前期	245	7.3	10.2	1.2	12.7	22.9	1.2	4.5	13.5	3.3	17.6	4.9	0.8
家族成長後期	232	9.9	7.8	4.3	14.7	25.0	4.7	2.6	6.0	3.9	15.5	4.3	1.3
家族成熟期	463	7.3	4.3	1.5	17.5	29.2	4.5	3.9	5.6	0.9	19.9	3.0	2.4
高齢期	609	7.9	2.6	1.1	18.9	35.5	4.6	2.5	2.8	1.0	17.7	2.6	2.8
その他	676	6.2	5.2	1.6	14.3	31.8	4.9	3.7	3.4	1.5	17.5	3.8	6.1

(3-1) 共生社会を実現する取組を進める上で具体的に必要だと思うこと

◇「地域や社会における理解」が53.4%

(問20で、何らかの取組を選んだ方(「10. 考えてもよくわからない」、「11. 関心がない」以外)にお伺いします。)

問20-1 問20で選択した取組を進める上で、具体的に必要だと思うことはどれですか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



取組を進める上で具体的に必要だと思うことは、「地域や社会における理解」(53.4%)が5割強で最も高く、次いで「地域における人と人とのつながり強化」(32.7%)、「困ったときの相談先」(29.5%)、「職場や学校における理解」(26.8%)、「安心できる居場所」(25.9%)、「社会的なルールづくり」(22.4%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「地域や社会における理解」は川越比企地域（56.9%）と北部地域（56.4%）で5割台半ばを超えて高くなっている。「地域における人と人とのつながり強化」は南部地域（39.3%）で約4割と最も高くなっている。

※秩父地域（n=29）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「地域における人と人とのつながり強化」は男性（35.3%）の方が女性（31.2%）よりも4.1ポイント高くなっている。一方、「安心できる居場所」は女性（29.1%）の方が男性（21.5%）よりも7.6ポイント高く、「困ったときの相談先」も女性（31.3%）の方が男性（27.4%）よりも3.9ポイント高くなっている。

③ 年代別

「地域や社会における理解」は10歳代・20歳代（60.3%）で6割を超えて最も高くなっており、「地域における人と人とのつながり強化」は70歳以上（47.6%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「地域や社会における理解」は女性10歳代・20歳代（60.7%）と男性10歳代・20歳代（60.2%）で6割を超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「地域における人と人とのつながり強化」は自営業・家族従業（計）（39.4%）で約4割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「地域や社会における理解」は家族成長前期（59.6%）で約6割と最も高くなっており、「地域における人と人とのつながり強化」は高齢期（46.2%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

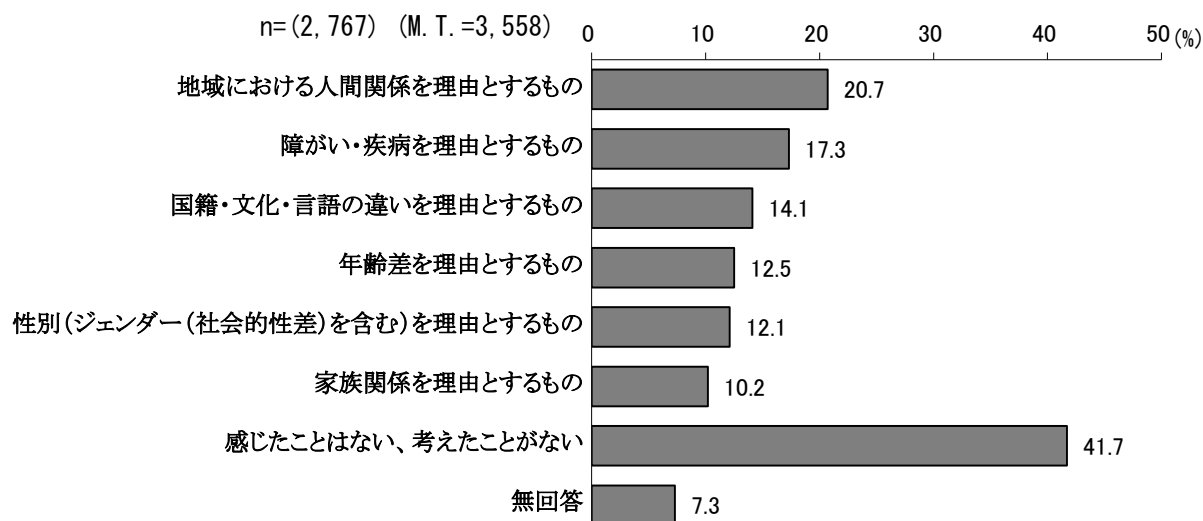
○取組を進める上で具体的に必要だと思うこと・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	地域や社会における理解	が地域における人と人とのつながり強化	困ったときの相談先	職場や学校における理解	安心できる居場所	社会的なルールづくり	経済的支援の充実	活動の場の提供	ボランティアや支援団体等の育成	家族や友人の理解	その他	考えてもよくわからない	で必要なものはない、今のままで十分である	無回答
全体	2,114	53.4	32.7	29.5	26.8	25.9	22.4	21.1	17.1	11.6	11.4	1.6	0.7	0.0	0.8
地域別															
南部地域	196	55.1	39.3	33.2	21.9	24.0	23.5	19.4	15.8	11.2	10.7	-	0.5	-	0.5
南西部地域	204	47.5	31.4	29.4	30.4	25.5	21.6	25.5	15.2	8.8	11.3	3.4	1.0	-	0.5
東部地域	316	54.4	32.3	27.8	33.2	24.1	21.2	19.0	15.5	10.8	14.9	1.9	0.6	-	0.6
さいたま地域	388	53.9	32.7	30.4	26.8	28.9	21.6	19.6	18.8	11.9	10.3	1.8	0.5	-	0.3
県央地域	161	47.8	31.7	30.4	30.4	28.6	19.9	18.0	19.3	12.4	13.0	1.2	-	-	1.2
川越比企地域	218	56.9	29.8	30.7	26.1	23.4	25.7	23.9	15.6	12.4	12.8	1.4	-	0.5	0.9
西部地域	236	52.1	33.9	24.6	23.7	28.0	21.2	22.9	17.8	16.5	12.3	1.7	1.3	-	1.3
利根地域	184	52.2	33.7	31.0	26.6	25.0	24.5	20.7	16.3	6.5	7.6	1.6	1.1	-	0.5
北部地域	156	56.4	32.1	33.3	19.2	19.9	23.1	24.4	21.2	14.1	9.0	1.3	1.3	-	0.6
秩父地域	29	72.4	27.6	10.3	24.1	34.5	37.9	17.2	20.7	6.9	3.4	-	-	-	-
性別															
男性	884	54.6	35.3	27.4	25.9	21.5	25.6	21.4	16.4	12.3	10.5	2.6	0.3	-	0.5
女性	1,206	52.6	31.2	31.3	27.6	29.1	20.1	21.0	17.8	11.1	12.1	0.9	0.9	0.1	0.6
年代別															
18・19歳	48	64.6	12.5	6.3	45.8	29.2	27.1	18.8	12.5	4.2	33.3	2.1	-	-	2.1
20歳代	191	59.2	16.8	25.1	40.8	29.8	27.2	21.5	11.0	6.8	18.8	1.6	1.6	-	0.5
【再掲】10歳代・20歳代	239	60.3	15.9	21.3	41.8	29.7	27.2	20.9	11.3	6.3	21.8	1.7	1.3	-	0.8
30歳代	247	56.7	25.5	25.9	40.5	27.1	21.9	23.5	15.4	4.9	17.8	2.0	2.0	0.4	0.4
40歳代	369	53.1	23.0	30.4	42.3	23.0	22.5	19.2	19.2	6.8	14.9	3.3	-	-	-
50歳代	402	51.5	32.8	30.6	25.6	23.6	20.9	20.9	17.9	12.7	9.5	1.5	0.5	-	0.5
60歳代	343	55.4	39.9	34.7	16.9	27.4	23.3	23.3	18.1	14.0	4.7	1.5	-	-	0.3
70歳以上	490	48.8	47.6	30.6	8.6	26.3	21.2	20.2	18.4	18.8	6.3	0.4	0.8	-	1.4
性・年代別															
男性／18・19歳	26	65.4	15.4	-	38.5	38.5	26.9	23.1	19.2	3.8	15.4	3.8	-	-	-
20歳代	77	58.4	11.7	16.9	31.2	31.2	39.0	27.3	13.0	7.8	15.6	2.6	1.3	-	1.3
【再掲】10歳代・20歳代	103	60.2	12.6	12.6	33.0	33.0	35.9	26.2	14.6	6.8	15.5	2.9	1.0	-	1.0
30歳代	89	55.1	28.1	20.2	39.3	24.7	25.8	28.1	19.1	9.0	15.7	2.2	1.1	-	-
40歳代	130	56.2	21.5	18.5	46.2	19.2	25.4	17.7	19.2	3.8	16.9	7.7	-	-	-
50歳代	178	50.0	35.4	33.1	29.2	17.4	20.8	19.7	12.4	10.1	10.7	2.2	0.6	-	0.6
60歳代	160	59.4	43.8	37.5	16.3	23.1	26.9	23.1	18.1	13.1	3.8	1.3	-	-	-
70歳以上	220	51.4	50.9	30.5	9.1	18.6	23.6	18.6	16.8	22.7	6.4	0.9	-	-	0.9
女性／18・19歳	22	63.6	9.1	13.6	54.5	18.2	27.3	13.6	4.5	4.5	54.5	-	-	-	4.5
20歳代	113	60.2	20.4	31.0	46.9	29.2	18.6	16.8	9.7	6.2	21.2	0.9	1.8	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	135	60.7	18.5	28.1	48.1	27.4	20.0	16.3	8.9	5.9	26.7	0.7	1.5	-	0.7
30歳代	158	57.6	24.1	29.1	41.1	28.5	19.6	20.9	13.3	2.5	19.0	1.9	2.5	0.6	0.6
40歳代	239	51.5	23.8	36.8	40.2	25.1	20.9	20.1	19.2	8.4	13.8	0.8	-	-	-
50歳代	224	52.7	30.8	28.6	22.8	28.6	21.0	21.9	22.3	14.7	8.5	0.9	0.4	-	0.4
60歳代	182	51.6	36.8	32.4	17.6	31.3	20.3	23.1	17.6	14.8	5.5	1.6	-	-	0.5
70歳以上	264	47.0	45.5	31.4	8.3	33.0	19.3	22.0	20.1	15.5	6.4	-	1.5	-	0.8
職業別															
自営業・家族従業（計）	193	49.2	39.4	29.5	21.8	26.9	20.7	20.2	16.1	10.4	10.4	2.6	-	0.5	0.5
雇用者（計）	1,134	52.3	28.9	28.0	34.1	24.5	22.6	23.5	17.6	9.4	12.1	1.9	0.4	-	0.5
無職（計）	758	56.1	37.2	31.7	17.3	26.9	22.8	18.2	17.0	15.2	10.3	1.1	1.2	-	0.9
ライフステージ別															
独身期	275	58.9	17.1	24.4	39.3	29.8	29.5	22.2	13.1	6.2	20.4	2.5	1.1	-	0.7
家族形成期	163	55.2	26.4	23.9	44.2	25.2	19.6	22.1	14.1	6.7	18.4	-	1.8	0.6	-
家族成長前期	188	59.6	27.7	25.5	41.0	22.3	18.1	15.4	16.5	5.3	20.7	3.2	1.1	-	0.5
家族成長後期	183	54.6	24.6	29.0	38.8	18.6	26.2	20.2	19.7	8.2	13.1	2.7	-	-	1.1
家族成熟期	346	54.9	35.5	30.1	23.4	22.0	23.1	24.3	20.2	16.2	6.1	1.2	0.3	-	0.9
高齢期	468	53.0	46.2	31.8	11.8	26.5	21.8	19.9	19.0	17.9	6.2	0.9	0.4	-	0.4
その他	491	46.0	33.8	33.4	21.0	30.1	19.8	21.8	15.7	10.8	8.6	1.6	0.6	-	1.4

(4) 「共生」についての悩みや困りごと

◇「地域における人間関係を理由とするもの」が20.7%

問21 「共生」に関して、あなた自身が感じたことのある悩みや困りごとはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



「共生」についての悩みや困りごとについては、「感じたことはない、考えたことがない」(41.7%)が4割強となっている。

具体的な悩みや困りごとでは、「地域における人間関係を理由とするもの」(20.7%)が2割を超えて最も高く、次いで、「障がい・疾病を理由とするもの」(17.3%)、「国籍・文化・言語の違いを理由とするもの」(14.1%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「地域における人間関係を理由とするもの」は秩父地域（32.5%）で3割強と最も高くなっている。「障がい・疾病を理由とするもの」も秩父地域（20.0%）で2割と最も高くなっている。「国籍・文化・言語の違いを理由とするもの」は南部地域（19.8%）が約2割と最も高くなっている。

② 性別

「地域における人間関係を理由とするもの」は男性（23.6%）の方が女性（18.9%）よりも4.7ポイント高くなっており、「国籍・文化・言語の違いを理由とするもの」も男性（18.5%）の方が女性（11.1%）よりも7.4ポイント高くなっている。

③ 年代別

「地域における人間関係を理由とするもの」は年代が上がるにつれおおむね割合が高くなっており、70歳以上（26.2%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。また、「性別（ジェンダー（社会的性差）を含む）を理由とするもの」は年代が下がるにつれ割合が高くなっており、10歳代・20歳代（24.1%）で2割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「地域における人間関係を理由とするもの」は男性70歳以上（29.7%）で約3割と最も高くなっている。「性別（ジェンダー（社会的性差）を含む）を理由とするもの」は女性10歳代・20歳代（30.2%）で他の性年代と比べて特に高くなっている。

⑤ 職業別

「障がい・疾病を理由とするもの」は無職（計）（19.2%）で約2割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「地域における人間関係を理由とするもの」は高齢期（25.5%）で2割台半ばと最も高く、「性別（ジェンダー（社会的性差）を含む）を理由とするもの」は独身期（24.8%）で他の層と比べて特に高くなっている。

○「共生」についての悩みや困りごと・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

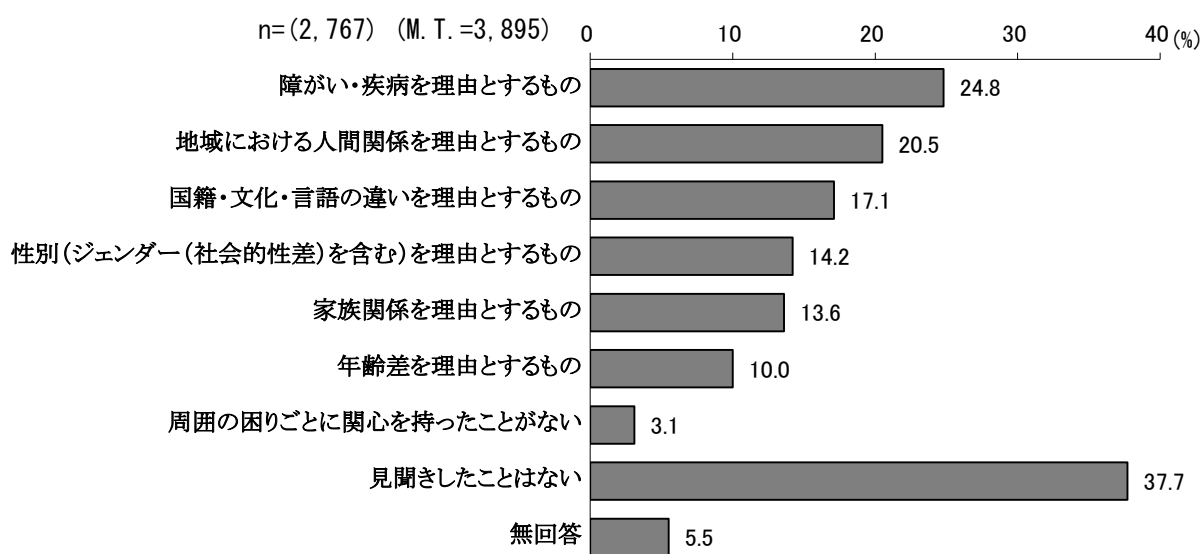
	調査数 n	地域と するもの 人間関係を理	障がい・疾病を理由とする	国籍・文化・言語の違いを理由とするもの	年齢差を理由とするもの	性差(ジェンダー)を含む理由とするもの	家族関係を理由とするもの	感じたことはない、考えた	無回答
全体	2,767	20.7	17.3	14.1	12.5	12.1	10.2	41.7	7.3
地域別									
南部地域	268	19.8	15.3	19.8	11.2	11.2	8.2	43.3	7.5
南西部地域	259	19.3	16.2	10.8	12.7	12.7	12.4	42.5	7.7
東部地域	410	19.3	17.3	14.1	15.1	13.7	12.9	43.4	5.9
さいたま地域	482	18.3	17.0	13.3	12.7	11.8	10.6	45.4	5.0
県央地域	218	23.9	19.3	13.3	9.2	14.2	15.1	36.2	7.3
川越比企地域	293	17.7	19.1	16.7	12.6	14.7	6.5	43.3	5.8
西部地域	299	20.1	18.1	15.7	13.4	11.4	9.0	38.5	8.4
利根地域	245	24.5	15.5	10.6	11.0	11.0	8.2	42.0	9.4
北部地域	203	28.1	19.2	12.3	13.3	8.9	10.3	39.9	3.9
秩父地域	40	32.5	20.0	15.0	12.5	7.5	7.5	32.5	12.5
性別									
男性	1,134	23.6	16.9	18.5	14.8	11.4	9.2	40.7	6.2
女性	1,585	18.9	17.6	11.1	11.0	12.7	11.0	43.2	6.8
年代別									
18・19歳	53	13.2	22.6	20.8	22.6	18.9	5.7	41.5	1.9
20歳代	229	13.5	14.4	14.8	17.5	25.3	11.8	42.8	2.6
【再掲】10歳代・20歳代	282	13.5	16.0	16.0	18.4	24.1	10.6	42.6	2.5
30歳代	316	18.0	18.4	14.6	13.3	16.8	11.4	45.6	0.9
40歳代	481	18.1	16.2	15.4	11.6	14.8	13.3	47.0	2.1
50歳代	524	22.5	18.7	13.7	13.4	9.9	12.0	44.1	2.3
60歳代	471	21.0	17.8	15.7	12.7	9.6	8.1	43.1	8.1
70歳以上	650	26.2	16.9	11.5	9.8	6.6	7.4	33.8	17.1
性・年代別									
男性／18・19歳	28	14.3	21.4	10.7	21.4	10.7	10.7	42.9	3.6
20歳代	91	20.9	14.3	19.8	27.5	16.5	15.4	40.7	3.3
【再掲】10歳代・20歳代	119	19.3	16.0	17.6	26.1	15.1	14.3	41.2	3.4
30歳代	111	19.8	19.8	20.7	14.4	19.8	8.1	43.2	1.8
40歳代	173	17.3	16.8	17.9	12.1	14.5	11.0	46.8	3.5
50歳代	226	25.7	16.8	15.0	16.8	9.3	11.5	41.6	2.7
60歳代	215	22.8	19.5	20.9	14.9	11.2	5.6	41.4	7.4
70歳以上	286	29.7	14.7	19.6	10.5	6.6	7.3	33.9	12.6
女性／18・19歳	25	12.0	24.0	32.0	24.0	28.0	-	40.0	-
20歳代	137	8.8	13.9	11.7	10.2	30.7	9.5	44.5	2.2
【再掲】10歳代・20歳代	162	9.3	15.4	14.8	12.3	30.2	8.0	43.8	1.9
30歳代	205	17.1	17.6	11.2	12.7	15.1	13.2	46.8	0.5
40歳代	308	18.5	15.9	14.0	11.4	14.9	14.6	47.1	1.3
50歳代	298	20.1	20.1	12.8	10.7	10.4	12.4	46.0	2.0
60歳代	255	19.2	16.5	11.0	10.6	7.8	10.2	44.7	8.6
70歳以上	352	23.6	18.8	5.4	9.7	6.5	7.4	34.4	19.6
職業別									
自営業・家族従業(計)	242	23.6	13.6	11.2	12.8	7.0	12.0	41.3	7.0
雇用者(計)	1,461	19.2	16.6	16.1	13.7	14.5	10.8	44.2	3.2
無職(計)	1,006	22.4	19.2	12.3	11.1	10.1	8.9	39.3	11.3
ライフステージ別									
独身期	327	15.9	20.2	18.0	20.5	24.8	11.6	37.6	2.4
家族形成期	215	13.0	12.1	10.2	10.2	14.4	9.3	56.7	0.9
家族成長前期	245	22.4	16.7	15.5	9.0	13.5	11.0	44.9	0.8
家族成長後期	232	17.2	15.1	12.9	12.1	13.8	18.1	45.7	3.0
家族成熟期	463	23.5	20.5	15.6	11.0	10.8	9.3	41.0	6.5
高齢期	609	25.5	16.7	12.8	12.8	7.1	7.7	38.1	11.3
その他	676	19.8	16.9	13.3	11.5	9.5	9.8	40.1	12.6

(5) 「共生」について周囲の人の悩みや困りごととして見聞きしたこと

◇「障がい・疾病を理由とするもの」が24.8%

問22 「共生」に関して、あなたの周囲の人の悩みや困りごととして見聞きしたことがあるものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

(○はいくつでも)



「共生」について周囲の人の悩みや困りごととして見聞きしたことは、「見聞きしたことはない」(37.7%)が3割台半ばを超えている。

具体的に見聞きした周囲の人の悩みや困りごととしては、「障がい・疾病を理由とするもの」(24.8%)が2割台半ばで最も高く、次いで「地域における人間関係を理由とするもの」(20.5%)、「国籍・文化・言語の違いを理由とするもの」(17.1%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「障がい・疾病を理由とするもの」は東部地域（27.8%）、川越比企地域（27.0%）、西部地域（26.8%）で2割台半ばを超えて高くなっている。「地域における人間関係を理由とするもの」は秩父地域（30.0%）で3割と最も高くなっている。

② 性別

「障がい・疾病を理由とするもの」は女性（26.3%）の方が男性（22.8%）よりも3.5ポイント高くなっている。一方、「国籍・文化・言語の違いを理由とするもの」は男性（19.9%）の方が女性（15.2%）よりも4.7ポイント高くなっている。

③ 年代別

「障がい・疾病を理由とするもの」は30歳代（29.7%）で約3割と最も高くなっている。「地域における人間関係を理由とするもの」は70歳以上（25.8%）で2割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「障がい・疾病を理由とするもの」は女性30歳代（31.2%）と女性10歳代・20歳代（30.9%）で3割を超えて高くなっている。「地域における人間関係を理由とするもの」は男性60歳代（28.4%）で3割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「地域における人間関係を理由とするもの」は自営業・家族従業（計）（24.8%）と2割台半ばで最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「障がい・疾病を理由とするもの」は独身期（31.2%）で3割強と最も高く、「地域における人間関係を理由とするもの」は高齢期（28.2%）で3割弱と最も高くなっている。

○「共生」について周囲の人の悩みや困りごととして見聞きしたこと・地域別／性別
／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

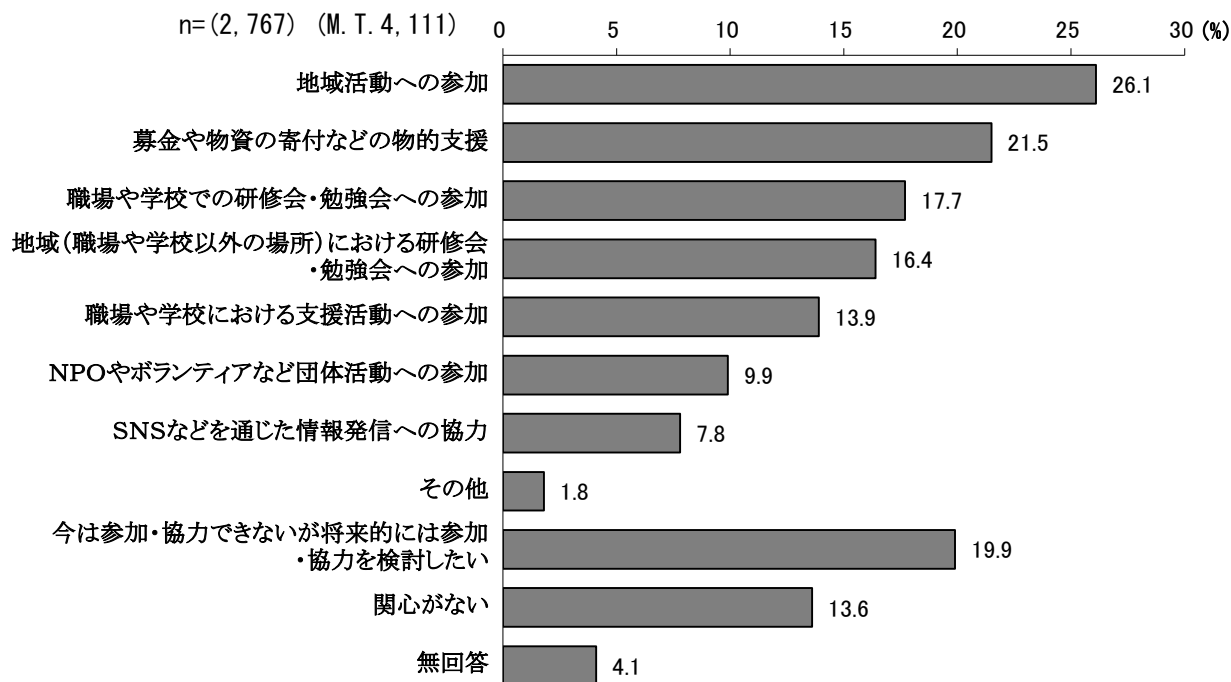
	調査数 n	障がい・疾病を理由とするもの	地域における人間関係を理由とするもの	国籍・文化・言語の違いを理由とするもの	性別（ジェンダー）（社会的性差）を含むものを理由とするもの	家族関係を理由とするもの	年齢差を理由とするもの	周囲の困りごとに関心を持ったことがない	見聞きしたことはない	無回答
全体	2,767	24.8	20.5	17.1	14.2	13.6	10.0	3.1	37.7	5.5
地域別										
南部地域	268	17.2	18.3	22.4	12.3	10.1	8.2	2.2	42.2	6.3
南西部地域	259	24.3	18.1	19.3	18.9	15.1	8.9	2.3	37.8	4.2
東部地域	410	27.8	18.8	20.7	16.3	12.2	12.2	3.7	38.8	3.7
さいたま地域	482	25.3	18.9	15.6	15.8	13.3	12.2	3.1	39.6	4.1
県央地域	218	25.7	19.7	15.1	14.2	17.4	8.3	3.2	33.9	5.0
川越比企地域	293	27.0	17.7	16.0	13.3	13.7	9.6	2.4	43.7	4.8
西部地域	299	26.8	26.1	15.4	13.0	13.0	11.0	3.7	29.8	7.0
利根地域	245	22.9	22.4	14.3	13.1	13.1	7.8	2.9	38.0	5.7
北部地域	203	23.6	27.1	14.8	11.3	15.8	7.4	2.5	36.9	2.5
秩父地域	40	25.0	30.0	15.0	5.0	17.5	10.0	7.5	32.5	7.5
性別										
男性	1,134	22.8	22.1	19.9	13.1	12.8	12.4	3.7	37.9	3.8
女性	1,585	26.3	19.6	15.2	15.3	14.1	8.2	2.6	38.2	5.3
年代別										
18・19歳	53	28.3	7.5	18.9	20.8	15.1	17.0	1.9	43.4	-
20歳代	229	28.4	12.2	24.9	30.1	15.3	17.5	4.4	35.4	0.4
【再掲】10歳代・20歳代	282	28.4	11.3	23.8	28.4	15.2	17.4	3.9	36.9	0.4
30歳代	316	29.7	14.6	21.8	23.1	17.7	8.5	3.5	41.5	0.6
40歳代	481	25.6	17.3	17.7	17.9	14.6	9.4	2.1	40.3	1.9
50歳代	524	25.4	21.8	16.2	13.0	14.9	10.7	3.2	40.3	1.5
60歳代	471	24.2	25.5	16.3	9.3	10.4	10.0	3.4	38.2	4.9
70歳以上	650	20.2	25.8	12.9	6.2	11.4	7.4	2.6	33.2	13.7
性・年代別										
男性／18・19歳	28	17.9	3.6	14.3	14.3	14.3	14.3	3.6	50.0	-
20歳代	91	26.4	17.6	24.2	18.7	14.3	20.9	5.5	40.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	119	24.4	14.3	21.8	17.6	14.3	19.3	5.0	42.9	-
30歳代	111	27.0	14.4	24.3	25.2	18.9	11.7	3.6	38.7	-
40歳代	173	23.1	17.3	17.9	17.3	13.9	11.0	2.9	38.7	3.5
50歳代	226	21.7	23.9	19.0	12.8	13.3	15.0	3.1	41.6	1.3
60歳代	215	22.8	28.4	20.9	10.2	8.4	14.0	4.7	37.2	2.8
70歳以上	286	20.6	25.5	18.2	6.3	11.9	7.7	3.5	32.9	9.8
女性／18・19歳	25	40.0	12.0	24.0	28.0	16.0	20.0	-	36.0	-
20歳代	137	29.2	8.8	24.8	37.2	15.3	14.6	3.6	32.1	0.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	30.9	9.3	24.7	35.8	15.4	15.4	3.1	32.7	0.6
30歳代	205	31.2	14.6	20.5	22.0	17.1	6.8	3.4	42.9	1.0
40歳代	308	26.9	17.2	17.5	18.2	14.9	8.4	1.6	41.2	1.0
50歳代	298	28.2	20.1	14.1	13.1	16.1	7.4	3.4	39.3	1.7
60歳代	255	25.5	22.7	12.2	8.6	11.8	6.7	2.4	39.2	6.7
70歳以上	352	19.9	26.7	8.8	6.3	11.4	7.1	1.7	34.1	15.6
職業別										
自営業・家族従業（計）	242	23.6	24.8	15.7	13.2	20.7	9.5	1.7	34.7	6.2
雇用者（計）	1,461	25.9	19.0	18.9	17.0	13.6	11.0	3.2	38.6	2.1
無職（計）	1,006	23.6	21.9	15.2	10.9	11.9	8.6	3.1	38.6	7.7
ライフステージ別										
独身期	327	31.2	14.1	25.1	28.7	19.6	19.0	4.0	33.9	0.3
家族形成期	215	25.1	9.3	16.7	23.3	13.0	5.6	4.7	48.4	0.5
家族成長前期	245	27.8	18.0	22.4	13.1	13.9	4.1	2.0	39.6	2.9
家族成長後期	232	23.7	19.8	18.1	19.4	15.1	12.5	3.0	38.8	0.9
家族成熟期	463	23.8	23.8	15.6	12.1	12.3	9.7	3.5	39.1	3.9
高齢期	609	23.6	28.2	15.8	6.4	13.0	8.9	2.3	35.3	7.2
その他	676	22.5	18.9	13.2	11.4	11.5	9.5	3.0	36.2	11.5

(6) 共生社会づくりの取組で参加・協力できると思うもの

◇「地域活動への参加」が26.1%

問23 埼玉県が共生社会づくりの取組を進めて行く中で、あなたが参加・協力できると思うものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

(○はいくつでも)



共生社会づくりの取組で参加・協力できると思うものは、「地域活動への参加」(26.1%)が2割台半ばを超えて最も高く、「募金や物資の寄付などの物的支援」(21.5%)、「職場や学校での研修会・勉強会への参加」(17.7%)、「地域(職場や学校以外の場所)における研修会・勉強会への参加」(16.4%)などとなっている。

一方で、「今は参加・協力できないが将来的には参加・協力を検討したい」(19.9%)が約2割、「関心がない」(13.6%)が1割強となっている。

【属性別比較】

① 地域別

「地域活動への参加」と「募金や物資の寄付などの物的支援」はともに北部地域（37.9%・26.6%）で最も高くなっている。「職場や学校での研修会・勉強会への参加」は秩父地域（25.0%）で2割台半ばとやや高くなっている。一方で、「今は参加・協力できないが将来的には参加・協力を検討したい」は南西部地域（26.3%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

② 性別

「地域活動への参加」は男性（29.8%）の方が女性（23.8%）よりも6.0ポイント高くなっている。一方、「募金や物資の寄付などの物的支援」は女性（25.4%）の方が男性（16.4%）よりも9.0ポイント高く、「職場や学校での研修会・勉強会への参加」でも女性（19.5%）の方が男性（15.5%）よりも4.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「地域活動への参加」は年代が上がるほど割合が高くなっており、70歳以上（35.7%）で3割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「地域活動への参加」は男性70歳以上（40.6%）で4割を超えて最も高くなっている。「募金や物資の寄付などの物的支援」は女性70歳以上（32.1%）で3割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「職場や学校での研修会・勉強会への参加」は雇用者（計）（26.1%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている

⑥ ライフステージ別

「地域活動への参加」と「募金や物資の寄付などの物的支援」は高齢期（39.4%・26.4%）で最も高くなっている。また、「職場や学校での研修会・勉強会への参加」は家族成長前期（32.2%）、独身期と家族成長後期（各31.5%）で3割強と高くなっている。

○共生社会つくりの取組で参加・協力できると思うもの・地域別／性別／年代別
／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	地域活動への参加	募金や物資の寄付などの物的支援	職場や学校での研修会・勉強会への参加	地域（職場や学校以外の場所）における研修会・勉強会への参加	職場や学校における支援活動への参加	NPOやボランティアなど団体活動への参加	SNSなどを通じた情報発信への協力	その他	今は参加・協力を検討したい	今参加・協力できないが将来的に	関心がない	無回答
全体	2,767	26.1	21.5	17.7	16.4	13.9	9.9	7.8	1.8	19.9	13.6	4.1	
地域別													
南部地域	268	24.3	18.7	14.6	16.0	12.3	11.6	7.8	1.1	19.4	16.8	4.1	
南西部地域	259	21.6	19.3	20.5	16.2	13.1	8.9	8.9	1.5	26.3	13.5	1.5	
東部地域	410	21.7	20.5	17.6	18.0	13.4	10.5	9.5	2.2	21.7	15.9	3.7	
さいたま地域	482	27.0	23.2	21.0	16.8	16.2	11.2	8.9	2.3	19.9	12.7	2.3	
県央地域	218	23.9	23.9	17.0	13.8	16.1	7.8	7.8	0.9	16.5	14.2	3.7	
川越比企地域	293	28.7	21.8	19.1	17.4	16.4	10.6	8.5	2.0	19.1	11.3	3.4	
西部地域	299	25.4	20.4	14.4	17.1	11.4	10.4	6.7	2.0	21.7	12.4	4.0	
利根地域	245	30.2	21.2	12.7	14.3	12.2	7.8	4.5	2.0	18.0	15.9	4.1	
北部地域	203	37.9	26.6	21.2	16.7	14.3	8.9	6.9	1.5	17.2	9.9	3.4	
秩父地域	40	25.0	25.0	25.0	15.0	17.5	10.0	7.5	-	17.5	15.0	5.0	
性別													
男性	1,134	29.8	16.4	15.5	17.6	12.2	9.5	6.7	2.1	22.0	15.1	2.5	
女性	1,585	23.8	25.4	19.5	15.7	15.5	10.4	8.8	1.6	18.8	12.7	3.7	
年代別													
18・19歳	53	17.0	17.0	35.8	9.4	37.7	13.2	28.3	3.8	15.1	9.4	-	
20歳代	229	14.4	17.0	30.6	12.2	24.0	12.7	20.1	0.4	15.7	16.2	0.4	
【再掲】10歳代・20歳代	282	14.9	17.0	31.6	11.7	26.6	12.8	21.6	1.1	15.6	14.9	0.4	
30歳代	316	19.0	20.6	27.5	12.0	25.0	8.5	17.7	0.6	18.4	17.1	0.6	
40歳代	481	20.2	21.0	31.8	16.8	23.9	8.1	9.8	1.5	19.1	13.1	1.7	
50歳代	524	23.9	19.8	19.1	15.1	13.0	10.5	5.0	1.9	27.9	12.0	1.1	
60歳代	471	33.3	21.4	6.8	20.2	5.1	11.9	3.8	1.5	25.1	13.6	2.8	
70歳以上	650	35.7	26.2	3.7	18.9	3.2	9.2	1.2	3.1	14.0	13.4	9.5	
性・年代別													
男性／18・19歳	28	28.6	14.3	35.7	10.7	42.9	3.6	10.7	3.6	10.7	10.7	-	
20歳代	91	19.8	14.3	27.5	19.8	20.9	12.1	15.4	1.1	15.4	20.9	-	
【再掲】10歳代・20歳代	119	21.8	14.3	29.4	17.6	26.1	10.1	14.3	1.7	14.3	18.5	-	
30歳代	111	26.1	21.6	31.5	15.3	22.5	9.9	14.4	1.8	14.4	17.1	-	
40歳代	173	19.1	14.5	23.7	13.9	19.1	5.2	9.2	3.5	21.4	17.3	3.5	
50歳代	226	24.8	13.7	17.7	14.2	14.6	11.1	6.6	2.2	29.6	12.8	0.9	
60歳代	215	35.3	15.3	5.1	22.3	3.7	11.2	3.3	1.4	30.7	15.3	0.9	
70歳以上	286	40.6	18.9	4.9	19.9	2.8	9.4	1.7	2.1	16.4	12.9	6.3	
女性／18・19歳	25	4.0	20.0	36.0	8.0	32.0	24.0	48.0	4.0	20.0	8.0	-	
20歳代	137	10.9	19.0	32.8	7.3	26.3	13.1	23.4	-	15.3	13.1	0.7	
【再掲】10歳代・20歳代	162	9.9	19.1	33.3	7.4	27.2	14.8	27.2	0.6	16.0	12.3	0.6	
30歳代	205	15.1	20.0	25.4	10.2	26.3	7.8	19.5	-	20.5	17.1	1.0	
40歳代	308	20.8	24.7	36.4	18.5	26.6	9.7	10.1	0.3	17.9	10.7	0.6	
50歳代	298	23.2	24.5	20.1	15.8	11.7	10.1	3.7	1.7	26.5	11.4	1.3	
60歳代	255	31.8	26.3	8.2	18.4	6.3	12.5	4.3	1.6	20.4	12.2	4.3	
70歳以上	352	32.7	32.1	2.8	18.5	3.7	9.4	0.9	4.0	12.2	13.6	10.8	
職業別													
自営業・家族従業（計）	242	31.0	25.6	10.3	14.9	8.3	8.3	7.9	4.1	22.7	8.7	4.5	
雇用者（計）	1,461	21.4	20.1	26.1	15.6	19.4	9.8	9.3	1.0	22.5	13.3	1.6	
無職（計）	1,006	32.1	23.3	7.8	18.3	7.9	10.9	6.1	2.3	15.8	15.6	5.2	
ライフステージ別													
独身期	327	16.2	20.8	31.5	11.9	25.1	13.1	23.5	1.2	15.3	12.5	0.6	
家族形成期	215	17.7	15.8	23.3	11.6	21.4	6.0	15.8	0.5	20.5	21.4	-	
家族成長前期	245	24.9	18.8	32.2	18.0	31.0	8.2	8.2	0.4	18.8	13.1	1.2	
家族成長後期	232	22.4	19.4	31.5	16.8	22.8	8.6	6.9	2.2	28.4	7.8	1.3	
家族成熟期	463	29.6	21.6	11.9	18.8	9.7	10.8	4.8	1.7	24.4	12.5	2.6	
高齢期	609	39.4	26.4	4.8	22.0	4.1	11.3	2.3	2.6	15.9	12.0	4.8	
その他	676	20.7	20.9	14.8	12.9	8.4	8.7	4.9	2.2	19.8	16.1	9.5	

5 エスカレーターの利用について
(問24～問29)

5. エスカレーターの利用について

次にエスカレーターの利用についておたずねしました。

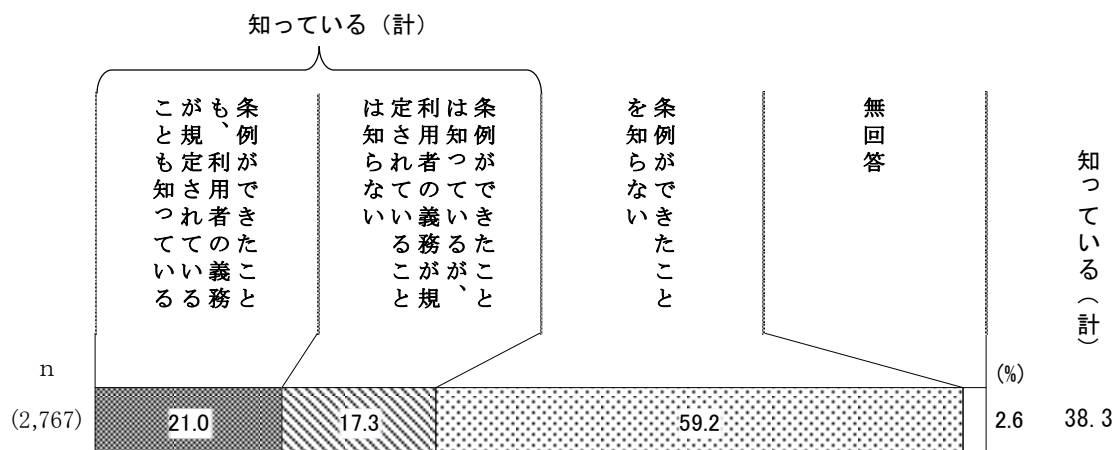
埼玉県議会令和3年2月定例会において「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例（以下「条例」という。）」が成立しました。施行日は、令和3年10月1日です。

条例では、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と規定しています。

(1) 「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度

◇「条例ができたことを知らない」が59.2%

問24 あなたは、条例ができたことを知っていますか。（○は1つだけ）



「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知については、「条例ができたことを知らない」（59.2%）が約6割となっている。

認知程度としては、「条例ができたことも利用者の義務が規定されていることも知っている」（21.0%）が2割強で、「条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」（17.3%）を上回っている。

【属性別比較】

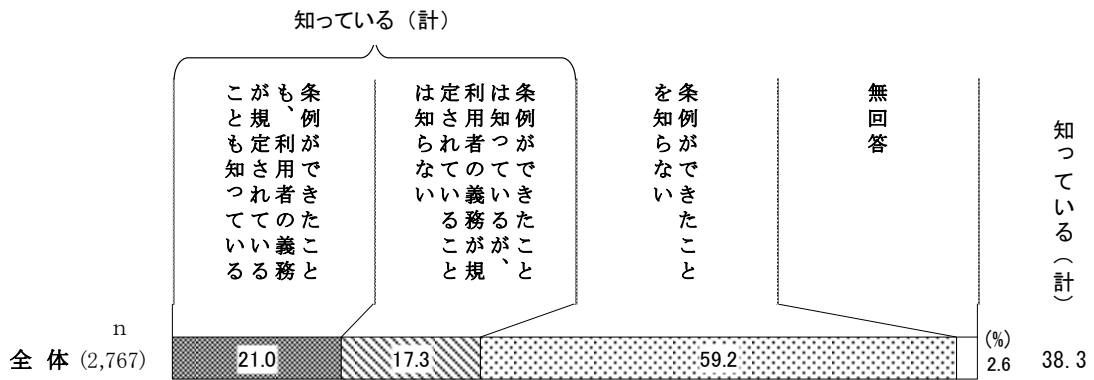
① 性別

性別による大きな差はみられないが、条例ができたことを知っているのは女性でやや多い。

② 年代別

「条例ができたことも、利用者の義務が規定されていることも知っている」は50歳代（24.0%）で2割台半ばと最も高くなっている。「条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」は50歳代以上で2割前後となっている。一方、「条例ができたことを知らない」は40歳代以下の年代で6割台となっている。

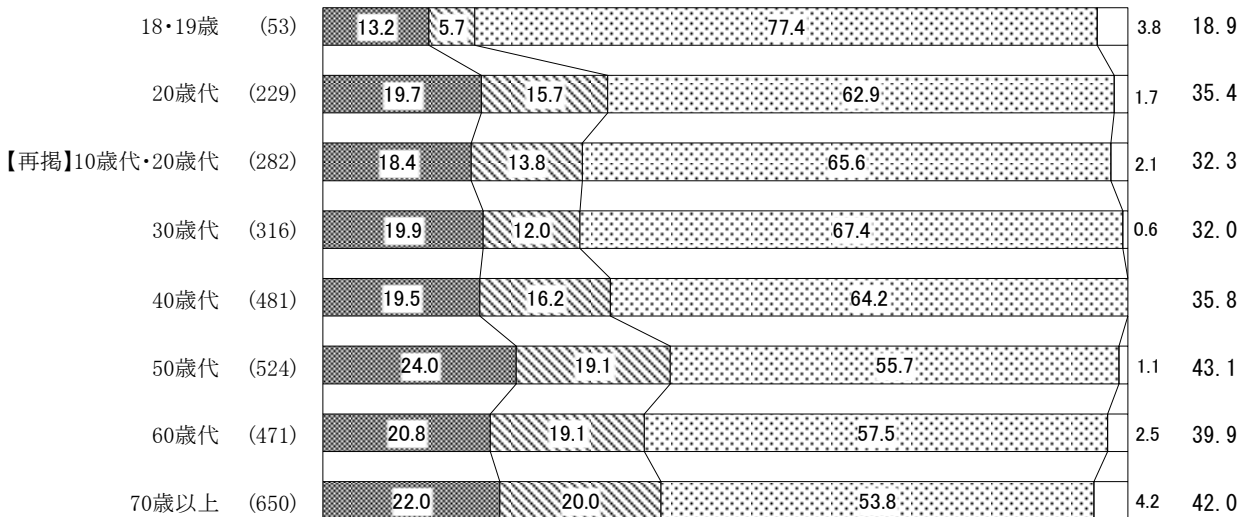
○「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

「条例ができたことを知らない」は秩父地域（70.0%）で7割と最も高く、さいたま地域（51.7%）で5割台前半と最も低くなっている。

④ 性・年代別

「条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」は、女性70歳以上（22.2%）で2割強と最も高く、女性30歳代（11.7%）で1割強と最も低くなっている。

⑤ 職業別

「条例ができたことも、利用者の義務が規定されていることも知っている」は無職（計）（24.6%）で2割台半ばと最も高く、「条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」も無職（計）（19.8%）で約2割と最も高く、他の職業と比べて大きく差がある。

⑥ ライフステージ別

「条例ができたことを知らない」は家族成長前期（69.8%）で約7割と最も高く、家族形成期（65.1%）と独身期（63.9%）でも6割台となっている。

○「埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例」の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

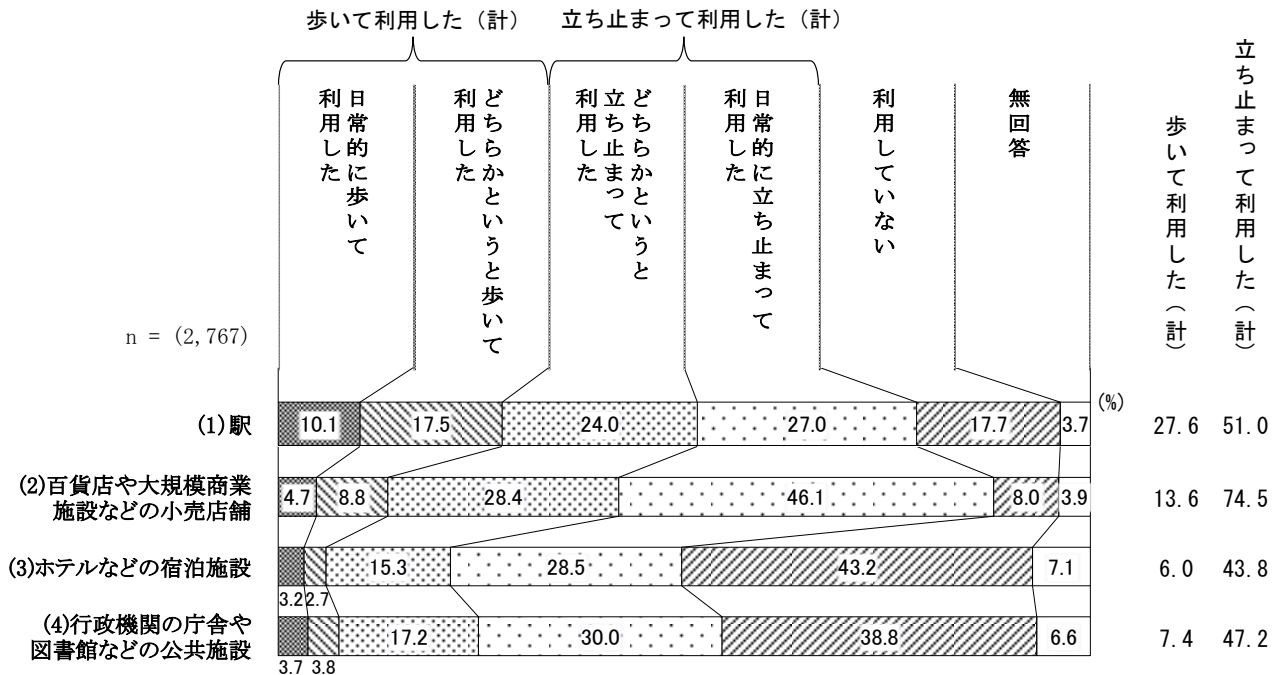
	調査数 n	利用者ができたことも知っている	条例が規定されていることは知らない	条例ができたことを知らない	無回答	知っている（計） (%)
全体	2,767	21.0	17.3	59.2	2.6	38.3
地域別						
南部地域	268	18.7	20.9	57.1	3.4	39.6
南西部地域	259	22.4	15.4	60.6	1.5	37.8
東部地域	410	17.3	19.0	61.2	2.4	36.3
さいたま地域	482	27.4	20.1	51.7	0.8	47.5
県央地域	218	23.9	13.8	61.0	1.4	37.6
川越比企地域	293	19.5	18.1	61.1	1.4	37.5
西部地域	299	20.7	15.4	61.2	2.7	36.1
利根地域	245	18.8	14.3	64.5	2.4	33.1
北部地域	203	20.2	16.3	62.1	1.5	36.5
秩父地域	40	12.5	15.0	70.0	2.5	27.5
性・年代別						
男性／18・19歳	28	3.6	7.1	82.1	7.1	10.7
20歳代	91	20.9	13.2	63.7	2.2	34.1
【再掲】10歳代・20歳代	119	16.8	11.8	68.1	3.4	28.6
30歳代	111	21.6	12.6	65.8	-	34.2
40歳代	173	20.8	12.1	67.1	-	32.9
50歳代	226	23.5	20.8	54.9	0.9	44.2
60歳代	215	19.1	15.3	62.8	2.8	34.4
70歳以上	286	22.0	17.1	57.7	3.1	39.2
女性／18・19歳	25	24.0	4.0	72.0	-	28.0
20歳代	137	19.0	17.5	62.0	1.5	36.5
【再掲】10歳代・20歳代	162	19.8	15.4	63.6	1.2	35.2
30歳代	205	19.0	11.7	68.3	1.0	30.7
40歳代	308	18.8	18.5	62.7	-	37.3
50歳代	298	24.5	17.8	56.4	1.3	42.3
60歳代	255	22.4	22.0	53.3	2.4	44.3
70歳以上	352	22.2	22.2	51.4	4.3	44.3
職業別						
自営業・家族従業（計）	242	18.2	15.3	64.9	1.7	33.5
雇用者（計）	1,461	19.4	15.9	63.3	1.3	35.4
無職（計）	1,006	24.6	19.8	53.0	2.7	44.3
ライフステージ別						
独身期	327	21.1	13.1	63.9	1.8	34.3
家族形成期	215	19.1	15.8	65.1	-	34.9
家族成長前期	245	16.7	13.1	69.8	0.4	29.8
家族成長後期	232	20.7	19.4	59.1	0.9	40.1
家族成熟期	463	20.7	17.9	58.7	2.6	38.7
高齢期	609	23.0	21.5	53.0	2.5	44.5
その他	676	21.4	16.4	57.0	5.2	37.9

(2) エスカレーターの利用実態

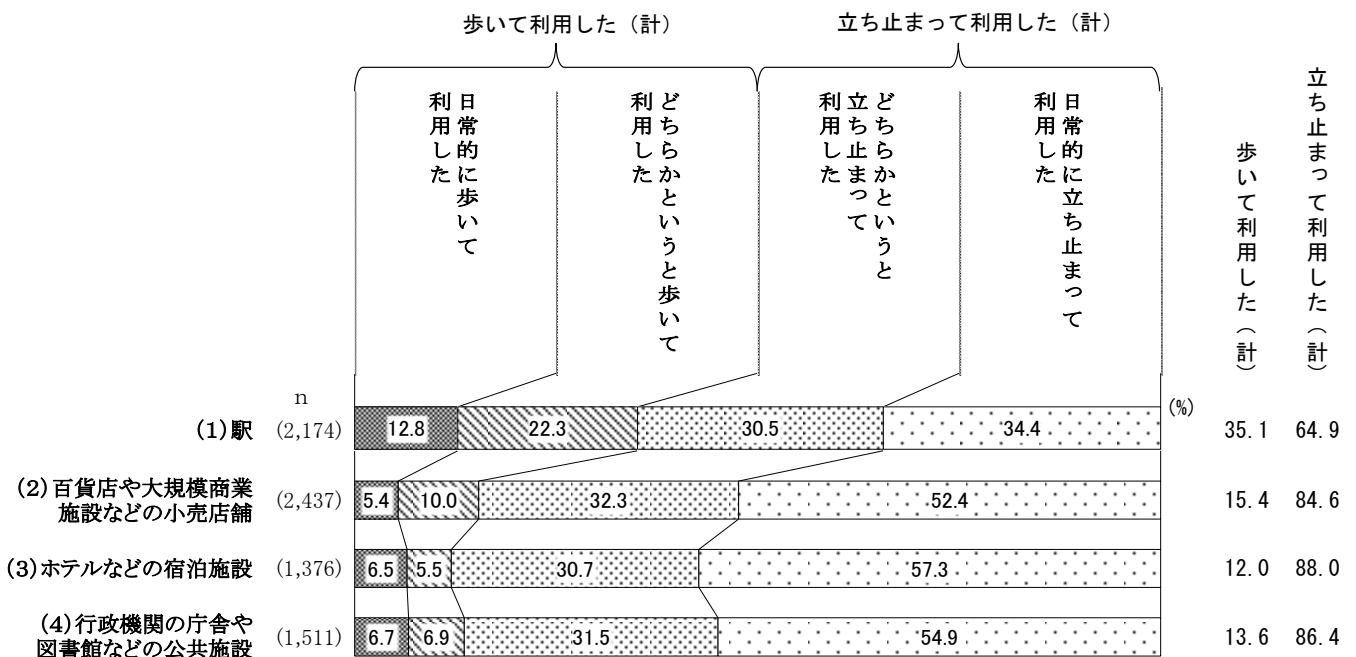
◇駅での利用は、『歩いて利用した（計）』が27.6%、『立ち止まって利用した（計）』が51.0%

問25 あなたは、最近1年間、エスカレーターを利用する際、歩いて利用しましたか。それとも立ち止まって利用しましたか。エスカレーターが設置されている次の(1)から(4)までの施設それぞれについて、近いものを選んでください。
(各施設それぞれ〇は1つずつ)

※「利用していない」の回答割合を含めた全体グラフ



エスカレーターの施設別の利用状況については、施設そのものの利用実態（割合）で上記のグラフにあるように大きな差異があるため、「利用していない」と「無回答」を除いたものをn数（回答者）として、利用形態を比較した。



(1) 駅

駅での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(34.4%)で3割台半ばと最も高く、「どちらか」というと立ち止まって利用した(30.5%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(64.9%)は6割台半ばとなっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(12.8%)と「どちらか」というと歩いて利用した(22.3%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(35.1%)は3割台半ばとなっている。

【属性別比較】

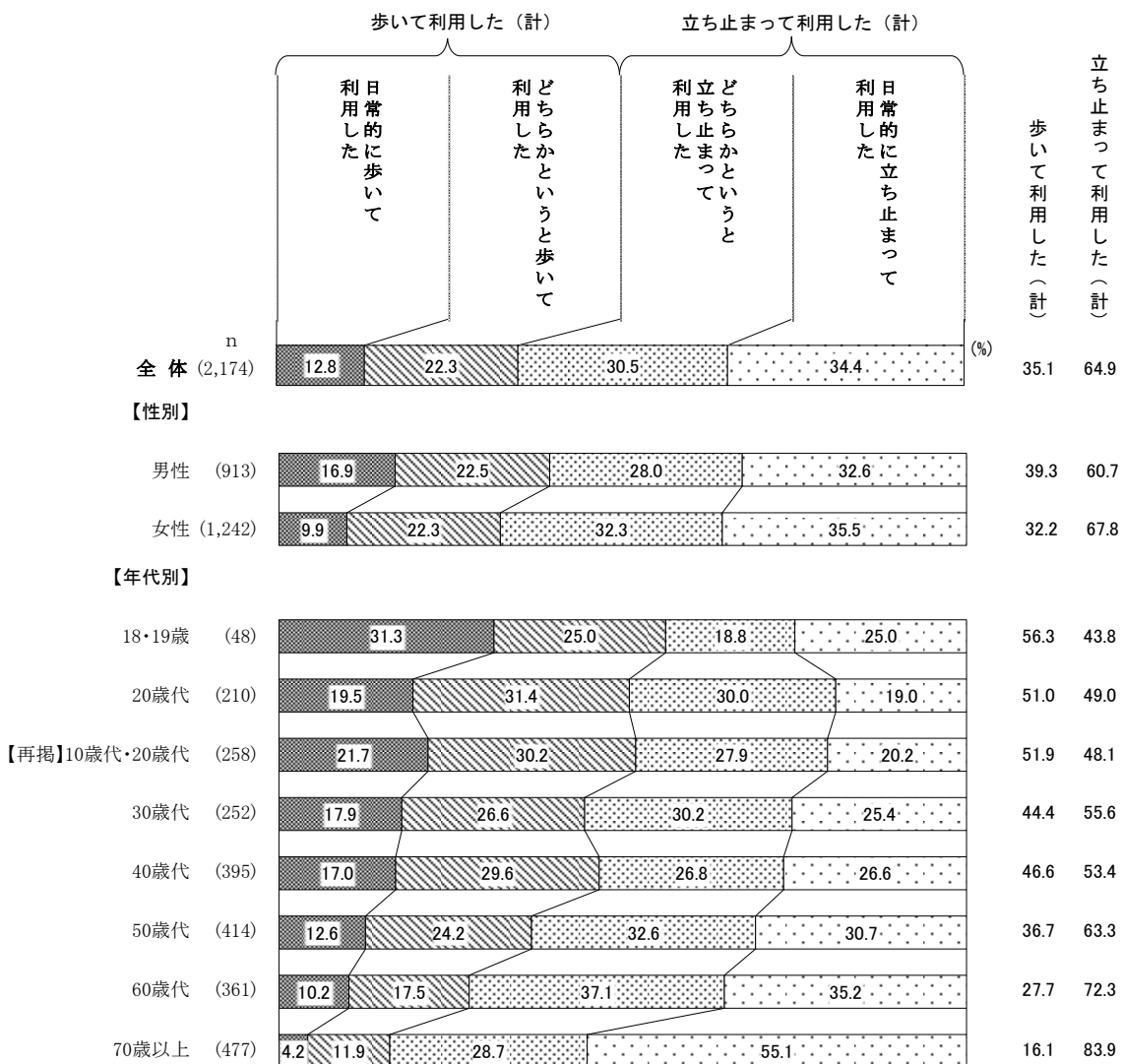
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(67.8%)の方が男性(60.7%)よりも7.1ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(83.9%)で8割強と最も高く、年代が下がるほどおおむね割合が低くなり、10歳代・20歳代(48.1%)で5割弱と最も低くなっている。

○ 「(1) 駅」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は北部地域（70.0%）で7割と最も高く、さいたま地域（58.5%）で6割弱と最も低くなっている。

※秩父地域（n=21）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（85.7%）で8割台半ばと最も高く、男性10歳代・20歳代（40.7%）で4割台前半と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（78.1%）で8割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（80.3%）で8割を超えて最も高くなっている。

○ 「（1）駅」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いた	どちらかという歩いた	立ち止まっていた	日常的に立ち止まっていた	（％）	
						（計）歩いて利用した	（計）立ち止まって利用した
全体	2,174	12.8	22.3	30.5	34.4	35.1	64.9
地域別							
南部地域	223	9.9	22.4	32.7	35.0	32.3	67.7
南西部地域	230	14.8	24.8	31.3	29.1	39.6	60.4
東部地域	345	13.0	23.8	26.4	36.8	36.8	63.2
さいたま地域	417	14.9	26.6	29.7	28.8	41.5	58.5
県央地域	169	13.6	17.2	34.3	34.9	30.8	69.2
川越比企地域	218	13.3	17.9	31.2	37.6	31.2	68.8
西部地域	237	12.2	23.6	24.1	40.1	35.9	64.1
利根地域	170	11.8	18.8	32.9	36.5	30.6	69.4
北部地域	120	10.8	19.2	40.8	29.2	30.0	70.0
秩父地域	21	4.8	19.0	33.3	42.9	23.8	76.2
性・年代別							
男性／18・19歳	24	41.7	20.8	16.7	20.8	62.5	37.5
20歳代	84	27.4	31.0	26.2	15.5	58.3	41.7
【再掲】10歳代・20歳代	108	30.6	28.7	24.1	16.7	59.3	40.7
30歳代	96	27.1	22.9	30.2	19.8	50.0	50.0
40歳代	142	22.5	31.0	22.5	23.9	53.5	46.5
50歳代	177	18.1	24.3	27.1	30.5	42.4	57.6
60歳代	168	12.5	19.6	34.5	33.3	32.1	67.9
70歳以上	219	4.1	14.2	28.8	53.0	18.3	81.7
女性／18・19歳	24	20.8	29.2	20.8	29.2	50.0	50.0
20歳代	125	14.4	32.0	32.8	20.8	46.4	53.6
【再掲】10歳代・20歳代	149	15.4	31.5	30.9	22.1	47.0	53.0
30歳代	156	12.2	28.8	30.1	28.8	41.0	59.0
40歳代	253	13.8	28.9	29.2	28.1	42.7	57.3
50歳代	237	8.4	24.1	36.7	30.8	32.5	67.5
60歳代	192	7.8	15.6	39.6	37.0	23.4	76.6
70歳以上	252	4.4	9.9	28.2	57.5	14.3	85.7
職業別							
自営業・家族従業（計）	172	7.0	18.0	37.8	37.2	25.0	75.0
雇用者（計）	1,216	17.3	27.9	28.9	25.9	45.1	54.9
無職（計）	761	7.1	14.8	31.4	46.6	21.9	78.1
ライフステージ別							
独身期	295	21.7	29.2	26.8	22.4	50.8	49.2
家族形成期	186	19.4	28.0	29.6	23.1	47.3	52.7
家族成長前期	187	18.7	25.1	28.9	27.3	43.9	56.1
家族成長後期	184	16.8	30.4	26.6	26.1	47.3	52.7
家族成熟期	363	10.5	19.8	33.6	36.1	30.3	69.7
高齢期	466	5.8	13.9	29.4	50.9	19.7	80.3
その他	493	9.7	21.5	34.1	34.7	31.2	68.8

(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗

百貨店や大規模商業施設などの小売店舗での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(52.4%)で5割強と最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(32.3%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(84.6%)は8割台半ばとなっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(5.4%)と「どちらかという歩いて利用した」(10.0%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(15.4%)は1割台半ばとなっている。

【属性別比較】

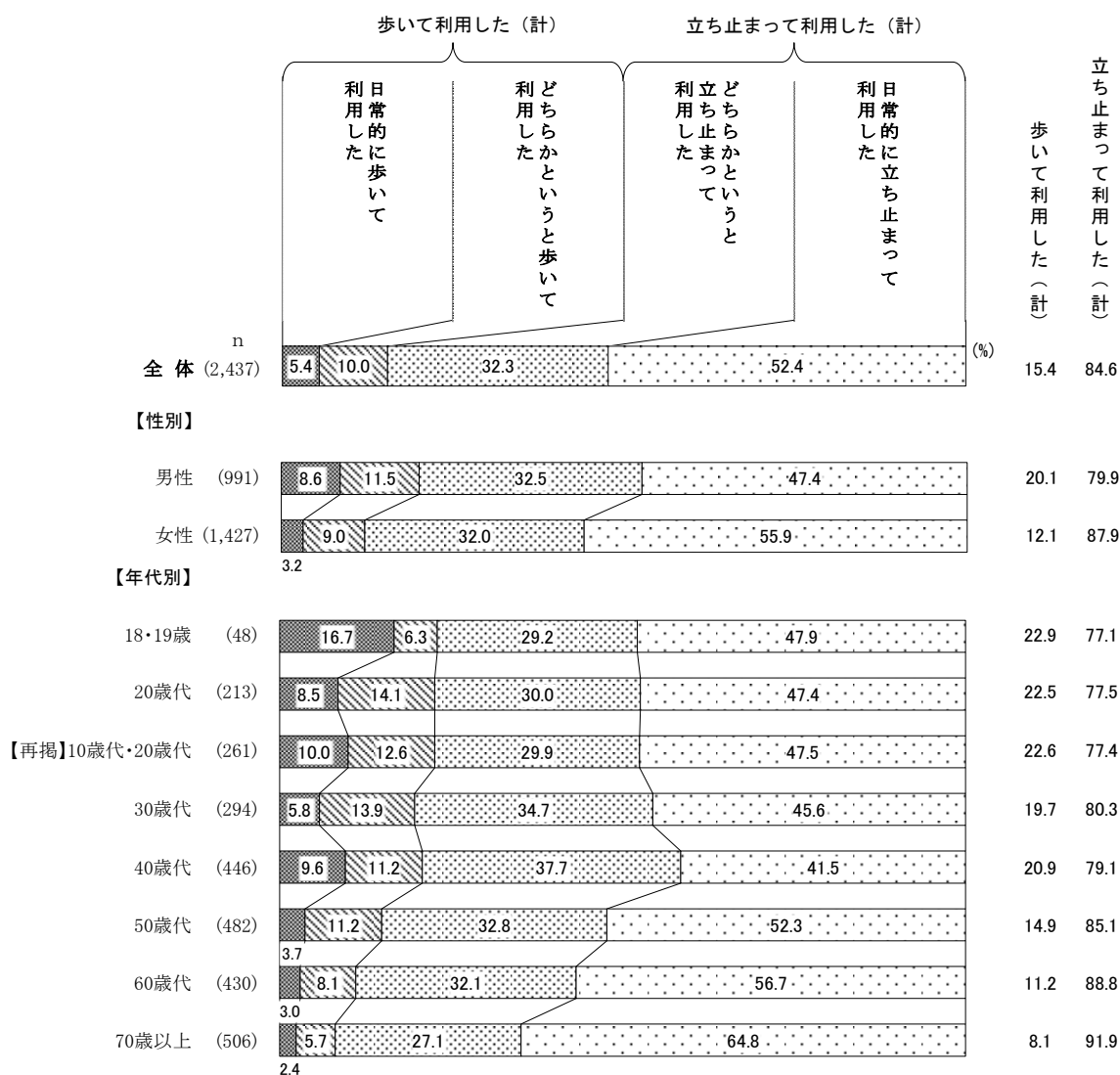
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(87.9%)の方が男性(79.9%)よりも8.0ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(91.9%)で9割強と最も高く、年代が下がるほどおむね割合が低くなり、10歳代・20歳代(77.4%)で7割台後半と最も低くなっている。

○ 「(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は利根地域（89.4%）で約9割と最も高く、秩父地域（80.6%）で8割台前半と最も低くなっている。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（93.8%）で9割強と最も高く、男性10歳代・20歳代（64.2%）で6割台半ばと最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（89.5%）で約9割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（89.9%）で約9割と最も高くなっている。

○ 「（2）百貨店や大規模商業施設などの小売店舗」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いている	どちらかというと歩いている	立ち止まって利用した	どちらかというと歩いている	日常的に立ち止まって利用した	(計) 歩いて利用した (%)	(計) 立ち止まって利用した (%)
全体	2,437	5.4	10.0	32.3	52.4	15.4	84.6	
地域別								
南部地域	247	2.4	9.7	34.4	53.4	12.1	87.9	
南西部地域	234	6.4	11.5	29.1	53.0	17.9	82.1	
東部地域	365	6.0	11.2	28.2	54.5	17.3	82.7	
さいたま地域	435	6.2	10.6	34.0	49.2	16.8	83.2	
県央地域	192	5.7	8.9	31.8	53.6	14.6	85.4	
川越比企地域	260	4.6	12.3	33.5	49.6	16.9	83.1	
西部地域	264	6.1	7.6	28.8	57.6	13.6	86.4	
利根地域	208	5.3	5.3	31.3	58.2	10.6	89.4	
北部地域	176	5.1	11.4	40.3	43.2	16.5	83.5	
秩父地域	31	3.2	16.1	35.5	45.2	19.4	80.6	
性・年代別								
男性／18・19歳	25	28.0	8.0	28.0	36.0	36.0	64.0	
20歳代	84	15.5	20.2	31.0	33.3	35.7	64.3	
【再掲】10歳代・20歳代	109	18.3	17.4	30.3	33.9	35.8	64.2	
30歳代	103	9.7	12.6	38.8	38.8	22.3	77.7	
40歳代	158	17.1	12.7	34.8	35.4	29.7	70.3	
50歳代	198	6.1	14.6	33.3	46.0	20.7	79.3	
60歳代	192	2.6	9.4	33.3	54.7	12.0	88.0	
70歳以上	228	4.4	6.1	28.1	61.4	10.5	89.5	
女性／18・19歳	23	4.3	4.3	30.4	60.9	8.7	91.3	
20歳代	128	3.9	10.2	29.7	56.3	14.1	85.9	
【再掲】10歳代・20歳代	151	4.0	9.3	29.8	57.0	13.2	86.8	
30歳代	191	3.7	14.7	32.5	49.2	18.3	81.7	
40歳代	288	5.6	10.4	39.2	44.8	16.0	84.0	
50歳代	284	2.1	8.8	32.4	56.7	10.9	89.1	
60歳代	237	3.4	6.8	31.2	58.6	10.1	89.9	
70歳以上	273	0.7	5.5	26.0	67.8	6.2	93.8	
職業別								
自営業・家族従業（計）	201	4.0	8.0	37.8	50.2	11.9	88.1	
雇用者（計）	1,350	6.9	12.2	34.8	46.1	19.1	80.9	
無職（計）	858	3.4	7.1	26.7	62.8	10.5	89.5	
ライフステージ別								
独身期	301	10.0	13.0	29.2	47.8	22.9	77.1	
家族形成期	206	7.3	10.2	36.4	46.1	17.5	82.5	
家族成長前期	227	8.4	14.1	33.9	43.6	22.5	77.5	
家族成長後期	210	7.1	13.3	38.6	41.0	20.5	79.5	
家族成熟期	430	2.8	9.1	30.2	57.9	11.9	88.1	
高齢期	525	2.7	7.4	27.6	62.3	10.1	89.9	
その他	538	4.8	8.6	35.3	51.3	13.4	86.6	

(3) ホテルなどの宿泊施設

ホテルなどの宿泊施設での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(57.3%)で5割台半ばを超えて最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(30.7%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(88.0%)は9割弱となっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(6.5%)と「どちらかという歩いて利用した」(5.5%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(12.0%)は1割強となっている。

【属性別比較】

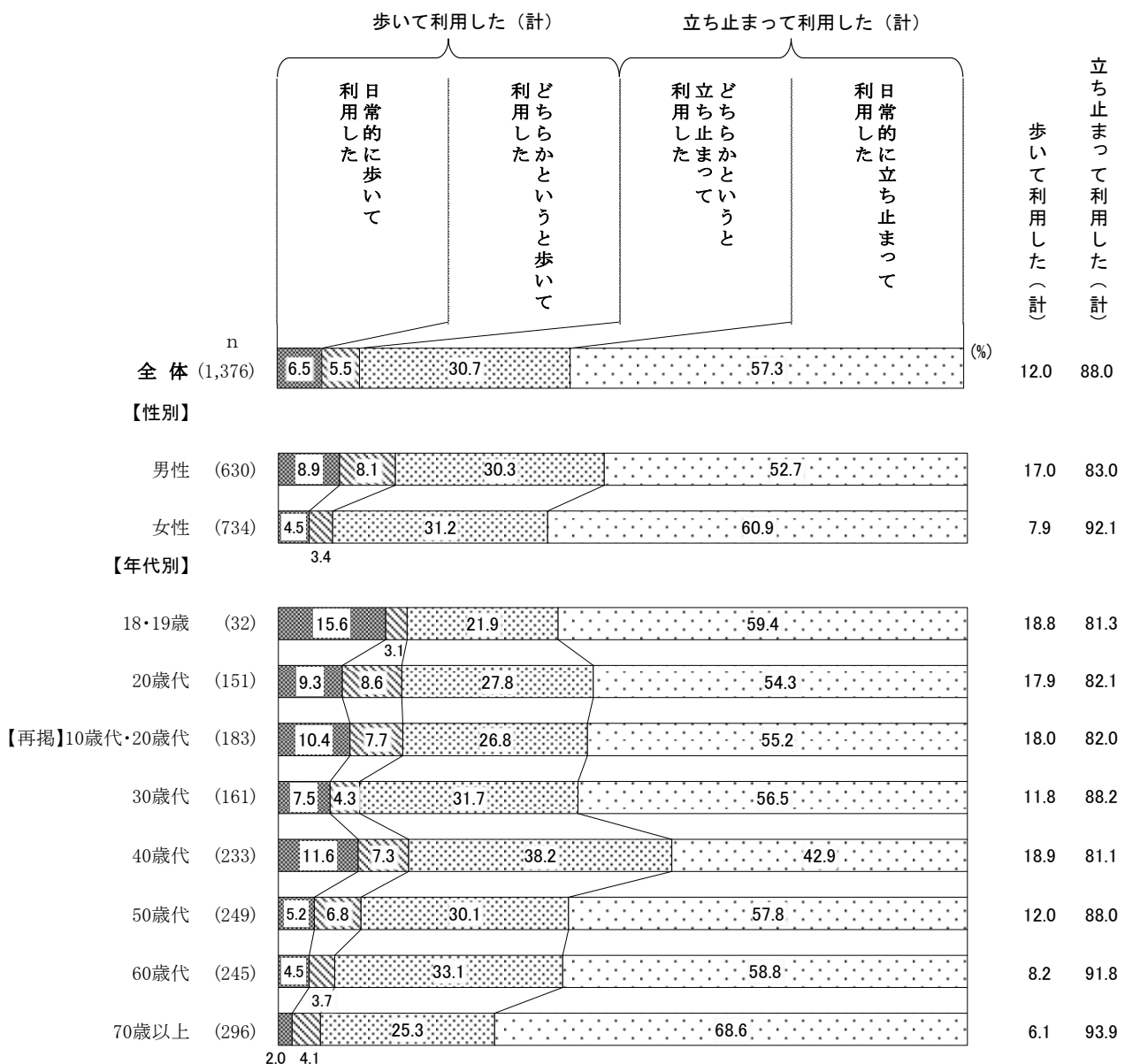
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(92.1%)の方が男性(83.0%)よりも9.1ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(93.9%)で9割強と最も高く、40歳代(81.1%)で8割強と最も低くなっている。

○ 「(3) ホテルなどの宿泊施設」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は利根地域（91.6%）で9割強と最も高く、北部地域（83.7%）で8割強と最も低くなっている。

※秩父地域（n=18）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（94.8%）で9割台半ばと最も高く、男性10歳代・20歳代（68.8%）で7割弱と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（92.2%）で9割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（92.0%）で9割強と最も高くなっている。

○ 「(3) ホテルなどの宿泊施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いた 利用した	どちらかと 歩いた 利用した	どちらかと 歩いた 立ち止まって 利用した	日常的に立ち止まって 利用した	(歩いて利用した) (計)	(立ち止まって利用した) (計)
全体	1,376	6.5	5.5	30.7	57.3	12.0	88.0
地域別							
南部地域	140	4.3	6.4	32.9	56.4	10.7	89.3
南西部地域	153	7.2	6.5	27.5	58.8	13.7	86.3
東部地域	211	6.2	7.1	27.5	59.2	13.3	86.7
さいたま地域	259	5.8	6.2	33.6	54.4	12.0	88.0
県央地域	107	8.4	1.9	29.0	60.7	10.3	89.7
川越比企地域	145	7.6	4.8	30.3	57.2	12.4	87.6
西部地域	139	7.9	3.6	30.2	58.3	11.5	88.5
利根地域	107	5.6	2.8	32.7	58.9	8.4	91.6
北部地域	86	8.1	8.1	34.9	48.8	16.3	83.7
秩父地域	18	-	11.1	33.3	55.6	11.1	88.9
性・年代別							
男性／18・19歳	17	29.4	-	23.5	47.1	29.4	70.6
20歳代	63	14.3	17.5	28.6	39.7	31.7	68.3
【再掲】10歳代・20歳代	80	17.5	13.8	27.5	41.3	31.3	68.8
30歳代	68	7.4	8.8	38.2	45.6	16.2	83.8
40歳代	97	19.6	8.2	34.0	38.1	27.8	72.2
50歳代	124	7.3	10.5	27.4	54.8	17.7	82.3
60歳代	122	3.3	5.7	33.6	57.4	9.0	91.0
70歳以上	137	2.9	4.4	24.8	67.9	7.3	92.7
女性／18・19歳	15	-	6.7	20.0	73.3	6.7	93.3
20歳代	87	5.7	2.3	27.6	64.4	8.0	92.0
【再掲】10歳代・20歳代	102	4.9	2.9	26.5	65.7	7.8	92.2
30歳代	93	7.5	1.1	26.9	64.5	8.6	91.4
40歳代	136	5.9	6.6	41.2	46.3	12.5	87.5
50歳代	125	3.2	3.2	32.8	60.8	6.4	93.6
60歳代	122	5.7	1.6	32.0	60.7	7.4	92.6
70歳以上	155	1.3	3.9	26.5	68.4	5.2	94.8
職業別							
自営業・家族従業（計）	123	5.7	4.9	35.8	53.7	10.6	89.4
雇用者（計）	775	8.3	6.6	33.4	51.7	14.8	85.2
無職（計）	461	3.9	3.9	24.9	67.2	7.8	92.2
ライフステージ別							
独身期	194	10.8	7.2	24.7	57.2	18.0	82.0
家族形成期	134	6.7	6.7	36.6	50.0	13.4	86.6
家族成長前期	111	11.7	6.3	30.6	51.4	18.0	82.0
家族成長後期	106	7.5	6.6	38.7	47.2	14.2	85.8
家族成熟期	239	4.6	4.2	29.7	61.5	8.8	91.2
高齢期	301	3.7	4.3	26.2	65.8	8.0	92.0
その他	291	5.5	5.5	34.7	54.3	11.0	89.0

(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設

行政機関の庁舎や図書館などの公共施設での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(54.9%)で5割台半ばと最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(31.5%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(86.4%)は8割台半ばを超えている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(6.7%)と「どちらかという歩いて利用した」(6.9%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(13.6%)は1割強となっている。

【属性別比較】

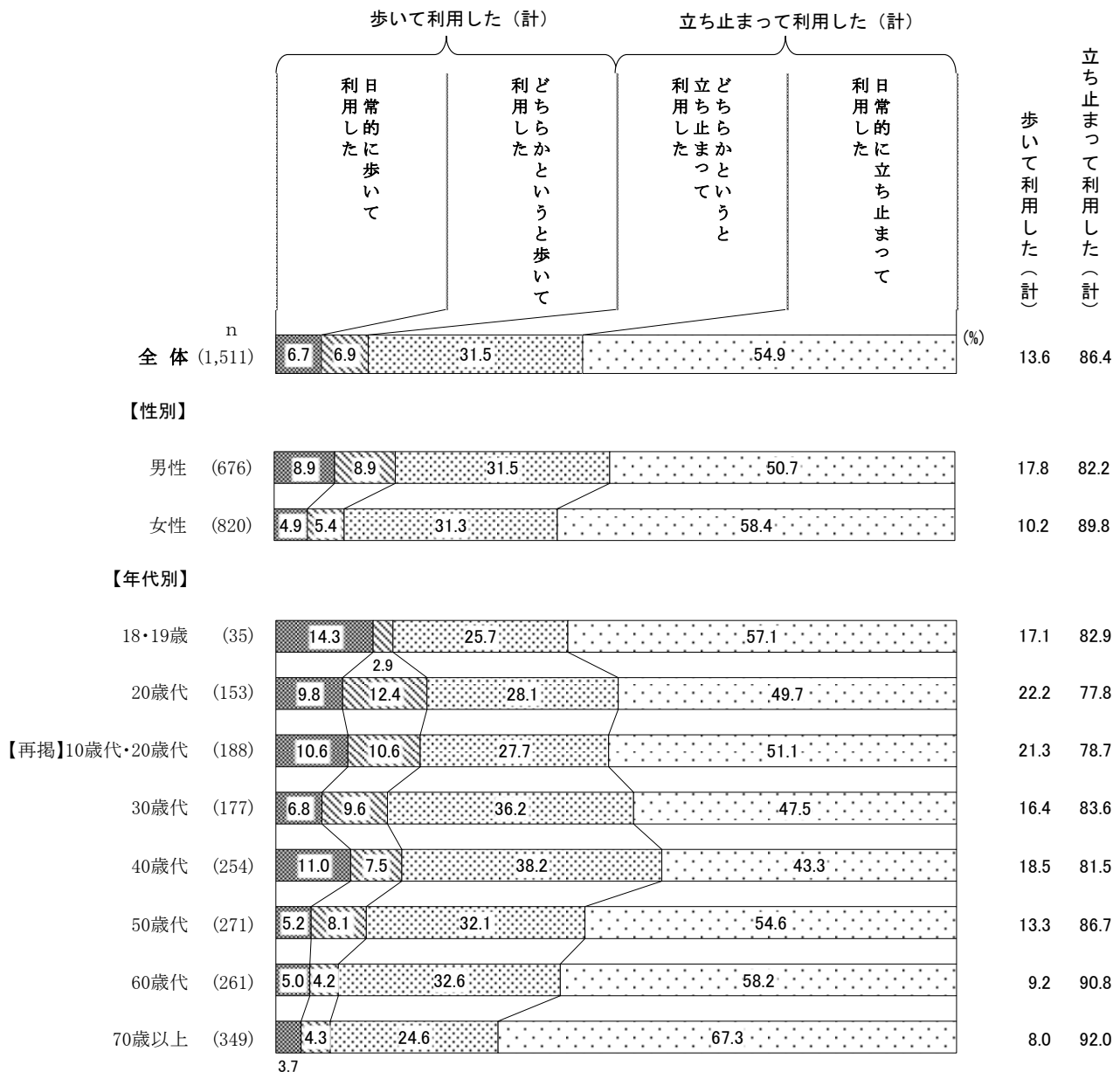
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(89.8%)の方が男性(82.2%)よりも7.6ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(92.0%)で9割強と最も高く、10歳代・20歳代(78.7%)で7割台後半と最も低くなっている。

○ 「(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は利根地域（90.7%）で9割を超えて最も高く、北部地域（81.1%）で8割強と最も低くなっている。

※秩父地域（n=16）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は男性70歳以上と女性60歳代（各92.5%）で9割強と最も高く、男性10歳代・20歳代（65.5%）で6割台半ばと最も低くなっている。

⑤ 職業別

『歩いて利用した（計）』は雇用者（計）（16.8%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（90.9%）で9割を超えて最も高くなっている。

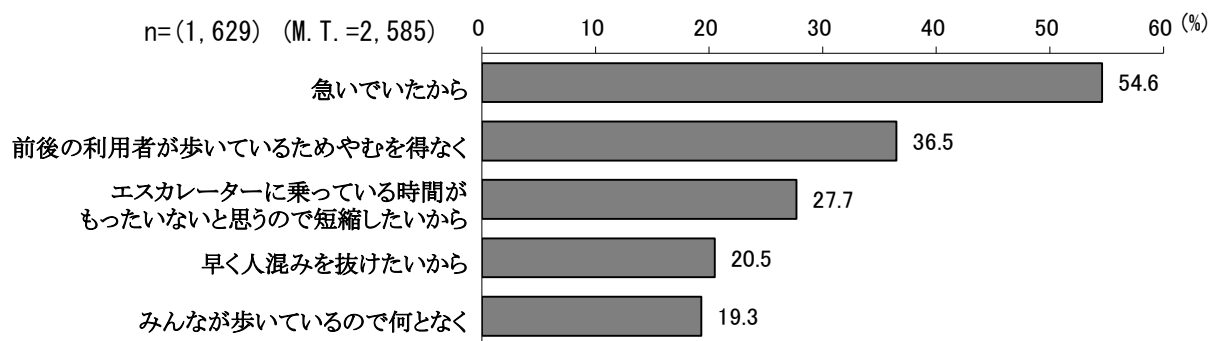
○「（4）行政機関の庁舎や図書館などの公共施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いて 利用した	どちらかという と歩いて 利用した	立ち止ま って 利用した	日常的に立ち止ま って 利用した	（％）	
						歩いて利用した （計）	立ち止まって利用した （計）
全 体	1,511	6.7	6.9	31.5	54.9	13.6	86.4
地域別							
南部地域	172	3.5	7.0	34.9	54.7	10.5	89.5
南西部地域	156	7.7	7.1	30.8	54.5	14.7	85.3
東部地域	225	7.1	10.2	22.2	60.4	17.3	82.7
さいたま地域	309	6.1	9.1	36.6	48.2	15.2	84.8
県央地域	129	7.8	3.1	31.0	58.1	10.9	89.1
川越比企地域	139	7.2	4.3	32.4	56.1	11.5	88.5
西部地域	147	8.8	4.1	26.5	60.5	12.9	87.1
利根地域	107	5.6	3.7	34.6	56.1	9.3	90.7
北部地域	95	9.5	9.5	34.7	46.3	18.9	81.1
秩父地域	16	-	6.3	37.5	56.3	6.3	93.8
性・年代別							
男性／18・19歳	18	27.8	-	27.8	44.4	27.8	72.2
20歳代	66	15.2	21.2	31.8	31.8	36.4	63.6
【再掲】10歳代・20歳代	84	17.9	16.7	31.0	34.5	34.5	65.5
30歳代	72	6.9	11.1	41.7	40.3	18.1	81.9
40歳代	97	18.6	9.3	33.0	39.2	27.8	72.2
50歳代	134	7.5	10.4	31.3	50.7	17.9	82.1
60歳代	126	4.0	7.1	33.3	55.6	11.1	88.9
70歳以上	161	3.7	3.7	24.8	67.7	7.5	92.5
女性／18・19歳	17	-	5.9	23.5	70.6	5.9	94.1
20歳代	86	5.8	5.8	25.6	62.8	11.6	88.4
【再掲】10歳代・20歳代	103	4.9	5.8	25.2	64.1	10.7	89.3
30歳代	105	6.7	8.6	32.4	52.4	15.2	84.8
40歳代	157	6.4	6.4	41.4	45.9	12.7	87.3
50歳代	137	2.9	5.8	32.8	58.4	8.8	91.2
60歳代	134	6.0	1.5	31.3	61.2	7.5	92.5
70歳以上	183	3.3	4.9	24.6	67.2	8.2	91.8
職業別							
自営業・家族従業（計）	130	3.1	6.9	32.3	57.7	10.0	90.0
雇用者（計）	832	8.7	8.2	35.2	48.0	16.8	83.2
無職（計）	527	4.6	5.1	25.0	65.3	9.7	90.3
ライフステージ別							
独身期	203	10.8	9.9	26.6	52.7	20.7	79.3
家族形成期	139	7.9	7.9	38.8	45.3	15.8	84.2
家族成長前期	128	10.2	10.2	33.6	46.1	20.3	79.7
家族成長後期	118	8.5	7.6	40.7	43.2	16.1	83.9
家族成熟期	249	4.4	6.4	30.9	58.2	10.8	89.2
高齢期	352	4.8	4.3	25.0	65.9	9.1	90.9
その他	322	5.3	6.2	34.8	53.7	11.5	88.5

(3) エスカレーターを歩いて利用した理由

◇「急いでいたから」が54.6%

問26 エスカレーターを歩いて利用したことのある方にお伺いします。
あなたがエスカレーターを歩いて利用した理由は何ですか。(〇はいくつでも)



エスカレーターを歩いて利用した理由は、「急いでいたから」(54.6%)が5割台半ばと最も高く、以下、「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」(36.5%)、「エスカレーターに乗っている時間をもたないと思うので短縮したいから」(27.7%)、「早く人混みを抜きたいから」(20.5%)、「みんなが歩いているので何となく」(19.3%)の順となっている。

【属性別比較】

① 地域別

「急いでいたから」はさいたま地域（56.3%）で5割台半ばを超えて高くなっている。「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は利根地域（48.2%）で5割弱と最も高くなっている。「エスカレーターに乗っている時間をもっといたいと思うので短縮したいから」は川越比企地域（35.7%）で3割台半ばと最も高くなっている。

※秩父地域（n=19）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「急いでいたから」は女性（59.1%）の方が男性（48.8%）よりも10.3ポイント高く、「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」でも女性（38.9%）の方が男性（32.8%）よりも6.1ポイント高くなっている。一方、「エスカレーターに乗っている時間をもっといたいと思うので短縮したいから」は男性（31.2%）の方が女性（25.3%）よりも5.9ポイント高く、「早く人混みを抜きたいから」でも男性（22.7%）の方が女性（18.9%）よりも3.8ポイント高くなっている。

③ 年代別

「急いでいたから」と「エスカレーターに乗っている時間をもっといたいと思うので短縮したいから」は年代が下がるほど割合が高くなる傾向にあり、10歳代・20歳代（64.7%・37.9%）で最も高くなっている。一方、「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は年代が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、70歳代（45.3%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「急いでいたから」は女性10歳代・20歳代（75.2%）で7割台半ばと最も高くなっている。「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は、女性70歳以上（52.6%）で5割強と最も高くなっている。「エスカレーターに乗っている時間をもっといたいと思うので短縮したいから」は男性10歳代・20歳代（43.9%）で4割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「急いでいたから」は雇用者（計）（56.9%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。「エスカレーターに乗っている時間をもっといたいと思うので短縮したいから」と「早く人混みを抜きたいから」でも雇用者（計）（31.0%・23.8%）が最も高くなっている。「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は無職（計）（41.1%）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「急いでいたから」は家族形成期（69.0%）で約7割と最も高くなっている。「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は高齢期（45.9%）で4割台半ばと最も高くなっている。「エスカレーターに乗っている時間をもっといたいと思うので短縮したいから」は家族形成期（39.8%）で約4割と最も高くなっている。

○エスカレーターを歩いて利用した理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

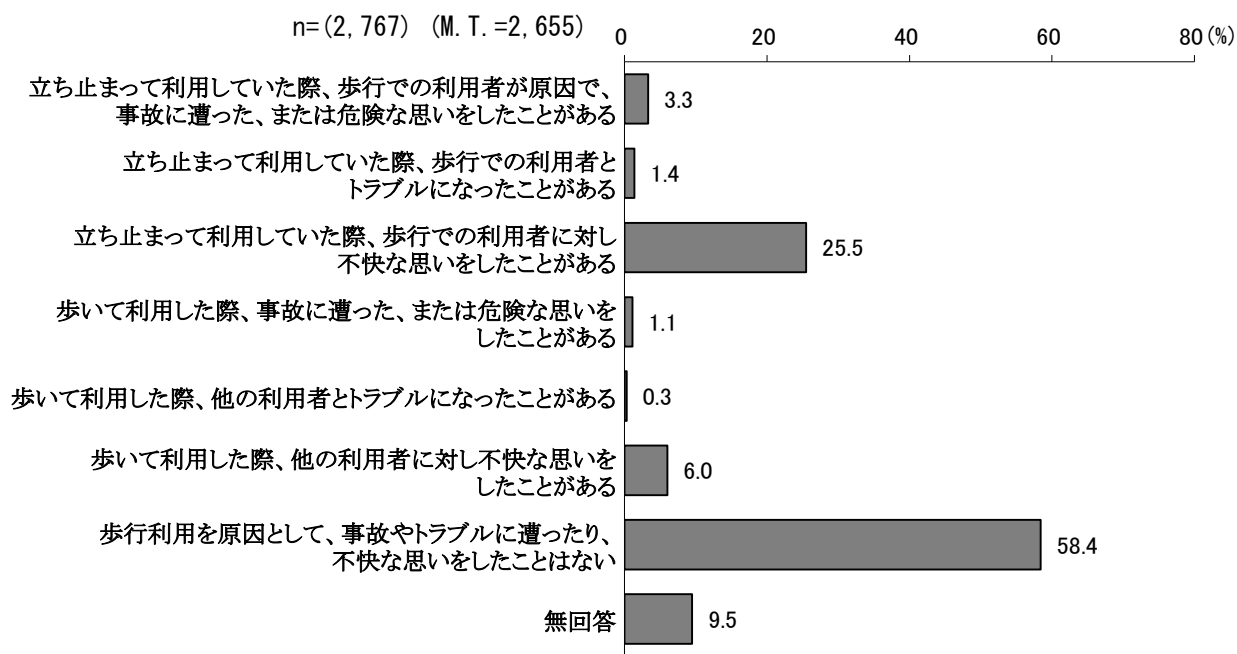
(%)

	調査数 n	急いでいたから	前後の利用者が歩かなくて いるためやむを得ない	たなから なると いう ので 短縮 したい	エスカレーターに乗つてもつたい	早く人混みを抜きたい	みんなが歩いているの で何となく
全体	1,629	54.6	36.5	27.7	20.5	19.3	
地域別							
南部地域	149	53.7	35.6	22.8	16.1	14.1	
南西部地域	173	56.1	41.6	31.2	20.2	16.8	
東部地域	260	55.8	33.5	25.8	23.8	17.3	
さいたま地域	316	56.3	40.2	32.0	21.8	19.3	
県央地域	125	56.0	37.6	21.6	20.0	17.6	
川越比企地域	168	55.4	28.0	35.7	22.0	20.8	
西部地域	175	55.4	37.1	22.9	21.1	22.3	
利根地域	112	46.4	48.2	23.2	20.5	23.2	
北部地域	122	54.9	23.8	28.7	13.1	23.8	
秩父地域	19	36.8	31.6	36.8	15.8	26.3	
性別							
男性	683	48.8	32.8	31.2	22.7	20.2	
女性	933	59.1	38.9	25.3	18.9	18.5	
年代別							
18・19歳	46	67.4	28.3	28.3	28.3	15.2	
20歳代	186	64.0	27.4	40.3	28.0	10.8	
【再掲】10歳代・20歳代	232	64.7	27.6	37.9	28.0	11.6	
30歳代	234	60.7	32.1	35.0	28.6	18.8	
40歳代	359	57.9	33.4	32.3	21.4	20.9	
50歳代	347	53.0	38.6	23.9	19.0	18.4	
60歳代	241	50.2	41.5	21.6	12.9	18.7	
70歳以上	203	38.9	45.3	14.8	11.8	28.1	
性・年代別							
男性／18・19歳	24	54.2	25.0	33.3	20.8	8.3	
20歳代	74	50.0	27.0	47.3	28.4	12.2	
【再掲】10歳代・20歳代	98	51.0	26.5	43.9	26.5	11.2	
30歳代	87	60.9	32.2	35.6	28.7	17.2	
40歳代	131	51.9	27.5	43.5	29.0	26.7	
50歳代	146	46.6	34.9	26.7	22.6	17.8	
60歳代	115	48.7	34.8	24.3	19.1	17.4	
70歳以上	103	36.9	38.8	14.6	9.7	30.1	
女性／18・19歳	22	81.8	31.8	22.7	36.4	22.7	
20歳代	111	73.9	27.0	36.0	27.9	9.9	
【再掲】10歳代・20歳代	133	75.2	27.8	33.8	29.3	12.0	
30歳代	147	60.5	32.0	34.7	28.6	19.7	
40歳代	228	61.4	36.8	25.9	17.1	17.5	
50歳代	201	57.7	41.3	21.9	16.4	18.9	
60歳代	125	51.2	48.0	18.4	7.2	20.0	
70歳以上	97	41.2	52.6	14.4	14.4	25.8	
職業別							
自営業・家族従業(計)	126	54.0	35.7	22.2	19.8	23.8	
雇用者(計)	1,033	56.9	34.3	31.0	23.8	18.7	
無職(計)	457	49.9	41.1	22.5	12.7	19.3	
ライフステージ別							
独身期	258	63.2	30.2	36.4	29.8	14.0	
家族形成期	171	69.0	32.2	39.8	28.1	14.6	
家族成長前期	179	52.5	30.7	31.3	19.6	24.6	
家族成長後期	170	53.5	42.4	30.6	15.9	17.6	
家族成熟期	253	54.5	37.5	22.5	17.8	18.2	
高齢期	246	42.7	45.9	17.1	10.2	21.5	
その他	352	51.4	36.1	23.6	21.9	22.7	

(4) エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の経験

◇「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」が25.5%

問27 あなたは、エスカレーターを利用した際、歩行利用を原因として、事故やトラブルに遭ったり、不快な思いをししたりしたことはありますか。(〇はいくつでも)



エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の経験については、「歩行利用を原因として、事故やトラブルに遭ったり、不快な思いをしたことはない」(58.4%)は6割弱となっている。

エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の内容としては、「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」(25.5%)が2割台半ばで最も高く、次いで「歩いて利用した際、他の利用者に対し不快な思いをしたことがある」(6.0%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」は秩父地域（32.5%）で3割強と最も高く、次いで利根地域（29.0%）となっている。

② 性別

性別では回答分布に大きな差はみられない。

③ 年代別

「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」は60歳代（30.6%）で3割を超えて最も高く、次いで70歳以上（29.8%）となっている。

④ 性・年代別

「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」は男性70歳以上（32.5%）で3割強と最も高く、次いで女性60歳代（31.4%）となっている。

⑤ 職業別

職業別では回答分布に大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」は高齢期（32.7%）で3割強と最も高く、次いで、家族成熟期（30.2%）となっている。

○エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の経験・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

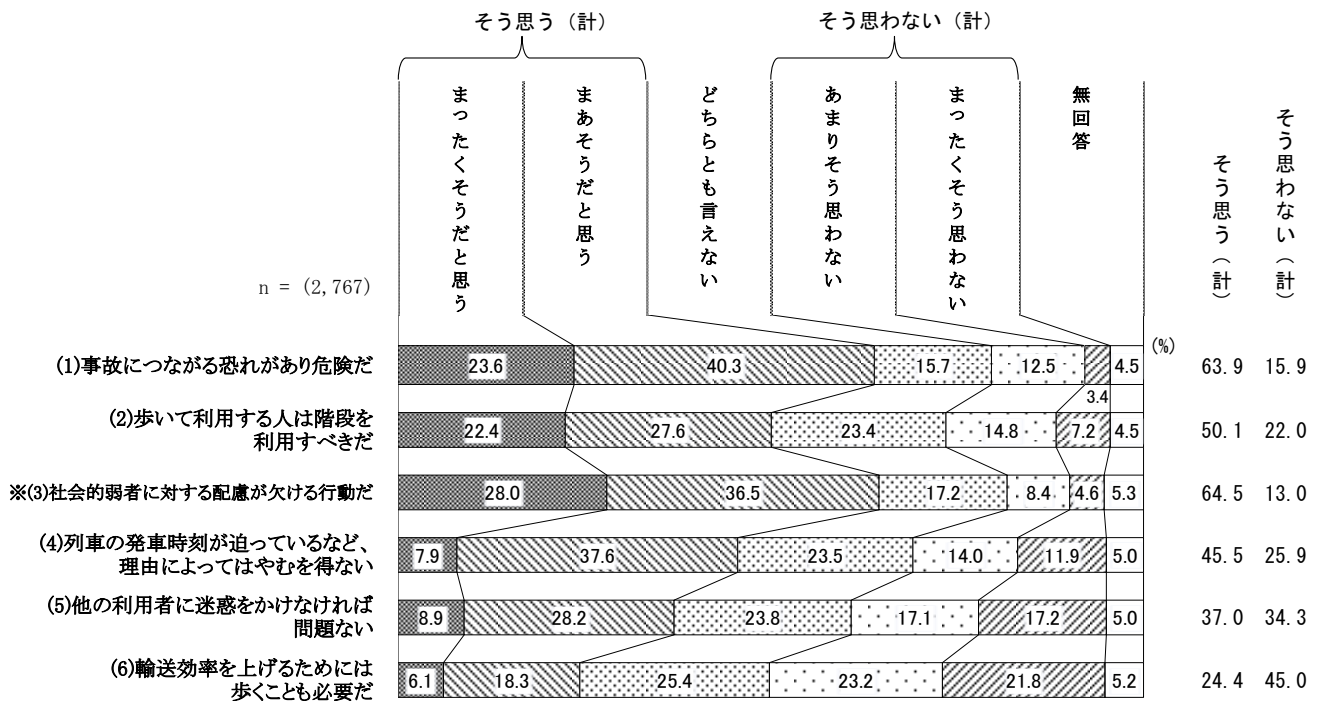
(%)

	調査数 n	で、際、立 険な事歩止 思行故行 いにでま をした遭つ たつたて こと、用 がまた者 あはが るは原 危因 た	立 止 ま つ た こ と が あ る	立 止 ま つ た こ と が あ る	快 な 思 い を し た こ と が あ る	立 止 ま つ た こ と が あ る	歩 いた り た こ と が あ る	歩 いた り た こ と が あ る	者 と ト ラ ブ ル に な つ た こ と が あ る	者 と ト ラ ブ ル に な つ た こ と が あ る	と が あ る	者 に 対 し 不 快 な 思 い を し た こ と が あ る	な 思 い を し た こ と が あ る	歩 行 利 用 を 原 因 と し て 、 事 故 や ト ラ ブ ル に 遭 つ た り 、 不 快 な 思 い を し た こ と が あ る	無 回 答	
全 体	2,767	3.3	1.4	25.5	1.1	0.3	6.0	58.4	9.5							
地域別																
南部地域	268	5.2	1.1	24.6	0.7	-	7.1	59.7	6.7							
南西部地域	259	2.7	4.2	25.5	1.5	0.8	5.8	57.1	10.0							
東部地域	410	2.4	1.7	25.4	1.5	0.7	6.8	59.0	8.8							
さいたま地域	482	4.6	1.2	27.8	1.2	0.4	7.5	56.8	6.6							
県央地域	218	2.8	1.4	25.7	0.9	-	6.9	57.3	11.0							
川越比企地域	293	2.4	1.4	24.6	0.7	0.3	2.0	63.8	8.2							
西部地域	299	3.3	0.7	24.1	1.0	-	5.4	59.9	10.0							
利根地域	245	4.5	0.4	29.0	0.4	-	7.8	54.3	10.2							
北部地域	203	1.5	0.5	19.2	2.0	-	4.4	68.5	7.9							
秩父地域	40	-	-	32.5	-	-	2.5	57.5	7.5							
性別																
男性	1,134	3.2	2.0	25.1	0.9	0.5	7.5	59.6	7.5							
女性	1,585	3.4	0.9	26.1	1.3	0.1	5.0	59.0	9.1							
年代別																
18・19歳	53	3.8	1.9	17.0	-	-	1.9	81.1	-							
20歳代	229	3.1	3.1	21.0	1.3	0.4	6.6	69.9	0.9							
【再掲】10歳代・20歳代	282	3.2	2.8	20.2	1.1	0.4	5.7	72.0	0.7							
30歳代	316	4.1	1.9	22.5	0.9	0.6	6.3	69.0	1.9							
40歳代	481	3.5	1.0	19.5	1.5	-	6.2	71.9	1.2							
50歳代	524	4.4	1.1	26.7	0.8	0.2	7.6	61.1	4.6							
60歳代	471	3.0	1.3	30.6	0.6	0.6	5.3	51.8	11.3							
70歳以上	650	2.2	1.1	29.8	1.5	0.2	5.2	42.5	22.5							
性・年代別																
男性／18・19歳	28	7.1	3.6	10.7	-	-	-	85.7	-							
20歳代	91	1.1	4.4	17.6	-	1.1	7.7	73.6	1.1							
【再掲】10歳代・20歳代	119	2.5	4.2	16.0	-	0.8	5.9	76.5	0.8							
30歳代	111	3.6	1.8	23.4	2.7	0.9	6.3	67.6	1.8							
40歳代	173	5.2	2.3	15.0	1.2	-	8.1	75.1	0.6							
50歳代	226	6.2	1.3	24.8	-	-	10.6	60.6	3.5							
60歳代	215	1.4	2.8	29.8	0.5	1.4	6.5	53.5	8.8							
70歳以上	286	1.0	1.0	32.5	1.4	0.3	6.6	43.7	18.9							
女性／18・19歳	25	-	-	24.0	-	-	4.0	76.0	-							
20歳代	137	4.4	2.2	22.6	2.2	-	5.8	67.9	0.7							
【再掲】10歳代・20歳代	162	3.7	1.9	22.8	1.9	-	5.6	69.1	0.6							
30歳代	205	4.4	2.0	22.0	-	0.5	6.3	69.8	2.0							
40歳代	308	2.6	0.3	22.1	1.6	-	5.2	70.1	1.6							
50歳代	298	3.0	1.0	28.2	1.3	0.3	5.4	61.4	5.4							
60歳代	255	4.3	-	31.4	0.8	-	4.3	50.2	13.3							
70歳以上	352	3.1	1.1	28.4	1.7	-	4.0	42.3	23.9							
職業別																
自営業・家族従業（計）	242	5.0	2.1	28.5	0.8	0.4	5.0	55.0	11.2							
雇用者（計）	1,461	3.2	1.4	23.1	1.2	0.3	6.6	65.1	4.2							
無職（計）	1,006	3.0	1.2	28.6	1.0	0.2	5.1	52.2	13.9							
ライフステージ別																
独身期	327	3.7	3.4	22.6	1.5	0.6	5.8	68.2	1.5							
家族形成期	215	2.3	1.4	20.5	0.5	0.5	6.5	73.5	0.9							
家族成長前期	245	3.3	0.8	19.6	1.2	-	6.1	71.0	2.0							
家族成長後期	232	1.7	1.3	22.4	0.4	0.4	9.9	66.4	3.0							
家族成熟期	463	2.6	1.3	30.2	0.4	0.2	6.3	57.0	6.7							
高齢期	609	2.1	0.8	32.7	1.0	0.2	4.9	47.3	15.1							
その他	676	5.5	1.2	22.0	1.8	0.3	5.3	52.5	18.0							

(5) エスカレーターの歩行利用について感じる事

◇「段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」、「事故につながる恐れがあり危険だ」については、『そう思う (計)』が6割以上

問28 あなたは、エスカレーターを歩いて利用することについて、どのように感じていますか。次の(1)から(6)までのそれぞれの項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。(各項目それぞれ〇は1つずつ)



※「(3)社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」は、「段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」を指す。

【歩行利用に対する否定的な項目 (1) ~ (3)】

『そう思う (計)』は「(3) 段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」(64.5%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで、「(1) 事故につながる恐れがあり危険だ」(63.9%)、「(2) 歩いて利用する人は階段を利用すべきだ」(50.1%)となっている。

【歩行利用に対する容認的な項目 (4) ~ (6)】

『そう思わない (計)』は「(6) 輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ」(45.0%)が4割台半ばと最も高くなっている。次いで、「(5) 他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない」(34.3%)、「(4) 列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない」(25.9%)となっている。

(1) 事故につながる恐れがあり危険だ

『そう思う（計）』（63.9%）は6割強となっている。『そう思わない（計）』（15.9%）が1割台半ば、「どちらとも言えない」（15.7%）も1割台半ばとなっている。

【属性別比較】

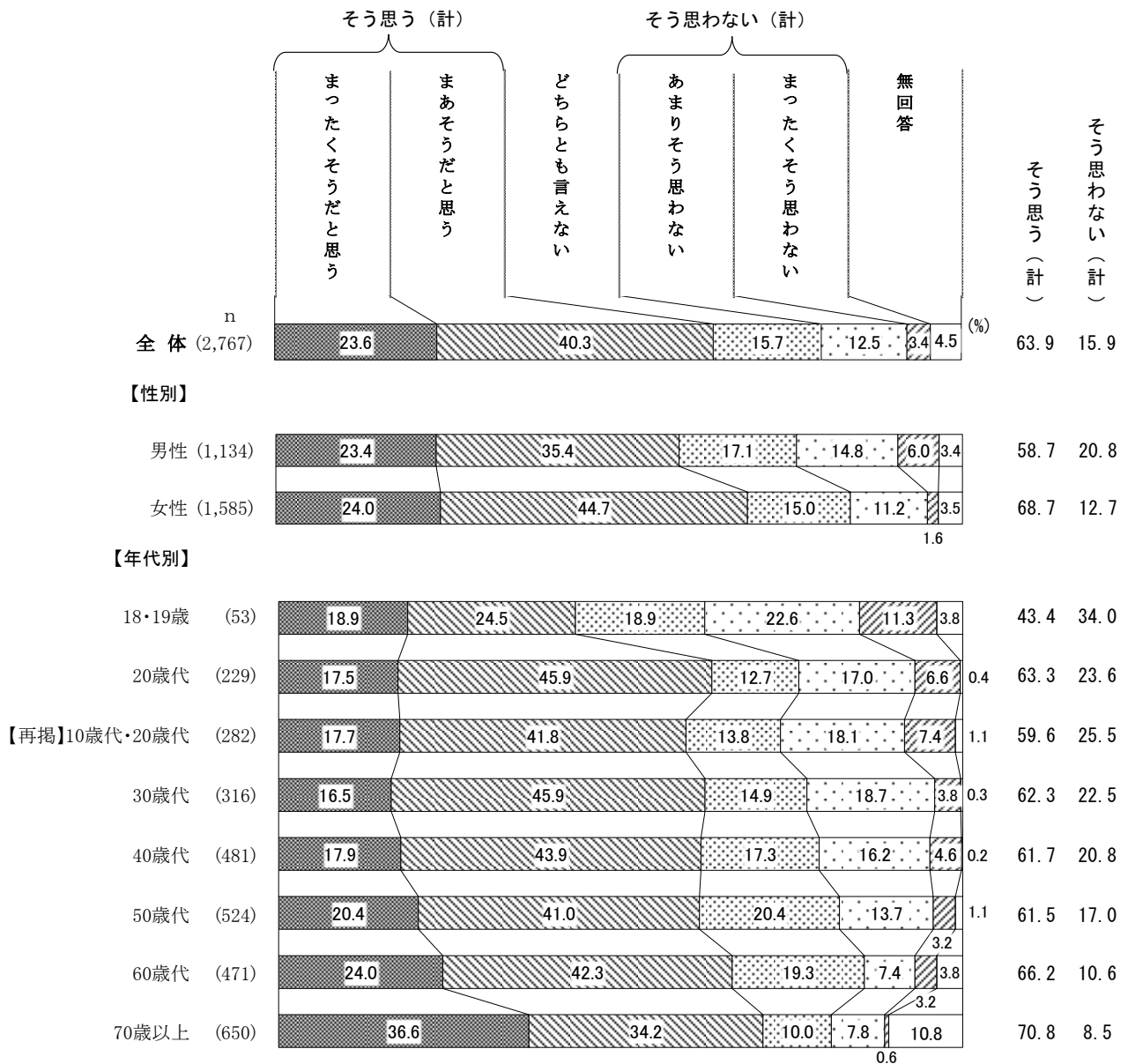
① 性別

『そう思う（計）』は女性（68.7%）の方が男性（58.7%）よりも10ポイント高くなっている。

② 年代別

『そう思う（計）』は70歳以上（70.8%）で7割を超えて最も高く、10歳代・20歳代（59.6%）が約6割で最も低くなっている。

○ 「(1) 事故につながる恐れがあり危険だ」・性別／年代別



③ 地域別

『そう思う（計）』は県央地域（70.2%）で7割を超えて最も高く、南西部地域（59.5%）で約6割と最も低くなっている。

④ 性・年代別

『そう思う（計）』は男性70歳以上（72.0%）と女性60歳代（72.2%）で7割強と高くなっている。

⑤ 職業別

『そう思う（計）』は無職（計）（71.2%）で7割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（72.4%）で7割強と最も高くなっている。

○「(1) 事故につながる恐れがあり危険だ」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答	（%）	
								そう思う（計）	そう思わない（計）
全体	2,767	23.6	40.3	15.7	12.5	3.4	4.5	63.9	15.9
地域別									
南部地域	268	23.1	43.3	14.9	9.7	4.9	4.1	66.4	14.6
南西部地域	259	18.9	40.5	18.5	15.1	3.9	3.1	59.5	18.9
東部地域	410	23.4	39.5	17.3	11.7	4.6	3.4	62.9	16.3
さいたま地域	482	24.9	40.5	15.1	13.1	3.5	2.9	65.4	16.6
県央地域	218	27.5	42.7	11.5	14.7	1.8	1.8	70.2	16.5
川越比企地域	293	20.5	40.3	17.1	16.0	2.0	4.1	60.8	18.1
西部地域	299	27.1	36.8	15.7	13.4	2.0	5.0	63.9	15.4
利根地域	245	24.5	41.6	16.3	7.8	5.3	4.5	66.1	13.1
北部地域	203	21.7	44.8	15.8	13.3	2.5	2.0	66.5	15.8
秩父地域	40	25.0	40.0	12.5	12.5	-	10.0	65.0	12.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	14.3	25.0	25.0	25.0	10.7	-	39.3	35.7
20歳代	91	19.8	38.5	11.0	18.7	12.1	-	58.2	30.8
【再掲】10歳代・20歳代	119	18.5	35.3	14.3	20.2	11.8	-	53.8	31.9
30歳代	111	13.5	34.2	17.1	26.1	9.0	-	47.7	35.1
40歳代	173	15.6	37.0	19.1	19.1	8.7	0.6	52.6	27.7
50歳代	226	22.6	31.9	22.6	16.4	5.8	0.9	54.4	22.1
60歳代	215	20.5	39.1	20.9	9.3	5.6	4.7	59.5	14.9
70歳以上	286	37.1	35.0	9.8	8.7	0.7	8.7	72.0	9.4
女性／18・19歳	25	24.0	24.0	12.0	20.0	12.0	8.0	48.0	32.0
20歳代	137	15.3	51.1	13.9	16.1	2.9	0.7	66.4	19.0
【再掲】10歳代・20歳代	162	16.7	46.9	13.6	16.7	4.3	1.9	63.6	21.0
30歳代	205	18.0	52.2	13.7	14.6	1.0	0.5	70.2	15.6
40歳代	308	19.2	47.7	16.2	14.6	2.3	-	66.9	16.9
50歳代	298	18.8	48.0	18.8	11.7	1.3	1.3	66.8	13.1
60歳代	255	27.1	45.1	18.0	5.5	1.2	3.1	72.2	6.7
70歳以上	352	36.9	33.8	10.2	7.4	0.6	11.1	70.7	8.0
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	24.8	39.3	18.6	10.3	3.7	3.3	64.0	14.0
雇用者（計）	1,461	18.3	41.8	18.4	15.9	4.4	1.2	60.1	20.3
無職（計）	1,006	31.3	39.9	11.5	8.6	2.0	6.7	71.2	10.6
ライフステージ別									
独身期	327	16.8	47.7	13.8	15.6	5.2	0.9	64.5	20.8
家族形成期	215	16.3	38.6	15.8	23.3	6.0	-	54.9	29.3
家族成長前期	245	20.0	44.1	16.3	13.1	5.7	0.8	64.1	18.8
家族成長後期	232	17.2	41.8	22.4	12.1	4.7	1.7	59.1	16.8
家族成熟期	463	24.8	41.3	16.4	12.3	2.4	2.8	66.1	14.7
高齢期	609	32.8	39.6	13.3	7.6	1.3	5.4	72.4	8.9
その他	676	23.5	35.5	15.8	12.1	2.8	10.2	59.0	14.9

(2) 歩いて利用する人は階段を利用すべきだ

『そう思う(計)』(50.1%)は5割を超えている。『そう思わない(計)』(22.0%)が2割強、「どちらとも言えない」(23.4%)が2割強となっている。

【属性別比較】

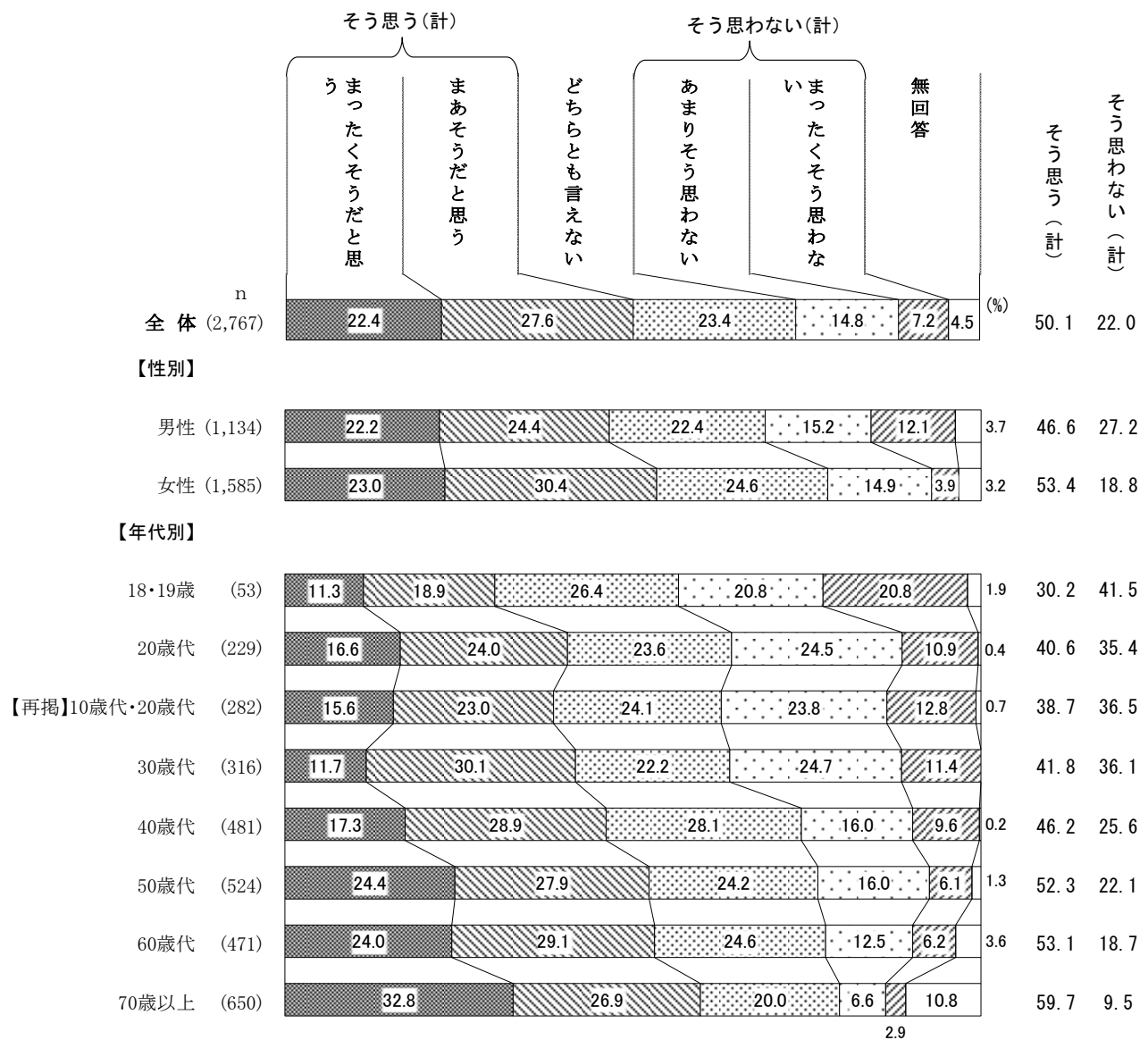
① 性別

『そう思う(計)』は女性(53.4%)の方が男性(46.6%)よりも6.8ポイント高くなっている。

② 年代別

『そう思う(計)』は70歳以上(59.7%)で約6割と最も高く、年代が下がるほど割合が低くなっており、10歳代・20歳代(38.7%)で4割弱と最も低くなっている。

○ 「(2) 歩いて利用する人は階段を利用すべきだ」・性別/年代別



③ 地域別

『そう思う（計）』は西部地域（54.5%）と川越比企地域（54.3%）で5割台半ばと高くなっている。

④ 性・年代別

『そう思う（計）』は女性70歳以上（61.6%）で6割強と最も高く、男性30歳代（34.2%）で3割台半ばと最も低くなっている。

⑤ 職業別

『そう思う（計）』は無職（計）（57.2%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（57.5%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

○ 「（2）歩いて利用する人は階段を利用すべきだ」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	まったく そう だ と 思 う	まあ そう だ と 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い	無 回 答	（%）	
								そう 思 う （ 計）	そ う 思 わ な い （ 計）
全 体	2,767	22.4	27.6	23.4	14.8	7.2	4.5	50.1	22.0
地域別									
南部地域	268	22.8	28.7	23.1	13.4	7.5	4.5	51.5	20.9
南西部地域	259	22.0	22.8	25.1	20.1	7.3	2.7	44.8	27.4
東部地域	410	23.4	25.1	26.1	13.4	8.8	3.2	48.5	22.2
さいたま地域	482	23.2	26.1	24.7	16.0	7.7	2.3	49.4	23.7
県央地域	218	25.2	24.3	23.4	17.9	6.4	2.8	49.5	24.3
川越比企地域	293	23.5	30.7	17.7	17.1	6.8	4.1	54.3	23.9
西部地域	299	22.7	31.8	22.1	11.4	5.7	6.4	54.5	17.1
利根地域	245	18.0	29.4	27.3	11.8	8.6	4.9	47.3	20.4
北部地域	203	20.2	33.0	22.2	16.3	6.4	2.0	53.2	22.7
秩父地域	40	25.0	25.0	30.0	10.0	5.0	5.0	50.0	15.0
性・年代別									
男性／18・19歳	28	7.1	25.0	32.1	14.3	21.4	-	32.1	35.7
20歳代	91	24.2	17.6	18.7	20.9	18.7	-	41.8	39.6
【再掲】10歳代・20歳代	119	20.2	19.3	21.8	19.3	19.3	-	39.5	38.7
30歳代	111	11.7	22.5	13.5	28.8	23.4	-	34.2	52.3
40歳代	173	16.8	21.4	26.6	16.8	18.5	-	38.2	35.3
50歳代	226	22.6	23.9	23.9	18.6	9.3	1.8	46.5	27.9
60歳代	215	21.4	26.5	24.2	13.5	9.8	4.7	47.9	23.3
70歳以上	286	30.8	28.0	21.3	5.9	4.2	9.8	58.7	10.1
女性／18・19歳	25	16.0	12.0	20.0	28.0	20.0	4.0	28.0	48.0
20歳代	137	10.9	28.5	27.0	27.0	5.8	0.7	39.4	32.8
【再掲】10歳代・20歳代	162	11.7	25.9	25.9	27.2	8.0	1.2	37.7	35.2
30歳代	205	11.7	34.1	26.8	22.4	4.9	-	45.9	27.3
40歳代	308	17.5	33.1	28.9	15.6	4.5	0.3	50.6	20.1
50歳代	298	25.8	30.9	24.5	14.1	3.7	1.0	56.7	17.8
60歳代	255	26.3	31.4	25.1	11.8	2.7	2.7	57.6	14.5
70歳以上	352	34.9	26.7	19.0	7.1	2.0	10.2	61.6	9.1
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	26.4	28.1	24.4	14.0	4.1	2.9	54.5	18.2
雇用者（計）	1,461	18.0	27.2	25.2	18.7	9.7	1.2	45.2	28.4
無職（計）	1,006	28.1	29.0	21.4	10.0	4.7	6.8	57.2	14.7
ライフステージ別									
独身期	327	14.7	26.9	23.2	23.5	11.0	0.6	41.6	34.6
家族形成期	215	12.6	22.3	24.7	25.6	14.9	-	34.9	40.5
家族成長前期	245	16.7	30.6	25.3	16.3	11.0	-	47.3	27.3
家族成長後期	232	15.5	32.8	26.3	17.2	6.5	1.7	48.3	23.7
家族成熟期	463	26.8	26.8	24.2	14.0	5.2	3.0	53.6	19.2
高齢期	609	30.2	27.3	23.5	9.4	4.6	5.1	57.5	14.0
その他	676	23.8	27.7	20.9	11.2	5.6	10.8	51.5	16.9

(3) 段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ

『そう思う(計)』(64.5%)は6割台半ばとなっている。『そう思わない(計)』(13.0%)が1割強、「どちらとも言えない」(17.2%)が1割台半ばを超えている。

【属性別比較】

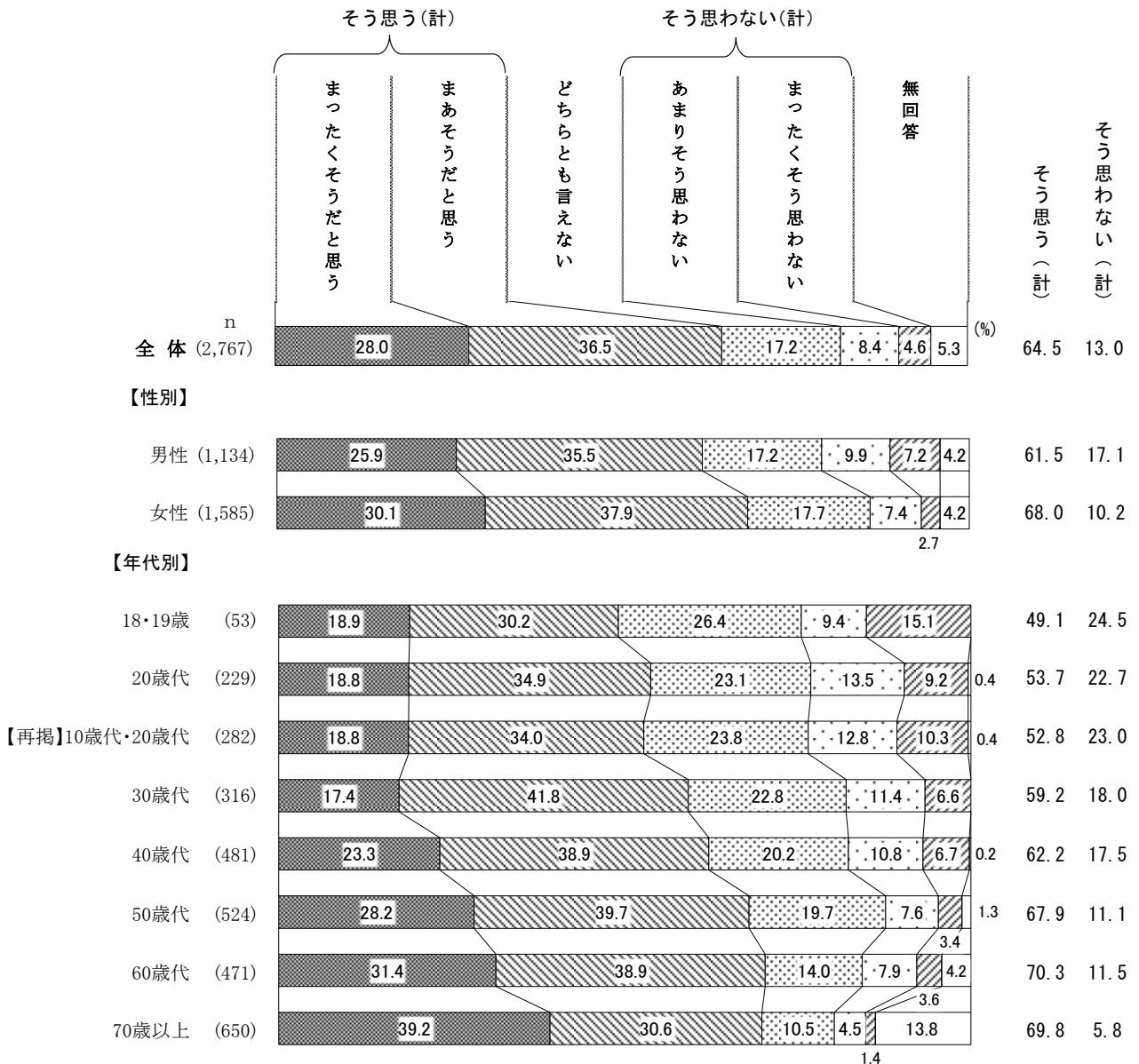
① 性別

『そう思う(計)』は女性(68.0%)の方が男性(61.5%)よりも6.5ポイント高くなっている。

② 年代別

『そう思う(計)』は60歳代(70.3%)で7割を超えて最も高く、10歳代・20歳代(52.8%)で5割強と最も低くなっている。

○ 「(3) 段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」・性別／年代別



③ 地域別

『そう思う（計）』は南部地域（69.0%）で約7割と最も高く、秩父地域（60.0%）で6割と最も低くなっている。

④ 性・年代別

『そう思う（計）』は女性60歳代（74.5%）で7割台半ばと最も高く、男性30歳代（50.5%）で5割台前半と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『そう思う（計）』は無職（計）（69.6%）で約7割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（73.6%）で7割強と最も高くなっている。

○「(3) 段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答	（%）	
								そう思う（計）	そう思わない（計）
全体	2,767	28.0	36.5	17.2	8.4	4.6	5.3	64.5	13.0
地域別									
南部地域	268	29.1	39.9	14.6	6.3	6.7	3.4	69.0	13.1
南西部地域	259	28.6	32.8	18.9	10.8	5.0	3.9	61.4	15.8
東部地域	410	25.6	35.4	19.0	9.8	6.3	3.9	61.0	16.1
さいたま地域	482	31.1	36.3	18.5	7.1	3.5	3.5	67.4	10.6
県央地域	218	31.7	35.8	15.6	9.6	2.8	4.6	67.4	12.4
川越比企地域	293	27.3	37.5	17.1	10.9	2.4	4.8	64.8	13.3
西部地域	299	28.8	38.1	15.1	7.0	4.7	6.4	66.9	11.7
利根地域	245	26.1	36.7	17.1	6.5	6.5	6.9	62.9	13.1
北部地域	203	27.1	39.4	17.7	9.9	3.4	2.5	66.5	13.3
秩父地域	40	20.0	40.0	25.0	5.0	5.0	5.0	60.0	10.0
性・年代別									
男性／18・19歳	28	14.3	28.6	21.4	14.3	21.4	-	42.9	35.7
20歳代	91	22.0	31.9	18.7	11.0	16.5	-	53.8	27.5
【再掲】10歳代・20歳代	119	20.2	31.1	19.3	11.8	17.6	-	51.3	29.4
30歳代	111	15.3	35.1	23.4	14.4	11.7	-	50.5	26.1
40歳代	173	19.1	36.4	20.8	12.1	11.6	-	55.5	23.7
50歳代	226	24.8	35.4	22.1	12.4	4.0	1.3	60.2	16.4
60歳代	215	25.6	40.0	13.0	9.8	6.0	5.6	65.6	15.8
70歳以上	286	37.4	33.9	11.2	3.8	2.1	11.5	71.3	5.9
女性／18・19歳	25	24.0	32.0	32.0	4.0	8.0	-	56.0	12.0
20歳代	137	16.1	37.2	26.3	15.3	4.4	0.7	53.3	19.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	17.3	36.4	27.2	13.6	4.9	0.6	53.7	18.5
30歳代	205	18.5	45.4	22.4	9.8	3.9	-	63.9	13.7
40歳代	308	25.6	40.3	19.8	10.1	3.9	0.3	65.9	14.0
50歳代	298	30.9	43.0	17.8	4.0	3.0	1.3	73.8	7.0
60歳代	255	36.5	38.0	14.9	6.3	1.2	3.1	74.5	7.5
70歳以上	352	41.5	28.4	10.2	4.8	0.9	14.2	69.9	5.7
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	32.2	36.4	12.8	11.2	2.1	5.4	68.6	13.2
雇用者（計）	1,461	22.9	38.7	20.2	10.4	6.2	1.6	61.6	16.6
無職（計）	1,006	35.1	34.5	14.6	5.1	3.0	7.8	69.6	8.1
ライフステージ別									
独身期	327	19.3	36.4	24.2	10.1	9.8	0.3	55.7	19.9
家族形成期	215	16.7	40.0	20.9	14.9	7.4	-	56.7	22.3
家族成長前期	245	19.6	42.4	18.0	13.1	6.1	0.8	62.0	19.2
家族成長後期	232	22.8	36.2	22.8	9.5	6.9	1.7	59.1	16.4
家族成熟期	463	32.8	36.7	17.5	6.9	3.0	3.0	69.5	9.9
高齢期	609	37.1	36.5	12.6	5.9	1.1	6.7	73.6	7.1
その他	676	29.3	33.3	14.2	6.7	4.1	12.4	62.6	10.8

(4) 列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない

『そう思わない(計)』(25.9%)は2割台半ばで、『そう思う(計)』(45.5%)より19.6ポイント低くなっている。「どちらとも言えない」(23.5%)は2割強となっている。

【属性別比較】

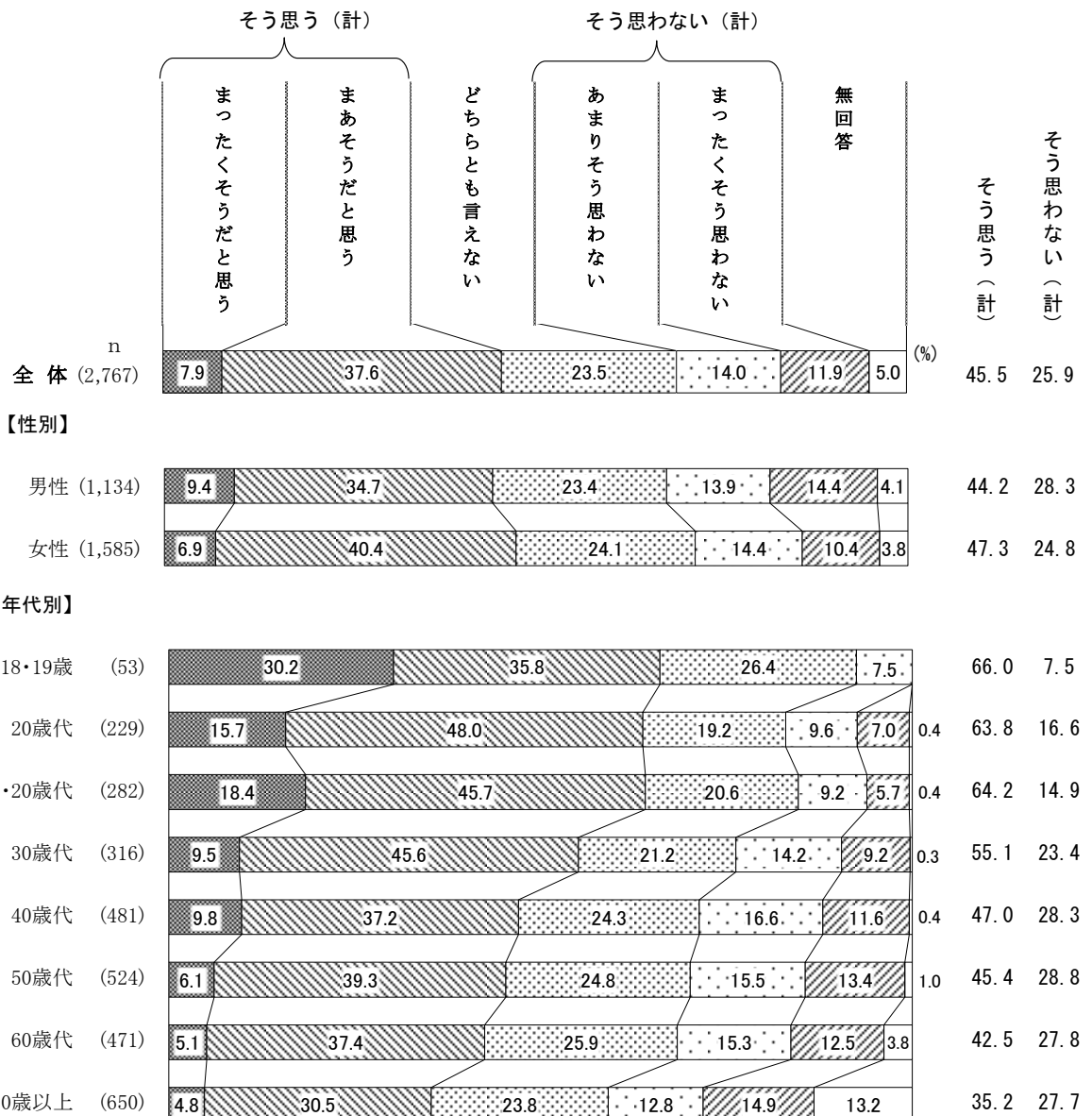
① 性別

『そう思わない(計)』は男性(28.3%)の方が女性(24.8%)よりも3.5ポイント高くなっている。

② 年代別

『そう思わない(計)』は50歳代(28.8%)で3割弱と最も高く、10歳代・20歳代(14.9%)で1割台半ばと最も低くなっている。

○ 「(4) 列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない」・性別 ／年代別



③ 地域別

『そう思わない(計)』は秩父地域(30.0%)で3割と最も高く、東部地域(22.9%)で2割強と最も低くなっている。

④ 性・年代別

『そう思わない(計)』は男性40歳代(33.5%)で3割強と最も高く、女性10歳代・20歳代(11.7%)で1割強と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『そう思わない(計)』は無職(計)(27.3%)で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『そう思わない(計)』は家族成熟期(31.7%)で3割強と最も高くなっている。

○ 「(4) 列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない」・地域別
／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答	(%)	
								そう思う(計)	そう思わない(計)
全体	2,767	7.9	37.6	23.5	14.0	11.9	5.0	45.5	25.9
地域別									
南部地域	268	6.7	35.4	23.1	15.7	14.2	4.9	42.2	29.9
南西部地域	259	5.8	38.6	23.2	15.8	12.7	3.9	44.4	28.6
東部地域	410	9.5	38.3	25.9	12.7	10.2	3.4	47.8	22.9
さいたま地域	482	9.1	38.4	24.9	14.1	10.6	2.9	47.5	24.7
県央地域	218	6.9	40.8	22.5	11.9	13.3	4.6	47.7	25.2
川越比企地域	293	9.6	38.9	19.1	14.3	13.3	4.8	48.5	27.6
西部地域	299	8.0	38.1	22.7	15.1	10.7	5.4	46.2	25.8
利根地域	245	7.8	31.4	26.1	14.7	13.9	6.1	39.2	28.6
北部地域	203	5.4	43.8	23.2	13.8	11.8	2.0	49.3	25.6
秩父地域	40	10.0	25.0	30.0	17.5	12.5	5.0	35.0	30.0
性・年代別									
男性／18・19歳	28	21.4	39.3	28.6	10.7	-	-	60.7	10.7
20歳代	91	17.6	39.6	22.0	8.8	12.1	-	57.1	20.9
【再掲】10歳代・20歳代	119	18.5	39.5	23.5	9.2	9.2	-	58.0	18.5
30歳代	111	16.2	39.6	16.2	13.5	14.4	-	55.9	27.9
40歳代	173	14.5	32.4	19.7	18.5	15.0	-	46.8	33.5
50歳代	226	7.1	36.7	27.4	12.4	15.0	1.3	43.8	27.4
60歳代	215	6.0	35.3	25.1	14.9	13.5	5.1	41.4	28.4
70歳以上	286	4.2	30.1	24.1	14.0	16.1	11.5	34.3	30.1
女性／18・19歳	25	40.0	32.0	24.0	4.0	-	-	72.0	4.0
20歳代	137	14.6	54.0	17.5	9.5	3.6	0.7	68.6	13.1
【再掲】10歳代・20歳代	162	18.5	50.6	18.5	8.6	3.1	0.6	69.1	11.7
30歳代	205	5.9	48.8	23.9	14.6	6.3	0.5	54.6	21.0
40歳代	308	7.1	39.9	26.9	15.6	9.7	0.6	47.1	25.3
50歳代	298	5.4	41.3	22.8	17.8	12.1	0.7	46.6	29.9
60歳代	255	3.9	39.2	26.7	15.7	11.8	2.7	43.1	27.5
70歳以上	352	5.4	31.5	23.9	11.9	14.2	13.1	36.9	26.1
職業別									
自営業・家族従業(計)	242	7.0	35.1	26.4	15.7	10.3	5.4	42.1	26.0
雇用者(計)	1,461	8.8	40.9	23.5	13.8	11.8	1.2	49.8	25.6
無職(計)	1,006	7.0	34.5	23.7	14.4	12.9	7.6	41.5	27.3
ライフステージ別									
独身期	327	15.0	44.0	22.0	11.0	7.3	0.6	59.0	18.3
家族形成期	215	15.8	46.0	20.0	12.1	5.6	0.5	61.9	17.7
家族成長前期	245	8.2	40.4	22.0	16.7	12.2	0.4	48.6	29.0
家族成長後期	232	7.3	35.3	27.6	16.8	11.2	1.7	42.7	28.0
家族成熟期	463	5.0	40.2	20.3	16.8	14.9	2.8	45.1	31.7
高齢期	609	4.9	33.8	27.4	14.0	13.8	6.1	38.8	27.8
その他	676	6.7	33.3	23.2	12.3	12.6	12.0	39.9	24.9

(5) 他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない

『そう思わない(計)』(34.3%)は3割台半ばで、『そう思う(計)』(37.0%)より2.7ポイント低くなっている。「どちらとも言えない」(23.8%)は2割強となっている。

【属性別比較】

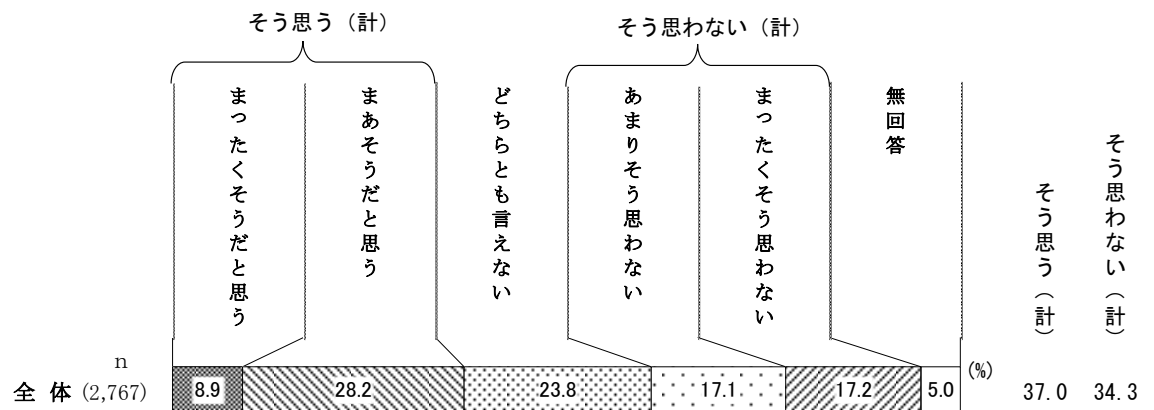
① 性別

『そう思わない(計)』は男性(35.0%)の方が女性(34.4%)よりもわずかに0.6ポイント高くなっている。

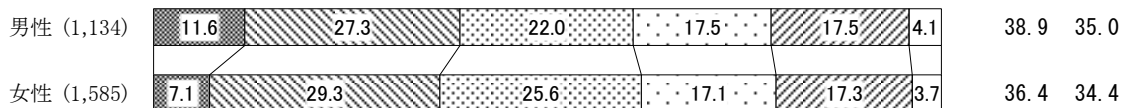
② 年代別

『そう思わない(計)』は70歳以上(44.5%)で4割台半ばと最も高く、年代が下がるほど割合が低くなる傾向にあり、10歳代・20歳代(16.0%)で1割台後半と最も低くなっている。

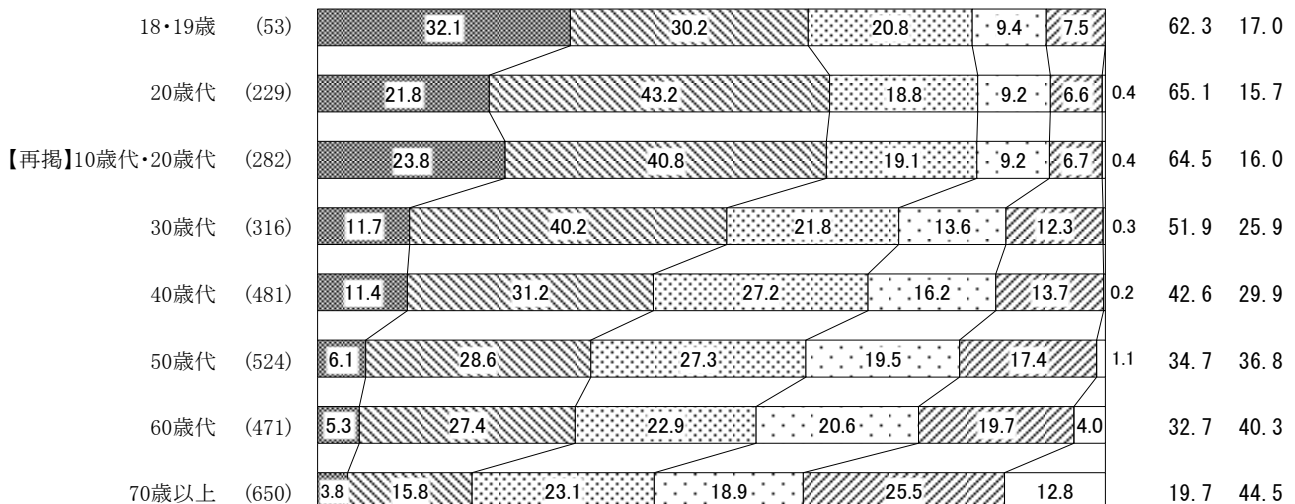
○ 「(5) 他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない」・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『そう思わない(計)』は北部地域(37.9%)、さいたま地域と利根地域(各37.6%)で3割台半ばを超えて高く、川越比企地域と秩父地域(各30.0%)で3割と低くなっている。

④ 性・年代別

『そう思わない(計)』は男性70歳以上(48.6%)で5割弱と最も高く、女性10歳代・20歳代(13.0%)で1割強と最も低くなっている。

⑤ 職業別

『そう思わない(計)』は無職(計)(40.5%)で4割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『そう思わない(計)』は高齢期(46.3%)で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

○ 「(5) 他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答	(%)	
								そう思う(計)	そう思わない(計)
全体	2,767	8.9	28.2	23.8	17.1	17.2	5.0	37.0	34.3
地域別									
南部地域	268	8.6	29.5	25.0	15.3	17.2	4.5	38.1	32.5
南西部地域	259	7.3	35.1	20.8	15.1	18.5	3.1	42.5	33.6
東部地域	410	11.2	29.0	23.7	17.6	15.4	3.2	40.2	32.9
さいたま地域	482	8.3	27.2	23.4	19.1	18.5	3.5	35.5	37.6
県央地域	218	7.3	28.4	25.2	16.5	19.3	3.2	35.8	35.8
川越比企地域	293	10.6	29.7	24.2	15.0	15.0	5.5	40.3	30.0
西部地域	299	8.4	26.4	25.4	16.7	17.4	5.7	34.8	34.1
利根地域	245	9.8	22.9	24.1	19.6	18.0	5.7	32.7	37.6
北部地域	203	7.4	27.6	25.1	19.7	18.2	2.0	35.0	37.9
秩父地域	40	7.5	32.5	25.0	12.5	17.5	5.0	40.0	30.0
性・年代別									
男性／18・19歳	28	35.7	25.0	25.0	7.1	7.1	-	60.7	14.3
20歳代	91	36.3	29.7	13.2	12.1	8.8	-	65.9	20.9
【再掲】10歳代・20歳代	119	36.1	28.6	16.0	10.9	8.4	-	64.7	19.3
30歳代	111	16.2	42.3	13.5	13.5	14.4	-	58.6	27.9
40歳代	173	15.6	31.8	22.5	15.0	15.0	-	47.4	30.1
50歳代	226	7.1	30.1	25.7	19.5	16.4	1.3	37.2	35.8
60歳代	215	7.4	31.2	23.3	16.3	16.7	5.1	38.6	33.0
70歳以上	286	2.8	13.6	23.4	22.7	25.9	11.5	16.4	48.6
女性／18・19歳	25	28.0	36.0	16.0	12.0	8.0	-	64.0	20.0
20歳代	137	12.4	52.6	22.6	6.6	5.1	0.7	65.0	11.7
【再掲】10歳代・20歳代	162	14.8	50.0	21.6	7.4	5.6	0.6	64.8	13.0
30歳代	205	9.3	39.0	26.3	13.7	11.2	0.5	48.3	24.9
40歳代	308	9.1	30.8	29.9	16.9	13.0	0.3	39.9	29.9
50歳代	298	5.4	27.5	28.5	19.5	18.1	1.0	32.9	37.6
60歳代	255	3.1	24.3	22.7	24.3	22.4	3.1	27.5	46.7
70歳以上	352	4.8	17.9	23.0	16.5	25.6	12.2	22.7	42.0
職業別									
自営業・家族従業(計)	242	8.7	24.4	26.9	19.4	15.3	5.4	33.1	34.7
雇用者(計)	1,461	10.0	33.1	25.3	16.4	14.1	1.2	43.1	30.5
無職(計)	1,006	7.4	22.9	22.0	17.9	22.6	7.4	30.2	40.5
ライフステージ別									
独身期	327	19.0	38.2	22.6	11.3	8.3	0.6	57.2	19.6
家族形成期	215	18.1	41.4	21.4	10.2	8.8	-	59.5	19.1
家族成長前期	245	9.0	35.1	23.3	14.3	18.0	0.4	44.1	32.2
家族成長後期	232	9.1	29.3	28.0	17.7	13.4	2.6	38.4	31.0
家族成熟期	463	5.0	27.9	24.0	19.9	20.3	3.0	32.8	40.2
高齢期	609	3.4	20.0	24.5	22.5	23.8	5.7	23.5	46.3
その他	676	8.4	23.7	23.1	16.0	17.2	11.7	32.1	33.1

(6) 輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ

『そう思わない(計)』(45.0%)は4割台半ばで、『そう思う(計)』(24.4%)より20.6ポイント高くなっている。「どちらとも言えない」(25.4%)は2割台半ばとなっている。

【属性別比較】

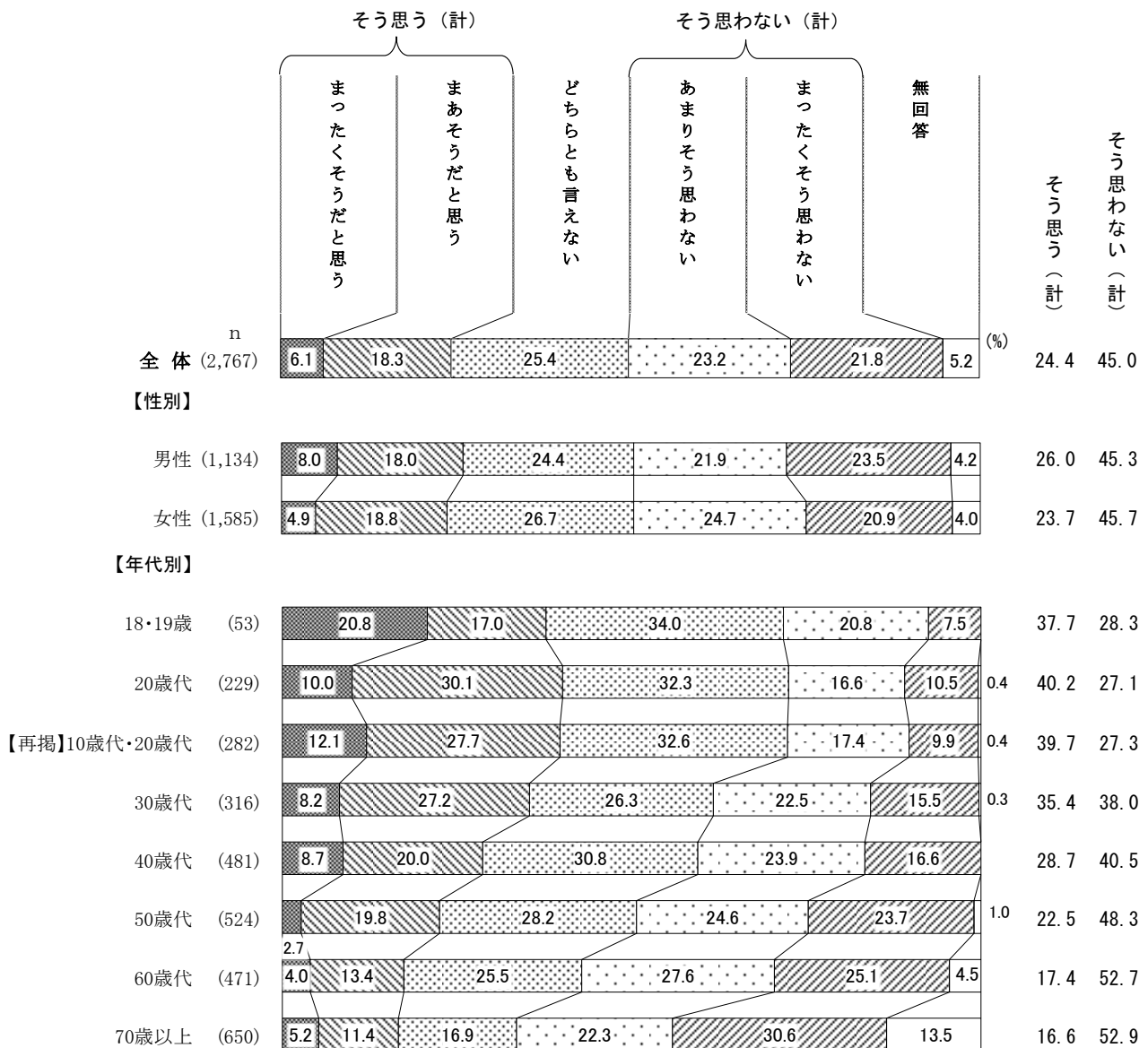
① 性別

『そう思わない(計)』は性別での回答割合に大きな差はみられない。

② 年代別

『そう思わない(計)』は70歳以上(52.9%)で5割強と最も高く、年代が下がるほど割合が低くなる傾向にあり、10歳代・20歳代(27.3%)で2割台後半と最も低くなっている。

○ 「(6) 輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ」・性別／年代別



③ 地域別

『そう思わない(計)』は北部地域(50.2%)で5割を超えて最も高く、秩父地域(37.5%)で3割台後半と最も低くなっている。

④ 性・年代別

『そう思わない(計)』は男性70歳以上(60.1%)で6割を超えて最も高く、女性10歳代・20歳代(24.1%)で2割台半ばと最も低くなっている。

⑤ 職業別

『そう思わない(計)』は無職(計)(50.4%)で5割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『そう思わない(計)』は高齢期(57.8%)で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

○ 「(6) 輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

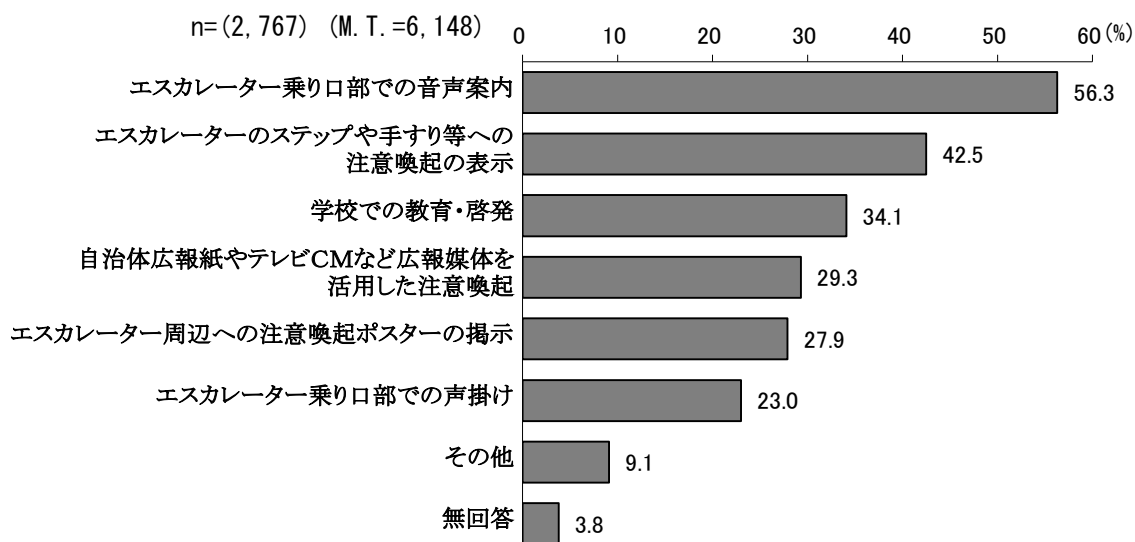
	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答	(%)	
								そう思う(計)	そう思わない(計)
全体	2,767	6.1	18.3	25.4	23.2	21.8	5.2	24.4	45.0
地域別									
南部地域	268	8.2	17.2	24.6	23.5	22.0	4.5	25.4	45.5
南西部地域	259	4.2	21.2	25.9	25.5	20.1	3.1	25.5	45.6
東部地域	410	8.5	20.5	26.3	20.7	20.2	3.7	29.0	41.0
さいたま地域	482	5.8	18.9	25.1	22.2	25.1	2.9	24.7	47.3
県央地域	218	6.4	17.9	26.6	21.6	23.4	4.1	24.3	45.0
川越比企地域	293	6.8	18.1	23.2	24.9	20.8	6.1	24.9	45.7
西部地域	299	5.0	17.1	25.4	25.8	20.7	6.0	22.1	46.5
利根地域	245	6.1	15.9	27.3	22.4	22.4	5.7	22.0	44.9
北部地域	203	3.9	15.8	27.1	29.6	20.7	3.0	19.7	50.2
秩父地域	40	2.5	22.5	32.5	15.0	22.5	5.0	25.0	37.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	28.6	10.7	32.1	17.9	10.7	-	39.3	28.6
20歳代	91	13.2	25.3	29.7	17.6	14.3	-	38.5	31.9
【再掲】10歳代・20歳代	119	16.8	21.8	30.3	17.6	13.4	-	38.7	31.1
30歳代	111	10.8	25.2	23.4	20.7	19.8	-	36.0	40.5
40歳代	173	16.2	19.1	28.9	22.0	13.9	-	35.3	35.8
50歳代	226	4.0	20.8	30.1	19.9	23.9	1.3	24.8	43.8
60歳代	215	4.7	19.1	25.1	20.9	24.7	5.6	23.7	45.6
70歳以上	286	4.2	9.8	14.3	26.6	33.6	11.5	14.0	60.1
女性／18・19歳	25	12.0	24.0	36.0	24.0	4.0	-	36.0	28.0
20歳代	137	8.0	33.6	34.3	16.1	7.3	0.7	41.6	23.4
【再掲】10歳代・20歳代	162	8.6	32.1	34.6	17.3	6.8	0.6	40.7	24.1
30歳代	205	6.8	28.3	27.8	23.4	13.2	0.5	35.1	36.6
40歳代	308	4.5	20.5	31.8	25.0	18.2	-	25.0	43.2
50歳代	298	1.7	19.1	26.8	28.2	23.5	0.7	20.8	51.7
60歳代	255	3.5	8.6	25.5	33.3	25.5	3.5	12.2	58.8
70歳以上	352	6.0	12.8	19.0	19.3	29.0	13.9	18.8	48.3
職業別									
自営業・家族従業(計)	242	7.0	15.7	26.9	25.6	19.0	5.8	22.7	44.6
雇用者(計)	1,461	6.4	21.1	29.0	23.1	19.1	1.3	27.5	42.2
無職(計)	1,006	5.8	15.1	21.3	23.6	26.8	7.5	20.9	50.4
ライフステージ別									
独身期	327	10.1	26.3	31.2	18.3	13.5	0.6	36.4	31.8
家族形成期	215	12.6	27.9	26.0	24.2	9.3	-	40.5	33.5
家族成長前期	245	7.3	23.3	27.8	21.6	19.6	0.4	30.6	41.2
家族成長後期	232	6.5	21.1	28.9	22.4	19.0	2.2	27.6	41.4
家族成熟期	463	4.1	16.4	24.6	25.1	26.8	3.0	20.5	51.8
高齢期	609	3.9	10.5	20.7	27.6	30.2	7.1	14.4	57.8
その他	676	5.0	16.9	25.3	20.9	20.4	11.5	21.9	41.3

(6) エスカレーターの利用を浸透させるための効果的な取組

◇「エスカレーター乗り口部での音声案内」が56.3%

問29 あなたは、エスカレーターの立ち止まった状態での利用を浸透させるために、どのような取組が効果的だと思いますか。次の中から3つまでを選んでください。

(〇は3つまで)



エスカレーターの立ち止まり利用を浸透させるための効果的な取組は、「エスカレーター乗り口部での音声案内」(56.3%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで、「エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示」(42.5%)、「学校での教育・啓発」(34.1%)、「自治体広報紙やテレビCMなど広報媒体を活用した注意喚起」(29.3%)、「エスカレーター周辺への注意喚起ポスターの掲示」(27.9%)、「エスカレーター乗り口部での声掛け」(23.0%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」と「エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示」は県央地域（62.8%・48.2%）で最も高くなっている。

② 性別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」、「学校での教育・啓発」、「自治体広報紙やテレビCMなど広報媒体を活用した注意喚起」は女性の方が男性よりも4ポイント以上高くなっている。一方、「エスカレーター周辺への注意喚起ポスターの掲示」は男性（30.8%）の方が女性（26.8%）よりも4.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」は70歳以上（64.3%）で6割台半ばと最も高く、おおむね年代が下がるほど割合が低くなり、10歳代・20歳代（44.3%）で4割台半ばと最も低くなっている。「学校での教育・啓発」は30歳代（43.4%）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」は男性70歳以上（67.1%）で6割台半ばを超えて最も高く、「エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示」でも男性70歳以上（47.9%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」は自営業・家族従業（計）（62.4%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」と「エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示」は高齢期（68.0%・47.6%）で最も高くなっている。

○エスカレーターの利用を浸透させるための効果的な取組・地域別／性別
／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	エスカレーター案内乗入口	エスカレーターの手すり等の注意喚起の表示	エスカレーターの手すり等の注意喚起の表示	学校での教育・啓発	利用した注意喚起	自治体広報紙やテレビ	掲示の注意喚起ポスター周辺の	エスカレーター周辺の	エスカレーター乗入口	その他	無回答
全体	2,767	56.3	42.5	34.1	29.3	27.9	23.0	9.1	3.8			
地域別												
南部地域	268	51.1	43.3	32.1	32.5	25.4	25.7	10.1	3.4			
南西部地域	259	50.6	40.9	36.3	27.0	23.9	25.9	14.7	2.7			
東部地域	410	59.3	41.7	34.1	24.6	29.5	21.0	10.7	3.2			
さいたま地域	482	54.8	43.8	34.9	27.0	27.0	26.8	10.2	2.3			
県央地域	218	62.8	48.2	37.2	33.0	31.7	17.0	6.0	2.8			
川越比企地域	293	54.9	40.6	36.5	31.1	29.0	28.3	7.8	1.7			
西部地域	299	60.2	42.1	30.4	29.4	25.8	21.1	8.4	4.0			
利根地域	245	60.0	41.2	32.2	31.0	31.4	21.6	6.5	4.1			
北部地域	203	61.1	46.3	35.5	34.0	33.5	18.7	5.9	1.5			
秩父地域	40	52.5	47.5	37.5	47.5	27.5	17.5	5.0	5.0			
性別												
男性	1,134	53.7	42.5	32.2	26.2	30.8	23.6	12.9	2.8			
女性	1,585	59.3	43.5	36.2	32.1	26.8	23.0	6.4	2.6			
年代別												
18・19歳	53	43.4	30.2	50.9	24.5	34.0	18.9	9.4	-			
20歳代	229	44.5	36.2	38.4	30.6	22.7	27.5	14.8	0.4			
【再掲】10歳代・20歳代	282	44.3	35.1	40.8	29.4	24.8	25.9	13.8	0.4			
30歳代	316	52.2	45.6	43.4	28.5	30.1	26.6	12.0	0.9			
40歳代	481	51.8	40.7	37.2	28.9	28.1	27.2	10.6	0.8			
50歳代	524	57.8	41.8	33.2	28.2	25.8	26.9	9.5	1.3			
60歳代	471	60.7	45.2	32.3	34.8	30.4	23.6	8.3	2.8			
70歳以上	650	64.3	45.5	27.4	28.2	29.4	14.3	5.1	8.0			
性・年代別												
男性／18・19歳	28	35.7	32.1	60.7	17.9	46.4	14.3	14.3	-			
20歳代	91	35.2	31.9	38.5	33.0	22.0	27.5	26.4	-			
【再掲】10歳代・20歳代	119	35.3	31.9	43.7	29.4	27.7	24.4	23.5	-			
30歳代	111	42.3	45.0	41.4	25.2	21.6	31.5	18.0	0.9			
40歳代	173	48.6	34.7	31.2	25.4	31.8	27.7	15.6	1.2			
50歳代	226	51.3	42.0	28.3	21.2	28.8	26.1	14.2	1.8			
60歳代	215	58.6	46.0	31.2	29.8	30.7	26.0	10.2	2.8			
70歳以上	286	67.1	47.9	28.0	27.3	36.0	14.0	5.9	6.6			
女性／18・19歳	25	52.0	28.0	40.0	32.0	20.0	24.0	4.0	-			
20歳代	137	51.1	39.4	38.7	29.2	23.4	27.7	6.6	0.7			
【再掲】10歳代・20歳代	162	51.2	37.7	38.9	29.6	22.8	27.2	6.2	0.6			
30歳代	205	57.6	45.9	44.4	30.2	34.6	23.9	8.8	1.0			
40歳代	308	53.6	44.2	40.6	30.8	26.0	26.9	7.8	0.6			
50歳代	298	62.8	41.6	36.9	33.6	23.5	27.5	6.0	1.0			
60歳代	255	62.7	44.7	33.3	39.2	30.2	21.6	6.3	2.7			
70歳以上	352	63.1	44.9	27.6	29.0	25.0	14.8	4.3	7.7			
職業別												
自営業・家族従業（計）	242	62.4	44.6	35.5	28.1	25.2	22.7	7.9	2.5			
雇用者（計）	1,461	53.3	41.8	34.2	29.0	27.3	26.0	11.4	1.5			
無職（計）	1,006	60.8	44.5	34.4	31.3	30.4	19.4	6.3	4.6			
ライフステージ別												
独身期	327	45.9	38.2	45.3	28.1	27.5	25.4	12.8	0.6			
家族形成期	215	48.8	37.7	35.8	31.2	27.9	26.0	13.5	0.5			
家族成長前期	245	57.6	44.1	39.2	29.0	28.2	24.1	11.8	0.8			
家族成長後期	232	56.5	40.1	32.8	28.0	25.0	30.6	9.5	2.6			
家族成熟期	463	58.3	45.6	36.5	32.6	29.6	27.4	6.0	2.2			
高齢期	609	68.0	47.6	31.2	31.0	29.4	17.4	5.6	3.4			
その他	676	51.3	39.6	27.7	25.9	26.6	20.0	9.9	9.3			

Ⅲ 調査票・単純集計結果

埼玉県政世論調査 調査票

(令和3年7月 / 調査実施主体 : 埼玉県)

御回答にあたってのお願い

回答方法は“郵送”または“インターネット”のいずれかをお選びいただけます。

【郵送で回答する場合】

- ・ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。(○は1つだけ)の質問では、当てはまる選択肢の番号1つを囲むように○印をつけてください。例)①
また、(○はいくつでも)や(○は3つまで)などの複数回答可の質問では、当てはまる選択肢の番号すべて、または指定の数を選び、番号を囲むように○印をつけてください。
- ・ お答えが「その他」に当てはまる場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。
- ・ 御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要/あて先は調査実施機関)に入れ、令和3年7月30日(金)までにポストに投函してください。
(お名前や御住所の記入は不要です)

【インターネットで回答する場合】

回答用ID : _____ パスワード : _____

- ・ 別紙「令和3年度埼玉県政世論調査オンライン回答の御案内」を御覧ください。

【回答期限(郵送・インターネット共通)】

令和3年7月30日(金)

○お問い合わせ先

【調査の趣旨・内容について/県調査担当部署】

- ・ 埼玉県 県民生活部 県民広聴課 広聴・知事への提案担当
- ・ 電話 : 048-830-2850 (平日 8:30~17:15)

【調査票の記入方法・締め切りなどについて/調査実施機関】

- ・ 株式会社サーベイリサーチセンター 世論・計画部
- ・ 電話 : 03-6826-4666 (平日 9:00~18:00)

※「調査票・単純集計表」の集計母数の表記について

特にサンプル数の表記のない設問は、全数ベース（n=2,767）で集計しており、集計母数の記載（n=2,767）を割愛した。なお、一部の該当設問については、設問ごとにその設問の集計母数を表記した。

I 生活意識について

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねします。

お宅の暮らし向きは、昨年のごとと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。（○は1つだけ）

1.5 楽になった	24.8 少し苦しくなった	53.1 変わらない	0.9 無回答
4.4 少し楽になった	13.9 苦しくなった	1.5 わからない	



（問1で「少し苦しくなった」または「苦しくなった」とお答えの方にお伺いします。）

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

n=1,070

51.0 賃金などの収入が増えない、または減った	10.4 結婚、出産、病気など特別な出費が増えた
13.9 失業、退職、病気などで働き手が減った	8.6 金利が低い
3.1 事業などの経費が増えた	38.9 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた
26.3 家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた	5.0 その他
18.1 教育費が増えた	0.5 特にない
17.5 家や自動車、家電などの支出が増えた	0.5 わからない
29.5 税金や保険料などの支払いが増えた	0.8 無回答

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、次の中のどれに属すると思いますか。

（○は1つだけ）

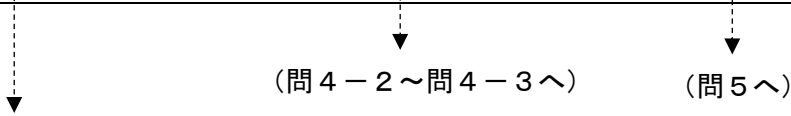
0.4 上の上	29.6 中の上	13.5 下の上	15.4 わからない
1.8 上の下	33.9 中の下	4.7 下の下	0.7 無回答

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。（○は1つだけ）

3.0 大変満足している	35.5 やや不満である	5.3 わからない
48.0 まあ満足している	7.4 大変不満である	0.8 無回答

問4 あなたは、今お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。それとも、できればよそへ移りたいと思いますか。(○は1つだけ)

65.5 住み続けたい	17.5 よそへ移りたい	16.6 わからない	0.5 無回答
-------------	--------------	------------	---------



(問4で「住み続けたい」とお答えの方にお伺いします。)

問4-1 今お住まいの地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) n=1,812

32.5 自然環境がよいから	25.4 治安や風紀がよいから
47.7 交通の便がよいから	27.3 隣近所の人との付き合いがうまくいっているから
16.2 学校、図書館などの教育・文化施設が整っているから	14.1 土地柄や人情が自分に合っているから
21.2 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから	39.0 買い物に便利だから
33.5 医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから	59.1 住みなれていて愛着があるから
28.5 通勤や仕事に便利だから	27.3 親、兄弟や親戚が近くにいるから
4.5 商売や事業などに適したところだから	4.1 その他
	2.3 特に理由はない
	0.1 無回答

(回答後問5へ)

(問4で「よそへ移りたい」とお答えの方にお伺いします。)

問4-2 今お住まいの地域からよそへ移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) n=483

16.8 自然環境が悪いから	10.1 治安や風紀が悪いから
37.9 交通の便が悪いから	8.9 隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから
10.8 学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから	13.3 土地柄や人情が自分に合わないから
12.8 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから	26.3 買い物に不便だから
15.5 医療施設が身近になく、病気の時心配だから	27.7 愛着がないから
25.5 通勤や仕事に不便だから	15.5 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから
4.3 商売や事業などに適さないところだから	20.5 その他
	3.7 特に理由はない
	0.2 無回答

(問4で「よそへ移りたい」とお答えの方にお伺いします。)

問4-3 よそへ移るとしたら、埼玉県内ですか。それとも県外ですか。(〇は1つだけ)

n=483

30.2 埼玉県内	46.2 県外	22.6 どちらでもかまわない	1.0 無回答
-----------	---------	-----------------	---------

(問4-3で「県外」とお答えの方にお伺いします。)

問4-3-1 県外へ移るとしたら、どこの都道府県へ移りたいですか。(〇は1つだけ)

n=223

4.5 北海道	11.2 神奈川県	1.8 京都府	1.3 愛媛県
- 青森県	0.4 新潟県	0.9 大阪府	- 高知県
0.9 岩手県	0.9 富山県	1.3 兵庫県	1.8 福岡県
0.4 宮城県	0.4 石川県	1.3 奈良県	0.4 佐賀県
2.2 秋田県	- 福井県	0.4 和歌山県	- 長崎県
0.9 山形県	0.9 山梨県	- 鳥取県	- 熊本県
1.8 福島県	3.6 長野県	0.4 島根県	- 大分県
2.2 茨城県	- 岐阜県	0.4 岡山県	0.4 宮崎県
1.3 栃木県	3.1 静岡県	- 広島県	- 鹿児島県
3.6 群馬県	1.8 愛知県	- 山口県	5.8 沖縄県
3.6 千葉県	- 三重県	- 徳島県	1.3 無回答
37.2 東京都	- 滋賀県	0.9 香川県	

問5 あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。(〇は1つだけ)

13.5 魅力を感じる	5.2 魅力を感じない
47.0 どちらかといえば魅力を感じる	13.3 わからない
19.0 どちらかといえば魅力を感じない	2.0 無回答

▶(問5で「魅力を感じる」または「どちらかといえば魅力を感じる」とお答えの方にお伺いします。)

問5-1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

n=1,673

40.5 山、川などの自然が豊か	22.5 地域の人々の良さや優しさ
14.5 魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある	7.3 魅力的な街並み、歴史的建造物がある
9.3 魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある	5.9 埼玉県のスポーツチーム
58.9 道路や交通の便がよい	5.6 埼玉県出身の歴史上の人物、著名人
74.1 住みやすさ	4.4 埼玉県のご当地キャラクター
6.7 埼玉県産の食材や特産品	9.9 その他
4.1 埼玉県の郷土料理やご当地グルメ	0.3 無回答

Ⅱ 日常生活について

問6 次に、あなたの日常生活に関連することについておたずねします。

(1) あなたは、過去1年間に、地域社会活動(※)に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

※地域社会活動とは、例えば以下のような活動です。SNSやWeb会議システムを活用したオンラインでの参加も含まれます。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールや清掃活動等、町内会や自治会の活動 ・地域のイベント・祭事等への参加 ・PTA活動や子供会の活動 ・障がい者や高齢者のための活動 ・青少年健全育成のための活動 ・みどりや川の再生活動など環境保全の活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNSや地域新聞、掲示板等を活用した地域情報の発信活動 ・子育てサロンや高齢者サロン等、地域サロンへの参加 ・趣味や経験を通じた地域のクラブ・サークル活動への参加 ・生涯学習や市(町)民大学への参加 ・その他、地域活動やボランティア・NPO・寄付活動、地域とつながり交流する活動 |
|---|--|

32.1 ある	問6(2)へ	65.1 ない	2.8 無回答
---------	--------	---------	---------

(問6(1)で「ない」とお答えの方にお伺いします。)

(1) - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。(○は2つまで)

n = 1,801

29.9 仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない	25.0 興味がない
9.3 団体・活動についての情報が得られない	6.8 その他
23.3 参加するきっかけが得られない	8.8 特にない
9.4 参加したいと思う団体や活動がない	1.2 わからない
18.9 新型コロナウイルス感染症により活動ができない	3.8 無回答

(2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動(※)を行ったことがありますか。(○は1つだけ)
(趣味、クラブ・サークル活動、体験教室、習い事などで行う活動も含まれます。)

※文化芸術活動とは、例えば以下のような分野での活動です。インターネット上で行う活動も対象です。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など) ・美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など) ・写真(風景、人物写真など) ・文芸(小説、詩、俳句、短歌など) ・生活文化(書道、茶道、華道、盆栽など) ・国民娯楽(囲碁、将棋など) | <ul style="list-style-type: none"> ・舞踊(バレエ、ダンス、よさこいなど) ・伝統芸能(和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど) ・演劇(現代劇、ミュージカルなど) ・演芸(落語、漫談、漫才など) ・伝統工芸、文化財の継承・保存 ・映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術 |
|--|--|

24.0 ある	72.7 ない	3.3 無回答
---------	---------	---------

(3) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を鑑賞したことがありますか。(○は1つだけ)

32.1 ある	65.1 ない	2.9 無回答
---------	---------	---------

次ページの間6(3)-1へ

次ページの間6(4)へ

(前ページの間6(3)で「ある」とお答えの方にお伺いします。)

(3) - 1 あなたは、この1年間に、インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞を行ったことがありますか。(〇は1つだけ) n=887

50.2 ある	49.0 ない	0.8 無回答
---------	---------	---------

(4) あなたは、日常生活の中で文化芸術活動を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。(〇は1つだけ)

5.3 満足している	18.0 どちらかといえば満足していない	37.7 わからない
19.6 どちらかといえば満足している	13.8 満足していない	5.6 無回答

問7 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。

あなたは、過去1年間に、散歩やウォーキング、軽い体操や日常生活の中で意識的に体を動かすことなどをはじめ、スポーツ・レクリエーション活動(※)をしましたか。

(〇は1つだけ)

※スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

散歩・ウォーキング(ぶらぶら歩き、一駅歩きを含む)、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、階段昇降、ジョギング・ランニング、水泳、体操(軽い体操・ラジオ体操を含む)、ヨガ・バレエ、登山(トレッキングを含む)、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、トレーニング(筋力・その他運動器具を使った運動)、釣り、自転車・サイクリング、ゲートボール、ダンス(フォークダンス、民謡踊りを含む) パーチャルスポーツ(体の動きを伴うコンピューターゲーム) など

67.9 した	31.0 していない	1.1 無回答
---------	------------	---------

(問7で「した」とお答えの方にお伺いします。)

問7-1 それはどのくらいの頻度でしたか。(〇は1つだけ) n=1,879

40.7 週に3回以上	20.7 週に1回程度	11.7 月に1~3回程度	0.3 無回答
21.6 週に2回程度		5.2 年に数回程度	

(問7で「していない」とお答えの方、または問7-1で「月に1~3回程度」もしくは「年に数回程度」とお答えの方にお伺いします。)

問7-2 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも) n=1,173

<p>14.0 運動やスポーツは好きでないから</p> <p>42.0 仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから</p> <p>10.4 仲間がないから</p> <p>14.3 体力が衰えたから</p> <p>11.9 費用がかかるから</p> <p>14.2 身近に場所や施設がないから</p>	<p>12.2 病気や障がいなど身体的に不安があるから</p> <p>1.5 指導者がいないから</p> <p>22.7 機会がなかったから</p> <p>9.5 その他</p> <p>9.2 特に理由はない</p> <p>3.4 無回答</p>
---	---

問8 消費生活についておたずねします。

(1) あなたは、ここ1年以内に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭った、または嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

- 1.4 訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある
- 15.7 経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある
- 27.2 訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった
- 52.1 訪問販売等の勧誘を受けたことがない
- 3.6 無回答

(2) あなたは、契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター(または、消費生活相談窓口)を知っていますか。(○は1つだけ)

- 46.7 名前も、行っていることも知っている
- 37.7 名前は知っているが、何を行っているかは知らない
- 13.8 名前も何を行っているところかも知らない
- 1.7 無回答

問9 食品の安全性についておたずねします。

あなたは、食品の安全性に不安がありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|----------------|-------------|
| 10.4 非常にある | 16.1 どちらともいえない | 10.2 ほとんどない |
| 45.1 多少ある | 17.7 あまりない | 0.5 無回答 |

問10 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまでを選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|--|-----------------------------|
| 41.3 県広報紙「彩の国だより」 | 45.1 市町村の広報紙 |
| 3.7 県政広報テレビ番組「いまドキッ!埼玉」(テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00) | 28.4 新聞の記事 |
| 1.7 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」(FM NACK5/月~金曜朝8:15~8:25) | 25.1 テレビ・ラジオのニュース(2、3以外) |
| 12.6 県ホームページ | 3.7 ミニコミ紙やタウン紙 |
| 0.3 埼玉県庁 YouTube(ユーチューブ) | 2.0 ケーブルテレビ・コミュニティFM |
| 0.1 埼玉県庁 Facebook(フェイスブック) | 16.4 インターネット(4~10以外) |
| 1.5 埼玉県庁 Twitter(ツイッター) | 0.3 県庁・県の地域機関から直接(窓口、出前講座等) |
| 2.6 埼玉県庁 LINE(ライン) | 0.5 市町村から直接(窓口、出前講座等) |
| 2.8 埼玉県スマートフォンアプリ「ポケットブックまいたま」 | 12.3 自治会・婦人会・老人会などの回覧 |
| 13.9 市町村ホームページ | 8.0 口コミ |
| | 2.1 その他 |
| | 1.4 無回答 |

※「テレビ・ラジオのニュース(2、3以外)」は、「2. 県政広報テレビ番組『いまドキッ!埼玉』(テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00)」、「3. 県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』(FM NACK5/月~金曜朝8:15~8:25)」を除くテレビ・ラジオのニュースを指す。
 ※「インターネット(4~10以外)」は、「4. 県ホームページ」、「5. 埼玉県庁 YouTube(ユーチューブ)」、「6. 埼玉県庁 Facebook(フェイスブック)」、「7. 埼玉県庁 Twitter(ツイッター)」、「8. 埼玉県庁 LINE(ライン)」、「9. 埼玉県スマートフォンアプリ『ポケットブックまいたま』」、「10. 市町村ホームページ」を除くインターネットを指す。

問11 県の広報紙、広報テレビ番組やラジオ番組についておたずねします。

(1) あなたは、県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。(○は1つだけ)

14.0 毎回読んでいます	41.3 ときどき読んでいます	9.3 「彩の国だより」を知らない
10.5 ほとんど読んでいます	24.1 読んだことがない	0.8 無回答

(2) あなたは、「彩の国だより」にどのような記事を期待しますか。(○はいくつでも)

26.1 県の主要計画(5か年計画など)の解説	48.6 県内の観光地等の紹介
33.9 県の施策の紹介	4.4 その他
22.1 県が実施する講演・講習の紹介	5.5 無回答
51.8 県が実施するイベントの紹介	

(3) あなたは、県政広報テレビ番組「いまドキッ!埼玉(テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00)」を見たことがありますか。(○は1つだけ)

0.3 毎回見ている	10.9 ときどき見ている	40.9 番組を知らない
0.6 ほとんど見ている	46.5 見たことがない	0.8 無回答

(4) あなたは、県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉(FM NACK5/月~金曜朝8:15~8:25)」を聴いたことがありますか。(○は1つだけ)

0.2 毎回聴いている	7.8 ときどき聴いている	46.2 番組を知らない
0.7 ほとんど聴いている	44.1 聴いたことがない	1.0 無回答

(5) あなたは、ラジオ番組「まとめて!埼玉応援団(TBS/土曜朝8:34~8:39)」「蓮見孝之まとめて!土曜日」コーナーの一つを聴いたことがありますか。(○は1つだけ)

0.3 毎回聴いている	3.1 ときどき聴いている	53.1 番組を知らない
0.8 ほとんど聴いている	41.8 聴いたことがない	0.9 無回答

(6) あなたは、県の広報テレビ・ラジオ番組で、どのような内容を見たり聴いたりしたいと思いますか。(○はいくつでも)

26.5 県が行っている施策の紹介	34.9 あまり知られていないような情報
48.7 観光情報(花・歴史名所・施設等)	5.1 その他
41.5 お祭り・イベント情報	5.1 無回答
37.2 旬のもの(食べ物・農産物)	

(7) あなたは、2020年から2021年にかけて県が実施している埼玉150周年記念事業について、どのような内容を知っていますか。(○はいくつでも)

2.5 埼玉150周年特設サイト「Colorful!」	4.2 埼玉未来予想コンクール(作文・絵画)
1.2 SNS(Facebook、Twitter、Instagram)	86.7 いずれも知らない
1.3 記念商品	1.7 無回答
5.0 埼玉150周年関連イベント	

問12 あなたは、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が埼玉県内で開催されることを知っていますか。(○は1つだけ)

84.0 知っている	14.9 知らない	1.1 無回答
------------	-----------	---------

問13 現在、「生物多様性」の保全という、地球上のさまざまな生物やそれらが生息・生育できる環境を守る取組が進められています。また、もともとその地域にいなかったのに、人間によって他の地域から入ってきたアライグマやカミツキガメなど種々の「外来生物」により、地域固有の生物の生態系や自然環境に影響を与える問題が起きています。

(1) あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

33.1 言葉の意味も含めて知っている	28.7 知らない
37.2 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	1.0 無回答

(2) あなたは、「外来生物」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

82.0 言葉の意味も含めて知っている	4.8 知らない
12.5 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	0.7 無回答

問14 「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)についておたずねします。

(1) あなたは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について、知っていますか。(○は1つだけ)

4.3 言葉の意味も含めて知っている	82.4 知らない
12.5 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	0.8 無回答

(2) あなたは人生の最終段階において、受たい医療・療養や受たくない医療・療養について、御家族や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(○は1つだけ)

1.6 詳しく話し合っている
27.6 一応話し合っている
3.2 家族との話し合いに抵抗を感じるから話し合ったことはない
11.3 話し合う必要性を感じていないから話し合ったことはない
37.3 話し合うきっかけがないから話し合ったことはない
14.5 何を話し合っているかわからないから話し合ったことはない
3.1 その他
1.4 無回答

(3) あなたが人生の最期を迎えたい場所はどこですか。(○は1つだけ)

48.9 自宅	3.7 特別養護老人ホームなどの福祉施設
15.7 病院	2.5 その他
0.4 子供の家	23.7 わからない
0.1 兄弟姉妹などの親族の家	0.7 無回答
4.3 高齢者向けのケア付き住宅	

(4) 前ページ問14(3)について、その場所を選んだ理由は何ですか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも) n=2,092

- 53.9 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
- 34.8 家族等との時間を多くしたいから
- 2.2 訪問してくれる医師がいるから
- 6.6 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- 6.7 症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できる体制が整っているから
- 7.7 病院は経済的に負担が大きいと思うから
- 16.9 介護してくれる家族等に負担がかかるから
- 4.4 介護してくれる家族等がないから
- 1.5 訪問してくれる医師がないから
- 3.9 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- 3.7 症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できるか不安だから
- 15.0 病院や福祉施設の方が、安心できるから
- 5.1 その他
- 4.3 無回答

問15 あなたは、この1年くらいの間に「生涯学習活動」をしたことがありますか。(〇は1つだけ)
(クラブ・サークル活動、体験教室、習い事などのほか、個人で行う活動も含まれます。)

※生涯学習活動とは、例えば以下のような分野での活動です。

- ・教養的なもの(文学、歴史、語学など)
- ・社会問題に関するもの
- ・芸術・文化に関するもの
- ・パソコン・インターネットに関するもの
- ・ボランティアに関するもの
- ・自然体験や生活体験に関するもの
- ・育児・教育に関するもの
- ・大学や高等学校等の公開講座等での学習
- ・就職や転職のために必要な知識・技能
- ・職業において必要な知識・技能
- ・スポーツ・健康に関するもの(各種スポーツ、健康法など)
- ・趣味に関するもの(映画・音楽等の鑑賞、スポーツ観戦、読書など)
- ・家庭生活に関するもの(料理、編み物、園芸など)
- ・学校の正規課程での学習(学校、大学等での講義・調査・研究など)

37.0 ある	61.7 ない	1.3 無回答
---------	---------	---------

▶ 次ページの問15-2へ

(問15で「ある」とお答えの方にお伺いします。)

問15-1 あなたは、これまでの「生涯学習活動」で学んだ知識や技能、経験等をどのように生かしていますか。あてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)

n=1,023

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 59.5 人生が豊かになっている | 8.1 ボランティア活動に生かしている |
| 41.8 健康の維持・増進に役立っている | 6.0 新たな生涯学習活動に生かしている |
| 29.7 家庭や日常の生活に生かしている | 9.3 他の人の指導やアドバイスに生かしている |
| 6.1 学業、学校生活の中で生かしている | 1.8 その他 |
| 25.4 仕事や就職の上で生かしている | 3.3 生かしていない |
| 11.9 地域や社会での活動に生かしている | 1.8 わからない |
| | - 無回答 |

(問15で「ない」とお答えの方にお伺いします。)

問15-2 あなたが、この1年くらいの間に「生涯学習活動」をしていない理由は何ですか。
あてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも) n=1,708

35.2 仕事が忙しくて時間がない	1.5 学習しても職場などから評価されない
15.7 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	7.9 学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない
6.5 学習より優先したいことがある	21.2 きっかけがつかめない
7.0 時間帯が希望に合わない	6.1 生涯学習活動をする必要がない
5.3 一緒に学習する仲間がいない	7.0 その他
8.4 身近なところに学習する場がない	22.5 理由は特にない
8.4 学習するための費用がかかる	1.9 わからない
3.9 学習したい内容の講座が開設されていない	0.6 無回答

問16 新型コロナウイルス感染症についておたずねします。

(1) あなたは、御自分が新型コロナウイルス感染症に感染するのではないかという不安を感じていますか。(〇は1つだけ)

25.2 とても不安を感じている	12.8 どちらとも いえない	13.7 あまり不安を感じていない
44.6 少し不安を感じている		2.7 まったく不安を感じていない
		1.0 無回答

(問16(1)で「とても不安を感じている」または「少し不安を感じている」とお答えの方にお伺いします。)

(1)-1 あなたは、なぜ、不安を感じるのですか。(〇はいくつでも) n=1,931

68.8 感染力が強いから	23.1 県境を越えて人が往来しているから
52.6 新しい感染症だから	3.8 店舗への休業要請が解除されたから
54.0 有効な治療薬の開発が進んでいないから	3.1 学校の授業が再開されたから
55.9 重篤な状態になったり、死に至る場合があるから	8.7 その他
34.6 医療提供体制が十分に整っていないから	1.8 特に理由はない・なんとなく
22.8 検査体制が十分に整っていないから	0.1 無回答

(問16で「あまり不安を感じていない」または「まったく不安を感じていない」とお答えの方にお伺いします。)

(1)-2 あなたは、なぜ、不安を感じないのですか。(〇はいくつでも) n=454

16.7 重篤な状態になったり、死に至る可能性は低いから	4.0 医療提供体制が整っているから
44.3 ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから	1.8 検査体制が整っているから
15.2 自分が感染することはないと考えているから	7.0 有効な治療薬の開発が進みそうだから
7.9 かぜの一種だから	42.5 ワクチン接種が始まったから
	17.0 その他
	11.0 特に理由はない・なんとなく
	0.7 無回答

(2) 新型コロナウイルス感染症に関する県の広報についておたずねします。

あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する次の県のCM等の広報を見たり聴いたりしたことがありますか。見たり聴いたりしたことがあるものすべてを選んでください。

(○はいくつでも)

25.3 埼玉県のテレビCM

6.8 埼玉県のラジオCM

3.5 埼玉県の街頭CM (街頭の大型ビジョンで放送されているもの)

3.8 埼玉県のシネアド (映画館内でのCM放映)

10.5 埼玉県のウェブ広告

57.6 見たことがない、聴いたことがない

2.5 無回答

Ⅲ 県政への要望について

問17 埼玉県政への要望についておたずねします。

県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。（○は3つまで）

- 7.8 省資源やリサイクルを進める
- 14.9 地球温暖化を防止する
- 13.8 自然をまもり、緑を育てる
- 6.9 川や大気環境をまもる
- 4.1 廃棄物対策を充実する
- 11.7 交通事故をなくす
- 25.0 災害から県民をまもる
- 5.1 消費生活の安全を高める
- 13.0 防犯の地域づくりを進める
- 11.8 道路や街路を整備する
- 2.6 生活排水対策を進める
- 5.7 公園、緑地を整備する
- 11.2 便利な交通網をつくる
- 3.4 都市のバリアフリー化を進める
- 4.5 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める
- 15.6 高齢者の福祉を充実する
- 3.7 障がい者の社会参加と福祉対策を進める
- 14.3 子育て支援を充実する
- 19.8 医療サービス体制を整備する
- 3.4 健康づくりを進めて、疾病を予防する
- 4.3 食品の安全をまもる
- 1.2 男女共同参画社会の実現をはかる
- 2.9 人権尊重の社会づくりを進める
- 1.4 生涯学習対策を充実する
- 4.9 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する
- 4.3 青少年を健全に育てる
- 2.1 農林業をさかんにする
- 2.1 観光振興を進める
- 2.5 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する
- 7.0 雇用の場を広げる
- 2.3 市町村が主役の地域づくりを進める
- 0.9 県民参加の行政を進める
- 0.9 NPOやボランティアへの活動支援を充実する
- 3.2 芸術・文化活動をさかんにする
- 2.6 スポーツ、レクリエーションをさかんにする
- 0.9 国際交流や国際協力を進める
- 26.8 新型コロナウイルス感染症対策を進める
- 2.9 その他
- 2.4 わからない
- 1.1 無回答

IV 共生社会について

問18 あなたは、「共生」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。次の中から3つまでを選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 48.1 多様性の尊重 | 30.0 環境や自然 |
| 6.4 個性や能力の発掘・発揮 | 10.1 仕事と家庭生活 (のバランス) |
| 51.0 人と人とのつながり | 0.5 その他 |
| 31.4 地域における支え合い | 5.0 考えてもよくわからない |
| 39.4 偏見や差別 (がない) | 2.2 関心がない |
| 10.8 外国人や多文化 | 1.3 無回答 |
| 9.8 障がいや疾病 | |

問19 埼玉県では、誰もが互いに尊重され、いきいきと活躍できる「共生社会」の実現を目指しています。

あなたは、現在の社会についてどのように感じていますか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1.3 共生社会が実現している |
| 16.8 共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が進んできていると感じる |
| 29.6 共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が不十分であると感じる |
| 21.7 共生社会の実現に向けた社会全体の取組や意識の変化が感じられない |
| 23.6 考えてもよくわからない |
| 4.9 関心がない |
| 2.1 無回答 |

問20 共生社会を実現するために、最も重要だと思う取組はどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 7.8 女性の社会参加促進 | → 次ページの間20-1へ |
| 7.2 LGBTQ (性的マイノリティ) への理解促進 | |
| 2.1 外国人の地域参画 | |
| 15.1 子供や若者、高齢者など年齢を超えた交流促進 | |
| 28.1 地域において支え合う仕組み | |
| 3.7 高齢者の社会参加促進 | |
| 3.7 障がい者の社会参加促進 | |
| 6.4 子供や若者の社会参加促進 | |
| 2.4 その他 | |
| 16.8 考えてもよくわからない | |
| 4.0 関心がない | → 次ページの間21へ |
| 2.8 無回答 | |

(問20で「女性の社会参加促進」～「その他」のいずれかをお答えの方にお伺いします。)

問20-1 問20で選択した取組を進める上で、具体的に必要だと思うことはどれですか。次の中から3つまで選んでください。(○は3つまで)

n=2,114

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 53.4 地域や社会における理解 | 11.6 ボランティアや支援団体等の育成 |
| 26.8 職場や学校における理解 | 22.4 社会的なルールづくり |
| 11.4 家族や友人の理解 | 21.1 経済的支援の充実 |
| 29.5 困ったときの相談先 | 1.6 その他 |
| 25.9 安心できる居場所 | 0.7 考えてもよくわからない |
| 32.7 地域における人と人とのつながり強化 | 0.0 必要なものはない、今のままで十分である |
| 17.1 活動の場の提供 | 0.8 無回答 |

問21 「共生」に関して、あなた自身が感じたことのある悩みや困りごとはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 12.1 性別（ジェンダー（社会的性差）を含む）を理由とするもの | 10.2 家族関係を理由とするもの |
| 14.1 国籍・文化・言語の違いを理由とするもの | 12.5 年齢差を理由とするもの |
| 17.3 障がい・疾病を理由とするもの | 20.7 地域における人間関係を理由とするもの |
| | 41.7 感じたことはない、考えたことがない |
| | 7.3 無回答 |

問22 「共生」に関して、あなたの周囲の人の悩みや困りごととして見聞きしたことがあるものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 14.2 性別（ジェンダー（社会的性差）を含む）を理由とするもの | 10.0 年齢差を理由とするもの |
| 17.1 国籍・文化・言語の違いを理由とするもの | 20.5 地域における人間関係を理由とするもの |
| 24.8 障がい・疾病を理由とするもの | 3.1 周囲の困りごとに関心を持ったことがない |
| 13.6 家族関係を理由とするもの | 37.7 見聞きしたことはない |
| | 5.5 無回答 |

問23 埼玉県が共生社会づくりの取組を進めて行く中で、あなたが参加・協力できると思うものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 17.7 職場や学校での研修会・勉強会への参加 |
| 13.9 職場や学校における支援活動への参加 |
| 16.4 地域（職場や学校以外の場所）における研修会・勉強会への参加 |
| 26.1 地域活動への参加 |
| 9.9 NPOやボランティアなど団体活動への参加 |
| 21.5 募金や物資の寄付などの物的支援 |
| 7.8 SNSなどを通じた情報発信への協力 |
| 1.8 その他 |
| 19.9 今は参加・協力できないが将来的には参加・協力を検討したい |
| 13.6 関心がない |
| 4.1 無回答 |

V エスカレーターの利用について

次にエスカレーターの利用についておたずねします。

埼玉県議会令和3年2月定例会において「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例（以下「条例」という。）」が成立しました。施行日は、令和3年10月1日です。

条例では、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と規定しています。

問24 あなたは、条例ができたことを知っていますか。（○は1つだけ）

21.0 条例ができたことも、利用者の義務が規定されていることも知っている
 17.3 条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない
 59.2 条例ができたことを知らない
 2.6 無回答

問25 あなたは、最近1年間、エスカレーターを利用する際、歩いて利用しましたか。それとも立ち止まって利用しましたか。エスカレーターが設置されている次の（1）から（4）までの施設それぞれについて、近いものを選んでください。（各施設それぞれ○は1つずつ）

	歩日常的に利用した	歩どちらか利用した	立ち止まって利用した	立ち止まらずに利用した	利用していない	無回答
（1）駅	10.1	17.5	24.0	27.0	17.7	3.7
（2）百貨店や大規模商業施設などの小売店舗	4.7	8.8	28.4	46.1	8.0	3.9
（3）ホテルなどの宿泊施設	3.2	2.7	15.3	28.5	43.2	7.1
（4）行政機関の庁舎や図書館などの公共施設	3.7	3.8	17.2	30.0	38.8	6.6

問26 エスカレーターを歩いて利用したことがある方にお伺いします。

あなたがエスカレーターを歩いて利用した理由は何ですか。（○はいくつでも）

n=1,629

54.6 急いでいたから
 27.7 エスカレーターに乗っている時間がもったいないと思うので短縮したいから
 20.5 早く人混みを抜きたいから
 36.5 前後の利用者が歩いているためやむを得なく
 19.3 みんなが歩いているので何となく

問27 あなたは、エスカレーターを利用した際、歩行利用を原因として、事故やトラブルに遭ったり、不快な思いをしたりしたことはありますか。(○はいくつでも)

3.3 立ち止まって利用していた際、歩行での利用者が原因で、事故に遭った、または危険な思いをしたことがある
1.4 立ち止まって利用していた際、歩行での利用者とトラブルになったことがある
25.5 立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある
1.1 歩いて利用した際、事故に遭った、または危険な思いをしたことがある
0.3 歩いて利用した際、他の利用者とトラブルになったことがある
6.0 歩いて利用した際、他の利用者に対し不快な思いをしたことがある
58.4 歩行利用を原因として、事故やトラブルに遭ったり、不快な思いをしたことはない
9.5 無回答

問28 あなたは、エスカレーターを歩いて利用することについて、どのように感じていますか。次の(1)から(6)までのそれぞれの項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。(各項目それぞれ○は1つずつ)

	そま うた たく 思 う	そま うだ と思 う	言ど えち なら ない も	そあ ま り 思 わ な い	そま うた く 思 わ な い	無 回 答
(1) 事故につながる恐れがあり危険だ	23.6	40.3	15.7	12.5	3.4	4.5
(2) 歩いて利用する人は階段を利用すべきだ	22.4	27.6	23.4	14.8	7.2	4.5
(3) 段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ	28.0	36.5	17.2	8.4	4.6	5.3
(4) 列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない	7.9	37.6	23.5	14.0	11.9	5.0
(5) 他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない	8.9	28.2	23.8	17.1	17.2	5.0
(6) 輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ	6.1	18.3	25.4	23.2	21.8	5.2

問29 あなたは、エスカレーターの立ち止まった状態での利用を浸透させるために、どのような取組が効果的だと思いますか。次の中から3つまでを選んでください。(○は3つまで)

56.3 エスカレーター乗り口部での音声案内
23.0 エスカレーター乗り口部での声掛け
42.5 エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示
27.9 エスカレーター周辺への注意喚起ポスターの掲示
29.3 自治体広報紙やテレビCMなど広報媒体を活用した注意喚起
34.1 学校での教育・啓発
9.1 その他
3.8 無回答

VI フェースシート

御意見をお伺いすることは以上で終わりですが、最後に、統計解析に必要な事項をお伺いいたします。

F 1 【性別】※戸籍上の性別ではなく、自認する性別をお選びください。(○は1つだけ)

41.0 男性	57.3 女性	1.7 無回答
---------	---------	---------

F 2 【年齢】あなたのお年は満でおいくつですか。(○は1つだけ)

1.9 18・19歳	5.2 30～34歳	9.7 45～49歳	8.7 60～64歳	1.6 無回答
4.0 20～24歳	6.3 35～39歳	9.7 50～54歳	8.3 65～69歳	
4.3 25～29歳	7.7 40～44歳	9.2 55～59歳	23.5 70歳以上	

F 3 【職業】あなたのお仕事は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

6.3 自営業主	15.3 無職の主婦・主夫	2.1 無回答
2.4 家族従業(家業手伝い)	3.5 学生	
35.7 勤め(全日)	17.5 その他の無職(年金、配当、仕送りなどで暮らしている人。無職の人)	
17.1 勤め(パートタイム)		

▶(F 3で「自営業主」または「家族従業(家業手伝い)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-1 あなたのお仕事の内容は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=242

9.9 農林漁業	25.6 自由業(開業医、弁護士、芸術家など)
58.7 商工・サービス業	5.8 無回答

▶(F 3で「勤め(全日)」または「勤め(パートタイム)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-2 あなたの働き方は、次のどちらですか。(○は1つだけ)

n=1,461

48.3 正社員、正規職員	20.5 無回答
31.1 非正社員(派遣、契約、嘱託、パート・アルバイトなど)	

▶(F 3で「勤め(全日)」または「勤め(パートタイム)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-3 あなたのお仕事の内容は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,461

6.8 経営・管理職(民間会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上)
24.5 専門・技術職(教員、勤務医、看護師、技術者、研究員など)
22.0 事務職(事務員、オペレーターなど)
11.6 生産工程・労務職(工場などの生産工程従事者、大工、土木作業員など)
19.6 販売・サービス職(販売員、理美容師、調理師など)
12.5 その他
2.9 無回答

F 4 【県内居住地】あなたは、埼玉県のどの地域にお住まいですか。(○は1つだけ)

9.7 南部地域 (川口市、蕨市、戸田市)
9.4 南西部地域 (朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町)
14.8 東部地域 (春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)
17.4 さいたま地域 (さいたま市)
7.9 県央地域 (鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町)
10.6 川越比企地域 (川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村)
10.8 西部地域 (所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市)
8.9 利根地域 (行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町)
7.3 北部地域 (熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町)
1.4 秩父地域 (秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町)
1.8 無回答

F 5 【県内居住年数】あなたは、埼玉県にお住まいになって何年になりますか。(○は1つだけ)

1.1 1年未満	5.5 5年～10年未満	15.5 20年～30年未満
3.0 1年～3年未満	6.2 10年～15年未満	58.4 30年以上
2.3 3年～5年未満	6.4 15年～20年未満	1.6 無回答

F 6 【出生地】あなたは、埼玉県のお生まれですか。(○は1つだけ)

43.5 はい (埼玉県)	55.0 いいえ (埼玉県外)	1.5 無回答
---------------	-----------------	---------

(F 6で「いいえ (埼玉県外)」とお答えの方にお伺いします。)

F 6-1 あなたの出身県 (または出身国) はどちらですか。(○は1つだけ) n=1,521

4.8 北海道	4.0 神奈川県	0.8 京都府	0.7 愛媛県
1.4 青森県	4.6 新潟県	2.1 大阪府	0.4 高知県
2.1 岩手県	0.5 富山県	1.2 兵庫県	1.6 福岡県
2.2 宮城県	0.7 石川県	0.2 奈良県	0.5 佐賀県
1.9 秋田県	0.3 福井県	0.2 和歌山県	0.8 長崎県
1.8 山形県	0.6 山梨県	0.1 鳥取県	1.1 熊本県
3.7 福島県	2.6 長野県	0.3 島根県	0.3 大分県
3.2 茨城県	0.8 岐阜県	0.3 岡山県	0.5 宮崎県
3.8 栃木県	2.0 静岡県	1.2 広島県	1.0 鹿児島県
4.4 群馬県	1.7 愛知県	0.9 山口県	0.3 沖縄県
4.5 千葉県	0.5 三重県	0.3 徳島県	0.9 海外
32.0 東京都	0.1 滋賀県	0.1 香川県	0.2 無回答

F 7 【家族人数】いま一緒に暮らしている御家族は、あなたを含めて何人ですか。
(○は1つだけ)

12.1 1人 (単身)	24.2 3人	6.4 5人	1.0 7人以上
32.7 2人	20.0 4人	2.5 6人	1.2 無回答

F 8 【結婚】あなたは結婚していますか。次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

22.1 未婚 ⇒ (F 9へ)	66.4 既婚・有配偶	9.6 既婚・離死別	1.9 無回答
------------------	-------------	------------	---------

(F 8で「既婚・有配偶」または「既婚・離死別」とお答えの方にお伺いします。)

F 8-1 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。(○は1つだけ)
n = 2,103

19.6 1人	16.5 3人	0.3 5人以上	0.9 無回答
49.2 2人	1.9 4人	11.7 子どもはいない	

(F 8-1で「1人」～「5人以上」のいずれかをお答えの方にお伺いします。)

F 8-1-1 おさんはそれぞれどの段階ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
(○はいくつでも) n = 1,840

9.3 0～3歳	9.9 高校生	40.3 学校教育終了・既婚
6.7 4歳以上で小学校入学前	1.7 短大生・専門学校生	4.6 その他
14.1 小学生	8.6 大学生・大学院生	2.9 無回答
9.3 中学生	34.1 学校教育終了・未婚	

F 9 【家族形態】お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

12.5 単身	50.6 二世帯世帯 (親と子)	2.2 その他
26.2 夫婦のみ	6.8 三世帯世帯 (親と子と孫)	1.7 無回答

F 10 【居住形態】お宅のお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

67.0 持家 (一戸建)	1.7 社宅・公務員住宅など給与住宅
13.0 持家 (分譲マンションなど集合住宅)	0.0 住み込み、寮、寄宿舎など
13.4 民間の借家 (賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)	0.4 その他
3.4 UR都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート	1.2 無回答

長時間にわたり御協力いただきまして、ありがとうございました。
お手数ですが、記入漏れなどが無いことを御確認いただいた上で、
同封の返信用封筒 (切手は不要です。)に入れて、なるべく早めに
ポストに御投函くださいますようお願いいたします。
なお、返信用封筒には、御住所やお名前は書かないでください。

(参考資料)

世論調査実施状況

- 本県では、昭和43年度から世論調査を実施しており、今回が57回目となります。参考資料に、過去の調査実施状況をまとめました。

- 平成27年度までは、満20歳以上の方を調査対象として実施しており、平成28年度以降は満18歳以上の方を対象に実施しています。

- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和2年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

世論調査実施状況

(参考資料)

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和62年度	6月1日～30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%
24	昭和63年度	7月1日～31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロナム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成2年度	7月4日～29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しくにづくり、人と環境にやさしいサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成7年度	7月1日～31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活範囲とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%
46	平成22年度	7月9日～8月2日	生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.1%
47	平成23年度	7月8日～8月1日	生活意識、日常生活、住みよさ、自転車利用、生涯学習、買い物弱者、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.7%
48	平成24年度	7月6日～29日	生活意識、日常生活、定住意向、健康長寿埼玉、震災前後における省エネ・創エネに関する意識と行動の変化、県教育行政、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.1%
49	平成25年度	7月5日～28日	生活意識、日常生活、個人情報保護と活用、埼玉県ホームページの利用状況、生涯学習、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.0%
50	平成26年度	7月4日～27日	生活意識、日常生活、住みよさ、埼玉版ウーマノミクスプロジェクト、治水対策、食品ロスの削減、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.8%
51	平成27年度	7月3日～26日	生活意識、日常生活、定住意向、人口減少問題、大地震への備え、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.9%
52	平成28年度	7月8日～31日	生活意識、日常生活、スポーツ振興、認知症、水道の利用、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	72.5%
53	平成29年度	7月7日～31日	生活意識、日常生活、シニアの社会参加、性的少数者(LGBT)、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.3%
54	平成30年度	7月6日～31日	生活意識、日常生活、定住意向、受動喫煙防止対策、社会貢献活動における寄附、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.7%
55	令和元年度	7月5日～31日	生活意識、日常生活、大地震に備えた取組について、生涯現役に向けた定年後の準備、就労希望等について、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	66.5%
56	令和2年度	8月8日～28日	生活意識、日常生活、住みよさ、新型コロナウイルス感染症への不安、環境への関心と行動、川の再生、県政への要望	5,000	郵送法	56.7%
57	令和3年度	7月9日～30日	生活意識、日常生活、定住意向、新型コロナウイルス感染症への不安、共生社会、エスカレーターの利用、県政への要望	5,000	郵送法	55.3%

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料1部を下記の担当課へ送付願います。

令和3年度

埼玉県政世論調査

令和3年11月発行

埼玉県県民生活部県民広聴課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」